# 地域おこし協力隊事例集

くらしの中に
総務省
MIC Ministry of Internal Affairs and Communications

令和５年７月
総務省　地域力創造グループ
地域自立応援課

# 地域おこし協力隊事例集について

○　地域おこし協力隊の活動内容を活動分野別にまとめた「地域おこし協力隊事例集」を令和５年７月に作成・公表。

＜掲載イメージ＞

## 北海道岩見沢市　森末　愛美

地域コミュニティ活動

### 基本情報

【年　齢】
23歳
【出身地】
広島県三次市
【転出元】
北海道旭川市
【前　職】
学生
【活動時期】
R4.4～
（1年目）

### 協力隊に応募したきっかけ

学生時代からスキー競技をしており、大学卒業後も仕事をしながらスキーを全力で取り組みたいと考えていた。
知り合いから地域おこし協力隊の話を聞いて、中高美術の教員免許やスキー指導員の資格を活かして、地域のイベント企画に携わりながら、選手として活動を続けようと思って応募した。

### 今後の抱負・任期後の目標

一つの分野にとらわれず、色々な方をつなげる活動をしたい。自分がジョイント役になり、地域の魅力を地域外に発信したり、逆に地域の方にも地域の魅力を再発見してもらうような地域おこし活動を目指す。
また、自身の経験や知識を活かして、子どもたちを対象に、写生大会や工作教室を開催したい。

### 活動内容

**●市民グループ「ズリ山ハイキング」の立ち上げ**

万字炭山森林公園のズリ山を広く知ってもらおうと、ズリ山を登る市民グループの立ち上げに関わる。ズリ山とは、石炭採掘時に発生した捨石が積み上げられ山となったものであり、山頂に続く直線階段（775段）を上りながら四季折々の風景を望むことができる。

**●地域の情報発信**

地域おこし推進員のＳＮＳ（インスタグラム）を開設し、地域に住んでいるからこそ気付く魅力を発信している。

**●地域活動への参画**

田植えなどの農作業や町内会のゴミ拾いや会合への出席、地域のお祭りの手伝いや地域で開催されるイベントのサポート等、地域で行われる行事に参加しながら、いずれ自身が主催するイベントの構想を膨らませながら、地域住民と信頼関係を構築していく。

### 連絡先

メディア等の取材連絡先】
岩見沢市企画財政部企画室　TEL:0126-35-4834

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
■Instagram（@iwamizawa_life）
■Instagram（@iwamizawa_grashi）

＜活動分野＞
1 移住・定住促進
2 不動産利活用
3 観光・情報発信
4 商品開発・販売
5 地域コミュニティ活動
6 漁業・水産業
7 農業・林業
8 環境保全・自然保護
9 医療・保健
10 デジタル
11 教育・文化
12 スポーツ
13 おためし
14 インターン

# 01 移住・定住促進

# 北海道旭川市　伊ヶ谷　大樹

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
39歳
【出身地】
千葉県　流山市
【転出元】
千葉県　流山市
【前　職】
スポーツ施設運営管理
【活動時期】
R3.5～

## 協力隊に応募したきっかけ

まず移住を考えたがきっかけが、「広い土地で一軒家を建てて暮らしたい」という気持ちでした。旭川は自然がいっぱいで、でも北海道第２の都市と言われていて、医療機関や学校、スーパーなどとても充実していて、さらに東京まで１時間半でいけるとても便利な空港が近くにありますので、とても良いところだと思いました。仕事については、偶然ですが、地域おこし協力隊の募集を見つけ、さらに内容も自分の今までの経験を活かせそうと思い、応募したところ、運よく採用していただきました。

## 今後の抱負･任期後の目標

今後は私のような子育て世帯を対象に旭川の魅力を発信し、多くの方の移住の相談に乗っていきたいと思います。また北海道はとても多くの自治体で地域おこし協力隊が活動されているので、他の地域との連携したイベントもやっていきたいです。任期後に関しては子供の運動や高齢者の健康をサポートするような事業を立ち上げて、地域に貢献していきたいと思います。

## 活動内容

**●ウエルカム旭川＆まちなかへGO**

旭川に移住された方に、実際移住してどうだったかを取材させていただき、その生の声を私が作ったYOUTUBEちゃんねるで発信しました。協力していただいた方に、「いがっち商品券」という、まちなかにあるお店で使用できるオリジナル商品券をプレゼントし、足を運んでもらおうと思った企画です。

**●神居古潭魅力発見ツアー**

旭川の成り立ちや歴史的にも重要な場所「神居古潭」、冬の時期は吊橋が閉鎖されていて、通常見ることができない冬の旧神居古潭駅を見に行きました。鉄道好きな方や歴史に興味のある方など遠方からも来ていただきました。また、急遽ＮＨＫさんの取材が来られ、テレビで放映されました。

**●いがっちの旭川案内**

東旭川町のシェアハウスの管理人と連携した事業になります。こちらには１ヶ月程度の短期滞在で毎月のように全国様々な地域から入居者が来られているので、その方々に旭川の魅力ある場所を案内し、少しでも旭川に住みたいなどと感じてもらえたらと思っております。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Twitter：https://twitter.com/igatti_ijyu
YouTube（いがっち移住ちゃんねる）⇩
https://www.youtube.com/channel/UC-ObIWRNT_CVSERfMU-Snvw

# 北海道旭川市　木村　萩野

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
35歳
【出身地】
北海道 洞爺湖町
【転出元】
北海道 札幌市
【前　職】
広告業・旅行観光業
【活動時期】
R3.4～ R6.3
（2年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

数年前より旭川市や圏域の海外向けPRに携わったことを機に、旭川市の都市機能と自然が隣り合う環境をとても魅力に感じると同時に地域課題にも触れてきました。そんな中、旭川市に暮らすパートナーと今後の拠点をどこに置くかを検討していた頃に本市の協力隊募集を見つけ、これまでの経験を活かして何かの役に立てればと思い応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

協力隊は、市民と行政の真ん中にいる存在だと思っています。旭川市は人口が約34万人と決して小さな街ではなく、一個人が3年間で与えることのできる影響は大きくはないかもしれませんが、私の思う旭川の魅力に共感してくださる方々と共に市民が誇れるまちづくりに寄与していきたいと思います。
任期後は民泊やローカルツアーの企画、市内で製作されるプロダクトを中心としたアウトドアショップなど、市内外国内外問わず旭川愛を伝えられるよう取り組みたいです。

## 活動内容

### ●移住PRイベント「あそびかわ」の開催

令和3年10月に東京都昭島市にあるモリパークアウトドアヴィレッジにて、旭川市や近郊町で製作されるアウトドア関連プロダクトの展示と移住相談会を実施。アウトドアに特化したショッピングモールを会場にすることにより、都市部に住むアウトドア好きな移住希望潜在層に本市をPRすることができました。

### ●転入者の会開催

本市へ転入して概ね5年以内の方々を対象に、「旭川での暮らしをちょっと豊かにする」をテーマにした転入者の会を不定期で開催しています。雪だるま作りや山野草観察会など、何気なく見過ごしてしまうものに目を向けることで、この地にある「特別」に気づいていただけるような企画を考えています。

### ●移住希望者の市内案内

友人・知人からの紹介やSNSを通じたリクエストに応じて、本市への移住を検討している方々に向けて市内案内を実施しています。旭川の魅力は食・工芸・自然など多岐に渡るため、各々にあった場所や人、技を紹介することで移住後のビジョンを具体的に持っていただけるよう努めています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
旭川市地域振興部地域振興課
（メールアドレス）chiikishinko@city.asahikawa.lg.jp
（電話番号）　0166-25-5316

# 北海道釧路市　佐々木　優衣

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
２５歳
【出身地】
北海道釧路市
【転出元】
北海道札幌市
【前　職】
販売職
【活動時期】
Ｒ３．６～

## 協力隊に応募したきっかけ

大学時代、ゼミナールで質的社会調査や行政職員の方々と関わる場面があり、もともと「町おこし」というものに関心がありました。また、大学卒業後は小樽市内で販売・接客業をしていたのですが、「いつかは地元釧路市で働きたい」という思いがずっとあったため、地元で地域おこし協力隊を募集しているのを知り、すぐに応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

今後の目標としては、「何かしらの形で地元に関わり続ける」ということです。今までは「地元に貢献するためには必ず地元にいなければいけない」と思っておりましたが、協力隊として活動している中で、どこにいても何かしらの形で地元に貢献し続けられるということに気づくことができました。任期後も道東・釧路市阿寒町をこれからも盛り上げる１人でいたいです。そのために、自分の活動の幅を広げ、地域で活動している方々ともっと深く関わりを持っていきます。

## 活動内容

**●情報発信（阿寒町を知ってもらう）**

協力隊1年目では特に、まずは「阿寒町を知ってもらうための仕組みづくり」に努力してきました。主にSNS運営や町内向け広報誌の作成などを行い、外の人だけでなく、地域の方々に向けて阿寒の魅力を再発見していただけるように発信しています。2年目・3年目と今後も継続して行います。

**●ツアー事業（阿寒町にきてもらう）**

阿寒町を知ってもらえたところで、今年度は次のステップとして「阿寒町にきてもらう仕組みづくり」に取り組んでいます。「阿寒町の暮らしのぞき見ツアー」と題し、暮らしに特化した内容にしました。阿寒町を知り、関わりを持っていただけたことが大きな成果だと感じます。

**●地域の方々との繋がり**

阿寒町商工会青年部をはじめ、地域の方々との関わりを増やしてきました。町内のボランティアサークルの活動やお祭りのお手伝いなどを通して、子供から高齢者の方々まで幅広く関わることができています。特に今年度行ったツアー事業では地域の皆さんにご協力いただきました。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

https://linktr.ee/akan.chiikiokoshi

# 北海道釧路市　崎　一馬

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年齢】 ２５歳
【活動時期】　R3.6 ～
【出身地】　大阪府　大阪市
【転出元】　大阪府　大阪市
【前職】 メーカー技術職

## 協力隊に応募したきっかけ

もともとカメラマンとして活動していきたい思いと、地方と都会を結ぶ仕事をしたい思いがあったことから、道内で地域活性活動をされている方とご縁があって繋がり、その方から紹介いただいた阿寒町内のゲストハウスでお手伝いをしながら、カメラマンとしても活動を始め阿寒町にて長期滞在を始めました。
　その後、阿寒町で協力隊を募集するという話を聞き、また活動内容が情報発信と自分のスキルを活かせる場だと感じ、応募に至りました。

## 今後の抱負・任期後の目標

阿寒町の最も大きな課題の一つである「空き家対策」について残りの期間で担当して行きたいと考えています。空き家バンク制度や移住体験住宅など、移住者が阿寒町に住む一歩をサポートできるような制度の土台を作って行きたいと考えています。
　任期後については模索中です。阿寒町に残りたいという思いはあり、また副業のカメラマンとしての仕事も継続させて行きたいので、その両方を満たせる形を今は探っている状況です。

## 活動内容

**●情報発信**

ツイッター、フェイスブック、インスタグラム、noteなど様々なSNSやプラットフォームを使って町の情報発信を担当しています。各SNSの特徴やフォロワー層などを解析して、そのSNSに合った情報発信を行なっています。
（写真はインスタグラムで発信しているマガジン）

**●移住･定住促進**

今年度は、阿寒町に興味を持ってくださった方や、北海道に移住を検討されている方を実際に阿寒町にお呼びし、北海道での暮らしや阿寒町での暮らしのイメージを持っていただくことを目的とした「移住体験ツアー」を実施しました。

**●地域活動に参加**

町内の商工会青年部に加入し、町内のイベント運営や祭りのスタッフ、清掃活動などの地域活動に参加しています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）　akan.chiikiokoshi@gmail.com
（電話番号）0154-66-2122（阿寒町行政ｾﾝﾀｰ地域振興課）
【活動の様子を発信しているSNS･ブログなどのURL】
https://linktr.ee/akan.chiikiokoshi

# 北海道美唄市　髙山　弘樹

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
33歳
【出身地】
青森県階上町
【転出元】
北海道札幌市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R3.5～ R6.4
（2年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

美唄市への移住を検討し、仕事を探していたところ、市が協力隊を募集していることを市内に住む知人から聞き、応募した。

美唄市に本拠地を置く野球の独立リーグ球団・美唄ブラックダイヤモンズの選手たちが、美唄のために活動している姿に感銘を受け、自らも少しでも美唄の力になることができれば、という想いから、協力隊になることを志願した。

## 今後の抱負・任期後の目標

より多くの方に美唄市のことを知っていただき、実際に美唄に来ていただいたり、何らかの形で美唄とのつながりを持っていただけるように尽力していきたい。

任期後は、どういった形で美唄と関わっていくかは未定ではあるが、任期終了後も住みよい美唄市に定住したいと考えている。

## 活動内容

### ●移住・定住の促進

移住を検討されている方の相談に応じたり、首都圏で開催される移住関連イベントなどに参加し、美唄のPRを実施。

また、移住後の生活をイメージしやすいような移住・定住に関する情報をまとめたパンフレットや助成制度を案内するチラシなどを作成。

### ●空き家バンクの運営

これまで外部に依頼していた空き家バンクを市で運用するにあたり、掲載の受付やホームページの更新を行っている。

更新の頻度を上げ、美唄への移住を検討されている方に迅速に情報を提供し、空き家や空き地を有効に活用していただけるように取り組んでいる。

### ●関係人口創出

【ふるさと美唄応援団】制度を運営。美唄に興味を持ち、関係を深めていっていただける方を増やすべく、メールマガジンやSNSなどで美唄の最新情報を発信するほか、PRイベントなどをしている。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）kikaku@city.bibai.lg.jp　（電話番号）0126-62-3137

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
美唄市地域おこし協力隊Facebook
https://www.facebook.com/LVCofBIBAI

# 北海道江別市　菅原　康平

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
25歳
【出身地】
岩手県　花巻市
【転出元】
北海道　札幌市
【前　職】
食肉卸　営業
【活動時期】
R４.４～R７.３
（１年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

Instagram広告で募集を見たことがきっかけ。
大学時代は地域振興について学ぶ機会があり、自分の得意なスポーツと江別市の強みを掛け合わせてまちを盛り上げたいと思い応募した。
札幌の近隣という立地のよさ、市と民間を繋ぐような立場で活動できることを活かし、江別に新しい風を吹き込みたい。

## 今後の抱負・任期後の目標

今後は事業者と協力しながら子どもたちと触れあうイベントを企画し、体験のなかで学びのあるコンテンツを作っていきたい。今後は市内のみではなく、周辺地域との連携も視野にいれたい。
任期後の目標としては、地域資源を活かして道外からの教育旅行ニーズに合わせたサービスを提供できる団体を設立したい。長期的なアプローチの結果として移住・定住につながっていくのではないかと考える。

## 活動内容

**●えべつフォトマップ作成**

江別市内の魅力に触れる「えべつフォトマップ」の制作。
若年層向けの内容で、市内４大学の学生に江別の魅力をより知ってもらいたいという狙いもある。市内各所に配布。

**●えべつマルシェ　出展**

えべつマルシェにて、子どもと外で遊ぶ体験ブースの出展。
　今後は事業者との連携を上手く行い、遊びの中の体験に学びを付与できるようなコンテンツを提供していきたい。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Instagram　chiikishinko.ebetsu　【北海道】江別市地域おこし協力隊

# 北海道三笠市　千葉　ひろみ

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
59歳
【出身地】
北海道　札幌市
【転出元】
宮城県　仙台市
【前　職】
ＦＭアナウンサー
【活動時期】
R3.4.12～ R6.4.11
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

三笠市の自然とおいしい農産物の魅力に惚れこみ、いずれは三笠市に移住をしたいと考えていました。
いざ移住を決め、三笠市での仕事を探していたところ、地域おこし協力隊で移住定住ＰＲ部門の募集があることを知り、三笠市の魅力をもっと多くの人に伝えたいと思い応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

三笠市の認知度を高め、移住に興味を持って貰いたいです。また、活動を通じてＳＮＳなどを活用した発信力を高め、任期後も自分なりに三笠市の魅力発信を続けていきたいです。

## 活動内容

**●移住定住ＰＲ動画「みかさぐらしチャンネル」**

移住者のリアルな暮らしや三笠市の魅力を移住者目線で取材・編集し、動画で発信しています。

**●移住相談**

市役所の移住相談窓口や首都圏で開催される移住フェアなどのイベントで、移住検討者の方に自身の体験を交えつつ移住に当たっての心配事、悩み事の相談にのっています。

**●地域イベント出演**

地域イベントのトークショーなどに出演し、前職で培ったトークスキルを発揮して、三笠市の魅力を多くの人に発信しました。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）teijyuuk@city.mikasa.hokkaido.jp
（電話番号）01267-2-3182

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
YouTube：
https://www.city.mikasa.hokkaido.jp/mikasalife/detail_sp/00010990.html

# 北海道砂川市　桐井　将暢

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
28歳
【出身地】
北海道札幌市
【転出元】
長野県松本市
【前　職】
ケーブルテレビ局職員
【活動時期】
R４.４～

## 協力隊に応募したきっかけ

砂川には親戚の家があり、子どものころによく訪れた愛着のある場所です。
札幌の高校を卒業した後は群馬県の大学へ進み、長野県のケーブルテレビ局で記者やカメラマンとして働いていましたが、やはり北海道のためになる仕事をしたいと思って協力隊に応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

10年近く本州で暮らしてきましたが、道外の多くの人にとって砂川は「知らないまち」だと思います。
「知らないまち」は住む場所の選択肢にならない。だからこそ様々な形でアピールをして「どこかで見たことがあるまち」「行ってみたい、住んでみたいまち」にイメージを変えていくような情報発信をこころがけていきたいと思います。

## 活動内容

**●映像を使った情報発信**

前職での経験を活かし、イベントや行事の開催時には取材に赴いて、撮影および編集作業を行い、動画投稿サイトYouTubeに投稿している。投稿は不定期、頻度は月7～10本程度。
花火大会などは生配信を行ったりしている。

**●移住定住促進業務**

お試し暮らし事業で利用する住宅の管理や、体験者との交流や市内案内を行っている。
移住相談会等に参加し、砂川市のPR及び移住体験を基に相談に対応している。
また、上述した映像を使った情報発信も活用し、砂川市への移住をPRする動画も作成している。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）kikaku@city.sunagawa.lg.jp（電話番号）0125-74-8767

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Facebook）https://ja-jp.facebook.com/sunagawa.hokkaido.chiikiokoshi/
（YouTubeチャンネル）
https://www.youtube.com/channel/UCyO99GmV8EPuh3sJ-j2J8VQ/videos

# 北海道登別市　新村　のりこ

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
４５歳
【出身地】
北海道　江別市
【転出元】
北海道　登別市
【前　職】
フリーランスで活動
【活動時期】
Ｒ４.９～Ｒ７.３
（１年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

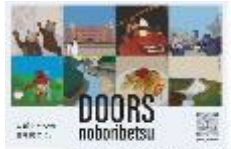
インテリア関連の仕事をしており、イベントの企画運営や、その中で出会ったインテリアショップや北手工芸作家と繋がり、北海道各地を飛び回っていました。
登別市の「関係人口コミュニティマネージャー」の募集を知り、自分自身が仕事で関わった地域の関係人口ではないかと考え、応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

「関係人口」は多くの人にとってまだ聞きなれない言葉ではありますが、居住地以外の地域との多様な繋がりを提案していきたいです。
まずは私自身が登別での暮らしを楽しむこと、さらに今までにはない楽しみ方を地元の方と一緒に企画したいと考えています。
その様子を外に向けて発信し、「気になる登別」をPRしていきたいです。

## 活動内容

### ●「DOORS,noboribetsu」企画及びチラシ作成



ワーケーションでも利用が期待される日本工学院北海道専門学校内に整備されたコワーキングスペースを充実させるための企画を提案。仕事の合間に楽しめるスイーツやドリンクの用意、アイヌ文化や自然を紹介する書籍の配置など検討。また、移住・ワーケーションをPRするためのチラシも作成した。

### ●マーケットイベント「LOPPIS」の出展者とコラボ企画

LOPPISに出展するピザ屋と協同し、のぼりべつ酪農館のチーズ５種と熟成ベーコンを使用した登別ピザを販売した。さらに、別ブースを設けて登別ブランド推奨品（閻魔ラーメン、わら納豆 等）を販売するとともに作成した「DOORS,noboribetsu」のチラシを配布し、登別市のＰＲ活動を実施した。

### ●ワーケーションの実施

以前の仕事等でのコミュニティを活用して、個人のワーケーションを実施し、日本工学院北海道専門学校のコワーキングスペースでワーク（仕事）をしてもらいながら、市内の観光地や地元グルメを堪能してもらうためのアテンドを実施した。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（登別市総務部企画調整グループ）
Mail：kikaku@city.noboribetsu.lg.jp　℡：0143-85-1122
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Facebook）https://www.facebook.com/noboribetsuchiikiokos

@doors_noboribetsu

# 北海道鹿部町　遠藤　麻耶

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
35歳
【出身地】
北海道　函館市
【転出元】
大阪府　枚方市
【前　職】
雑貨セレクトショップ店長兼バイヤー
【活動時期】
R3.7～ R6.6
（2年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

両親が函館市出身で、幼い頃から夏休み期間だけ帰る函館が大好きで、道南地域に思い入れがあります。
前職で、日本各地の伝統工芸など産地で頑張っている方々のプロダクトをお店として、多くの方々に伝えることをしてきましたが、次は自分のルーツのある大好きな土地でそれがしたい！と思ったのがきっかけです。

## 今後の抱負･任期後の目標

少子高齢化、過疎化が進み、私が幼い頃に見ていた景色とは違う状態になっているのを痛感しています。
北海道の中でも、道南は今後の消滅可能性都市が上位にあり知っている町が無くなるのは免れません。
ただ、今暮らしている方々、これから移住する方々にとって適切な情報を伝え、楽しいこと（音楽や文化的なこと）を一緒に創っていきたいです。
任期後も、道南に住み同じ想いの方々と一緒に道南を盛り上げていきたいです。

## 活動内容

**●活動内容：移住関連イベント**

鹿部町には、大和ハウス工業様が運営するロイヤルシティ鹿部リゾートがあります。
森林住宅地区には、他道府県からの移住者が多く、都会ではできない、素敵な暮らしを送られています。
オンラインで鹿部町は知らないけれど、行ってみたい！と思っていただけるようにイベントに参加。

**●活動内容：動画制作**

活用されていなかった、鹿部町公式YOUTUBEチャンネルを運営。移住、観光情報を含んだ動画をアップ。
町のコミュニティバス（しかバス）、関西から移住してからの暮らし、JALふるさと応援隊さまとの動画を企画から制作。現在は他の協力隊と一緒にチームとして制作できるようになりました。

**●活動内容：自分で創るイベント**

趣味の活動×地域。
協力隊の活動を超えてできることとして、町の加工会社さまの宣材用動画作成、協力隊OBのカフェ支援、音楽イベント開催（鹿部町、函館）など、鹿部町だけではなく道南地域の方々とつながることを企画しています。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（ Instagram ）　kurashi_shikabe
（ youtube ）　https://www.youtube.com/channel/UCjqkj7d9x2nEkYJkAxW_vZA

# 北海道八雲町　藤谷　周平

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
27歳
【出身地】
北海道 札幌市
【転出元】
東京都 板橋区
【前　職】
人材会社の営業職
【活動時期】
R3.12～

## 協力隊に応募したきっかけ

新型コロナウイルスの流行もあり、自分の生き方や働き方を見つめ直したことがきっかけです。色々考える中で、自分が大切にしたい価値観が「人との繋がり」「自然が近くにあること」だと気づいたこと、自分で事業を興したいという思いもあったので、出身地である北海道で協力隊として活動したいと思い、応募しました。主にSMOUTを活用して、求人を探している中で、八雲町の業務内容がまさに、自分が求めている価値観や環境であると感じ、八雲町を選びました。

## 今後の抱負・任期後の目標

現在、担当している業務を卒業後も継続できるよう、本格的な事業化を目指して、協力隊の任期中にできる限りのチャレンジをしたいと思っています。具体的には、収支バランスの取れた事業計画を立てて、事業運営ができるようになること、困ったときにお互い助け合えるような人との繋がりを作ること、少しでも多くの方に八雲町を起点に、道南、北海道の魅力を知ってもらえるように、情報発信を継続することに取り組んでいきたいと思っています。

## 活動内容

**●廃校活用施設の運営**

元小学校をリノベーションしたキャンプ＆ワーケーション施設「ペコレラ学舎」の運営を担当しています。キャンプ場・校舎内の施設整備、イベントなどの企画運営の他、今年度はワーケーション事業に注力して取り組んでいます。
https://pekolela.com/

**●ワーケーション事業の推進**

八雲町で観光事業を行うNPOと連携し、ワーケーション事業の推進に取り組んでいます。令和４年度に６回のモニターツアーを行い、提供するコンテンツの企画・調整、参加者の受け入れ、受け入れ後の改善を実施しながら、令和５年度以降の本格的な商品化やパッケージ化を目指しています。

**●道南広域観光事業の運営**

道南の観光事業を底上げするために組織された団体「Discover Southern Hokkaido」の事務局を担当しています。道南各地域でのモニターツアーの開催や観光事業者向けの勉強会などの開催、道南サミットという道南を様々な分野で盛り上げていこうという団体への参画など多様な業務を行っています。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://lit.link/89mo

# 北海道鷹栖町　鹿毛　謙作

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
31歳
【出身地】
福岡県小郡市
【転出元】
福岡県小郡市
【前　職】
青年会協力隊
【活動時期】
R２.10～ R５.９
（３年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

募集内容が空き家を利活用した活動だったため「空き家を利活用して起業したい」と考えて興味を持ちました。
応募前には、ふるさとワーキングホリデー事業で1か月以上滞在しながら野菜農家の手伝いをしました。地域に住む中で人の温かさにも触れることができ、協力隊を応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

【活動中に大切にしたい事】
挑戦したい人の為に、お互いが支え合うことが出来る関係性構築

【任期後の目標】
起業しコーヒーを通じて人と人が交わり集まる店づくり

## 活動内容

**●空き家を通じて地域のコミュニティ形成**

廃校になった旧北成小学校の隣にある旧教職員住。
宅築50年たった空き家を地域資源として活用するためDIYし、地域活性化を目指しています。
DIY講座を開催し、多様な人が集まるコミュニティの場づくりに挑戦しています。

**●DIY活動コーヒースタンド製作**

任期後の目標であるコーヒー屋として起業を目指すため、冬の町のイベントにも出展できるように地域の協力を得てDIY活動を行いました。

**●外からの目線で鷹栖の魅力を伝える**

コロナ禍で地域への行き来が難しいなか、少しでも地域のことを知るとともに興味をもってもらい、アフターコロナで来てもらえるように、関係人口創出を目的として、都市部の若者へ自身の活動などをオンラインで伝えました。また、実際の受入れも行いました。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）kikaku@town.takasu.lg.jp
（電話番号）0166-87-2111（鷹栖町役場総務企画課地域振興係）
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】
鷹栖町地域おこし協力隊SNS：twitter：@TKS_kyoryokutai

# 北海道大空町　山本　由美子

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
47歳
【出身地】
大阪府　豊中市
【転出元】
東京都　練馬区
【前　職】
団体役員
【活動時期】
R４.４～
（１年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

子どもの高校進学先を検討した際に、大空町立の大空高等学校と出逢いました。オープンスクールに参加するために大空町を訪問した際に、学校の教職員の方や、町役場の方、地域の方々がとても親切で、自然豊かな環境でありながら、主要都市まで2時間圏内という立地の大空町で、わが子の残り少ない子ども時代を、豊かな地域コミュニティの中で、親子一緒に生活したいと考え、地域おこし協力隊に応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

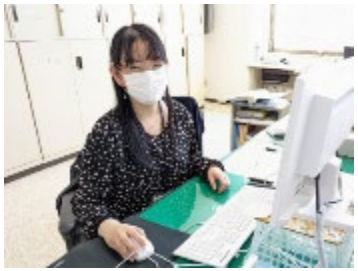
地域おこし協力隊をきっかけに、社会教育士になるための学習や、地域でイノベーションを起こしていくための知識取得の学びなどの機会をいただいています。
自身の考案したベビーダンス®をより多くの方々に知っていただけるような、地域に根差した社会貢献活動を行っていきたいと考えています。
まだ北海道の冬を体験していないので、できるだけ早く地域に慣れていけるよう、努力し地域の方々から学ばせていただきたいと思っています。

## 活動内容

**●SNS･ウェブサイトを用いての移住定住の情報発信活動**

移住相談・支援業務のほか、大空町の移住定住促進のためのSNS発信業務を行っています。ウェブサイトやインスタグラム等への投稿のための取材・撮影、動画編集・ライブ配信など、投稿業務を行っています。また、大空町からのSNS発信のための研修の機会を与えていただいたことで、新たなスキルを身に着けるなど、自己研鑽を積むことができました。

**●広報誌等で町の魅力を発信**



大空町の地域おこし協力隊隊員が担当する大空町の魅力発信コーナーの記事や、ご家庭でも手軽にできるエクササイズの紙面記事を新たに担当させていただきました。町の方々が楽しみに読まれている町の広報誌を担当させていただいたことで、日常の出来事や大空町の雄大な自然の変化をしっかり感じ取ることができました。

**●ベビーダンスを用いた子育て世代との交流**

自身が考案した赤ちゃんを抱っこして踊るベビーダンス®教室を毎月実施しています。大空町の地域情報発信アプリを活用して告知を行うなど、大空町のバックの元、ライフワークである子育て支援活動をを続けさせていただいています。テレビや新聞などにも取り上げていただき、今後の活動が楽しみです。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）support110@town.ozora.lg.jp
（電話番号）0152-74-2111

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
大空町　移住・定住支援室サイト　https://ozoralife.com/
その他SNS　https://lit.link/ozoralife

# 北海道壮瞥町　今井　亮輔

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
41歳
【出身地】
神奈川県横浜市
【転出元】
神奈川県川崎市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R3.11～ R6.10
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

学生時代から、田舎の豊かな資源に魅力を感じ、田舎の豊かな資源を都会生活者に発信し、都会に豊かさを、田舎に消費をもたらすような循環をつくりたいと考えており、何より自分も豊かな田舎で生活をしたい、という思いから移住を決断した。豊かな資源を持つ北海道を中心に移住先を検討し、洞爺湖畔と町の雰囲気を見て壮瞥町に移住したいと思うようになった。そのタイミングで壮瞥町で移住・定住担当（移住コンシェルジュ）の地域おこし協力隊を募集していたため応募に至った。

## 今後の抱負・任期後の目標

移住・定住担当の地域おこし協力隊としては、現状、移住検討者へのオンライン移住セミナーや移住相談の対応を行っている。今後は、定住施策として移住済みの方のフォローアップにも力を入れていきたい。具体的には移住者同士をつなぐ懇親会の開催や、移住者コミュニティ作りに取り組む予定。また任期後は、洞爺湖畔の見える場所に拠点を構えて、食を中心に人が集う場所を持ちたいと考えている。

## 活動内容

**●「地域のあそびば　ミナミナ」の設置・運営**

人が集える場所、町の人と触れ合う場所、地域おこし協力隊として町の”素敵”を伝えたり、職業訓練をしたりする場所が欲しいとの思いから、2022年8月に設置。
「そうべつを知り、そうべつをつなげる」をテーマに町のコミュニティスペースであり、地域おこし協力隊の活動拠点として運営。
町のワインぶどうの収穫祭と銘打って、生産者を交えた懇親会を行ったり、町内外の何かをやりたい方を巻き込んでイベントを開催したりするなど、町の新たな賑わいの場としても活用している。

**●移住相談対応と移住体験住宅の運用**

移住検討者の相談窓口として、自身の移住の経験や、町の制度や町の様子、町内外の資源について、移住検討者に生の情報を提供している。移住検討者が納得して移住できるように情報提供するように心がけ対応している。
また町の移住体験住宅の運営管理も担っている。

**●オンライン移住イベントの開催**

北海道の移住担当者の任意団体「北海道移住のすゝめ」に所属し、不定期でオンライン移住イベントを開催しています。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（町のブログ） https://www.town.sobetsu.lg.jp/iju/kyo/
（町のfacebookページ） https://www.facebook.com/Sobetsu
（町のinstagramページ） https://www.instagram.com/sobetsu/

# 北海道弟子屈町　小島　萌

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
25歳
【出身地】
神奈川県　横浜市
【転出元】
北海道　帯広市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R４.５～R７.４
（１年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

前職で弟子屈町を担当エリアとして持っていたので2年ほど通っており、とても魅力的な町だと感じでいました。仕事でお世話になっていた町民の方に「弟子屈町に住んでみたい」と話していたら、「空き家問題に取り組む協力隊を今度募集するので応募してみては？」と勧められました。協力隊制度に以前から興味があったこと、移住希望者がいても住居が足りない、空き家が多いといった課題を前職から感じていたこともあり、「当事者として課題解決に取り組んでみたい」と思い応募しました。

## 今後の抱負･任期後の目標

地域の人や地域のことを協力隊という立場からより深く学び、根本的な課題解決に取り組んでいきたいです。行政と民間をつなぐ立場だからこそ学べる事、繋がるご縁があると思いますので、協力隊期間はできる限り地域活動に参加するなど、楽しみながら町のことを知り、感じた魅力を町内外の人に知っていただけるように発信していきたいと思います。任期中に得たことを地域のために還元できるように、人と地域をつなぐゲストハウスを開くことが現時点での目標です。

## 活動内容

**●移住コーディネーター**

窓口相談の他、オンライン移住相談を行っています。事前にオンラインでヒアリングを行い、プログラムを組むオーダーメイド制移住体験プログラムも行っています。
また、移住者同士の食事会を開催したり、移住希望者のためのオンラインコミュニティを立ち上げ、交流イベントを開催する等、移住前の交流支援から移住した後のサポートも行っています。
他には、移住情報に特化した情報発信（公式LINE、youtube動画「弟子屈町移住スタイル」等）を行っています。

YouTube
弟子屈町公式チャンネル

**●空き家調査（DB化）**

空き家バンク制度を推進し、住居不足課題にアプローチするため、町内空き家数の把握、空き家の管理者・持ち主、将来的な活用意思の有無を調査・データベース化するための活動を行っています。
町内を回り、空き家の戸数・状態を調査した後、空き家の活用についてのアンケートを実施、活用意思がある方には個別でコンタクトを取り、空き家バンク登録を勧めることを考えています。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（youtube）https://www.youtube.com/channel/UC_Ta1K2GUj9ihIiqSxtT-PQ（弟子屈町公式チャンネル内番組　弟子屈町移住スタイル）

# 北海道標津町　大野　邦江

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
40歳
【出身地】
愛媛県新居浜市
【転出元】
東京都大田区
【前　職】
会社員（IT/通信）
【活動時期】
H31.2～

## 協力隊に応募したきっかけ

- 結婚を機に夫の地元近辺へ移住をすることが決まっていた。
- 移住先で何か自分のキャリアアップへつなげられて、新たな経験ができることはないかということで、転職先を探していた。
- 標津町でのお試し暮らし体験を通して役場の方に色々とお世話になったことと、協力隊募集などのお話を伺い、応募しました。

## 今後の抱負･任期後の目標

定住サポートセンターの業務全般を引き継ぐとともに、働く場所を問わないIT人材のためのコワーキングスペースの開業を目標にしています。

【目標とするコンセプト】
- 町民や移住希望者が、起業しやすい拠点
- テレワーカーなどITの業務がしやすい環境の整備
- サテライトオフィスの提供を通した関係人口づくり

## 活動内容

### ●移住定住相談窓口

- オンライン・オフラインでの移住相談窓口対応
- 空き家・空き地バンク業務（現地確認・写真撮影・間取り図作成など）
- 移住フェアなどのイベント出展

### ●移住定住関連の情報発信業務

- 定住サポートセンターのWEBサイト「しべつ暮らし」の構築・運営。
- 公式Instagramを2022年9月よりスタート。標津町の暮らし情報や魅力発信を行っていく。

### ●新事業の企画立案

- 移住時に困ったことを基に、LINE公式アカウントの立ち上げを企画。
- ごみ収集日や分別BOTの作成・テスト運用実施。今後は本運用を目標に、役場の関係各所と連携して対応中。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）https://www.instagram.com/shibetsu_town_life/

# 青森県七戸町　高田　浩司

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
35歳
【出身地】
静岡県菊川市
【転出元】
静岡県浜松市
【前　職】
個人事業主
【活動時期】
R3.4～

## 協力隊に応募したきっかけ

インターネットで求人を探していたときに、地域おこし協力隊を見つけました。今まで東海地方を離れたことがなかったので、この制度で遠く離れた地に住めたら面白そうだと思ったのがきっかけでした。

## 今後の抱負・任期後の目標

動画の投稿を継続的に行うことと、IT関連の知識や私の経験を基にした活動の増加です。

## 活動内容

**●YouTube動画投稿**

七戸町のPRのために動画を投稿しています。町の文化や観光スポットにを紹介しています。

**●スマホ相談室**

月一で主にご高齢の方に向けたスマホ相談室を開いています。

**●DX推進支援**

七戸町のバス時刻表のオープンデータ化や、議会のウェブ中継、DX推進基盤の整備の提案などしています。画像は東奥日報より引用。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
YouTube
https://www.youtube.com/channel/UCKXjgm2PmRovwcOIV0VkATQ

# 岩手県宮古市　吉浜　知輝

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
24歳
【出身地】
岩手県宮古市
【転出元】
神奈川県横浜市
【前　職】
個人事業主
【活動時期】
R2.4～ R5.3

## 協力隊に応募したきっかけ

地域教育に関心があり、アメリカの高校に編入しました。アメリカでの進学を検討していましたが、ゲストハウスやカフェなどが新たにできた地元・宮古市の盛り上がりを知り、帰国を決意しました。帰国後、宮古と東京で２拠点複業の生活を営むなかで複業の価値を感じ、「複業など多様なかかわり方による関係人口創出事業」の募集を行っていた宮古市地域おこし協力隊に応募しました。

## 今後の抱負･任期後の目標

宮古での雇用を生むこと。
地域内コミュニティの結束を高めていくこと。
面白い人がいる地域だと対外的に認知してもらうこと。

## 活動内容

**●遠恋複業課in宮古**

宮古の企業・プログラムに複業としてかかわる「恋人人口（＝関係人口）」の増加を目指します。
移住や定住とは違う、新たなかかわり方として、今いる環境を大事にしながら宮古を好きになってもらいたいと考えます。

**●Meet up!　MIYAKO**

「宮古市に住んでいる」または「宮古市で働いている」20代を対象としたイベントを開催しています。毎回、地域外で活躍する方をゲストとして招き、いろいろなお話を伺います。
「キャリア」や「働き方」をテーマに自己成長を促す機会を提供し、地域内の定住・定着につなげ、若者コミュニティを広げることや地域力を底上げすることを目的としています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）kikaku@city.miyako.iwate.jp（電話番号）0193-77-5021

# 岩手県陸前高田市　多勢　瞳

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
25歳
【出身地】
千葉県野田市
【転出元】
東京都杉並区
【前　職】
大手人材会社勤務
【活動時期】
R2.10～

## 協力隊に応募したきっかけ

転職を検討し始めた頃、パートナーからの提案でオンラインで全国移住フェアに参加したことをきっかけに、移住に興味を持ちました。移住をするなら、地域に溶け込み生活基盤を築きやすそうな地域おこし協力隊として働こうと考え、「①2人の希望に合う協力隊の募集があるか②千葉から車で移動できる距離か③人が合いそうか」という条件に合う地域を全国で探していたところ、偶然スカウトを頂いて仕事がマッチングしたのが陸前高田市でした。

## 今後の抱負・任期後の目標

地域の良い部分はもちろんですが、マイナスになりうる要素も当然あります。そういった点もきちんとお伝えした上で、それでも陸前高田で暮らしたいと思ってくれて、「居心地が良くて気づいたら陸前高田の人になっていた！」ような人を増やすことが目標です。
そのためにも、目指しているのは「圧倒的に寄り添う移住コンシェルジュ」。1人1人のお話を伺いながら、相手に合わせたサポートを考え、提案し、移住後まで伴走させていただいています。

## 活動内容

**●1人1人に寄り添う情報発信・個別相談**

会員37,000人以上の移住サービス「SMOUT」にイベントや求人情報を掲載しつつ、個別スカウトを送信し集客。SMOUT東北ランキングでは1位を維持し、令和2年度から200件以上の移住相談を頂きました。移住定住ともに、個別のやり取りやLINEグループでの発信を続けながら、丁寧にサポートしています。

**●イベントの企画運営**

移住検討者・移住者それぞれに対し、市内10団体が求人を紹介する「陸前高田しごとフェス」や3日間の滞在で叶えたい暮らしを見つける「お試し高田暮らし」、移住者が他の移住者や地元の人と交流できる「高田暮らし交流会」などを開催し、様々なニーズに応えるべく試行錯誤を重ねています。

**●移住パンフレット「高田暮らしの手引き」製作**

私自身、縁もゆかりもない地域に移住してきた時に「欲しかった」と思う暮らしのあれこれを取材し、1冊の冊子にまとめました。相談時やアンケートの意見も踏まえ、生活費の実例や市内にあるコミュニティ、移住者や地域の人のリアルな声などを48ページに渡り、紹介しています。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Facebook）　https://www.facebook.com/TAKATAKURASHISHA

# 岩手県野田村　渡邉　真光（わたなべ　まさみつ）

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
33歳
【出身地】
岩手県　野田村
【転出元】
東京都　目黒区
【前　職】
WEBライター等
【活動時期】
R3.11～
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

もともと「いずれは地元である野田村に戻りたい」と考えていたところ、野田村ウェブサイトにて「移住コーディネータ(地域おこし協力隊)」の募集を目にしました。
これまで培ってきた技術を活かせると考え、また、当時はコロナ禍ということもあり、前職であるWEBライターでの仕事も減っていたことからもあり、応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

情報発信、移住定住促進共に長期的な視点を持って取り組みたいと考えています。

## 活動内容

### ●村公式SNS運用

Twitterやfacebook、YouTubeにて村の日常や行政上等を発信。野田村への愛着度や認知度の向上に努めています。

### ●移住定住支援制度

県事業「移住支援金事業費補助金」や村事業「野田村定住促進事業費補助金」等の移住定住に係る補助制度などの周知、運用を担当しています。

### ●野田村空き家情報バンク

村内の空き家や空き地の情報を集約し、持ち主と利用希望者の仲介等を行う当制度の担当をしています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）mirai_itk@vill.noda.iwate.jp
（電話番号）0194-78-2963　（野田村役場　未来づくり推進課）
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Twitter）　https://twitter.com/NODA_Iwate
（YouTube）
https://www.youtube.com/channel/UCphogK6c4MNXUWfXsN1GauQ

# 宮城県仙台市　金森　輝

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
28歳
【出身地】
山形県山形市
【転出元】
山形県山形市
【前　職】
IT企業の営業、個人事業主としてWeb制作・運用・管理
【活動時期】
R３.８～

## 協力隊に応募したきっかけ

友人が他自治体の地域おこし協力隊に着任し、存在を知ったことがきっかけとなった。

## 今後の抱負・任期後の目標

活動している秋保地区の空き家利活用事業のモデルをたくさん作り、地域が活性化するように尽力したい。
任期後は、起業したいと考えており、秋保地区を拠点とすることも視野に入れているので、地域の方々に応援される存在になれるよう活動していきたい。

## 活動内容

**●空き家等を活用した移住･定住促進**

空き家等の情報を収集し、定住・活用希望者との仲介に取り組むほか、成功事例等をSNSを活用して情報発信するなど、移住・定住の促進につなげる。

**●ＳＮＳを活用した地域活性化の取り組み**

地域の魅力、情報を取材し、ＳＮＳを活用して発信することで、交流人口の拡大による地域の活性化を目指す。

**●地域資源を活用した交流活動の支援**

地域団体が主催する地域資源を活用した体験交流活動を支援し、観光客や市民との交流促進による地域活性化を図る。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）aks015610@city.sendai.jp
（電話番号）022-399-2111(代表)

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（仙台秋保ナビ）https://www.facebook.com/profile.php?id=100085531340347

# 宮城県白石市　羽根　剛

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
51歳
【出身地】
神奈川県川崎市
【転出元】
東京都江東区
【前　職】
システム開発
【活動時期】
R2.10.1～

## 協力隊に応募したきっかけ

仕事の関係で仙台によく来ていた関係でたまたま立ち寄ったところ、とても環境が良かったからです。
妻にも紹介したところ大変気に入ったため、こちらで仕事を探しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

この素晴らしい土地を、東京に住む多くの方々に伝えていきたいです。
任期後は分かりませんが、なにかしら関わりを持ち続けられたらと思います。

## 活動内容

**●Webサイト運用**

SHIROISHIトというサイトを運用しています。
イベントの報告などの記事を通して白石の魅力を発信している。
今後、白石の人たちへのインタビュー記事も企画中。

**●白石でのイベント開催**

休校中の校舎を活用したりしながら、白石の自然に触れていただくイベントの企画・開催を行う。
イベントを通して白石の自然の中で自分と向き合う時間を過ごしていただいた。

**●SNS運用**

地域おこし協力隊全体のtwitterアカウントやfacebookページ、個人twitterアカウントなど、様々なチャネルを使って白石の魅力発信に努めている。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://twitter.com/ShiroishiW

# 宮城県白石市　井口　裕太

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
26歳
【出身地】
長野県下諏訪町
【転出元】
東京都江東区
【前　職】
施工管理
【活動時期】
R .2　10．1～

## 協力隊に応募したきっかけ

友人の祖父母宅が白石にあり、訪れたことがきっかけです。城下町の造りと、自然へのアクセスが容易な環境に憧れ応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

今後はshiroishi base tokyoの運営を通じ、より多くの方に白石の情報に触れていただくとともに、SNSでの発信を行っていきたいと思います。

## 活動内容

**●shiroishi base tokyoにてイベントを開催**

都心部と白石市をつなぐ交流拠点「shiroishi base tokyo」にて、集客を行いイベントを開催しました。この回は地方グルメをテーマに、広島県瀬戸田町のレモンや白石温麺を楽しんでいただきました。

**●近隣の店舗へご挨拶**

週末には温麺を持って近くのお店にご挨拶に行きます。
この日は白石温麺を販売頂いている近隣のアンテナショップさんのミニイベントにお邪魔し、様々な方に温麺を持ってお話させていただきました。

**●地域の若年層との交流**

シロベイの活用事例としての一つとして、高校生たちのワークショップの場として使っていただいた事もありました。
白石とはどんな場所か、なぜその場で暮らすことを選んだのかなどお話させていただきました。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
@wksn_Shiroishi

# 宮城県白石市　中村　真知子

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
26歳
【出身地】
東京都台東区
【転出元】
東京都台東区
【前　職】
GCストーリー株式会社
【活動時期】
R2.10.1～

## 協力隊に応募したきっかけ

都会でずっと暮らしてきた中で自然豊かな地で心豊かに生きたいと思い、候補地を探していた所、知人から白石市を紹介してもらったため。

## 今後の抱負・任期後の目標

Shiroishi base tokyoやSNS等の活動を通して、この2年間で2000人を超える人に白石を認知してもらうことができました。残り半年の活動では認知してもらった人に実際に白石に足を運んでもらえるような設計を検討していきたいと思っております。具体的には白石の町の人のインタビューを行い、その後オンラインイベントを開催することでより深く魅力を感じてもらい、実際に白石のイベントを開催して白石の魅力に直接触れてもらえるよう頑張りたいと思います。

## 活動内容

### ●shiroishi base tokyo による白石の認知拡大

イベントを定期的に開催し、蔵王の日本酒や白石温麺を提供したり、ランチに温麺を提供したり、白石の掲示物に触れてもらったりすることを通して、白石を認知してもらい、愛着を持ってもらえるよう取組みを行っている。

### ●白石での魅力を感じて貰うイベントの企画

白石にて白石の魅力を感じてもらえるようなイベントの企画開催を行っている。白石の自然や食に触れてもらいながら、参加者同士での対話を通してこれからの生き方、働き方を深めるイベントを開催。

### ●SNSやWebを活用した情報発信

Shiroishi base tokyoに来てくれた人をfacebookにてコミュニティ化し、白石の日常や魅力的な場所の発信を行っている。そうすることで白石を身近に感じ、行ってみたいと思ってもらえるよう取り組んでいる。

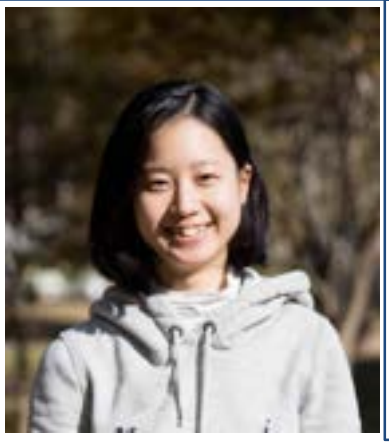
## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
@wksn_shiroishi

# 宮城県白石市　髙橋　啓花

**移住・定住促進**

## 基本情報



【年　齢】
26歳
【出身地】
兵庫県神戸市
【転出元】
東京都江東区
【前　職】
インハウスデザイナー
【活動時期】
R2.10～
(3年目)

## 協力隊に応募したきっかけ

偶然縁があり遊びにいった際に、自然の豊かさや城下町の雰囲気に惹かれたのが応募のきっかけです。

## 今後の抱負・任期後の目標

白石に住む魅力的な方々について知るうちに、実際に会いに行きたいと思っていただけるようなインタビューやイベントを実施しようと思っています。イベントでは、来た方が心豊かな時間を過ごしていただけるようなコンテンツを用意し、白石の魅力をより知っていただけるようがんばります。

## 活動内容

**●不忘山登山イベント**

白石市の不忘山に登るイベントを開催しました。前日は山の近くのキャンプができる施設でBBQと焚き火をし、下山後は白石の温泉地の宿泊施設で身体を休めつつ参加者同士での対話を通して、それぞれの気づきを共有すると同時に、白石という土地への魅力を感じて帰っていただけました。

**●お寺で自己の内面と向き合うイベント**

白石市にある傑山寺という坐禅体験もできるお寺にて、坐禅と写経を通して落ち着いた時間を過ごし、自分と向き合う時間を持っていただくイベントを開催しました。対象は、日頃忙しく仕事を頑張っている組織のリーダー層の方々で、落ち着いた時間をゆっくり過ごしていただけました。

**●休校中の学校で焚き火を囲んで対話イベント**

白石市にある休校中の学校をお借りして、BBQや焚き火を囲んで対話するイベントを開催しました。翌日は参加者と白石の観光名所をいくつか巡り、昼食には宮城県の野菜を使用しているお店で食事を楽しんでいただきました。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
HP
twitter https://twitter.com/wksn_Shiroishi

# 秋田県秋田市　古屋　亮太

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
４１歳
【出身地】
秋田県秋田市
【転出元】
大阪府大阪市
【前　職】
伊藤忠丸紅鉄鋼㈱
【活動時期】
Ｒ３.４～

## 協力隊に応募したきっかけ

秋田県外に住んでちょうど２０年。母校ラグビー部の部員が集まらないニュースを聞き、何か自分でできることがないかを後輩に相談したことがきっかけ。動いているうちに、商社で１５年勤務した経験を地元で活かすことができると考えた。また、それは地元・お世話になった方、家族へ恩返しする機会を作ることに繋がるので、当時の自分にとって最も良い選択肢としか思えなかった。

## 今後の抱負･任期後の目標

『秋田をスポーツで元気にする』を実現したい。地域おこしは地域資源の磨き上げや発信も重要であるが、人材が最も重要だと考えている。魅力ある人材が継続的に集まる活動をして、楽しく、盛り上げていきたい。

協力隊２年目で設立した会社を軸に活動していく。４年に１回のラグビーW杯イヤーにイベント開催を継続する。

## 活動内容

**●首都圏の秋田関係人口を繋ぐ！**

秋田と関わり代の有る首都圏の企業や人材を探し訪ねて、繋ぐ活動をしている。首都圏には地域と関係を持ち、貢献したい人材や企業は多数存在する。秋田から出向いてその思いや活動内容を取材し、可視化する。その結果、次のアクションへ繋がり、地域創生に携わる人材を増やしていく。

**●ラグビーを通じた街の賑わいづくり！**

スポーツ（ラグビー）を通じた街の賑わい作りを目指している。スポーツは観客の感動を呼ぶものであり、その選手が街の活性化や地域経済が回る活力となることは重要と考えている。
2021年12月に秋田市の中心市街地でクリスマスパレードを開催した。

**●地域で観光客を呼び込んでパブリックビューイング！**

2023年ラグビーW杯において、パブリックビューイングを実施したいと考えている。
ラグビーチームの秋田ノーザンブレッツでGMを勤めており、そのリソースを活用する。
県内・地元の企業や団体との連携を深め、県外からの観光客を呼び込んで開催したい。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）ro-plop@city.akita.lg.jp　（電話番号）018-888-5487
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

# 秋田県秋田市　毛利　菜摘

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
29歳
【出身地】
神奈川県横浜市
【転出元】
神奈川県横浜市
【前　職】
ベルリッツ・ジャパン㈱
【活動時期】
Ｒ３．4月～R6.11月
（２年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

日本各地を旅行することが趣味で、結婚を機に生まれ育った横浜以外の場所で生活することを検討。コロナ過でいくつかの地域に移住相談をし、祖父母が暮らしていた秋田市への移住を決意。移住前には現役隊員の方よりオンラインで相談にも乗っていただき、自分もせっかく移住するのであれば今後いらっしゃる方々のお役に立てるような移住定住コーディネーターの仕事に魅力を感じ応募。

## 今後の抱負･任期後の目標

お子さんを抱えて移住、Uターンされている方が多く、移住された方も、秋田市民の方々にも家族で楽しんでいただけるような交流、イベントを企画し、実施していく。また、退任後は自身の家を改築し、小さなお子さんがいても気軽に訪れ、ランチをしたり、お子さんを遊ばせたり、利用者と交流できるような、カフェ、ゲストハウスの設営を目指す。

## 活動内容

**●7月移住者交流会**

のんびり家族で交流TIMEと題し、空き家バンクから改築した広いゲストハウスのお庭をレンタル。大きなビニールプールを用意し、秋田のおじいちゃんおばあちゃんの家に遊びに来たような体験のできるイベントを企画。大人も子どもも移住者さんのお店のピザランチを楽しみ、助産師さんに育児相談も◎。

**●移住WEB相談会**

子育て編という形で、市内で産後ケア施設を運営されている助産師、子育てサポート団体の代表、マザーズハローワークの職員をお招きし、いずれも市内で子育てを経験されたママたちから生の声をお届け。移住後も頼れる場所があることをＹｏｕｔｕｂｅにて配信した。

**●10月移住者交流会**

市内の自然を身近に体験できる大森山キャンプ場を利用し、移住者家族と秋田市民のご家族が参加。地域情報や子育て情報の交流を行った。未就学児は地域の大学の保育課学生に託児を依頼。テントサウナとBBQを楽しんで、小さなお子さんがいても気軽にアウトドアを楽しめるようなイベントを企画。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）ro-plop@city.akita.lg.jp　（電話番号）018-888-5487
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

# 秋田県秋田市　名谷　宗泰

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
32歳
【出身地】
島根県安来市
【転出元】
東京都板橋区
【前　職】
人事・採用
【活動時期】
R3.4～

## 協力隊に応募したきっかけ

仕事の関係で、東京や沖縄、シンガポールなどさまざまな土地で暮らした経験から、知らない土地に住むということの楽しさを感じ、地方に移住したいと思うようになりました。
また、将来は、カメラを使ったビジネスの起業を考えており、協力隊活動の中で秋田市のＰＲを行い、起業につなげることも視野に入れて応募しました。

## 今後の抱負･任期後の目標

写真・動画の撮影編集での起業を考えております。

## 活動内容

**●写真撮影:移住促進ポスター/協力隊イベント撮影**

**●秋田市の魅力発信**

■教育環境の発信動画(創造力と協調性を育むサンドアート・スイカ割り)
https://youtu.be/gGrbpbKbvQs
■秋田市の景色とヨガのコラボ動画
https://youtu.be/j7wUvLk4N3E
■新規就農研修 紹介動画
https://youtu.be/igZF2LPy47g

**●移住検討者向け 生配信(YouTube Live)**

■第8回秋田市移住WEB相談会[暮らし・流行・仕事・お笑い]
https://youtu.be/tM0EpNA4kUk

■ “秋田暮らし”をおうちで体験！秋田移住オンラインツアー「秋田市編」
https://youtu.be/aWA5T-sgtuQ

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）ro-plop@city.akita.lg.jp　（電話番号）018-888-5487
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

# 山形県朝日町　鈴木　公人

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
42歳
【出身地】
東京都江東区
【転出元】
山形県南陽市
【前　職】
自営業
【活動時期】
H31.4～

## 協力隊に応募したきっかけ

ボードゲームができるゲストハウスでのスタッフが、業務内容の地域おこし協力隊の募集があり、ゲストハウス、ボードゲーム、地域おこし協力隊の三つとも、興味･関心があったので応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

コロナ禍の中でもボードゲームのイベントなどを開催して、場所の認知や、つながりをつくりたいと思っており、今年は多くのイベントを企画します。

## 活動内容

**●ゲストハウス松本亭の運営**

ゲストハウス松本亭一農舎に来られた来訪者・宿泊者の方のおもてなしや、空気神社などの町内案内のほか、移住交流のきっかけ作り、つながり作りを行っています。
（松本亭への宿泊をきっかけに移住を検討された方も！）
また、フリースペースとして場所を開放し、地元の子どもたちなど、地域住民の交流の場として利用していただいています。

**●ボードゲームで交流づくり**

交流する人を増やし、世代間や町内外の交流づくりのため”大人もボードゲーム大会”などボードゲームを通じた交流の場作りを複数回行っています。
町内外からの参加者に参加いただき交流の場として利用いただいています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）info@1no.jp（職場）
（電話番号） 0237-84-0880（職場）
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】
https://www.facebook.com/1nojp

# 山形県大石田町　土田　徹奈

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
22歳
【出身地】
山形県鮭川村
【転出元】
山形県新庄市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R3.4 ～

## 協力隊に応募したきっかけ

イラストやデザイン関係に興味があり、得意分野でもありました。それを活かして周りに発信することに挑戦してみたいと思っていました。そこで見つけたのが、『地域おこし協力隊』でした。また、もっと山形を知りたいと思い、よく訪れたことのある『大石田町』に決めました。

## 今後の抱負・任期後の目標

町のコミュニティスペースでもあるKOEnoKURAを町民にとって欠かせない存在に。大石田町民に『大石田』（ふるさと）を今よりもっと、好きなところ・自慢できるところを増やす活動・イベントをしていきたいです。

## 活動内容

**〇現在の活動について**

普段は、駅前賑わい拠点施設KOEnoKURAの運営に携わっています。様々な方と関わる上で、自分の知らなかったことをたくさん教えて頂けてとても嬉しいです。自分の強みを知って頂いて、イラスト・チラシデザインの依頼があり地域の方との繋がりや信頼が出来てきていると実感しているところです。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）koenokura@vesta.ocn.ne.jp
（電話番号）0237-35-2111（大石田町役場まちづくり推進課）
0237-35-3036（KOEnoKURA）

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】
（instagram）
https://www.instagram.com/tsuchiii_oishida214/?hl=ja
（Facebook）
https://www.facebook.com/profile.php?id=100065978952726

# 山形県大石田町　久龍　花怜

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
27歳
【出身地】
高知県南国市
【転出元】
大阪府岸和田市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R3.4 ～

## 協力隊に応募したきっかけ

大学への進学を機に、転出地の大阪府で一人暮らしをしていたが、もっと人と関わる仕事や生活がしたい、と感じるようになり、転職と移住を決意。移住スカウトサービス「SMOUT」にて、地域おこし協力隊の募集特集を閲覧していた折、当時の希望に最も近いと感じた、大石田町の募集に応募。

## 今後の抱負・任期後の目標

運営中の「KOE no KURA」を今以上に、町民にとって馴染みのある施設にしていきたい。町民自身に「大石田町が好き、暮らしていて楽しい」と思ってもらえるように、イベントを開催したり、交流を深めていきたい。

## 活動内容

**〇現在の活動について**

担当しているミッションが関係案内所の運営ということで、町民や近隣市町村の方とお話しする機会が多くあるが、方言や訛りで話が聞き取れないことが多々あり、申し訳ない気持ちがある。少しずつ名前や顔を覚えてもらえ、気軽に話しかけてくださる方が増えていることがとても嬉しく、達成感がある。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）koenokura@vesta.ocn.ne.jp
（電話番号）0237-35-2111（大石田町役場まちづくり推進課）
0237-35-3036（KOEnoKURA）

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】
（Instagram）
https://www.instagram.com/oishida_doragon/?hl=ja
（Twitter）
https://twitter.com/oishida_doragon

# 山形県飯豊町　家財　綾

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
34歳
【出身地】
熊本県玉名市
【転出元】
東京都世田谷区
【前　職】
東京都公立中学校教員
【活動時期】
Ｒ１.５～Ｒ４.３
（４年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

移住先を探していた際、飯豊町とご縁がある友人の紹介で町を訪れ、町の雰囲気に心地良さを感じ、移住を決意。自身の移住経験を活かし、移住定住コンシェルジュとして今後の移住希望者や地域の役に立てればと思い協力隊に応募。

## 今後の抱負・任期後の目標

町内には人が集まる場所が限られている。移住当初より感じていたことであるが、今後は移住者や地域の人が集まれる、繋がれる場所を作っていきたい。さまざまな活動を通し、同じ思いを持つ仲間ができた。その仲間とともに地域の居場所を作る。

## 活動内容

**●雪囲い講習会・雪かき講習会開催**

初めての雪国生活をする移住者にとって雪の生活は不安が多くある。そんな不安を取り除くためにも、雪かき講習会や雪囲い講習会を実施。助けを求められる繋がりもできた。

**●移住者交流会開催**

少しずつ移住者が増えてきたが、移住者同士が繋がれる場所がなかった。移住者や地域の人と繋がりたいという移住者のニーズもあり、移住者交流会を企画。地域の方に笹巻作りを教わる体験交流会も開催し、地域の方との交流も生まれた。

**●移住フェア出展・移住希望者町内案内・空き家バンク**

移住希望者の方のご希望に合わせてコーディネートし、町内を案内。空き家バンクの運営も実施しており、空き家バンク登録物件への問合せや内覧についても対応。移住時には部落長さんへのご挨拶への動向や移住後も定期的なご連絡で困り事はないか等のヒアリング。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）kazai999@town.iide.Yamagata.jp
（電話番号）0238-87-0521　企画課総合政策室

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
飯豊町地域おこし協力隊Instagram

# 茨城県常陸太田市　橋本　大輝

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
37歳
【出身地】
山口県下関市
【転出元】
東京都台東区
【前　職】
個人事業主:全国各地にて民謡演奏，民謡講師、普及企画
【活動時期】
R2.11 ～ R5.10

## 協力隊に応募したきっかけ

コロナ禍のなか仕事が激減して都心に家族で暮らすことに疲れを感じるようになり、地域おこし協力隊について市のホームページで知り、その自治体が妻の出身地だったから。

## 今後の抱負･任期後の目標

地域の皆様に楽しんでもらうための活動拠点を運営しながら，和楽器のスキルを活かして市民との交流を深めていき，退任後の定住につなげていきたい。

## 活動内容

**●市の移住･定住PR活動**

市SNS等の活用，FMラジオの放送，市内外イベントへの参加･運営など，様々なチャネルで市のPR活動を実施。また，周辺地域（市外）の協力隊との交流を深め、互いに協力しながら活動(いばらきEXPOなどのイベントや他地域の協力隊が活動する地域視察など)。

**●市内空き家の掘り起し，空き家の利活用活動**

民生委員や各町会の会議等や市内各地のイベントに参加し，市民交流を通して空き家バンクへの登録（掘り起こし）を促進。
空き家の利活用として，地域の活動拠点を作り，市内外の方々や、常陸太田市に定住させるための活動を中心に実施。

**●地域活性化**

幼稚園や保育園で園児を対象に和楽器体験会を実施。地域の子供達に楽器の体験や演奏の実演を通して、日本の音楽に触れてもらう活動を行った。
また，公民館での定期的な和楽器の公開練習を行い，市民交流を図る。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）kikaku3@city.hitachiota.lg.jp
（電話番号）0294-72-3111（内線346）
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
市協力隊SNS（Facebook）
https://www.facebook.com/hokyoryokutai

# 栃木県真岡市　檜澤　しのぶ

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
46歳
【出身地】
栃木県　真岡市
【転出元】
東京都　港区
【前　職】
ホテル勤務　営業職
【活動時期】
R4.4～

## 協力隊に応募したきっかけ

前職のホテル勤務当時、コロナ禍の影響で東京営業所が閉鎖。本社（ホテルオークラ新潟）勤務を検討したが、おもいきって退職。営業職という、常に売上の数字を背負い、顧客にはオークラという期待値を超える演出をする日々は、やりがいがあったが仕事に追われる生活だった。「人生後半戦をどう生きたいか」を自問し、「人に関わりたい」「ワークライフバランスがとれた生活をしたい」ことに気づいた。退職後、以前より興味があった「地方創生」を学ぶなか、地元の同級生が高校生や大学生、大人と市が官民協働して「まちづくり」に励んでいることを知り、地元に興味をもつ。縁に導かれるように、地元の協力隊の応募を発見。自分がやりたいことと、一貫してサービス業に携わってきた経験が活かせる移住定住コーディネーターに興味をもち、応募に至る。

## 今後の抱負･任期後の目標

移住は人生の大きな決断である。移住相談者のお声をしっかりきき、ひとつひとつ解決していきながら、親身に対応していきたい。また移住前の相談だけでなく、移住後も同様に重要だと考える。会員制ラウンジ「moka no kurashi」の利用を促進し、移住者が真岡市に愛着をもってより良い暮らしができるよう、十分にサポートしていきたい。
任期後は引き続き移住定住コーディネーターとして業務を希望。起業を予定している。

## 活動内容

### ●移住定住コーディネーター業務

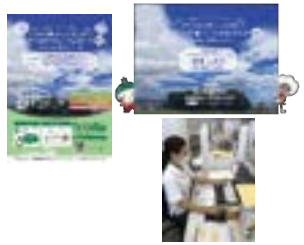
・移住相談者の相談窓口（対面やZOOM等）業務。生活、就業、子育て、住居など幅広い質問の窓口として親身に対応。また希望者には、生活に関した施設や希望する地域を市内案内し、真岡市の暮らしをイメージしていただく。
・「移住フェア」「就職面接会」等に積極的に参加し、手厚いサポート支援を広くPRする。

### ●会員制ラウンジ「moka no kurashi」開設

栃木県内初！移住者と移住を前向きに検討している方限定のオンラインコミュニティ。移住者に人間関係をつくってもらう、つながる場所。また移住検討者が先輩移住者とやりとりすることで、移住後のギャップをなくすことも目的。他にイベント情報や行政情報を発信することで「人と地域」をつなげ、移住者だけでない交流もはかり、真岡でより良い生活をしてもらうことにもつなげる。

### ●移住オンラインセミナー開催

自然が豊かで気候が比較的穏やか。そして生活の利便性がある真岡市。あわせて県内屈指の子育て支援があり、その成果の一つとして年少人口比率は県内3位。その点に注目し、子育て世代に興味や関心をもってもらうよう開催。真岡市で初開催！！今後もシリーズで続けていく予定。



## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
真岡市　総合政策部秘書広報課　シティプロモーション係
（メールアドレス）city-pr@city.moka.lg.jp　（電話番号）0285-81-6947

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（地域おこし協力隊　Facebook・Instagram）

# 栃木県下野市　保澤　美幸

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
47歳
【出身地】
栃木県　真岡市
【転出元】
北海道　北見市
【前　職】
地域おこし協力隊
【活動時期】
Ｒ３.９～Ｒ６.９
（２年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

東京では待機児童問題のため１０年間働けず、地域おこし協力隊として東京を脱出しました。北見市で協力隊として活動していたところ、地元栃木県での地域おこしをしたい！との気持ちが大きくなり、下野市地域おこし協力隊として今回ご縁があり応募させていただきました。

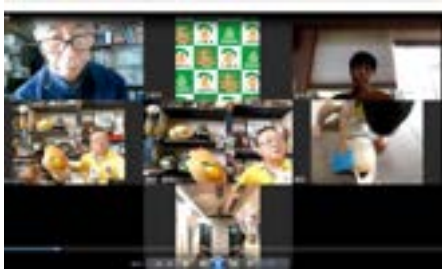
## 今後の抱負・任期後の目標

私のミッションは移住・定住促進、関係人口づくりなので、その点で下野市は電車、車の両方で東京からのアクセスも良く、自然豊かで医療も充実し、可能性が高い地域だと考えています。
東京から北海道、更に下野市へと子連れで移住してきた自分の経験を活動に生かし、下野市を盛り上げていけたらと思っています。

## 活動内容

**●下野市オンライン交流会**

本市の魅力をお伝えするため、定期的にオンライン交流会を開催しています。下野市の概要やプロモーション動画、特産品など下野市を知っていただく機会となればと思い交流会を企画しています。



**●しもつけ移住者交流会**

移住をして終わりではなく、下野市でより日常生活が豊かになるように、移住者同士のつながりづくりや下野市の良さについて改めて感じていただくため、移住者交流会を開催しています。

**●移住者の声**

移住検討中の方々の参考としてもらうために移住者の声を募集しています。
聞き取った移住者の皆様からの声は市シティープロモーションサイトにて掲載予定です。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）sougouseisaku@city.shimotsuke.lg.jp
（電話番号）0285-32-8886　（下野市総合政策課）

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】
https://www.city.shimotsuke.lg.jp/2055/info-0000005661-1.html

# 埼玉県小川町　三玉　璃紗

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
27歳
【出身地】
神奈川県横浜市
【転出元】
神奈川県横浜市
【前　職】
一般社団法人the Organic
【活動時期】
R3．4～

## 協力隊に応募したきっかけ

・前職で小川町のまちづくりプロジェクトの事務局を担当していた。コロナ禍で現地に行けなかったが、自分もプレイヤーとして、町内の魅力的な人たちと関わりながら町を盛り上げたいと思ったから。
・元々田舎暮らしをしたいと思っていて、知り合いも増えてきた頃で、移住しやすさを感じたから。

## 今後の抱負・任期後の目標

・NESTоとして取り組んでいる「循環」とキーワードとしたイベント等を開催していく中で、今まで交流してこなかった町内の人たちを繋げること。
・NESTоに通う、多様な人たちが交流する場所や機会を作り、コミュニティを活性化させていくこと。

## 活動内容

**●コワーキングロビーNESTоの受付･運営業務**

新規会員登録受付、既存会員の利用受付、レンタルスペース利用時の対応、施設掃除など。

**●コワーキングロビーNESTоを拠点としたコミュニティ作り**

平日夜の仕事終わりのコンテンツとして、会員交流会やヨガイベントを企画・開催。コワーキング会員の交流の場作り。

**●地域関わり隊のイベント事業**

石蔵NESTоができるまでをテーマとしたトークイベント、親子ハイキング、しめ縄づくり、餅つきイベント、味噌づくりWSなどの開催。
NESTоの利用者を中心として、町内外の参加者に、小川町の地域資源を満喫できるイベントを企画・開催。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Instagram　coworkinglobby_nesto
shmesh_lisa

# 埼玉県小鹿野町　佐々木　均

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
57歳
【出身地】
埼玉県川口市
【転出元】
埼玉県川口市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R2.1.1～

## 協力隊に応募したきっかけ

秩父のNPOにてメープルシロップの製造や限界集落サポートなどの活動していたのですが活動を通して秩父の魅力に惹かれて協力隊のことを聞き、応募を考えました。
特に小鹿野町の協力隊は任期後の起業など自分のスタイルに合った活動ができ、より秩父に溶け込める活動ができることがポイントでした。
前職がアウトドアメーカーでしたので、いずれは小鹿野でしかできない里山の自然を満喫していただける少人数キャンプ場の設立を考えています。
地域の限界集落サポートに関しての内容も好条件でした。

## 今後の抱負・任期後の目標

今後は小鹿野町伊豆沢を拠点にしてキャンプ場、山椒・柚子の栽培を確立し、小鹿野の自然と里山保全をテーマに起業を目指します。
山椒に関しては小鹿野地域ブランド化できればと考えています。
地域おこし協力隊の活動を通して小鹿野町内外の方々との交流も育まれてきたので、色々な方々の橋渡しとして貢献できればと思っております。

## 活動内容

**●移住促進・関係人口創出活動**

ワークショップ、イベントなどの企画、立案、準備運営作業、小鹿野町内でのお手伝い活動（イベント準備、開催協力など）、秩父地域での協力隊交流活動（イベント、ワークショップ参加など）

地域での活動としてワイナリーのお手伝いや柚子や山椒のワークショップの開催、町内在住の芸術家の方の個展開催の展示などのサポートをはじめ、小鹿野町外でのイベントなどへも精力的に参加させて頂いています。
町内に関心のある大学生の卒論サポートなど多岐にわたり、町内外問わず活動させて頂いております。

**●キャンプ場設立準備活動**

現在、町内伊豆沢にてキャンプ場開設の準備を行いながら、伊豆沢・飯田地区にて山椒、柚子の栽培を行っております。
また、町内外の有志の方と柚子、山椒栽培をはじめ里山保全のグループ「小鹿野里山倶楽部」を立ち上げお手伝い頂いております。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（電話番号） 0494-75-4197（小鹿野町役場総合政策課）

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】
facebook　個人
https://www.facebook.com/sasaki.hitoshi.71/
小鹿野里山倶楽部
https://www.facebook.com/profile.php?id=100083300044471

# 千葉県香取市　岡田　天太

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
25歳
【出身地】
東京都国分寺市
【転出元】
東京都世田谷区
【前　職】
大学院生
【活動時期】
R3.8～

## 協力隊に応募したきっかけ

3年ほど前から大学の研究室で香取市の活性化に従事しており、募集のタイミングで市内の方から本制度についてご紹介をいただいた。
　この制度を活用することで自治体や市内の民間事業者等と連携し、様々な形で市の活性化に関する取り組みを行えると考え、応募した。

## 今後の抱負・任期後の目標

東京からも比較的近く、コロナによる自然と共生した生活の需要の高まりによって香取市は今後さらに魅力的な地域になっていくと思います。
　そのような外部環境の変化を捉えつつ、市内の様々な方が連携するための結節点として地域おこし協力隊を位置づけ、新たな価値を生み出していきたいです。

## 活動内容

**●おためし地域おこし協力隊ツアー企画/実行**

次世代の地域おこし協力隊候補の方向けに2泊3日でツアーを実施。大学生および大学院生を対象とすることで若年層の地域おこし候補者の発掘を行った。この活動を通して、自治体と地域おこし候補者のミスマッチの削減につなげる。

**●文化的施設へのIT導入支援**

香取市佐原地域の代表的な建設物であり、観光資源としても知られる佐原三菱館において、音声ガイドの導入支援を行う。これにより人手不足でガイドができない状況を改善。

**●移住検討者向け農家ツアー**

移住を検討する人向けに、主幹産業である農業の視点から香取市の魅力を伝えるべく、事業規模が様々な農家を回る農家ツアーを企画・実行。移住検討者への魅力発信と共に、生産者の後継ぎ不足の解消に向けてのマッチングを目指す。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）tenta.o@sawara-machinami.org

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://www.facebook.com/tentaokada

# 千葉県香取市　顔冬子

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
38歳
【出身地】
中国吉林省
【転出元】
東京都北区
【前　職】
医療通訳
【活動時期】
R４.５～

## 協力隊に応募したきっかけ

神社・寺院巡りが好きで、友人の案内で香取神宮を訪ねたことがきっかけで佐原地区とご縁ができ、何度も訪ねるうちに、好きな着物が似合う街並みが大好きになりました。さらに香取市はじめ北総エリアの自然や歴史にも興味を持ってきたところで、地域おこし協力隊隊員募集を知り、応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

香取市の歴史や文化を国内外へ発信していきたいと思っています。インバウンドの復活も期待できるので、具体的に企画して都内や海外から人を呼び込み、香取市ファンを増やし移住定住に繋げて参ります。さらには企業誘致なども積極的に取り組んでいきます。将来的には香取市や北総エリアの魅力を発信して、内外のネットワークで地域の活性化に繋げていきたいと思っております。

## 活動内容

**●地域PRイベント**

香取市の魅力を多くの方に伝えるため、日ごろから様々な活動を行っています。最近では、JR東日本臨時列車「やまどり号」「特急あやめ祭り号」のお出迎えやお見送りに、ご当地ゆるキャラと共に参加させていただき、香取・佐原のおもてなしやPRをさせていただきました。

**●地元高校生を対象としたワークショップの開催**

ユネスコ無形文化遺産にも登録されている佐原の大祭の際に、地元高校生向けのまちづくりのワークショップとして、高校生に浴衣の着付をして、大祭の来場者を対象とした扇子の絵付体験や休憩所としてのおもてなしなどを一緒に行いました。

**●空き店舗活用**

市内の空き店舗活用促進として、都内で人気の飲食店（中華料理）を誘致。何度も香取・佐原をご案内して地元への愛着を持っていただき賃貸契約が成立しました。市内には本格的な中華料理店が少ないため伝統的な町並みと中華のコラボが楽しみです。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
E −mail:sawara_machi@yahoo.co.jp　（電話番号）0478-54-7766

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://www.facebook.com/katori.kyoryoku

# 東京都檜原村　髙橋　春香

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
３２歳
【出身地】
新潟県新潟市
【転出元】
東京都品川区
【前　職】
会社員
【活動時期】
Ｈ３１.４～Ｒ５.３
（４年目）
【活動中断期間あり】

## 協力隊に応募したきっかけ

檜原村のお祭りに参加した際に村の方の家族のような温かさと繋がりに触れ、村に何度も遊びに行くうちに、村の方と村に貢献したいと考えるようになりました。その後、個人的に村の情報発信を行いましたが、個人でできることの限界を知り、協力隊という立場で村に貢献したいと考えたことがきっかけです。

## 今後の抱負・任期後の目標

任期後は女性限定のシェアハウスをオープンします。檜原村は空き家はたくさんありますが、なかなか賃貸として表に出ない、田舎暮らしをしたくても住む家がない状況です。また、お試し移住をしてみたいと思っても、できる場所がありません。私自身、村に移住し、村の方の優しさや住みやすさを体験し、私と同じように檜原村に住みたい人がいるのではと感じました。今回、シェアハウスをオープンし、村の方とのコミュニケーションや村での生活を味わい、移住者が増えると嬉しいです。また、檜原村も若い人が増えることでより生き生きとした村になること間違いなし！

## 活動内容

### ●地域のお祭りに参加

9月は村内各地でお祭りがありました。獅子舞のササラをやらせていただき、普段はできない伝統を経験させていただいたことをありがたく思います。昔から続くものを地元の小さな子どもからお年寄りの方まで協力して守っている姿が都心部にいると味わえない檜原村ならではの魅力だと感じました。

### ●村内でのイベント企画

児童館で子どもたちとネイチャーゲームをさせていただいております。自然を使って自然の中で遊ぶゲーム。私より子どもたちの方が自然の楽しみ方を知っているなぁと感心し、勉強になります。子どもたちと自然からパワーをたくさんもらい、エネルギッシュな秋になりそうです。

### ●空き家の現地調査

隊員２名で空き家の調査をしています。持ち主の方へのご連絡を進めていますが、現状、村内で売り出される空き家は少なく、賃貸の空き家は、年に１・２件ほどしか出ません。この調査から空き家の賃貸・売買物件が沢山出て、村に住みたい人が村内に家を見つけ、人口増加に繋がると嬉しいです。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）muradukuri@vill.hinohara.tokyo.jp
（電話番号）042-519-9556

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（檜原村地域おこし協力隊Facebook）
https://www.facebook.com/hinohara.chioko.tokyo

# 東京都三宅村　山内　拓

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
29歳
【出身地】
千葉県千葉市
【転出元】
千葉県山武郡横芝光町
【前　職】
農業生産法人
【活動時期】
2020.11～

## 協力隊に応募したきっかけ

三宅島に行ったときに島民の方に話かけられて、三宅島には移住者が多いという話などを聞いて、自分も移住を決めました。なので、今度は私が誰かの移住のきっかけになりたいと思い、応募しまいた。

## 今後の抱負･任期後の目標

任期が残り1年となるので、集大成となるような1年にしたいと思っています。また、任期終了後にどのように島で生きていくかも考えながら活動していきたいです。

## 活動内容

**●島ぐらし体験事業のサポート**

三宅村のお試し移住事業「島ぐらし体験事業」の開催時に、移住者だからこそわかる目線を大事にしつつ、サポートスタッフとして、全日程に参加しました。

**●オンラインの移住相談**

コロナの影響で「島ぐらし体験事業」が 2年半開催できませんでした。また、移動の制限もあって島外の方は来島しにくい状況でした。そのため、代替として家からでも参加できるオンラインの移住相談を行っています。

**●移住定住イベントへの参加**

三宅島単独での移住相談イベントや、全国の移住マッチングイベントに参加し、移住を考えている方々と直接話し、移住を促しました。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）welcome@island-miyake.tokyo

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Twitter）https://twitter.com/welcome_miyake

# 神奈川県真鶴町　松木　一平

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
29歳
【出身地】
神奈川県真鶴町
【転出元】
神奈川県小田原市
【前　職】
コミュニティカフェ店長
【活動時期】
R４.８～

## 協力隊に応募したきっかけ

生まれも育ちも真鶴町ですが、進学を機に町外で生活していました。真鶴町へのUターンを意識したのは、メインの商店街で多くの店舗にシャッターが降りている光景を目にした時です。「このままでは故郷が無くなってしまう」という危機感を抱き、何かできないのかと模索している中で地域おこし協力隊の募集が目に留まりました。「自分の故郷を守りたい」という一心で、迷わず応募いたしました。

## 今後の抱負・任期後の目標

高校卒業後は調理師専門学校に進み、その後、300年の歴史がある京料理和食レストランで修行を積みました。
その後、自分のやりたい方向が見つかり、機動力を活かすために独立し、コミュニティカフェの運営に携わってきました。
地域のコミュニティづくりやマネジメントの経験を活かし、故郷である真鶴町を、再び活力ある希望溢れる町とするため、サテライトオフィスやワーカー誘致に全力を傾けて業務に取り組んでまいります。

## 活動内容

**●真鶴町の地域課題の把握・分析**

サテライトオフィス誘致活動に向けて、行政や町内事業者など様々な立場の方々から地域課題をヒアリングしています。
ヒアリングした課題をもとに、誘致すべきターゲット企業を選定し、誘致に向けてのアプローチを実施します。

**●進出検討企業との商談**

真鶴町に興味を持つ企業から、事業内容や真鶴町でやりたいことなどをヒアリングしています。
ヒアリングの内容をもとに、連携出来る進出検討企業と調整し、真鶴町に視察に来ていただきます。

**●マッチングイベントの運営サポート**

株式会社あわえや総務省が主催する、地方進出に興味がある企業とサテライトオフィスを誘致したい自治体とをマッチングするイベントがあります。マッチングイベントには真鶴町も出展するため、プレゼン日に向けて準備をしております。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Facebook　https://www.facebook.com/profile.php?id=100085972556691
Instagram　https://www.instagram.com/awae_manaduru/?hl=ja

facebook　Instagram

# 新潟県燕市　森　瑞稀

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
25歳
【出身地】
千葉県松戸市
【転出元】
新潟県新潟市中央区
【前　職】
管理栄養士兼介護職員
【活動時期】
R3.9～ R5.3
（2年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

燕の知り合いから勧められて応募があることを知ったことがきっかけです。
自分自身もIターンで縁もゆかりもない土地に来た経験者なので、同じような人のサポートをし、移住定住につなげられたらと思い応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

毎月行っている移住者交流会やSNSの発信などにより、燕市の魅力発信を頑張りたいと思っています。
３年後についてはまだ未定ですが、新潟には住み続けたいと思っています。

## 活動内容

### ●移住者交流会の運営

移住者の方を対象におおむね月1回程度、「移住者交流会」を実施しています。
まち歩きやスポーツ体験のほか、管理栄養士の資格を活かしてご当地グルメをテーマにした料理教室を企画するなど、移住したみなさんの仲間づくりや、燕市のことをしってもらうきっかけとしています。

### ●コミュニティラジオ

毎週火曜のお昼に放送されるコミュニティラジオにおいて、協力隊がみた燕市のいいころや、イベント情報などを市民に届ける「ツバメビトチャンネル」の放送を担当しています。
協力隊全員で分担して、取材から収録まで行っています。

### ●移住ツアーアテンド

移住希望者の方を対象とした移住体験ツアー「ツバメビト移住ツアー」のアテンドをしています。実際に燕市内をアテンドし、不動産やスーパーや子育て支援施設、地場産業の見学などを通して移住後の暮らしをイメージしやすくしています。移住者交流会のメンバーとの面談の機会を設けることもあります。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）mizuki_mori.r@city.tsubame.lg.jp
（電話番号）0256-77-8364

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Instagram　　@tsubame_chiikiokoshi

TSUBAME_CHIIKIOKOSHI

# 山梨県韮崎市　片上　隆三

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
32歳
【出身地】
福岡県北九州市
【転出元】
東京都港区
【前　職】
消防士
【活動時期】
R4.7～

## 協力隊に応募したきっかけ

きっかけは「葡萄農家」として新規就農をしたいと思ったことです。農業後継者不足も問題視される中、耕作放棄地の数も増加していることを知りました。低迷し続ける食料自給率問題の背景には、食事の内容が変わっただけではなく、根本的に次世代の農家が地域にいないこと。首都で働く若者が増えていることにあると思いました。まずは、地域おこし協力隊として、韮崎市が抱える潜在的な問題を解決し、地域貢献をした後で自分の目標を叶えたいと思いました。

## 今後の抱負・任期後の目標

現在、韮崎市の関係人口創出に向けたプロジェクトを任されており、「韮崎ファン」の獲得に奔走しています。地域のリアルな情報が、市外の人達に手軽に届き「縁が生まれる」そんなコミニケーションスペースを構築したいです。
任期後は目標である、「農家」になることです。すでに、後継者に悩む農家さんとコンタクトしており、任期後円滑に農家へと転身したいと思います。「食を通じて健康を感じられる場所」をテーマに新しい農家の形を生み出します。

## 活動内容

**● encle~関係人口創出~**

韮崎市の関係人口創出、つまり「ファン」の獲得に向けてencleが発足しました。名前の由来は「韮崎から円を拡げる、縁が来る」からきています。地域に隠れ潜む情報が実はニーズがあり、その情報を発信・結びつけるのがencleの担う役割になります。

**●コミュニケーションアプリ"Slack"の活用**

encleでは、情報発信のツールとしてInstagramを活用していますが、「人と人を結びつける」機能としては不足しています。そこで、"Slack"を活用し「地元住民×情報が欲しい人」のコミュケーションスペースを構築しました。

**●地域おこし協力隊によるツアーイベントの開催**

そもそも韮崎市を知らない人が多数を占めるであろう、と思いツアーイベントを通して韮崎市を広報しました。地の食材を楽しんでもらえるツアーとして、ぶどうとワインに焦点を当て開催し、韮崎市に来たばかりだからこそ見える韮崎の魅力を案内しました。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）https://www.instagram.com/encle.nirasaki.city/

# 長野県中野市　村井　照太

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
28歳
【出身地】
愛知県名古屋市
【転出元】
長野県中野市
【前　職】
宿泊施設のマネージャー
【活動時期】
R3.7～ R６.3
（2年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

コロナ禍の影響もあり、転職活動をしていたときに、転職サイトから地域おこし協力隊の募集のスカウトがきた

## 今後の抱負・任期後の目標

中野市内の空き家を発掘し、「ごったく市」などの古材や空家でいらなくったものを集めたリサイクルショップの運営や移住体験施設の開設など、空き家利活用に取り組んでいきたい。
空き家相談員として市から委託を受け、空き家対策業務を行う傍ら、空き家利活用施設の経営を行っていきたい。

## 活動内容

**●空き家相談所の開設**

より多くの空き家相談を受け付けるため、土日祝日も運営している相談所を地元高校生とDIYをして、開設。空き家相談員として多くの空き家相談を受けている。

**●空き家バンクの運営**

中野市独自の取り組みである100均空き家マッチングも含む空き家バンクの情報発信や購入希望者対応、所有者対応などを請け負っている

**●地元学生との空き家利活用ワークショップ**

空き家の利活用事業をとおして、若者の地域活動促進を図っている。アイデア出しのワークショップ開催やDIYイベントを学生と行い、地域活動を行っていくための学生団体を組織中。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（インスタグラム）https://www.instagram.com/akiya_nakano/
（ブログ）https://akiya-and-kurashi.com/

# 長野県中野市　間嶋　未希

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
39歳
【出身地】
埼玉県鴻巣市
【転出元】
埼玉県さいたま市
【前　職】
美容サロン
【活動時期】
R3.10～

## 協力隊に応募したきっかけ

夫の会社が倒産したことで、このまま東京に勤めることを続けるのか、それとも夢だった雪山の近くに住んで人生を豊かにするのか考えるきっかけがあったから。

転職ではなく協力隊を選んだのは、移住したあとも美容サロンを開きたいと思っていたので、地域に溶け込むことができると思ったことと、起業するに必要な移住先での需要があるか知りたかったことと、すでに移住し起業している方と話すことが出来れば定住の参考になると思ったから。

## 今後の抱負･任期後の目標

移住者の先輩として、移住したい方のサポートを継続していきたい。地元住民・移住者・移住希望者をつなぐパイプ役として活動していきたい。

また、退任後は美容サロンを開き、地方で起業したい人の参考になればと思っています。

## 活動内容

**●「移住相談」**

県外での移住相談や・オンライン・メールなどの移住相談では、メリット・デメリットをお伝え。移住希望者・移住者・地元住民が参加できるLINEオープンチャット「長野県中野市移住つながルーム」を運営。気軽に相談ができる場所づくりも。

**●「移住交流会」**

移住交流会は、移住者同士の交流会や移住希望者・移住者・地元住民の3者間で交流できる交流会を開催。
移住者だけの交流会にしなかったのは、それぞれ必要な相手との出会いの場が増えればと思っています。

**●「移住体験ツアー」**

自分の趣味でもあるウインタースポーツを活かしながら、実際に住んでみたらどういった生活になるのかを体験してもらうためのイベントを開催。ウインタースポーツを楽しみ、雪かき体験もあるイベント。今季も開催します。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（協力隊のInstagram・Facebook・Twitter）

# 長野県塩尻市　保延　祐希

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
27歳
【出身地】
東京都墨田区
【転出元】
神奈川県藤沢市
【現　職】 *複業で兼務
株式会社ADDress
【活動時期】
R4.4～

## 協力隊に応募したきっかけ

塩尻には、着任前からプロボノで足を運ぶ機会があった。一見すると、どこにでもある普通の田舎という印象を受けたが、実際には、熱量高い個性豊かなプレイヤーがたくさん活動をしていることを知った。この町から「何か大きな"起こり"が生まれそうだな」というワクワク感と、その波に自分も当事者として関わりたいという想いが芽生えるようになった。また、本業（定額4.4万円で全国住み放題サービス）の事業と関係人口創出は、非常に結びつきが強いため、シナジー効果も生み出せるのではないかという可能性を感じ応募。

## 今後の抱負・任期後の目標

①関係人口創出の先行事例をどんどん作っていく！
②地域の課題と伸び代を見つけていく！
③自分ごと化できる問題や課題を発見する！

## 活動内容

### ●塩尻CxO Labプロジェクト

今期で3期目を迎える、地域課題解決実現に向けた関係人口オンラインコミュニティ「塩尻CxO Lab」の運営事務局を担当。CxOLab参加者が、どのような体験や思考を経ていくことで、塩尻市との愛着や、そこからさらに地域の課題を自分ごと化させ、プレイヤーに変換できるかを設計。

### ●「空き家」を活用した、関係人口創出プロジェクト

空き家再生の0→1プロセスって、色々な学びの要素が詰まっているのではないか？地域に居場所を求めている方が自ら汗をかいて居場所づくりをするって、今までの関係人口創出施策と、一味違う体験や繋がりを生み出せるのではないか？そんな仮説のもと、有志メンバー（ADDress会員、CxOLab参加者）と株式会社ADDress社を巻き込みながら、始動。

### ●IT技術を活用した自律分散型のコミュニティの立ち上げ

『塩尻CxOLab』から生まれる、人の変化や成長、事業やプロジェクトの推進という価値をさらに加速/拡大することを目的として、この活動を持続可能的かつ、自律的に運営する組織形態や仕組みづくりを行なっています。プロジェクトの立ち上げにはCxOLabの有志メンバーがファウンダーとして入り、NFTなど技術導入を検討しながら、構想設計を行なっています。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://www.facebook.com/profile.php?id=100028181419876

# 長野県長和町　岩崎　英城

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
53歳
【出身地】
茨城県ひたちなか市
【転出元】
長野県諏訪市
【前　職】
不動産販売営業
【活動時期】
R３.３～

## 協力隊に応募したきっかけ

前職で移住定住の業務に携わったことがあり、その経験が生かせると思ったのが、きっかけです。

## 今後の抱負･任期後の目標

今後は、YouTube・ツイッター・ブログなどSNSを相互リンクさせて、より移住者のお役に立つ情報を立体的に発信していく予定です。

任期後は、SNSによる独立起業を考えています。

## 活動内容

**●YouTubeでの移住定住促進の情報発信**

「森乃暮らしチャンネル」
令和3年3月24日～動画投稿スタート。
姫木平別荘地での実際の生活の様子を中心に、今まで330本以上の動画を公開しています。

**●ツイッターでの移住定住促進の情報発信**

「森乃暮らし」（アカウント名）
令和3年3月より、投稿スタート。
姫木平別荘地の気温や雪の情報などを中心に、退任後の独立に関する情報なども発信しています。

**●森乃暮らし移住相談室**

別荘地への移住の相談を、自宅とオンライン（Zoom)を使って行っています。
YouTubeを見た視聴者様からの申し込みがほとんどです。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（森乃暮らしチャンネル）
https://www.youtube.com/channel/UCN35zibiGTbLrFMY2wWrUWA

# 長野県長和町　依田　雛

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
27歳
【出身地】
神奈川県茅ケ崎市
【転出元】
神奈川県横浜市
【前　職】
建設機械メーカー総務
【活動時期】
R3.3～ R6.2
（2年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

空き家や耕作放棄地など遊休資産であふれている地方の可能性に惹かれて地方移住を希望していたところ、仕事面やコミュニティ面での地方への導入として、協力隊制度を活用するのがベストだと判断し協力隊に応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

・長和町を、地方で「自分らしく暮らしたい、働きたい」と思っている若い世代に選ばれるようなフィールドにすること
・「空き家を手放したい地域の人」と「地方でやりたいことのある移住者」を有機的につなぐような仕組みをつくること
・上記のような目的で、まちづくり兼不動産会社を起業すること

## 活動内容

**●空き家バンクの運営・移住相談対応**

空き家バンクの事務的な運営や、案内の対応、移住セミナーでの移住相談などを行っています。

**●インスタグラムやフェイスブックなどSNS情報発信**

普段の協力隊の活動や町の行事や季節の移ろいなど、日常の情報を発信しています。

**●古民家DIYや農作業による関係人口作り**

古民家DIYや自給用に始めた田んぼでイベントを開催することで参加者を募り、地域内外から人を呼んで関係人口作りをしています。興味のありそうな移住者を呼んで移住者同士の交流会も兼ねています。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）@nagawa_chioko

# 長野県原村　岡崎　苗美

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
46歳
【出身地】
兵庫県神戸市
【転出元】
千葉県佐倉市
【前　職】
銀行員、国内旅行添乗員、商社貿易事務、ショッピングモール営業事務（販促・広報）
【活動時期】
R2.4.1～

## 協力隊に応募したきっかけ

国内旅行の添乗員を10年間経験する中で、地方の良さや魅力を知る機会がたくさんあった。いつか移住するなら北海道か長野と決めていた。

子どもが生まれてから自然豊かな環境で子育てをしたいという思いが強まり、「田舎暮らし」のキーワードから協力隊制度を知って自分の個性や過去の添乗員経験も活動に活かせると思い、大好きな八ヶ岳エリア（原村）での募集があったので応募した。

## 今後の抱負・任期後の目標

・協力隊として移住業務に関わる中で、まちづくりへの興味が深まってきている。これまでの活動と培ってきた人脈を活かし、引き続き原村のPRや活性化に携わりながら退任後も民間の立場から原村を盛り上げたい。
・空き家を活用したシェアハウス等の開業を検討中。
・退任後は地元企業に入って地域に定住予定。
・後輩隊員の相談対応やアドバイスを行い、先輩としてできる限りサポートしていきたい。

## 活動内容

**●カフェでの移住相談対応、移住体験イベントの企画運営など**

村内の観光施設 八ヶ岳自然文化園にあるレストランデリ＆カフェ「K」にて、簡単な観光案内を含めた移住相談対応を行う。移住推進機関等が主催するイベントや、村主催の協力隊募集説明会にも相談対応スタッフとして参加。

令和4年度は初の試みとして、協力隊が参加者をおもてなしする移住体験イベントを企画・運営。また、移住ガイドブックのリニューアルに伴い、取材先の選定・同行や編集調整などを行った。

**●イベントを通じた原村のPR活動など**

任期中に活動費で取得した資格（キャンプインストラクターやネイチャーゲームリーダー等）を活かし、村内小学生向けの野外活動講座で講師を務めたり、観光客向け自然体験イベントを企画・運営し、イベントを通じて村の豊かな自然環境の魅力PRを行う。

令和4年度は地元新聞社とのコラボ企画で村の魅力を掲載した折込み紙面作成のため、取材・編集に関わる。

**●SNSや広報誌等での情報発信**

自らの提案で、任期2年目より毎月村の広報誌で移住者家族の紹介ページを連載。取材・編集までを自分で行い、これまでに20家族を紹介。

現役隊員4人で運営するSNSでは原村の暮らしや移住に関する情報発信を担当し、インスタグラムのフォロワーは3600名を超える。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
メールアドレス：kurasu@vill.hara.lg.jp
電話番号：原村役場 商工観光課 田舎暮らし推進係　0266-75-0669

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】
インスタ：https://www.instagram.com/haramura_nagano/
FB：https://www.facebook.com/haramura.chioko

# 長野県筑北村　佐野　航太

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
31歳
【出身地】
千葉県　船橋市
【転出元】
東京都　国立市
【前　職】
精神障害者の支援
【活動時期】
R3.4～R6.4
(2年目)

## 協力隊に応募したきっかけ

30歳という節目にコロナウィルス感染症が流行したのがきっかけで、以前から興味のあった山間で田舎暮らしをしようと思ったから。畑をやって旬のものを自分が食べる分は作ってみたいと思ったので畑ができるところと山間であること、交通の便がいいところを探し筑北村を選びました。

## 今後の抱負・任期後の目標

【任期中】
・現在ハーブを栽培から製品化までしているので、製品のブラッシュアップと販路を広げ製品を通じ筑北村の豊かな自然をPRしていきたい。
・村の若い世代が筑北村は活気があり楽しいと思えるようイベントなどを企画して活気づけていきたい。
【任期後】
・まだ就職をするか迷っているが、ハーブをやりながら高齢者支援を個人でできるようし自立していきたい。

## 活動内容

**●イベント企画**
・ちくほく交流会
移住者や地元の方と餅つきなどを行い地域に移住者が溶け込めるようなイベント。
・朝さんぽ
毎月筑北村の中を歩き車などでは見落としがちな地域の魅力の再発見や出会いの場として開催。
・学生向きのイベント
夏休みなど遊ぶ場がないという話を聞くのでバスボムづくりなどのイベントを企画・運営。

バスボム自由研究

朝さんぽ

フェザースティックを作りキャンプ飯

**●遊休農地を活用したハーブの栽培**

畑の管理が難しいという事や野菜などの作物が鳥獣被害に遭う事を村民の方から聞くため、遊休農地でハーブの栽培を始めた。比較的栽培しやすいため地域の方にも広めていきたい。また、筑北の松を使ったお茶も開発中。ハーブの製品を通じて筑北村を知ってもらうきっかけとしていきたい。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
・フェイスブック：https://www.facebook.com/chikuhokuchiikiokoshikt
・インスタグラム：https://www.instagram.com/chikuhoku_nagano/

# 長野県信濃町　吉村　妙子

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
36歳
【出身地】
兵庫県丹波篠山市
【転出元】
神奈川県鎌倉市
【前　職】
Web広告代理店アカウントマネージャー
【活動時期】
R1.6～ R5.3
（４年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

仕事で東京に住むことになったが環境を好きになれず、週末ごとに、山梨や長野に出かけているうちに、40歳ごろを目標に長野県内の移住を考えるようになる。鎌倉にプチ移住して暮らしているときに、友人に野尻湖を勧められ、信濃町へ足を運んだところ、自然環境が理想的だった。信濃町の情報を調べると、たまたま信濃町の協力隊の募集ページが目に留まり、業務内容が私の経験を生かせるものだったことから、移住時期を早めることを決意し、応募。

## 今後の抱負･任期後の目標

信濃町で起業できるよう準備を進めていきたい。任期後は起業して、属性が異なる人びと（子どもとお年寄り、旅行者と住民、日本人と外国人）が交流できる場をつくりたい。最終的には町内で雇用を生み出せるようになりたい。

## 活動内容

**●雪の中の移住者交流会**

町内に移住者した方、移住を検討している方を集めて交流会を企画・実施。スノーシュー体験と、雪上バーベキューを行って、参加者同士に交流を深めていただいた。参加者12人、そのうち移住者は9人、移住検討者は３人だった。

**●富が原地区記念誌作成**

町内の富が原地区の70周年記念誌の制作を依頼していただき、住民のインタビューなどコンテンツの作成から各ページデザインまですべて担当。

**●移住ガイドブック作成**

移住者目線で、移住ガイドブック作成。企画、コンテンツ作成、デザイナーとの調整等を一人で行って、冊子を作成。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
twitter.com/ycc_nagano
kikaku@town.shinano.lg.jp

# 静岡県伊東市　杉浦　学

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
５９歳
【出身地】
愛知県豊田市
【転出元】
愛知県豊田市
【前　職】
カフェ営業
税関
【活動時期】
Ｒ４.６～Ｒ７.３
（１年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

前職の税関職員として33年間の在職中に、二度静岡県で勤務する機会がありましたが、引っ越しを伴う最初の転勤が浜松市、そして在職最後の転勤が静岡空港のある牧之原市と、静岡県で始まり静岡県で終わるという、静岡県には不思議な縁を感じておりましたので、そのお世話になった大好きな静岡県で何か恩返しができないかと考えるようになりました。そろそろ人生も後半戦に差しかかり、何かで地域のために恩返し（社会貢献）できたらと思っていましたが、本格的な田舎暮らしではなく、都会とのアクセスもよくインフラも整備された「ほどよい田舎」での生活を希望していたところ、海と山に囲まれ自然も豊富で、趣味のサーフィンも出来そうな伊東市が地域おこし協力隊を募集していることを知り応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

色々なところへ積極的に足を運び、出来るだけ多くの人と会って交流を深めたいです。その中で、年齢を問わず伊東で人生を楽しんでいる魅力的な人達と一緒に活動し発信を続け、「伊東には何やら楽しそうな人がたくさんいるぞ」という点が拡散すれば、伊東ファン（関係人口）の増加にも貢献できるのではないかと思っています。シーグラス作家としても活動していますので、シーグラスや、流木、マイクロプラスチックなどのゴミを使ってアート作品を作る子供向けのワークショップを開催したり、大好きな海を守るためにビーチクリーンを中心とした環境活動にもカを入れ、伊東市が「自然に優しいまち」「SDGsにも配慮しているまち」であることを積極的に発信し続けです。

## 活動内容

**●移住定住特設サイトでの情報発信**

伊東市の移住定住促進の情報に特化したホームページ「伊東市移住定住サイト」の情報更新をしています。具体的には、移住相談会や移住体験ツアー等のイベント情報の更新のほか、自分が伊東市内で体験したことのコラムの更新等をしています。

**●移住相談対応**

市役所窓口や電話、メールで寄せられる移住相談の対応をしています。また、定期的に東京都内で行われる移住相談会や移住セミナーにおいても、移住検討者の相談対応をしています。

**●移住イベントの企画・運営**

移住体験ツアーの企画・運営をします。移住を検討者されている方に対して、より具体的に伊東市での生活をイメージできるようなツアーを企画するとともに、先輩移住者との交流の機会も設けて、人と人との繋がりづくりにも力を入れています。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Instagram：@glassmans

# 静岡県掛川市　芳川　翠

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
33歳
【出身地】
静岡県静岡市
【転出元】
東京都板橋区
【前　職】
会社員
【活動時期】
R3.8.5～R6.8.4
（2年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

以前より、将来的に農業に携わりたいと思っていたことと、コロナ禍で今まで過ごしていた日常が失われ、改めて自分の人生をどのように過ごしたいか考えたことが大きかったと思います。
　地元の静岡に戻ることを決めてから、手段として地域おこし協力隊を知り、Webの情報（JOIN）や元協力隊員のブログやSNS、clubhouseを通じて実際に現隊員の方とお話させていただき、情報を収集をしました。

## 今後の抱負・任期後の目標

卒業後の抱負はレモン農家になり、掛川市へ定住することだが、土地の借用や大型農作業機械の購入など、一人では対応できない課題があることから、地元で耕作放棄地を活用する女性グループと出会い、農作業を手伝い、地元住民と交流しつつ機械と畑を借用させてもらうなどして、農業をミニマムスタートさせた。

## 活動内容

**●活動内容：市民みんなでシティプロモーション**
**「掛川写真サークル」**

一人では活動範囲や時間には限りがあるため、市民を巻き込み、写真で掛川市をシティプロモーションをしつつ撮影技術の向上や他感性との交流を行う写真サークルを立ち上げた。
活動頻度：月に1度

**●活動内容：まち歩き謎解き実証実験**
**「掛川百鬼夜行」**

市で推進しているまちなかウォーカブルと謎解きイベントの親和性が高いと考え、掛川版ハロウィンイベント「掛川百鬼夜行」にてまち歩き謎解き企画を実施。掛川市のことを知ってもらう問題の作問も行った。

**●活動内容：ボードゲームでのコミュニティスペースの運営**
**「掛川ゲーム部（オフライン会）」**

主に掛川市民の高校生～40代のメンバーが月に1～2回集いボードゲームで交流するコミュニティスペースを運営。オンライン・オフラインを含め71名のメンバーが加入。他世代・他業種との交流により、新たな試みやコラボレーションが生まれている。※協力隊活動に繋がる活動

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】
Instagram・Twitter　@iitoco.kakegawa

# 静岡県藤枝市　中山　ほの

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
24歳
【出身地】
東京都八王子市
【転出元】
東京都八王子市
【前　職】
会社員・職業訓練校
【活動時期】
R4.10～ R6.10
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

地方での暮らしに興味があり、地域おこし協力隊に応募しました。藤枝市を選んだ理由は、「ほどよく都会、ほどよく田舎」というキャッチフレーズと、藤枝市の人に惹かれたからです。
また、以前より、デザインにかかわる仕事をしたいという思いがあり、挑戦してみたいことにぴったりな仕事の募集が藤枝市であったので応募させていただきました。

## 今後の抱負・任期後の目標

藤枝市に引っ越して、率直に感じることは、人のあたたかさです。自分が率直に感じている藤枝の良さを様々な方法で発信していきたいです。また、ミッションであるふるさと納税の魅力アップにも精力的に取り組んでまいりたいと思います。任期後は、フリーランスとして、デザインや、ライター、職業訓練校の時に学んだWebデザインを仕事にしてまいりたいと思います。

## 活動内容

**●地場産品の訴求力向上に向けた取組み**

ふるさと納税返礼品でも大人気のいちご農家さんにお邪魔し、写真撮影を行いました。
大きなビニールハウスを目の前にし、圧倒されました。冷凍イチゴを使ったメニューを提供していただき、イチゴが旬でない時期でも様々な楽しみ方をお伝えできるようにして参ります。

**●地元店舗の取材に同行**

若い女性の視点をまちづくりに活かすプロジェクト『ふじえだガールズミーティング』の取材企画に同行しました。藤枝発祥の朝ラーメンのお店やオーガニックレストランに伺いました。これから自分の知らない藤枝を発見し、たくさんの取材をしていきたいです。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
今後作成したします

# 静岡県下田市　野添　裕紀

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
37歳
【出身地】
埼玉県　さいたま市
【転出元】
埼玉県　さいたま市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R４.10.１～

## 協力隊に応募したきっかけ

今まで会社員をしていて移住後は起業したいなと思っていたところ、交通会館のふるさと回帰支援センターで協力隊について教えてもらったことをきっかけに興味がわきました。
地域のことを深く知ることもできますし、任期も決まっているので準備する期間がとれると思い応募しました。

## 今後の抱負･任期後の目標

まずは1年目ということもありますので、下田を知るためにも地域行事に参加したり、地域の方々や先輩移住者の方々と積極的にコミュニケーションをとっていきたいと思います。自然や街並みなど下田市の魅力的なところをSNSなどで発信して、移住のきっかけづくりをしていきたいと思います。

任期後はカレー屋を始めたいので間借りできるところを探しています。

## 活動内容

**●移住相談への相談対応**

移住者目線で移住希望者への相談対応や、首都圏移住相談会などへの出展・対応、現地案内を行っています。

**●移住に関する情報発信**

自分も移住者であるため移住者目線で下田の生活、魅力、移住相談会情報など移住希望者に有益な情報をInstagramを通じて発信していきます。

**●移住後のフォローや移住者ネットワーク支援**

移住した方の移住後のフォローや移住者ネットワーク構築できるようなイベントの企画や新たな取組を考えて地元と移住者を繋ぐ役割を担っていきます。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

Instagram
https://www.instagram.com/shimodashi_nozoe

# 静岡県森町　横山　春人

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
３６歳
【出身地】
大阪府　高槻市
【転出元】
静岡県　袋井市
【前　職】
大工、造園
【活動時期】
Ｒ３.７～

## 協力隊に応募したきっかけ

自然豊かな環境で暮らし、子育てをしたいと、たくさんの市町を訪れた中、森町に出会い、ここの自然環境や温かい地域に魅力を感じ家族で移住を決めました。役場の方に募集を教えていただき、この町や地域のために、自分たちのやりたいことがいかせるのではと思い、応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

この町にある、空家、自然などの資源を掘り起こし、それらを守り、いかした魅力ある地域、住みたいまちづくりに取り組んでいきたいです。課題を魅力に変えて、町や地域の未来を育んでいけるチカラになっていけたらと思います。
ゆくゆく、この地域の豊かな自然を楽しみ、学び、味わえる場、暮らしの体験ができるような小さな農園レストランと宿を開きたいと思っています。

## 活動内容

**●田んぼの活用・交流の場づくり**

地域で空いてしまう田んぼを活用したお米作りを通して、地域の方や、移住者、移住希望者、子供から大人までいろいろな方が、体験、交流できるような場づくりに取り組んでいます。

（稲刈り交流会の様子）

**●空家の掘り起こしと活用、移住の支援**

役場や地域の方と連携し、地域ごとに空家の実態調査、掘り起こしをし、移住希望の方と物件や地域をつなぐお手伝いをしています。

（空き家を活用した先輩移住者のお宅に、移住希望の方を案内している様子）

**●地域の賑わい作り**

閉校になってしまった地域の小学校に「もう一度にぎわいを」と、地域の方と一緒に、春にたくさんのこいのぼりを上げたり、校庭での盆踊り大会を計画し、練習にも取り組んでいます。

（地域で集めたこいのぼりが校庭に揚がった様子）

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（facebook & instagram）

# 三重県尾鷲市　山口　玲子

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
61歳
【出身地】
埼玉県川口市
【転出元】
東京都世田谷区
【前　職】
流通コンサルを20年行った後、設計事務所（大手デベロッパー依頼による集合住宅のデザイン監修業務）にて役員を10年余り、その後伝統工芸の織元の広報を1年半経験。
【活動時期】
令和元年.11.1～

## 協力隊に応募したきっかけ

伊勢路を歩いたことをきっかけに東紀州の自然や人の豊かさに魅了され移住を考え始めました。
生業を作り出すには地域を知ることから始めたいと考えていた矢先に協力隊の募集を知り、年齢的なこともあり躊躇しましたがダメ元覚悟で応募させてもらいました。

## 今後の抱負・任期後の目標

知れば知るほど、尾鷲という地域での暮らしは発見の連続で、都会では味わえない生活の豊かさを実感しています。任期後は、古道歩きや旅として訪れた方達がこの地域で暮らすことを1つの選択肢としていただけるような施設やアクティビティーを提供したく、現在住まいのある三木里町で、地域の方のご協力により、施設を提供いただき施設開設に向けて準備中です。

## 活動内容

### ●空き家バンク業務

定住移住コンシェルジュとして、空き家となっていた元森林組合事務所を拠点に4名のチームで市役所の政策調整課と連携し、市内全域の空き家の発掘と利用者への紹介を行なっています。自ら移住者としてこの地で暮らす経験も役立て新しい人の流れを作っています。

### ●仕事バンク業務

移住交流サイト「SMOUT」を活用し、地域での就業につながる情報発信を行っています。長く快適にお住まい頂くために、住まいだけでなく生活の基盤となるお仕事や地域での人のつながりもご案内できたらと考えています。

### ●情報発信業務

尾鷲の魅力や地域の歴史的文化行事などをメディアやSNSを活用して広く情報発信すると共に、定住移住イベントへの参加や各種パンフレットを作成し尾鷲での暮らしの豊かさを情報発信しています。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
HP : http://owasegurashi.xsrv.jp/

# 三重県尾鷲市　山田　由依

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
29歳
【出身地】
三重県松阪市
【転出元】
三重県松阪市
【前　職】
旅行カウンター
【活動時期】
R4.6～ R7.5
1年目

## 協力隊に応募したきっかけ

4年程旅行業に携わっておりましたがコロナ禍で売り上げも低迷し、閉店と同時に、現地で地域や人に関わり、まちの為に何かしたいという思いをずっと抱えていたこともあり、協力隊に興味を持ちました。尾鷲には何度か訪れていましたが、初めて九鬼にたどり着いたことがキッカケで憑りつかれるように毎週尾鷲に訪れるようになり、その中で尾鷲に関わる人たちや、尾鷲で生きる人たちがみんな生き生きとしているのが印象的で、私もここで生きてみたい、地域の為に何かしたいと思い応募いたしました。

## 今後の抱負・任期後の目標

任期後についてはまだ何も考えられていませんが、焦らず協力隊である3年間は尾鷲を巡り、色んなイベントや行事に参加し体感していきたいと思います。
また、今尾鷲で生きる人たちと出会い関り繋がって、「尾鷲」というまちの良さや文化などを深く知り、外の人たちに伝えていけるような知識をつけ、情報発信をしていきたいと思います。

## 活動内容

**●空き家バンク**

市からの委託業務として、空き家の調査、登録、紹介、空き家を所有する人と利用されたい人のマッチングサービス等を行っております。
また、空き家の内覧ツアーも今後実施予定。
雨量の多い尾鷲ならではの家の造りや地域の歴史、文化、暮らしを感じられるイベントの企画を考えています。

**●仕事バンク**

尾鷲に移住希望の方や、尾鷲ならではの仕事に興味を持たれた方への仕事紹介。SMOUTへの情報掲載などを行っております。
職場見学などで訪れて下さった方には、尾鷲市内の空き家もご紹介。東紀州圏内の観光案内なども行っております。

**●イベント**

□R.4.6月　移住者交流会　　実施
□R.4.8月　音楽イベント　　実施
□R.4.12月　九鬼案内イベント　実施予定

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（電話番号）0597-37-4010　（おわせ暮らしサポートセンター）

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Facebook）https://www.facebook.com/owaseiju/

# 三重県尾鷲市　平尾　未央

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
44歳
【出身地】
兵庫県神戸市
【転出元】
兵庫県神戸市
【前　職】
アパレル製品製造販売の自営業、イベント企画運営等
【活動時期】
R4.３～ R7.3予定
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

利便性や効率だけを目指した都会の中での生活よりも、毎日自分が口にする食事はどこから来ているのか、生活の原点を知りたいと年々意識する様になりました。
漁業や農業など、第一産業が身近に感じられる場所で、また自然豊かな土地で暮らすライフスタイルを送るにはどの様な形で仕事をしていけるか模索している中で尾鷲市の地域おこし協力隊に出会い、応募させていただきました。

## 今後の抱負・任期後の目標

地元の方が当たり前だと思う地域の魅力や価値を見出し、イベントの企画や商品化などを具現化していきたいと考えます。また空き家バンクの運用を通して、居住としての活用以外の利活用(例えばイベントスペースとして使う等)も視野に入れています。
定住移住コンシェルジュとしては、移住希望者へのサポートにも力を入れ、尾鷲で暮らす地元の方と移住者の方々、また他府県の方々を繋げて、関係人口の輪を広げていく活動を目指しています。

## 活動内容

### ●甘夏収穫体験と移住者交流会

【尾鷲市内の活動】
既存移住者のニーズを調査・サポートの目的と、地域の方々との交流作りを目的に、イベントを企画運営。
尾鷲の特産品である甘夏の周知もでき、好評でした。

### ●イベント出展、レシピ開発

【県外での活動】
他府県主催のイベントに出展して、尾鷲の魅力の周知・PR活動。
実例）福井県高浜市のイベント「USFESS」に出展。
尾鷲の特産品である甘夏を使った甘夏スカッシュレシピを開発、販売を実施。

### ●音楽イベント

【尾鷲市内の活動】
尾鷲での暮らしをより豊かに過ごす為に、音楽や芸術を普及する目的で活動。
実例）重要文化財である土井見世邸で民族音楽イベントを企画運営。アンケートを取り、文化・芸術のニーズが予想以上にある事が分かりました。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://www.facebook.com/owaseiju

# 滋賀県米原市　石崎　達郎

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
42歳
【出身地】
広島県
【転出元】
愛知県長久手市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R４.４～R７.３
（１年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

自然豊かな場所で、「暮らし」を重視した生活をしたいと考え移住先を検討する中、おためし地域おこし協力隊に参加。そこで出会った方々の生き生きとした姿に感動し、一緒に働きたいと思い応募。
衣・食・住を地域コミュニティで自給したいと思いから、
食：農に重要な、きれいな水・土地があること
住：空き家活用という仕事にかかわること
目指したい「暮らし」が実現できるとおもい、応募しました。

## 今後の抱負･任期後の目標

豊かな農的な暮らしのモデルケースとして、
自給農や、味噌・醤油作りのワークショップ開催予定。

今後は、移住のハードルを下げるお困りごと相談所、移住の窓口となりたい。
移住希望者に空き家の紹介と合わせて、実際の暮らしで必要な、地域の仕事や、コミュニティ（移住者との交流会）の紹介をし地域の魅力を伝え移住につなげたい。

## 活動内容

### ●自給農　活動

移住してすぐに、近所で800㎡ほど借りることができ大豆をメインに、夏野菜、秋野菜を栽培中。
地域の松明祭りで使用する菜の花から、
なたね油を作れないか、商品化も含め検討中。
冬には、大豆から醤油、味噌作りのワークショップ開催予定。

### ●空き家出口検討会

空き家バンクの条件の良い空き家は利用希望者に購入されていくが、条件の悪い空き家は流通せず残っていくのが現状。
少しでも、活用の可能性が上がるように、月1回の検討会を実施。課題・対策の検討。順次、対策実行までを進めていきたい。

### ●移住者　交流会

月1回、地域の先輩移住者や新移住者でゆったりした4～10名程度の交流会を開催。
移住者同士がつながることで、より暮らしやすく、土地の新しい魅力を発見したり、暮らしの困りごとを気軽に相談できるイベントを場を作っています。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
恋する空き家プロジェクトHP　https://koisuru-akiya.com
SNS:https://www.facebook.com/tatsuro.ishizaki.1/

# 滋賀県米原市　浅井　茅子

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
27歳
【出身地】
愛知県日進市
【転出元】
愛知県日進市
【前　職】
教員・福祉職員
【活動時期】
R４.４～R７.３
（１年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

自分自身が心身のバランスを崩した際、田舎の自然の中での暮らしや移住によって日常を変化させることが心の回復につながった。その経験から、都会で行き詰った人たちや生きづらさを抱える子どもたちの生き方の選択肢を増やせる存在になりたいと考えた。田舎では空き家の問題や人口減少も深刻だと知った。空き家という小さな空間を活用して、社会の大きな枠とは違う拠点をもって人とかかわりたいと考えた。

## 今後の抱負・任期後の目標

地域に1000ほどあるという空き家を、地域を回りながら発掘したい。移住者の入り口や相談役となり、地域や空き家とのマッチングができるようになりたい。その一例として自分自身も空き家を魅力的な空間によみがえらせて、古い家を活用する魅力を発信したい。休職時のキャリアブレイクとして長期滞在可能な機能や、不登校等さまざまな背景をもつこどもたちの生活拠点/サードプレイスとなる居場所づくりをしたい。

## 活動内容

**●空き家バンクでの業務**

まいばら空き家対策研究会の業務の中で、①移住者を逃さない仕組みづくり②登録物件を増やす③流通していない物件を動かすという課題を見つけ、これからの活動の柱に定めた。③については動きの少ない物件を課題ごとに分類し、どうしたら流通するようになるのか出口検討会を始めることができた。

**●空き家活用に向けたDIY技術の習得**

空き家をDIYでリノベーションした事例を見学したり、実際に工具を使ってDIYの技術を学んでいる。古民家再生協会によるDIY教室にも参加し、見違えるように変化する古民家の魅力を実感している。自分自身の拠点整備含め、ボロボロで活用が進まなかった空き家の活用の幅が広がるようにしていきたい。

**●場づくりの準備**

市の学校連携マネージャー・社会福祉協議会・地域にある子どもの居場所の運営者と話し、実際に地域の課題や子どもと触れ合う機会をもらった。参考にしたい地域外のコミュニティも見に行って考えを広げている最中。自分の拠点で取り入れたい要素について知識を得たり、技術習得するために勉強中。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
恋する空き家プロジェクトHP　https://koisuru-akiya.com

# 京都府京丹後市　谷村　衣理

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
41歳
【出身地】
京都府京都市
【転出元】
京都府京都市
【前　職】
自営業
【活動時期】
R3.9～ R6.8
(2年目)

## 協力隊に応募したきっかけ

大宮南地域でのイベントをきっかけに、イベントのリピートや個人的に何度か訪問するうちになじみの地域になりました。地域の方の飾らない普段のおもてなし、何気ない自然、昔ながらの町並みに癒され、また来たいという気持ちになりました。

その経験を元に、地域の人と訪れる人との交流が知りたい、既にある地域ならではの魅力を掘り起こし、場所づくりやコミュニティづくり、それらの発信をしていきたいです。

## 今後の抱負・任期後の目標

建築やDIY、古物の経験を活かして地域にあるものや古いものを活かし、余計な手をかけずに空家を居心地の良い空間に変えるお手伝いをしたいです。また、昔から住んでいる人、移住した人、訪れた人の垣根をなくし、誰にとっても愛着のある地域になる仕組みづくりをしたいです。

## 活動内容

### ●区長協議会と連携

大宮町区長協議会と連携して、各区の意見交換をしながら、広域で空き家の現状を把握し、活用を模索しています。

区長向けにアンケートを取り、各地域の空き家の実態や移住に関する意向を確認しています。

### ●移住促進

地域の方と空き家の情報を共有し、具体的にどう活用していくかを考えたり、地域を案内するツアーを企画したり、活動2年目になり地域の方と仲良くなったから得られる情報も増え、話し合いができていると感じています。

### ●空き家の古物をリサイクル

古物商の方と繋がり、空き家で不要なものを次につなげる動きを始めました。

空き家や物を通して、その家や人の歴史が知れて面白いです。

廃材を使って空き家の改修など、地域で循環していきたいです。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス)　omiya-shimin@city.kyotango.lg.jp
(電話番号)　0772-69-0712

# 京都府京丹後市　渡辺　典代

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
36歳
【出身地】
京都府京都市
【転出元】
京都府京都市
【前　職】
自営業
（鍼灸院・カフェ経営）
【活動時期】
R3.9～ R4.9
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

東日本大震災のボランティアを機に、自然と人が繋がる暮らし方に関心をもち、私たちが未来に伝え残す地球の在り方をこの10年模索していました。そんな中、偶然に京北町で出会った京丹後在住の方の勧めで地域おこし協力隊を知り、すぐに現地訪問し応募を決めました。

## 今後の抱負・任期後の目標

R4.9.30をもって退職

## 活動内容

**●地域運営手作りマーケットの運営支援**

過疎・高齢化が進む宇川地区において地域内唯一のスーパーが撤退したことを受け、買い物場所がなくなることに不安を感じる住民を救うため、自治会等が主体的に、他地域で移動販売事業を行う事業者に直談判し、地域に週1回のルートを誘致したほか、手作りマーケット「宇川金曜市」を開始した。
宇川地域が主体的に取り組む買い物支援対策に一緒になって取り組んでいる。

手作りマーケット「宇川金曜市」

移動販売事業

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
FaceBook　前川典代　（個人的な発信です）

# 京都府京丹後市　羽尻　晶

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
35歳
【出身地】
兵庫県豊岡市
【転出元】
兵庫県神戸市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R4.1～ R6.12
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

地元但東町の隣にある久美浜町は、以前からよく訪れていました。佐濃地域の田んぼや畑に囲まれた長閑な雰囲気は地元と似ていますが、近くに久美浜湾や海がある久美浜に魅力を感じました。

地域おこし協力隊のミッションは、移住定住促進という今までに関わったことがない職種ですが、私が移住したいと思った久美浜の魅力をもっと知る機会になるだろう、新しいことを始められるきっかけにもなるかもしれないと思い、地域おこし協力隊に応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

都会に住む人がここを何度も訪れたい、ここに住みたいと思える地域の魅力を発信し、子どもから大人まで楽しく暮らせる元気なまちにしたいです。

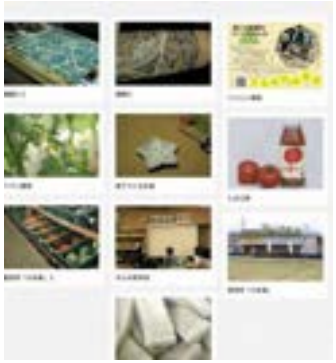
令和4年1月からの活動であり、現状は地域の状況把握と課題の抽出中であるが、現在までの成果としてはSNS等による地域内の情報発信を行い、地域の魅力を発信することができた。今後は地域の課題解決に向けた様々な取り組みを行い、今後の活動を展開したい。

## 活動内容

**●佐濃地域の地域資源の活用及び移住･定住促進に向けた移住ツアーなどの企画･実行**

・佐濃地域U・Iターン計画の策定
・佐濃地域へのU・Iターン者への聞き取り調査と課題整理、交流会と情報発信
・食などの体験活動を取り入れたU・Iターンツアー
・体験ツアー参加者とU・Iターン住民との交流
・お試し住宅の確保と移住希望者のショートステイ
・佐濃地域、久美浜再発見ツアーの実施
・遊休農地を活用した、農業交流イベントの企画・実施を行い、移住・定住に向けたきっかけづくりを行う。

**●佐濃自治会からSNS等での情報発信や、各種団体との連携等による地域の活性化**



・佐濃自治会ホームページの作成
・SNSによる佐濃地域へのU・Iターン情報の発信
・10年後20年後を視野に佐濃地域を支える新青年団の結成
・スポーツ、文化活動を取り入れた若者交流会（婚活）
・農業体験活動と田畑オーナー制の募集と実施
・農業法人・福祉施設(障害者支援施設や高齢者支援施設)と連携した農業の担い手確保を行い、佐濃地域の持続可能な農業振興の支援を行う。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）kigyocenter@kumihamakasseika.com
（電話番号）0772-84-0820
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（インスタグラム）
https://instagram.com/sanochiku_kumihama/
（フェイスブック）
https://www.facebook.com/sanochiku.kumihama/

# 大阪府岬町　根田　淳弘

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
４５歳
【出身地】
和歌山県和歌山市
【転出元】
和歌山県和歌山市
【前　職】
会社員
【活動時期】
Ｒ３.６～

## 協力隊に応募したきっかけ

2020年の年末に、自身がコロナウイルスに感染し、自宅療養を行っている際、実家に寄り添いたく東京から和歌山市の実家へ戻ることとした。
中学、高校時代の友人に就職先の相談を行ったところ、岬町での地域おこし協力隊の募集を知り、友人の住む町をプロデュースすることに魅力を感じ応募を行った。

## 今後の抱負･任期後の目標

岬町のＰＲ番組をもっと知ってもらいたい。その為に日夜魅力あるプログラムを検討しています。また、町内のイベントを通じ、岬町をアピールしてまいりたい。
任期後は、町内に定住し、岬町の為に何らかの関わりを持つ仕事をしたいと考えています。

## 活動内容

**●釣り人口を増やす取り組みの取材**

漁業が盛んな岬町で、若者に釣りと自ら釣り上げた魚の調理を体験してもらうことで、町と漁業の魅力を肌で感じてもらうイベントに参加協力した。

**●深日港フェスティバルの取材**

岬町で毎年開催している深日港フェスティバルに出展し、近隣市町村、洲本市等の方々に魅力をＰＲしつつ、町が主催する同イベントの取材を行った。

**●岬町について語る**

岬町在住、在外様々な年代、性別の方々と岬町について語らい、町の魅力発信を行った。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://www.youtube.com/channel/UCJD6IaDwaopXCpMv8RqYL2g

# 兵庫県多可町　山崎　栞

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
25歳
【出身地】
大阪府寝屋川市
【転出元】
大阪府枚方市
【前　職】
不動産会社の企画
民泊施設運営
【活動時期】
R2.8～

## 協力隊に応募したきっかけ

前職の不動産会社で大阪の都市部や地方での空き家のリノベーション事業に従事し、空き家を活用した民泊施設の設計デザインに携わっていました。空き家活用のフィールドを地方に移したいと思っていたさなか、コロナ禍を追い風に移住に踏み切りました。
空き家問題が顕著にあらわれている地方で、自分の可能性にチャレンジしたい、自治体とタッグを組んでさらに大きい規模でチャレンジしていきたい、と思い地域おこし協力隊という制度を利用しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

包括的に多可町や北播磨の認知度の向上を推し進めていきたいと考えています。
空き家の活用事例のモデルケースを増やしていき、若い人が地方でチャレンジすることに対してのハードルが低い町づくりをしていきたいと思っています。また、地域おこし協力隊がおらず、連携が図ってこれなかった、定住自立圏である、北播磨エリアの自治体ともより広域的な視点で連携体制の構築を進めていきたいと思う。

## 活動内容

**●空き家バンク運営**

令和３年度から多可町より空き家バンク運営業務を完全成功報酬にて受託運営。空き家バンク新規物件登録件数と空き家バンク成約件数にKPIをおき、新規物件登録数は前年度比120%、成約件数は前年度比160%を達成。移住者数も約100人となっている。
今年度も成約登録共に前年度比150%を見込んでいる。

**●産官学連携空き家リノベーション事業**

関西学院大学の建築学部・総合政策学部と連携し、空き家の利活用事業を始動。新たな取り組みとして、多可町と地元工務店協力の元、物件実測、設計提案、建物改修を共に実施し、R5年5月より民泊施設としての運営を予定。

**●SMOUTを活用した地域おこし協力隊募集活動**

SMOUTを活用し、潜在的な移住希望者に向けて発信。イベント実施の際にはSMOUTからの参加者が毎月増加傾向にある。全国ランキングでは723市町村（2021年12月末時点）中15位、県別ランキングでは豊岡市に続いて兵庫県2位となった。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（地域商社RAKU　HP）https://raku-taka.com/
（多可町定住サイト「タカ、と。」）https://teiju.takacho.net/
（SMOUT）https://smout.jp/areas/1361

# 奈良県宇陀市　入江　透

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
31歳
【出身地】
大阪府寝屋川市
【転出元】
愛知県名古屋市
【前　職】
営業職
【活動時期】
R3.2～ R6.1
(3年目)

## 協力隊に応募したきっかけ

奈良県飲食店事業者から、本制度の情報を聞いたのがきっかけ。その後、インターネットを通じ、情報を調べてZoom説明会を経て現在に至る。

## 今後の抱負・任期後の目標

地元の無農薬野菜や薬草を活用した事業を薬膳カレー屋を通して全国的に広めたい。薬草、ハーブ、スパイスを使用した体質改善を自宅でも簡単に取り入れるように店舗展開をしていきたい。（現在、2店舗目となる小売店を準備中）

## 活動内容

**●完全予約制の薬膳カレー**

一人ひとりの体質に合わせてスパイスをブレンドした薬膳カレーのコース料理を提供。季節に合わせて２ヶ月ごとにメニューを変更しています。

**●約50種類のメディカルハーブ**

お客様の体質に合わせて提供するために、多くのハーブティーを揃えております。様々なお客様の体質に対応できます。

**●地元木材をふんだんに活用した完全セルフリノベの内装**

吉野杉、吉野檜を中心に内装を作り上げ、地元木材に触れる事ができる。椅子も国産材を使用。元家具メーカー営業ならではのこだわった内装に仕上がってます。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（HP）http://torucurry.com

宇陀市政策推進課
（TEL）０７４５-８２-３９１０
（アドレス）s-suishin@city.uda.lg.jp

HP

Instagram

# 和歌山県由良町　鈴木　亮哉

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
25歳
【出身地】
愛知県　日進市
【転出元】
愛知県　日進市
【前　職】
なし
【活動時期】
R4.4～ R7.3

## 協力隊に応募したきっかけ

応募したきっかけは地方に移住し、宿泊施設開業を目標としている中で、目標を達成するために最適な道が地域おこし協力隊だったからです。和歌山県庁主催のオンラインイベントを見つけ、参加。由良町が抱える課題と自身のしたいものがマッチングしていたこと、そして話した職員の方々と一緒に働きたいと思い、訪問後に応募。採用され、今に至ります。

## 今後の抱負･任期後の目標

まずは、自分のことを町民に知ってもらう。信頼関係を構築し、目標である農業・漁業体験をメインとした一棟貸しの民泊施設を開業する。

## 活動内容

**●移住定住施策**

主な業務は空き家を空き家バンクに登録、移住購入希望者を案内。購入の意思があれば、仲介として入り、サポートをする。移住定住のパンフレット作成。移住に関するフェアに参加する。入隊してまだ半年のため、補佐する場合がほとんどです。

**●空き家改修**

卒隊後、農業・漁業体験をメインとした一棟貸しの民泊施設開業のため、今年8月に賃貸借契約書を行い、9月から作業を開始。現在、行っている移住定住施策の延長線上でお試し移住ができるように物件の貸し出しも視野に入れています。

## 連絡先

# 島根県隠岐の島町　土橋　豊

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
26歳
【出身地】
千葉県白井市
【転出元】
千葉県白井市
【前　職】
広告代理店
【活動時期】
R2.8～ R5.3
（3年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

大学で観光学を専攻していたことがきっかけです。講義で協力隊について学ぶ機会があり、これまで自分が関わることのなかった「限定されたコミュニティ（田舎）」について、深く知りたい！と思うようになりました。

実は応募前から縁もゆかりもない地に定住するイメージが持てず、任期後は都会に戻る気持ちでいました。そのため、大変でもいいから3年間、特に限定されたコミュニティである「離島」で生活したいという想いで、島根県隠岐の島町の協力隊に応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

隠岐の島町職員になることを志望しています。移住してからの3年間、快くそして温かく受け入れてもらえました。そんな第二の故郷に対して、良いところだけに目を向けるのではなく、島の未来についても「いち島民」として考えられるようになりました。

よそ者×島民というハイブリッドな目線で、島のこれからを担う存在になりたいと思っています！

## 活動内容

### ●移住促進・定住支援

移住相談や移住イベントへの出展、またSNSを活用した広報を通じて、隠岐の島町への移住を促進させる取り組みを行っています。

そのほかに、起業を希望する移住者に向けたガイドブックの作成など、定住支援も行っています。

起業ガイドブック「商い便利帳」

### ●関係人口創出事業

隠岐の島町の関係人口施策で使用するメインロゴの公募や、隠岐の島町を応援したいという方と継続的な関係を築くための「つながり会員制度」の実施などを行っています。

会員特典の「つながりカード」

### ●関係人口セミナー・イベントの開催

町職員を対象とした「関係人口」をテーマにした職員研修や、地域団体や事業者を対象とした相談会などを開催しています。

また、関係人口とつながる場を作るために、定期的なイベントを開催しています。

関係人口との協働イベント

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）chiiki@town.okinoshima.shimane.jp
（電話番号）08512-2-8570

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Twitter）https://twitter.com/Oki_chiiki
（Facebook）https://www.facebook.com/okinoshima.rangers

Twitter　Facebook

# 岡山県吉備中央町　東尾　実菜子

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年齢】
41
【出身地】
東京都品川区
【転出元】
岡山県岡山市
【前職】
自営業
【活動時期】
R1.09　～

## 協力隊に応募したきっかけ

募集情報は町内在住者から直接聞きました。
これまでの経験を活かし、様々な立場の方々と協力しながら、地域の人に喜んでもらい、地域社会に貢献できるやりがいのある仕事だと思いました。
副業可能なことで関わる人が固定化せず、視野も広くなり、より柔軟な考えやアイデアが出せると思いました。
魅力ある町に住みながら、その町がよりよい町となるお手伝いができるなら、是非チャレンジしたいと思い応募にいたりました。

## 今後の抱負・任期後の目標

本当に素晴らしい町なので、多くの人に知ってもらい、移住・定住に繋げられるよう取り組みたいです。
任期満了後も、町内の方たちと協力しながら町の活性の一助となれるような事業を立ち上げたいと思います。

## 活動内容

### ○現在の活動について【活動概要】

・吉備高原都市の活性事業
・県有分譲地の販売促進事業

吉備高原都市の活性化と分譲促進は、定住人口増加や町の発展に繋がる大切な仕事です。
しかし、それは紙面上の業務ではなく、人と人とのつながりや信頼が必要なことも多いことから、引き続き吉備高原都市をはじめ町内在住の方とのつながりを大切に業務に取り組みたいと思います。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）kibi-toshi@kibicity.ne.jp
（電話番号）0866-56-8255
（職場）株式会社吉備高原都市サービス
【活動場所の情報を発信しているSNS】
https://www.instagram.com/kibikogencity/
https://www.facebook.com/kibicityservice/

# 徳島県阿南市　西尾　保紀

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
41歳
【出身地】
愛知県津川市
【転出元】
愛知県津川市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R2.4～R5.3.31
（3年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

阿南市新野町では「平時は通常の民泊施設、災害時には避難所」とする「シームレス民泊」が全国初めて開始され他地域です。海から離れた場所にある新野町は防災のまちとして様々な活動をする一方、四国遍路２２番札所「平等寺」がある門前町でもあります。民泊に興味があり、また地域での活動に興味があったため応募しました。

## 今後の抱負･任期後の目標

今年度で任期満了で退任することから、阿南市へ定住するために、協力隊での活動を活かして自身でも民泊を開業する予定で準備しています。また、地域の困りごとをなくし、更に生業につなげられるよう中小企業診断士の資格取得を目指して勉強中です。

## 活動内容

**●防災への取り組み**

新野町は海岸線から離れた地域にあり、南海トラフ大地震時の津波被害はないとされる地域です。そのため、隣接する津波被害が予想される地域からの避難場所としても考えられていますが、徒歩で避難できる道を整備することを取り組んでいます。
整備後は、海岸地域の住民からは「これで安心になった」と喜んで頂けたことや、地域のおばあちゃんが「何かあったときは逃げれんとあきらめとったけど、整備してくれたおかげで避難しようと考えなおした」という言葉をいただいて、とてもうれしかったです。
今年、防災士の資格も取得したので、協力隊を退任してからも地域の一員として地域を守る存在でありたいです。

南海トラフ津波発生に備え
「命の道」確保へ山道整備
福井と新野結ぶ

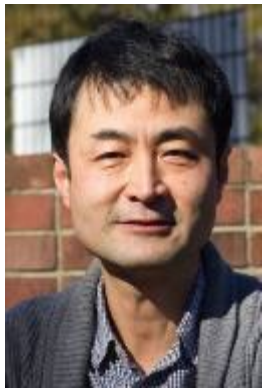
## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）sien@anan.i-tokushima.jp　（電話番号）0884-22-7404
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://peraichi.com/landing_pages/view/seamlessvacationrentals/

# 愛媛県今治市　百田　洋海

**移住・定住促進**

## 基本情報



【年　齢】
51歳
【出身地】
東京都練馬区
【転出元】
神奈川県松田町
【前　職】
装置制御系SE
【活動時期】
R4.4～ R7.3
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

会社員として働きながら、国内外の旅を続けてきました。旅先で、普段出会わないような人々と出会いがきっかけとなり、自分の考え方が変わる転機になりました。そのようなきっかけがあるような、地域住民と旅人による交流型宿泊施設開業を目指しており、島、農的な暮らしをキーワードに場所探しをしてました。今治市協力隊がフリーミッションであり、環境も希望とマッチするため応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

①果樹など農園＆交流型宿泊施設を拠点として、非日常な空間で人と人の交差点のような場をつくること。②集落の食堂、店舗、地域住民などと連携、「まち宿」のようにすること。それらの活動を通じ、人が自分の可能性に気づき、それぞれがしたいことに向け、歩み、応援しあえる社会にすること

## 活動内容

**●学びの場の創出**

プログラミング教室など、地域で機会が乏しいジャンルの学びの場の創出

**●地域魅力UP＆地域住民交流の場の創出**

①野外シネマ企画など、地域魅力UP活動、②たき火企画など、地域住民同士の交流の場の創出を通じ、地域活力の1UPをめざす活動

**●地域住民とともにすごす活動**

①児童館、地域住民が集う施設、B＆Gなど、地域住民が交流する場の運営お手伝い、②地域ローカルメディア編集、稲作、果樹農園、柑橘栽培、地域清掃、伝統行事など、地域住民活動のお手伝いを通じ、地域住民とともに「すごす」活動

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）　　（電話番号）0897-72-8772

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
momo_kyoryoku(Instagram)

# 愛媛県上島町　平田　浩司

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
50歳
【出身地】
大阪府 大阪市
【転出元】
大阪府 大阪市
【前　職】
NPO職員
【活動時期】
R2.4～ R5.3
（3年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

協力隊への応募にあたっては、協力隊としての任期3年間を、起業・創業の準備期間として活用することができ、任期終了後も住み続けることのできることを考慮して、活動地域を選びました。上島町を選んだ理由は、①私がこれから生活したいと考えていた瀬戸内海の離島環境であったこと、②任期終了後の生業として予定していた地域の観光産業が、「しまなみ海道」に隣接し、これから拡大・発展していくことが見込まれたこと、③募集していたミッションが、宿泊施設の物件探しを兼ねることができ、また活動終了後にも関与して地域貢献しつづけることができる移住・定住／空き家の領域であったことの３点です。

## 今後の抱負・任期後の目標

協力隊の任期が満期終了となった後の令和5年4月からの本格開業を目指して、上島町内の弓削島で空き家を改修した「ゲストハウスみちしお」の開業準備をすすめています。このゲストハウスは、地域へのサイクリストの流入増に寄与するとともに、潜在的なワーケーションとインバウンド、移住体験、地域課題解決プロセスへの参加／関係人口化の各需要の増加にそれぞれ応えていくことを目指しています。
また任期中に、特定非営利活動法人かみじま町空き家よくし隊を設立し、空き家問題解決のための活動を続けるための組織的な基盤を用意しました。

## 活動内容

### ●役場での移住・定住促進、空き家バンク運営業務

平日は8時30分から17時15分まで弓削総合支所にフルタイムで出勤し、「移住相談総合窓口（移住ワンストップ窓口）」での相談対応業務と空き家バンク運営業務を、同じミッションの同僚隊員と分担して行っています。その合間を縫って1年目から2年目にかけ、町内すべての戸建て住宅を対象に「空き家実態調査」を行いました。

空き家実態調査の様子

### ●NPO「かみじま町空き家よくし隊」の設立と運営

任期2年目の令和3年に、空き家の利活用促進を活動目的とする特定非営利活動法人かみじま町空き家よくし隊を町内有志とともに設立しました。町内の空き家をDIYを基本に改修してすぐに住むことのできる状態にし、移住希望者に貸し出す活動モデルとしています。令和4年度には、人口減少が急速にすすむ高井神島において、交流拠点の整備と地域計画の策定も行います。

NPO主要メンバー

### ●ゲストハウス展開計画「みちしおプロジェクト」の開始

これから観光産業の拡大が見込まれる上島町の島々に、回遊型／滞在型観光の拠点となる「ゲストハウスみちしお」を展開します。この計画は、愛媛県ビジネスプランコンテスト「EGFアワード2021-2022」で優秀賞を受賞しました。その1号店を弓削島で開業準備中です。これら施設は、地域課題解決の活動拠点、そしてコワーキングスペースとしても使用する予定です。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（協力隊活動）https://www.facebook.com/shimakurashi
（NPO活動）　https://www.facebook.com/akiyayokushitai
（起業・創業）https://note.com/michishio/

# 愛媛県松野町　増沢　大気

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
33歳
【出身地】
東京都　町田市
【転出元】
東京都　世田谷区
【前　職】
企画職
【活動時期】
R２.７月～ R５.６月
（３年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

東京での子育てとお金の稼ぎ方に自信が無くなってきた時期に協力隊制度を知り、その中でも特に自由な気風と活発さを感じた松野町に惹かれて応募。

そのころ漠然と持っていた地方の役割や可能性に対するイメージと、それまで自分がしてきた仕事がなんとなく良い形で結びつきそうな気がしたのも応募を後押しした。

## 今後の抱負･任期後の目標

・役場関連業務と地域活動のバランスを保つ
・関わっている事業の人的な基盤を出来る限り固める
・現在の業務をいつでも引き継ぎ可能な状態にする
・行政だから出来る事、民間だから出来る事の整理

任期後は、現在の協力隊活動の延長線上にある仕事をしたいと思っています。

## 活動内容

**●移住者向けの雇用創出、およびそのPRと窓口業務**

住まいと仕事がセットになった移住ルートが協力隊制度のみである状況を受けて、担当者と共に新たな移住ルートの整備を行った。企画提案、立ち上げ後の広報・求人、採用前後の受け入れ対応を担当。
（事業名：森の国まつの事業協同組合）

「森を組み継ぐ」
森の国まつの事業協同組合

**●新規協力隊募集に係る活動**

町の協力隊について、年度ごとの募集のPRから視察ツアーの調整、現地案内、その他問い合わせ対応全般を担当。関連して、新規隊員の住まいとなる空き家のコーディネートも担当（所有者対応・バンク運営・改修補助金の案内・内覧調整など）。

**●青空市の立ち上げ･運営（地域コミュニティ活動）**

地域の商工業者、モノ作り作家と共同で、地元商工業振興とコミュニティ活性を目的とした青空市を立ち上げ、運営中。開催回ごとのコンセプト設定・フライヤーデザイン・SNS広報・出店者対応・当日の会場スタッフを担当。
（企画名：松丸市　第四回開催へ向けて準備中）

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://hubplace.jp/board/kjr6035d9dcbcdc6/

# 高知県仁淀川町　竹村　匠平

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
２８歳
【出身地】
高知県　仁淀川町
【転出元】
神奈川県　川崎市
【前　職】
整備士
【活動時期】
Ｒ４.５～Ｒ７.４
１年目

## 協力隊に応募したきっかけ

私は、高校卒業と同時に県外に出て、結婚し子育てをしていました。仕事はバイク屋で工場長を務めていましたが、地元仁淀川町のためになにかしたいと思い家族でUターン移住を決意しました。そして仁淀川町での仕事を探しているときに、聞いたことのなかった「地域おこし協力隊」という仕事を見つけ興味が出ました。さらに募集要項(ミッション)が「移住相談員」で、県外での生活を経験しUターンで帰ってきた私は移住相談の対応をするのはぴったりなのではと思い応募しました。

## 今後の抱負･任期後の目標

人が集まれる場所をつくりたい、そして今住んでいる若い人の定住率を上げつつ、私のようにUターンで帰ってくる人を増やしたいという思いがあるので、それに少しでも関係する仕事をしていきたいと思っています。元々着任前は集まれる場所づくりでカフェを開くなどを考えていましたが、もっと深く移住に関わる仕事があればそれも良いなと今はミッションを通して考えるようになりました。

## 活動内容

**●空き家調査**

高知県は空き家率全国ワースト１に選ばれてしまっています。そして移住希望者がいても住める家でないと移住はできません。なので実際に空き家に足を運び、家主さんと連絡をとり活用できる方法はないか模索します。活用可能と判断した場合、移住者と家のマッチングができるように進めていきます。

**●移住関連ホームページ、SNS運営**

仁淀川町のホームページを含め、移住に関わるホームページの更新、編集を行います。
少しでも多くの人に仁淀川町に興味を持ってもらい、まずは一度問い合わせをいただく、もしくは町にきてもらうことに繋がるよう編集します。

**●移住相談会参加**

東京や大阪に行き移住相談会イベントに参加します。実際に移住を検討されている方々と直接お話をし、仁淀川町を知らない、来たことのない方にはまず認知してもらう、知っている、来られたことのある方にはより深く知ってもらい、最終的に移住に繋がれるよう対面でお話させてもらいます。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
仁淀川町地域おこし協力隊　Instagram　→

# 福岡県八女市　原　七海華

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
25歳
【出身地】
福岡県八女市
【転出元】
京都府京都市
【前　職】
大学生
【活動時期】
R２.５～R５.４
（３年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

大学では政策学を専攻し、過疎地域について学んでいた。当時、八女市において導入に向けた検討を進めていたコミュニティ通貨の取組は、課題となっていた地域の担い手不足や、コミュニティの希薄化を解消する有効なツールであると考えている。大学で学んだことを活かしながら、市民も市外住民も知らない、新たな八女市の魅力を発見し、移住定住促進につながる活動を行いたいと思い協力隊に応募した。

## 今後の抱負・任期後の目標

任期終了後は、地域においてコミュニティの拠点となるような喫茶店開業を目指している。地域住民はもとより、観光客や移住検討者でも、「このお店に来たら地域の事を知ることができる」と思ってもらえるようなお店にしたい。

## 活動内容

**●八女市の魅力発信「八女のロマンプロジェクト」**

八女市の魅力発信のため、八女のロマン公式サイトの運営や、各種SNSの運用を行っている。
八女のロマン公式サイトは、観光PRではなく八女市に住む人の魅力にフォーカスしたサイトとなっている。また、その他移住のための各種支援情報も掲載している。

八女のロマン

**●関係人口創出拠点「つながるバス停」**

市内に新たに建設されたバス停を、関係人口を創出するための拠点として運用している。コミュニティライブラリーや、市内で起業を目指す方のためにチャレンジショップとして提供することで、地域との関係作りの手助けを行っている。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）teijyutaisaku@city.yame.lg.jp
（電話番号）0943-24-8162

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（八女のロマン公式サイト）https://www.romanticyame.com/

# 佐賀県　石神　恵美子

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
33歳
【出身地】
埼玉県
【転出元】
茨城県
【前　職】
編集者・記者
【活動時期】
R3.12～

## 協力隊に応募したきっかけ

コロナ禍でオーストラリアから帰国して、東京で再就職するよりも、自然豊かな地方で仕事をしたいと思ったため。日本の田舎の農的暮らしに興味があり、九州の有機農家さん等を訪ねて旅行し、地域おこし協力隊をしている人に会ったことで、その制度を知った。有楽町の移住フェアでたまたま佐賀県庁の協力隊募集を知り、応募。

## 今後の抱負・任期後の目標

移住者の声をひろうのが主なミッションだが、移住者だけのコミュニティづくりをするのではなく、農業や林業のイベント企画を通して、地元の人とも交流できるようなコミュニティづくりができればと思っている。

## 活動内容

**●グッドネイバーズオンリー**

移住者にカードの配布を通してオンラインとリアルでの交流の場を提供。移住者の孤立防止とメインミッションである移住者の声をひろう仕組みづくり。

佐賀へ引っ越ししてきた人に、デザイン性の高いカードを配布。市町ごとに縁のあるデザイナーさんにカードをデザインをしていただく。カードにはInstagramのQRコードがあり、Instagramでは協賛カフェの紹介をしている。協賛カフェに足を運んでもらい、注文時にカードを見せると、サービスの提供を受けることができる。また、カードにより移住者であることがわかるので、カフェ店員さんからお声がけをしやすくなる。会話のきっかけづくりのカードとなり、カフェ利用者がまた訪れたくなるような関係性となることを理想とする。

Instagramでは質問箱やDMを利用して、移住者とコミュニケーションを取り、移住者の声をひろう。
その声をもとに、イベント等を企画していく。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）ishigami-emiko@pref.saga.lg.jp
（電話番号）0952-25-7393
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Instagram （@goodneighboursonly）

# 佐賀県小城市　瀬尾　美穂

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
54歳
【出身地】
佐賀県佐賀市
【転出元】
大阪府吹田市
【前　職】
マルシェ（コーディネーター）
【活動時期】
R3.4.15～

## 協力隊に応募したきっかけ

佐賀出身で大阪で長く暮らしていたが、Uターンを考えてた。親の年齢や子供の進学も丁度良いタイミングに、友人のSNSで偶然小城市の地域おこし協力隊の募集を知る。
元々、家や地域貢献に興味があったことと、小城市の事が好きだったので、大変魅力を感じ応募。

## 今後の抱負・任期後の目標

地域の方と行政との中間的存在であることや、現在の経験を活かして、空き家、移住、定住のコーディネーターとして活動したいと考えています。
具体的には、空き家バンクの促進、空き家活用、移住者のフォローなどを中心に考えています。

## 活動内容

**●おぎ移住相談窓口**

小城町、牛津町、芦刈町で出張相談窓口を開催。空き家バンクや空き家活用の相談、移住や定住の相談などを受け、フォローを含めて相談者に寄り添い細やかな対応を心がけている。

**●空き家バンク促進**

空き家の掘り起し。家財道具や相続等の相談。
必要に応じて専門家へ繋ぐ。空き家を活用したいが問題を抱えている方のフォロー。
空き家バンク登録。空き家バンクの管理。

**●イベント開催**

「楽しもう！小城での暮らし」を合言葉に、移住茶会（座談会）、箸置きつくり、DIYワークショップ（スツール作り）、空き家出前講座、断捨離講座等開催。これらを通じて、相談窓口、空き家バンクの事を知ってもらったり、家の事を考えるきっかけつくりをしている。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）akiya@city.ogi.ig.jp　（電話番号）0952-37-6150(職場)
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
インスタグラム　yokadesuyo_ogi
Facebook　　おぎ移住相談窓口

# 佐賀県嬉野市　久野　裕子

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
33歳
【出身地】
大阪府河内長野市
【転出元】
東京都練馬区
【前　職】
保育士、建設コンサルタント
【活動時期】
R3.5～

## 協力隊に応募したきっかけ

情報や人が集まるまち東京で楽しく暮らしていましたが、新型コロナウィルス感染症の拡大をきっかけに、長く暮らしていくための住環境ついて考え直し移住に興味を持つようになりました。同時期に決まった結婚を機に、夫の生まれである佐賀県で暮らすことを決断。以前から仕事を通して「こどもも大人も自分らしく楽しく暮らす」ことに貢献したいと取り組んでおり、嬉野市の募集するミッション「空き家・移住・ネットラジオ」が、様々な方の暮らしをサポートできると思い応募しました。

## 今後の抱負･任期後の目標

移住者も、市民の方も、こどもも、大人も、自分がやりたいと思うことを、小さなこからチャレンジできるように応援する場や機会を作っていきたいと思っています。
「嬉野に暮らす＝自分らしく暮らす」になるように、移住後のコミュニティ支援、子どもと地域活動を繋げる、空き家の活用がイメージできるような事例集の作成、女性のキャリア支援、チャレンジショップなど、市民の方に協力して頂きながら自分ができることに取り組んでいきたいと考えています。

## 活動内容

**●インターネットラジオによる情報発信**

インターネットラジオ（ポッドキャスト）で月１回配信を行う。テーマは「空き家を活用している人」「嬉野で暮らす・働く女性」など。自身が移住する際に悩んだことを活かし、移住や空き家を検討する方の参考になる内容を、嬉野市民の方々にご協力頂きながら作っています。

**●空き家の活用**

空き家バンクの運営補助（空き家の調査、HPでの情報発信、内覧対応、相談対応）を行う。空き家を提供したい人・買いたい人の、疑問を解消できるように、様々な情報を収集して解決できるように努めています。実際に改修をされている方と購入を考えている人を繋ぐことなどもしています。

**●移住促進**

移住相談（オンライン、メール、電話、移住フェア等）を行う。また移住検討者が短期滞在して嬉野市の暮らしを体験する「お試し住宅」の運営補助を行う。相談者の希望する暮らしを聞き、近い暮らしをしている方を繋いだり、まち歩きをしながら実際に移住した自身ならではの情報をお伝えしています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）kikaku@city.ureshino.lg.jp　（電話番号）0954-66-9117
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（instagram）https://www.instagram.com/ureshinokyoryokutai/
（ネットラジオ）
https://open.spotify.com/show/3ELO28M0CWf328eSFL5BRB

# 長崎県島原市　田口　賢

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
32歳
【出身地】
長崎県長崎市
【転出元】
東京都調布市
【前　職】
釣りのWEBメディア編集部
【活動時期】
R3.3～

## 協力隊に応募したきっかけ

都内から長崎県へUターンする手段として、協力隊へ応募しました。
島原市内には火山・湧水・歴史といった多くの魅力的な資源があることを知り、本市への応募を決めました。

## 今後の抱負・任期後の目標

自走できるような事業づくりが目標です。

## 活動内容

**●WEBサイト「ちょいそと」でのアウトドア情報発信**

島原の登山・釣り・キャンプなど、アウトドア情報をブログやSNSを中心に発信。

**●イベント企画：舞岳山荘ハムづくり体験**

市内唯一のキャンプ場「舞岳山荘」の認知向上と利活用を目的に、地元ブランドの豚肉を使用したハムづくり体験を企画・運営。
約半年で100名以上が参加。

**●雑記ブログ「どどん！」での島原市の情報発信**

島原市に移住して出会ったモノ・ヒト・コトをブログで発信。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）okoshi14@city.shimabara.lg.jp
（電話番号）0957-61-1652
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（ちょいそと）　（どどん）

# 長崎県西海市　原田　剛吉

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
51歳
【出身地】
静岡県　熱海市
【転出元】
愛知県名古屋市
【前　職】
自営業（居酒屋）
【活動時期】
R元.６～

## 協力隊に応募したきっかけ

居酒屋を経営していた時から、自分で取った魚や野菜で料理を作ってお客様に出したいと10年位考えていました。
候補地を長崎に絞り（自然が豊）Ｉ、Uターンの相談会に出席して、松島の地域おこし協力隊を知りました。
私がやりたいことがミッションそのままでしたので志望しました。

## 今後の抱負･任期後の目標

・宿を軌道に乗せる
・小型船で釣り技術向上、素潜り
・島野菜をブランド化させるまた、収穫量を増やす
・賛同者集め定住者を増やす
・宿を拡張して集客力を上げる

## 活動内容

**●松島の活性化、移住定住**

①松島に宿の設立
②松島の特産品PR活動、販売
③松島の情報発信（HP、SNS、情報誌等）
④移住希望者や来島者の島の案内

<略歴>
2019年5月　愛知県名古屋市名東区から自営居酒屋を閉めて松島に移住
2019年6月　西海市松島地域おこし協力隊活動開始
　　松島の宿泊施設プロジェクト開始
2019年9月　松島島民と連携して島野菜の販売プロジェクト開始
2020年2月　松島内郷、外郷に宿のリフォームを開始
2020年8月　新屋敷、はえん風、宿オープン

## 連絡先

# 長崎県東彼杵町　斎藤　節子

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
38歳
【出身地】
埼玉県　羽生市
【転出元】
埼玉県　羽生市
【前　職】
会社員（物流関係）
【活動時期】
R4.4～ R7.3
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

子ども3人を抱え移住するにあたり、移住前から役場の方たちがいろいろお世話をしていただいたことで、その恩返しに、地域のために何かできないかなと考えていた時、地域おこし協力隊の募集を紹介していただきました。
うれしいことに、子育て世帯をターゲットにした移住・定住促進という募集要項に、私の移住経験が生かせると思い応募しました。

## 今後の抱負･任期後の目標

町の情報発信を踏まえ、東彼杵町を知ってもらい町に魅力を感じ少しでも多くの方に町に足を運んでいただく

若い世帯の移住者を増やし、出生数の増加に期待し将来の人口減少を抑える

任期後は、地域の人が集まる飲食店を起業したい

## 活動内容

**●移住相談会**

オンライン・オフラインの移住相談会へ参画し、相談者との信頼関係を構築し、移住定住の促進を促す

**●お試し住宅の活用**

町内にはお試し住宅があり、移住希望者にはお試し住宅の利用をお勧めしています。
実際に田舎暮らしを体験することで、地域のことを肌で感じ生活インフラを知ることができます。
また希望者には、町内の案内を行っています。

**●空き家バンク制度**

町内には空き家バンクという制度があります。
空き家を有効活用し、空き家問題を解決。
空き家バンクに登録した物件の見学希望者には物件案内します。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
長崎県東彼杵町役場　総務課
地域おこし協力隊　斎藤節子
電話:0957-46-1286
メール:s.saitou@town.higashisonogi.lg.jp

# 長崎県小値賀町　橋本　尚子

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
25歳
【出身地】
滋賀県大津市
【転出元】
大阪府大阪市
【前　職】
学生
【活動時期】
R2.10～ R5.10
（3年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

一緒に活動している相方の血縁が小値賀にあり、そこから小値賀町さんとのご縁で納島の協力隊を始めた。

## 今後の抱負・任期後の目標

最終目標は移住や定住を目指しているが、納島は二次離島だけあってとても難しい。そのため、まずは関係人口の創出に力を入れている。関係人口における最終目標としては、私が滞在していない間でも、来島者が来やすい島になること。今、私たちがいることで島民と島外民の交流が少しずつできている。そのつながりや交流を今のうちに濃くしていき、私たちがいない間でも納島の○○さんに会いにきたとなるようにしていきたい。

## 活動内容

**●情報発信、PR**

インスタグラムでの発信。YouTubeでの動画配信。
ウェブでのブログ更新。納島専用のHP作成、PR。
納島Tシャツを制作、販売。
納島の言い伝えや歴史を形に残した納島BOOKを制作。

**●関係人口創出**

元々ある集落の中山間制度を利用し、有償サポーターの受け入れ。民泊を始め、納島へ滞在する時間増加を図る。
また、小値賀島民でさえきたことがない人が多数いるので、小値賀の人が納島に来るきっかけを作るためにも、まずは私が小値賀島民に知っていただくために小値賀の行事にも参加している。

**●島のコミュニティ活動への参加**

島の祭りや島の掃除への参加はもちろんのこと、島民との関係性を作るためにできる範囲でのお手伝いをする。
農業の収穫、出荷準備、協力隊自身が農業自体の挑戦（島民を知ろうとする活動）、トラクターなどで遊んでいる田畑の整備。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（納島HP）https://noushima.com/　　（Instagram）noushima_ojika

# 熊本県菊池市　甲斐　友彦

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
３１歳
【出身地】
福岡県福岡市
【転出元】
福岡県福岡市
【前　職】
建築設計事務所
【活動時期】
Ｒ４.８～Ｒ７.３
（１年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

祖母が熊本県菊池市に住んでおり、祖母の住んでいる地域に空き家が目立ち始め、人が減り、牛や馬も減り、昔の大工さんが建てた素晴らしい建物も劣化していくのを見て、小さな頃から親しんだ場所が廃れていくようで、どうにかならないかという想いで、まずは、建築の経験を生かし、空き家利活用をしていけないかと思い、応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

今後は山間部の空き家だけでなく、街中の商店街の店舗空き家も目立つので、山間部と街中の空き家のそれぞれの課題をクリアし、地域活性化を進めていきたいです。また、空き家から利活用実現までのワークショップなども行い、地域の方々とより良い地域をつくっていければと思います。任期後は、より一層、空き家事業や地域づくりに取り組んでいき、建築設計と不動産業を一貫して行い、菊池市をより楽しめるまちにしていきたいです。

## 活動内容

**●過疎地域の空き家調査**

過疎指定された地域にある空き家の現状調査を行い、所有者不明の空き家の所有者調査や空き家の賃貸化促進に向けた作業・事業を進めております。

**●過程を楽しむ古民家利活用**

まちなかの古民家を利活用し、高校生をまちなかに呼び戻し、地域の方々の拠点となるような場所をつくっています。高校生が何があれば自分たちは、ここに来るかを考え、自分たちでDIYしていき、地域の方々からサポートを受け、関わる人たちの思い入れのある場所をつくっていく事を目指しています。

**●まちなかデザイン会議**

有識者・行政と一緒に市民の方々と任意団体を発足し、毎月定例会議を行い、市所有物件の利活用事業を有識者を交え、検討・提案するなど、まちなか活性化を考えております。「次世代に魅せるまちづくり」をスローガンに、菊池の良さを出来るだけ、まちなかに落とし込めるよう同心協力しております。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）chiiki@city.kikuchi.lg.jp（菊池市地域振興課）
（電話番号）0968-25-7250（菊池市地域振興課）

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
高校生との古民家利活用（tate.base　インスタグラム）
https://www.instagram.com/kikuchi.tate.base/

KIKUCHI.TATE.BASE

# 熊本県和水町　大木　将裕

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
41歳
【出身地】
福岡県福岡市
【転出元】
福岡県福岡市
【前　職】
中学校教員
【活動時期】
R4.4～

## 協力隊に応募したきっかけ

以前から，自然豊かな土地で，自分の興味・関心や経験を生かして働きたいと考えていました。妻の親族の出身地でもある，和水町で協力隊の募集を行っていたので，応募をしました。

## 今後の抱負･任期後の目標

今後は，SNSなどを適切に使用し町の情報を多くの方に発信していきたいと思います。また，町の長所をいかしたイベント等を実施したいと考えています。情報発信とイベントを連動させ，多くの方が町に興味をもってもらえる仕組みづくりをしていくのが目標です。任期後は，現在取り組んでいる自然農法の勉強をいかした就農や6次産業への取り組みをしていきたいと考えています。

## 活動内容

**●空き家バンク**

町内の賃貸（販売）できる住宅を所有している方からの物件情報を「空き家バンク」へ登録していただき,移住・定住希望者へ情報提供する「空き家バンク制度」を実施しています。移住定住希望者の物件内覧対応や,登録物件の資料づくり，制度の周知活動などを行っています。

**●お試し住宅**

町外から移住を検討されている方を対象に，和水町での暮らしを具体的にイメージしてもらうため,お試し暮らし住宅を整備しています。ご利用者様の入退去の対応や，住宅の整備，ご利用者様を対象とした家庭菜園の整備などを行っています。

**●インスタグラムアカウント運用**

町の魅力や情報を広く知ってもらうために,協力隊のアカウントを運用しています。内容としては，飲食店，観光名所，施設案内などを週3回,定期的に投稿をしいます。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（インスタグラム）

NAGOMI.KYORYOKUTAI

# 熊本県和水町　水上　和磨

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
31歳
【出身地】
熊本県菊陽町
【転出元】
東京都台東区
【前　職】
不動産業
【活動時期】
R2.9～ R5.8
（3年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

出身である熊本で自分の経験を生かして働きたいと考えていました。「空き家」「リノベーション」「移住」など関心のあるテーマで協力隊の募集がされていたため応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

移住相談や空き家バンク等を通じて移住者、特に現役世代の受け入れを増やし地域の活性化に貢献したいです。
また、今年6月に町内の空き店舗を活用し、ブックカフェ「malou」をオープンしました。今後、店舗の運営を軌道に乗せ、任期後も経営を継続していきたいと考えています。

## 活動内容

**●空き家バンク**

新規登録の相談、物件調査、内覧対応など
→移住して実際に暮らしてみての印象など

**●お試し暮らし住宅**

改装作業、維持管理、入退去対応
→町内案内、移住者の紹介など

**●ブックカフェ「malou」運営**

空き店舗を活用した拠点づくり
→イベント・教室などの地域活動

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（インスタグラム）https://www.instagram.com/malou_nagomi/

@MALOU_NAGOMI

# 宮崎県日南市　守田　遥

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
３１歳
【出身地】
福岡県　大牟田市
【転出元】
福岡県　久留米市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R3.12～ R4.11
（１年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

着任以前は、カスタマエンジニアとして働いていたが、自らの知見を広げるために、ワーキングホリデー制度を活用し、オーストラリアに２年間の滞在を経験。

その際、「働きながら楽しみを見つけて生活すること」や「異文化との交流」を体感し、移住や交流に関する活動に自らの経験を活かしたいと思い、協力隊に応募した。

## 今後の抱負・任期後の目標

日南市に移住し、年間200万人の観光客を誇る豊富な観光資源と外部人材を受け入れる地域の寛容性の高さを強く感じたが、観光客や移住者と地元の方との繋がりの場を提供する機会が少ないとも感じた。

今後は、人材の交流地点となるコミュニティスペースを創出し、関係人口・交流人口の拡大やビジネス、意見交換の場等としての機能を果たし、経済や交流の活性化を図っていきたい。

## 活動内容

**●地域資源を活用したワーケーションツアー**

宮崎県の「みやざきの森林」を活かしたワーケーション推進事業を活用し、「山と島貸しワーケーション」と題して、モニターツアーを実施。

ライブコマース事業に携わる企業がツアーに参加し、その後、日南市特産品のＰＲを行う実証実験の実施に繋がった。

**●特定地域づくり事業協同組合設立に向けて**

地域の労働力不足の解消を目的として、特定地域づくり事業協同組合制度を活用した事業協同組合の設立に向けた取組みとして、自治体に対する提案を始め、市内事業者の意向調査や組合員の確保などに尽力した。

**●市内小学校の授業に講師として登壇**

「ふるさとまちづくり」というテーマに沿って、移住者という立場から、講師として登壇。

自身のこれまでの歩みや協力隊となった経緯、日南市の強み（魅力）、弱み（課題）など、自身の生活を通した気づきについて講話を行った。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（電話番号）0987-31-1169（日南市役所　商工政策課）

# 宮崎県木城町　山下　智大

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
28歳
【出身地】
宮城県　山元町
【転出元】
東京都　世田谷区
【前　職】
Webディレクター
【活動時期】
R3.11～

## 協力隊に応募したきっかけ

コロナ禍もあり地方移住を検討している時に、友人が地域おこし協力隊となり、興味が沸いたのがきっかけです。木城町へ応募した理由としては、「join」のサイトにて九州地方の求人を見ていたところ、自分の前職の経験が活かすことができそうな木城町の募集があり、町の雰囲気も出身地と近いものを感じたので、この町を選びました。

## 今後の抱負・任期後の目標

ミッションである移住定住に力を注ぎつつ、地元の人との交流も行っていき、活動の幅を更に広げていきたいです。卒隊後は新規起業や地域に根差した企業や団体への就職も検討していきたい。

## 活動内容

### ●移住定住

窓口に来た木城町への移住相談の対応をしております。住居の紹介や奨励金、町の施設など移住者の欲しい情報を提供しています。県外で行われる移住相談会等にも参加しております。
また、着任後新たに「お試し移住」の企画も行い、リアルな田舎暮らしが体験できる事業も始めている。

### ●空き家バンクの活性化

空き家バンクを運用する中で、専門知識や物件の査定など、自治体職員では対応しきれない部分も多いことが分かり、同協会との連携協定を締結しました。協定の締結により、不動産売買等の知識のない所有者・購入者が安心して取引できる仕組みの構築が実現しました。
また、積極的な空き家の掘り起こしや空き家情報のVR化など積極的な取組を展開し、成約件数が飛躍的に伸び、移住定住につながっている。

### ■地域活動団体への参加

消防団に所属して、火災予防活動をはじめとし、火災２件、遭難者捜索１件の出動に参加しました。また、木城町若者連絡協議会に理事として参加し、前職の経験を活かし「第26回 MTB 4時間耐久 in 木城」のポスター及び、Tシャツの作成を行いました。
職務外においても地域活動に積極的に参加しています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
kijo-iju@town.kijo.lg.jp　（電話番号）0983-32-4727

# 宮崎県川南町　笹川　史哉

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
37歳
【出身地】
宮城県仙台市
【転出元】
京都府京都市
【前　職】
自転車製造販売会社勤務
【活動時期】
R4.3～ R7.2
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

妻は移住先で地域おこし協力隊の募集にエントリーしていました。そんな時に、協力隊として移住コーディネーターを募集しているが旦那さんも応募してみないかと川南町役場からお声がけいただきました。
自身も移住者となるので、その経験を活かして移住を検討する方々にお役立ちできるのではないかと考えたことと、移住者を増やして楽しい町にしたいと考え、応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

自分自身が楽しみながら、いろんな新しいことにチャレンジしていきたいです。協力隊の活動を行う中で、自分のやりたいことに協力してくれる仲間が増えて川南町がより楽しい町になることを楽しみにしています。
任期後は川南町と移住者をつなぐきっかけとなるようなゲストハウスの開業や、自分自身が楽しいと思えるような仕事が出来る様に準備していくことを目標として活動しています。

## 活動内容

### ●移住相談対応

移住検討者向けのお試し滞在施設の予約管理や、お試し移住に関するお問合せの対応を行っています。
実際に川南町に来られた際には、町の名所や空き家の案内をしながら、移住してからの自身の生活についてのお話等をさせていただいています。

### ●移住者交流イベントの企画

川南町は小さな町ですが、移住された方々のお仕事や住んでいる場所は様々で、普段の生活の中で移住者同士の交流の機会は意外と少ないです。
移住者同士が交流イベントを通じて繋がり、移住生活をより楽しんでいただけるようなイベントを企画しています。

### ●川南町のPR

協力隊のFacebookや移住定住サイト（川南合衆国）内で「協力隊ブログ」を開設し、町の情報や協力隊の企画したイベント等の情報を発信しています。
また、今後は移住者だけでなく移住を検討する方々向けのイベント等も企画していきたいと考えています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）k-chiikiokoshi@town.kawaminami.miyazaki.jp
（電話番号）0983-27-8002

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（協力隊ブログ：移住定住サイト内）https://life-kawaminami.jp

# 宮崎県美郷町　髙城　陽子

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
４１歳
【出身地】
宮崎県宮崎市
【転出元】
宮崎県宮崎市
【前　職】
自営業
【活動時期】
Ｒ３.４～

## 協力隊に応募したきっかけ

協力隊に応募するより前に、美郷町に一目惚れし、移住を決めていました。その後に地域おこし協力隊という制度があることを知り、応募しました。

## 今後の抱負･任期後の目標

地域の方とお話をしていると、困りごとを耳にすることもあります。任期後は、地域の困りごとを解決するビジネスができるといいなと思っています。

## 活動内容

**●起業支援**

「こういうことをしてみたい」というご相談があったときに、それを実現するために必要な事柄を、ご相談者様と一緒に検討して取り組みます。
　これまで、飲食店や、町内初の民間保育施設の立ち上げなどに、関わらせていただきました。
　分からないことばかりで、私も日々勉強させてもらっています。

**●事業承継**

　商工会や、県の事業継承･引き継ぎ支援センターと一緒に、事業承継に取り組んでいます。まだ制度への馴染みが薄く、認知を図ったり、ニーズを掘り起こす段階ですが、少しずつ浸透しているのかなと感じています。

**●情報発信**

　移住してこられた方に、移住と仕事に就いてインタビューをしてブログを書いています。
　また、一年目は家計に関する調査のお手伝いをしましたので、その結果を町民の方に向けて伝える記事を、全5回で広報に掲載しました。

みさと移住.com

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）t-yoko@town.miyazaki-misato.lg.jp
（電話番号）0982-66-3603

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
ブログ　https://misatoiju.com/

# 鹿児島県鹿屋市　黒坂　美音

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
39歳
【出身地】
東京都町田市
【転出元】
東京都目黒区
【前　職】
広告代理店
(副業として継続中)
【活動時期】
R4.4月～ R7.3月
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

コロナ禍の影響で仕事がリモートワークとなり、住む場所にこだわりがなくなった事と人とのコミュニケーションがしたいと考えていた頃に、鹿屋市の協力隊の募集をみつけた為

## 今後の抱負・任期後の目標

自分のベースはずっと関東圏だったので鹿屋市や鹿児島の魅力を一人でも多くの関東の人たちに知ってもえるようなきっかけ作りをしていきたいと考えています!

## 活動内容

**●鹿屋市の企業紹介動画の撮影・制作**

鹿屋市の企業さんを紹介する動画の制作。
撮影から編集作業までを担当しています。

**●かのやで暮らすSNSの情報配信**

SNSにて鹿屋の移住に関する情報を発信しています。

Instagram　|　@kanoyadekurasu

**●小庭市への出店(2022/10/23)**

鹿児島市にて２カ月に一度行なわれている小庭市に協力隊３人で鹿屋市で作られた手作りの商品(ピーナッツバターやピクルス、チョコレート)を生産者の代わりに販売。この他に、鹿屋市で来年２月に行なわれるマーケットにも協力隊の特別枠として地域の洋菓子店とコラボしたオリジナルカヌレを販売する。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】

（メールアドレス） chiikiokoshi03@city.kanoya.lg.jp （電話番号） 0994-43-2111

# 鹿児島県枕崎市　大橋　佑輔

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
36歳
【出身地】
埼玉県草加市
【転出元】
東京都江東区
【前　職】
IT業界の営業職
【活動時期】
R4.8～

## 協力隊に応募したきっかけ

アメリカ留学時に外国人に囲まれて過ごす中で自分はマイノリティであることを痛感する一方、世界のことをもっと知りたいと思い海外や日本中の旅行を決意。
海外15か国、ロードバイクでの日本縦断を含む国内47都道府県を旅行する中で、観光地を回るだけでなくもっと地域に深く入り、人や文化を知りたいと思い、移住ができ、かつ地域とのつながりを深く持つため協力隊に応募した。

## 今後の抱負・任期後の目標

約15年間、IT業界の営業として培ってきたアイディア、スピード、実行力を武器に自分でしかできない事業に取り組んでいきたい。
また、協力隊制度に業務・指揮命令・待遇上に課題があると感じており、今後増加が見込まれる隊員のためにも改善を提案していきたい。

## 活動内容

**●築100年の古民家をゲストハウス・カフェに！**

市街地の9割が焦土となった終戦間際の枕崎大空襲から奇跡的に戦災を免れた築100年の古民家。
空き家になっていたその歴史ある邸宅を枕崎市の未来あるまちづくりの一端を担うという想いのもと、個と個と紡ぐ「KoToKoTo」と名付け2022年12月のオープンに向け改修・改装を進めております。

**●カンボジア在住日本人アーティストのSDGs展を枕崎で！！**

Social Compass × 枕崎市

本土から最も東南アジアに近く、外国人実習生も多い枕崎で、カンボジアに拠点を置き社会問題をアート・デザインで解決するSocial Compassのアーティスト展の企画を進めております。
カンボジアと枕崎の子供にSDGsを題材にワークショップを行い、交流することも企画中。

**●移住ドラフト会議で移住者を三本釣り！！！**

九州 移住ドラフト会議

私自身、移住のきっかけになった九州移住ドラフト会議。昨年は選手(移住希望者)での参加でしたが、今年は監督(移住募集地域側)で参加します！
「移住」という人生の大きな決断を人と地域の関係づくりをもとにコントのようなノリで乗り越え、移住者を三本釣り！（三人選手を指名できるため）

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Facebook：https://www.facebook.com/yusuke.ohashi.52
Twitter：@toppo_noppo21
Insta：toppo.noppo22

# 鹿児島県出水市　山川　温子

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
35歳
【出身地】
東京都杉並区
【転出元】
東京都町田市
【前　職】
ものづくり福祉作業所
【活動時期】
R２.９～R５.８
（３年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

北薩に遊びに来たのがきっかけで地域に一目ぼれし、移住を決意。住まいと仕事がないと移住は難しいかと考えている時に募集があり、応募しました。面接の際に、出水市行政職員の方から、「自身の今までの経験や特技を活かして、地域に新しい風を吹き込んでほしい」と言ってもらえてことも移住を決めた要因の一つ。

## 今後の抱負・任期後の目標

商店街の空き物件をセルフリノベーションし、『scAle』というお店をオープンしました。今はカフェとしての営業がメインになっていますが、今後はデザインやイラスト、困りごとへの伴走支援を主な仕事にしていきたい。scAleで働きたい、地元を盛り上げたい、自分で考えて働くことをしてみたい若い世代の雇用と、地域活性の種まきをしていきたい。

## 活動内容

### ●DIYでお店づくり

約二年がかりで、地元の学生やこども連れの家族、様々な方に参加してもらい、自分たちの手で工事してお店・交流拠点『scAle』づくりを行いました。オープン後も幅広い世代に体験・交流をしてもらえる場所として様々な展開に挑戦中。

・移住者の定住に向けた活動のモデルケースとして視察や研修の受け入れ。講演。
・イベント企画
・地産品を使ったメニュー開発
・活動内容、出水市をメディアで告知
・地域の情報を収集、紹介、告知
・「地元を楽しくしたい」という地元の方々の相談窓口

### ●移住定住促進

・移住者目線で出水市の魅力を体験し、SNS等で告知拡散。
・自身の移住体験をもとに、移住希望者と移住者募集自治体のマッチングお手伝い。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・インスタグラム】
（出水市地域おこし協力隊：**izumi.chiikiokoshi**　）
（scAle：scale_izumi）

SCALE_IZUMI

# 鹿児島県指宿市　元吉　遼平

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
29歳
【出身地】
埼玉県上尾市
【転出元】
埼玉県上尾市
【前　職】
溶接工
【活動時期】
Ｒ１．１０～

## 協力隊に応募したきっかけ

先輩隊員に誘われた為。

## 活動内容

**●移住定住促進**

・移住イベントへの出展
・移住希望者の案内・
相談受付

**●TOMOSHIBI**
**アートのある街計画**

・地域を巻き込んだアート
による街おこし

## 今後の抱負･任期後の目標

指宿の地域の方々と共に、アートを活用した地域おこしで楽しんで課題解決をしていきたいです。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）koshitsu@city.ibusuki.jp
（電話番号）0993-22-2111（内線127）
（職場）市長公室

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
「いぶすき暮らし」https://www.city.ibusuki.lg.jp/ijyu/

# 鹿児島県志布志市　藤原　玲二

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
35歳
【出身地】
和歌山県和歌山市
【転出元】
大阪府堺市
【前　職】
Web・映像制作
【活動時期】
R4.6～ R7.6
(1年目)

## 協力隊に応募したきっかけ

前職である映像制作や動画編集のスキル、学生時代の映画上映のイベントやラジオ番組での情報発信全般を活かしたことを地方へ繋げていきたいという想いがあり、そこで目にした募集が志布志市の「住まいと仕事のコンシェルジュ」でした。また、お付き合いしている彼女が志布志の出身で、志布志市について色々と調べ興味を持ったのも理由の一つです。

## 今後の抱負・任期後の目標

志布志市に映画館を作るのが一つの目標です。最近は全国で様々な形の小さな映画館が増えているので、空き家を活用した映画館を作りたいと考えています。
映画館もそうですが、空き家を活用して地域の方はもちろん、遠方から来られた方にも利用してもらえるような場所を増やせればと考えています。

## 活動内容

**●空き家バンク**

空き家バンクに掲載している物件一覧ページが現状のままだと見づらいとの声があるので、移住交流支援センターのサイトの中に新しくページを作り、空き家バンクの利用を検討している方に見やすくなるように整備を進めています。

**●移住交流支援センターでの移住支援**

移住交流支援センター「エスプラネード」で移住相談業務のお手伝いをしています。志布志市で生活するイメージを持ってもらいやすいように、自分自身の体験などをお話したり、大阪や東京での移住支援イベントに参加しています。

**●ふるさとCM制作**

同じ協力隊の山田隊員とふるさとCMの制作をしました。それぞれ映像制作にかかわっていたこともあり、CM制作で隊員同士で連携して活動することが出来たのは良い経験になりました。

## 連絡先

# 鹿児島県屋久島町　池田　恵

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
42歳
【出身地】
神奈川県横浜市
【転出元】
神奈川県横浜市
【前　職】
主婦
【活動時期】
R2.9～ R5.8
(3年目)

## 協力隊に応募したきっかけ

移住イベントで地域おこし協力隊のことを知り探していたところ、屋久島町の募集を見つけすぐに応募しました。いつか鹿児島に住みたいと思っていたことと、以前旅行できた際に島の方達に親切にしていただいたことが忘れられませんでした。

## 今後の抱負・任期後の目標

任期も3年目に入り、残りわずかとなりました。
コロナ禍で本来の活動（移住イベントへの参加など）大幅に少なくなりましたが、屋久島町へ定住に向けて準備していきます。地域で子供に関わる仕事や、移住の一歩手前の段階をお手伝いするようなことができたらと考えています。

## 活動内容

**●移住セミナーへの参加**

2022年5月に東京有楽町で開催された移住セミナーに参加しました。オンラインと違って対面だと相談に堪えた方の人柄、暮らし方などをより知ることができるのでとても勉強になりました。

**●DIYワークショップへの参加**

他の地域での移住、空き家担当の協力隊と繋がりつつ、空き家の利活用のためのDIYワークショップに参加しています。

**●空き家バンクの登録、掘り起こし**

空き家バンクへ登録する物件の撮影や、空き家になっている物件の聞き込みなどを行っています。物件が登録された際SNSで情報の発信もしています。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（屋久島町地域おこし協力隊Facebook）
https://www.facebook.com/YakushimaTownChiikiokoshi
(やくしま移住　Instagram)
https://www.instagram.com/iju_8940/

# 鹿児島県龍郷町　森　まゆみ

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
42歳
【出身地】
福岡県北九州市
【転出元】
福岡県北九州市
【前　職】
個人事業主
【活動時期】
R元年5月～
3年目

## 協力隊に応募したきっかけ

子育て環境を変えるため、移住を考えるにあたりSMOUTにて募集を知り、活動内容と居住環境に惹かれて応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

集落や町に役立つような活動を行いたい。任期後も何かしら今の任務に繋がる活動をしたい。

## 活動内容

**●空き家調査**

空き家バンク運営のため、町内の空き家調査を行い、空き家活用に繋がるよう活動をしています。所有者に向けての意向調査や、固定資産税の通知書に空き家活用・相続登記・危険空き家等の周知を広げるチラシ同封も行い、空き家活用を呼び掛けています。

**●移住相談**

令和3年度は約160件の移住相談を受け、実際に来島された方には、空き家や集落案内を行い移住・定住に繋がるよう案内をしています。

**●空き家DIY**

奄美大島は古い空き家が多いため、借りた人が直しながら住むというケースがよく見られます。そのため、実際に自分でやったらどのくらい予算や時間がかかるのかを伝えるため、DIYのイベントなどを開いています。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://www.facebook.com/tatsugo.iju（FB）

# 鹿児島県龍郷町　冨居　ゆかり

**移住・定住促進**

## 基本情報

【年　齢】
33歳
【出身地】
富山県魚津市
【転出元】
富山県魚津市
【前　職】
カフェ店員
【活動時期】
R4.6～R7.5
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

以前から地域おこし協力隊に興味があり、前職をやめる際に協力隊になることを検討し応募を決めた。奄美大島で生活をしてみたいと考えており、龍郷町での仕事と自分の思い描く生活が一致していたため、龍郷町へ応募した。

## 今後の抱負・任期後の目標

住民の方とお話をして関わり合いながら、自分にできることはなにか、町にはなにが必要なのかを考えていきた。町の人にも、移住者にとっても住みよい龍郷町になるような取り組みを行っていきたい。

## 活動内容

**●空き家バンク「住もうディ！」運営**

空き家の掘り起こし、把握、情報の公開を行っている。また所有者と借り手の間にたち、契約がスムーズに行われるよう調整を行う。活用されていない空き家の所有者に対しては、連絡をして利活用の提案を行う。

**●移住相談**

「住もうディ！」に来られた方への直接面談や電話、LINEでの移住相談を受ける。また移住相談イベントなどにも出席し、移住の際のアドバイスを行う。

**●ラジオ番組出演**

地域おこし協力隊でラジオ番組を持ち、隔週で放送中。地域の方にインタビューに伺ったり、情報を放送したりしている。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（電話番号）0997-58-8843(空き家バンク)
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://www.facebook.com/tatsugo.iju（FB）

# 02 不動産利活用

# 北海道倶知安町　栗原　由紀子

**不動産利活用**

## 基本情報

【年　齢】
30歳
【出身地】
北海道札幌市
【転出元】
北海道札幌市
【前　職】
シェアハウス管理運営
【活動時期】
R4.4～ R7.3
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

転職先を探し始めていて、偶然、倶知安町の地域おこし協力隊の募集を目にしたのがきっかけです。

いつかは北海道の田舎に移住したい！と思っていましたが、仕事が決まらずに移住するのはハードルが高く、踏み切れずにいました。

また、人々の暮らしに深く関わる「住まい」の仕事に携われることが応募の決め手となりました。

## 今後の抱負・任期後の目標

着任して半年が経ちましたが、活動の方向性を検討しながら、できることから一つずつ進めています。3年の任期中に少しでも形が見えてくると良いなと思っています。

また、山が近くて自然が沢山の倶知安町がとても気に入ったので、任期後は、なんとか仕事を見つけて定住する事が目標です。

## 活動内容

**●住まいの相談窓口の開設**

持ち家のリフォームや住み替えなど住まいに関する悩みを相談できる窓口を開設しました。

住まいに関する悩みは人それぞれ、誰しもが持っているのではないでしょうか。倶知安町はスキーリゾートで有名な豪雪地帯ですが、雪の処理は暮らしていく上で欠かせない課題です。特に高齢になるとその負担は大きくなり、住み替えを検討される方もいます。

どこに相談したらよいのか分からない、という町民の方が「とりあえず話に行ってみよう」と思えるような窓口を目指しています。

**●住まいに関する情報の収集と発信**

町民さんや不動産業者さんなど色々な人にお話をお伺いし、課題やニーズの調査を進めています。

また、相談にきてくれる方に適切にアドバイスができるように、住宅に関する法律や制度など情報の収集に努めています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）sousei@town.kutchan.lg.jp
（電話番号）0136-56-8001
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://www.town.kutchan.hokkaido.jp/town_administration/matidukuri/4376/

# 岩手県金ケ崎町　及川　俊哉

**不動産利活用**

## 基本情報

【年　齢】
21歳
【出身地】
岩手県金ケ崎町
【転出元】
千葉県千葉市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R3.10～ R6.9（予定）
（２年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

就職を機に金ケ崎町をはなれましたが、帰省するたびに人や場所の温かさ、素晴らしさを感じると同時に、この素晴らしさを守っていく人がいるのか、町民にこの魅力が伝わっているのか疑問に感じました。

若い人が地域のことを知り、楽しくまちづくりに取り組んで、まちを盛り上げていけるようにしたいと思い、協力隊に応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

令和４年９月に空き家の改修が終わり、シェアスペースの運用を開始しました。「日本一ワクワクする町」を目指し、若者をはじめ、チャレンジしたい人に気軽に、いろいろな用途で使っていただけるよう、出店者の発掘、情報発信の支援を行っていきます。そのほか、自主企画イベント等も開催し、多くの人に町の魅力を知っていただける機会を作っていきたいと考えています。

任期終了後は、シェアスペースの運営のほか、自分のスキルを活かして起業したいと考えています。

## 活動内容

**●エリアリノベーションの推進（協力隊の拠点Ｌｉｆｅ ＢＡＳＥの運営）**

二日町地区の資源を活用したエリアリノベーションの取組みのひとつとして、令和３年11月から、自分たちの手で空き家を改修し、飲食の提供が可能なシェアキッチン、シェアスペースをオープンさせました。この拠点の運用を通じて、いろいろな人の「やってみたい」の実現をサポートしています。

また、二日町地区をはじめ、町の魅力的なものを多くの方に実際に体験していただくためのイベント開催を通じ、交流人口、関係人口の拡大に取り組んでいます。

▲空き家改修作業の様子

▲改修後のシェアキッチン

▲オープンイベントの様子

**●町の魅力情報の発信**

金ケ崎町の人やもの、場所、各種制度等についてInstagramやYouTube等のSNSを通じて情報発信を行っています。さまざまな分野で活躍する人の紹介では、その人の取組みにかける想いにフォーカスして、動画やラジオなど、各種媒体で発信をしてます。

Instagramでの投稿▶

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Instagram　https://instagram.com/life.0502

# 山形県寒河江市　清政　朱音

**不動産利活用**

## 基本情報

【年　齢】
28歳
【出身地】
大阪府堺市
【転出元】
大阪府高槻市
【前　職】
設計事務所勤務
（一級建築士）
【活動時期】
R4.10～ R7.9
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

大阪で生まれ育ってきましたが、自然に囲まれた生活をしたいと思うようになり、いつか地方移住をしようと考えていました。地域おこし協力隊の制度を知り様々な自治体を検索していたところ、寒河江市はこれまでの自分の経験や働き方とマッチすると感じたので応募に至りました。着任後にお米や味噌、醤油を支給いただけることも魅力に感じました。

## 今後の抱負・任期後の目標

建築やデザイン、ブランディングの経験を活かし、寒河江の魅力を発掘・発信していきたいと考えています。中心市街地の活性化や地域資源の活用がミッションです。特に、寒河江では新築の住居が増える一方、空き家も増加しており、古民家の価値を上げていく活動をしていきたいです。また、寒河江にはふらっと立ち寄れるカフェが少ないことも感じているので、古民家を使ったカフェの企画にも挑戦していきたいと思います。

## 活動内容

**●中心市街地店舗の活用**

寒河江市の中心部に位置する「フローラ・SAGAE」は商業施設でありながらも民間店舗の誘致が成り立たず、空きスペースが多くなっている状況です。地域の方々がその施設に立ち寄る目的を再検討し、中心市街地の活性化に繋がる事業計画を策定中です。

**●空き家の活用**

寒河江市内に残る歴史的建造物や古民家を活用すべく、現在は市外の空き家活用事例の視察や、市内の空き家の見学を重ね、「どの場所でどう活用し、そこで何をするのか」の検討をしている段階です。

**●イベントの運営**

地域のNPO法人にも所属しており、寒河江市内でのイベントの運営等に携わっています。10月初旬に開催されたコスモス祭りの運営にも関わらせていただきました。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Instagram：@aka.ni

# 茨城県稲敷市　瀬谷　勇

**不動産利活用**

## 基本情報

【年　齢】
45歳
【出身地】
神奈川県　川崎市
【転出元】
神奈川県　川崎市
【前　職】
ドライブインストラクター
【活動時期】
R１.５～R5.3.31

## 協力隊に応募したきっかけ

拠点を用いた観光に関する活動と地方での地域活性の両立をやりたいと思ったのが応募したきっかけです。

## 今後の抱負・任期後の目標

応募したきっかけにも触れていますが、拠点を用いての地域活性と地域観光を目指しており、空き家を1人ＤＩＹでDIY未経験で素人改修作業を行っております。
今後民泊として運営を行い、それを元に定住する前提で事業を進めており、民泊予定地が霞ヶ浦という大きな湖が拡がり、それらを活用した事業や都市部からの観光者誘致など、地域で可能なビジネスモデルを構築し地域の発展と活性化に一役買えればと思っております。

## 活動内容

**●拠点を用いた空き家の改修事業**

地域活性と地域観光の拠点として、２年目より長期空き家になっていた家の改修作業を行っております。一通りの改修作業が終わりましたが、修理箇所などが増えて、それに対処している状況下ではありますが、現在は民泊の営業許可取得に向けて準備をしています。

**●地域のイベントや観光や魅力などの情報発信**

茨城県稲敷市という都市を少しでも知ってもらうために市内やその周辺自治体各所へ趣き、スポット発信などを行っております。

**●「市民とのボランティア活動」**

同市で活動する市民と一緒に色々な活動を行っております。その中の一つとして、地域に住む外国人を対象に日本語を教える活動を代表者と一緒に活動しております。今後、拠点が活用できるようになったら、こちらでもこのような活動を行う予定です。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】要相談
（メールアドレス） nonbiri.guesthouse@gmail.com（店）
【活動の様子を発信しているSNS】
（Facebook）https://www.facebook.com/seya.isamu.9/
（インスタグラム） https://www.instagram.com/isamu.inashiki/

# 茨城県稲敷市　山本　藤子

**不動産利活用**

## 基本情報

【年　齢】
40歳
【出身地】
東京都 豊島区
【転出元】
茨城県 稲敷市
【前　職】
英会話講師
【活動時期】
R1.8～ R5,3,31

## 協力隊に応募したきっかけ

東京で起業すると初期費用が高く、海外では書類関連が難しいと考えていたところ、日本の地域おこし協力隊の制度を知り、いくつかの自治体を実際に訪問。
最終的に、空き家の多さ、外国人wooferを受け入れている農家があった点、実家の都内からの近さ、自由度の高い活動である稲敷市の地域おこし協力隊に応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

引き続き農家民宿ゲストハウスを経営していきながら、地域活性や情報発信をし、3方よしになるよう収益化を図っていきます。他の空き家を希望者に紹介したり、引き続きインバウンドにも取り組んでいきます。任期後、収益を確立し、経営を安定化させることができれば、難民受け入れ、国際交流、お米の活用にも取り組んでいきたいとは考えていますが、目先の目標は、任期終了後の宿の継続です。

## 活動内容

**【空き家から農家民宿ゲストハウスへ】**

空き家を１年かけてDIYでリノベーションし、農家民宿ゲストハウスINASHIKI NESTを開業。現在OTA掲載及びADDressに掲載し、関係人口の創出と収益化に取り組んでいます。映画撮影の場所にもなりました。

**【地域情報及び活動の国内外へ発信】**

英語と日本語でWEBサイトを制作。またSNS(Twitter,instagram,youtube)で経営している宿についてや地域の情報などを国内外に発信しています。

**【ご近所ホッピングと農ある暮らしの実践】**

宿の前の耕作放棄地であった畑を活用して野菜やハーブを育て、滞在されるゲストに農ある暮らしの体験や新鮮な野菜を提供しています。地域での体験として、ゲストをご近所の畑やアーティストのところに案内しています。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://inashikinest.com/　madamfujiko.com

Twitter　Instagram　YouTube

# 群馬県渋川市　星野　隼人

**不動産利活用**

## 基本情報

【年　齢】
２７歳
【出身地】
群馬県渋川市
【転出元】
東京都杉並区
【前　職】
営業職
【活動時期】
Ｒ４．１～

## 協力隊に応募したきっかけ

廃校となってしまった出身小学校をなにか活用できないかと市役所へ話を伺いに訪問したところ学校の貸し出しは難しいが空き家活用からスタートしてみては？と提案をいただいたのがきっかけです。そこから自分で色々と調べたりしていたところで空き家活用をテーマとした協力隊の募集を見つけ応募しました。

## 今後の抱負･任期後の目標

活用可能な空き家の掘り起こしを継続するとともに、住む目的以外に活用が可能な空き家を確保することが目標です。事業者が増えることで関係人口であったり、移住者も増加するはずなので既存の事業者はもちろん、創業希望者が開業しやすいような環境を用意することを退任後含め頑張りたいと思います。

## 活動内容

**●空き家の紹介**

ユーチューブにて３６０度カメラで撮影した動画を投稿してます。他にも雑誌やSNSにて公開可能な物件の紹介を行っております。

**●イベント等の開催**

敷島駅前にてイベントの実行委員会として参加しております。廃れてしまった駅前商店街の空地で屋台村を実施し、創業希望者等に対して本地域でもたくさんの人が来ることを数字として見てもらえるようになることと、地域住民の交流が目的となります。

**●相談者の対応等**

月に１度の空き家相談会への出席や個別に連絡いただいた方への対応を行っております。現在では空き家を活用したい方からの相談が多いです。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
インスタグラム

HAYATO.SHIBUKAWA

# 富山県魚津市　丹羽　貴行

**不動産利活用**

## 基本情報

【年　齢】
28歳
【出身地】
東京都　目黒区
【転出元】
東京都　北区
【前　職】
神奈川大学 大学院
工学研究科 建築学専攻
【活動時期】
R2.7～R5.6

## 協力隊に応募したきっかけ

神奈川大学大学院の卒業制作で、魚津中央通り商店街にある空き店舗1階を多目的スペースへ改修するために魚津市と大学を約半年間行き来し、研究作業を行っていました。その際に魚津市出身で同じ大学院研究室の卒業生の方から地域おこし協力隊制度を教えていただき、今まで行っていた活動や知識が、まちの問題解決に役立てることができると思い応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

商店街を中心に空き家対策としてテナント入居や居住者を増やすことが命題です。対象エリアの空き家、店舗と物件所有者の今後の不動産活用について意思確認をしています。タナノナカミセで物件管理依頼やテナント入居希望者へ紹介できるように仲介役・物件情報を整理していくことが今後の活動につながるのではないかと考えています。

## 活動内容

**●ナカミセバンク（空き家・店舗情報 調査、整理）**

商店街エリアの空き家・空き店舗の状況を把握し、物件所有者にコンタクトを取り、意向調査を行っています。

タナノナカミセHPに物件情報などを掲載し、入居希望者へのアテンドやマッチングを行っています。

**● 魚津防火建築帯FES**

魚津中央通り商店街を舞台に空き家や歩道、駐車場を利用し、マルシェ・フリマイベントを開催しています。2022年11月で３回目の開催となります。このイベントでは、10年後の１日を前借りするように現在空き店舗の空間に１日限りの商いを行ってもらうことにより出店者、来場者の方にテナント募集広告を仕掛けています。

**● タナノナカミセ 企画・運営**

市内の設計事務所、工務店、商店街店主などとまちを盛り上げていくために月２,３回新たな事業計画やイベントの企画などについて打合せ会議を行っています。上記２項目の活動も協力し進めています。
また、商店街の空き店舗を利活用しタナノナカミセというコミュニティスペースでの案内役を担っています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）
n093w0ta@icloud.com

# 福井県大野市　三浦　紋人（みうら　もんど）

**不動産利活用**

## 基本情報

【年　齢】
２８歳
【出身地】
福岡県福岡市
【転出元】
福岡県福岡市
【前　職】
大学院生
【活動時期】
R2.8～ R6.3
（3年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

大野市と関西大学がまちづくりに関する連携協定を結んだきっかけで、隊員になる前から大野に来ました。それ以降、空き家を改修した活動拠点「横町スタジオ」で地域のにぎわい作りの活動を続けてきました。
大学院の卒業に合わせて設計事務所に就職することを考えていましたが、そんななか、大野市が空き家対策をテーマに地域おこし協力隊を募集していると知り、「空き家で暮らしてきた経験や、大学で学んだ建築の知識を活かした活動ができるのでは」と考えて応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

空き家の情報を広く市民の皆さんに周知する空き家情報誌「あきやたより」の発行を月に一度行なっています。また、あきやたよりを通じて空き家という複雑な事象を細かく砕いて解説等をする中で、本質的な課題を発見し、活動の足がかりを作ることもこの事業の目的です。次のステップは、建築のスキルを活かして、空き家活用のモデル事業を展開したいと考えています。それだけでなく、ワークショップ等、市民を巻き込んだ計画へ波及していくことにも期待しています。

## 活動内容

**●あきやたよりの発行**

空き家の管理方法や空き家情報バンクへの登録の呼びかけ、各種支援制度の紹介、空き家利活用に取り組む人の紹介など、空き家に関する様々な情報を提供し、空き家の所有者や市民の意識啓発を目的に、隊員が取材し作成する「あきやたより」を発行しています。

**●空き家利活用ワークショップの開催**

隊員の出身校である関西大学と福井工業大学の建築学部の学生によるワークショップを開催し、現在の社会課題である大野市の空き家に触れ、人と繋がり、街と交わる中で空き家を活用する価値を学びながら、新たな魅力の創出を図ります。

**●ソーシャルコンポストを活用した「楽しい循環」の構築とその情報発信**

福井県敦賀市の地域おこし協力カ隊　西山隊員との連携事業。敦賀市博物館通りで、ソーシャルコンポストの理解促進に向けたワークショップイベントを開催。その模様を冊子にまとめ、情報発信も行います。

## 連絡先

# 山梨県韮崎市　笹田　峻彰

**不動産利活用**

## 基本情報

【年　齢】
30歳
【出身地】
大阪府大阪市
【転出元】
奈良県奈良市
【前　職】
バリスタ
【活動時期】
R4.5～

## 協力隊に応募したきっかけ

都会ではなく、地域での暮らしに関心があったこと。地域コミュニティにコミットしやすい形でまちづくりに関わりたいと思ったこと。自分のスキルを生かしながら仕事ができる業種であったことを理由に、地域おこし協力隊という仕事に興味を持ちました。既に活動をしている友人に話を聞いたり、様々な地域に出向いたりし、地域おこし協力隊でもそれぞれの自治体などで内容も異なることを知りました。調べているなかで一番ご縁を感じた韮崎市に移住をしたいと思い、今に至ります。

## 今後の抱負・任期後の目標

現在一年目ではありますが、この約半年の間にさまざまなイベントなどを重ね、地域の人と接する機会も多く持つことができました。今後は、自分の退職後も地域が持続的に活発な活動やイベントを打ち出せるように、街の人が主体的に街に関われるような仕組みづくりをしていきたいと考えております。任期後は周辺地域に定住し（拠点を持ち）、本職であったコーヒーや、過去に仕事にしていた本や写真をきっかけに、地域の情報発信やイベントなどを個人的にも活動のひとつとして継続していきたいと思います。

## 活動内容

**●駅横情報掲示板の利活用**

駅横に情報掲示板というコミュニティスペースが設けられていますが、まだまだ認知が少なく、地域の人が活用するには難しいようでした。着任してからまずはじめに、この街の歴史を調べ、地域のことを皆さんにも知って貰えるような展示会を開催。利活用の実績としても、今後の手本となれば幸いです。

**●左官ワークショップ**

韮崎市に新しくできるお店（ピザ屋）の壁の左官をみんなで一緒に体験するワークショップを開催。地域の人と一緒に行うことで、お店に愛着を持ってもらいたい。そして空き家対策の一環としてリノベーションを推進するなか、自分たちでDIYをする楽しさを共有していきたいという意図のもと行いました。

**●家財持ち出し大作戦**

恵比寿屋という古くから街の人に愛されてきたビルを新しくリノベーションすることに。施工が始まる前に、ビルのなかにあった荷物などをみんなで掃除しながら、好きなものは持ち帰ってもらうという企画。地域のご老人から若い学生まで、このビルの思い出と一緒に、次世代へ繋ぐイベントとなりました。

## 連絡先

# 山梨県韮崎市　山中　梨緒

**不動産利活用**

## 基本情報

【年　齢】
20歳
【出身地】
大阪府岸和田市
【転出元】
山梨県韮崎市
【前　職】
アパレル・ゲストハウス
【活動時期】
R4.8～

## 協力隊に応募したきっかけ

社会問題として少子高齢化や限界集落に携わる仕事を探 していたのがきっかけで、学生時代にコロナ禍でのリモ ート学習の中で人々とのつながりの大切さに気付き中退 を決意し単身で実際に足を運んでいたときにアメリカヤ に配属している協力隊員からの紹介で就任しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

今後の抱負では、古民家の空き家を活用して老若男女が交流で きる場を整える手伝い。 任期後の目標は、心に傷を負った人たちが安心して未来を創る ような民泊・サロン・事務所が完備した拠点を作り、地方と都 会を繋ぐ事業。古民家の空き家を活用して、大人でも子供のよ うに楽しめる居場所づくり。

## 活動内容

**●DIY によるまちづくり**

アメリカヤ２F にて地域の方々のくらしづくりを支援。

**●ギャラリー企画**

韮崎市の玄関にも関わらず活かし切れていなかった韮崎駅ナ カギャラリーをお借りして、学生さんや若い方々から見える 韮崎の魅力を実際にみられる展示企画。若者アーティストに よるまちづくり。

**●空き家調査**

アメリカヤビルから広がる中央町通や本町通周辺で空き家調 査。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
インスタグラム
@DIY_SERVICE_CENTER @NASHIO_KURUTO @AMERICAYA1967

# 山梨県韮崎市　森山　雄介（もりやま　ゆうすけ）

**不動産利活用**

## 基本情報

【年　齢】
27歳
【出身地】
東京都東村山市
【転出元】
東京都中野区
【前　職】
学生
【活動時期】
R3.4～ R6.4
(2年目)

## 協力隊に応募したきっかけ

東京で生まれ育ち25年が経った節目に、自分のいる環境を一度大きく変えたいと思いました。とはいえ、いきなり遠く離れた地へ行く度胸はない私は、東京からさほど離れていない山梨県に魅力を感じました。度々旅行で訪れていた山梨県の景色と空気が好きでした。インターネットで仕事の情報を収集すると韮崎市がヒットして、そこで地域おこし協力隊という制度を初めて知りました。地方へ移り住み、その地域に貢献できる仕事ができることが素敵だと思い、韮崎市の地域おこし協力隊に応募させていただきました。

## 今後の抱負・任期後の目標

まず２年間はここで空き家バンク業務を全うしようと考えている。そして３年目の任期最終年となる来年度は、もちろん空き家バンク業務をやりつつも、韮崎市での１年半の移住生活を経て見つけた自分の好きなこと・やってみたいことにも力を注いでいきたい。
空き家の仕事をしているからと言って、この先もずっと空き家や不動産に関連した仕事をするつもりはない。地域おこし協力隊の活動と移住生活の経験から得た「なんでもチャレンジできる」という自信を大切にしたい。

## 活動内容

**●空き家バンク登録・内覧のための現地立ち会い**

空き家バンクに登録希望の物件の現地確認を、所有者・宅建業者とともに行う。補修が必要な箇所や程度、周辺環境や眺望などを確認し、物件としてのアピールポイントを考える。それを利用希望者へ、問い合わせがあったときや、内覧に同行した際にお伝えする。

**●不動産所有者セミナー・個別相談会の実施**

空き家バンク登録促進に向けて、今年度から所有者を対象に毎月個別の相談会を実施した。９月には宅建協会より講師を招き、空き家所有のメリット・デメリットなどについて講演していただいた。このような講演を聞くことで自身の空き家問題がより身近なものになり、空き家解消につながっていくと思う。

**●空き家バンク補助金の事務処理**

空き家バンクは所有者・成約者どちらにも補助金や奨励金があるので、登録件数と成約件数が増えると補助金の交付処理の作業も増える。
用意してもらう書類や記入してもらう書類が何種類もあるので、不備のないよう、補助金利用者との密なやりとりが必要。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
MAIL：yusuke.moriyama@city.nirasaki.lg.jp
TEL　：0551-22-1111（内線359）

# 和歌山県みなべ町　島袋　嗣之

**不動産利活用**

## 基本情報

【年　齢】
41歳
【出身地】
沖縄県　沖縄市
【転出元】
大阪府　豊中市
【前　職】
国家公務員
（国土交通省大阪航空局）
【活動時期】
R4.4～

## 協力隊に応募したきっかけ

プライベートで神社参拝のために訪れた和歌山県（紀南地区）の自然の豊かさや美しさに心打たれ、この地域へ定住したいと考えるようになったときに、みなべ町の地域おこし協力隊の募集があることを知ったことがきっかけ。

## 今後の抱負・任期後の目標

空き家利活用や移住促進の活動について、協力隊の活動後も役場職員や地域関係者の負担を抑えながら最大の効果が発揮できる枠組みや活動記録を残せることを目標にして、日々の業務に取り組んでいきたい。

任期後は、みなべ町に定住できるように起業や就職活動を頑張りたい。

## 活動内容

**●空き家の利活用に向けた活動**

空き家の所有者、地域住民及び移住希望者等に向けた広報や県の空き家バンク等に関する相談窓口・現地案内業務。

**●移住･定住促進のための活動**

東京や大阪等で行われる移住相談会において自身の移住経験や移住補助制度等を移住希望者あてに説明する活動。

**●退任後の定住に向けての活動**

持続可能な地域に寄与しながら、自身が定住するための仕事を発掘や継業するための調査や試行等を実施する活動。（写真は梅収穫体験）

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）chiikiokoshi@town.minabe.lg.jp
（電話番号）0739-72-1337

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
特になし

# 香川県さぬき市　折口　洋一

**不動産利活用**

## 基本情報

【年　齢】
２６歳
【出身地】
兵庫県姫路市
【転出元】
兵庫県姫路市
【前　職】
不動産企業勤務
【活動時期】
Ｒ４．７～

## 協力隊に応募したきっかけ

学生の頃からまちづくりに興味があり、地域により深く関わりたいと思い、地域おこし協力隊に応募しました。
また、瀬戸内の気候風土が特に気に入っており、将来的には瀬戸内で自身で事業を始めたいとも思っていたため、香川県さぬき市で飲食店の運営を経験できる活動に応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

1年目の任期中に空き家を改修し、飲食店を開業させ、2年目が終わるころには、店舗を安定稼働させたいです。3年目には、まちの人を巻き込んだイベントを開催し、地元の人に愛着を持っていただけるお店としたいと考えています。
また、地域の魅力を高めつつ発信していき、香川県さぬき市に移住したいという人を増やし、自らが事業を始めたモデルケースとなり、今後事業を始める人のバックアップが出来るコネクションを手に入れたいと思っています。

## 活動内容

**●空き家の改修**

空き家となっていた旧漁業倉庫をDIYによって改修し、飲食店として使えるように整備しています。

**●飲食店運営に向けた研修**

イタリア料理店、ブックカフェにおいて、ピザの作成技術、飲食店運営のノウハウを勉強しています。

**●地元まちづくり団体での活動**

受け入れ団体である一般社団法人さぬき市津田地区まちづくり協議会の会議に参加させていただき、津田地区のまちづくりについて検討しています。

面白津田まし

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）porto_pizza@sanuki-tsuda.jp
（電話番号）087-894-1112（さぬき市役所 政策課）
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）
https://www.instagram.com/portopizza_tsuda/

PORTOPIZZA_TSUDA

# 熊本県宇土市　冨松　志保

**不動産利活用**

## 基本情報

【年　齢】
31歳
【出身地】
熊本県宇土市
【転出元】
熊本県熊本市
【前　職】
建築意匠設計
【活動時期】
R1.7～
(3年目)
※途中育児休暇取得

## 協力隊に応募したきっかけ

前職で得た建築物のリノベーション手法を生かして，地元に眠る空き家を活用し，まちを活性化したいと思い応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

再生空き家で子ども向けワークショップなどを企画し、プログラミング教室や、eスポーツイベント、また工作や実験などの体験ができる、遊べる学び舎として運営していきます。協力隊卒業後は「空き家を学び舎に」をコンセプトに、教育コンテンツを入れた空き家活用の事業に取り組んでいきたいです。

## 活動内容

**●空き家リノベーション事業**

令和３年度に旧商店の空き家を４か月かけてセルフリノベーションさせました。リノベーション後は、地域の方へのお披露目そして熊本県地域おこし協力隊の研修会場としても利用しました。

**●子育て世代交流の場としての空き家活用**

令和４年度からはリノベーションした空き家を子育て世代交流の場として活用しています。毎週木曜日に親子サロンを開設、また、毎月第３木曜日にはヨガ体験会とお茶会を開催。０歳から３歳の子を持つ母親同士の交流の場になっています。

**●子どもの学び場としての空き家活用**

令和４年度からはリノベーションした空き家で子ども向け（主に小学生）学びのイベントを実施。子どもの学び場として空き家を活用しています。 ４月には県外から講師を招き、科学実験教室を開催。１１月からは隔週土曜日に工作イベントを開催予定。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（電話番号）0964-22-1111(宇土市役所代表)
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】
Facebook:https://www.facebook.com/uto.okoshi
Instagram:https://www.instagram.com/ureactivation

# 宮崎県門川町　石井　香織

**不動産利活用**

## 基本情報

【年　齢】
41歳
【出身地】
兵庫県尼崎市
【転出元】
兵庫県尼崎市
【前　職】
広告制作進行管理デスク
【活動時期】
R2.11～

## 協力隊に応募したきっかけ

兵庫で育ち、仕事で上京。結婚して数年後、兵庫へUターンしたものの、両親の宮崎移住(母はUターン父はIターン)の決意を聞いたことがきっかけで地方に関心を持つ。夫の出身地である東京、自身の出身地である兵庫、その他で悩んだ末、都会以外に本格的に目を向ける。海の近く・南国の雰囲気に憧れもあり、徐々にエリアを絞って仕事を探していたところ、地域おこし協力隊の制度を知る。その制度の活動内容を知っていく中で、観光や町おこしの仕事に興味を持ち、公私様々な要望の詰まった町が門川町であった。

## 今後の抱負・任期後の目標

任期中：空き家バンクの認知度向上、登録件数UP。
空き家に関する知識を蓄積し、引き出しを増やす。
まちづくり研究会や観光協会のイベントなど地域活動への参加を増やし、更に町と人を知る。
町外の取り組みや状況を知るため各地視察へ行く。
任期後：起業し、空き家相談・移住相談の委託を目指す。
町内外の人たちが集まれる居場所を作れたらと検討中。

## 活動内容

**●空き家等情報バンク運営**

着任当初、物件登録実績3件だった空き家等情報バンク。全国版(2社)の掲載開始、利用登録の提案、区長アンケート・所有者アンケート、固定資産税納税通知書へのチラシ同封を実施し、着任後の物件登録27件、利用登録22件となっている。(R4.10末時点)
不動産知識向上のため宅地建物取引士試験を受験。

**●移住･定住促進**

移住フェアに参加し相談を受けるとともに、空き家探し相談の中で移住に関わる相談も受ける。定住については、町内居住者に地域に定住(永住)していただくことも重要と捉え、移住者向けであった空き家バンクの利用について、町内居住者も可となるよう変更。現在は町内からの問い合わせも多数ある。

**●地域活動**

まちづくり研究会という役場職員有志グループに所属しイベントを企画・運営。その他、地域活性化についての活動を行っている。(写真はプロギングというゴミ拾いのアクティビティイベント)
観光協会主催や商店会主催のイベントなどにもスタッフとして参加している。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）https://www.instagram.com/kado.ijyu/
（Facebook）https://www.facebook.com/kado.ijyu

# 03 観光・情報発信

# 北海道釧路市　アーネスト・モク

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
２７歳
【出身地】
香港
【転出元】
奈良県　生駒市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R3.8～ R6.3
（2年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

北海道の大自然の美しさを世界多くの人に伝えたいからです。
移住する前に、数回に渡って北海道の大自然の景色やアイヌ文化などの魅力に惹かれ、目の前の景色に感動しました。釧路市では釧路湿原や阿寒湖、また世界三大夕陽といった自然景色の宝庫です。自分の語学力を生かしながら1人でも多くその感動を実感して頂きたく、多くの観光客が釧路市に訪れるよう貢献したいと考え、応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

アドベンチャートラベルのメイン顧客層である欧米豪に向けての認知度向上や旅行者対応できる環境整備に取り掛かりたいと思います。阿寒湖をはじめ、道東全体の日本離れする自然と異文化をより多くの人に楽しんでもらえるように尽力したいです。

## 活動内容

**●アドベンチャートラベル（ＡＴ）の推進**

主に欧米豪の旅行者に支持され、近年市場規模が拡大している観光分野である「アドベンチャートラベル（AT)」を当地域で推進するために、地域の観光資源等の調査、ガイドスキルの習得、地域内外の事業者とのネットワーク構築、外国語及び日本語を活用した観光情報発信等を実施。

**●ＡＴツアーの企画、商談等によるビジネスネットワーク構築**

当地域の観光資源を実体験に基づき調査し、ATツアーとして７泊８日程度のモデルコースを作成。
ATの国際的な団体ATTAが主催する世界最大のイベント「ATWS」やオンライン商談会等により、世界各国のATバイヤーとビジネスネットワークを構築。

**●海外旅行者向けＡＴ情報発信**

インスタグラムやYouTubeにより、海外AT旅行者に向けて当地域のATコンテンツをPR。
ひがし北海道の様々なコンテンツを実際に取材し、地域の魅力や楽しみ方を、日帰りや２泊３日のモデルコースとして仕立てて発信。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）ernest@lake-akan.com　（電話番号）0154-67-3200

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）https://www.instagram.com/arctic_japan/

# 北海道夕張市　蒋　静文（しょう　せいぶん）

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
28歳
【出身地】
中国　山東省
【転出元】
大阪府　大阪市
【前　職】
民間企業
【活動時期】
R3.9～

## 協力隊に応募したきっかけ

1. 自然風景が満喫できる田舎に移住したいと思いました。

2. 友達が別の地域の地域おこし協力隊に着任して、優しく温かく対応されたので、私に薦めてくれました。

3. 夕張市は高倉健さん主演の映画「幸福の黄色いハンカチ」のラストシーンのロケ地であります。私は大学の時にこの映画を見て、とても印象に残っていました。

## 今後の抱負・任期後の目標

1. 自分のインバウンド知識と経験を生かして、異文化交流をもっと促進したいと考えています。

2. ビデオ編集、情報発信などのスキルをもっと上達して、よりアクティブな観光促進に繋げたいです。

3. 任期後の目標については、まだ詳しく決まっていないですが、人文知識、国際交流分野の方向で考えています。

## 活動内容

**●中華水餃子手作り体験会**

中国のお正月と日本の正月の時期はずれていて、食べ物の風習なども違います。これをきっかけとして、夕張市民の方々に中華圏の一番大きな祝日を紹介したいと思いました。
水餃子の手作り体験と中国の春節関連の文化に関して、地元の住民たちとコミュニケーションをとりました。

**●夕張市内外PRイベントの参加及び取材、情報発信**

1. R4夕張観光物産展in都庁（6/14～6/21）
2. R4夕張観光物産展in横浜（6/28～7/1）
3. 第1回夕張バリバリメロンラン（07/03）
4. ゆうばり国際ファンタスティック映画祭（07/28）
5. R4北海道そらちグルメフォンド（8/21）
6. さっぽろオータムフェスト（09/09）
7. 紅葉祭り（シューパロダム+滝の上公園）（10/16）

**●夕張市内観光施設に観光案内、市HPに情報更新**

1.R4年度観光シーズンに、道の駅夕張メロードと「幸福の黄色いハンカチ想い出ひろば」にて観光案内を行いました。
2.夕張市公式ホームページにて桜と紅葉の見ごろを紹介する「桜前線」と「紅葉便」のページを運用し、情報発信を行いました。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
夕張市地域振興課商工観光係
（メールアドレス）ybrsyo@city.yubari.lg.jp　（電話番号）0123-52-3128
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
ＱＲコード
Facebook
夕張市地域おこし協力隊

Instagram
yubarichioko

# 北海道岩見沢市　魚住　駿

観光・情報発信

## 基本情報

【年　齢】
22歳
【出身地】
千葉県八千代市
【転出元】
北海道札幌市
【前　職】
学生
【活動時期】
R4.4～

## 協力隊に応募したきっかけ

岩見沢市に立ち寄った際、偶然出会った方々の人柄や活動地域の豊かな自然に惹かれ、このまちで地域おこし活動がしたいと思うようになった。

## 今後の抱負･任期後の目標

岩見沢市内の活動地域とそれ以外の地域を結び付けて、新たな魅力を発信できるよう活動していきたい。

## 活動内容

**●映画祭の開催**

映画上映会と農産物を中心とした地域特産品等のマルシェを掛け合わせた「映画祭」を開催した。

マルシェにおいては、活動地域内で生産された農作物のほか、活動地域外からも飲食店や雑貨屋等が出店した。出展者と来場者が交流する様子から、当イベントをきっかけに人と地域がつながる空間を作ることができた。

上映会では、「移住」「農のある暮らし」をテーマとする作品を上映し、活動地域の豊かな自然と農業、自身も移住者であることをリンクさせた。当日は満月の夜で、虫の声を聞きながらの映画鑑賞という空間演出は、来場者の好評を得た。

活動開始1年目という事もあり、規模としては大きいものではないが、当イベントを通して多くの農家、地域住民、飲食店の方等と協力・交流することができた。

## 連絡先

メディア等の取材連絡先】
岩見沢市企画財政部企画室　TEL:0126-35-4834

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
■Instagram（@iwamizawa_life）
■Instagram（@iwamizawa_grashi）

# 北海道稚内市　謝　佳琪

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
34歳
【出身地】
台湾 台北市
【転出元】
埼玉県　上尾市
【前　職】
東京都浅草ホステルのフロント
【活動時期】
R2．10～ R5．9
(3年目)

## 協力隊に応募したきっかけ

求人情報サイト、ハローワークの求人情報

## 今後の抱負・任期後の目標

FBだとどんどん古い投稿情報は見えなくなるので、将来的に投稿の内容を整理して自分のホームページを作成したいです。そうなると自分にも記録になるし、台湾のお客様も観光などの情報を探しやすいです。
稚内市に向けて、実際に住んでる私と観光にくる台湾人の「何に興味があるのか」「どんな希望があるのか」などの意見を提出することで、これからの観光の発展に繋がると考えています。
都会からの人たちが知らない地元の名産品を認識してもらうために、ホタテとウニの殻を再利用して体験をしました。
「日本最北」の思い出を、旅行客自身が作成して持ち帰ることで、稚内の思い出を作ってもらいたいと思っています。
今後のインバウンド回復期に向けて、台湾での現地PRなども行いたいと思っています。

## 活動内容

### ●FBの運営

- FBの「台湾人・北海道最北端生活」というページで稚内の日常を台湾人に向け２言語で発信しています。
- 旅行したいけど行けない。そんな台湾人に稚内の「今」を届けており、フォロワーは9,300人を超えています。

### ●ホタテ貝殻絵付け・ウニで小物作り体験

- 稚内の名産であるホタテ貝殻に絵付けをする体験コンテンツを提供しています。
- 今年からはウニの殻で風鈴などの小物を作る体験コンテンツを企画・造成しました。
- 観光の隙間時間に体験できるため、バスや列車を待っている観光客の皆さんから好評を得ています。

### ●インバウンド向けサイト作成

- 台湾人が行う旅行に関する情報収集はWebが主です。
- そのため、台湾向けの日本旅行情報サイトに掲載する文章を作成しています。
- また、稚内公式観光情報サイト記事の翻訳(繁体中国語)もしています。
- 台湾から来稚するインフルエンサーのアテンドなども行っています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
メールアドレス）kankokoryu@city.wakkanai.lg.jp
（電話番号）0162-23-6468（職場：稚内市観光交流課）
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】
https://www.facebook.com/taiwanwakkanai/

# 北海道美唄市　齋藤　優樹

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
33歳
【出身地】
東京都
【前　職】
出版社　企画制作
【活動時期】
R1.10～ R5.3
（4年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

学生時代を本市の隣市（岩見沢市）で過ごすが、その中で芸術を学ぶため本市のアルテピアッツァ美唄を訪れる機会があった。何度も美唄を訪れる中で「美唄」に惹かれ、ボランティア活動や知人に観光案内をしながら美唄に滞在する時間が自然に長くなっていた経緯、その後、美唄市内でひと月期間滞在しながら仕事をすることがきっかけに、地域に根付いて、地域を応援する活動を希望し応募した。

## 今後の抱負・任期後の目標

美唄市の魅力を発信し、認知度アップと特産品やふるさと納税返礼品に関わり、地域の活性化アップが目標。

## 活動内容

**●観光情報を発信**

着任１年目に366日毎日インスタグラムで美唄の魅力を発信し写真展を開催。現在も継続し、四季折々に変化する美唄の様子を発信している。
フォロワー数約2,000人。

**●特産品やふるさと納税返礼品を紹介**

美唄市の特産品やふるさと納税返礼品がわかるWEBサイトを開設し、オンラインショップが可能な仕組みを作り、経済の活性化を図っている。

**●首都圏アンテナショップ開設コーディネート**

首都圏に本社があり地元企業として半世紀にわたり根付いている日本理化学工業（株）と市が連携し、関係人口創出するための実証実験事業に対し、「北海道美唄コンテナショップ」立ち上げ準備、ショップコーディネート、商品選び等、マネジメント役で活躍し、地域の活性化を図っている。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（インスタグラム）https://www.instagram.com/bibainote/

# 北海道芦別市　佐野　貴美恵

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
50歳
【出身地】
東京都八王子市
【転出元】
神奈川県横浜市
【前　職】
アパレル販売
【活動時期】
R４.４～R７.３
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

旅行で度々訪れていた北海道に移住したいと漠然と考えていた際に元協力隊の方から色々なお話を伺いました。
“便所の100W”と言われる明るさとコミュニケーション能力を活かし、地域の方々に喜んで頂ける仕事がしたいと子供の成人を機に思い切って応募しました。
芦別の手が加えられていない街や自然の美しさが大好きで街の方々の優しさに支えられ、感謝する毎日です。

## 今後の抱負・任期後の目標

3年後に多目的に使用できるカフェ開業に向けて動いています。4月～星空案内人®（準案内人）・食品衛生管理者・安全衛生管理者（伐木等業務）←チェンソー　を取得。現在は、ベジタブルアンドフルーツマイスターの資格取得の為、勉強中です。店舗物件が見つかり次第、空き家の改修も行い、進捗状況をSNS等でアップしていく予定。
今後は観光協会や企業とのコラボ企画（イベント・商品開発など）も出来たらと考えています。
白樺細工の販売に向けての製作にも力を入れていきたい。

## 活動内容

**●情報発信**

Instagram・facebookでの情報発信業務を行なっています。芦別の魅力である「食」「自然」を中心にイベントの告知や実際に参加し、取材内容を発信しています。また市内企業の工場見学や取材させて頂いて紹介し、I・Uターン就職を考えている方に「大人の工場見学」と題してご紹介しています。

**●ふるさと納税返礼品の写真撮影**

スタイリング・撮影（必要応じて調理）をさせて頂いています。
ふるさと納税担当からの依頼の他に
取材先の農家さんの依頼も受けています。

**●その他（2022上半期）**

・白樺細工→芦別の白樺樹皮を使用した工芸品を製作・販売を目指す
・そらち・デ・ビューライター研修
・炭鉄港レシピコンテスト応募

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

facebookInstagram

# 北海道芦別市　岩崎　佳奈美

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
31歳
【出身地】
広島県広島市
【転出元】
熊本県熊本市
【前　職】
広島では公務員、熊本ではイラストレーター
【活動時期】
R4.4～ R7.3
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

市役所職員として地域振興に関する部署に所属していたこともあり、もともと地域おこしという活動に興味がありました。しかし、公務員だとどうしても様々な制限があり、柔軟に活動することは困難でした。その点、芦別市の募集では、フリーミッション型であることに加え、雇用関係なしの形態ということで、より自由な地域おこしが実現できるのではないかと思いました。

## 今後の抱負・任期後の目標

星の降る里百年記念館での特別展示や芸術文化交流館など、アートや風景画に親しむ風土がある芦別市ですが、デジタルアートやイラストといった、若年層が親しみやすい媒体を扱った手法や作品はまだ少ないと感じています。そこで、それらを活用した作品の制作や、イラスト教室の開催などを行っていきたいと構想しています。

## 活動内容

**●芦別市の風景をイラスト化し情報発信**

芦別市の風景をイラスト化し、SNSにアップしています。また、市の観光ポスターにも採用され、駅や市役所などに掲示しています。

**●フリーペーパー「あしべつぐらし」の発行**

上記のイラストをまとめたフリーペーパーを発行し、市役所や道の駅など、市内各所で配布しています。市外からフリーペーパーを取りに来てくれる人もいます。

**●夏休み子ども向けイラスト教室の開催**

小学生はアクリル絵の具でキャンバスに空を描くコース、中高生は水彩絵の具で塗り絵をするコースの2種類のコースを2日にわたって開催しました。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Twitter）https://twitter.com/ashibetugurashi

# 北海道江別市　安達　みゆき

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
37歳
【出身地】
北海道中標津町
【転出元】
北海道札幌市
【前　職】
建築設計コーディネーター
【活動時期】
R3.4～

## 協力隊に応募したきっかけ

元々、協力隊の存在を何となく認識があり、本格的に転職しようかなというタイミングで、募集があることを知り応募しました。今までは、つくる側の仕事をしていましたが、転職する数年前より、つくる事もとても重要な仕事ですがそれをどう伝えるか？がより大切に思える事が多かったので、つくる側から伝える側をしてみたいと思ったことがきっかけです。

## 今後の抱負・任期後の目標

協力隊任期が折り返しに差し掛かり、より具体的でかつ踏み込んだ発信や、冊子づくりをしていきたいと思います。協力隊としての立ち位置で、出来うる事の幅を広げ、今後入ってくる隊員がより活動しやすい環境を整えられたらと思います。任期後の進路はまだ決まっていませんが、何かしらのカタチで江別市に関わっていけたらと考えています。また、協力隊員のお手伝いが出来たらより面白いかなと思いますので、退任後も協力できる関係性を築いていきたいです。

## 活動内容

**●江別のおやつ（リーフレット制作）**

昨年着任早々に制作したリーフレットになります。
テイクアウト商品で江別のPRになるものを発信したい。また、江別銘菓と呼ばれるモノは無いのですが、地元の人に愛されている「江別のおやつ」を特集。おみやげにもぴったりな「おやつ」をピックアップして江別でおやつ巡りをしてほしいという思いを込めて制作。

**●#EBETSU PHOTO MAP(リーフレット制作)**

今年度制作した協力隊４名での企画です。江別市のレンタサイクル貸出場所を拠点とした、歩きと自転車で巡るMAPを制作。ゆっくりと市内を巡ってもらい車では気づきにくい、江別の魅力を知ってほしいという思いで制作しました。リーフレットはスマホサイズとなっており、カメラ等を持って巡ってほしい一冊です。

**●EBETSU MARKET（協力隊主催出店PR）**

今年は徐々にコロナが落ち着いてきたこともあり、積極的に江別のPRへ出向きました。中でも協力隊が主体で自分達が考え、市内店舗へ出店協力を行い、一緒に江別についてのPRをするという、実例をつくることができました。他にも農家さんの出店をサポートする中でのPRなど、実際に出向いてのPR活動を多くすることができました。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）ebetsu.chiikiokoshi22@gmail.com
（電話番号）011-381-1064（江別市企画政策部　政策推進課）

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
江別市地域おこし協力隊Instagram：chiikishinko.ebetsu

# 北海道江別市　緒方　萌衣

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
26歳
【出身地】
福岡県福岡市
【転出元】
北海道札幌市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R4.4～

## 協力隊に応募したきっかけ

お菓子作りが好きで、いつか自分で作ったお菓子を販売できたらと考えており、協力隊としての活動が一歩踏み出すきっかけになると思ったから。
また、前職で情報発信の重要性を感じる場面が多かったため、協力隊として積極的に情報発信をしていくことで自身の学びにつなげたいと思ったから。

## 今後の抱負・任期後の目標

・コミュニティスペース兼カフェをつくる。ワークショップやチャレンジ出店なども気軽にできるスペースとしたい。
・江別特産の小麦などの農産物を用いたおいしくてちょっとおもしろいお菓子の開発、販売。
・任期終了時には一定の頻度で製造・販売を行える形にする。

## 活動内容

### ●SNSにて情報発信

江別市の協力隊4人で運営するアカウント。
「風が強い」と言われる江別市の天候を毎日動画で投稿。
その他、協力隊だからこそできる発信内容を検討中。

### ●街めぐりリーフレットの作成

江別市でレンタサイクル事業を開始したことから、車ではなく徒歩や自転車でゆっくり街を巡ることをコンセプトにした、マップ形式のリーフレットを作成。協力隊4人で取り組んだ。

### ●江別らしいお菓子を試作検討

江別で出土した土偶のユニークな形状を再現したクッキーを作成し、市内イベントにて試作品を配布した。今後もさまざまなアイデアを検討して良いものは販売できる段階まで目指したい。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）ebetsu.chiikiokoshi22@gmail.com
（電話番号）011-381-1091
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）@chiikishinko.ebetsu
(Facebook)　https://m.facebook.com/100064327854373/
(Twitter)　　@ebetsu_okoshi

# 北海道江別市　瀬能　明日香

観光・情報発信

## 基本情報

【年　齢】
28歳
【出身地】
北海道 美唄市
【転出元】
北海道 札幌市
【前　職】
飲食店勤務
【活動時期】
R4.4～

## 協力隊に応募したきっかけ

学生時代に所属していた学生サークルの影響で【地域振興】に興味を持ち始めました。また、以前勤めていたゲストハウスでも地域の魅力を観光客に伝えることをしていたため、地域おこし協力隊に応募しました。
江別市の程よく自然と都市が交わる環境に惹かれ、将来の生活の基点にも最適な場所だと考えたため、江別市を選択しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

任期はおよそ2年間ありますが、そのうちに江別市の関係人口を増やしたいと考えています。そのためにも「江別市」を知ってもらうのはもちろんのこと、実際に江別に赴いて江別を楽しんでもらえる環境づくりをしていこうと思っています。

## 活動内容

**●市外施設での江別市特産品販売**

近郊の大きい都市(札幌市)での江別市の特産品販売イベントを開催しました。
江別市内から3店舗（農家×１、飲食店×２）が出店。
地域おこし協力隊として、事前にイベントポスター作成や各出店者とのやり取り、当日は江別市PRのために冊子の配布や物販の協力等を行いました。

**●江別市内情報のSNS発信**

江別市の魅力はそこにいる【人】と考え、実際に【人】インタビューを実施。その他、協力隊のチャレンジ企画やイベント参加レポートを投稿しています。

**●江別を歩いて、自転車で巡るマップの制作**

江別市でのレンタサイクル事業が本格的に始まるとのことで、市内の駅を基点に車ではなかなか行けないスポットに注目したマップを制作しました。掲載店舗や市内外の施設に設置していただき、地方紙にも掲載されました。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）ebetsu.chiikiokoshi22@gmail.com
（電話番号）011-381-1091

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
(Instagram)@chiikishinko.ebetsu

# 北海道赤平市　石見　幸一

観光・情報発信

## 基本情報

【年　齢】
25歳
【出身地】
北海道石狩市
【転出元】
北海道石狩市
【前　職】
大学生
【活動時期】
R２.４～R５.３
（３年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

それまで地方（田舎）で暮らした経験がなく、体験してみたいと思っていました。
また、自分の特性を活かして、なんらかの形で地域に貢献できればと思い、地域おこし協力隊を志望しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

タイミングが悪く、着任と同時にコロナ禍の影響をまともに受けてしまい、2年間は大きなイベントなどは開催することができませんでした。
3年目に入ってから、ようやく施設の臨時休館などもなくなり、いくつかのイベントを企画・開催することができてよかったです。
任期終了後は、赤平で培った経験を活かして、また別の場所で活動できればと思っています。

## 活動内容

### ●炭鉱（やま）の音楽会

赤平市炭鉱遺産ガイダンス施設で、炭鉱にちなんだ曲目も交えながら、生演奏の音楽会を開催。
友人の上砂川町と雨竜町の地域おこし協力隊の方にも参加いただき、豪華な三重奏を共演することができました。

### ●赤平の紹介動画作成

赤平市の777段の日本一のズリ山付近が、映画「ドライブ・マイ・カー」のロケ地になったことに触発されて、役者に扮して赤平の紹介動画を作成しました。
この動画は、NHK番組でも紹介されました。

### ●炭鉱（ヤマ）のスカイランタン

旧住友赤平炭鉱立坑櫓を舞台にしたアニメ映画「ぼくらの7日間戦争」の中の、立坑櫓から空飛ぶランタンを打ち上げるシーンに着想を得て、スカイランタンを打ち上げるイベントを開催しました。立坑櫓はライトアップされています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メール）bunka@city.akabira.hokkaido.jp　（電話番号）0125-74-6505

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（赤平市地域おこし協力隊　Facebook）
（赤平市炭鉱遺産ガイダンス施設Facebook）

# 北海道士別市　佐藤　泰祐

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
33歳
【出身地】
北海道士別市
【転出元】
北海道札幌市
【前　職】
ソニー生命保険株式会社
【活動時期】
R1.11～ R4.10
(3年目)

## 協力隊に応募したきっかけ

高校進学から士別を離れ、他地域での生活を経験してきました。モノではなく人と繋がる、人のために貢献できる仕事をしてきましたが、前職では人に貢献することにノルマを課せられる事に疑問を持ったことで前職を退職し、地元で人のためにできる仕事、繋がる、繋げる仕事を探していたところ、協力隊という制度に出会い応募しました。

## 今後の抱負･任期後の目標

まずは、羊と雲の丘をより知ってもらう、楽しんでもらえるように働くことです。
さらに、NPO法人を立ち上げ、これからは地域おこし協力隊OBとして現役の協力隊をはじめとする移住者がより過ごしやすい環境、老若男女問わず地元の方たちが楽しめる場や過ごしやすい環境を作ることが今後の目標です。

## 活動内容

**●羊と雲の丘での研修**

レストラン、バーベキューハウス、羊の飼育などの業務に携わり、生産から出荷、接客まで研修させていただきました。HPの作成やオンラインショップの設立もさせていただきました。

**●キッチンカーイベント主催**

コロナ禍でおうちで過ごす時間が増え、市内のお祭り等も中止する中でしたが市民の方たちの自粛ムードを取っ払うきっかけとして、テイクアウトのみのキッチンカーイベントを企画、開催させて頂きました。2回開催し、多くの方にご来場いただきました。

**●天サイダー×士別翔雲高校**

売上が毎年減少していき、在庫が増える状況に合った天サイダーでしたが翔雲高校ビジネス課の現三年生と一緒に、味・ラベルのリニューアルや、POPやSNSの活用をしたところ回復どころか最多の販売本数を記録することができました。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
羊と雲の丘観光SNS　hitsujitokumonooka_official　（Instagram・Facebook）

# 北海道名寄市　森　和季

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
24歳
【出身地】
北海道　旭川市
【転出元】
神奈川県　川崎市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R3.7～

## 協力隊に応募したきっかけ

地元である北海道で将来的に働こうと思っていた中、SMOUTという移住サイト内で地域おこし協力隊の存在を初めて知りました。もともと観光分野に興味があり、名寄市の募集内容に素晴らしい魅力を感じました。将来的なアウトドアガイドとしての独立という内容が決め手となり応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

カヌー、サイクリング、キャンプなどのアウトドア活動のガイドを目指しています。自身のスキルアップや知識の向上はもちろん、独立に向けて商品化の準備や地域間ネットワークの構築など、やらなければならないことがたくさんあります。特に、冬季でも楽しむことのできるコンテンツの開発には力を入れ、1年を通して名寄市に観光客が訪れるよう努力していかなければならないと感じています。

## 活動内容

### 体験アクティビティ運営

なよろ観光まちづくり協会が運営するカヌー＆サイクリング、サバイバルゲーム、観光農園、パウダースノーサファリなどの体験アクティビティの運営に携わっています。その他、季節ごとに行われるお祭りなどの市内イベントにも関わっています。

### 観光庁　看板商品創出事業

令和4年度は、観光庁「地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業」に責任者として取り組み、新商品開発の模索や現状あるアクティビティコンテンツのブラッシュアップ、備品の調達、独立に向けての準備などを行っています。

### 研修受講、各種メディア出演

地域おこし協力隊間のネットワーク構築のための研修や、資格取得に向けた技能研修を受講しています。また、観光協会SNSでの発信はもちろん、NHKの番組出演や市内学生向けの講演、コンテストへの出演をしています。ezomen2022グループ部門では、グランプリを受賞しました。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）ny-hisyokoho@city.nayoro.lg.jp
（電話番号）01654-3-2111
（担当）総合政策部秘書広報課

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（NPO法人なよろ観光まちづくり協会）https://nayoro-kankou.com/top
（なよろ体験型アクティビティサイト）https://nayoro-tourism.com

# 北海道北広島市　円谷　翼

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
３１歳
【出身地】
北海道江別市
【転出元】
北海道札幌市
【前　職】
菓子商社・歯科医院向け営業、ｲﾝｻｲﾄﾞｾｰﾙｽﾏﾈｰｼﾞｬｰ
【活動時期】
R4.8～

## 協力隊に応募したきっかけ

従兄弟が十勝管内芽室町の現地域おこし協力隊だった事から、協力隊の存在を知り、興味を持ちました。
祖母が北広島市在住で子供の頃から馴染みがある土地であった点や、北海道ボールパークFビレッジの開業予定がある点などから北広島市に貢献したいと思い、応募いたしました。
民間企業で働いてた時から、人と多く関われることを業務の上で重視していた為、観光振興においてその点を果たせ、自身の経験が活かしていけると思い、志望度は大変高かったです。

## 今後の抱負・任期後の目標

着任して約3か月が経過し、主に人脈づくりや市の現状や概要を知るなど、活動の基盤作りをしてきました。
今後の展開としては、多種多様な活動をしていく中で、2年目以降に向けて、軸や方向性を定めた取組に絞っていく予定です。行政では中々着手しづらい、かつ自分の色を出した活動をしていきます。
任期後の進路は現状未定ですが、引き続き北広島市に貢献していけるように、任期中に体制や人脈づくりをしていくよう、アンテナをはり活動しております。

## 活動内容

### ●SNSでの北広島市の情報発信

InstagramとFacebookにて、1日1投稿（土日祝除）発信しております。内容は、イベント告知・参加報告や飲食店などのグルメ紹介、観光関連など北広島市に関わる情報を広く掲載しております。

### ●市内イベントの運営・PR

市や観光協会関連のイベント運営に参加しております。対面での実施が復活している中で、市内と市外からより多くの人を誘客できるようSNSやメディアなどを通して、PRしております。

### ●自主企画イベントの実施（予定）

自主企画のイベントを予定しております。
他市町村の地域おこし協力隊との連携や市外でのイベントを展開するよう準備しております。
目的の一つとして、北海道ボールパーク以外の北広島市の魅力を発信することで、観光振興に繋げていきます。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）tsubasa.tsuburaya@city.kitahiroshima.lg.jp
（電話番号）011-372-3311（内線4623）
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）https://www.instagram.com/chiikiokoshi_kitahiro/
（Facebook）https://www.facebook.com/chiikiokoshi.kitahiro
QRコード　上：Instagram　下：Facebook

# 北海道福島町　坂口　寿美

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
４１歳
【出身地】
北海道福島町
【転出元】
北海道札幌市
【前　職】
営業職
【活動時期】
Ｒ３.９～

## 協力隊に応募したきっかけ

今で携わってきた仕事の経験を活かし、福島町の将来の発展に微力ながら尽力したいと思い応募しました。
出身地でもあり、好きな福島町を盛り上げたいと思ったのがきっかけです。

## 今後の抱負･任期後の目標

福島町の新たな観光ツールとなっている岩部クルーズ事業や特産品の商品開発を中心に取り組みたいと考えています。
将来的には福島町の自然を生かしたアウトドア関連の事業を立ち上げたいと考えています。

## 活動内容

**●岩部クルーズ運行業務**

着任後すぐに「２級小型船舶免許」及び「特定小型船舶免許」を取得し、シーズン中は岩部クルーズ船長の指導の下で、船の操縦技術や出欠航の海の状況判断等を日々勉強しています。

**●新たな商品活発･販売**

クルーズのオフシーズンには、一般社団法人福島町まちづくり工房にて、開発・販売している商品の営業活動や観光協会と共に町内外の観光・物販イベントに積極的に参加し、福島町全体のＰＲ活動をサポートしています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）kikau@town.fukusima.Hokkaido.jp
（電話番号）0139-47-3007

# 北海道木古内町　長原　汐里

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
３１歳
【出身地】
北海道厚沢部町
【転出元】
北海道札幌市
【前　職】
音楽療法士
【活動時期】
Ｒ２.１１～

## 協力隊に応募したきっかけ

木古内町は、出身地の厚沢部町から車で約一時間ほどであり、いずれ地元に戻ってきたい気持ちがあったことと、両親が自営業で、木古内に支店があったため幼少期から週に何度も通っていて、第2のふるさとのような気持ちもあり、全く知らない町ではなかった木古内町に興味を持った。
ミッションとしてあげられていたSNSの運用や、キーコの利活用については、もともと音楽療法士として高齢者・障害者児・幼児・乳児・健常者などあらゆる方々と話し、歌いながら仕事をしてきたので、みんなに愛されるキャラクターとしてのさらなる確率や、色々に人から見られ、人気者になってもらうための工夫などはいくつか既にアイディアがあった。自分が出来ること、やりたいことと、町がやって欲しいことがマッチしていると感じることができたため、応募した。

## 今後の抱負・任期後の目標

木古内町の観光やキーコに係わり続けながら仕事をし、自分らしく木古内町に住み続ける

## 活動内容

●キーコのSNS管理・運営

既存アカウントがあった、TwitterとFacebook、YouTubeチャンネルは引き継ぎさらなる内容の充実、また新たにTikTokを開設して運用中。

●観光に係わる動画の撮影・編集

町内でのキーコの活動に関する動画だけではなく、木古内町が事務局を持つ広域観光の協議会で製作している首長同士が出演している動画の撮影・編集と投稿。

●キーコの利活用に係わる企画と観光プロモーション

コロナ禍において出番が全くなくなったキーコをどのように活用していくか、イベントや祭りがない中何が出来るのかを考え、企画し、実施する。

例）キーコLINEスタンプ製作、キーコのオリジナルソング「ぼくといっしょに」製作（PVの撮影・編集・投稿）、他市町とのゆるキャラとのコラボ動画製作など

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）shiori-nagahara@town.kikonai.Hokkaido.jp
（電話番号）01392-2-3131
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（キーコLit.Link　QRコード→）

# 北海道せたな町　平間　一也

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
41歳
【出身地】
茨城県行方市
【転出元】
千葉県柏市
【前　職】
リユースショップ
【活動時期】
R3.7～

## 協力隊に応募したきっかけ

北海道移住を考えていた時、旅人に協力隊という制度を教えてもらったのと、友人が協力隊としてすでに活動していたので応募はスムーズにできました。

## 今後の抱負 任期後の目標

任期後はキャンプ場やライダーハウスを経営しライダーにとってのオアシスを創ることと、地域の良いところを発信し知名度を上げるために狩猟の免許取得や漁業権なども視野に入れています。

## 活動内容

**●観光協会SNS担当**

着任後すぐにインスタ、FB、ツイッター、GMBのアカウント作りと発信をしフォロワーを増やしている最中です。ユーチューブも同時進行なので大変ではありますが勉強になるのでもっとレベルを上げていきたい。

**●インスタフォトコンテスト**

町内のスポットをインスタに投稿してもらい優秀作品にはギフトカードや特産品をプレゼントしています。その他にもカレーのスタンプラリーなど町内での企画もやっています。

**●飲 食店のメニュー作成**

食べに行ったときにメニュー表が古かったことがきっかけで各店分を作成。物価高に伴う値上げの相談や新メニューなどの相談を受け作らせていただいています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）hirama@setanavi.jp　（電話番号）0137-84-6205

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（インスタ）https://www.instagram.com/setanatown/

# 北海道せたな町　田中　幸二

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
60歳
【出身地】
北海道　函館市
【転出元】
北海道　札幌市
【前　職】
地方公務員
【活動時期】
R4.4～

## 協力隊に応募したきっかけ

定年退職時期を迎え、地方での暮らしを考えていた時、せたな町役場の地域おこし協力隊の募集を知り、きれいな海、美しい夕日、美味しい海の幸など多くの魅力のある地域での暮らしを求め、協力隊に応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

きれいな海、美しい夕日、美味しい海の幸などの町の魅力をブラッシュアップし、地域の観光振興・物産振興につなげていきたい。

## 活動内容

**●せたな観光協会の運営**

せたな観光協会の事務局長として、観光協会の運営を担当している。
会員事業者や町と連携を図りながら、地域の観光振興を図るとともに、道の駅での販売や催事事業への参加を通して物産振興に取り組んでいる。

**●各種イベントの開催**

実行委員会方式による各種イベントを開催し、住民の方々と連携し地域の活性を図っている。
・玉川公園水仙まつり
・がっぱり海の幸フェスタinわったためがして大成
・せたな漁火まつり

**●観光宿泊者誘客促進事業の実施**

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で落ち込んだ町内への旅行需要の回復を目的に、ラジオPRを実施しながら、宿泊事業者が観光客の宿泊代金から割り引いた金額に対し支援金を交付する町独自の観光宿泊者誘致促進事業を実施し、町内への観光誘客を図っている。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）非公開　　（電話番号）0137-83-8020

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
URL:https://setanavi.jp/

# 北海道せたな町　小澤　智之

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
41歳
【出身地】
大阪府枚方市
【転出元】
大阪府枚方市
【前　職】
建築関係
【活動時期】
R4.4～ R7.3
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

いつか北海道へ移住しようと住宅を探していたところ、
せたな町を知り、せたな町へ移住したいと思うように。
その時に地域おこし協力隊の募集が出ていて、
応募したところ、ありがたいことに採用となりました。

## 今後の抱負・任期後の目標

SNSや動画サイトの活用により、せたな町の知名度を
もっともっと上げることにより、観光アピールだけでなく、
新しく移住してくる方々が情報を集めやすくなるように
色々作っていきたいと思っています。
その上で更に活性化に繋がるような何かを生み出せれば、
お世話になっている方々へ少しでも恩返しが出来るかな？
と考えています。

## 活動内容

**◇玉川公園 水仙まつり　（令和４年５月８日）**

水仙咲き誇る、丹羽地区の玉川公園で行われる
せたな三大まつりの一つ。
今回はラジオの公開生録音や歌手のコンサート、
自衛隊の展示イベントや様々な出店、
警察署とセターナちゃん協力の寸劇、
和太鼓演奏や高校生達による吹奏楽といった、
ステージイベントで盛り上がりました。

**◇せたな漁火まつり 花火大会　（令和４年８月６日）**

せたな町の大きなイベントの一つである、
せたな漁火まつり。しかしながら、コロナ
ウィルス感染症対策の為、出店や舞台の
イベントは中止になってしまいましたが、
地域の人達を応援しようという事で、
今年は花火大会を開催しました。
会場は満員御礼で、クライマックスには
観客の皆さんの歓声や拍手も！

といった感じで、イベントの申請や準備、運営等を手がけております。
来年はもっと色々出来ることが増えそうなので今から楽しみです。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】せたな観光協会
E-Mail：ozawa@setanavi.jp
TEL：0137-84-6205

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
◇観光協会HP　　http://setanavi.jp/
◇観光協会Twitter https://twitter.com/matasetana_0901

# 北海道秩父別町　酒井　優斗

観光・情報発信

## 基本情報

【年　齢】
26歳
【出身地】
新潟県新潟市
【転出元】
新潟県新潟市
【前　職】
会社員（飲食業）
【活動時期】
R4.5～ R7.4
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

きっかけは大きく2つあります。1つ目は趣味の一つであるゲームのとある作品を通して、北海道・写真・旅の3つにとても憧れを抱くようになり、いつか北海道へ移住することが夢になっていたことです。2つ目は様々な場所を旅して、それらを個人的にSNSで紹介していくうちに「観光」に関する仕事をしてみたいと感じたことです。
様々な情報を探す中で、秩父別町で観光分野での協力隊を募集していたため、夢である「北海道」の「地域おこし協力隊」を目指すことに決めました。

## 今後の抱負・任期後の目標

着任後は道の駅を中心に活動しており、まずは道の駅を町内外関わらず様々な方に利用してもらえるように、スタッフやほかの協力隊の方たちと意見を出し合い、力を合わせて今までよりもさらに道の駅を盛り上げていきたいです。
そして、もう一つやってみたいと思っていることは、秩父別町をＰＲする動画を制作することです。

## 活動内容

**●観光施設のＰＲ動画を制作**

秩父別町には子供たちが元気に遊べる屋内・屋外の遊戯場があります。その施設をＰＲするために、「秩父別町認定こども園くるみ」のみなさんにご協力いただき、30秒の動画を制作しました。作成した動画は札幌市内の大型ビジョン等で放映しました。
https://youtu.be/Ibvt6Zvkkm4

**●道の駅で販売する軽食の開発･販売**

道の駅で働く中で、手軽に食べられる軽食があったらいいのにと感じました。そこで、町内の飲食店に教えていただいたレシピをもとに、他の協力隊、協力隊ＯＧの方と協力しながら、秩父別町の食材を使用したホットサンドを開発・販売しました。現在は不定期販売なので、今後は定期的な販売と、様々な味の展開を検討していきたいです。

**●道の駅の情報発信**

着任後すぐにInstagramのアカウントを開設し、ほかのスタッフにも協力していただきながらお野菜の入荷状況や周辺の観光情報などをほぼ毎日発信しています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）kanenonarumatichippubetsu@gmail.com
（電話番号）0164-33-3902（道の駅鐘のなるまち・ちっぷべつ）

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）右のQRコードからご覧ください

# 北海道雨竜町　足立　壮太郎

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
26歳
【出身地】
愛知県みよし市
【転出元】
愛知県みよし市
【前　職】
飲食店勤務
【活動時期】
R３.６～

## 協力隊に応募したきっかけ

学生時代から地域活性化や地方創生などの分野に興味があったため。ワーキングホリデーや青年海外協力隊に興味があったが、新型コロナウイルスの流行で渡航不可となったため、日本にも似たような制度があることを知り合いから聞いたので調べた。

北海道に祖母が住んでいることや道内での生活への憧れもあり、自分の知識を生かして仕事ができれば良いと思った。

地域おこし協力隊制度に興味があり、知りたかったため。

## 今後の抱負･任期後の目標

現在ふるさと納税の業務に携わっているので、返礼品開発のPRを行うことで、町のPRや寄付額の増加につながることを目指したい。PR方法として、画像編集、チラシ作成、動画作成などで多くの人の目に留まるようにしていきたい。

任期後については、他地域で協力隊退任後にふるさと納税の業務委託を受けて生計を立てている方もいるので、参考にしつつ、現在委託している企業からノウハウを学んで起業できたら理想である。道外出身という立場も活かして、特産品の販路拡大た広告宣伝を行っていきたい。

## 活動内容

**●ふるさと納税**

ふるさと納税に係る業務
・町管理のサイト運営及び更新
・返礼品撮影及び取材
・広告宣伝のおける雑誌記事や画像の作成
・事業者との在庫調整や発注処理　等

**●タウンプロモーション**

タウンプロモーション業務
・町内イベントの撮影やSNS投稿
・風景「今」をリアルタイムで発信
・ドローンによる動画撮影及びPR動画作成
・ローカルラジオ番組による魅力発信
・イベント企画や運営を行って町の活性化や交流人口の拡大を図る

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）chiikiokoshi@town.uryu.hokkaido.jp
（電話番号）0125 – 77 - 2211

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Facebook）https://www.facebook.com/area.uryuu/

# 北海道当麻町　白木　雪乃

観光・情報発信

## 基本情報

【年　齢】
41歳
【出身地】
北海道札幌市
【転出元】
北海道旭川市
【前　職】
H16~H30
旭川市旭山動物園飼育展示係
H30~R4
イラストレーター・自然観察会講師
【活動時期】
R４.4~

## 協力隊に応募したきっかけ

令和３年、昆虫館パピヨンシャトーにアライグマが侵入したとの相談を受け、短期でアルバイトをすることになりました。そこで昆虫館の業務に興味を持ち、もっと密に働けないかと模索していたところ、地域おこし協力隊という仕事を知り応募しました。

## 今後の抱負･任期後の目標

もともと、生きものや自然関係にとても関心があり、自分の得意とする分野です。昆虫館での、生きものを飼育・展示し、自分たちの身近な自然環境について学んでもらい、関心を持ってもらうという仕事は、これまでのキャリアを活かし、伸ばしていけるものです。任期後も昆虫館で学んだ経験を活かしていきたいと考えています。

## 活動内容

基本的な昆虫飼育・受付・売店業務に加え以下の活動も行いました。

**●夜の昆虫観察会**

昆虫館を囲む森で投光器を使って周りの生きものを集め、参加者と観察しました。

**●旭山動物園とのコラボ企画**

昆虫館から動物園にクワガタ・カブトムシを貸し出し、動物園からカイコを借りて展示しました。

**●沖縄研修**

現地の動物園スタッフに昆虫館で飼育しているチョウの生息地を案内してもらい、展示できそうな生きものやチョウの食草を採集してきました。

## 連絡先

**【メディア等の取材連絡先】**
（電話番号）昆虫館　0166-84-2001
**【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】**
（Facebook）
https://m.facebook.com/people/%E7%99%BD%E6%9C%A8%E9%9B%AA%E4%B9%83/100040202618447/?locale2=ja_JP

# 北海道上富良野町　大道　千アキ

観光・情報発信

## 基本情報

【年　齢】
５０歳
【出身地】
北海道　帯広市
【転出元】
北海道　帯広市
【前　職】
道内大手企業(経理課勤務)
【活動時期】
Ｒ４.４～
【趣味】
登山・フラダンス

## 協力隊に応募したきっかけ

小説家・三浦綾子さんの作品に関心があり、特に「泥流地帯」が映画化されると知り、その業務に携わってみたいと思いました。
また、上富良野町は四季折々の風景が楽しめます。中でも「十勝岳」は素晴らしい山で、毎朝景色を眺めたり、週末には登山を楽しめるなど、生涯暮らしていく土地はここしかないと感じました。
公私に渡って上富良野町を盛り上げていきたい！という思いで応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

上富良野町の情報を全国に発信し、多くの人にこの町の魅力を知ってもらいたいです。
任期後は蒸留専門家となり、町の特産品の魅力が詰まったオイルやフレグランスなどの生産・販売を通して、町を盛り上げていきたいと考えております。
また、自身の敷地に蒸留に使える花などの生産に加え、ロケの撮影スポットとしても提供できるような環境を整備したいと考えています。

## 活動内容

**●「ロケサポートかみふらの」の運営**

ロケ誘致・支援やロケツーリズムを手掛けるワンストップ窓口「ロケサポートかみふらの」の事務局を担当しています。
撮影現場の申請を行ったり、必要があればスタッフのロケ弁当や宿泊先を手配するなど、制作会社がスムーズにかつ気持ちよく撮影ができるようサポートします。

**●観光ＰＲ業務**

町の魅力をＰＲするため、イベントへの出店も業務の一つです。町自慢の味「豚さがり」を多くの人に味わってほしいですね。上富良野町をＰＲすることはもちろんですが、他の出店者がどのようにＰＲしているか、という点も非常に勉強になります。

**●ラベンダー蒸留作業**

町の主力商品となる「ラベンダーオイル」は、独自の製法でラベンダーを乾燥させてから抽出するため、青臭さがなく高級感溢れる香りと言われています。
そのオイルを抽出するため、蒸留作業に参加します。真夏の猛暑の中、釜の中で汗と花粉にまみれながらの作業は辛いですが、やりがいのある仕事です。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）info@ls-kamifurano.org　（電話番号）0167-45-6983

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（公式ホームページ）https://ls-kamifurano.org/

上富良野町
ご当地キャラクター
らべとん

# 北海道中富良野町　鵜飼　亮子

観光・情報発信

## 基本情報

【年　齢】
３９歳
【出身地】
神奈川県横浜市
【転出元】
神奈川県横浜市
【前　職】
JICA海外協力隊
【活動時期】
Ｒ３.４～Ｒ６.３
（２年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

北海道への移住を検討していたところ、過去にウェブ製作会社で働いていた経験を活かせる活動内容の地域おこし協力隊の募集を見つけて応募しました。
車の貸与や勤務日数などの条件や地理条件が希望に合致したことが決め手でした。JOINのサイトから求人を探しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

中富良野町の魅力をよりたくさんの人に知ってもらうために、町のFacebookの運用を通して、地域資源の発掘や広報活動をしていきたいです。また、任期中に中富良野町産の農作物や水を使ったビール醸造所を立ち上げ、任期終了後はビール事業を通した町の活性化に尽力するとともに、町のお土産としての地位を確立し、納税によって中富良野町に貢献していく所存です。

## 活動内容

**●広報業務**

配属された課の職員の方と協力して、町内の取材やSNS運用などの業務を進めています。町役場にいるからこそ町のことをよく知る機会や町民の方とお話をさせていただく機会が多く、日々楽しんで仕事をしています。

**●起業に向けて**
**【合同会社NAKAFURANO　BREWERY】**

令和3年の5月からクラフトビール事業の立ち上げについて、相談していました。
令和４年度には試験販売を行い、購入者の方から美味しかったと嬉しいお声をいただきました。
今後は会計年度任用職員から業務委託へと活動形態が変わる予定です。
４月からホップを育てているので、中富良野町で育てたホップからビール造りを目指します。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）ryouko.michiba@nakafurano.jp
（電話番号）0167-44-2133

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（なかふらの地域おこし協力隊）
https://www.instagram.com/nakafurano_chiikiokoshi

# 北海道下川町　大石　陽介

観光・情報発信

## 基本情報

【年　齢】
３４歳
【出身地】
静岡県焼津市
【転出元】
北海道羅臼町
【前　職】
小学校教諭
【活動時期】
R2.4～ R5.3
(3年目)

## 協力隊に応募したきっかけ

小学校教員時代、子供たちに夢を持つ大切さを語るうちに、「自分自身がもっと広い世界を見なければ」と思い、青年海外協力隊としてモンゴルの学校へ。帰国後は今しかできないことをやりたいと思い、教員を辞め、広大な土地のある北海道へ移住したのがきっかけ。

## 今後の抱負･任期後の目標

下川町の魅力である人との交流が生まれるような宿を作りたいと思い、セルフビルドでキャビンを建設。
２０２０年から「ぐるっとしもかわ」というガイド業も始めた。宿とガイドの組み合わせることで、滞在を通して下川町のライフスタイルや雰囲気をまるごと感じられる場を目指す。

## 活動内容

**●A-frame cabin iwor**

１日１組限定の１棟貸しの宿。
キャビンは、下川産材をはじめ、周辺の地域材を使ってセルフビルド。
床まで窓のため、まるで一枚の絵のような空間。

**●ぐるっとしもかわツアー**

『しもかわの日常をおすそわけする』新しい旅のカタチを提案。みちくさのように何も考えず自由気ままな時間をお届け。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）oishi.yosuke@gurutto-shimokawa.com

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（公式サイト）https://www.gurutto-shimokawa.com

# 北海道中川町　西田　法子

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
28歳
【出身地】
沖縄県那覇市
【転出元】
静岡県浜松町
【前　職】
営業職
【活動時期】
R3.6～

## 協力隊に応募したきっかけ

北海道の自然に興味があり、北海道について調べていたところ偶然中川町の地域おこし協力隊の求人をみつけ、「ここで働いてみたい」と思い応募しました。

## 今後の抱負･任期後の目標

中川町へ来る観光客を増やす、また来ていただいた方に中川町を楽しんでもらい、ファンになってもらうこと。
そのために、受け入れ態勢の整備、アクティビティの管理、ガイドに関する情報集約・提供、ガイドの育成などを行っていく。任期後は、軸になる仕事をみつけ、中川町でお仕事が続けられるように活動をする。

## 活動内容

### 国内旅行業務取扱管理者資格取得

旅行業を行う上で必須となる「国内旅行業務取扱管理者資格」を取得しました。現在、開業に向け情報収集や業務に関する実践を積んでいる段階です。
今後体制が整い次第、中川町で旅行業・旅行手配業が出来るよう活動を続けていきます。

### カヌー講習受講

中川町には天塩川という大きな川があり、カヌーをすることが可能ですが、現在カヌーガイドがおらず、案内が出来ないのが現状です。
中川町にきた方にカヌーというアクティビティを体験していただき、自然を感じてもらうために講習を受けています。

### ワーケーション対応

ワーケーションで中川町に来られる方の宿泊先の手配やアクティビティの準備等を行っています。お客様の希望に合わせた内容に出来るよう心がけています。中川町でのワーケーションを通し、中川町のファンになっていただけるよう活動しています。

## 連絡先

# 北海道幌加内町　佐々木　仁美

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
３７歳
【出身地】
北海道　札幌市
【転出元】
北海道　札幌市
【前　職】
左官職人
【活動時期】
Ｒ４.４～

## 協力隊に応募したきっかけ

私が幌加内町を知るきっかけになったのは、旧政和小学校にて１１年前から開催されている「政和アートFes」です。私は金属造形作家として作品を展示したり、ワークショップをしてきました。昨年アーティストレジデンスとして、約２カ月間幌加内町に滞在し、町の豊かな自然を作品にて表現し展示しました。幌加内町の自然や農業、アートの魅力を多くの方に発信したい、幌加内で感じた感動を与える立場になりたいと思い、協力隊に応募しました。

## 今後の抱負･任期後の目標

現在は、幌加内町観光協会にて勤務をしています。
幌加内町を観光・情報発信の面から支え、特技のアートも活かし、新たな事業にも積極的に取り組んでいきたいと考えています。
任期後も幌加内に定住し、継続した取り組みを行いながら、幌加内町を発展させるお手伝いをしていければ幸いです。

## 活動内容

**●観光案内所での観光案内業務**

５月から９月にかけて、土日に道の駅にて観光案内を行いました。案内ブースには「ほろかないMAP」という大きな地図に、今オススメの観光スポットを写真付きで紹介しました。また、ブースの天井には、朱鞠内湖のイトウとワカサギのモビールを制作・展示をしました。

**●ほろプラ新聞**

幌加内町の魅力を手書きでフリーペーパーとして配布しました。おそば屋さんMAPや廃線になった深名線、イトウなどをイラスト付きで紹介し、目を引く新聞になりました。観光客のほか、町民も興味をもってくれました。現在は観光協会や役場のホームページで見ることも可能です。

**●看板商品の開発**

観光庁の事業にて、幌加内町の看板商品の開発に携わりました。中でも幌加内高校とコラボした「筋エビせんべいそば」「そばフィナンシェ」は、POPの制作をし、幌加内町新そば祭りにて販売したところ好評でした。現在町内での販売に向けて調整中です。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）@horokanai_2022 ホロカナイに移住しました（協力隊）

# 北海道中頓別町　吉田　光良

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
45歳
【出身地】
北海道　千歳市
【転出元】
東京都　杉並区
【前　職】
フリーカメラマン
【活動時期】
R2.8.28～ R5.8.27
（3年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

大学卒業をきっかけに北海道を離れ、プログラマ・カメラマン・衣料品販売店店長等の様々な職種を経験していました。その後、起業を考えていたがコロナ禍と重なり、今後の活動について模索していた中、中頓別町の地域おこし協力隊の募集を見つけ、「自分の経験を活かして地元北海道へ貢献したい」と思い、応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

継続してなかとんべつ、宗谷地方に貢献できることを行っていきたいです。
「地域の人たちが文化芸術に触れられる機会」を提供できるような「映画館・図書館・美術館」のような機能を場を作り、小規模ながら文化芸術を感じ時間を過ごせる休憩・飲食スペースなどの運営を検討しています。

## 活動内容

**●観光情報発信・道の駅管理運営業務**

町が設立した観光組織（一般社団法人なかとんべつ観光まちづくりビューロー）の職員として、同社が受託する道の駅やキャンプ場・コテージ等の管理運営業務を行い、ＳNSによる観光情報発信、パンフレットやチラシの作成、商品ロゴのデザインデザイン等、幅広く活動を行っている。

**●森のこども園・ピンネっこクラブ事業**

中頓別町認定こども園、教育委員会と連携し、「中頓別の大自然の中、自由遊びを通じて発想力や行動力を育む」活動に参加している。事前準備、フィールドの視察、当日の子供の見守り、写真撮影、片付け等のサポートを行っている。

吉田隊員撮影写真→

**●天北トレイル事業**

所属団体における事業の１つで、廃線となった天北線軌道跡をかつようしたロングトレイルコースを造成し中頓別町の観光資源の一つとしての活用の検討・発信を行っている。現時点では軌道跡コース等の試歩や、地域理科を深める他の目シンポジウムのスタッフとして関わっている。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）m.yoshida@nakatom.com　（電話番号）01634－7－8510

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（facebook）https://facebook.com/nakatonokoshi/
（ブログ）　https://nakatomkyouryokutai.blog.fc2.com/

# 北海道礼文町　菊池　亜由美

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
36歳
【出身地】
北海道札幌市
【転出元】
北海道札幌市
【前　職】
会社員
【活動時期】
Ｒ２.４～Ｒ５.３
（３年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

礼文島についてのテレビ番組を見て、礼文島で暮らしたいと思い応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

礼文島は自然も素晴らしいですが、住んでいる方々も素晴らしい町です。
この環境が失われることのないよう、「また来たい」「住みたい」町として、観光面をはじめ、移住・定住面にも携わり、今後の発展に向け、尽力できればと思っております。

## 活動内容

**●カフェスタッフとしての活動**

礼文島内の観光施設「カナリアカフェ」において、スタッフとして活動をしています。
利尻山を望む最高のロケーションで、ソフトクリームやコーヒーなどの提供を行っております。
礼文島を訪れた方々に、旅の良い思い出を残していただきたいとの思いで、日々の活動を行っています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）rebun.kyouryokutai@gmail.com
（電話番号）0163-86-1001(職場)
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://twitter.com/rebunvoice8
https://www.facebook.com/kyoryokutai.rebun/

# 北海道利尻町　吉田　悠人

観光・情報発信

## 基本情報

【年　齢】
23歳
【出身地】
北海道（旭川）
【転出元】
北海道（石狩市）
【前　職】
フリーター
【活動時期】
R2.12～

## 協力隊に応募したきっかけ

2019年にアルバイトで初めて利尻に来ました。夏の間の４か月間ほどでしたが、島のお祭りに参加させて頂いたり、昆布干しをしたり、釣りを始めてみたりと、島の色々な人達と関わる機会があり、その経験がキッカケで、利尻で暮らしてみたいと思い応募しました。

## 今後の抱負･任期後の目標

神居海岸パークの運営で、沢山の観光客と直接会話する機会があり、もっとリアルな情報を伝えることができれば、利尻を良いと思ってくれる人が増えると感じていました。そこで任期後は、利尻の自然や観光をもっと伝えていくため、映像制作や利尻をSNSの運営を行いたいと思い、現在準備中です。

## 活動内容

**●神居海岸パークの運営**

観光協会の運営する神居海岸パークで、ウニ採り体験、昆布お土産作り体験など案内や、体験で使用するウニの採取や管理などを行ってきました。

**●利尻の情報発信**

Instagramで、グルメや景勝地などの情報をまとめたり、また神居海岸パークのWEBサイトでは利尻観光のモデルプランを発信してきました。

**●ポスターやチラシなどのデザイン**

ウニ採り体験のチラシや、宗谷バスの１日乗車券のポスター、利尻町の紙袋のデザインなどを行ってきました。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）yoshida-yuto@town.rishiri.Hokkaido.jp

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）https://www.instagram.com/rishiri_trip/

# 北海道幌延町　貞廣　拓哉

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
28歳
【出身地】
北海道苫小牧市
【転出元】
北海道旭川市
【前　職】
機械整備職
【活動時期】
R2.4.1～

## 協力隊に応募したきっかけ

・地元北海道が小さい頃からずっと大好きで、まちの活性化や賑わい作りに携わりたいと思ったから。
【幌延町を選んだ理由】
１．たまたま訪れたサロベツ原野の魅力にとても感動したから。
２．酪農体験ツアーでお世話になった酪農家さんと仲良くなり、月1で幌延町へ訪れるようになって、このまちに住んでみたいと感じたから。

## 今後の抱負･任期後の目標

・幌延町に少しでも必要な存在になれるように、まちの人と交流を深めながら活動をしていきたい。
・地域おこし協力隊という肩書きが無くなっても、幌延町のまちおこしを続けていきたい。

## 活動内容

**●各種情報発信**

・まちの広報誌や地域おこし協力隊SNSを見てくださった方から「頑張っているね」など　と声を掛けてくれることがとても嬉しい。
・コロナ渦でまちの人達と関わる機会を持てない期間があったが、その期間があったからこそ町のことを深く調べ、活動の中でやりたいことを考えることができた。

**●「利尻礼文サロベツ国立公園」の魅力発信**

幌延町にある貴重で、魅力的な観光資源である「利尻礼文サロベツ国立公園」の素晴らしさを伝えるため、「ほろのべ・サロベツ 花＊NEWS」を定期的に発行しているほか、サロベツ原野ガイドブックを制作しました。

**●動画制作･youtube配信**

各種PR動画等を制作しており、幌延町地域おこし協力隊公式youtubeチャンネル「ほろのべテレビ」で様々な動画を公開しています。
まだバズった経験はないのですが、色々とこだわっておもしろい動画づくりを心掛けていますので、ぜひ一度ご覧ください。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（電話番号）01632-5-1114　（幌延町役場企画政策課）

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】
幌延町地域おこし協力隊Facebook
https://m.facebook.com/horo.okoshitai/

# 北海道斜里町　武山　灯

観光・情報発信

## 基本情報

【年　齢】
26歳
【出身地】
北海道札幌市
【転出元】
北海道札幌市
【前　職】
学生
【活動時期】
R3.4～

## 協力隊に応募したきっかけ

地元である北海道で、地域に根差した観光に携わりたいと考えて就職活動などを進めていく中で、「一般社団法人知床しゃり」を知る。

人の交流する場所に関心があり、そういった場所から地域の観光について考えたり、地域の人々と観光客の結節点となるような仕事がしたいと思っていた中で、一社）知床しゃりの理念に共感し、斜里町の地域おこし協力隊として採用していただいた。

## 今後の抱負・任期後の目標

1．知床トコさんスタンプラリーの持続可能な事業としての仕組みを構築する

2．E-BIKEを知床の新たなアクテビティおよび移動手段として確立する

3．さまざまな人がゆるやかにつながることのできる場所をつくる

## 活動内容

### ●知床トコさんスタンプラリー

知床の「泊まる」「味わう」「楽しむ」「おみやげ」など、様々な種類の「知床トコさん」スタンプを集めて楽しんでいただき、集めたスタンプの色や数によって、ここにしかない景品がもらえる企画。
推進担当として、シーズンごとの企画やスケジュール管理、資材調達などを行っている。

### ●E-BIKEレンタル

スタイリッシュでスポーツ走行に適した電動アシスト自転車「E-BIKE」の利用促進のためにレンタルを実施。
知床の大自然を体で感じることができるツール。
サスティナブルな移動手段として、アクテビティやまち乗りなどを楽しんでいただける企画を考案したり、広報などに携わっている。

### ●地域イベント

町内で開催されるさまざまなイベントの実行委員会などに入り、運営の手伝いなどを行う。
これまでに参加したイベント：
知床しゃり花火大会、知床サスティナブルウィーク、写真ゼロ番地知床

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）akaritakeyama@shiretoko-sustainable.com
（電話番号）0152-26-9970
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（HP）https://www.shiretoko-sustainable.com/
（Instagram）https://www.instagram.com/shiretoko_stamprally/
（note）https://note.com/shiretokoshari/

# 北海道佐呂間町　住田　広樹

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
43歳
【出身地】
愛知県岡崎市
【転出元】
北海道北見市
【前　職】
人材派遣
【活動時期】
R４.４～

## 協力隊に応募したきっかけ

地域おこし協力隊に応募することで、外部から移住してくる人間でも地域とのつながりを作ることができ、田舎で都会にない新しいライフスタイルが創り上げられるのではないかと思ったため。

## 今後の抱負・任期後の目標

地域で地元にない事業を興し、外貨を稼ぐ。

・コスプレ撮影サービス
・レンタルサウナ
・海水生物ペット事業
・各種ITサービス

など、いくつかテストしてみて絞っていく予定。

## 活動内容

**●町内観光用撮影**

町内各所、観光エリアやイベントなどの記録用撮影、環境保全のための定点観測用撮影を行う。

**●観光イベントのサポート**

観光物産協会に関する各種物産展や観光PRイベントへの参加、準備・運営に関するサポートを行う。

**●観光情報発信**

町内や地域おこし協力隊に関する情報をSNSにて発信する。そのための動画撮影、編集、公開業務。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Twitter）https://twitter.com/saroma_tai

# 北海道佐呂間町　鈴木　身江子

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
49歳
【出身地】
北海道　札幌市
【転出元】
北海道　札幌市
【前　職】
イラストレーター
【活動時期】
R4.4～

## 協力隊に応募したきっかけ

子供が成人したことを機に、新しいことをしてみたいと考えていたところ、大好きなオホーツクの求人を見つけ、応募いたしました。

## 今後の抱負・任期後の目標

観光物産協会の運営を充実させ、任期後は観光物産協会の事務局員になる。

## 活動内容

**・朝顔トンネル**

サロマ湖道の駅に朝顔トンネルを作成。
アイヌのミュージシャンのMV撮影の現場となる。

**・佐呂間の素敵を毎日配信**

佐呂間の農業、漁業、林業をはじめ、お店やイベントなどを取材、体験。特産物の調理動画作成。それを、Facebookやインスタグラムで発信。インスタライブにて、活動内容を配信。

**・ホタテシェルアート**

佐呂間の特産であるホタテの貝殻を使って、観光でいらした方も楽しんでいただけるようなワークショップを考案。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Instagram　佐呂間町地域おこし協力隊　@saroma_tai
facabook　サロマ協力隊

# 北海道遠軽町　日永　教優

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
25歳
【出身地】
北海道旭川市
【転出元】
北海道旭川市
【前　職】
番組制作・リポーター
【活動時期】
R3.8～
(2年目)

## 協力隊に応募したきっかけ

前職で知り合った、地域おこし協力隊の活動を見ていて興味を持ったから

## 今後の抱負・任期後の目標

何らかの形でご当地キャラクターを制作し、運用できるようにしたい

## 活動内容

**●動画制作**

町の広報と連携して、地域のイベントや施設・観光スポットの紹介等を町の公式YouTubeで発信。

**●ご当地キャラクターの制作**

現在、遠軽町には4町村が合併する前にできたキャラクターはいるが、統一されたものはいない。そこで、どの地域でも通用するキャラクターを制作しようとしている。

**●グラフィックデザイン･イラストの作成**

イベントやふるさと納税返礼品に関するデザインや、イラストを適宜作成し、SNSでの発信や印刷物への活用などを行っている。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス) 役場: kikaku@engaru.jp
(電話番号)　　役場: 0158-42-4818
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
(facebook) https://www.facebook.com/engaru.engaaru/
(Twitter)　https://mobile.twitter.com/hinaga_engaru

# 北海道滝上町　尾崎　八重子

観光・情報発信

## 基本情報

【年　齢】
27歳
【出身地】
北海道北見市
【転出元】
北海道札幌市
【前　職】
カフェ店員など
【活動時期】
Ｒ３.４～Ｒ７.３
（２年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

大学への進学を機に、オホーツク地方から札幌へ移住しましたが、年々地元へ帰りたい気持ちが芽生え始め、隣町である遠軽町にも高校時代に住んでいたこともあって、応募しました。

また滝上町は、父親の実家もあり、毎年のように訪問していたこともあることから、特に親しみがありました。

さらに、飲食店での勤務経験を活かすことができ、趣味のお菓子づくりのスキルを伸ばすことができるのではないかと思ったことも、きっかけの一つです。

## 今後の抱負・任期後の目標

製菓の専門学校へ入校し、国家資格である製菓衛生師の取得を目指して日々切磋琢磨しています。

また、町内にある道の駅で焼き菓子を販売したり、他の市町村の協力隊と協働して、イベントを企画するなど、横のつながりも大事にしていきたいです。

これまでの経験を活かして、滝上町の特色溢れる特産品を開発や販売をし、最終的にはふるさと納税のお礼の品として全国の方々へ発信できれば、と思っています。

## 活動内容

### ●フレグランスハウス業務

５月から10月までの間、フレグランスハウスにおいて喫茶業務に従事しているほか、ハーブガーデンの整備や収穫、石鹸づくりなどの体験メニューの実施、事務作業等のバックオフィス業務も担っています。

### ●ジャズ喫茶の開催

毎週火、水曜日限定で営業しているカフェ「ＫＡＲＳＵＩ」において、２日限定店長体験をさせてもらい、趣味の一つであるＪＡＺＺを存分に活かしたジャズ喫茶を企画、開催しました。

町内外問わず、お客様にも多くご来店いただくことができました。

### ●道の駅イベント「冬物語」

フレグランスハウスは閉鎖する冬期間を利用して、道の駅勤務であり、同じ協力隊員である佐藤隼輔隊員とコラボして、町内産小麦である「きたほなみ」と数種類のハーブを使用した焼き菓子を製造、販売しました。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
0158-29-2111（滝上町役場）

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Facebook　https://www.facebook.com/taki.okoshi.tai/

# 北海道雄武町　チャン・レ・フゥン・タオ

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
36歳
【出身地】
ベトナム
【転出元】
富山県射水市
【前　職】
通訳者
【活動時期】
R2.4～ R5.3
(3年目)

## 協力隊に応募したきっかけ

求人サイトで募集情報を見かけて、興味を持ちました。外国人の立場から企画を提案したり、ベトナム語・英語で情報発信をすることによって、町の観光PR力が向上するとともに自分の言語能力も向上できると考え、応募しました。

## 今後の抱負･任期後の目標

安定した仕事は、スキルの向上、様々な知識の習得につながり、自分自身が会社・団体の役に立ち、貢献していることを実感できることだと考えており、日本で安定した仕事が継続できれば、将来家族を日本へ迎えようと思っています。

## 活動内容

**●町外における特産品販売**

町のPR活動として、札幌市において雄武町特産品の販売活動を行い、来場したお客さんへの商品説明・レジ業務等を担当しました。（5月…ホテルポールスター札幌、8月…札幌ドーム）

**●町内開催イベントのサポート**

新型コロナウイルス感染拡大のため中止が続いていた「雄武の宝　うまいもんまつり」が、9月25日、3年ぶりに開催されました。チラシ作成などの準備作業、祭り当日は観光協会の活動（「雄武牛焼き」の販売、「ちゃんちゃん焼き」の無料配布）を行いました。

**●雄武町フォトコンテストのサポート**

5月1日～9月30日に作品を募集し、10月下旬に結果発表した2022年「おうむを写そう」フォトコンテストにおいて、ポスター制作、写真の申込受付や投票準備を行いました。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
雄武町観光協会　（電話番号）0158-85-7234

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（雄武町観光協会）https://welcome-oumu.hokkaido.jp/

# 北海道白老町　羽地　夕夏

観光・情報発信

## 基本情報

【年　齢】
24歳
【出身地】
沖縄県読谷村
【転出元】
東京都世田谷区
【前　職】
出版社
【活動時期】
R4.5～

## 協力隊に応募したきっかけ

出版社で営業職として全国書店と関わっていた中で、各々の店舗が立地、地域性を活かし店づくりを行っており、書店経営を行いたいと考える。白老町に書店がないという話を現協力隊隊員から聞き、本と地域性を活かし経験を活かした白老町活性化活動を行いたいと思い応募。

## 今後の抱負･任期後の目標

現在は移動式本屋として活動しており、今後も継続して町内外のイベントで移動式本屋を用いた観光PRを実施する方針。
任期満了後は町内に新たな拠点を設け本屋を展開し、本の修繕方法を学ぶワークショップや書店経営に注力し本を用いた更なる観光振興への活動に取り組む方針。

## 活動内容

**●町内での移動式本屋活動**

町内の観光インフォメーションセンター　ポロトミンタﾝにて移動式本屋を出店。子供への読み聞かせや本の魅力、観光客向けに観光PR活動を実施している。

**●町外での移動式本屋**

洞爺湖町のイベント会場で白老町の観光PRのため移動式本屋を出店。パンフレットを用いた観光PR活動等を実施。移動式本屋は珍しく町外での更なる知名度向上のため活動している。

**●イベント会場での移動式本屋**

札幌でのマルシェイベントに参加。観光PR活動を実施。アイヌ文化やその他様々な本を店頭に並べ観光PR活動を実施。道内外様々な地域で移動式本屋を用いた観光PRを行い、他地域の特色を自身の本屋の活動へ活かしている。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）https://www.Instagram.com/matatabibunko_hon

# 北海道安平町　青木　良祐

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
29歳
【出身地】
北海道 札幌市
【転出元】
東京都 世田谷区
【前　職】
株式会社TABIPPO
【活動時期】
R4.1～ R6.12
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

国内外を問わず旅をしながら働くフリーランス／インフルエンサーとして活動していました。コロナをきっかけに「人とつながる場所」を自分でも持ちたいと思うようになり、地元北海道でゲストハウス事業をはじめることに。多くの拠点の候補がある中、「Fanfare あびら起業家カレッジ」という、安平町の起業支援プログラムを見つけ、エントリーしました。地域おこし協力隊の制度を活用し、様々なサポートを受けながら事業に取り組めることに魅力を感じたのが応募のきっかけです。

## 今後の抱負・任期後の目標

初年度の目標であるゲストハウスの開業と認知拡大は完了したので、次年度以降はより地域の魅力を感じてもらえるような旅の仕組みづくりを実施したいと考えています。
「楽しかったで終わる観光」ではなく、「学びのある旅」を提供していきたいと思っています。
任期後もゲストハウスは続けていきます。新千歳が近い利点を活かして、若者が安平町に来続ける仕組みづくりや、北海道の玄関口として面白い人たちの集まる町づくりをしていきます。

## 活動内容

**●DIYで40名以上のボランティアが全国から集結**

築43年の古民家を購入し、DIYでフルリノベーション。インフルエンサー、経営者、フリーランス、旅人など、全国から応援のボランティアが40名以上集まってくれました。開業前からたくさんの方の想いが詰まった宿になりました。

**●クラウドファンディングにて248名から215万円の支援**

ゲストハウス開業に向け、クラウドファンディングを実施。たくさんの方からのご支援をいただき、目標金額に対し142%で達成。資金調達だけでなく、安平町の認知拡大にも貢献しました。

**●ゲストハウスVACILANDOオープン**

2022年11月1日に「ゲストハウスVACILANDO」をオープンしました。『ゆっくり急ぐ』がコンセプトで、スローライフも仕事も両立させたい人が集まる空間です。安平町に足りない20～30代の世代との関係人口づくりのキーになる場所。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
▶ VACILANDO公式サイト→ https://vacilando-gh.com/
▶ 個人Instagram→ https://www.instagram.com/roy_world81/
▶ 観光情報発信Instagram→ https://www.instagram.com/tabito_hokkaido/

# 北海道清水町　中田　幹悟

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
２６歳
【出身地】
秋田県由利本荘市
【転出元】
長野県長野市
【前　職】
映像編集者
【活動時期】
Ｒ３.８～

## 協力隊に応募したきっかけ

映像関係の仕事をする前は農業関係の仕事をしていたので農業と映像を組み合わせて地域貢献したいと考えて、農業の盛んな地域への応募をしました。

## 今後の抱負・任期後の目標

役場内の仕事にも慣れてきたので、これからはスピーディーに活動を進めていきたいと思います。Youtubeを始めとした情報発信で清水町の活動や町民のことを町内外に知ってもらい、少しでも町に活気がつくように活動していきたいです。
任期後は映像制作で地域に貢献できるようにしていきたいと思います。

## 活動内容

**●町公式Youtubeチャンネルによる情報発信**

まちのイベントや取材などを通して、まちの魅力を発信するための動画制作を行い、町公式Youtubeチャンネル「十勝清水町うっちゃねる」にて発信を行っています。

**●ＳＮＳを活用したまちの情報発信**

地域おこし協力隊のＬＩＮＥアカウントを作成し、まちのイベント情報などの発信を行っています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）kikaku@town.shimizu.hokkaido.jp
（電話番号）0156-62-2114

# 北海道中札内村　町田　仁志

観光・情報発信

## 基本情報

【年　齢】
62歳
【出身地】
東京都　杉並区
【転出元】
東京都　三鷹市
【前　職】
フォトグラファー
【活動時期】
R３.４～

## 協力隊に応募したきっかけ

国立公園化される日高山脈について、写真家として観光・PR事業に協力できると思いました。

## 今後の抱負･任期後の目標

国立公園化正式決定が諸事情により延期中ですが、引き続き日高山脈についてのPR活動を行って行きます。
任期後については未定ですが、村を基点に十勝～北海道と活動範囲を広げて行ければと思っています。

## 活動内容

**●帯広空港ロビーディスプレイ**

R3年９月より帯広空港出発ロビーにて、日高山脈の巨大写真プリント（1520x3560mm）を展示しています。

**●村内巨大プリント写真展**

R4年6月、村の文化創造センターにおいて巨大プリント（1520x2630mm）10点による写真展を開催。環境省アクティブ・レンジャー、写真連盟十勝支部とのコラボレーションによる日高山脈写真月間に発展しました。

**●中札内村撮影地図制作**

現在進行中の企画です。村内の日高山脈撮影絶景ポイントをまとめた地図を制作中です。道の駅等で配布して、観光に活用して頂ければと思います。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
(webサイト) https://www.lensculture.com/hitoshi-machida

# 北海道中札内村　野口　京子

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
47歳
【出身地】
大阪府　高槻市
【転出元】
大阪府　高槻市
【前　職】
旅行会社勤務
【活動時期】
R３.４～

## 協力隊に応募したきっかけ

以前より地域活性化に興味があり、またコロナ禍で地方移住が推奨されていましたので、この機会に地域活性化に取り組んでみようと思い応募いたしました。

## 今後の抱負･任期後の目標

地域の方に意見を伺い、地域の事を教えてもらいながら、地域に合った環境やSDG'sに関する体験型の企画を造成していきたいと考えております。またサイクリングのおすすめコースを作り、観光客にご案内などサイクリング観光を発信してサイクリング利用を推進していきたいと思います。

## 活動内容

**●紙漉き体験**

夏休みに村内の小学生と中学生向けにおこなった体験イベントです。古紙と野菜の葉っぱや皮など廃棄される部分を利用して紙を作ります。捨てられる物に新しい価値を付けて生まれ変わるアップサイクルを体験してもらいました。

**●ツリーイング体験**

9月のシルバーウイーク最終日に村内や村外の小学生以上対象に専用のロープを使って木に登る体験を開催いたしました。園地にある立派な木もいくつかご紹介し木や自然の面白さをご案内。木の力強さや木の上から眺める景色は大人も楽しめます。これからも木や自然に触れる機会を作っていきたいです。

**●サイクリングモニターツアー**

９月と10月に1回ずつモニターツアーを開催いたしました。1回目はフェーリエンドルフ発着で小泉淳作氏にスポットをあてた約20kmコース、サイクリング後は今夏オープンしたスパも楽しんで頂きました。2回目は村道を中心に日高山脈がきれいに望める60kmコース、サイクリスト中心に参加して頂きました。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
中札内村観光協会（メール）info@kankou-nakasatsunai.com
（電話番号）0155-68-3390

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（ツイッター）https://twitter.com/nakasatsunaitai?s=20&t=6M-f1iULdt_yyRVhHZRXzA

# 北海道広尾町　磯野　巧

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
35歳
【出身地】
神奈川県座間市
【転出元】
神奈川県座間市
【前　職】
(株)キズキ／筑波大学
【活動時期】
R4.4～

## 協力隊に応募したきっかけ

私は観光学を専門とする研究職の立場から，農山漁村の地域創生事業に携わってきました。現場経験を重ねるなかで，ひとつの地域に腰を据え，直接的な担い手として地域づくりに挑戦すること目指すようになり，一発奮起して移住を決意しました。北海道広尾町は所謂物見遊山型の観光地ではありません。だからこそ，まだ見ぬ地域資源の発掘や観光的魅力の創出，ストーリー性の付加が不可欠になります。克服すべき課題は山積みですが，ポテンシャルに満ち溢れた広尾町での挑戦は毎日が刺激的で高揚感を覚えます。

## 今後の抱負・任期後の目標

「**選ばれ続ける広尾町**」を実現すべく，広尾町の強みを反映した体験型観光プログラムの開発・運営に努めていきます。今年度は多様なプログラムを考案し，手応えを掴むとともに，広尾町らしさの追求や活動内容の外部発信，連携可能性の模索，市場分析など，**活動の土台作り**に徹しました。次年度はプログラムの実装化に向けて，観光人材の発掘育成やフィールド開拓，観光教育の強化にも注力します。任期後は十勝観光の中核を担うべく，関係人口を創出する**拠点整備**や**観光地経営**に関する事業展開を目指しています。

## 活動内容

### ●一次産業を軸とする体験型観光の推進

広尾町は一次産業が満遍なく展開しています。今年度は放牧見学や昆布干し体験といったオーソドックスな体験観光プログラムを充実させました。今後は一次産業の連動性を体感したり，**国際友好都市をもつノルウェーの要素を加味したプログラム**を考案したりと，更なるオリジナリティの追求に努めます。

放牧見学ツアー

### ●地元高校生との体験型観光プログラムの共創

総合的な探求の時間を活用した**観光教育**に取り組んでいます。今年度は「**十勝の海・漁業**」を題材に，高校生が発案する体験観光プログラムを共創しました。その過程で，生産現場でのフィールドワークや漁師を交えたワークショップを実施しました。その様子は各種メディアにて紹介されています。

地元高校生の室内昆布干し体験

### ●視察研修旅行の受入環境の整備

広尾町では視察研修旅行の受入環境を整えています。今年度は**学生インターン**（北海道大学，東京海洋大学ほか）を積極的に受け入れ，視察研修旅行の更なる推進に向けたモニターツアーに参加してもらいました。また，北海道知事（なおみちカフェ）や学生団体などに対する各種アテンドにも従事しました。

北海道知事の来訪対応

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（電話番号）01558-2-0117（広尾町水産商工観光課）

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（地域おこし協力隊Instagram（QRコード(左)））
（ピロロツーリズム推進協議会website （QRコード(右)））

# 北海道池田町　鈴木　龍太郎

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
38歳
【出身地】
東京都江戸川区
【転出元】
千葉県松戸市
【前　職】
医療従事者（事務系）
【活動時期】
R4.6～

## 協力隊に応募したきっかけ

昨今のコロナ禍と40代を目前に控え、今後の生き方を真剣に考える機会があり、『せっかくなら好きな事をやろう！』と念願の北海道移住を決意しました。そこで好きなお酒や観光に関われるような仕事をJOINや転職情報サイト等で探し、同時に移住フェアにもオン・オフライン問わず積極的に参加してきました。最終的に東京の移住フェアで以前から旅行で何度も訪れていた池田町ブースにて協力隊募集情報を得ることができました。町長や現役協力隊からの話も聞け、池田町に移住を決めて応募し現在に至ります。

## 今後の抱負・任期後の目標

協力隊のフットワークの軽さを活かし今後は池田町の食や十勝ワイン等の魅力を伝える体験メニューや商品開発、情報発信をしていきます。任期中に任意団体設立も視野に入れ定期的に主催のイベント等を積極的に発信し町内に定着を図り、町内移住者や交流人口を増加させていきます。

主催イベント等を通じて池田町内外の関係者と交流や関係構築を続けていき、協力隊当初の目標である池田町にて池田町及び十勝管内の活性と持続可能な発展を担う地域商社を立ち上げていくために日々活動していきます。

## 活動内容

**●移住後初主催イベント**

移住して半年弱ですが同期のブドウ栽培推進員との初共催で町内千代田地区の圃場で初めて『秋のブドウ収穫と畑でランチ会』を開催。天候にも恵まれ16人の参加者達と『山幸』を収穫。搾りたてのジュースは甘い！の感動の声。準備は大変でしたが来年以降も協力隊事業として開催していきます。

**●初出張、夏の大型イベント参加**

8月、初めて池田町を飛び出し札幌ドームで行われた『大ほっかいどう祭』に参加してきました。池田町自慢の「十勝ワイン」や「ハム」「長芋」等を来場者にPR！北海道で有名なタレントさんに「ロゼロック」を飲んでもらったり十勝ワインのファンの皆様と直接お話しできたりと大盛り上がりでした。

**●移住フェア in大阪と京都府京丹後市訪問**

今後池田町がガストロノミーツーリズムを推進していく中で数ある先進地として京丹後市を選び、担当者から詳細や現状を聞き協力隊としてできる池田町での在り方や方向性を模索してきました。また併せて直の担当ではないが大阪の移住フェアにも参加。現役協力隊として池田町をPRしてきました。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（電話番号）015-572-3218（役場産業振興課商工観光係）
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】
池田町地域おこし協力隊
フェイスブック：https://www.facebook.com/ikeda.chiikiokoshi/
インスタグラム：https://www.instagram.com/ikeda.chiikiokoshi/

# 北海道足寄町　金　根

観光・情報発信

## 基本情報

【年　齢】
３１歳
【出身地】
中国黒龍江省東寧市
【転出元】
長野県松本市
【前　職】
大学院生
【活動時期】
Ｒ２.４～Ｒ５.３
（３年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

学生時代に足寄町にある九州大学北海道演習林に研究のため毎年来ていました。足寄町の豊かな森林や北海道の文化、オンネトーや雌阿寒岳のような観光資源となる手つかずの大自然は故郷にも通じるところがあり、足寄町の素晴らしさを、国内外の人たちに知ってもらい、多くの方々に足寄町に訪れ、体験して欲しいと考えるようになりました。そのとき足寄町が募集していた「インバウンド対応、エコツーリズムの推進」のための協力隊募集は願ってもないチャンスだと思い、すぐに応募しました。

## 今後の抱負･任期後の目標

今年度が最終年度で、これから阿寒摩周国立公園にあるオンネトー地区の維持管理を担えるように、今は色々な現場業務の引継ぎを受けています。これからも足寄町に残り、オンネトーに関わる事業を行っていきたいです。そして、日本の永住権取得も考えています。インバウンド需要が戻れば、中国人や韓国人向けのツアー商品づくりやガイドの会社を立ち上げ、将来的には宿泊もできる施設も作ってみたいです。

## 活動内容

### ●ツアープログラム開発

オンネトーは四季ごとに楽しみ方がありますが、道路が冬期閉鎖する冬はあまり活用できていません。スノーシューガイドツアーなど、安全に楽しめるツアーが実施できると思い、プログラム開発に取り組んでいます。森林の知識を生かした春～秋のツアーも考えています。

### ●町広報誌連載「キンコンカンコー」

足寄町民に、私の活動を通して足寄町の観光について知ってもらうため、広報誌に隔月で連載しています。現場で活動しているからこそ分かるオンネトー地区の自然解説やその時期ごとのイベントなどを紹介しています。

### ●オンネトー地区管理業務（見習い）

オンネトー国設野営場を含む現地の管理人が高齢のため、後継者となるべく、様々な維持管理業務を覚えているところです。阿寒摩周国立公園にあるオンネトー地区は現地の自然を理解しなければできないことが多いです。何世代も先までこの自然を残しながら、利活用もできるよう日々勉強しています。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）→

JIN.GEN

# 北海道釧路市　大川　彩果

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
２７歳
【出身地】
群馬県　桐生市
【転出元】
宮城県　仙台市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R3.10～ R6.3
(2年目)

## 協力隊に応募したきっかけ

「自分らしく暮らし、働ける場所」への移住を目指して転職活動をしていたところ、かねてより興味のあった地域おこし協力隊の中でも今までの経験やスキルを活かせるミッションを見つけて応募。暮らしていく場所として釧路市について調べる中で、「日本であって、日本らしくない」雄大で美しい自然に囲まれた環境に惹かれた。まだ知らない日本をもっと海外の人に知ってもらい、楽しんでもらうと同時に、地元の人たちが誇る地域づくりに貢献していきたいと思った。

## 今後の抱負・任期後の目標

海外のお客さんに向けて、日本という旅先の中で「北海道」「道東」というフィールドを選んでもらえるような仕組みづくりに力を入れていきたい。
目先の目標としては2023年に北海道で開催されるATWSでのネットワーク拡大で、より多くの人に地域の魅力を直接伝え、アドベンチャートラベラーのニーズを吸収して、道地域に落とし込むかを深堀り。任期後についてもポストコロナのインバウンド観光において旅行者も地域も気持ちよく楽しめる仕組み作りに関わる仕事をしたいと考えている。

## 活動内容

### ●アドベンチャートラベル（ＡＴ）の推進

主に欧米豪の旅行者に支持され、近年市場規模が拡大している観光分野である「アドベンチャートラベル（AT)」を当地域で推進するために、地域の観光資源等の調査、ガイドスキルの習得、地域内外の事業者とのネットワーク構築、外国語及び日本語を活用した観光情報発信等を実施。

### ●ＡＴツアーの企画、商談等によるビジネスネットワーク構築

当地域の観光資源を実体験に基づき調査し、ATツアーとして７泊８日程度のモデルコースを作成。
ATの国際的な団体ATTAが主催する世界最大のイベント「ATWS」やオンライン商談会等により、世界各国のATバイヤーとビジネスネットワークを構築。

### ●海外旅行者向けＡＴ情報発信

インスタグラムやYouTubeにより、海外AT旅行者に向けて当地域のATコンテンツをPR。
ひがし北海道の様々なコンテンツを実際に取材し、地域の魅力や楽しみ方を、日帰りや２泊３日のモデルコースとして仕立てて発信。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）okawa@lake-akan.com　（電話番号）0154-67-3200

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）https://www.instagram.com/arctic_japan/

# 北海道標茶町　炭田　晃希

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
32歳
【出身地】
茨城県　鹿嶋市
【転出元】
茨城県　鹿嶋市
【前　職】
地域連携DMO　職員
【活動時期】
R4.4～

## 協力隊に応募したきっかけ

道東の着地型旅行会社で働いていたことがあり、道東に戻るきっかけを探していた。
観光協会の活動強化という目的に対して、地域連携DMOでの着地型旅行商品の造成などの経験を生かして貢献できると思い応募した。

## 今後の抱負・任期後の目標

観光協会の法人化後職員として、道東の中央に位置する標茶町を拠点に旅行者が往来するような拠点を作りたい。

## 活動内容

**●標茶町バスターミナル観光案内所　窓口業務**

市街地、JR標茶町の隣にあるバスターミナル内の観光案内所での窓口業務

**●標茶町や特産品のPR、観光列車のおもてなし**

SNSやイベントでの標茶町及び特産品のPR

**●近隣町村との観光協会連携事業**

鶴居村観光協会、（弟子屈町）摩周湖観光協会との連携事業、摩周・標茶・鶴居プロモーションボードでの活動

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】標茶町役場
（メールアドレス）info@shibecha-kanko.com（電話番号）015-485-2111
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Facebook）標茶町地域おこし協力隊
https://www.facebook.com/town.shibecha.chiikiokoshi
（Instagram）標茶町地域おこし協力隊
https://www.instagram.com/shibechaokoshi/

# 北海道別海町　久保田　郁也

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
27歳
【出身地】
東京都青梅市
【転出元】
栃木県佐野市
【前　職】
旅行会社
【活動時期】
R3.4～

## 協力隊に応募したきっかけ

コロナ禍で旅行会社に限界を感じ、元々やりたいことであった地方創生へ直接携われる仕事を求めて応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

地域おこしとして観光客増加に向けたイベントや施策の実施を行っていきたいと思います。
また、コロナで疲弊する、宿泊、飲食事業者へのフォローもしていきたいです。

## 活動内容

**●特産品を活用したレトルトカレーの開発･販売**

別海町の特産品「北海シマエビ」と「ホタテ」の風味を味わえる2種類のレトルトカレーを開発しました。
開発には協会員の協力をいただき、町内での販売はもちろんのこと、道外イベント出店の際にも完売するなど、別海町の新たなお土産として定着しつつあります。

**●道の駅にモーモーベンチ設置**

「道の駅おだいとう」に新たなフォトスポットとして牛のベンチを設置しました。道の駅で購入したソフトクリームや牛乳と一緒に写真撮影する人も多く、道の駅の売上UPに繋がったり、SNSに掲載いただくなど好評です。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス） betsukaikanko@gmail.com （電話番号）0153-74-9018

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（別海町観光協会ＨＰ）http://betsukai-kanko.jp

# 北海道別海町　高橋　秀明

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
38歳
【出身地】
埼玉県志木市
【転出元】
東京都小金井市
【前　職】
不動産会社
【活動時期】
R元.10～

## 協力隊に応募したきっかけ

新しい環境でのチャレンジと起業のため。

## 今後の抱負・任期後の目標

廃線と利用した、町内をめぐる周遊型観光が出来るように広報活動などに力を入れることと、町民の方に受け入れていただけるような活動を心掛けていくこと。

また、野菜の販売から野菜を使った六次産業化なども視野に入れ、新しい別海町の取り組みとして、移住定住や働き先になれるようにしたい。

## 活動内容

**●農産物組合での野菜販売**

町内で自給用に農産物を作っている人を集めて、昨年7月に「別海農産物組合　べつかいらーべじ」を結成しました。主に町内の温泉施設である別海町ふるさと交流館で毎週土日に野菜販売を行い、軽トラ市や、別海町産業祭に出店するなど活動の幅を広げています。

**●旧標津線の廃駅の掘り起こし**

旧国鉄標津線の廃駅跡を新たな観光スポットとして掘り起こしました。一昨年度に上春別駅跡地、昨年度に平糸駅と光進駅跡地の整備を行い、看板のレプリカも設置して当時の雰囲気を再現しました。

今年も役場職員と協力して草刈り等環境整備も行いました。

今後もSNS等によって鉄道に造詣が深い層へのPRを図り、誘客に努めていきたいと考えます。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス） syoukou@betsukai.jp
（電話番号）0153-75-2111（内線1624）

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（インスタグラム）@betsukai_kyoryokutai

# 青森県中泊町　覚張　日菜

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
23歳
【出身地】
神奈川県横浜市
【転出元】
神奈川県横浜市
【前　職】
学生
【活動時期】
R3.10～ R6.10
(2年目)

## 協力隊に応募したきっかけ

大学生の時、青森に住んでいる友人に誘われ遊びに来たのをきっかけに津軽が大好きになりました。長期休暇がある度に津軽に足を運び、津軽で暮らしてみたいと思うようになりました。しかし、自分の興味のある求人が見つからず「青森で暮らすタイミングはまだかな」と思っていた矢先、中泊町を見つけました。主な仕事内容が外国人との交流、インバウンド対策と書いてあり、高校の時に留学した経験をこの町で活かせそう、また、奥津軽ならではのディープな文化を楽しめそうだと思い応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

協力隊として２年目を迎え余裕が出来てきたため、より積極的に活動を行っていきたいと思います。インバウンド対策に関しては冬には金多豆蔵人形劇、ストーブ列車を含めたモニターツアーを行い、外国人受け入れの準備を進めます。町内在住外国人ともより交流を深められるように日本語教室の定期開催、また町民との交流の機会もより、増やしていきたいと思います。今後も活動を通して中泊町の魅力を世界に伝えていきたいと思っています。

## 活動内容

**●インバウンド対策**

海外からの旅行者を迎え入れられるようにインバウンド対策を行っています。小川三知の最高傑作と言われるステンドグラスが残る宮越家を中心に観光してもらえるように整備しています。右の写真が2022年9月には私がガイドを行い英語でモニターツアーを行った際の写真です。

**●町内在住外国人との交流**

中泊町に技能実習生として来ている外国人の生活をサポートしています。役場などで事務手続きが必要な際はやさしい日本語で案内を行います。日本語能力検定を受ける実習生に向けて勉強会を行ったり、町民との交流のために、郷土料理のしとぎ餅体験をしてお花見をする会を行いました。

**●情報発信**

中泊町文化観光協会のイベント情報、町の魅力をSNSで発信しています。中泊町に来る前に町のことを調べていてもあまり町の雰囲気がわかる情報が少なかったため町民インタビューを行いnoteで発信しています。また自分が中泊町に住んでいて驚いたことなどを体験記として投稿しています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス） nakadomarikyouryokutai02@gmail.com
（電話番号）0173-57-9030
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）https://www.instagram.com/nakadomari.tourism.info/
（Twitter）https://twitter.com/nakadomari_info
（note）https://note.com/nakadomari_roman

# 岩手県二戸市　髙橋　瞭

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
30歳
【出身地】
青森県八戸市
【転出元】
青森県八戸市
【前　職】
東北電力株式会社
【活動時期】
R2.4～ R5.3
（3年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

個人事業主として生計を立てようとしていたタイミングで当制度を知り、居住地の隣の二戸市で「自分の事業も育てながら地域に貢献しながら活動する形式」での協力隊募集が出ていたことを発見したことから。

## 今後の抱負・任期後の目標

地域内のデザイン関係、ちょっとした制作物、IT関係の御用聞きなど、気軽に相談できるポジションとして地域内定住＆自立を目指します。

## 活動内容

**●紙媒体＆web製作**

個人事業を兼ねて、地域内事業者の方々から紙媒体デザイン＆webサイト制作について、任期中は低廉な価格で制作作業を請け負っています。固定顧客も増えてきており、卒業後の収益予想もなんとなく立てられるようになりました。

**●移住相談のサポート**

移住コーディネーターも兼務し、二戸市の移住ポータル「二戸の暮らしポータル」および「空き家バンク」の記事更新や管理を請け負い、移住相談の最初の窓口対応を含めてサポートしています。

**●市内情報の発信**

「にのへシャドーズ」「カシオペアブランド推進協議会」などの組織の情報発信担当として、二戸の魅力を発信しています。個人アカウントでも二戸のよいところなどを発信。

## 連絡先

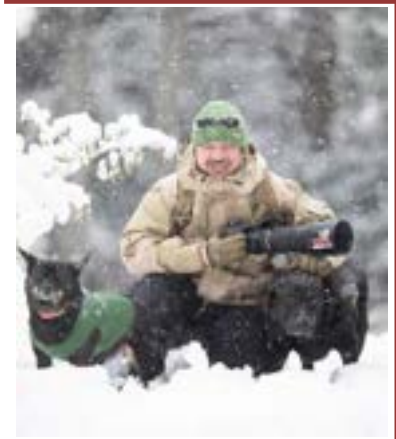
【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）ryo.Takahashi@harahachibu-design.work

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Twitter）https://twitter.com/harahachibu_D

# 岩手県雫石町　LEONG PETER RUSSEL JAMES

**観光・情報発信**

## 基本情報



【年　齢】
44歳
【出身地】
オーストラリア
クイーンズランド
【転出元】
三重県三重郡菰野町
【前　職】
フォトグラファー
【活動時期】
R４.４～（１年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

自然や四季の移り変わりが好きで、今まで行ったことのない場所に行ってみたいと思っていた時に、雫石で自分の仕事でもあるフォトグラファー募集を聞いてやってみたいと思った。

## 今後の抱負･任期後の目標

雫石、岩手はまだまだ海外からの認知度が低いのでこの素晴らしい自然、人との関わりをより多くの人に知ってもらいたい。
そして町全体が海外の方が訪れた時に過ごしやすい、また来たいと思っていただけるように改善が必要な箇所を変えていきたい。

## 活動内容

**●キャンプシーンの撮影**

人気の高いアウトドア、キャンプの様子を撮影、インスタなどのSNSに投稿し、雫石、岩手でできるアウトドアの楽しみ方を紹介する。

**●カフェレストランの紹介**

雫石、その周辺で楽しめるカフェやレストランなどを取材、撮影・インスタなどのSNSに投稿し紹介する。

**●イベント紹介**

雫石、岩手、東北で楽しめるイベントや祭りなど、海外の方が興味を持てるようなコンテンツを取材、撮影・インスタなどのSNSに投稿し紹介する。

## 連絡先

Eメール：kankou@town.shizukuishi.iwate.jp
IG　　：@visit_shizukuishi
Pete Leong Photography FACEBOOK page
　　：@peteleongphotography

# 岩手県矢巾町　中田　雅博

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
33歳
【出身地】
茨城県つくば市
【転出元】
千葉県松戸市
【前　職】
制作会社勤務
【活動時期】
R4～

## 協力隊に応募したきっかけ

会社員の頃からぼんやりとした地方移住願望はあり、友人が他県の協力隊に着任したことがきっかけで協力隊制度について知りました。
詳しく調べていく中で「JOIN」にたどりつき、自分のスキルを活かせそうな募集が掲載されていたことや、自分と似たような経歴の方が活躍されていることを知り、思い切って応募してみました。

## 今後の抱負・任期後の目標

現在は初年度ということで、町からの依頼ベースで制作にあたることが多いですが、２年目・３年目の活動では、初年度の活動を通じて出来た繋がりを活かして、より踏み込んだ作品創りに取り組みたいと考えています。
また、任期後は町の情報発信に関わった経験と自身の強みである映像制作スキルをかけあわせ、新しい地域密着型のメディアを運用しマネタイズしていきたいと考えています。

## 活動内容

**●映像制作**

町のYouTubeチャンネルに掲載される映像として、イベントのアフタームービー・職員採用動画・公共交通を周知するモーショングラフィックスなどの他、SNS掲載用のショート動画や母子手帳アプリに掲載するレシピ動画などを制作しています。

**●地域学生とのコラボ制作**

町内の公立高校の「総合的な探究の時間」で、地元研究をテーマに取り組む２年生たちと一緒にふるさとCM大賞に出展する映像を制作した他、同高校の軽音楽部のミュージックビデオを制作しています。

**●町内フォトスポットの発掘**

「いかにも観光資源」というような場所の無い町内で、”見方や切り取り方を変えれば映える（エモい）”ような場所を発掘する為、色々なところでスナップを撮っています。オススメは公民館横の消火栓です。良い写真が集まったら、何かしらの形で世に出せればと思っています。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（町のYouTubeチャンネル）
https://www.youtube.com/channel/UCBmNTP8PhUb9RuJ7MJ4LRhg

# 岩手県山田町　中島　崇

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
48歳
【出身地】
滋賀県　彦根市
【転出元】
滋賀県　彦根市
【前　職】
電気工事業
【活動時期】
R１.７～

## 協力隊に応募したきっかけ

山田町が募集していた「無人島キャンプインストラクター」という内容に惹かれたのと同時に、体験観光を通じて町の関係人口の増加、活性化に少しでも協力したいという思いから応募に至りました。

## 今後の抱負･任期後の目標

最終年度となり今年は、無人島キャンプの付加価値として、シーカヤックや様々なプログラム化の実現に向けて取り組みます。
2023年の任期終了後は、無人島キャンプや体験観光といった内容で起業する予定です。体験観光だけではなく、山田町の豊かな漁業資源にも携わり定住しながら、町の魅力を伝えていきたいと考えています。

## 活動内容

**●専門家による無人島キャンプ**

県内外からキャンプ場経営者や山岳ガイド、キャンプディレクター等の野外活動における専門家を招いて、無人島（オランダ島）で１泊2日のキャンプを行いました。その結果を基に、無人島キャンプを市場に提供する為の取り組みを継続して行っています。

**●安全管理を学ぶ**

無人島という環境下では通常のキャンプ場や施設よりも危険度が増します。お客様に安全に楽しんでいただく為には、いかに危険度を下げるかが重要です。その為に「リスクマネジメント」や「野外救急法」を学んでいます。

**●充実したプログラム化に向けて**

無人島キャンプの体験プログラムのひとつとして、シーカヤックを取り入れる予定です。その為にインストラクター資格を取得し、更なる技術の向上に取り組んでいます。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Facebook）https://www.facebook.com/yamada.chiioko01
（Instagram）yamada.chiioko01

# 岩手県洋野町　寺田　英人

観光・情報発信

## 基本情報

【年　齢】
53歳
【出身地】
青森県八戸市
【転出元】
青森県階上町
【前　職】
二戸地域雇用創造協議会・いわて復興応援隊等
【活動時期】
R３.１～

## 協力隊に応募したきっかけ

ここ十数年、いわて復興応援隊の隊員&雇用創造協議会の実践支援員として、岩手県北地域の観光振興及び雇用の創出にあたってきました。
その経験や人脈等を活かして、岩手県北地域の振興を、アウトドアアクティビティー、特に自転車を活用した観光振興、サイクリングガイドや、ジオパークガイド・トレイルガイド等をメインにして、頑張っていきたいと思い応募させて頂きました。

## 今後の抱負・任期後の目標

サイクリスト・キャンパー・カメラマン・オーディオマニア・珈琲愛好家等々、幅広い趣味の方が訪れたくなるような場所を提供、町内及び周辺市町村からのリピーターを獲得し、地域の歴史・文化・産業の紹介や、ジオパーク等のガイド、各種ワークショップの開催により、北三陸エリアの振興に繋げていきたい。
また、任期後にも継続出来るよう、収益を確保できる仕組みや、拠点づくりをすすめていきたいと考えています。

## 活動内容

### ●サイクリングガイドや、アテンドの様子

ゴールデンウィークや、お盆期間に、サイクリスト向けののガイドや、トライアスロン愛好家の練習のお手伝いをて、洋野町の魅力を発信!!

### ●ジオガイド＆トレイルガイドの様子

旅行会社等より依頼を受け、ジオパークのガイドや、トレイルコースのガイドをおこなっています。
※右、東北エモーション

### ●ジオパーク普及啓発活動＆各種イベントの様子

ジオパークの普及活動や、各種イベント等をおこない、地域住民＆近隣市町村の誘客をすすめ、経済効果の拡大を目指します。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（電話番号）0194-66-8870（職場 ）
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://www.facebook.com/k3rbase/
https://www.instagram.com/kitasanriku.base/
charliecapa7.wixsite.com/website-1

# 宮城県仙台市　中堀　哲也

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
49歳
【出身地】
新潟県佐渡市
【転出元】
青森県八戸市
※地域おこし協力隊経験有
【前　職】
公務員
【活動時期】
R4.6～ R7.3
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

下記2点により、これまでの経験を協力隊活動に活かせると考えたため

・前任の青森県八戸市での地域おこし協力隊期間中、活動の幅が広げられず、改めて他の地域で活動してみたいと思ったこと
・仙台市での募集内容が、協力隊期間中から将来の定住に向けた活動につながる可能性が高いと感じたこと

## 今後の抱負・任期後の目標

まずは任期終了までに地域おこし協力隊として自分自身が納得できる活動をすること（前回の反省より）
そのうえで、多拠点で地域に関わる活動を行えるような生業を作りたいと考えている。

## 活動内容

**● 3x3連携　動画制作　近隣商店街への誘導検証**

スポーツイベントに関する情報発信・動画制作を通じ、イベント来場者を増やす。
同時に、イベント終了後、近隣商店街を訪れるような誘導できるような仕組みづくりとその検証をしていく。

**●地域おこし協力隊マルシェ(企画中)**

現在の活動地域に東北各地からの移住者が多いことから、この地域に住む移住者コミュニティを作り交流を活発化させたい。
東北各地の地域おこし協力隊にマルシェの形式で仙台に来てもらい移住者に刺さる「地元」を提供してもらう場を作る。

**●活動団体の支援（広瀬川灯ろう流しなど）**

地域で行われるイベントのボランティア参加・情報発信を通じ、地域の各活動団体の支援を行う。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）tai015020@city.sendai.jp　（電話番号）022-247-1337
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】　ORコードでも可
（太白区HP）　（隊員ツイッター）

# 宮城県仙台市　岩井　寛子

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
45歳
【出身地】
宮城県仙台市青葉区
【転出元】
東京都葛飾区
【前　職】
イラストレーター
アーティスト業
※個人事業主
【活動時期】
R4.7～ R7.3
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

東京などで20数年アーティスト活動をしていく中で、いつかは地元に貢献する活動をしたいと考える様になりました。
加えて、ここ数年の私のアート活動は、自身の作品作りとその販売＆アピールからシフトチェンジ。作品を作るまでの過程や作品テーマの構造自体を"共に体験してもらう為の場を作る事"を意識するようになりました。
それはその場にいらっしゃる方達のご縁を繋ぐ仕組み作り・地域の中でささやかな縁日の場を作る事、 "縁を繋ぎ縁を結ぶ為の縁日作り"です。
そんな時、知人から協力隊募集の情報が出ていることを知り、その内容を見て私のこれまでの活動経験とこれからやりたい縁日作りが活かせるのではないかと考え応募致しました。

## 活動内容

**●地域情報発信のSNSグループ開設**

<いがすぺ！長町＞長町＆周辺エリア情報コミュニティ開設。
地域の魅力を皆で教え合い盛り上げていく為に、誰でも参加出来て投稿が出来る、地域情報コミュニティSNSを開設。自身でも日々情報を発信すると共に、グループへの参加を促すための広報活動も行う。

**●活動団体の支援**

**・広瀬川灯ろう流し**
地域のメインイベントの一つでもあるお祭りにスタッフとして参加。
**・スタンプラリーに伴う商店街マップ作り**
仙台市が開催するデジタルスタンプラリーで、長町エリアでの利用を促進するための販促チラシ及びデジタルデータの制作支援。

**●コーヒー＆アートイベント等の企画**

これまでのアート活動をヒントとし、隊員任期中の開催を目指した商店街を活用したアートイベントの企画。
**・ドリップパックアート展**
（アーティスト・CoffeeRoaster・商店街コラボの提案）
**・ながまちCOFFEE FES**（長町エリアに新たなお祭りを生む）
**・商店街シャッターアートイベント**
（地域学生と商店街で作る街の映えスポットアート拠点）等企画中

## 今後の抱負・任期後の目標

長町商店街を含む長町周辺エリア全体でのアートとコーヒーのイベント開催。
長町にアートの発信拠点を作り。
仙台の他の地域のアート拠点の方々との合同イベント開催。
長町コーヒーフェス開催。
そのようなイベントやコンテンツの企画や提案をする活動。
など。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）tai015020@city.sendai.jp　（電話番号）022-247-1337
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】　ORコードでも可
（太白区HP）（隊員インスタグラム）（隊員ツイッター）（いがすぺ！長町FB）

# 宮城県白石市　後藤　永行

観光・情報発信

## 基本情報

【年　齢】
３４歳
【出身地】
宮城県松島町
【転出元】
宮城県仙台市
【前　職】
スポーツアパレル、家具メーカー販売マネジメント
【活動時期】
Ｒ２.４～Ｒ５.３
（３年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

大学院時代の講義で協力隊の制度を知り、興味を持ったのが最初のきっかけです。地元である宮城県で元々興味があった観光で地域を盛り上げる仕事に惹かれ応募しました。また、活動を通して地域貢献できるだけでなく、自らも成長できると考え応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

任期後は起業を考えており、活動と並行して、その準備や地域の人たちとの繋がりを多く作っています。起業の際はそのネットワークを生かし、地域全体に賑わいを創出するため、地域のHUBになるような施設をつくることを目標にしています。地域の人だけではなく、様々な地域から様々な人が集まり、コミュニティを作っていく、そんな場所を目指しています。

## 活動内容

**●甲冑体験**

白石城を拠点とし、甲冑の試着体験の運営を行っています。用いる甲冑はその昔、戦国時代に着用した物を忠実に再現したもので、当時の重みを感じることができる貴重な体験です。私が足軽（通称あしがるさん）の恰好で、皆さまをお出迎えします。

**●城キャンプ**

白石城本丸広場にテントを張り、白石城を見ながらキャンプを楽しむ「城キャンプ」を開催しています。キャンプだけでなく、白石城の見学やワークショップも開催、城郭好きにはたまらないキャンプです。ご家族、ソロキャンプなど、幅広い年齢層の方にご参加いただき、好評を博しています。

**●対話型イベント「OneTable」**

白石市にある自然に囲まれたキャンプ場や伝統あるお寺の中で、様々な体験や地元の料理を楽しみながら対話をするイベントです。コロナウイルスで離れてしまった人と人の距離を白石の食、自然、人を通じて埋めていくためのイベントです。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）hisayuki@visittohoku.jp
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
(Instagram) https://www.instagram.com/ashigaru_san/
(Twitter) https://twitter.com/ashigaru_san20
(Facebook) https://www.facebook.com/ashigarusan

# 宮城県角田市　伊藤　由紀

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
35歳
【出身地】
秋田県秋田市
【転出元】
東京都杉並区
【前　職】
会社員
【活動時期】
R3.4～

## 協力隊に応募したきっかけ

コロナ禍によって生活がガラリと変わり、満員電車での通勤やままならない外出、子供を友達と遊ばせることができない環境が人生を見つめ直すきっかけになりました。
そんな時に出会ったのが角田市の地域おこし協力隊募集でした。

## 今後の抱負・任期後の目標

今後も引き続き、道の駅の交流人口を増やす為、イベントの企画や移住のイベントにも積極的に参加をして角田市をPRしていきます。

## 活動内容

**●dogparkイベントの実施**

Dogpark設置（2021/11/1）
オープン記念イベント（ドッグフードサンプル配布）
One love wan life
ワンちゃんグッズマルシェ（2022/４/24）
One love wan life
ワンちゃんグッズマルシェ
犬の仮装パーティー（2022/10/16）

**●ワークショップの開催**

月に1回のフラワーアレンジメントワークショップ開催。
他にも、水引きで作る小物のワークショップやにゃんこけしの絵付け体験も開催。

**●グリーンツーリズムの企画・運営**

梅のもぎ取り体験＆梅ジュース作り
里芋の収穫体験

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（インスタグラム）https://Instagram.com/yu_mo.kyouryokutai?r=nametag

# 宮城県角田市　高橋　真理

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
26歳
【出身地】
秋田県 湯沢市
【転出元】
北海道 札幌市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R3.11～

## 協力隊に応募したきっかけ

東北地方で観光業に携わり、自分に合った環境で生活したいと思っていたところ、協力隊の募集内容と角田市の環境が自分の希望にマッチしたため角田市の協力隊に応募をしました。

## 今後の抱負・任期後の目標

現在の目標は、「閑散期のない宿にすること」です。そのために、ゲストハウス66が東北観光の拠点となるよう、通年楽しめる観光コンテンツを角田市を拠点に増やしたいと考えています。テーマ型のニューツーリズムや、体験型コンテンツを展開できるよう、準備中です。

また、私の1番の目標が「東北にインバウンド旅行客を増やすこと」です。実現するために、任期後も角田市を拠点としながら東北の観光業の発展に関わっていきたいと考えております。

## 活動内容

**●ゲストハウス66の運営**

ゲストハウス66の業務を中心としながら活動中です。ゲストハウスでは、全国各地から角田市を訪れる方とのコミュニケーションを楽しんでいます。リピーターのお客様も増えており、ゲストハウスならではの交流を楽しんでいる最中です。

**●観光情報メディアの運営**

観光情報メディア「TOHOKU ROUTE66」で定期的に観光系記事を作成し、公開しています。実際に公開した記事をみて宿に宿泊していただいたお客様もおり、直接お客様から感想やリアクションを伺えることが、現在のやりがいに繋がっています。また、取材先で今まで知らなかった東北の魅力を知ることができることも日々の活動の面白いポイントです。

**●各SNSでの地域情報発信**

各SNSを利用して地域情報を発信しております。新しいターゲット層として、20~30代の女性を角田市に呼び込むために、女子旅向けの情報を発信するInstagramを開設しました。これまでとは違う角度で角田市の魅力を発信しています。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
・観光情報メディア TOHOKU ROUTE66（https://road-trip-tohoku.com/）
・TOHOKU ROUTE66 Facebook（https://www.facebook.com/tohokuroute66）
・TOHOKU ROUTE66-女子旅- Instagram
（https://www.instagram.com/tohoku_joshitabi66/）

# 宮城県亘理町　相澤　安嗣志

観光・情報発信

## 基本情報

【年　齢】
31歳
【出身地】
神奈川県相模原市
【転出元】
埼玉県加須市
【前　職】
個人事業主
【活動時期】
R3.8～

## 協力隊に応募したきっかけ

東京では土地の面積に制限があり、なかなか巨大な作品を制作することができない。一方海外では巨大な作品が数多く存在し尚且つパブリックなスペースに設置することができる条例が定められている地域も多い。今回のプロジェクトでは作品そのもののサイズやコンセプトのスケール感も大きなものを制作・設置し、海外でも活動できるアーティストであることを証明するためのプレゼンテーションの場にする。

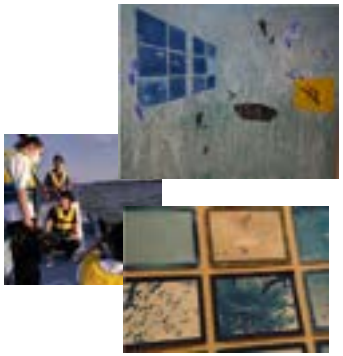
## 今後の抱負・任期後の目標

世界の事例を見ても明らかなように地方創生には芸術が流用される。町民の人たちへの対面的なコミュニケーションも勿論だが、キュレーターのニコラ・ブリオーが提唱した「関係性の美学」を検証しながら、地域に対するコミュニケートにうまく機能する芸術活動を行う。
芸術は社会や地域に還元され文化の土壌になることが役割だと思っているので、地域の方々やプロジェクトメンバーと共に協力し合って新しい文化都市をつくっていきたい。

## 活動内容

**●地域のリサーチと関連作品の制作**

鳥の海地区にある特徴的な浮島「蛭塚」の感染症対策で使われた歴史的背景や地理的特徴等をリサーチ。町民の記憶やイメージを寓話化し、シルクスクリーンやサイアノタイプを用いたアート作品制作を実施。
町の郷土資料館での企画展にて展示し、町内外の方へプロジェクトの取り組みだけでなく、地域の文化や歴史についての情報発信も行っている。
今後は蛭塚内部にアート作品を設置できるか計画中。



**●アートを通じたにぎわい創出**

空き家を活用した期間限定のアトリエを設置。制作を行いながら子供達など地域住民や域外からのアートファンなどが気軽に立ち寄れる場所をつくり、荒浜・鳥の海地区以外でのにぎわい創出に取り組んだ。また、自身の作品をベースにしたワークショップを行い、町民がプロジェクトやアートに気軽に触れられる機会を創出した。

**●アート以外での地域交流活動**

亘理高校美術部への訪問や課外活動に参加。また、中学校での出張授業等にも参加し、地元の子供達との交流やキャリア形成にも積極的に取り組んでいる。その他、地域イベントへの参加やプロジェクト全体の運営等にも関わり、アート以外でのまちづくりや情報発信にも広く取り組んでいる。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
WATARI TRIPLE C PROJECT
（メールアドレス）triplec@onetable.jp　（電話番号）0223-33-2070

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（プロジェクト公式Instagram）https://www.instagram.com/triplecproject/

# 宮城県大郷町　佐久間　綾

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
２２歳
【出身地】
神奈川県　横浜市
【転出元】
神奈川県　横浜市
【前　職】
なし
【活動時期】
Ｒ３．４～

## 協力隊に応募したきっかけ

学生時代に研修で現在の受け入れ先法人であるえにしホースパークで活動していました。その際に、大郷町地域おこし協力隊を紹介していただき、縁あって訪れた大郷町ともっと関わってみたいと思い、応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

触れ合いイベントや馬とのフォト撮影など、サポートという形で携わっている活動が多いのが現状なので、ドリームキャッチャー作りの時のように私自身が主体となって行える活動を増やしていきたいと考えています。
また、まだまだ地域の住民の方と関わる機会が少ないので、今後はもっと地域のイベント等に参加し、積極的に関わっていきたいです。

## 活動内容

**●ふれあい体験乗馬イベント**

近隣地域の保育園や幼稚園、児童館などに馬を連れていき、子どもたちが馬に触れ合ったり体験乗馬をするイベントのサポートをしています。最初は怖がっていた子も最後は笑顔になってくれるのがとても嬉しいです。

**●馬と一緒のウェディング**

大郷町の美しい自然の中でのウェディングフォト撮影や結婚式を行うサポートをしています。まるでお伽噺の世界のような美しさを見ることができ、馬も撮影を楽しんでいるように思えます。
馬の位置や角度の調整をしたり、モデル様のサポートをします。

**●愛馬のドリームキャッチャー**

愛馬の蹄鉄を使ったドリームキャッチャー作りの講師をしました。細かい作業が多かったため、実際に作っているところを見ていただきながら同時に進めていきました。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）machidukuri@town.miyagi-osato.lg.jp
（電話番号）022-359-5537

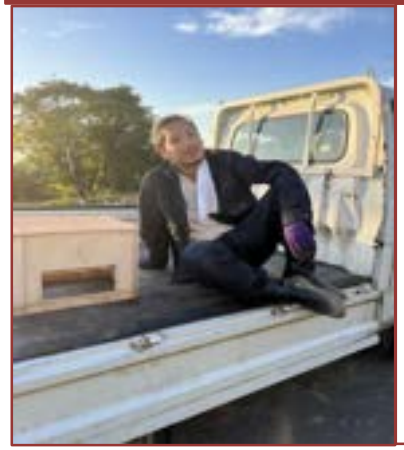
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
インスタグラム：osato _ay

OSATO_AY

# 宮城県大郷町　伊藤　健一郎

**観光・情報発信**

## 基本情報



【年　齢】
２５歳
【出身地】
宮城県　仙台市
【転出元】
宮城県　仙台市
【前　職】
幼稚園教諭／児童館職員
【活動時期】
Ｒ４.９～

## 協力隊に応募したきっかけ

パストラル縁の郷（現･派遣先））支配人からの紹介。

## 今後の抱負・任期後の目標

　これまでの経験を活かし、大郷町の魅力をYouTubeやイベント活動等を通し発信していきたいと思います。
　また現在、来年の夏に派遣先のパストラル縁の郷で”親子で収穫体験を楽しめる農園”を開園するために農業を勉強しています。任期後のことはまだ何も考えていませんが、体調管理だけは気をつけていきたいです。

## 活動内容

**･シネマ大郷**

9月3日に大郷小学校で開催された映画上映会で司会進行とネタを披露しました。

**●いもほりわんだーらんど**

１０月2日にパストラル縁の郷で主催イベント『いもほりわんだーらんど』を開催しました。
自身のSNSを使って告知し、当日は約50人の参加者と一緒にサツマイモ掘りをしました。

**●第6回おおさと秋まつり**

10月29日に大郷町野球場で開催されたおおさと秋まつりの参加者に提供する常のモロ木製マグネットの教材を製作しました。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
YouTube/Instagram/Twitter『すまいるわんだーらんど』

# 宮城県涌谷町　亀山　啓太

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
33歳
【出身地】
宮城県涌谷町
【転出元】
宮城県仙台市
【前　職】
映像クリエイター
【活動時期】
R2.7～

## 協力隊に応募したきっかけ

個人事業主として仙台市で映像クリエイターを行っていたが、法人化するにあたり、自らが培ってきた映像制作や情報発信の技術や経験を活かし、涌谷町の地域発展に貢献していきたいという考えを持ち、応募。

涌谷町の日本初の産金の歴史を中心としたストーリー「みちのくＧＯＬＤ浪漫」が文化庁により、日本を代表する100の物語「日本遺産」に認定されたことにより、涌谷町の地域資源を再認識したことも応募のきっかけとなった。

## 今後の抱負・任期後の目標

映像撮影・編集の技術を駆使し、涌谷町の農業を中心とした産業のブランディングに寄与する映像制作や日本遺産「みちのくＧＯＬＤ浪漫」をはじめとした観光にかかわる情報発信を行い、涌谷町の交流人口の増加や経済の活性化に寄与していきたい。

また、任期後は、地方を拠点として、映像制作や広告代理店業事業を行うためのビジネスモデルを確立させたい。

## 活動内容

**●地域産業のブランディング**

涌谷町の日本初の産金地に基づいたブランド米「金のいぶき」にかかわるブランディング映像を制作し、YouTubeなどの動画共有サイトや店頭のデジタルサイネージなどで配信している。

**●行政サービスの発信**

涌谷町役場が行っている上下水道や移住定住にかかわる行政サービスを、職員と連携して作成し、住民等に対して理解深耕・普及啓発に携わっている。

**●ライブ配信によるプロモーション**

コロナ禍において人と人が対面する機会が減少している中、映像技術を発展させたライブ配信技術を修得し、涌谷町のふるさと納税にかかわるイベントのライブ配信や夏まつりの花火大会のライブ配信を行い、離れていても涌谷町を知ってもらえる、楽しんでもらえる機会創出を行っている。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
宮城県涌谷町企画財政課
（s-kinno799@town.wakuya.miyagi.jp）　（電話番号）0229-43-2112

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（涌谷町公式YouTubeチャンネル）
https://www.youtube.com/channel/UCtrSVHFQ3_FQXlTZ18Zu2tw

# 宮城県美里町　高尾　成洋

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
23歳
【出身地】
愛知県瀬戸市
【転出元】
愛知県瀬戸市
【前　職】
大学生
【活動時期】
R４.４～

## 協力隊に応募したきっかけ

大学時代にSNSを使用して、物を売ったり宣伝したり、自身が制作したグラフィックなどを発信していて、それらがすべて活かせると思い応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

今後は、公認キャラクターのイラストやデザインのレパートリーを増やしつつ、グッズ企画に力を入れていきたいです。

## 活動内容

### ＳＮＳアカウントの開設

「みさとまちこちゃん」初のTwitterアカウントを開設しました。まちこちゃんの様子や、イベント情報などを発信しています。

### 地域のイベントへの参加

「みさとまちこちゃん」を普及させるべく、地域の様々なイベントに参加しました。参加者と一緒に写真を撮ったり、たくさん声をかけてもらいました。

### ステッカーの製作

「みさとまちこちゃん」を覚えてもらうためにイベントに参加した際に、そこでまちこちゃんと触れ合ってくれた方に配布するステッカーを制作しました。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Twitter　@machikochan3310

# 宮城県美里町　大村　昇

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
30歳
【出身地】
宮城県美里町
【転出元】
東京都足立区
【前　職】
フリーライター
【活動時期】
R4.4～

## 協力隊に応募したきっかけ

地元のまちづくりに携わりたいと思ったこと

## 今後の抱負・任期後の目標

まちづくり事業を軸とした起業

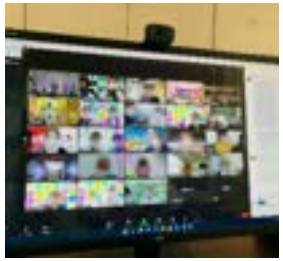
## 活動内容

**●note『みさと新報』**

ライターだった経験を活かして、まちの「イベント」や「人」を取り上げて記事化。町内の人には改めて、そして町外の人には新しく美里の情報を知ってもらい、町のイメージの形成および向上を図る。
→ https://note.com/misatomachiko/

**●移住イベントへの参加**

町の移住・定住促進の担当者として、宮城県が主催する移住のオンラインイベントに参加。トーク企画や個別相談ブースで、美里の情報および魅力を移住検討者に伝えた。



**●2年目以降へ新たな施作の準備**

町外の人に美里へ足を運んでもらうべく、「お試し移住」のような新たな施策を準備中。宮城県内で仙台駅に次ぐ2番目の沿線が通る「小牛田駅」に、少しでも多くの人が降り立ってもらえるよう、他の地域の事例も参考にしながらかたちにしている最中である。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）misatomachi.kyoryokutai@gmail.com

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://linktr.ee/misatomachi_kyoryokutai

# 宮城県美里町　武田　莉愛

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
23歳
【出身地】
宮城県大崎市
【転出元】
宮城県大崎市
【前　職】
大学生
【活動時期】
R4.4～

## 協力隊に応募したきっかけ

東日本大震災をきっかけに「地域づくり」に興味を持ち、大学では「まちづくり」を専攻し地域の課題を見つけその解決策を見出すという授業に取り組んでいました。大学で学んだことをそのまま生かせるような仕事がしたいと進路に迷っていたところ、授業で一度訪れたことのあった美里町で地域おこし協力隊の募集があると聞き、これはチャンスだと思い応募しました。出身地の大崎市とも近く、地域資源の一つに「薔薇」があることが最大の魅力だなと感じ、それが応募の決め手につながりました。

## 今後の抱負・任期後の目標

今後はバラ染めをした布を使って、ヘアアクセサリーを作ったり、薔薇のドライフラワースワッグなどといった商品開発を行っていきたいと考えている。また美里町の関係人口を増やすためにもインスタグラム『BEVI』のフォロワー1000人到達することが直近の目標である。協力隊卒業後について、現在は薔薇を使った起業を考えている。また地域の魅力発信やプロモーション活動として、インスタグラムなどSNSでの発信や、チラシ・ポスター制作も引き続き継続していきたいと考えている。

## 活動内容

**●インスタグラムで町の魅力発信**

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（インスタグラム）https://www.instagram.com/bevi_misatotown/
（各種SNSへのリンク集）https://linktr.ee/misatomachi_kyoryokutai

# 秋田県横手市　田谷　慶

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
44歳
【出身地】
千葉県　松戸市
【転出元】
千葉県　木更津市
【前　職】
羽田空港リムジンバス
旅客管理業務
【活動時期】
R3.11～

## 協力隊に応募したきっかけ

以前、私が結婚式を挙げた横手市の会場スタッフのホスピタリティは、ぬくもりがあり唯一無二の経験でした。
その後、秋田県への移住を考えていた中、「観光客目線で地域の課題を見つけ、豊かな地域資源を磨き活用することで、あらゆる産業に活力を与える。」といった横手市地域おこし協力隊のミッションに魅力を感じ、応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

横手市へ「行ってみたい」「住んでみたい」と私自身が感じたように、一人でも多くの方に横手市の魅力を知ってもらうだけでなく、訪れたお客様と地域住民の交流を促し、もっと横手市を好きになってもらえるよう、移住者ならではの役割を担っていきたいです。
観光資源を活用しながら地域の魅力を伝え、誘客へとつなげていきたいと思います。

## 活動内容

**●移住アドバイザー業務**

横手市に移住後、りんご農家や大型商業施設で働いている方々を取材し、どんな事が出来るのか、どのような暮らしをしているのかについて、移住を検討している方に向け記事にしました。
先輩移住者の声は、私にとっても非常に興味深い内容でした。

**●かまくら･ライド実行委員会**

サイクリングを趣味にしていることから、横手市の食・景色を満喫しながら横手市内全域を巡るサイクリングイベント「かまくら・ライド」実行委員会に参加しイベントの運営を行いました。
約300人のライダーに参加いただき喜んでもらえたことが、何より嬉しかったです。

**●地域づくり支援事業**

地域の方々にも自然環境についての理解を深めてもらう為、アウトドアをテーマにした講習会や複合イベントを企画しています。
農地や里山など、自然への興味を多くの人に促せるよう、キャンプ飯クッキング、キャンプギアの説明などが出来るよう準備を進めています。

## 連絡先

【連絡先】
一般社団法人　横手市観光推進機構
電話番号：0182-38-8652　ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ：tatani-dmo@bz04.plala.or.jp

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
・横手市観光推進機構Facebook

# 秋田県北秋田市　柳田　大志

観光・情報発信

## 基本情報

【年　齢】
36歳
【出身地】
宮城県仙台市
【転出元】
宮城県仙台市
【前　職】
営業（専門商社）
【活動時期】
R4.3.15～

## 協力隊に応募したきっかけ

コロナ渦で大ダメージを受けた、観光・宿泊・飲食業などの支援をしたいと考えるようになったから。

幼い頃から日本地理が好きで、時間的自由を得た大学生時日本一周を実行。全国各地の絶景やグルメ、人々との交流を図ってきた。社会人になっても『旅』が人生のテーマとなっており、休日は全国各地を回っていた。その中で得た知見や体験は現在の私を構成している根幹となっている。

私が楽しむのではなく次は私が今まで楽しんできた部分の支援をしたいと思い、協力隊への応募を決意した。

## 今後の抱負･任期後の目標

抱負：秋田県民に聞くと『秋田なんて何もない』と答える人もいるが、移住者が見る景色はこんな楽しいエリアは無い。その中でも北秋田市は認知度も低く、どんな素材があるかあまり知られていないと感じているため、自身が体験した事を発信する事で、北秋田市への交流人口増加に繋げていきたい。

目標：人口減少が続く秋田県内。労働人口の減少が著しい地域で黒字経営でも後継者不足で廃業してしまう事業者が多い。親族や従業員以外での会社を存続させる、第三者継業する事を目標に協力隊活動外で動いている。

## 活動内容

### ●森吉山頂に映える看板を

登山者が写真を撮ってみたい、それを見るために山に登りたい、と思ってもらえるような手で持てる看板を自作し、森吉山へもっと多くの方に来ていただける仕掛け作りを行う。

表面に『森吉山』、裏面は写真の通り。北秋田市側から見た森吉山の形に看板を加工し作成。8月末地元新聞紙・秋田魁新報にも掲載され集客に繋がった。

### ●秋田内陸線ｘ自転車旅

秋田県中央北部、鷹巣～角館間を繋ぐ全長94kmの秋田内陸縦貫鉄道沿線旅プランを秋田内陸線社員と計画中。途中駅で下車し電車内に積んだ自転車で沿線添いを観光する。電車や車では見逃してしまう所を、移動速度を落として沿線風景を感じ、空気感を感じ、楽しめる企画を考案中。

### ●地域交流

『北秋田市にワイナリーを』を掲げている、森吉山ファーム・あきた野ワイナリー様のブドウ収穫ボランティアの参加。春先からブドウの生育を追っており、今後ワイン作りなどのボランティアを実施していく予定。他にも市内キャンプ場とイベントを企画するなど、地域の方々との交流を積極的に行う。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）https://www.instagram.com/yanagi_outdoor

YANAGI_OUTDOOR

# 秋田県仙北市　佐藤　成真

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
２４歳
【出身地】
埼玉県　さいたま市
【転出元】
茨城県　古河市
【前　職】
フリーランス動画編集者
【活動時期】
Ｒ4.１０～Ｒ7.９
（１年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

どこか田舎に住みたい！フリーランスの動画編集者としてはインターネットさえあればどこでも活動できるので協力隊に応募せずにただ移住すればいいのですが、それだと結局一人で部屋にこもりパソコンとにらめっこすることに変わりはないと思い新しい働き方を模索していました。たまたま仙北市地域おこし協力隊の募集を見つけ、大学の先輩が就任していることを知り、応募要件に「ネイティブレベルの英語力」…これは自分のためにある！そう確信して応募しました。この選択は正しかったと思います。

## 今後の抱負・任期後の目標

まずは私に委託された業務である「インバウンドグリーンツーリズム事業の運営及び事務作業」の責務を全うすること。それに加え自由に個人的な活動をさせて頂いているので大好きな映像制作に時間をたっぷり使って将来的には起業して自分のスタジオを持ちたいと思っています。仙北市には「絵になる」風景がたくさんありますし、動画クリエイターたちはインターネットがあれば活動できるので、最終的には「クリエイター村」なるものを作って同じ仲間たちと仙北市から世界にコンテンツを発信しようと思います。

## 活動内容

### ●協議会の運営サポート

仙北市農山村体験推進協議会の運営サポートです。主な内容としては電話及びメールでの予約対応です。仙北市には自然を満喫できるアクティビティがたくさんあり、それを体験したい人とサービスを提供している人を繋げる大事なお仕事です。

### ●HP管理やSNSを含むPR活動

ホームページやインスタグラムを通じて仙北市の魅力を国内外に発信する業務です。これは私の前職につながるところもあり、自信をもって取り組めています。なにより映像制作が大好きなのでこの業務はやっていて楽しいです！

### ●クリエイター村（仮）建設（予定）

これは自主的に取り組もうと思っている私の任期後の生活に直結してくる活動です。いい感じの空き家をクリエイター用のスタジオにリフォームして活用しようと思っています。具体的な案は固まっていませんが、仙北市を「クリエイターが集まる市」にしたいと思っています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）co-de@city.semboku.akita.jp（交流デザイン課）
（職場）0187-43-2277（仙北市農山村体験推進協議会）
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】
仙北市地域おこし協力隊フェイスブック
https://www.facebook.com/sembokurashi/
仙北市農山村体験推進協議会公式インスタグラム
https://www.instagram.com/sembokugt/?hl=ja

# 秋田県仙北市　中山　里沙

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
４１歳
【出身地】
宮城県　大崎市
【転出元】
埼玉県　川口市
【前　職】
建設コンサルティング企業
【活動時期】
Ｒ２.９～Ｒ５.８
（３年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

４年前の個人旅行中、偶然訪れた田沢湖高原の山荘での管理人夫婦の温かなもてなし、秋田での暮らしや熊についての話、周辺で採れた天然食材を使った滋味豊かな食事、駒ヶ岳山麓のブナ林や田沢湖の豊かな青など、美しい自然と本質的な生活、素敵な人たちに深く胸を打たれ、旅行者では満足できなくなり移住を決意。職探し中に知人経由で協力隊制度を知り、都内での移住フェアやHPで情報収集の上で応募に至りました。

## 今後の抱負・任期後の目標

具体的に何を仕事とするかは決まっていませんが、住み続けたいという気持ちは固まっています。この2年で知り合った方や訪れた場所を通じて、秋田県だけでなく、元々好きだった岩手県にもますます惹かれ、北東北に対象を拡大して興味が尽きないところです。自分なりに感じている魅力を自分なりの形で発信していく仕事を作れたらいいなと思っています。

## 活動内容

**●観光庁補助金事業「田沢湖ミハラステラス」創出およびランドマーク化に基づくゲレンデパーク造成事業**

①申請主体：地域DMO（一社）田沢湖角館観光協会
②事業主体：たざわ湖スキー場

田沢湖と秋田の山々を見晴らすたざわ湖スキー場・「ぎんれいハウス」のリニューアルにより、絶景カフェ「田沢湖ミハラステラス」を創出。
話題性ある空間と新メニュー開発、および木工家具や伝統工芸品の導入によって地元事業者が連携した地域の新たなランドマークの創出を図ります。また、グリーンシーズンのゲレンデをフィールドとしたアクティビティ拠点・イベント会場としての活用により、地域活性化と観光振興を同時に叶える「場」として、地域の様々な課題解決を図り、サステナブルな観光地域づくりを目指します。

**●秋田県事業「新しい旅行スタイルに対応したコンテンツ商品化支援事業」（インバウンド向け）**

秋田県の観光コンテンツをイギリス旅行会社へ販売する事業。受託事業者の現地スタッフとしてサポート業務を請負う中で、仙北市以外の県内の観光資源に関する調査や事業者との交渉を補佐。秋田の魅力に対する外国人の視点を学び、コンテンツ造成に活かします。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）co-de@city.semboku.akita.jp（交流デザイン課）
（電話番号）0187-42-8280（(一社)田沢湖・角館観光協会
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】
仙北市地域おこし協力隊フェイスブック
https://www.facebook.com/sembokurashi/
がっこちゃっこラジオ（右記ＱＲコード）

# 秋田県仙北市　東風平　蒔人

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
２５歳
【出身地】
沖縄県　那覇市
【転出元】
秋田県　秋田市
【前　職】
大学生
【活動時期】
Ｒ１.９～Ｒ５.８
（４年目）
※コロナ禍の任期特例

## 協力隊に応募したきっかけ

大企業での就活に取り組む中で、大きな組織で働くことよりも、地方で自由度の高い環境でチャレンジしたいという気持ちが強く芽生え、地域おこし協力隊を志望しました。
仙北市は教育旅行の体験やインバウンド需要に応えられる観光素材が豊富に眠っていることにポテンシャルを感じ、自身の技量が最も活かせる場所であると感じ、選択しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

任期中の目標として、今拠点を置いている（一社）仙北市農山村体験推進協議会の発展にできる限り寄与することです。発展というのは規模としても、会社運営としても、資金力としても、周りへの影響力としてもよりよくなるよう努めいています。現在任期後の定住を見据えて農家民宿の事業承継を今年5月にスタートし、年度内にアクティビティガイドとしての事業も始動（法人化等）します。

## 活動内容

**●グリーンツーリズムの推進**

仙北市内に点在するグリーンツーリズムの宿（農山村体験ができる宿）の情報発信や事業のサポート（外国人対応・全国旅行支援の補助・Wifi設置の相談など）をしています。
行けば必ず美味しいお茶菓子でもてなしてくれるので横に体がでかくなり続けています。

**●人を楽しませるアクティビティガイド**

宿の裏方のサポートだけでなく、自身も前線に立ちお客さんを案内するガイドも率先してやっています。アウトドア関連の案内をすることもあれば、外国人旅行者の通訳として一緒に県内を周ったりすることも。時には教育旅行で訪れた子どもたちの相手もしますよ。

**●定住を見据えた農家民宿の事業承継**

厳密に言うと、こちらの事業承継は業務外（つまり副業）にあたるのですが、本業との親和性も高く、また定住に向けた足がかりとなっています。築135年以上の茅葺きの古民家宿の事業を引き継ぎ、遊びに溢れた宿としてお客様から評価を頂いています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）co-de@city.semboku.akita.jp（交流デザイン課）
（職場）0187-43-2277（仙北市農山村体験推進協議会）
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】
仙北市地域おこし協力隊フェイスブック
https://www.facebook.com/sembokurashi/
個人ブログ　https://note.com/shamburs_one
がっこちゃっこラジオ（右記ＱＲコード）

# 秋田県仙北市　鐘　偉倫（ショウ　イリン）

観光・情報発信

## 基本情報

【年　齢】
３６歳
【出身地】
台湾
【転出元】
東京都　江戸川区
【前　職】
旅行ガイド・企画
【活動時期】
Ｒ２.８～Ｒ５.７
（３年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

個人旅行の観光客は益々増えていますが、東北地方の情報は少ないと思っています。地域の魅力を発見し国内外に発信したり、またガイドの経験と母語を活かしたいと考え、応募いたしました。

## 今後の抱負・任期後の目標

地域の視点で考え、地域マネジメントに繋がって持続可能な旅行プラン作りを実現します。
また、冬の拠点としているたざわ湖スキー場の訪日外国人等に対する知名度が十分ではないため、スキーとスノーボード等のウインタースポーツに興味がある訪日外国人への情報発信を図りたいです。

## 活動内容

**●自然と伝統行事を取材、海外に発信**

素晴らしい自然と伝統文化（祭り等）を有する仙北市、惜しいのは情報が少ない点です。現在Youtubeと Instagram２つを使って発信しています。Instagramは週4回、Youtubeは撮影から動画編集まで時間がかかるため、月1つもしくは2つの動画を投稿してます。

**●スノーボード、スキーインストラクター**

ウインターシーズンはたざわ湖スキー場でインストラクターやパトロールの業務を中心として活動しています。写真は、母語を活かして、海外の方にスノーボードを教えている様子です。

**●たざわ湖スキー場各大会のサポート**

ウインターシーズン、たざわ湖スキー場は様々な大会を開催します。昨年は、全日本マスターズスキー選手権秋田たざわ湖大会が開催され、大会コース整備及び大会終了に伴う撤収作業などをサポートしました。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）co-de@city.semboku.akita.jp（交流デザイン課）
（電話番号）0187-43-3301（交流デザイン課 ）
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】
仙北市地域おこし協力隊フェイスブック
https://www.facebook.com/sembokurashi/
Youtubeチャンネル（左側ＱＲコード）
がっこちゃっこラジオ（右側ＱＲコード）

# 山形県中山町　高橋　圭哉

観光・情報発信

## 基本情報

【年　齢】
32歳
【出身地】
宮城県岩沼市
【転出元】
宮城県仙台市
【前　職】
WEBデザイナー
(WEB制作・コーダー)
【活動時期】
R4.4～

## 協力隊に応募したきっかけ

山形県中山町出身の妻から協力隊募集の話を聞き、募集要項を確認したところ、これまでの仕事で行ってきた、ドコモショップやWEBデザイナーとして培ったことが役立つのではないかと思い応募しました。

## 今後の抱負･任期後の目標

まずは町民に私の事を知ってもらい、情報発信を通して、町内で活動されている様々な団体や企業・個人と繋がる事が目標です。また、WEB制作の仕事を平行して行いながら、任期後につなげていきたいです。

任期後の目標は、まず生活基盤を整える為、個人でのWEB制作の仕事を継続的に受注できるようになる事です。
その上で、町内外から必要とされるようなサービス(内容未定)を展開したいです。

## 活動内容

**●Instagramを使用した情報発信**

中山町で開催されたイベントや日常的な風景を投稿しています。町内の方でコメントやDMをくださる方もおり、その返信などもしています。

**●スマホ教室**

月に2回(09:00～16:00)誰でも参加可能なスマホ教室を実施しています。開催内容は主にスマホの基本操作です。ドコモショップと連携して行っています。基本操作以外は、防災時の使用方法やキャッシュレス、マイナンバーについてなどの話もします。

**●WEBサイト制作**

現在制作中ですが、総合情報サイトを制作しています。どんな町でなにがあるのかが１サイトで完結するようにしたいと思っています。また、移住定住に特化したサイトをその後、制作したいと思っています。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Instagram　https://www.instagram.com/nakayamabiyori/

# 山形県中山町　伊藤　一之

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
34歳
【出身地】
山形県山形市
【転出元】
神奈川県茅ケ崎市
【前　職】
中学校事務員
【活動時期】
R２.２～R５.２
（３年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

・栃木県で地域ボランティア(草刈、江戸時代から続く祭りの運営)や地域企画提案事業が行っていた時期に、関わっていた事業が「栃木県知事賞」を受賞した。県知事賞の受賞をきっかけに、地域振興を本格的な仕事にしたいと決意、地元である山形県にUターン決める。
・様々な地域を訪れ、行政担当者に話を伺ったが、一番情熱を感じた中山町の協力隊となり、移住することを決める。

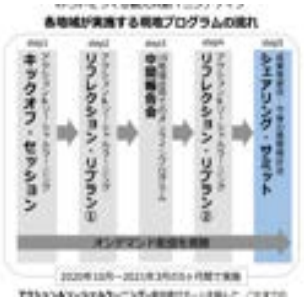
## 今後の抱負・任期後の目標

・今後の目標は、現在、休日を利用して運営している「民泊柏倉清右衛門　みんぱくかしわくらせいえもん」を事業として軌道に乗せることで、地域の宿泊施設としての役割を担い、関係人口創出の拠点となれるよう努めること。
・もう一つは、現在テストマーケティングや販売を行っている中山町の物産商品「北前いも煮」を事業として軌道に乗せることで、商品を通して町のPRにつなげたり、地域にお金がおちる仕組みなどにもつなげていきたいと考えている。

## 活動内容

### ●観光庁「みらいをつくる観光共創イニシアティブ」実施

・協力隊1年目で、観光庁の人材育成事業の現地プログラムの事務局を行い、観光商品(体験型商品、物産商品など)に必要となる地域関係者との関係の質向上に努めた。
・中山町の近隣市町村との協力体制をつくり、winwinになる関係性づくり、企画提案を行った。




### ●YouTubeコミュニティラジオ開局

・観光庁事業に参加した各団体の役員、別組織の人々で、より一層、横のつながり(組織同士の関係性)を強くし、地域振興につなげるために、YouTubeコミュニティラジオ「みらくるラジオなかやま」を開局した。約１年半の活動で、様々な団体のつながりを強くするとともに、町の情報発信コンテンツにもつなげた

### ●活動内容タイトル３

・中山町でしか体験できない旅行商品造成(紅花染め、タフティング体験など)や民泊業開業を行い、休日を利用してお客様受入も行った。
・芋煮会発祥の地中山町の物産品開発として「江戸時代の芋煮商品化」を実施した。レシピ開発、試作、試食会、テストマーケティング、販売を実施した。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Facebook）https://ja-jp.facebook.com/ito.kazuyuki.73
(YouTubeコミュニティラジオ)
https://www.youtube.com/channel/UCVUjMsrDSp6p7KvjX6KyHAg

# 山形県朝日町　田岡　知暁

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
38歳
【出身地】
愛知県名古屋市
【転出元】
神奈川県川崎市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R３.５～R６.４
（２年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

コロナ禍で前職の仕事を続けることが難しくなってしまったタイミングで、憧れだった田舎暮らしをしたいと思い立ち、朝日町ですでに活動されている方を知人から紹介してもらい話を聞きました。募集中のタイミングで実際に町を訪れ、豊かな自然や紡がれている歴史に感動し、また同世代で活躍している方がたくさんいることに刺激されました。想像よりも暮らしやすそうだったこともあり、応募することに決めました。

## 今後の抱負・任期後の目標

関係人口創出を見据えた情報発信のミッションをしていく中で、町にとってどういう形の関係人口を創出することが重要なのかを捉えることが大切だと気付きました。他の地域とも協力しながら朝日町が元気になることで、町外・県外にも活力を与えられるような仕事を、任期後も町に定住しながらしていきたいと考えています。

## 活動内容

**●Youtubeチャンネルを開設**

就任してすぐに自身のYoutubeチャンネルを立ち上げました。朝日町のイベントなどを中心に「移住者の自分がいちばん楽しむ」コンテンツを発信しています。町の未来に希望を持って活動している町民と共に動画をつくることで、それが町民のモチベーションに直結することが分かりました。

**●マイナーな町の特産にも新たな光を**

りんごとワイン以外にもたくさんの特産があります。そのひとつで朝日町が全国トップの収穫量を誇るあけびに注目し、米沢の醸造所とのコラボで新しいクラフトビールをつくりました。生産者応援を掲げ、6次化の前例がない特産にも道があるということを示すことができました。

**●小学生も希望活動人口に**

小学校の5・6年生の総合の授業に参加しています。児童自ら町の魅力を発見し、様々な形で町民に発信するというチャレンジ。子どもの頃に町の魅力を自分で探して発信することで郷土愛が増し、町に希望を持ちつつ社会に出ていってほしいです。

## 連絡先

（ゲストハウス松本亭一農舎 (0237)84-0880）
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】
YouTubeチャンネル「パオクン@山形」
https://www.youtube.com/channel/UC05xn7FDaiCgVf9NUJ4r3pA
Instagram https://www.instagram.com/paokunn/
Twitter https://twitter.com/paokunn

# 山形県朝日町　林　以真

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
３４歳
【出身地】
台湾 台中市
【転出元】
埼玉県 鴻巣市
【前　職】
旅行会社係員
【活動時期】
Ｒ２.２～Ｒ６.１
（３年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

ちょうど旅で朝日町に来て、翌年ワーキングホリデービザで日本の田舎で働きたいことと旅行会社で勤めていることを町民に話して、それからその町民の紹介で地域おこし協力隊に応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

日本も台湾も高齢化の問題があって、特に田舎方面で若者達が仕事のため都会に移住しますから、町の存続問題になっております。それで今まで旅行会社で働いた経験を活かして観光経由で田舎で新タイプの仕事を作って、若者を地方に呼び返して欲しい。国際交流とビジネスのうちにも地方文化存続の維持をしたいことが私の抱負です。

## 活動内容

**●町の魅力を発信**

台湾人向けのSNSで観光スポットやイベントの情報などを配信しています。町の日常、農作業、風土文化などを実際に体験し、台湾人目線で町に興味を持ってもらえるよう紹介しています。

**●ブロガーとの交流**

台湾の旅行ブロガーに町の魅力を紹介しています。ブロガーやファンとオンラインで交流し、関心のあることなどを聞いてツアーコースを提案しています。

**●観光案内**

町に訪れる台湾人観光客の案内や通訳をしています。町民と観光客が交流し、会話や体験を通して思い出を作ってもらい、また来たいと思うような案内を心がけています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（電話番号）0237-83-7111（職場）
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】
http://marutravel1989.blogspot.com/

# 山形県大石田町　末石　靖知

観光・情報発信

## 基本情報

【年　齢】
41歳
【出身地】
福井県　敦賀市
【転出元】
兵庫県　西宮市
【前　職】
中国語・英語通訳案内士
【活動時期】
R3.4～

## 協力隊に応募したきっかけ

これまで観光業に従事してきており、観光での町おこしには興味がありました。コロナ禍で本業が頓挫し、別の仕事を探していた際に大石田町の地域おこし協力隊の募集を見つけ、その活動に魅力を感じました。

## 今後の抱負・任期後の目標

大石田の魅力を発信していき、外国人観光客に対し知名度を上げる活動を行なっていきたいと思います。また町民に対しても外国人観光客に抵抗感がないようコミュニケーションツールなどの整備を行なっていく予定です。

## 活動内容

**●現在の活動について**

外国人観光客に大石田の魅力を知ってもらい、気持ちよく観光してもらうことで、いい思い出を持ち帰ってもらえるよう外国人フレンドリーの街を目指して活動しています。まだ手探り状態ですが、限られた時間でできることをやっていきたいです。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
〈Tel〉
0237-35-2111(内線145／大石田町役場産業振興課)
〈SNS〉
http://pottering2021.livedoor.blog/　(blog )
https://www.instagram.com/oishida.ginzan/　(Instagram)
https://www.facebook.com/ooishida.machiokoshi2021　(FB)

# 山形県金山町　本間　真生

観光・情報発信

## 基本情報

【年　齢】
23歳
【出身地】
新潟県新潟市
【転出元】
山形県山形市
【前　職】
学生(東北芸術工科大学)
【活動時期】
R3.4～ R6.3
2年目

## 協力隊に応募したきっかけ

大学でまちづくりを学び、町のことを大好きになりました。大学の教授の紹介があり、山や川などの自然が豊かだったことも含め金山町の移住を決めました。

## 今後の抱負･任期後の目標

2年目は、地域の文化を理解しつつ、自立した時の収入源にもなりそうな事業にチャレンジしています。昨年は一人でできることが多かったのですが、今年度は地域の人や仲間を募り一緒にやるプロジェクトも増えてきました。
今後の目標は居場所づくりと地域が助かる仕組みをつくっていくことです。そのために地域の人の声を聞き、地域外の事例や意見も収集して、怖がらず声と行動に移していきたいです。

## 活動内容

**●活動内容　地域の魅力発信『やんばい』**

地域魅力発信を目的に毎月ポストカードを作成し全戸配布、最上郡内のお店に配布しています。私は町の皆さんに毎月手紙を書くように出し、町の人は娘さんやお友達にメッセージを書くのに使ってもらいます。いろんな人に金山の魅力を伝えたいです。

**●活動内容　暮らし旅**

観光よりも金山の人の暮らしに近い体験活動を行っています。漬物作りや箸作り、農家さんの手伝いなど。観光として町を見るのではなく、金山の人が普段やっていることにお邪魔することで、「また〇〇さんに会いに行きます！」など金山との関係が深くなりました。

**●活動内容 金山展示**

金山町に住んでいる若者と県外の大学生と企画した合同展示KIKKAKE。金山にある素材で映像、写真、家具、イラスト、小物を作りました。町内外の若者の交流と、楽しみつつ金山を盛り上げようという気持ちが高まり金山愛が深まりました。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram） https://www.instagram.com/kaneyama_no_zikan/?hl=ja
（Facebook） https://www.facebook.com/Kaneyamaokoshi

# 山形県最上町　張　申豪

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
28歳
【出身地】
台湾　宜蘭県
【転出元】
台湾　宜蘭県
【前　職】
会社員
【活動時期】
R3.4～ R6.3
(2年目)

## 協力隊に応募したきっかけ

2018年に教育交流の視察で、台湾側の小学校の先生と一緒に初めて最上町を訪れました。その後も、小学校の交流活動へ協力をし続ける以外にも、最上町で夏季と冬季の文化体験交流のイベントを開催しました。たくさん打ち合わせを行う中で、国際交流に興味を持ち、地域おこし協力隊に着任して、台湾との国際交流をしたいと思いました。

## 今後の抱負･任期後の目標

台湾と最上町の小学校との国際交流を継続して行っていきたいです。

## 活動内容

**●コロナ禍でのオンライン交流　国際交流の集い**

台湾宜蘭県日本友好交流協会と最上町を繋ぐオンライントークショーを開催しました。宜蘭県の紹介や宜蘭県日本友好交流協会の紹介のほか、最上町での思い出やこれから目指すべき交流の方向などをオンライントークの中で話し、交流しました。

**●最上町ガイドブック（日本語版/繁体中国語版）**
**最上町の魅力20選の作成**

長引くコロナ禍により、台湾・宜蘭県との直接的な相互交流がままならない状況のなか、今後における“ウイズコロナ”を見据えた取り組みとして、観光や文化、物産面等の積極的なインバウンドの展開にむけた情報コンテンツの充実・発信が極めて重要であると認識します。現状の課題に対応するため、最上町内の自然や食文化、物産、歴史、生活文化等の魅力あるインバウンド資源を、外国人(台湾の人々)目線で紹介するガイドブックとして、情報誌の制作・発行しました。

**●令和3年度　新庄･最上ジモト大学プログラム**
**日台地元PRプロジェクト ~MOGAMIから你好~の開催**

高校生が地元のPR動画を作り、台湾の日本語学校の生徒に新庄最上を紹介しました。オンライン でお互いに地元の魅力や文化をPRし、台湾文化を学びつつ、楽しみながら交流が行われました。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://www.facebook.com/mogamimachi.chiikiokoshi

# 山形県飯豊町　加藤　絵美

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
39歳
【出身地】
埼玉県さいたま市
【転出元】
神奈川県横浜市
【前　職】
美術館学芸員
【活動時期】
R2.09～

## 協力隊に応募したきっかけ

夫が飯豊町に移住したことをきっかけに職探しを始めました。私は、もともと登山をはじめとしたアウトドア活動に親しんでいました。そして前職でイベントの企画や運営等をしていた経験を活かし、アウトドア活動を盛り上げることを通じて、地域の活性化をお手伝いできればと考え、地域おこし協力隊に応募させていただきました。

## 今後の抱負・任期後の目標

今後はアウトドア体験を、飯豊町の素晴らしい自然環境や文化体験や美味しい食事などと結び付けて紹介することに尽力したいと思っています。そして任期後は、アウトドア体験＋αを行うガイドとして活動できればと、現段階では考えています。

## 活動内容

**●カヌー・SUP体験の充実**

飯豊町南部にある白川湖では、近年カヌーやSUPといったパドルスポーツが人気です。特に4-5月に見られる「水没林」を活かした観光を促進すべく、カヌー・SUPの事業体を対象に講師を呼び、コンテンツ充実のための支援を行いました。

**●スノーシュー体験の充実**

日本有数の豪雪地帯である飯豊町において、雪を活かしたアウトドアアクティビティの充実を図るべく、スノーシューハイキングの提案などを行いました。

**●地域の登山活動のお手伝い**

地域の方々が盛り上げていこうとしている登山プログラムを地域の観光会社から販売するお手伝いや、コンテンツを充実させるために講師を招聘して登山講習会を開催しました。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）katou999@town.iide.yamagata.jp
（電話番号）0238-87-0523（職場・その他）
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】
Instagram @iide_yamagata_chiikiokoshi

# 福島県猪苗代町　小林　澄子

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
48歳
【出身地】
岐阜県大垣市
【転出元】
東京都世田谷区
【前　職】
外資系化学会社 広報部
【活動時期】
R2.6～ R5.5
（3年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

猪苗代町中ノ沢温泉街で生まれた「中ノ沢こけし」を作りたいと一念発起し、町内に住む中ノ沢こけしの工人さんのもとに弟子入りしました。最初は東京から通いで修業をはじめ、転職活動中に「地域おこし協力隊」という仕事を見つけました。
前職との給与のギャップには大いに悩んだものの、地元の工芸品を作るということは、地域を知る事、つながる事だと思い、また、町のアピールもでき、前職の経験を活かせる仕事だったので、協力隊の仕事に応募することを決めました。

## 今後の抱負・任期後の目標

今年は協力隊としての活動はラストイヤーです。
協力隊制度の卒隊後の自立・就業支援や、給与面に関する課題を感じています。OGとして次に続く協力隊のみなさんとつながり続け、サポートや一緒に活動できればと思っています。
任務終了後もしばらくは修行が続きますが、工人としてデビューした際には、地域だけでなく、外に飛びだし、広く活動したいと思っています。「かわいい」だけのこけしではなく、こけしを作る職人の思いや技術、木地玩具の「癒し」なども伝えていきたいです。

## 活動内容

### ●SNSを活用した町の観光情報の発信

当初400フォロワーに満たなかった町のインスタグラム（@buena_vista_inawashiro）の運用を担当。ビジネスアカウントに切り替えてハッシュタグや投稿の分析をしながら、町の観光地、施設情報やイベント、投稿のリポストなど、施設と協力しながら投稿数を増やし、フォロワー数1000以上に伸ばしています。

### ●中ノ沢こけしを活用した地域の観光振興

地域の有志と「中ノ沢こけしプリジェクト実行委員会」を立ち上げ、中ノ沢こけしの文化・観光振興を軸とする活動を行っています。2021年、22年と「中ノ沢こけし祭り」を開催し、2年で延べ1300名を超える来場者を迎えました。今年は温泉街に100名以上の宿泊者を迎え、地域活性化に寄与しました。この活動により、町や近隣町村・県にも中ノ沢こけしの存在を大きくアピールしました。

### ●サイクリストに優しい宿・サイクルスポットの整備と情報発信

昨今のサイクルツーリズムの取り組みによりサイクリストが地域に増えたことを受け、受け皿となる「サイクリストに優しい宿」の整備をしています。この取り組みは、宿や地域への集客を促す手段の一つとして取り組んでおり、民間が運営するサイト「TABIRIN」への無料登録や県、市の取り組みに便乗しながら、町内、隣町村のサイクリスト受け入れに興味のある施設を回り、整備とサイト登録を促し、集客の一助になるよう活動しています。現在サイクルスポットも含め、16件が新たに登録されています。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
左から：町のインスタ、中ノ沢こけしプリジェクト実行委員会インスタ、個人の修行の活動を紹介するインスタ

BUENA_VISTA_INAWASHIRO　NAKANOSAWA_KOKESHI　KOKESHI_CULTURE

# 福島県西郷村　北浦　鑑久

観光・情報発信

## 基本情報

【年　齢】
48歳
【出身地】
大阪府　堺市
【転出元】
大阪府　堺市
【前　職】
地域おこし協力隊
【活動時期】
R2.4～

## 協力隊に応募したきっかけ

東北は地ビール・クラフトビールや食べ物が美味しく、綺麗な空気や風土が良いこと、震災からの復興に協力したいという思いから地域おこし協力隊に応募した。
西郷村の協力隊として応募したのは、主任務となっている「フットパス」の経験者であるため。

## 今後の抱負・任期後の目標

フットパスの普及と地域の活性の為に活動する。
任期後については不明。

## 活動内容

**●フットパス事業の推進**

フットパス事業を推進する全般的な用務。コース整備や企画、イベント企画、フットパスについての講師等のオブザーバー的用務。
実際に動く実働スタッフとしての用務も行う。
フットパスはイギリス発祥のウォークで、地域を楽しみながら歩ける道とその道を歩くことである。地域活性としては観光に留まらず、地域教育、スモールビジネス、ツーリズム、美化等の多様性に特徴がある。

**●フットパス事業　マップ作成**

フットパス事業の１つであるが、特に作成されたコースを印刷製本するためにデータをまとめる活動。

**●地域活動団体への協力**

フットパス事業に関連して、地域活動を行う団体による事業への協力。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（facebook）https://www.facebook.com/bigurou/

# 茨城県鹿嶋市　大澤　智枝

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
46歳
【出身地】
東京都清瀬市
【転出元】
東京都品川区
【前　職】
旅行会社添乗員
空港職員
インバウンド系PR
【活動時期】
R3.4～R6.3

## 協力隊に応募したきっかけ

【地方での生活へのあこがれ】
お城巡りが好きで全国を旅行するうちに、騒々しい都会で暮らすより、地方でのんびり暮らしたいと考えるようになりました。また、いつかサーフィンをしたいと思っていたので、住むなら海のそばが候補でした。
【仕事内容の魅力】
「観光・情報発信」という鹿嶋市のミッションが、長年観光系の仕事に従事した自分の得意分野を活かせると考えたからです。

## 今後の抱負･任期後の目標

R5.4に茨城県鹿行地域の協力隊と一緒に、鹿行地域にある資源や人材を活用しながら、広域連携・相互扶助による地域発展を目指してNPO法人を立ち上げました。任期後はNPO法人での活動を通じて地域貢献していきたいと考えています。

## 活動内容

**●観光PR**

①SNSによる情報の発信
　Facebook、Instagram、Twitter
②観光情報サイトへの執筆
　観光情報サイト「鹿行ナビ」への執筆
③メディアへの出演
　テレビ・ラジオ等に出演し、鹿嶋市をPR

**●イベント対応**

市内で行われるイベントにいらっしゃる観光客へのおもてなし
①お出迎え
②観光案内
③着ぐるみ対応

**●サイクルツーリズムへの取り組み**

①サイクリングマップの作成
　サイクリストや観光客向けに、鹿嶋市と周辺地域の観光情報付きサイクリングマップを作成
②サイクルサポートステーションの導入
　サイクリストに優しいまちを目指して、市内の飲食店・施設に協力を依頼

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）kyouryokutai.kashima@gmail.com
（電話番号）0299-82-2911
（職場：鹿嶋市役所 商工観光課）

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Instagram：instagram.com/kashima_okoshi1

# 茨城県稲敷市　伊藤　歩

観光・情報発信

## 基本情報

【年　齢】
35歳
【出身地】
長野県飯田市
【転出元】
東京都豊島区
【前　職】
TVディレクター
専業主夫
【活動時期】
R.2.4.1～ R７.3.31

## 協力隊に応募したきっかけ

１、大学で建築・まちづくりを専攻
２、同時に自転車ツーリングサークルにも所属
３、テレビ制作で地域の魅力を紹介する番組を制作
（東北エリア）

以上３つや今までの経験がすべて生かせる仕事だったこと、また家族ができて働き方などを考え直している時期だったので模索できる時間になると考えました。

## 今後の抱負・任期後の目標

コロナ直後での着任で、活動をスタートして３年目になりました。制限がかかる中でもできることを模索し、活動を続けてきました。まだ稲敷市のサイクルツーリズムは始まったばかりで少しずつ意識改革が進んできたところ。今後も地域内のプレイヤーとして活動を続けていきます。また市内だけに拘らず霞ヶ浦エリア、茨城県南エリアで取り組みの幅を広げていけるよう旅行会社などとの連携を進めています（https://rallhour.com/）。いただいた縁を大切に地域に自転車で何ができるのか、取り組んでいきます。

## 活動内容

**●稲敷市自転車PR事業「イナシキライド」の開発**

稲敷市の自転車事業を共通のイメージにするために「イナシキライド」というタイトルでブランディングを行いました。ツアー、レンタサイクル、サイクルサポートステーション、MAPなどのグッズ展開に関わり、PR動画制作も監修しました。

**●自転車ツアーの開発**

市内の地域資源を楽しむための手段として「自転車」を活用しようと少人数のガイドサイクリング事業を開発・実施しました（2021→10回）
特に、自然環境を生かしたもの→自転車×農業体験、カヤック、釣り、キャンプなどに取り組んでいます。

**●自転車イベントの実施**

茨城放送（Lucky FM)と共催で「いばチャリin稲敷」を開催（2022.5)。総勢100名が走るイベントのコース造成、立寄先の設計、提供品の調整などを提案、また20名程度いるサポートライダーとの試走会の開催などを指揮しました。

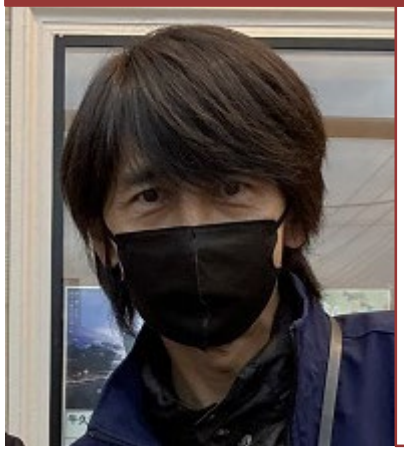
## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://i10aym.wixsite.com/musan
https://www.city.inashiki.lg.jp/page/dir009107.html

# 茨城県稲敷市　南口　一朗

**観光・情報発信**

## 基本情報



【年　齢】
55歳
【出身地】
東京都立川市
【転出元】
神奈川県鎌倉市
【前　職】
自営業（模型製造販売）
【活動時期】
R4.4.1～ R7.3.31

## 協力隊に応募したきっかけ

将来茨城県に移住する為につくば市付近の市町村を調べていた際、稲敷市の地域おこし協力隊の活動を知りました稲敷市の緑豊かな田園風景や貴重な歴史的建物も現存しているのに感動致しました町の風景が美しく素敵な町という印象や地域おこし協力隊がパワフルに活動されているのをSNSなどで拝見させていただき地域を盛り上げて良い町をつくり守る思いにとても共感いたしました稲敷市の活性化につなげるやりがいのある取り組みに私も参加させていただく思いました。

## 今後の抱負・任期後の目標

いなしきフィルムコミッションのようなサービスを行いたいと考えております 稲敷市のPRを強化しインターネットや動画サイトで映像を活用し稲敷市を知ってもらい観光や稲敷市で暮らしてみたいと思う方を増やせたらと思います
退任後いままでこの町になかった事業をおこせたらと思っています
また、JRAトレセンが近くあり稲敷市にも馬の育成牧場が多数ございますので誰もが気軽にる馬とふれ合える場所をつくりたい夢もあります。

## 活動内容

**●稲敷市内外ＰＲ活動**

稲敷市内外イベントに参加させていただいております マスコットキャラクター（稲敷いなのすけ）と一緒に地域特産品や印刷物を配布しながら稲敷市のＰＲ。
（写真/ご当地キャラ成田詣）

**●稲敷市の観光資源**

稲敷市内の有形、無形文化財ＳＮＳなどを活用しながら情報発信させていただいております。
（写真/江戸崎祇園祭2022＆江戸崎囃子連の皆さま）

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Facebook）https://www.facebook.com/inashiki07/
（instagram）https://www.instagram.com/inashiki_07/
（Twitter）https://twitter.com/Inashiki_07

# 茨城県行方市　田沼　絢子

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
３７歳
【出身地】
千葉県我孫子市
【転出元】
東京都目黒区
【前　職】
エリア放送業務
【活動時期】
Ｒ２．７～ R7.６
（２年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

コロナの影響でそれまで続けてきた仕事がストップしたり、オンラインのみでのやり取りに変化する中で、コミュニケーションを取りづらいことも多々あり、悩んでいた時に行方市の募集を目にしました。近年、SNSなどの発達によりコミュニケーションが多岐にわたる中、私自身はオンラインやSNS上でのコミュニケーションだけでなく、実際に人に会ってのコミュニケーションを大切にしたいと思い、行方市の地域おこし協力隊では可能と考え応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

コロナで活動の制限はありますが、積極的に地域に馴染めるように、活動を行っていきたいと考えております。任期後は起業をしたいと考えています。

## 活動内容

**●なめテレ（なめがたエリア放送）の普及活動**

・電波測定車による電波エリア調査を実施し、視聴エリアの拡大を図る。また、番組撮影や編集作業に従事するとともに、市内の各お宅を訪問しアンテナや機器を設定するなど視聴啓蒙活動を行う。

**●〇鹿行地域おこし協力隊との連携**

・2022年より、鹿行地域の地域おこし協力隊と連携し、交流人口拡大や地域振興を図るため、サイクリングで地域を巡り、観光スポットの紹介やサップ体験を取り入れたイベントを計画する。

**●〇広域(鹿行地域おこし協力隊)とNPO法人設立**

・2023年4月に鹿行地域の地域おこし協力隊とNPO法人鹿行地域おこしLab.を設立。鹿行地域をPRするイベントの開催(IbarakiSense@銀座)や地元潮来市で開催されたあやめ祭り他、今後も継続して鹿行地域の魅力を積極的にPRする計画。また、地域コーディネーターや関係人口創出事業に着手していく計画です。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）seisaku02@city.namegata.lg.jp
（電話番号）0299-72-0811

# 茨城県美浦村　桂　典久

観光・情報発信

## 基本情報

【年　齢】
５０歳
【出身地】
兵庫県宝塚市
【転出元】
兵庫県宝塚市
【前　職】
調理師
【活動時期】
Ｒ４.６～

## 協力隊に応募したきっかけ

今回のこのコロナで失職をして、実家へ戻りましたが心の中でどうしても茨城県で頑張りたいと思っていたところに第１期生の村川さんの活動に出会いお手伝いをすることにより感銘を受け、前職の経験を活かし自分も美浦村の良さを伝えたいと思い応募しました。

## 今後の抱負･任期後の目標

今後も美浦村の旬の野菜、湖産物を使い、魅力ある料理を作って提供していきます。今後のコロナの状況にもよりますが、目標としていた美浦村に特化した居酒屋を村内で開店させたい。

## 活動内容

**●美浦村週末カフェでかつらめしの提供**

美浦村でとれた旬の野菜をメインとしたカフェ内での食事の提供。
ふれあい市場や旬の美浦村の特産物をお客様に宣伝している。

**●霞ヶ浦の漁への参加**

自分が漁に出ることによって、霞ヶ浦の日々の様子や湖産物の状況について知り、カフェのお客様に説得力をもって霞ヶ浦の魅力を伝えることができる。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
ツイッター　インスタは　検索：かつらめし

# 茨城県美浦村　村川　勇介

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
４６歳
【出身地】
東京都
【転出元】
東京都江東区
【前　職】
会社員
【活動時期】
Ｒ３.６～

## 協力隊に応募したきっかけ

２０年以上、霞ヶ浦に釣りをするために通っており美浦村にある大山スロープを利用していました。その間に水辺の環境美化に関わる清掃活動なども行ってきました。
美浦村の環境が好きで、美浦村に恩返しがしたく美浦村の活性化に繋がる仕事をしたいと考え、協力隊に応募をしました。

## 今後の抱負･任期後の目標

着任後、すぐにコロナの影響で美浦村週末カフェの営業自粛期間があり思ったような活動ができておらず、条件が満たされるなら２年延長の特例を認めて頂きたいと考えています。
現在、美浦村週末カフェは週末だけの営業ながら月間約１０００名のお客さまが訪れている人気のスポットとなっております。この人気のスポットを任期後になくしてしまうのはもったいないので何かしら美浦村と繋がりをもちながら発展していきたいと思っております。

## 活動内容

**●美浦村週末カフェの運営**

美浦村内の鹿島海軍跡地に、サイクリスト、釣り人地域住民が訪れることができる美浦村週末カフェを運営。週末には多くのお客様で賑わう。

**●SNSによる情報発信**

美浦村週末カフェアカウントによる定期的な情報は心を行っている。
ツイッターフォロワー：１７００名
インスタフォロワー：１２００名
コロナでカフェがクローズの際には、美浦村の観光資源を定期的に発信した

**●ふるさと納税の返礼品として**

美浦村へのふるさと納税の返礼品として、私が行うフィッシングガイドチケットを提供した。約１０件の申込みがあった。
２０２３年に向けて、さらなる返礼品の強化を行う。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://mihoweekendcafe.com/
インスタ、ツイッターは、検索：美浦村週末カフェ

# 茨城県美浦村　村川　栄子

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
46歳
【出身地】
沖縄県
【転出元】
東京都江東区
【前　職】
パートタイム
【活動時期】
R3.6～

## 協力隊に応募したきっかけ

主人と一緒に釣りをするために長年霞ヶ浦に通っており、美浦村の自然の豊かさに触れてきました。主人からの勧めもあり、今回応募致しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

協力隊として美浦村週末カフェのSNS更新や店舗に貼るメニューなどの作成、経理作業を中心に行っています。
今後は、主人と相談しながら、美浦村週末カフェをどう発展させていくのか検討したいです。

## 活動内容

**●美浦村週末カフェのSNS運用**

美浦村週末カフェアカウントによる定期的な情報発信を行っている。
ツイッターフォロワー：１７００名
インスタフォロワー：１２００名
コロナでカフェがクローズの際には、美浦村の観光資源を定期的に発信した

**●ホームページの作成やステッカーデザイン**

美浦村週末カフェのホームページデザインを業者と行い、更新を行っている。
また、過去のデザイン関係の仕事を活かして来場者にプレゼントするステッカーや店舗に貼るメニューのデザインを行っています

**●美浦村週末カフェ内での活動**

営業日には店舗内（キッチンカー内）にて、ドリンクやスイーツを提供しています。
また、店舗の在庫管理や経理出納を行っています。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://mihoweekendcafe.com/
インスタ、ツイッターは、検索：美浦村週末カフェ

# 茨城県八千代町　草柳　安子

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
49歳
【出身地】
千葉県千葉市
【転出元】
東京都練馬区
【前　職】
NPO法人の事務局
【活動時期】
R４.８～R７.７
（１年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

海山都会の三拠点で、リモートで仕事、日帰り温泉やご当地グルメなど楽しむ、旅人でありワーケーションのようなライフスタイルを10年以上してきました。コロナ前の3年間、新潟・長野・愛知・岐阜など信越中部地域で、古民家を活用したサテライトオフィスやゲストハウス、コワーキングスペース、移住体験住宅、空き家バンクの視察、各地の地域おこし協力隊員のイベントに参加し、自治体さん、地域の皆さんから様々な学びを頂戴しました。この経験を活かし地域を行き交う人の流れを創りたく応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

地域を行き交う人の流れを創り、時間や距離をいとわず、会いたくなる人やもの、場所、ことがある「地域の資質＝宝」を活用し、交流し合う「つながり」を地域を超えて創出します。そのために、やちよまち仮想鉄道プロジェクトを企画し、近隣自治体や、千葉県八千代市など、やちよまち仮想鉄道の駅を延線していきます。空いている空間、空き家空き地空き店舗など空きスペースを活用し、資源活用と未来への継承を目指します。

## 活動内容

**●八千代町ワーケーション**

八千代町のグリーンビレッジ憩遊館やちよ乃湯の施設に集合し、温泉とランチ、ディナーをご一緒し、ワークショップ（和紙でありがとうのカードまたはほぐし織の傘の端布を活用した創作アート）とワーク（仕事や副業、起業、新規プロジェクトについて言語化したり思考の整理化をする）をご一緒する

**●おふろワーク**

県西地域のイベントに合わせて、観光を楽しみ、八千代町で食事をして地域の温泉に入る。地域を超えて観光する日帰りツーリズム。

**●ゴミゼロモーニング**

桜川市の真壁地区の神社掃除とお茶会参加し、ランチと入浴とワークショップを八千代グリーンビレッジ憩遊館やちよ乃湯で体験し、交流するイベント。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
TwitterとInstagram @edoshiya／note：https://note.com/iju/
web：https://yachiyomachi.com

# 栃木県那須塩原市　森岡　昇夢

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
30歳
【出身地】
愛知県　常滑市
【転出元】
愛知県　常滑市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R２.12.９～R５.12.８
（２年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

JOINの移住フェアに行き、興味を持ったことをきっかけに、その後も全国の自治体への現地見学を重ねた結果、今の那須塩原市へ魅力を感じたため、応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

現在は動画編集や情報発信を主に行なっていますが、
もう少し活動の幅を広げて将来の糧にすることができたら良いと思っています。
任期後は活動の中でできた人との繋がりを活かせるような仕事ができればと考えています。

## 活動内容

**●SNSを利用した情報発信**

日々の活動をSNS（Instagram、Facebook、Youtube）で発信している。
発信のための動画編集を日々行い、市内のイベント等に積極的に参加している。

**●近隣市町の協力隊との共同活動**

定期的に近隣市町の協力隊と集まり、広い視野での情報発信を試みている。
こちらの活動もYoutubeを主に使用しているが、イベント等の開催も計画中。

**●地元学生を絡めた活動（予定）**

定期的に地域おこし協力隊と地元学生が交流できるような取組を現在計画中。
学生との繋がりができたら、共同で活動している様子を随時SNSでアップ、イベント等の開催につなげられたら。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）@nasushiobarachiikiokoshi　(Youtube)なすしおちおこ

# 栃木県那珂川町　新芝　悠希

観光・情報発信

## 基本情報

【年　齢】
29歳
【出身地】
千葉県佐倉市
【転出元】
千葉県佐倉市
【前　職】
添乗員
【活動時期】
R3.1～ R5.3

## 協力隊に応募したきっかけ

観光に興味があり、海外留学の経験を元に観光業での就職を目指していました。しかし、昨今のコロナ事情により、すべての観光業が打撃を受け、自分も転職すべきか進退に悩んでいた時、家族の勧めで地域おこし協力隊の紹介サイトを見たところ、まさに私が目指していた形の業務が沢山あることを知り、さらに様々な地域で募集がかかっていることを知りました。せっかくのチャンス、どうせならば行ったことのない土地を知りたいという気持ちから、応募先を考え、那珂川町にご縁をいただき今に至ります。

## 今後の抱負・任期後の目標

私の活動は多岐にわたるように見えますが、その主幹は「那珂川町の魅力を沢山の人に知ってもらう」というとても地域おこし協力隊らしい活動内容だと感じています。沢山の人と関わる以上、一つの正解というものが無い点に苦戦することもありますが、反面、那珂川町の魅力を様々な形で多くの人にお届けできることにやりがいを感じています。そのためにも、まだまだ知られていない那珂川町の魅力をもっと発掘していきたいと思います。

## 活動内容

### ●ツアーの開催

コロナ禍の状況を鑑みて、オンラインツアーや着地型ツアーの開催をしました。疫病退散祈念を盛り込んだツアーや、那珂川町の特産品「八溝ししまる」、「温泉トラフグ」など那珂川町の魅力を最大限に詰め込んだツアーを開催しました。現在も、沢山の方に利用してもらえるツアーを作成中です。

### ●ワーケーションの開催

那珂川町で行うワーケーションは、子ども連れの家族を対象としている点が特徴となります。大人が旅館などで仕事をしている間に、子どもたちは自然の中で那珂川町の遊びを体験し、過ごしてもらいます。子どもたちをサポートする中で、体験を通し、成長する姿を直に見れる瞬間にやりがいを感じます。

### ●イベントの出展

那珂川町の特産品紹介と観光PRのために、毎年日本橋イベントスペースでの出展を行っています。昨年度、初めて参加申し込みから、出展の準備まで担当しました。慣れない業務もあり苦戦しましたが、イベントの準備を通し、町民の方達と沢山交流を持つことができたきっかけとなるイベントでした。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）nakagawa.chiikiokoshi@gmail.com
（電話番号）0287-92-1114(那珂川町役場企画財政課)

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（那珂川町地域おこし協力隊Instagram）
https://www.instagram.com/nakagawa_028/

# 群馬県渋川市　長沼　未希

観光・情報発信

## 基本情報

【年　齢】
25歳
【出身地】
山梨県都留市
【転出元】
山梨県都留市
【前　職】
飲食店勤務
【活動時期】
R１.8～

## 協力隊に応募したきっかけ

学生の頃から「地域に密着して地域の人と一緒に仕事がし　たい」と思っていました。前職を辞め、地元に戻ったタイミングで地元で活躍する地域おこし協力隊員と出会い、地域おこし協力隊とは何か、活動を通しての地域との関わりなどを聞いていく中で「私のやりたい仕事はこれだ！」と思い、協力隊に応募しました。

## 今後の抱負･任期後の目標

協力隊３年目の年にこれまで地域に蒔いてきた種が一気に花が咲くようにたくさんの地域の方とイベントを企画したり、声を掛けていただけるようになりました。活動をする中で自分の活動は「地域の人の夢を実現するお手伝い」だと思うようになり、今後も地域の方々の夢を叶えるお手伝いをしながら、一丸となって地域の課題に取り組んでいきたいと思っています。任期後はまだ確定はしていないですがこれまでの繋がりの中で地域の人とお仕事をする準備の前準備をしているところです。

## 活動内容

**●イベント企画･お手伝い**

市で開催する大きなイベントから地域の人が開催する小さなイベントまで幅広く携わっています。自分自身でもイベントを企画したり、運営や撮影、チラシのデザインなど様々な形でお手伝いをしています。来月には伊香保温泉石段街で音楽イベントを開催する予定です。

**●情報発信**

情報発信に必要な魅力発掘、写真・動画の撮影から自分で行ない、Instagram、Twitter、Facebook、YouTube、ウェブサイトなどの様々な媒体での情報発信をしています。またSNSのみならず渋川駅観光案内所内掲示板での発信や、市内の情報を掲載したInfomationCardを作成し配布しています。

**●デザイン**

イベントのチラシやポスター、地域商品券、物産展のPOP等のデザインをしています。また、協力隊の情報発信用ウェブサイトもデザインし日々更新しています。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（webサイト）https://shibukawakyouryoku.wixsite.com/mysite
（Instagram）https://www.instagram.com/_ngmk__/

# 群馬県みどり市　獅子内　珠羅

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
25歳
【出身地】
青森県田子町
【転出元】
群馬県前橋市
【前　職】
学生
【活動時期】
R2.4～ R6.3
（3年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

帰省した時に、地元の良いところを感じたと同時に、過疎地になっていることも感じ、地方創生に貢献したいと思いました。
　みどり市には「おためし地域おこし協力隊」に参加した際に、様々な資源があるにも関わらず、有効活用ができていないことを勿体なく感じたこと、この場所なら様々な面で上手く活性化を見込めるのではないかと思ったため応募に至りました。

## 今後の抱負・任期後の目標

みどり市の協力隊は、人数も多く、それぞれ活動内容も異なるので、協力し合ってイベントや活動を充実にしていきたいと思います。
　退任後は、現在活動している内容を軸に、収入の一部に充てていければと考えています。

## 活動内容

**●情報発信/イベント**

地域店舗への取材、観光地の撮影をし、SNS等で発信をしたり、イベント企画・運営などを行っています。私が着任してからは、コロナが始まった頃ということもあり、悉くイベントが無くなりましたが、3年目となると、形を変えて実行されるようになりました。市内の方も知らなかった穴場スポットなどを、今後も発掘していく予定です。

**●アウトドア（カヌー/SUP/ノルディック･ウォーク）**

みどり市にあるダム湖「草木湖」を中心に、カヌーツアーやSUPツアーのガイド、ポールを2本使用しながら歩くノルディック・ウォークの指導をしています。時期に合わせツアー内容を変えているので、いつ来ても楽しめるよう心掛けています。
みどり市や群馬県の魅力を、自然と触れ合いながら多くの方に知っていただけると嬉しいです。

**●ドローン**

近年注目を集めるようになった、ドローンを活用しながら活動に取り組んでいます。用途は色々ありますが、観光・情報発信担当ということもあり、現在は空撮を中心に行っています。
普段見ることのできない空からの景色を、ドローンを通し、新しい視点でみどり市を発見し、楽しんでいただければと思います。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（電話番号）0277-76-0984（職場）
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】
[ホームページ] http://jurarumin.life
[ツイッター] https://twitter.com/Jura_greenGNM
[フェイスブック]https://www.facebook.com/profile.php?id=100006305615202
[インスタグラム]https://www.instagram.com/jurarumin.pic/?hl=ja
[ネットショップ] https://jurarumin.base.shop

# 群馬県みどり市　宮下　真

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
55歳
【出身地】
東京都江戸川区
【転出元】
東京都江戸川区
【前　職】
IT企業　システムエンジニア、品質管理
【活動時期】
R3.10～ R6.10
（2年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

着任の数年前から人や社会への貢献を感じられる仕事をしたい、社会課題の解決につながる活動をしたいと強く思っており、地域おこし協力隊となることで、行政と連携しつつ地域の人々に接し、自分の場づくりやITの知識を活用しながら、その地域に貢献したいと思いました。
宿泊型農業体験施設の運営の募集だったので、農業も施設運営も学びながら、地域貢献できると考え応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

現在の施設単体での集客、活性化は難しいと思うので、周辺地域と連携する必要があると考えています。
お客様にはみどり市全体を楽しんでいただくために、観光スポット、飲食店、事業者なども紹介しながら、地域および農林業、商工業、観光業の連携体制を築きたいと思います。任期後は活動の延長として独立、事業化したいと思います。

## 活動内容

**●浅原体験村の運営**

施設整備やレジ打ち、事務作業、そば打ち、配達作業など、日常的に人手が不足している業務を補いつつ、人手不足の解消と収益向上を目指して、業務改善の取り組みを進めています。
体制面の課題対応、改善とともにIT化を進めての効率化を図り、情報発信等による

**●ワークショップ、講習、体験イベントの企画、開催(予定)**

浅原体験村の資源(農園、そば打ち技術、施設)を活用したイベント(芋掘りやそば打ち体験)を実施するとともに、地域資源を活用した体験イベント(木工、林業、農業関連)、SDGs、IT/DX、組織づくりに関する講習、ワークショップなどの企画、実施に取り組む

**●グリーンツーリズムの企画、開催(予定)**

地域住民、地域事業者、商工会、観光物産協会との連携を図り、地域外の人々の受け入れ、案内体制態勢を築き、地域案内とワークショップ、体験イベントを組み込んだグリーンツーリズムの企画、実施を目指す。

## 連絡先

[フェイスブック] https://www.facebook.com/makoto.miyashita.75
[インスタグラム] https://www.instagram.com/mackt_delux/
[ツイッター] https://twitter.com/mackt_delux

# 群馬県みどり市　安西　未佳

観光・情報発信

## 基本情報

【年　齢】
39歳
【出身地】
香川県高松市
【転出元】
香川県名高松市
【前　職】
スマートフォン等の修理受付サービス
【活動時期】
H31.4～ R5.3
4年目

## 協力隊に応募したきっかけ

観光関連の業務での地域おこし協力隊の募集を探していたときに、みどり市の募集に出会いました。
　みどり市東町地域の自然や観光資源と、新しいことにチャレンジできそうな環境に魅力を感じ、応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

観光客や移住希望者など、外部から訪れる方と、地域の方が、つながり、ふれあう場所をつくり、そのサポートができるようになっていきたいです。
　体験型・着地型観光や地域イベント等の推進にも取り組み、地域を盛り上げていきたいと考えています。
　任期後は、撮影やデザイン等のスキルも生かして、活動していきたいと思います。

## 活動内容

**●イベント、観光ツアー等の企画・運営、観光ガイド**

ワークショップ、写真展などの開催や、観光ツアーの企画、観光ガイドも行っています。隣接地域（桐生市、栃木県日光市等）の協力隊との協働事業（フォトコンテスト、ツアー企画など）にも取り組んでいます。

**●SNS、パンフレット等での情報発信**

SNSを活用した情報発信のほか、地域の魅力を伝える写真集やみどり市地域おこし協力隊のパンフレット等を制作する等、地域のPRに取り組んでいます。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）mika-an@city.midori.gunma.jp
（電話番号）0277-76-0984（職場）
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】
[インスタグラム] https://www.instagram.com/midori_chiiki/?hl=ja
[ツイッター] https://twitter.com/midori_chiiki
[フェイスブック] https://www.facebook.com/midori.chiiki.okoshi/
[ブログ]https://ameblo.jp/midori-chiiki/
[ユーチューブ] https://www.youtube.com/channel/UCC-sTng5RtvDLb0UFA21EDQ

# 群馬県みどり市　高橋　梨果子

観光・情報発信

## 基本情報

【年　齢】
22歳
【出身地】
東京都小金井市
【転出元】
東京都小金井市
【前　職】
学生
【活動時期】
R３.4～

## 協力隊に応募したきっかけ

小さい頃から家族でサービスエリアや道の駅などで買い物や、食事をすることが多く、将来的にそのような場所で働きたいと思っていました。高校生になり、通った高校が農業高校で、園芸を学んでいるうちに農業にも興味を持ち、両方できる仕事を探していて、地域おこし協力隊のサイトで昭和村を見つけて応募しました。

## 今後の抱負･任期後の目標

今後の抱負は、出張やマルシェなどで別の地域に行った際に、昭和村に来たことない人や、昭和村のことをあまり知らない人達に昭和村で作っている加工品や作物をどんどん紹介し広めていこうと思います。
任期後の目標は昭和村に移住ができるのであれば移住し、昭和村で働こうと思います。
4月にラジオ番組に出させていただき、群馬県民のフォロワーが沢山出来たので、そのアカウントで昭和村のことをつぶやいていこうと思います。

## 活動内容

**●とうもろこし祭り**

夏に行う道の駅で最大のイベント
道の駅で作ったとうもろこしを店頭で販売し、農園では、とうもろこしの収穫体験を行いました。

**●ハロウィンカボチャ**

道の駅で栽培しているハロウィンカボチャと昭和村の農業委員会の方々が作っているジャンボカボチャに顔などをつけて販売しました。

**●米作り**

道の駅の中にあるレンタル農園をご利用している利用者様たちと田植えをし、稲刈りを行いました。
余ったお米は道の駅で店頭販売を行う予定です。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Twitter：@Showa_Okoshi_T

# 群馬県昭和村　綿貫　秀人

観光・情報発信

## 基本情報

【年　齢】
30歳
【出身地】
群馬県　昭和村
【転出元】
東京都　八王子市
【前　職】
野菜加工センター作業員
【活動時期】
R４.４～R７.４
（１年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

30歳を前にして何か地元に還元できることはないかと考えた時に協力隊になることで少しでも県内外の人に昭和村の良さを知ってもらえると考えたからです。

## 今後の抱負・任期後の目標

生まれ育った昭和村の良さをより多くの県内外の人に発信すること。昭和村に残り、昭和村の発展に少しでもいいので力になること。

## 活動内容

道の駅あぐりーむ昭和旬菜館での接客対応や野菜の袋詰め作業、野菜の陳列作業等々。また昭和村や道の駅、旬菜館の日々の出来事をSNSを通じて発信すること。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Twitter @showaokoshi

# 埼玉県小川町　小林　信之

観光・情報発信

## 基本情報

【年　齢】
39歳
【出身地】
東京都武蔵村山市
【転出元】
神奈川県横浜市
【前　職】
公共施設管理
【活動時期】
Ｒ２.１０～Ｒ４.１０
（３年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

地域づくりに興味があったことと、町の特産品に興味があったため。

## 今後の抱負・任期後の目標

小川町の特産品に和紙があります。現在の日本の住宅事情では、和室が少なくなっており、スマホ等の普及で、生活に和紙が関わる機会が減ってきました。和紙が特別な存在ではなく、誰にとっても当たり前に使えるような製品や仕組みを考えたいです。考える際は、プロセスを大事にし、地域の方と一緒に課題やアイデアを出していきたいと思います。
任期後は、町への定住を目指しています。任期中に家を見つけて整備し、地域の方と関係性をつくりながら、和紙に関わる現在の活動を継続的に行い就農することが目標です。

## 活動内容

**●小川和紙のPR**

小川といえば「和紙」といわれるほど、小川町は和紙で有名です。なかでも楮（こうぞ）だけを使用した「細川紙」の製造技術は、昭和53年に国の重要文化財に指定され、平成26年にユネスコの無形文化遺産代表一覧表に記載されました。

私の活動は、和紙の魅力を地域内外に情報発信し、卒業証書の注文調整、販売を行うことです。

情報発信では、町内で開催される和紙関連のイベント支援、和紙に関係する映画の自主上映会の開催、SNSや町の広報誌を使った情報発信を行ってきました。

卒業証書づくり支援では、9割近くのシェアを占める県立高校等の卒業証書注文の受注、職人さんや関連機関への発注、納品調整と事務局業務全般を引き受けております。

上映会のチラシ

完成した卒業証書

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】
インスタグラム@koba.n.ogawa

# 埼玉県小川町　木谷　海斗

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年齢】
26歳
【出身地】
広島県広島市
佐伯区海老園
【転出元】
神奈川県横浜市
保土ヶ谷区岡沢町
【前職】
横浜国立大学大学院Y-GSA
学生
【活動時期】
R3.4～

## 協力隊に応募したきっかけ

・旧比企銀行という築130年を超える建物を再生するプロジェクトから小川町に関わるようになり、より町に根ざした活動をしようと考え、町や人との関係性を築くために、協力隊になることを決めました。
・協力隊の募集情報については小川町で知り合った知人に教えてもらいました。

## 今後の抱負・任期後の目標

・メディアを運用していることでできる魅力発信の面白さを開拓することです。
・任期後は、協力隊の活動で築いた関係性をもとに、小川町を拠点に建築やデザインの仕事をしていきたいです。まずは現在個人で進めている古民家改修・運用のプロジェクトが任期中に見通しがつくようにすることが目標です。

## 活動内容

**●LINE「小川町情報スモリバ」**

毎週水曜配信　登録者数：5000人程度
　小川町に関する素敵な情報をお届けするローカルメディア「小川町情報スモリバ」の編集・運営を担当しています。宣伝的な情報が主ですが、取材なども通して小川町のことを楽しく知るような媒体を目指しています。

**●第３期若者未来会議**

　町に関わりを持つ若者が集まり、２年間で町の課題について話し合い、解決を目指し実践まで行う、若者未来会議の運営を担当しています。第２期では、メンバーとして関わりました。
　現在は会議・フィールドワークを通して、次年度に向けた取り組みを考案中です。

**●小川町SDGsまち×ひとプロジェクト**

　小川町が取り組む住民参加型のまちづくりプロジェクトに参加し、フラッグシップ実行委員会の委員長を担当して、小川町の多様な魅力や関係性が感じられるイベントの企画をしています。

**●その他**　チラシなどのデザインを頼まれることがあります。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（tel）0493-72-1221（小川町役場）
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】
LINE公式アカウント「小川町情報スモリバ」：https://lin.ee/t14z0io
小川町地域おこし協力隊Instagram：　https://www.instagram.com/ogawamachi.kyouryokutai/
木谷海斗個人のInstagram：　https://www.instagram.com/kaitokidani/

# 埼玉県長瀞町　北崎　史子

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
36歳
【出身地】
広島県広島市
【転出元】
広島県広島市
【前　職】
会社員
【活動時期】
Ｒ２．１０～Ｒ５．９
（３年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

地元での生活や、海外での生活を経て、興味のあった田舎への移住をしたいと考えていた時に、国が取り組んでいる地域おこし協力隊という制度を知りました。
自分の希望や新しい挑戦にぴったりな制度がと思い、色々調べた後に長瀞町へ応募をしました。

## 今後の抱負･任期後の目標

任期後も長瀞町に定住をしたいと考えているので、そのために自分の新しい事業として新しくキッチンカーを使った移動販売などをしたいと考えています。
活動の継続をしては、引き続き地元の人たちと一緒に町を盛り上げれるような取り組みやコミュニティー作りに力を入れていきたいと思っています。

## 活動内容

**●SNSを使った情報発信**

長瀞町では誰も取り組んでいなかった海外観光客の人や、日本に興味のある英語圏の人たちに向けた情報発信をしたいと考え、SNSなどで英語と日本語を使った情報発信をしています。

**●長瀞産の材料を使った商品開発**

地元の生産者さんのご協力もあり、長瀞産のフルーツや材料を使って。カラフルなフルーツソーダや焼き菓子などの開発・販売をしています。ゆくゆくはこれらをキッチンカーなどでイベント出店や移動販売などをしたいと考えています。

**●移住者や町の若い人を中心としたコミュニティー運営**

長瀞町内外、近郊エリアの若い人を中心とした情報発信などが自由にできるコミュニティー作り・運営に携わっています。地域のお土産物を制作したり、人と人が繋がれるような「場」作りを目指しています。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://www.instagram.com/nagatoro_aya/

# 千葉県銚子市　小島　大成

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
23歳
【出身地】
宮城県　名取市
【転出元】
東京都　足立区
【前　職】
住宅の設計、施工管理
【活動時期】
R4.5～ R7.4
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

空き家再生の事業をやりたいと考えていたときに、銚子市内で古民家・空き家をリノベーションし民宿とレストランを運営されている方と出会い、憧れを抱いたのと同時に銚子市内でかなりの空き家の数があると知り、自分にも何かできるのでは無いかと思い移住しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

今後は移住、定住、関係人口の増加を狙い空き家をリノベーションしたゲストハウスやお試しハウスを作っていきたいです。任期終了後は銚子市内で起業し空き家建築士、ゲストハウスの運営、移住定住促進などの事業をしていきたいです。

## 活動内容

**●笠上黒生駅リノベーション工事**

銚子電鉄、笠上黒生駅リノベーション工事の設計、作図を行っています。8~9月設計検討、10月26日工事着手。12月中旬竣工予定。築100年の歴史ある駅舎の修繕工事ということで、地域の皆さんの思い出の駅でもあるので、温故知新を大切にしこれから駅舎を利用される方が安心して利用できるように、丁寧に工事を進めてまいります。

**●空き家の調査**

市内の空き家の現状を調査し、空き家所有者に活用方法の提案を行っています。今後は自分でも空き家を入手しゲストハウス、お試し移住ハウスなどにリノベーションし事業を行なっていきたいと思っています。

**●インバウンド向け寿司握り体験イベント**

9月28日に総務省地域力創造アドバイザー中川直洋さん企画のインバウンド向け寿司握り体験イベントのアテンドやイベント詳細の企画等を行いました。
日本のインバウンド系企業の関係者を銚子市に招待し、銚子の海の幸を堪能してもらいました。今後も観光の受け入れや提案をできるようにしたいです。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（SNSリンク）linkfly.to/ojimax　→Instagram、Facebook
LINE、YouTube

# 千葉県銚子市　西上　逸揮

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
３５歳
【出身地】
大阪府枚方市
【転出元】
東京都江東区
【前　職】
鉄道専門コンサルタント
【活動時期】
Ｒ４.５～Ｒ７.４
（１年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

これまで鉄道専門のコンサル事業を行うなかで、「鉄道を基軸とした地方創生」をキーワードにMaaS・デジタル化をはじめとする次世代サービスを用いた事業・取組にも注力してきたところ、地域に密着した形で、これを推進していきたいと考えていました。
その中で、「銚子電鉄」という鉄道会社を擁することが一番の理由ではありましたが、地方創生に取り組むのであれば、まず自分自身が地元に居着くことで現状把握と課題解決に内側から取り組む必要があると考え、応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

人口減少が進む現代社会の中、各地でローカル線の廃線が大きな問題となっています。このような状況下で、地元産業の強みを存分に活かすことで、鉄道を軸に地域活性化が行えるという形を創りたいと考えています。
銚子市が、その成功事例をフォーマットとして全国各地のフラッグシップになれると確信しており、その一助となる役割を担えるよう、尽力していきたいと思います。

## 活動内容

**●まちづくりセミナーの開催**

銚子市のみなさんと、銚子電鉄及び銚子市の現状や問題点を共に考えるきっかけづくりとして、令和４年10月２日に「Railtothefuturein 銚子」を開催しました。
まちづくりの観点から、銚子電鉄を事例として行政との連携や沿線住民との関係等について、江戸川大学の崎本教授、大塚准教授及び銚子電鉄の竹本社長による、講演・パネルディスカッションを企画しました。
開催形式については、多くの方に参加していただけるよう、現地・オンラインでのハイブリット形式でセミナーを実施しました。

**●安全･安心な運行体制の確保**

銚子電鉄は最低限のスタッフで営業しており、運転士の確保についても同様で、余裕があるわけではありません。
そのため、地域おこし協力隊としての直接の業務ではありませんが、名古屋鉄道株式会社在籍時に運転士としての勤務経験もあったことから、運転業務についてもサポートを行っています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）nishiue@choshi-dentetsu.jp

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Twitter）https://twitter.com/Itsuki_Nishiue

# 千葉県香取市　岡田　隆太郎

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
29歳
【出身地】
千葉県富津市
【転出元】
東京都大田区
【前　職】
記者（企画･営業･編集･制作）
【活動時期】
R2.4～

## 協力隊に応募したきっかけ

前職で、千葉県の観光雑誌や観光パンフレットを作っていた経験を活かし、地元の物産や観光資源の良さを県内外関わらず多くの人に知ってもらいたいと思ったこと、観光業や観光協会での仕事をやってみたいと思ったことや千葉県という地域の力になりたいという気持ちがきっかけとなりました。観光協会や観光系の求人を探していたところ、香取市のHPでの募集を確認し、応募しました。

## 今後の抱負･任期後の目標

香取市での活動は3年目となりますが、昨年までは地域団体に所属。諸事情により今年から個人事業主として活動しております。
会社員以外での働き方は初めてなこともあり、様々な場面で苦戦はあるものの、色々なことを勉強させていただいています。
未だコロナ感染症の影響でイベントなどが中止になり、活躍できる場面が少ないのですが、小さくとも地域協力活動は行っていく所存です。
昨年同様、地元の方との交流において、地域ビジネスに繋げる目線を持つことを忘れないように心掛けていきます。

## 活動内容

**●地域イベントの取材やSNSによる情報発信**

香取市内で行われるイベントの取材＆撮影やSNSでの情報発信を行っています。今年に入り今までコロナ感染症の影響で中止だったイベントも、全てではありませんが徐々に開催しているので今まで経験のなかったイベントも取材を行うことができました。

**●任期後の定住に向けての市内での交流拡大**

今年から個人事業主として活動する中で、地域おこし協力隊としての任期後も同市内で働き、暮らしていくことを目指し、様々な市内の事業者と交流を行っています。現在はいくつか交流が実ったものもあり個人的に副業として仕事を頂いています。

**●近隣地域の地域おこし協力隊との交流**

今年の年初には同期の地域おこし協力隊員にメインで企画していただき、県内・県外問わず近隣の地域おこし協力隊との交流も行っています。市外から来ていただいた隊員に市内の観光を紹介するツアーを開催するなど積極的に交流は行っています。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】
https://www.facebook.com/katori.kyoryoku

# 千葉県香取市　齊藤　瑠奈

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
29歳
【出身地】
千葉県船橋市
【転出元】
千葉県船橋市
【前　職】
通関業事務補助
【活動時期】
R2.4～

## 協力隊に応募したきっかけ

千葉で観光に関する仕事をしつつ、将来は千葉県内の観光地で、千葉と日本の魅力を発信する仕事をしたいと考えていたところ、今回の制度で香取市が募集をしていたため、応募いたしました。応募に際してはJOIN公式サイトで募集自治体を検索し、市役所HPなども参考にしました。

## 今後の抱負・任期後の目標

観光資源の発掘・活用・発信という活動目標に沿って、市内の魅力的な産品・団体・地域などを発見し、引き続き市内外に発信していきたいと思います。
また、任期後も香取市をはじめとする地域の方たちとの関わり続けていけるよう、出来ることを検討しています。

## 活動内容

**●地域情報の発掘・収集・発信**

メインミッションである、地域の魅力の発掘・発信。普段はSNS（Instagram）を中心に、道の駅などで配布している「月のお便り」、年に一度、「香取の素敵な方々、集まりました。」などを紙媒体で発行しています。より多くの方へ届けるために様々な手段を利用しています。

**●高齢者の集いの場、地域サロンの運営サポート**

介護保険事業のひとつである「地域サロン」の運営をサポートしています。月に２回、担当地区のコミュニティホームを開放し、地域の65歳以上の方を対象として筋力アップ体操を行ったり、おしゃべりや手作業をしています。

**●地域のお困りごと相談**

どこかで出店をしたい×朝市をしているので出店者を募集している、規格外などの野菜の廃棄などがある×こども食堂を開くので野菜が欲しい、子どもを遊ばせたい×子ども向け施設・イベントなど、需給の引き合わせを行っています。また様々な相談を受け、解決や安心につながるよう、アドバイスしています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(電話番号) 0478-50-1212　（香取市役所商工観光課）
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】
(Facebook)　https://www.facebook.com/katori.kyoryoku
(Instagram) https://www.Instagram.com/katori.saito/

# 東京都三宅村　落合　直翔

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
28歳
【出身地】
埼玉県所沢市
【転出元】
神奈川県平塚市
【前　職】
重機メーカー
【活動時期】
R3.7～

## 協力隊に応募したきっかけ

「いつか伊豆諸島で自然と人と関わる仕事がしたい。」この夢を捨てきれず転職活動を始め、伊豆諸島の求人を探し、その中で、この地域おこし協力隊の募集要項を見つけ、まさに私が求めいていた仕事内容で応募しました。
私は人と話すこと、人に影響を与えることが好きです。私が自然ガイドとして働くことで三宅島を好きになってくれる人が現れれば、それがやりがいになると考えています。

## 今後の抱負･任期後の目標

今後の抱負としましては、三宅島から見える綺麗な星空をガイドし、三宅島をさらに好きになるきっかけを与えられる人材になりたいと考えております。

任期後は三宅島でゲストハウスをやりたいと考えております。島民と観光客を繋げられる温かいゲストハウスにしたいと考えています。

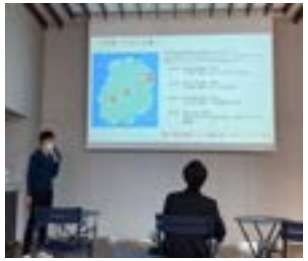
## 活動内容

**●三宅島の自然や星空の勉強**

三宅島の自然ガイドになるために、三宅島の自然のことや星空のことを勉強しています。
また、三宅島に来てもらえるように、三宅島の美しい自然をＳＮＳで発信しています。

**●三宅島の自然ＰＲ**

都内でのイベント時に、来場してくれた方向けに三宅島の紹介をしています。
三宅島はどこにあるのか、どのような島なのか、何があるのかなどを話、三宅島に興味を持ってもらえるように活動しています。



**●島暮らし体験中の自然ガイドとサポート**

三宅島では移住を考えている人向けに島暮らし体験を実施しています。
島暮らし体験に参加された方が三宅島をより好きになってもらえるように三宅島の自然ガイドをしています。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://www.facebook.com/Miyakemura.muraokoshi
https://twitter.com/welcom|_miyake

# 新潟県燕市　井口　大史

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
26歳
【出身地】
東京都品川区
【転出元】
東京都品川区
【前　職】
会社員
【活動時期】
R4.7～ R7.3
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

会社員を経験して何か特殊な仕事がないかと探していた所、地域おこし協力隊の存在を知りました。そこで小さい頃から所縁のあった燕市を調べ、募集要項の『ＳＮＳの発信業務』を見つけ即応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

燕市に移住するための就職先、もしくは起業の模索。
移住することは決めているので、そのために生活していける術をこの3年間で見つけたいです。

## 活動内容

**●SNSの情報発信**

燕市観光協会のInstagram、Twitterを主に動かしています。市内の観光資源に赴き、実際に体験などをして情報を発信しています。これからは物撮り用の撮影ブースを充実させたり、動画の編集などにも力を入れて、観光業界で影響力があるInstagramに力を入れていきます。

**●ラーメンマップ･ウェブサイト作成**

燕背脂ラーメンMap・ウェブサイトの制作をしています。実際に店舗に赴きラーメンの撮影、Mapの整備、店舗情報のとりまとめ等を行っています。

**●イベント等の参加発信等**

お祭・イベント等に赴き取材・発信を行っています。最近では観光協会主催の酒呑童子行列があり当日の記録写真担当や”鬼月間”期間中は青鬼になり、ビッグスワン（サッカー場）に行ったり、ケーブルテレビに出演などを行いPRしました。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）kanko@city.tsubame.lg.jp
（電話番号）0256-77-8233
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）@tsubamecity_trip
（Twitter）　@tsubamekanko

# 新潟県田上町　山口　匠

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
36歳
【出身地】
群馬県吾妻郡長野原町
【転出元】
新潟県新潟市秋葉区
【前　職】
販促（ネットショップ）
【活動時期】
R3.12～

## 協力隊に応募したきっかけ

群馬県出身で全国転勤の社会人として働いていたが、新潟県内大学を卒業、また奥さんが新潟県出身であることもあり新潟への移住を決意。
自身のスキルを活かせそうな「情報発信」を中心とした活動を求める協力隊募集をしていた田上町に興味をもち、道の駅たがみのコンセプトやブランディングにも共感したため応募。

## 今後の抱負・任期後の目標

【今後の抱負】
田上町の認知を上げることを大目標に、手法に捕らわれずに進めていきたい
【任期後の目標】
地方ではまだまだ未着手の部分が多いデジタル分野において、企業や店舗（周辺地域含む）の情報発信や業務改善が出来るような仕組みの提供をしていきたい

## 活動内容

**●SNS、noteを使った定期的な発信**

・各種SNSを使い、イベント情報や町の認知を広げる投稿を継続的に実施
・noteでは町内のヒト、モノ、コトに焦点を当て、取材・撮影・記事制作を実施
・現在運営している各種アカウントの総フォロワーは約5,000。次は大台の10,000を目指し継続発信

**●googleマップの情報更新・追加**

・町内の店舗、観光スポットの写真、口コミをアップ
・写真の表示回数は50万回を突破
・現在「googleビジネスプロフィール」の設定フォローも実施中。町内の文化財「椿寿荘」に協力いただき、HP制作含めgoogleをフル活用した情報発信の仕組み作りを検討中

**●スマホPC相談室**

・道の駅たがみと連携して実施
・毎週金曜13時～15時開催
・現在のところ毎回8名前後の参加者で好評。リピーターを中心に新規参加も増えている

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Instagram　twitter　note

# 富山県射水市　坪井　彰

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
３９歳
【出身地】
京都府　宇治市
【転出元】
富山県　射水市
【前　職】
広告・イベント制作企画
【活動時期】
Ｒ２.１０～Ｒ４.１０
（３年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

地元・京都府宇治市で地域活動に２５年以上携わってきて、１０年前に後輩が長野県の小谷村の地域おこし協力隊になったことを知り、自分も外に出て力を試したいという思いを持つようになり、どこで活動してみたいとか調べるようになりました。仕事のキッカケで富山県の事を知るようになり、興味を持ち、射水市・高岡市を結ぶ万葉線、射水市の公共交通の利用促進ならば自分のやってきた仕事も役立てられるのではないかと思い応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

活動中に地域の若者たちや、企業の方とのつながりもできました。今後はそういった関係ができた方々と地域おこしをしていきたい、また、協力してくださる県外企業が持っているアイディアなどを取り入れた仕事をしていきたいと考えています。

## 活動内容

### ●万葉線と自転車に乗って出かけよう Viewポイントラリー

富山県が設置しているサイクリングロードには、沿線に万葉線や雨晴海岸、内川周辺の観光施設、海王丸パークなど、景色の良い観光スポットが多数あるが、サイクルトラムや万葉線の駅、電停に設置してある駐輪場、レンタサイクルの周知度が低く、コロナ禍の影響もあることから利用頻度が低い。そこで、拡散能力の高い若い世代を活かすための興味を引き出すコンテンツと、万葉線と自転車に対し連結、連動性を持たすコンテンツ、このコンテンツを繋げる観光イベントを行った。具体的には、富山県出身の人気声優を起用した万葉線の車内音声案内と、万葉線車内やサイクリングロード、レンタサイクル場にAR入りのViewポイントを設置し、スマートフォンでマーカーを読み込むと人気声優の観光ガイドが流れる設定や、アプリを利用してスタンプラリーを行う。この事業により、人気声優のファンの聖地巡礼による万葉線の利用者増、万葉線とサイクリングロードなど、各地に音声ガイドを導入することで、万葉線からサイクリングロードへと動線を作り、効果を見える化することができ、且つ新しい層を獲得することを目的とした事業です。

### ●万葉線「光の道」プロジェクト

万葉線沿線（中新湊～東新湊間）に電車から楽しめるイルミネーション装飾を施し、その先の海王丸駅、海王丸パークを拠点にイルミネーション会場として施工。万葉線「光の道」プロジェクトとして、イルミネーションイベントを開催した。資金はクラウドファンディングを行って集め、期間内に目標金額を上回る事ができた。期間内で総入場者数1,883名、大人は1,283名、子供は630名の方が訪れた。コロナの第7波の中での開催で且つ、毎週末が天候に恵まれなかったイベントとしては好評のもと、終えることができた。。特に、メイン会場である、パークは電飾をお借りした京都府の城陽市観光協会様に会場設営もご協力いただいたこともあり、イルミネーション自体の満足度も高かった。

### ●その他：イベントの運営・各種PRツールの制作

地域のイベントから観光系のイベント、記念行事などのイベント制作、運営、加えて、それに付随した広告、Webページの制作、告知動画の制作までに携わった。また万葉線では回数券やグッズのデザインにも携わった。

▲イベント運営資料

▲車内サイネージ広告

▲デザインした切符

▲デザインしたグッズ

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）
【射水市役所生活安全課】seikatsu@city.imizu.lg.jp
（電話番号）
【射水市役所生活安全課】0766-51-6623

# 石川県宝達志水町　新井　秀秀

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
44歳
【出身地】
群馬県　大泉町
【転出元】
群馬県　大泉町
【前　職】
個人事業主(自動車清掃)
【活動時期】
R3.1～

## 協力隊に応募したきっかけ

コロナ禍で新しい生活様式や新しい働き方が話題となり、それをきっかけに新しく何かチャレンジしようと思い模索していたところ、「地域おこし協力隊」が目に留まり応募するきっかけとなりました。

## 今後の抱負・任期後の目標

今後の抱負として、現在のミッションは、1から学び始めた事なので、さらにスキルの強化とデータを使った集客増加、カードの利用価値向上を目指していく。
任期後の目標としては、携わっているミッションが若干特殊と言う事もあり、起業か他の道か現在模索中。

## 活動内容

**●地域ポイントカードの推進**

町内町外合わせて約60店舗以上の加盟店がある地域ポイントカード「ほっぴーさんカード」の推進。
データ集計のレポート作成、イベントやキャンペーン運営の活動をしている。

**●データ活用の推進**

ポイントカードにはICチップが入っており加盟店利用データや利用者の属性などが取得可能。それらのデータを集計、グラフ化などをし、各関係者にレポート配布している。また、レポートを参考にしてイベント案なども作成している。

**●SNSの利用**

ポイントカード会の許可を得てX(旧Twitter)で「宝達志水町ポイントカード会【公式】」の情報発信をしている。少しずつだがイベント情報発信毎にフォロワーが増えている。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
宝達志水町ポイントカード会 https://twitter.com/hoppy_san_point

# 福井県高浜町　嶽琴野

観光・情報発信

## 基本情報

【年　齢】
29歳
【出身地】
神奈川県海老名市
【転出元】
神奈川県海老名市
【前　職】
ライター
【活動時期】
R4.2～ R7.1
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

元々地方に興味があり、地域に密着した仕事をしたいと思っていました。ある日、後輩が茨城県で地域おこし協力隊をやっていると知り、そこから行き先を考え始めていました。新聞記者やカメラマンなどの経験があった事もあり、経験を活かせる業務ができる場所を視野に17自治体巡り、高浜町に応募を決めました。

## 今後の抱負・任期後の目標

SNSを中心に、ホームページの制作など、Web関係の仕事をしていきたいと思っています。これまでの経験値として、取材ライター、カメラマンの業務と並行して幅広く活動していければと思っています。田舎ほどまだまだ発信力が弱いので、そこの強化を図りつつ、定着率の低いデジタル面を地道ではありますが、住民の方に伝えていきたいです。

## 活動内容

**●広報誌の取材・執筆**

町の広報誌「広報たかはま」の取材撮影および執筆をおこなっています。季節に合ったものやイベント、町の施設に関する情報など、幅広く取材し、町民に周知しています。また、自分のコーナーも担当し、自らの体験談をコラムにしています。

**●SNSとHPによる情報発信**

勤務先の高浜まちづくりネットワークと地域おこし協力隊の各種SNSアカウントを運用しています。主にはTwitter、Instagram、Facebook、LINEです。また、高浜まちづくりネットワークのHPを管理し、現在は改修して、レスポンシブなサイトの制作を目指しています。

**●イベント企画**

イベント企画に伴う情報発信もおこなっています。2021年はお化け屋敷を開催し、各種SNSでの発信活動はもちろん、運営に伴うマニュアル作成、スタッフのシフト管理、プロデューサーとの打ち合わせなど、裏方業務を行なっていました。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（電話番号）0770-72-2740

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（SNS一覧）https://linktr.ee/takahama.machinet

# 山梨県韮崎市　歳森　宗一郎

観光・情報発信

## 基本情報

【年　齢】
４６歳
【出身地】
東京都港区
【転出元】
東京都墨田区
【前　職】
テーブルマーク株式会社
【活動時期】
Ｒ３.８～

## 協力隊に応募したきっかけ

転職を考えた際に知った、「日本仕事百貨」のサイトを読み、地域おこし協力隊の制度を知りました。
数年前より、後継者不足などの役に立てないかを自分の中で考えるようになり、応募を検討しました。韮崎市の募集は、キャンプ場建設の募集内容であったため、応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

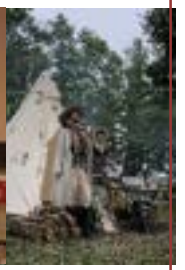
韮崎市の豊富な自然、特に山岳資源を活用したアウトドア施設の充実化を実現してまいりたいと考えております。
まずは、22年春　甘利山グリーンロッジ前のキャンプ場の開設、その後はその他の市民公園の有効活用（キャンプ場・ドッグラン等）を検討してまいります。ロッジの季節閉鎖中は、キッチンカーなどで生計を立てることを検討しております。

## 活動内容

### ●甘利山グリーンロッジ、雲の上のキャンプ場の運営

4月末～11月中旬の期間においては、ロッジ・キャンプ場の宿泊者や来館者への対応業務が主となります。各種イベントの企画や運営、実施を行っております。本年度はロッジ・キャンプ場の大規模工事のため、8月20日でクローズ。来年の5月1日オープンに向けて現在も準備中です。

### ●物販活動



2022年5月に新設された「雲の上のキャンプ場」のオープンに合わせ、薪や炭などの販売業務を個人事業主としてスタートさせました。7月からは、酒類小売業免許を取得し、地元韮崎の4ワイナリーのワインの販売を中心にスタート。7月末には韮崎ワインのプロモーションイベントを実施しました。

### ●南アルプスユネスコエコパークの保全活動

南アルプスユネスコエコパーク内にある甘利山、鳳凰三山の高山植物の保全活動を協力しております。特に緩衝地域である甘利山での情報発信は大切なものととらえ、ロッジ内にユネスコエコパークの周知コーナーを新設を進めております。そのため、県立大学などの社会人講座を受講なども行っております。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Facebookページ、Instagramアカウント：amariyama
Twitter　@YN74xVqWyTXenbn
YouTube　tosshyチャンネル

# 山梨県市川三郷町　浜野　雅子

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
39歳
【出身地】
千葉県流山市
【転出元】
千葉県流山市
【前　職】
革職人
【活動時期】
R2.7～

黒ツナギが浜野隊員

## 協力隊に応募したきっかけ

以前からアウトドアなどで山梨に訪れる事が多く、土地勘も多少あったので、いつか山梨に住みたいと思うようになり、仕事を探していた中で地域おこし協力隊という制度がある事を知り応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

11月にコワーキング施設をオープンさせ、より多くの方に知って頂くために情報配信を行っていく。そしてコワーキング施設を通して活動を広げていき、町ごと遊べる施設を作っていく。
また、綿作りや週末農業の普及活動も推進していきたいです。

## 活動内容

**活動内容①**

町内になる古民家を学生と共にリノベーションし、コワーキングスペースのオープンを目指しています。

**活動内容②**

農業体験。夏野菜作り。
学生と一緒に収穫。

**活動内容③**

狩猟免許を取得し、地元猟友会の活動に参加。ジビエ料理に挑戦。［写真は猪肉の燻製ベーコン］

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
facebook：市川三郷町地域おこし協力隊
facebook：MiRaI　Twitter：MiRaI

# 岐阜県下呂市　竹元　磨理華

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
23 歳
【出身地】
東京都大田区
【転出元】
岐阜県下呂市
【前　職】
学生
【活動時期】
Ｒ３年４月～
（３年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

美・構造・機能を定義とするアーキテクチャの概念に興味があり、大学では環境デザインを専攻しました。学校代表で「地域づくりプロジェクト」に参加したことをきっかけに、自分の学んだ力を少しでも社会に還元できたらとの思いから、地域おこし協力隊の仕事を選びました。

## 今後の抱負･任期後の目標

現在、下呂温泉に伝わる「芸妓・舞妓文化」の継承事業として、より多くの方に日本の伝統芸能を知っていただけるような活動を日々行っています。
任期後には、新たな『芸妓・舞妓ビジネス』として、既成概念にとらわれない新たなエンターテインメントの開発と提供を行っていければと考えています。

## 活動内容

**●舞妓としての活動**

令和３年４月に着任してから約１年間修行に励み、令和４年３月２８日に舞妓としてデビューしました。通常業務の傍らで日々稽古に励み、下呂温泉合掌村内にある演芸館「しらさぎ座」での公演や、イベント出演によるPR 活動を行っています。

**●観光講座等による広報活動**

地元の高校やロータリークラブからお声がけいただき、地域おこし協力隊としての活動内容や芸妓・舞妓文化について講演を行っています。
また、市役所の広報誌にもページをいただいたりと、幅広い年代に向けた広報活動を行っています。

**●大学生とのコラボプロジェクト**

令和４年９月より、女子美術大学の学生との新プロジェクトが始動しました。私の母校としてご縁もあることからお声がけさせていただき、活動拠点地である「しらさぎ座」の新たな舞台デザイン制作に向けて工程を進めています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
MAIL：kankou@city.gero.lg.jp　　TEL：0576-24-2222（下呂市役所）

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
公式Instagram　@gero_maiko
まり華┊下呂温泉地域おこし協力隊

アカウント
QRコード

# 岐阜県下呂市　中川　大輔

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
３２歳
【出身地】
静岡県御殿場市
【転出元】
東京都北区田端
【前　職】
ヤクルト
【活動時期】
Ｒ３．１０～Ｒ６．９
（２年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

東京でサラリーマンをしておりましたが、このまま定年まで仕事をしてもつまらない！と思い、せっかくの人生ですので本気で向き合える仕事がないか探しておりました。そこで、地域おこし協力隊という活動があることを知り、せっかくなら四季の移り変わりを感じながらできる仕事が良いと思い、下呂市のキャンプ場「まるかりの里久野川」を盛り上げる地域おこし協力隊に応募をしました。

## 今後の抱負･任期後の目標

１年目にはキャンプ場の公式ホームページの開設やネット予約開始など、キャンプ場の利用促進を主に活動したため、２年目以降はイベントの企画等で地域の方を対象とした活動に注力していきます。
また、任期後は「まるかりの里久野川」の管理人を継続しながら、久野川という地域に根付いて、下呂市をもっと盛り上げていけたらと考えています。

## 活動内容

**●キャンプ場のPR**

「まるかりの里久野川」というキャンプ場をより多くの人に知ってもらうため、公式HPの開設、ネット予約の開始、各SNSの情報発信、Youtuberによる動画撮影依頼、中日新聞へのドームハウスの掲載などを行いました。

**●地域の方との花植え活動**

花植えや草取りのボランティアイベントを行いました。これは、下呂中学校の生徒に呼びかけ、まるかりの里を綺麗にする活動を手伝ってもらうもので、地域の方とお話ししながら作業を手伝っていただき、大変盛り上がりました。

**●ワーキングホリデーの受入れ**

ワーキングホリデーで２名の学生を受け入れ、久野川に住みながらキャンプ場の仕事を手伝ってもらいました。２週間程度の滞在中に下呂温泉街の観光や農業の手伝い、地元の方との交流もあり、田舎の暮らしや人の暖かさを感じてもらえたと思います。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（instagram）@marukarinosato

MARUKARINOSATO

# 静岡県伊東市　未宗　奈穂

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
29歳
【出身地】
東京都目黒区
【転出元】
千葉県市川市
【前　職】
喫茶店勤務
【活動時期】
R2.4～ R5.3
（3年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

過去にも別地域で協力隊経験があったことがきっかけです。情報発信業務に興味があったこと、また以前の活動地域と比べて実家からも近く、気候も穏やかで暮らすイメージがしやすかったことから応募に至りました。

## 今後の抱負・任期後の目標

この２年間、コロナ禍でも情報発信を続けたことにより、SNSのフォロワー増やHPのアクセス数増加など、年次を重ねるごとに数値としての結果が見えるようになりました。残り半年の任期で、この３年間で培った知識や経験を、この先も続く後任の方々に残したいと思います。
また、副業で本とレコードのオンラインショップを運営していましたが、今秋に伊東市内で実店舗をオープンしました。専業でやっていくのは難しい業種なので、任期後は、伊東市近郊で仕事をしながらお店を続けていきたいです。

## 活動内容

### ●HP「伊豆・伊東観光ガイド」での情報発信

観光情報サイト「伊豆・伊東観光ガイド」の編集・更新を担当しています。季節に合わせたテーマで特集記事を組み、記事構成の作成から取材、執筆、公開までの作業を毎月行っています。

### ●市公式SNSでの情報発信

伊東市のSNS（Twitter、Instagram、Facebook）を使った情報発信に取り組んでいます。観光スポットや飲食店の紹介、イベントやお祭り開催の告知、花の開花状況などを発信しています。また、市内で撮影された番組や映画の告知にも力を入れています。

### ●「本と音楽の店 つぐみ」起業

協力隊の起業補助金制度を活用し、活動3年目の秋に実店舗をプレオープンしました。現在は副業として運営しているため、週１日（土曜日）の営業ですが、市内の方はもちろん、県外のお客様にもお越しいただいています。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Instagram：https://www.instagram.com/ito___74/
本と音楽の店 つぐみ HP：https://293bookmusic.com/

# 静岡県伊東市　大和田　喬介

観光・情報発信

## 基本情報

【年　齢】
30歳
【出身地】
茨城県水戸市
【転出元】
東京都町田市
【前　職】
Webエンジニア
【活動時期】
R4.6～

## 協力隊に応募したきっかけ

先輩協力隊員のInstagramで偶然伊東の事を知り、地方での仕事づくりや伊東の情報発信の仕事に興味がでたことがきっかけです。1年前までは伊東の事を全く知らかったので、活動をつづけて伊東のことをもっと知っていけたらと思います。

## 今後の抱負・任期後の目標

任期後は自身のキャリアを活かした仕事を作りたいです。例えば、伊東でギャラリー活動とプログラミング教育をしたいと思っています。今後は自身の任期後のことも少しずつ見据えながら協力隊の活動や地域活動も頑張っていきたいです。

## 活動内容

**●伊豆・伊東観光ガイド特集記事作成**

伊東市にあるさまざまな観光施設や体験施設、絶景スポットなどを特集記事にまとめて紹介しています。伊東市にはいろんな魅力がたくさんありますので、ぜひみなさんもいらしてみてください。
他にもイベント告知やモデルコースの作成なども行っています。

**●SNS発信**

Instagramを中心に伊東市内にあるカフェなどのお店やグルメ、イベント、ロケツーリズム情報など地域情報の発信をしています。日々の情報発信では、リラックスできる街を伝えられることや、できるだけ分かりやすく魅力を紹介できるような発信を心掛けています。

**●そのほか**

伊東の紹介番組の手伝いやドラマ・映画のロケ地の斡旋、そのほか地域情報のキャッチアップなどに努めています。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど
Instagram：@kyonddwell
伊東市公式Instagram：@itouji_official

# 静岡県伊東市　伊藤　宮之

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
34歳
【出身地】
東京都足立区
【転出元】
東京都国立市
【前　職】
調理師
【活動時期】
R4.7～ R5.3
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

旅行で伊豆高原に来た際に生まれて初めて海に潜り、その綺麗さに感動して世界が変わりました。
都心からも近く、海と山がありどちらの魅力の詰まった場所は他にないと思い、その魅力を伝えたい、また自然豊かな場所を守る活動に関わっていきたいと思い応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

自然の美しさや感動はもちろん、地元の方の優しさや温かさに触れる機会を通して大小様々な感動を積み重ねられる場所であることも伝えていきたいと思っています。
その為にはまず自分が自然や観光について、自分事として「自分だったら何が出来るか」を考えて行動していきたいと思っています。

## 活動内容

### ●IZUワンプロジェクト

日本一ワンちゃんに優しい街を目指す伊豆高原のペットツーリズム推進事業として取り組んでいるIZUワンプロジェクト。10月に新パンフレットが完成し伊豆新聞で紹介されました。編集・施設情報管理・撮影を担当。今後はペット博出店やマルシェ開催予定。

### ●満月鑑賞イベント

看板商品創出事業モニターツアーの一環として大室山観月祭の際に満月鑑賞イベントを開催。ビクセンの天体望遠鏡で土星と月を鑑賞しました。参加者からアンケートを募り、抽選で商品をプレゼント。大人も子供も目を輝かせて楽しんだイベントでした。

### ●ワーケーション推進事業

空きスペースの有効活用方法や、モニターツアー開催に向けて打ち合わせ、宿泊施設への説明会などワーケーション推進事業に関わる会議に参加。参加者・受入施設と連携を深めている。また伊東市ワーケーションPR動画にも出演し対外的なPRにも参加している。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
・(Facebook)犬旅しずおかレポーターズクラブ
・(Instagram)伊豆高原観光オフィス
・(Instagram)IZUワン

犬旅しずおか　IZUIHO2019　IHO_IZU_WAN

# 静岡県藤枝市　川島　亜弓

観光・情報発信

## 基本情報

【年　齢】
48歳
【出身地】
静岡県
【転出元】
東京都港区
【前　職】
音楽家
【活動時期】
R3.10～ R6.9
(2年目)

## 協力隊に応募したきっかけ

これまでクライアントから依頼を受け、音楽を制作してきました。様々な企業の広告やスタートアップ、モーターショーなどのイベント、日本全国の地方創生に音楽家として関わるようになるなかで、東京に拘らず、自分らしい生活や提案をし続けたいと思い、地域おこし協力隊に応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

＜音楽の定着化＞
音楽活動の経験を活かし、音楽溢れる空間と人との交流の場を創出します。
＜ストックを活かした賑わい創出＞
道の駅玉露の里や市民の憩いの場である蓮華寺池公園など、ストックを活かしたイベント実施を行い賑わいを創出します。

## 活動内容

**●玉露の里お茶まつり**

「玉露の里　お茶まつり」において、茶室を利用した朝ヨガ、朝比奈城跡ハイキングを実施。藤枝市出身のシンガーソングライターを招き、コンサートも開催しました。様々な年齢層の方にお楽しみいただけました。

**●「草の上のピアノ」イベント**

蓮華寺池公園の景観と集客力を活かし、芝生の上にランダムにトイピアノを設置。自由に触って弾いていただきました。偶発的な音楽空間が生まれ、音楽を通じて人との交流を創出しました。

**●ストリートピアノ**

蓮華寺池公園のイベント広場にストリートピアノを設置。色んな方に弾いていただき、賑やかな空間が生まれました。定期的にピアノを設置することで、「蓮華寺池公園に音楽があることが当たり前」の空間を創っていきます。

## 連絡先

# 静岡県藤枝市　柴田　美優

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
29歳
【転出元】
東京都中央区
【前　職】
自営業
【活動時期】
R３.11～

## 協力隊に応募したきっかけ

元々祖父母が商店街エリアで商店を営んでいることもあり、商店街には小さな頃から親近感を持っていました。
しかしながら、過疎化や店主の高齢化、後継者の不在によりお店を閉めてしまう店舗もあり、慣れ親しんだ商店街が寂れていく様子を見て、どうにか以前のような賑わいを戻し、次の世代にもつなげることができないものかと思い、応募しました。

## 今後の抱負･任期後の目標

栄養士やヨガインストラクターの資格を活かし、商店街と地元の高校生とのコラボ商品の開発や商店街エリアの回遊促進のため、寺ヨガ等のイベントを実施したいです。
藤枝市の商店街は歴史も長く、周りには観光できる場所も備わっているため、SNS等で発信することにより、市内のみならず市外・県外の方にも商店街の魅力を伝え、商店街を身近に感じてもらえるように、これから活動をしていきたいと思います。

## 活動内容

**●長楽寺花回廊**

藤岡幼稚園の園児が描いたプランターに藤枝北高等学校の生徒が育てた花の苗（パンジー、ビオラ）を植栽した。植栽にあたっては、地域おこし協力隊及び同園児とその保護者、長楽寺商工振興会の店主らが共働して実施。

**●地域の魅力発見！豪華食事付きバスツアー抽選キャンペーン**

藤枝北口商店有志連合が主催する「地域の魅力発見！豪華食事付きバスツアー抽選キャンペーン」に参加すると抽選で当たる「藤枝満喫！バスツアー」の企画・運営を担当。

**●プロキング静岡**

「ごみを拾いながらジョギングする」SDGsスポーツを藤枝市で主催。商店街エリア中心を対象エリアとし、地域住民に交流の場を提供するともに、参加者の健康増進と環境問題への意識改革を進める。

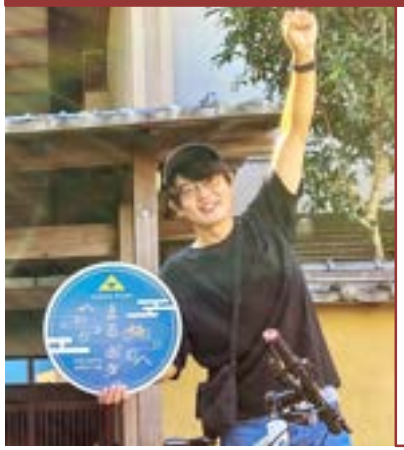
## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（インスタグラム）藤枝市地域おこし協力隊

# 静岡県伊豆の国市　平尾　潤

**観光・情報発信**

## 基本情報



【年　齢】
34歳
【出身地】
静岡県下田市
【転出元】
埼玉県朝霞市
【前　職】
Web制作
営業兼ディレクター
【活動時期】
R2.11～

## 協力隊に応募したきっかけ

歳を重ねるにつれて、故郷である伊豆の魅力を感じることが多くなったのですが、その一方でなじみの店舗や観光施設がなくなっていく姿も目のあたりにし、課題感を感じていました。
そのような中で、地域おこし協力隊の制度を知り、地域の課題に柔軟な関わり方が出来ると考え応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

営業や販売、プロジェクト進行といった経歴や地域おこし協力隊の活動で培ってきた地域内の人脈を生かして、地域課題の解決を目指す地域商社を運営していきたいと思っています。
民間企業だからこそ出来るアプローチの仕方を行うことで、行政や半民半官の団体では身動きが取れない部分を補うことができ、経済活動を行いながら地域をPRできると確信しています。

## 活動内容

### ●サイクルツーリズム商品の開発

伊豆の国市は伊豆の中心地に位置しており、他市町へのアクセスの良さや市内を流れる狩野川沿いの堤防などサイクリストにとって走りやすく魅力的な環境が揃っています。その強みを生かし、旅行会社のHIS、自転車メーカーのMERIDAとサイクリングの旅行商品開発・販売を実施しました。

### ●自転車振興を活用したシティプロモーション

伊豆の国市と地方銀行であるスルガ銀行のシティプロモーション企画のディレクション・進行を担当しています。首都圏から移住してきた視点を生かして、テーマに沿ったコースや立ち寄りどころを設定し、市の魅力を発信しています。

### ●大河ドラマに向けた情報整備

伊豆の国市は2022年大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の舞台となり、観光客の増加が予想されてましたが、Webサイトなどのタビマエ、タビナカで参考にするような情報源が不足していました。
そこで、市内の関係施設や歴史的な背景のある神社仏閣、文化財をまとめたWebサイトを整備しました。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Twitter） https://twitter.com/izunokuni_okosi（共通アカウント）

# 静岡県伊豆の国市　渡邊　公二郎

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
38歳
【出身地】
神奈川県 平塚市
【転出元】
神奈川県 小田原市
【前　職】
神奈川県庁
【活動時期】
R4.5～ R7.4
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

家族介護に長年携わった経験から、その大変さや辛さを知った当事者の自分だからこそできることが、協力隊の活動にあると考えたためです。
また、地域や民間事業者・市との連携は、官民どちらの経験もあり、人のニーズを汲みとれるヒアリング能力や調整力がある自分になら実現できると考えたからです。
これまでの経験や自分自身の強みを生かして、より直接的に人の力になれる地域の担い手になりたいと考え応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

地域の人たちと積極的に交流して伊豆の国市への理解を深め、これまでの民間・行政の経験を生かし、地域のまちづくりに精一杯取り組んでいきたいと思います。
地域をより活性化させるためには、地域住民の声を拾い上げ、地域の魅力を発信して外部の人や関係者にアピールし、市という強力な行政の力とそれを生かせる関係団体をつなぐ人の存在が必要です。
私自身がそういった存在になって、任期満了後に地域活性化の中心人物になれるように頑張りたいと思います。

## 活動内容

**●お散歩市（マルシェ）を毎月開催**

地域の商店街の人にも協力をいただいて、地域の出店者を集めたお散歩市（マルシェ）を第2日曜日に毎月実施しています。
車両通行止めによる歩行者天国を実施し、地域の人の交流の場をつくり出しています。
近隣の高校生や都心の大学生などの協力を得て、運営を行っています。

**●地域の交通拠点「温泉駅」を改修してまちを活性化**

地域の公共交通機関と連携して、地域の交通拠点であるバス停留所「温泉駅」の一部を改修し、地域の賑わいづくりを行っています。
野菜を売ったり、人と本とをつなぐ「旅する古本」のサービスを始めたりして、地域の交流の場や観光拠点づくりを進めています。

**●廃旅館を再整備して観光誘客・地域交流拠点へ**

温泉場の中心地にある休業中のさかなや旅館の工事を行い、観光誘客・地域交流拠点及び分散周遊型観光地における拠点として再整備を行っています。
新コンセプト型の宿泊施設・物販飲食施設・駐車場などを整備し、宿泊者が車を置いて、シェアサイクルやバスなどで市内を周遊できるよう進めています。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Twitter） https://twitter.com/izunokuni_okosi（共通アカウント）

# 静岡県川根本町　山下　光貴

観光・情報発信

## 基本情報

【年　齢】
25歳
【出身地】
静岡県 磐田市
【転出元】
静岡県 掛川市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R3.6～

## 協力隊に応募したきっかけ

川根本町にお住まいの方に紹介して頂いたことをきっかけに、川根本町に興味を持ち何度も通うようになりました。
協力隊を募集されている担当課の方や、就任してから関わる方々と直接お会いして、隊員に求めていることを聞いた中で、自分がやりたいことと合致したため応募を決意しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

川根本町の観光を盛り上げることを目標に活動しています。
既存のコンテンツの満足度を上げることを考えたり、
自らコンテンツを考え、企画して実行したりしています。
任期終了後には、同じ観光を盛り上げられる仕事をして生活できるように日々考えています。

## 活動内容

### ●プロギング

地域の方々に名前と顔を覚えてもらうことと、南アルプスユネスコエコパークの普及啓発を目標に、
ゴミ拾い＋ジョギングをイベント化した「プロギング」を毎月行っています。活動の一番のキモは後世にゴミを残さない。拾っている姿をアピールして捨てさせない。段々活動に参加してくれる人が増え、今では地域の1つのコミュニティになりつつあります。

### ●ネイチャーガイド

川根本町の自然・歴史・文化等の既にある資源を活かして、楽しく伝えるガイドをしています。
ダム散策、カヤック体験、トレッキングガイドなど、アクティビティを含めてコンテンツは様々です。
ネイチャーガイドは、既にあるコンテンツの満足度を高めるための手段です。ぜひ一度体験して頂ければと思います。

### ●観光コンテンツの企画

もっと川根本町の観光が盛り上がるにはどうしたらいいんだろう？盛り上がるってどういうこと？を考えて、新たな企画を提案したり実行したりしています。これまでマルシェの企画・運営や観光ツアーの企画・運営等を行っています。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（協力隊 instagram）https://www.instagram.com/kawane1089/

# 静岡県川根本町　渡辺　実優

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
22歳
【出身地】
静岡県　牧之原市
【転出元】
静岡県　牧之原市
【前　職】
静岡文化芸術大学　学生
【活動時期】
R3.6～

## 協力隊に応募したきっかけ

大学生3年生のときにゼミの関係で川根本町と関わりました。住民の人柄や、若者がやりたいことを応援してくれる姿勢をみて、この町で自分の好きなことを仕事にしたいと思うようになりました。
もともと田舎が好きだったこと、同ゼミの学生2人も川根本町へ引っ越すことから移住を決断しました。
大学時代はデザインや地域創生について勉強していたためそのスキルを活かせる協力隊の仕事を紹介してもらい、大学4年生の6月から活動を開始しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

私の主な活動は観光の情報発信・PRですが、長期的にこの町を維持するには移住者や若い世代の流入が必須です。
観光は町を知り、深く関わる良いきっかけになります。1度で終わらない観光から、関係人口を築いていき、この町の最大の魅力である「田舎ならではの人柄の良さ」を伝えていきたいと思います。
協力隊終了後は、趣味である「わな猟」をキーワードに狩猟ツアーや学生受け入れを行い、狩猟から町を盛り上げていきたいと思います。

## 活動内容

**●狩猟ツアー**

川根本町では獣害や狩猟者の高齢化が問題となっています。一方で若い女性を中心に「わな猟」の免許取得者が増えています。
自然や昔ながらの生活スタイルに興味のある方へ向けて、手軽に始められる猟体験を整備しています。
動物捕獲後はジビエ肉として地域飲食店へ卸します。

**●自然ガイド**

エコツーリズムを推進する「エコティかわね」にて地域ガイドをしています。
活動内容はSNSを通じて町内外の人に発信します。
お客さんが楽しむことはもちろん、町民がその様子を見て町の魅力を再認識してもらえたらと思います。

**●情報発信**

【Googleマップ】
町の周遊性を上げるため、手軽にネット掲載できるGoogleマップを活用して情報発信

【デザイン】
地域イベントのチラシ、特産品のパッケージを作成

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
協力隊インスタ→　https://www.instagram.com/kawane1089/
わな猟インスタ→　https：//www.instagram.com/gibier.k.m2022/

# 愛知県岡崎市　服部　紗代

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
39歳
【出身地】
愛知県稲沢市
【転出元】
愛知県一宮市
【前　職】
民間企業の人事担当
【活動時期】
R３.10～

## 協力隊に応募したきっかけ

コロナ禍で社会の変化や働き方、人生観について考えていた時に、自然環境・文化・産業が持続的に循環する地域づくりを真剣に熱く考える岡崎・額田地域の人たちと出会い、里山の可能性に魅了されました。

美しい自然や文化に育まれた岡崎・額田地域で、日常や地域のつながりの中に、豊かさや生きがいを感じられる暮らしを地域内外に発信したい、自分自身が地域づくりの一助となりライフワークにしたいという思いから、協力隊に応募しました。

## 今後の抱負･任期後の目標

魅力ある地域づくりにおいて、岡崎の誇りを再認識し住民自身が地域のファンであること、住民×住民、市×住民の多様なつながりを深めることの促進に取り組みたいです。そのために、住民、地元企業、活動団体等の皆さんの思いを伺い、「当たり前」の中にある岡崎らしさに関心を向けてもらえるよう、民間企業における人事経験を活かしたヒアリングや関係構築を図りながら、住民創出型の地域づくりに挑戦していきたいです。

## 活動内容

**●額田地域の魅力発掘！**

里山の交流場 ”茶端会議”を開催。
茶づくりが昔から受け継がれる額田地域で
井戸端ならぬ茶畑で、住民とマチ中の女性達とが
おしゃべりしながら、里山の暮らし、遊び方など、
地域の当たり前の中にある魅力を発掘しています。
活動状況は地域の瓦版で発信し輪を広げています。

**●額田地域の魅力を磨く！**

額田の達人と歴史を楽しむコンテンツづくりとして
地域で語り継がれる歴史や伝承を住民のみなさん
からヒアリングし、地域独特の暮らしや文化を
残していく活動をしています。戦国時代の城址、
猪垣、旧道・古道など、額田の歴史を辿りながら
里山の生きる知恵を体験できる企画をしています。

**●額田地域の魅力を発信！**

里山の暮らし体験/楽しみ方体験をするイベントや
地元小学生との額田の魅力発信する企画、
地域のおさんぽパンフレット作成、Instagramなど、
地域外の方に額田を知っていただく活動と、住民の
みなさんがふるさとの価値を再発見していただくき
かっけとなるように情報発信を行っています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）chusankan@city.okazaki.lg.jp
（電話番号）0564-23-6206

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Instaguramで地域情報を発信中！
皆さんフォローをお願いします！！

NUKATA.OKOSHI

# 愛知県東栄町　冨田　達郎

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
４８歳
【出身地】
愛知県大府市
【転出元】
愛知県大府市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R4.4～ R7.3
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

和太鼓志多らが地域貢献を目的に活動しているNPO法人てほへのリクルートに応募するにあたり、前職で身につけた旅行業のスキルを活かし東栄町、奥三河の観光資源を活かして地域おこしに貢献したいという想いから地域おこし協力隊に応募しました。

## 今後の抱負･任期後の目標

［抱負］
地域観光資源の活用と新たに発掘して東栄町、奥三河の情報発信をしていきたい。
のき山学校を単なる廃校利用ではなく東栄町、奥三河の文化交流、観光の中心となる施設になる様に活性化していきたい。
［任期後の目標］
観光資源を活かし、世界中に情報発信をし、沢山の人に東栄町、奥三河に訪れるていただきたい、そして奥三河・東栄町のファンの輪を作りたい。
東栄町、奥三河の活性化が私の目標です。
・着地型旅行商品の造成。
・東栄町に地域限定旅行業登録の法人設立

## 活動内容

**●NPO法人てほへにて特に『東栄町体験交流館のき山学校』の管理運営を行っています**

この半年間は、東栄町をはじめ奥三河の現状と可能性を知ることを行なってきました。知れた事はまだまだ一部分だとは思いますが、様々な問題を抱えながらも東栄町、奥三河に住む人や、関わる人が元気に頑張っているという感想です。
そして、文化、ひと、自然、農、工など各界に良い素材が沢山あるが外に知られていないだけで情報発信をする事でおおいに発展する伸びしろが沢山あることも分かりました。
これから、情報発信や地域観光資源の発掘など地域おこし協力隊として私自身のやれることを実行していきたいと思います。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
E-mail:tomita@tehohe.com
てほへ本部:0536-79-3970
のき山学校:0536-76-1722

# 滋賀県近江八幡市　大矢　沙代

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
42歳
【出身地】
神奈川県藤沢市生まれ
奈良県奈良市育ち
【転出元】
大阪府大阪市
【前　職】
旅行事務→住宅設計＆インテリアデザイン
【活動時期】
R4.7～

## 協力隊に応募したきっかけ

・コロナ禍で、働き方や暮らし方に変化を持たせたいと考えていたため。
・旅行の仕事、建築の仕事の両方の経験が生かせる仕事をしたいと考えていたため。
・仕事柄、旅行や建築に興味があり、近江八幡には度々訪れており、魅力を感じていたため。

## 今後の抱負･任期後の目標

・SNSで情報発信
・ZINEの発行

・場づくり（シェア型書店orブックカフェなど）
・観光の仕事と建築の仕事の掛け合せ
（インテリアデザイナーが運営するお土産ショップなど）

## 活動内容

● 「暮らしを楽しむ観光」

近江八幡の暮らしや文化を体験してもらう観光の仕組みづくりや、SNSやZINE（小冊子）を用いた情報発信を予定しています。

町をじっくりのんびり歩いて楽しんでいただける方々が増えるような活動、町の人と観光客の交流を促すことができる活動をしていきたいと考えています。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
instagram　→　kurashi_oumihachiman

# 滋賀県近江八幡市　角田　哲也（かくた　てつや）

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
43歳
【出身地】
青森県八戸市
【転出元】
東京都福生市
【前　職】
フリーランス
【活動時期】
R2.7～

## 協力隊に応募したきっかけ

以前勤めていた会社を退職してフリーランスになったのをきっかけに、東京から地方への移住を検討していました。趣味のトライアスロンで快適に練習できそうな、自然豊かで水辺が近い環境を探していました。何度か観光で訪れたことのある近江八幡市で、協力隊の募集が出ていることを知りました。募集内容は観光分野だったため、前職での経験を活かせるのではないかと思い、応募させていただきました。

## 今後の抱負･任期後の目標

長引くコロナ禍で観光業界は厳しい状況が続いています。また旅行者のニーズが多様化し、観光関連の産業構造も変わってきています。社会情勢の変化をチャンスととらえ、アフターコロナの需要回復に向けて、IT技術を活用した新しいプロモーションを仕掛けてみたいと考えています。任期後は協力隊でつちかった経験や人脈を活かし、観光関連のVR分野で起業することが目標です。

## 活動内容

**●建築観光案内VR制作**

市内に残る町家やヴォーリズ建築など、文化財建造物をデジタル化してウェブで公開しています。パソコンやスマホの画面上で、自由に内部を見学いただくことができます。一般公開されている作品については、見学情報も併せて記載しています。
（ウェブサイト） https://omivr.net/

**●着地型旅行業**

近江八幡の観光資源を活用した旅行商品の造成に取り組んでいます。琵琶湖で唯一の有人島、沖島のモニターツアーなどを開催しました。滋賀県のインバウンド向け観光プロモーションにも協力しています。

**●観光情報発信**

SNSで地域の観光情報を発信しています。移住者目線で地元の名店や見どころを発掘するのが楽しみです。ビワイチ関連のサイクリングコースを紹介する動画も作成しています。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（ウェブサイト）https://wabiko.net/
（Instagram） https://www.instagram.com/wabikonet/
（Twitter） https://twitter.com/wabikonet

# 滋賀県甲賀市　福島　嵩仁

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
37歳
【出身地】
千葉県松戸市
【転出元】
東京都北区
【前　職】
ヤフー(株)
日本忍者協議会
【活動時期】
R3.4～ R6.3
（2年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

忍者が好きで忍者の聖地に住みたかったのですが、伊賀よりも甲賀で「打倒伊賀」を目指した方が忍者界全体が盛り上がると考え、甲賀忍者の末裔の方の家をお借りできるというタイミングも重なり、甲賀への移住を決意しました。また、忍者の学術研究を行うにあたっても、甲賀に移住したほうが進めやすいという理由もありました。甲賀で忍者による町おこし・学術研究をするにあたっては、協力隊の制度を活用し、半分公的な立場であった方がやりたいことを進めやすいと思い、応募いたしました。

## 今後の抱負・任期後の目標

最終的にはリアルな忍術を体験できるアクティビティを、甲賀市の至るところで開発していき、「甲賀市に行けばあらゆる側面から忍者になることができる」状況を作りたいと思っています。そのために、忍術実践・情報発信とアクティビティ開発や、史跡等の活用イベント開発、古民家空き家の忍者屋敷化などを進めていきたいです。任期満了後は、それらの忍者アクティビティの運営・提供や忍者イベントなどを運営する会社を起こして起業する予定です。

## 活動内容

**●滋賀大ビジコン優勝・忍術健康修行ツアー開発**

滋賀大学「ウェルネスツーリズムプロデューサー講座」のビジネスプランコンテストにて、甲賀の三霊山を活用した忍者修行×健康増進プランを提案し、最優秀賞をいただきました。その後モニターツアーを行い、多くの方から高評価をいただきましたので、一般向け商品化を目指し準備しています。

**●幻の忍術書「間林清陽」発見**

江戸時代の忍術書「間林清陽」の写本を甲賀市内から発見し、R4年6月に記者発表を行いました。数多くの全国メディアにも取り上げられました。内容の翻刻・現代語訳も行い、観光施設への展示を行っています。また、R５年2月に向けて書籍の出版や忍術書に書かれた忍具の復元なども進めています。

**●観光庁補助事業「城郭活用サバゲー」企画・運営**

甲賀市の城郭跡を活用した「合戦サバゲー」を考案し、観光庁「地域の稼げる看板商品創出事業」に採択されました。R4年10月に水口岡山城跡にて夜の合戦を再現する「忍夜討2022」を実施し、100人ほどの参加者が集まりました。その他小規模な中世城郭を活用した定常コンテンツも開発・実施しています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）t-fukushima@koka-kanko.org

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
YouTube： https://www.youtube.com/c/NinTube
Twitter： https://twitter.com/shinobi803
note：https://note.com/shinobi803/

# 京都府京丹後市　栗村　一史

観光・情報発信

## 基本情報

【年　齢】
43歳
【出身地】
岩手県大船渡市
【転出元】
愛知県名古屋市
【前　職】
飲食店(手打ち蕎麦と会席料理)
【活動時期】
R4.3～ R7.2
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

海の綺麗な田舎で手打ち蕎麦屋を営みたいという思いがあり久美浜町への移住を決めました。
久美浜町のシンボルであるかぶと山。その中にあるキャンプ場から地域を盛り上げたいとの思いから地域おこし協力隊に応募しました。

## 今後の抱負･任期後の目標

基本的にキャンプ場に常駐して管理の仕事も兼任しています。キャンプ場を盛り上げ集客を増やすことで、久美浜周辺の観光活性に繋げていきたいです。
任期後は久美浜町で石臼引きの手打ち蕎麦屋を開業したいです。

## 活動内容

### ●蕎麦打ち体験教室

キャンプ場の管理施設　虹の家　多目的ホールを使いキャンプ場利用者様むけの蕎麦打ちの体験教室をはじめました。

### ●キャンプ場業務

キャンプ場受付　電話対応　清掃　場内の整備等管理人助手としてキャンプ場内の通常業務を兼任しています。

### ●かぶと山公園及び登山道の環境整備

・公園の草刈りや清掃
・かぶと山の登山道の整備・清掃・点検

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）kabutoyama@chorus.ocn.ne.jp
（電話番号）0772-83-1457
かぶと山公園キャンプ場
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://www.facebook.com/kumihamakabuto

# 京都府宇治田原町　高橋　一樹

観光・情報発信

## 基本情報

【年　齢】
26歳
【出身地】
和歌山県　橋本市
【転出元】
大阪府　大阪市
【前　職】
学生
【活動時期】
R3.3～ R6.3
(2年目)

## 協力隊に応募したきっかけ

学生時代、大学を休学し、コピーライターとして大阪の出版会社で勤めておりました。1日の多くの時間をPCの前で過ごし、自然が身近にない生活に違和感を感じていました。鹿児島県にある屋久島へ一人旅へ行き、田舎暮らしの豊かさに感化され、田舎の人の温もりや自然の豊かさを感じながら〈生きる選択肢〉を探していました。そんなタイミングで、宇治田原町と出会い、まちの人や自然に魅力を感じて協力隊を応募するに至りました。

## 今後の抱負・任期後の目標

憧れの生活とはいえ、食べていけなければ活動は続けていくことができません。任期後、生計を立てられる事業を築いていきたいです。また、地域の方々に返せないほどの恩恵をいただいており、なんらかの形でお返ししたいので、自分が生計を立てられるだけでなく、地域の方々に少しでもお返しできる事業を築いていきたいと思います。
また、大阪で仕事をしていた時、生きる気力を失っていた時期がありました。いつか、そんな人たちを温かく迎え入れる環境を作ることができたらと思っております。

## 活動内容

**●観光交流施設「宗円交遊庵やんたん」の運営支援**

宇治田原町の観光交流の拠点「宗円交遊庵やんたん」の運営支援として、接客・会計・渉外・在庫管理等を担っています。イベント運営のサポートも任されており、2022年10月に開催された「やんたんマルシェ」では、企画・準備・出展者の呼びかけ等を行いました。

**●地域の自然を利用したイベント･講座等の開催**

前年度に引き続き、地域にある豊かな自然を活かしたイベントとして、専門人材を講師に招いた「土壁アート」イベントを開催。子どもたちを中心に12名の参加がありました。今後も定期的に地域の自然・文化に触れることのできるイベント等を開催する予定。

**●地域の特色を活かした商品開発と情報発信**

「協力隊通信」として、地域の観光施設等をインスタやＦＢで発信中。また、今年度からの取り組みとして、耕作放棄茶園を整備し茶の実を収穫して〈美容オイル〉作りを進めています。収穫や皮むき等の作業は地域の方々にもお手伝いいただいています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
〔メールアドレス〕shoukou@town.ujitawara.lg.jp（宇治田原町産業観光課）
〔電話番号〕0774-88-6638（宇治田原町産業観光課）
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
(協力隊通信)
https://www.instagram.com/ujitawara_kyoto/?hl=ja
https://m.facebook.com/宇治田原町観光情報－150800842112695/

# 京都府宇治田原町　山内　加絵

観光・情報発信

## 基本情報

【年　齢】
24歳
【出身地】
大阪府　高槻市
【転出元】
大阪府　高槻市
【前　職】
介護職員
【活動時期】
R4.2～ R7.2
（１年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

前職の介護職では、自分自身と向き合う機会が多くあり様々な気付きもありました。人を笑顔にすることが好きだということや、もっと自由に動ける環境で自分の能力や可能性を試したいということ。また、自身の強みである考える力を自分らしくのびのびとした宇治田原町の環境の中で最大限に活かし、人々の笑顔や楽しいに貢献したいという思いから、協力隊への応募に至りました。

## 今後の抱負・任期後の目標

現在、考えている活動目標は、町内のつながりとまちへの愛着を深くし、地域一体となって魅力を発信していくことで、宇治田原町を『人に会いに行きたくなる、帰りたくなる町』にしていくことです。具体的には、地域の人たちが生き生きと楽しめる場をつくること。そして、そのような場をとおして、人と人とのつながりを強くし、人と自然、産業の魅力を大きく発信していきたいと思っております。

## 活動内容

**●観光交流施設「宗円交遊庵やんたん」の運営支援**

宇治田原町の観光交流の拠点「宗円交遊庵やんたん」の運営支援として、接客・情報発信等を担っています。今後、コロナ後の観光需要の回復によるインバウンド向けに、語学力を活かした接客を進めていきたい。

**●地域の特色を活用したイベント・講座等の開催**

「日本緑茶発祥の地」である本町の歴史・文化を活かしたイベントとして、自身が講師となり地域の方々のお手伝いをいただき「親子でお茶でＣＯＯＫＩＮＧ！」講座を開催。2家族5名の参加がありました。今後も定期的にイベント・講座等を開催する予定。

**●地域の特色・魅力の情報発信**

「協力隊通信」として、地域の観光施設等をインスタやＦＢで発信。また、「宗円交遊庵やんたん」のランチメニューである「茶汁」が文化庁100年フードの認定を受けたため、伝統食を広く知っていただくための広報活動にも取り組んでいる。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
〔メールアドレス〕shoukou@town.ujitawara.lg.jp（宇治田原町産業観光課）
〔電話番号〕0774-88-6638（宇治田原町産業観光課）
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（協力隊通信）
https://www.instagram.com/ujitawara_kyoto/?hl=ja
https://m.facebook.com/宇治田原町観光情報－150800842112695/

# 京都府笠置町　安藤　優史

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
49歳
【出身地】
北海道札幌市
【転出元】
奈良県斑鳩町
【前　職】
会社員
【活動時期】
R2.4～ R5.3
（3年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

笠置町の観光資源や伝統行催事等、町の魅力を映像コンテンツを活用して発信することで、観光誘客・交流人口の拡大に繋がり、将来、自信の活動に活用していけたらと考えたのがきっかけです。

## 今後の抱負･任期後の目標

毎月テーマを考えて活動しています。その月毎に動画を完成させて放映を進めています。任期も半年を残すところまで来たので月々の活動で、纏まった形に出来たらいいと思います。笠置町と今後も関わって行きたいです。

## 活動内容

**●駅前改札モニターで動画放映**

JR笠置駅改札にモニターが設置されているので、町内で営業している店舗への誘客、観光資源のPRをする目的で動画を制作しました。モニターを管理しているまちづくり株式会社のご協力により、放映することが実現しました。

**●竹細工制作店舗の紹介動画作成**

笠置町内の木津川流域、ロケーションの良い場所で制作・販売している柿渋を使った竹細工店舗の紹介動画制作を行いました。潜没橋や土木学会選奨土木遺産の認定を受けている、関西本線木津川橋梁などお店を訪れて直ぐ近くに楽しめる場所があることを紹介しました。

**●明治時代に作られた鉄道橋梁を紹介**

笠置町には、明治時代に私鉄5大鉄道に数えられた関西鉄道が開設した路線を、現在もJR西日本が営業に使用していて当時の鉄道橋梁も現存しています。石材や煉瓦を使用した橋脚やトレッスル構造の橋など案内をすることで、観光客に興味を持って貰える期待をこめて制作しました。

## 連絡先

（メールアドレス）chiikiokoshi.kasagi.town@gmail.com
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（笠置町地域おこし協力隊Facebook）
https://www.facebook.com/kyotokasagiokoshi
（笠置町地域おこし協力隊YouTube）
https://www.youtube.com/channel/UCDotdfbA01QmWJyB1paAZtQ

# 京都府和束町　盛上　雄登

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
25歳
【出身地】
京都府　宇治市
【転出元】
京都府　宇治市
【前　職】
サービス業
【活動時期】
R3.4～ R6.3
（2年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

これまでに茶摘み体験などお茶に関わる機会が多く、自分の経験も踏まえて多くの人にお茶を知ってもらいたいという思いからお茶で有名な和束町に応募した。また、自分で企画したイベントなどでたくさんの人を笑顔にできる町おこしがしたいと思った。

## 今後の抱負・任期後の目標

引き続き、観光案内所でお客様に喜んでもらえるような案内を心がけます。観光案内所が観光に来られた方に立ち寄ってもらえるような場所になることを目指したいです。
任期後も和束町に携われるような活動をしていきたいと考えています。

## 活動内容

**●和束町観光案内所**

和束町観光案内所にて、町内の観光名所の案内や道案内等観光業務に携わっている。

**●オリジナル一筆箋作製**

和束町にある正法寺をモチーフにした、オリジナル一筆箋を作製。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）chiikiryoku@town.wazuka.lg.jp
（電話番号）0774-78-3002
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
【Twitter】
https://twitter.com/wazuka_tourist/status/1458312773705039872?s=46&t=CmYiQtAsmvvZykgLhvJU8g

# 兵庫県多可町　黒川　直樹

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
43歳
【出身地】
東京都小平市
【転出元】
東京都江東区
【前　職】
フリーランス
【活動時期】
R2.11～

## 協力隊に応募したきっかけ

協力隊の応募前に多可町をご案内いただいた際、地元の方のお人柄と多可町の風土に惹かれ、この土地で取材や体験、情報発信に携わりたいと思いました。

多可町に移住した方々のインタビューを読み、皆さんが楽しんで暮らす様子が伝わってきて、私もこの町に根を下ろしたいと感じたことも追い風でした。

## 今後の抱負・任期後の目標

町内の事業者さん、職人さん、先輩方を取材させてもらい、情報発信を充実させたいと思っています。景観やイベントの記録なども、回数を増やします。

任期後は、町内で法人を立て、コンサルティング＆クリエイティブの事業を行う予定です。

## 活動内容

**●多可町ラッピングバスプロジェクト** 2021年5月

移住施策の一つとして、多可町の移住者をテーマにラッピングバスをデザインしました。また、移住者へのインタビュー記事やSNSと連動させ、デザインだけに留まらない工夫を施しました。
バスは神戸～USJなど、神姫バスの路線を運行中です。

**●写真展「多可町の森の人」** 2021年12月

多可町内で活動・事業を行うモデル21組・写真100点を展示しました。写真フレームに町内産の檜を使い、各モデルの取材記事とSNS／HPも連動。写真展の枠組みを広げ、より多可町に根ざした広い情報発信を試みました。

**●多可町ファンクラブ** 2022年4月（サイト公開）

多可町の情報を町内外に、より深く伝えられるようにローカルメディアを立ち上げました。「多可町のファンになる」ボタンから、ファンクラブに登録できる仕組みで、関係人口の増加も目指します。
運営・取材・記事作成などを担当しています。
https://raku-taka.com/fanclub/

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
多可町ファンクラブ　https://raku-taka.com/fanclub/
Instagram　https://www.instagram.com/naoki__kurokawa/
Twitter　https://twitter.com/kuroko_mode

# 兵庫県市川町　近藤　克彦

観光・情報発信

## 基本情報

【年　齢】
44歳
【出身地】
兵庫県　加古川市
【転出元】
兵庫県　加古川市
【前　職】
三重県大台町役場会計年度職員
【活動時期】
R4．6～

## 協力隊に応募したきっかけ

三重県大台町で地域おこし協力隊として３年間の任期満了後、会計年度職員として４年間勤めていましたが、地元の兵庫県に戻ることになりました。
新しい仕事を探していた時に、兵庫県市川町でゴルフのアイアンをPRするという地域おこし協力隊の募集があり、過去の経験などを活かしたいと思い応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

まずはゴルフクラブの知識を深めることはもちろんゴルフの技術も上達しなければ良さを伝えられないと実感しているところです。
情報発信としてゴルフシミレーション施設のIchikawa golf studioがあるので多くの人に利用してもらえるようPRしていきたいです。
任期満了後はゴルフに関わる仕事ができればと考えています。

## 活動内容

### ●Ichikawa golf studio

ゴルフシミュレーション施設であるIchikawa golf studioの運営管理。
来場者に市川町ふるさと納税返礼品であるアイアインクラブを説明。
シミュレーション施設利用者には機械の使用方法、練習モードとコースモードの違いを説明。希望者にはスイングフォームの画像解析も行う。

### ●市川町のPR

ゴルフの大会や様々なイベントに市川町のブースを出店して、国産ゴルフアイアン発祥の地のPRを実施。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Facebook：https://www.facebook.com/profile.php?id=100082121166649
Twitter：https://twitter.com/Uvz4l7ImtoumVLr
Instagram：https://www.instagram.com/ka.ko115201

# 奈良県御所市　前原　大輝

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
30歳
【出身地】
沖縄県沖縄市
【転出元】
大阪府岸和田市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R3.7.12～

## 協力隊に応募したきっかけ

御所市在住の方に教えてもらい、募集を知った。
個人的にも御所市内のカフェでお手伝いをしていたこともあり、御所のことをもっと知れるチャンスだと思い応募。

## 今後の抱負・任期後の目標

今後は、１年目に築いた地域の方々との関係をさらに広げ、交流を増やし、個人経営のお店などとも関わりを持ちたい。
任期後は現在手伝っているカフェで営業するか、グループとして他のサービスを展開出来たらいいなと思う。
現在、上記カフェで焙煎機を借りて練習中。
起業してからだと時間も原価代も大きなロスになりかねない為、今のうちで練習させてもらえる時間を大切にしている。

## 活動内容

**●御所市内外のマルシェ等のイベントに参加**

地域おこし協力隊卒業後に自らの焙煎所・カフェを開く為に現在お手伝いしているカフェに協力してもらい、マルシェイベントに参加し、御所市の魅力を発信。
実際にイベントに参加することで、事前の準備や流れを学ぶことができ、同じイベント内の出店者の方々との繋がり、イベント後も情報の交換や、相談にも乗ってもらうことが出来るため、今後もイベント出店の機会を大事にして積極的に出ていきたい。

**●御所市観光協会事務を通して地域で活動する方々との交流**

事務作業を行っていく中で御所市の観光ボランティアガイドの会の方や各協議会の方々と関われる事が多くあり、今後の人脈つくりに大きな助けになっている。
その中でも今年は2年ぶりに開催された、大阪～奈良の観光ボランティアガイドが主催となり多くの方々に各地を歩いていただくというリレーウォークイベントに携わらせてもらうことが出来た。
御所市には100名を超える申し込みがあり、調整業務の難しさを実感しつつ、無事開催することが出来た。
初めて主催側の立場に立ち、参加者側から見えない苦労が分かり良い経験ができた。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
メールアドレス）kankou@city.gose.nara.jp
（電話番号）0745-44-3169

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（インスタグラム）
https://instagram.com/kyouryokutai.gose?utm_medium=copy_link

# 奈良県山添村　松井　涼子

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
23歳
【出身地】
奈良県河合町
【転出元】
奈良県河合町
【前　職】
無職
【活動時期】
R3.5～ R.6.4(予定)
(2年目)

## 協力隊に応募したきっかけ

奈良県河合町から山添村に移住。小さな頃から動物とふれあうことが好きで、高校や専門学校でも動物の勉強をしながら実際に飼育を経験し、本村の募集情報を見て応募。

## 今後の抱負・任期後の目標

今年度からひつじの調教を行い、11月に行われるひつじフェスではひつじのショーを実施予定。その他にも今年度からの新しい試みとして、ハロウィンイベントなども企画している。

任期終了後も牧場での勤務の継続を希望しており、地域での活躍が期待されている。

## 活動内容

山添村フォレストパーク神野山にある本村の代表的な観光施設「めえめえ牧場」において、羊の飼育・観光客の案内・体験施設併設羊舎「ひつじの学校」の運営・各種イベントや体験の企画及び運営等に従事。

フォレストパーク神野山全体の管理を村から指定管理者として請け負う「神野山観光協会」と連携しながら牧場の運営や魅力づくり、発信に努めている。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
めえめえ牧場（奈良県山辺郡山添村大字北野）
（メールアドレス）meemeemakiba@gmail.com　（電話番号）0743-86-0131
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
めえめえ牧場Instagram
https://www.instagram.com/meemeemakiba_staff/?utm_medium=copy_link

# 奈良県天川村　小野田　阿紗

観光・情報発信

## 基本情報

【年　齢】
36歳
【出身地】
奈良県天川村
【転出元】
東京都渋谷区
【前　職】
フリーター
【活動時期】
R2.7～ R5.7
（3年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

幼少期を過ごした天川村のことが大好きで、いったん両親の都合で離れることになりましたが、いずれは帰ってこようと決めていました。
これまでの飲食経験を活かしながらこの村の魅力を伝えたいと思い、カフェ担当に応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

繁忙期（夏期）には多くの観光客による利用が見込まれるなか、繁忙閑散期（冬期）との差が顕著であるため、移住定住希望者を応援できるような施設として閑散期の利用促進を図りたい。
また、将来は自然保全に関わる事を目指しており、地域の植樹へのボランティア参加や村内でアロマアドバイザー講座の受講をしている。

## 活動内容

### ●カフェ・シェアオフィス営業

季節的な繁忙期には、ファミリーをはじめ幅広い観光客への飲食提供とともに、これまで洞川温泉の常連である山参り団体客の受け皿ともなっている。
また、移住定住の玄関口であり、将来的な地域活性化につながる人が集うスペースとして、コワーキングスペースの対応を行う。リモートワーカー、研修場所利用、会議打ち合わせなどにリピート利用もされており、関係人口創出に寄与している。

### ●ネイチャーガイド

将来観光ガイドを行うことを目指し、村のネイチャーガイド養成講座にも参加している。

### ●メニュー開発

村の特産品である夏いちごを使った商品はじめ、移住された方による開発商品を使い、カフェメニューを提供する事で多くの観光客への村内の魅力発信PRとともに、新規事業の定着を応援している。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）chiikiseisaku@vill.tenkawa.lg.jp
（電話番号）0747-63-0321

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（インスタグラム）nishitomo_so

# 和歌山県由良町　江村　哲也

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
50歳
【出身地】
滋賀県高島市
【転出元】
大阪府和泉市
【前　職】
会社員（海外営業）
【活動時期】
R4.2～

## 協力隊に応募したきっかけ

Ｒ３年１１月に参加した、農業体験をきっかけに由良町を知り、この町で出来ることはないかと由良町役場に相談したところ、地域おこし協力隊を紹介され、Ｒ３年１２月末で２０年間在籍した会社を退職し、Ｒ４年２月より着任。

## 今後の抱負･任期後の目標

由良町の観光促進と、就農希望者を集めること。

今後は特にインバウンドの受入及び、産品の海外輸出も視野に行動していきたい。

任期後の目標は、上記で培った人脈、知識をいかし地元に貢献できるような事業を起こすか、それらを実践できる企業への就職。

## 活動内容

**●教育旅行受入**

・旅行会社及び、地元旅館、体験事業者との折衝及び、訪問時のアテンド全般。

**●教育旅行誘致キャラバン（愛知県、広島県）**

・和歌山県主催のスクールキャラバンに参加、中学校、高校への営業活動。

**●ムラ暮らしインターン事業　受入業務**

・昨年参加した、農水省事業の受入業務、参加者の選考から、地元農家、宿泊先との折衝。
　及び、訪問時のアテンド業務全般。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
インスタグラム　アカウント名 :temu908

# 鳥取県琴浦町　谷敷　友香

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
３０歳
【出身地】
北海道恵庭市
【転出元】
東京都三鷹市
【前　職】
ＪＡの農畜産物直売所
【活動時期】
Ｒ４．１０～

## 協力隊に応募したきっかけ

観光で琴浦町へ訪れた際に自然豊かな環境に憧れを抱き、琴浦町への移住を決意しました。東京都有楽町で開催されていた鳥取移住フェアに参加をしたところ、当時の琴浦町地域おこし協力隊の隊員にお仕事の紹介を受け、地域おこし協力隊の活動を知りました。前職の農畜産物直売所ではＳＮＳを使用し、特産品やイベントの情報発信を行っていましたので、これまでの経験が活かせる「情報発信専門員」に応募をしました。

## 今後の抱負・任期後の目標

これまでの経験を活かし、町内のイベントや行事・伝統など、町民に親しみのある情報をSNSで発信していきます。
趣味でパン作りも行っていますので、パン作りに適した食材や乳製品が豊富に揃う琴浦町で、趣味のパン作りを向上させていきたいです。
任期後の目標はまだ移住・着任して間もないので、情報発信の力を身につけながら今後の３年間の中で見付けていきたいと思っています。

## 活動内容

### ●フェイスブックの更新

町民に行き届いていない行政の情報や地域のイベント情報などを、琴浦町のフェイスブックで発信しています。
イベントについては、事前の告知と終了後に報告を行うことで、より参加してみたいと思ってもらえる情報発信に努めています。

### ●地域に向けた活動内容の発表

琴浦町内で行われた熱中小学校において、地域おこし協力隊としての今後の取り組みを発表し、地域の人々と交流をしました。
※熱中小学校とは、廃校・空き施設を利用した「大人の学び塾」です。１０月２２日に琴浦町地域おこし協力隊が講師として登壇しました。(その際の資料→)

### ●農業体験

有機野菜を育てる元地域おこし協力隊の農家に出向き、にんじんの間引きの農業体験をしながら「農業の魅力」や「この土地の良いところ、もっと発展してほしいところ」などを話し合い、地域の農業者と交流をしました。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）yashiki@town.kotoura.tottori.jp
（電話番号）0858-52-1708

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
(琴浦町フェイスブック)https://www.facebook.com/kotouracyou
(地域おこし協力隊フェイスブック)https://www.facebook.com/kotourachioko

# 鳥取県琴浦町　前田　桃子

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
23歳
【出身地】
福井県 あわら市
【転出元】
福井県 あわら市
【前　職】
企業の採用広報
【活動時期】
R3.9～ R.6.9
（２年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

結婚後の暮らしの拠点を探していた際、サウナ観光で琴浦町にある一向平(いっこうがなる)キャンプ場Nature Saunaへ訪れました。質の良いサウナや海と山が近い自然に恵まれた環境に惹かれていたところ、地域おこし協力隊の募集があることを知りました。協力隊の活動内容が、自分の能力と合致していた事、また旦那も良い職(一向平キャンプ場)と出会えたことをきっかけに、協力隊に応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

今後の抱負自分たちに合う暮らしを求め、移住しました。暮らしを安定させてゆくためにも、任期中に町内で「わたしのイラスト・デザイン」分野の根をつくっていく事が必要があります。ただ、役場内の仕事だけではそれを根付かせて行くことは難しいため、町民の方との関わりを探しています。(参照：右「**●まちとの関わり**」「**●イベント参画**」)

## 活動内容

**●観光情報発信業務**

■町の公式SNS(Instagram)での情報発信
■イラストを活用したデザイン業務(チラシ、看板)
■冊子の作成(右の写真)
・琴浦サウナ飯：町内の飲食店を取材ー作成
■町にまつわる漫画の作成
※詳しくは右下の二次元コードをご覧ください。

町公式Instagram

**●まちとの関わり**

■町内の自家焙煎珈琲屋
・ドリップ珈琲パッケージイラスト
■町内のモビリティークループ
・車屋のスタッフ紹介をするチラシ作成(2ヶ月に 1)
※詳しくは右下の二次元コードをご覧ください。

**●イベント参画**

町の公民館での「テント型サウナ体験」イベント
似顔絵屋の出店、
イベントチラシの作成

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）tabata@town.kotoura.tottori.jp
（電話番号）0858-52-1713／琴浦町役場商工観光課

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
活動の様子は右の二次元コードをご覧ください。

# 鳥取県琴浦町　石黒　明日香（五塔熱子）

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
36歳
【出身地】
神奈川県川崎市
【転出元】
神奈川県川崎市
【前　職】
自営業(アウフギーサー)
【活動時期】
R3.5～ R.6.3
(２年目)

## 協力隊に応募したきっかけ

関東で空前のサウナブームが起こっている中で、中国四国地方のサウナ・アウフグースを盛り上げるための拠点探しをしていた。また、自然の中でのサウナ体験ができる場所を探していた。そんな中、琴浦町に知人がプロデュースした「Nature Sauna」があることを知り、琴浦町に興味を持ち、地域おこし協力隊に応募した。

## 今後の抱負・任期後の目標

鳥取の自然がより深く体験できるものがサウナであり、手軽な気分転換の方法として、１人でも多く県内の温浴施設に行って頂けるようになってもらえたら嬉しく思います。そのためにサウナやアウフグース(サウナの中で風を送ること)を知ってもらう活動をしているので、可能な限り継続していきたい。また、アウフグース世界大会で1位を獲れるように技術も知識も身に着けて体験価値を上げられるようにしていきたい。

## 活動内容

**●Nature Saunaを通した関係人口創出**

Nature Saunaで季節ごとにフェスを開催し、サウナ愛好家が県内外から集まるイベントを行った。イベントのお手伝いとしておてつたびを導入し、サウナや地方創生等に興味のある方々と運営を一緒に行いながら関わりの深い繋がり作りを行っている。

**●町内向けのサウナイベントの実施**

Nature Saunaが町の観光資源となりはじめていることに伴い、町内の方に向けて公民館や町内の海辺などにテント型サウナを設置し、サウナ入浴の啓蒙活動を行い、健康増進やコミュニティ形成などに役立ててもらえる仕組み作りを行う。

**●鳥取県「ととのうとっとりサウナプロジェクト」への参画**

鳥取県が推進するプロジェクトのリーダー（とっとりサウナCEA）に任命され、県内の事業者様とともにサウナや温泉地を軸とした観光PRを行っている。来年度に向けて更に体験できることを増やしていくために官民合同のサウナプロジェクト会議を行っている。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（電話番号）0858-52-1708（琴浦町役場　企画政策課）

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
五塔熱子(twitter：@2525netsuko / instagram：@Netsuko_aufguss37)

# 鳥取県琴浦町　正田　好実

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
23歳
【出身地】
埼玉県 新座市
【転出元】
埼玉県 新座市
【前　職】
大学生
【活動時期】
R3.5～ R.6.3
（２年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

都会と地方では生活が違うことが興味深く、地方で暮らす体験をしてみたいと思ったから。
JoinとSMOUTで募集を探し、興味を持った募集先の担当職員さんや先輩協力隊に話を聞き、情報を収集した。

## 今後の抱負・任期後の目標

協力隊として活動していく中で、地方には都会にはないコミュニティの魅力や、暮らしがあると感じた。今後は、協力隊期間に身につけたスキルを活かし、ライター・コミュニティマネージャーとして任期後は活動していきたい。

## 活動内容

### ●関係人口情報発信業務

■地域おこし協力隊町の公式SNS(Facebook)、個人のSNSでの情報発信。琴浦町・関係人口創出活動に興味を持つ人を増やす。
■中国五県研修にて鳥取県代表で事例発表、鳥取インターンシップ・移住セミナーなどイベント登壇4件

### ●オンラインイベント企画運営

■コトトーク！という、琴浦町と町外在住者をつなぐオンラインイベントを企画運営
参加者にはただイベントに参加してもらうだけでなく、コトトーク！参加リピーターや、琴浦町でのまちづくりに関心ある人に、イベントスタッフもしてもらうことにより、上位の関係人口を創出

### ●サードプレイスづくり

関係人口創出のためには、町外向けの情報発信だけで無く、町内向けの町の魅力PRも必要であると考えるようになった。そこで、町内の学生向け居場所作りを今後行う予定。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）shouda@town.kotoura.tottori.jp
（電話番号）0858-52-1708／琴浦町役場企画政策課

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
活動の様子は右の二次元コードをご覧ください。

# 鳥取県江府町　加藤　紘也

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
29歳
【出身地】
愛知県半田市
【転出元】
鳥取県米子市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R4.5～ R7.3
(2年目)

## 協力隊に応募したきっかけ

鳥取で就職した際に仕事で日野郡へ訪問する機会が多く、人口や働き手の減少など、過疎地域ならではの問題に直面していると感じました。同時に深刻化しており、少子化が叫ばれる日本の未来には、このような地域が増えていくのだと生まれて初めて肌で感じました。働く場所などを探している際、江府町で協力隊の募集が行われていることを知り、自分でも何か貢献できることがあればと思い応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

まずは町を活気づける手伝いを行いながら、自主的にも広報的な活動ができればと考えています。現在、奥大山Youtuberとして活動していますが任期が3年と決まっているため、自分がやっている活動に興味がある人がいれば年齢等関係なく巻き込むことで、Youtubeによる発信が盛んな町にできればいいなと思っています。また、協力隊卒業後には独立も視野に活動しているため、準備期間として仕事につながるスキルを身に着けていければと考えています。

## 活動内容

**●江府町NEWSの制作**

先輩からの引継ぎとして、江府町NEWSの制作を行っています。ケーブルテレビがない江府町では映像で楽しめるコンテンツがないため、Youtubeの公式チャンネルで配信を行っています。1か月の出来事を振り返る江府町NEWSでは町内の方々が活躍する様子を見ることができます。

江府町NEWSのリスト

**●撮影取材活動**

江府町NEWSに必要な仕事の一部ですが、取材活動で動画撮影をしています。その際に町民の方々と交流したりできるため、町にとけ込みやすい活動だと感じます。5月から9月の間に月平均12回取材を行っています。そのほかにも映像制作に必要な素材の撮影も行っています。

取材中の様子

**●新規YouTubeチャンネルの開設**

江府町役場にある「ブカツ」制度を活用して、江府町奥大山ゆーちゅー部を立ち上げました。立ち上げたばかりなことに加えて、仕事の合間を縫っての活動のため動画数はほとんどありませんが、任期終了までに誰でも参加できる仕組みづくりをすることで気軽にYoutubeで発信ができるまちにしたいです。

紹介動画作ってます

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）k_soumu@town-kofu.jp
（電話番号）0859-75-2211（江府町役場総務課）
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（江府町公式yYoutubeチャンネル）
https://www.youtube.com/channel/UCCWnbP2_g9PPsnDjftKgeUQ

# 島根県安来市　田中　鷹広

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
３９歳
【出身地】
大阪府寝屋川市
【転出元】
大阪府寝屋川市
【前　職】
介護施設の立ち上げ運営管理
【活動時期】
Ｒ４．４～

## 協力隊に応募したきっかけ

市役所職員の方から、前職の知識・経験を活かした地域おこし協力隊をしてみませんか？とお誘い頂いた為。

## 今後の抱負･任期後の目標

今後の抱負は、現在赴任している安来市比田地区の活性化を行いたい。
又、比田地区から安来市全域→島根県へと活性化の波を起こしたい。

任期後は、現在している活動を活かした事業を行いたいと思ってる。

## 活動内容

**●比田地域（農村）の温泉施設等の素材を活用したサービスの開発支援など**

比田地域にある温泉施設（湯田山荘）のリニューアルオープンに向けた、誘客の為の新サービスの企画・開発・提案を検討、実行中。

**●安来市の観光振興事業**

安来市観光協会にて、ホームページのリニューアルや、観光客が利用する市コミュニティバスの課題抽出、観光マップのリニューアル等を協会内メンバーと実行中。
又、観光協会が主催で行っているサイクルナビゲーター講習に参加し、自転車による観光ガイドが行えるように勉強している。

**●安来市特産のどじょう料理促進の為のパンフレットの作成**

安来市の特産品である、どじょう料理の促進の為のパンフレット作成を行った。
どじょう料理を出している店の紹介だけではなく、どじょうを食べた事がある方、ない方全ての方に見てもらえるよう、yes・noチャートを入れたどじょう料理紹介のパンフレットにした。

## 連絡先

# 島根県飯南町　前田　千紗

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
23歳
【出身地】
神奈川県横浜市
【転出元】
神奈川県横浜市
【前　職】
大学生
【活動時期】
R3.4～

## 協力隊に応募したきっかけ

祖母の家が飯南町にあったこともあり、小さいころから飯南町を知っていました。大人になって、改めて飯南町を訪れた際、美しい星空や季節の移り変わり、美味しい水に感動しました。
しかし、町民はその魅力に気づいていないことを知り、魅力発信ができることをしたいと考え、応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

今後は町の魅力発信サイトの閲覧者を増やすことを目標に、町の人と「飯南町の魅力とはなにか」を一緒に考え、発見し、共有していきたいと思っています。
また、任期後の目標は、任期間で学んだことをどのように活かしていけるかを考え、飯南町だけでなく広い視野で次に繋げられることをしていきたいと思っています。

## 活動内容

**●国号５４号の活性化**

国道54号の持続的な活用方策の実践のため、町民主導による活動計画「飯南町国道54号活性化アクションプラン（以下、アクションプラン）」があります。その実践組織「国道54号活性化アクションプラン推進協議会」があり、会員のサポートや、企画立案・実践を行っています。以下の２つはその一部です。

**●町の魅力発信サイト**

町の中でも、地区ごとに少々距離がある飯南町。隣の地区でこんなイベントがあったと後から知ることもよくあります。そのため、町内はもちろん、町外の人に飯南町でどんなイベントが行われているかをまとめて確認できるサイトの運営を行っています。

**●歴史本作成**

町の人と一緒に語られずに消えてしまう歴史は勿体ないと考え、飯南町の「ちょっと昔」についての歴史本を作成しています。
そのために「ちょっと昔」の飯南町に詳しい住民さんの子供の頃のお話を取材し、一緒に本を作るため執筆しています。

## 連絡先

# 島根県邑南町　奥村　隼也

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
３７歳
【出身地】
福井県小浜市
【転出元】
鳥取県米子市
【前　職】
会社員
【活動時期】
Ｒ２.４～Ｒ５.３
（３年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

島根県住みます芸人として活動する中で、地域おこしで重要なことはそこに住む人が地域に愛着を持ち幸福を感じることではないかと考えていたところ、食で町おこしに取り組む邑南町のことを知った。さらに全国へ発信することが求められていることを知り自分の経験やスキルが生かせるのではと考え応募した。

## 今後の抱負・任期後の目標

吉本興業の求める地方創生に取り組む芸人の先駆けとして、町内事業者との連携による商品開発や人員不足に悩まされる事業者の商品を都市部のイベントスペースを利用したポップアップストアの取組みなど、隊員卒業後の邑南町内での起業に向け、金融機関などとも連携しながら準備を進めている。

## 活動内容

**●産業体験**

町内の農家や事業者を回り、生産・加工現場について知見を深めると共に関係を構築し、情報発信等の基礎固めを行った。また農畜産園芸の学科をもつ地元県立高校とタイアップした授業の開催などにも取り組んだ。

**●商品開発**

町内の老店醤油店と共同で商品開発に取り組み、町内の食材をふんだんに使った「おおなんの宝」を完成させたほか、町内事業者を集めた商品開発勉強会「邑南塾」を定期的に主催し、新たな商品の開発に取り組んでいる。

**●情報発信**

金融機関や協力団体との連携により、町外のイベントスペースを活用して邑南町をPRするポップアップストアの取り組みを展開するほか、BSよしもとの番組内で邑南町を中心とした地方の魅力を発信している。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
奥村隼也（@kyubinsentar）さん / Twitter
奥村隼也 プロフィール｜吉本興業株式会社 (yoshimoto.co.jp)

# 島根県西ノ島町　渡里　由奈

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
２２歳
【出身地】
兵庫県 川西市
【転出元】
兵庫県 川西市
【前　職】
学生
【活動時期】
Ｒ３.４～

## 協力隊に応募したきっかけ

Instagramで、たまたま西ノ島の広告が流れてきました。気になってリンク先の記事を読んだところ、自分のスキルを活かせそうな職業だったので応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

未定

## 活動内容

**●郷土料理レシピ本制作**

料理の再現は、食生活改善推進協議会員の方に協力して頂きました。写真撮影と郷土料理レシピ本の制作を、前任の地域おこし協力隊の方から引き継いで取り組みました。

**●協力隊Instagramの運営**

前任の地域おこし協力隊の方からアカウントを引き継いで運営をしています。移住者として気になったことなどを、インスタマガジンとして投稿したところ、フォロワーが徐々に増えていきました。

**●動画・ポスター制作**

町内放送の番組OPや、イベントのポスター・チラシ、写真のリタッチなどの制作作業をしています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）sangyou-shinkou@town.nishinoshima.shimane.jp
（電話番号）08514-6-1220

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）https://www.instagram.com/nishinoshima_chiikiokoshi/

# 岡山県真庭市　酒井　悠

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
38歳
【出身地】
東京都世田谷区
【転出元】
神奈川県横浜市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R4.5～

## 協力隊に応募したきっかけ

プロモーションや地方創生の仕事を経験し、「クライアントの魅力をどのように掘り起こすか」という視点を学びました。また、縁あって岡山県に移住する理由があり、相談会で真庭市の先輩地域おこし協力隊の方と話をし、「人」への魅力を感じたことが決断のきっかけとなりました。
「何をするかより、誰とするか」という視点で仕事選びをしたいと考えていた中で、真庭市であれば「面白い人」に沢山出会えるのでは、と思ったからです。

## 今後の抱負・任期後の目標

現在は、真庭市の「人」や「地域」の魅力を掘り起こし、ウェブ媒体を中心に情報発信を行っています。また、企画者としても、行政を中心に地域活動に伴走し、運営や進行面でのお手伝いをしています。
自分事として当事者意識を持ち、同じ目線で考え、膝を突き合わせて一緒に行動していくスタンスが大事だと考えており、任期後も、真庭市のひとりの生活者としての意識を持って課題に向き合うライター・企画者として活動するつもりです。

## 活動内容

### ●真庭市の魅力発信プロジェクト

ライターとして、真庭市の魅力を掘り起こし、市内、県内、県外問わず「こんなに素敵な魅力があるんだ」 という情報を発信しています。
真庭市交流定住センターが運営するオウンドメディアで記事を執筆したり、都心部が読者層である地域特化型メディアに記事を掲載するなど、様々な媒体を通じて真庭市の魅力を届ける（触れてもらう）よう活動しています。

### ●地域図書館と連携した地域資源の掘り起こし

真庭市立図書館（中央図書館）の“図書館みらい計画「地域資源の再評価と新たな価値の創出」事業”として、真庭市の小学校・中学校を中心とした「校歌」を採集するプロジェクトの事務局運営に携わっています。
まだ、立ち上げて間もないですが、今後は市内に住む人を中心に校歌の情報を集めることで、世代を超えた話題作りをしたいと考え活動しています。

### ●観光文化発信拠点施設のSNS運用アドバイザー

真庭市の新たなシンボルとして期待される観光文化発信拠点施設の「GREENable HIRUZEN」のSNS運用アドバイザーとして、ライターの知識（文章の作り方、表現の仕方）などを施設のスタッフの方に伝える講座を実施しました。
SNS運用全般、写真撮影といったスキルに特化した他のアドバイザーとともにチームで連携し継続的に支援する活動をしています。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Facebook）https://www.facebook.com/u.sakai.shoei/

# 広島県東広島市　村上　由貴

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
34歳
【出身地】
広島県竹原市
【転出元】
東京都板橋区
【前　職】
会社員（企業広報担当）
【活動時期】
R2.9.1～R5.8.31

## 協力隊に応募したきっかけ

地域に根付いた「ものづくり」をしたいと思ったからです。元々広島県出身で、地域情報誌の制作に携わっていました。各地を訪ねて取材を重ねる中での人との出会いから、地域密着で活動をする人への憧れをいだき、いつか自身も地域をじっくりと掘り下げる形で仕事に取り組みたいと思うようになりました。経験を積むために上京し、改めて地元にUターンと考えた際に協力隊制度を知り、Jターンという形で安芸津との縁をいただきました。

## 今後の抱負・任期後の目標

「安芸津」という町の認知拡大に貢献することで、結果として自身が生まれ育った瀬戸内海の港町全域に注目していただくきっかけづくりをしたいと考えます。今はどこでも情報を拾える状況にありますが、体感することなく知っている気持ちになることへの気持ち悪さも同時に感じます。それぞれの視点にこそ、地域の面白みが詰まっていて、その一つ一つの体験や経験を、私なりに伝えることで、町の記憶と記録に残る「ものづくり」をしていきたいです。

## 活動内容

**●町の情報発信**

「あきつで暮らす」をテーマにしたものづくり。
①安芸津の町歩き案内「安芸津散策探訪MAP」
②安芸津産の商品をまとめた「安芸津お土産手帖」
③安芸津の牡蠣直売所案内「牡蠣直売所MAP」
④安芸津の飲食店をまとめた「安芸津でご飯」
⑤安芸津のテイクアウト食品をまとめた「安芸津でTAKEOUT」

**●イベント運営**

町案内を軸にした「町歩きワークショップ」、制作物を展開させた「お土産手帖展」などのほか、地域の祭り、マーケット運営のサポートをしています。

**●場所づくり**

安芸津案内の拠点となる「場所づくり」に取り組み始めました。地域を巡る際の、最初の立ち寄りポイントとして活用いただくことで、満足度の高い町歩きをしていただきたいと思います。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://www.instagram.com/akitsu_kurasu/

# 山口県和木町　村井　優

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
27歳
【出身地】
茨城県つくば市
【転出元】
山口県玖珂郡和木町
【前　職】
スポーツ応援グッズ
制作会社
【活動時期】
R2.8～ R5.7
（3年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

前職でイベントを企画した経験があり、この経験を活かしながら地域貢献したいと漠然と考えていました。

ネット検索で偶然「地域おこし協力隊」制度を知り、和木町が「イベント企画・運営」というミッションで協力隊の募集を行っていたので思い切って応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

和木町に定住できるよう、残り1年で任期後の起業への準備を進めていければと思っています。
スキルを磨くことはもちろんのこと、地域内外の人脈作りについても任期後とても大切になるので幅広い活動を最終年度も行う予定です。

卒業前には和木町の皆さんと一緒に
集大成となるイベントを企画します！！

## 活動内容

**●イベント企画**

蜂ヶ峯総合公園を中心に和木町内でのイベントを企画・運営しています。

「Waki-Hachi Marche」は蜂ヶ峯総合公園の定番イベントとして定着し始め、回を重ねるごとに規模を拡大中！！

**●町の魅力のPR**

地元ローカルチャンネル「わきちゃんねる」へ出演し、和木町内外へ和木町の魅力をPRしています。

大人気番組「わきさんぽ」は毎回録画して楽しみに観ている町民が多数・・・という噂・・・。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（電話番号）0827-28-4666　＊職場：和木町地域振興協会

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Instagram「和木町の景色」
https://www.instagram.com/wakichou_no_keshiki/

# 徳島県　ヴォズニュウク・ジャンナ

観光・情報発信

## 基本情報

【年　齢】
29歳
【出身地】
ロシア
【転出元】
徳島県徳島市
【前　職】
会社員（インターナショナル保育園）
【活動時期】
R2.11～

## 協力隊に応募したきっかけ

徳島市内に住んでいた時、趣味のサーフィンやハイキングなどを楽しむために県南エリアに何回も通っていて、アウトドアフィールドや自然環境の魅力に深く感動し、いつかは「県南エリアに住んでみたい」と思っていました。
もっと多くの徳島の自然文化などを体験し、世界中の人に徳島の魅力を知ってもらいたいと思い、外国人地域おこし協力隊に応募しました。

## 今後の抱負･任期後の目標

徳島の魅力発信など観光に関する仕事に興味を持っています。また、教育にも興味があり、任期後はどちらかの仕事に携わりたいと思っています。

## 活動内容

**●徳島県公式英語版ＳＮＳによる情報発信**

徳島県公式の英語版SNS（Facebook・インスタグラム）「Deep South Tokushima」を活用し、徳島県南部の観光スポットやアクティビティなどを実際に体験し、外国人ならではの目線で県南部の魅力を発信している。

**●徳島県公式YouTubeチャンネルによる情報発信**

徳島県公式のYouTubeチャンネル「みぎアゲTV」にユーチューバーとして出演し、外国人の関心を高める内容の企画提案や動画製作等により、体当たりで「四国の右下」の魅力発信に取り組んでいる。

**●海外旅行者向けファムツアーなどの企画提案やアテンド**

通訳ガイドやツアーオペレータの経験を活かし、外国が魅力的に感じるツアー企画の提案や実際にツアーに同行し、現地ではアテンドとして、参加することで、地元事業者と参加者（海外観光客）との交流の架け橋となる役割を担い、ツアー参加者の満足度向上につながる取組を進めている。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）nanbu_c_m@pref.tokushima.jp
（電話番号）0884-74-7354
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

# 徳島県　ベサニー ジョンソン

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
34歳
【出身地】
カナダ　レッドディア市
【転出元】
徳島県佐那河内村
【前　職】
ＡＬＴ（佐那河内村教育委員会）
【活動時期】
R3.11～

## 協力隊に応募したきっかけ

徳島県に来て4年間生活をした佐那河内村では、地域やそこに暮らす人々に魅力を感じました。そこで、この魅力を海外に向けて発信したいと思い、ビデオプロジェクトを企画しました。
このような活動を「にし阿波」でも継続したいと考え応募しました。「にし阿波」の観光スポットを紹介するため、写真撮影やＰＲ動画の制作、ＳＮＳ投稿などの活動で、情報発信を行っていきます。

## 今後の抱負･任期後の目標

「にし阿波」での情報発信を通じて、メディアづくりや翻訳のスキルを高めていきたいと思います。また、地域の皆さんと交流しながら、いろいろなことに協力しながらチャレンジしていきたいと考えています。
任期終了後もここでの経験を大切にし、日本の情報を発信をする仕事を続けたい。

## 活動内容

**●SNS情報発信**

徳島県西部圏域「にし阿波」は、大歩危・祖谷などの景勝地や脇町うだつの町並みなどの歴史的な景観など魅力的な観光地が多くある地域です。国内外からの観光誘客を進めるため、この素晴らしい自然や歴史・文化をSNSで世界に発信しています。

**●商談会で通訳業務**

コロナ禍前は「にし阿波」の自然や歴史・文化に魅了されて多くの外国人が観光に訪れていました。
アフターコロナに向けて、もう一度たくさん海外から観光客に訪れてもらえるよう、オンラインやリアルでの商談会を通じて旅行会社やメディアに「にし阿波」の観光情報を伝えています。

**●ファムツアーのアテンド**

「にし阿波」を訪れるファムツアーのアテンドを行っています。「にし阿波」の素晴らしい観光地を直接、旅行会社の皆さまに見てもらって旅行商品の造成、販売につながるよう取り組んでいます。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス） seibu_c_my@pref.tokushima.jp
（電話番号）0883-76-0374
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）https://www.instagram.com/hidden_tokushima/
（Facebook） https://www.facebook.com/hiddentokushima

# 徳島県美波町　西蔵　祥大

観光・情報発信

## 基本情報

【年　齢】
29歳
【出身地】
石川県　白山市
【転出元】
石川県　白山市
【前　職】
建築設計
【活動時期】
R2.2～ R5.1
(3年目)

## 協力隊に応募したきっかけ

たまたま訪れた美波町の山・川・海が織りなす幻想的な風景、その風景と調和した漁業や林業の営みに見せられて移住を決断しました。受け入れ団体の「日和佐 発心の会」は四国霊場23番札所 薬王寺の門前町の歴史・文化を次世代に継承していくことを目指して、地元有志で2015年に立ち上げたベンチャースピリット溢れる団体です。空気に流されずに知識と合理性を重んじたハイレベルな議論や実践にはまだなかなかついていけませんが、毎日とても充実した日々です。

## 今後の抱負・任期後の目標

現在、模索中です。

## 活動内容

**●ウミガメマスク**

「日和佐発心の会」と門前町にある縫製工場が協力をし、商品開発を行いました。美波町出身の画家・橋本シャーンさんが描いたウミガメのイラストを使用し、マスクを製作しました。「道の駅日和佐」や「うみがめ博物館カレッタ」で大好評販売中。

**●電動バイク レンタル事業**

ウィズコロナ・アフターコロナ社会での美波町での新しい観光のあり方を実践するべく電動バイク「BLAZE SMART EV」のレンタル事業を開始しました。

**●Art Tourism Museum 373**

「日和佐発心の会」のメンバーで、薬王寺温泉前に位置する元JAバンクATMの建物を改修して、桜町通りに人を誘い込むギャラリーとして2021年2月にオープンしました。ちなみにお金はおろせませんのご注意ください。

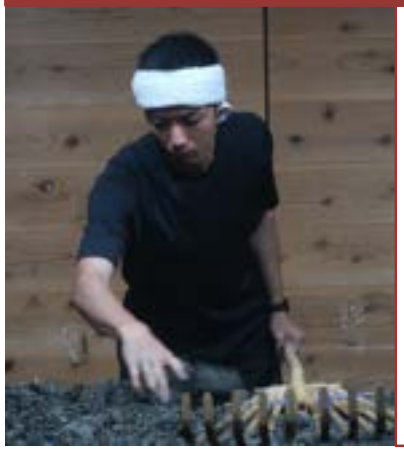
## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】
https://sites.google.com/view/hossin-no-kai/

# 徳島県藍住町　三浦　優佑

観光・情報発信

## 基本情報



【年　齢】
26歳
【出身地】
兵庫県神戸市
【転出元】
北海道札幌市
【前　職】
空調設備会社
【活動時期】
R4.4～

## 協力隊に応募したきっかけ

徳島県で藍の製造から染めに至るまでの技術を学びたかったので応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

藍の製造、染料の管理など技術を深めて、任期後の独立を目指したいです。

## 活動内容

**●佐藤阿波藍製造所での研修**

徳島県で伝統的な藍の染料づくりを行う佐藤阿波藍製造所で一年間研修を受けています。藍の栽培から染料である「すくも」の製造に至るまで一連の工程を学んでいます。

**●藍の染料「すくも」づくり**

協力隊のメンバーで藍の栽培から染めまでを一貫して実践しています。4月に植えた藍の苗を7月に収穫して、9月から寝床と呼ばれる土間で染料となる「すくも」の製造をしています。

**●藍染めの体験サポート**

藍住町内の幼稚園で藍の生葉染め体験をサポートしました。自分たちが育てている藍を園児と一緒に収穫して、トートバックに葉っぱの模様を付けました。園児たちは楽しく真剣に取り組んでくれました。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス） aizumi-aikoubo@ma.pikara.ne.jp
（電話番号）088-661-4484

# 徳島県藍住町　嶋田　拓真

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
26歳
【出身地】
滋賀県栗東市
【転出元】
東京都港区
【前　職】
WEBマーケティング
【活動時期】
R3.4～

## 協力隊に応募したきっかけ

大学時代に古着屋で藍染の作品を見たことから、将来藍染をしたいと思うようになった。商品を作る技術力と、商品の魅力を正しく届けるマーケティング力の両方が必要になると考え、大学卒業後はWEBマーケティングを仕事に活動していた。藍住町の地域おこし協力隊の募集ページを見て、応募をした。

## 今後の抱負・任期後の目標

任期後は独立し、畑での藍の栽培から、藍染作品の制作・販売までを一貫して行う予定している。協力隊の任期内に染めの方では、自分の核となる表現方法を身に着けたい。畑の方では、少ない人数での効率的な栽培の仕方や、農業全般の知識を身に着けたい。

## 活動内容

**●藍の栽培･蓼の製造**

3月に藍の種を撒き、7月頃に刈り取りを行っている。その後は、藍粉しという作業をおこない、藍を葉と茎に分け、葉の部分だけを乾燥させる。9月から11月には乾燥させた葉に水を与え、空気に触れさすようにかき混ぜることで発酵を促し、藍染の染料としての蓼を作る。

---

**●藍染め**

自分たちで作った蓼を用いて、藍の染液を作り、2日に1回のペースで染作業を行っている。染めた物は藍住町の成人式祝いや、新生児祝いなど、町内の住人に還元している。その他、町内での展示なども行っている。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）aizumi-aikoubo@ma.pikara.ne.jp
（電話番号）088-661-4484

# 徳島県藍住町　山岾　卓

観光・情報発信

## 基本情報

【年　齢】
26歳
【出身地】
東京都青梅市
【転出元】
東京都青梅市
【前　職】
アウトドアアパレル
【活動時期】
R3.4～

## 協力隊に応募したきっかけ

「藍染めの原料である藍の栽培、藍染めの染料である蓼（すくも）づくり、藍染め」までを一貫して習得することが出来る環境を探していたため。

## 今後の抱負・任期後の目標

任期中は、藍の栽培、蓼づくり、藍染めを習得することを目標とする。
任期後は起業をし、任期中に学んだ一連の工程を行いながら、藍染め製品の制作および販売を行うことを目標としている。

## 活動内容

**●藍染めの原料である藍の栽培、収穫、乾燥葉への加工**

藍染めの原料は畑で育てられる藍の葉である。
藍の栽培と収穫に加え、収穫した藍を葉と茎に選別し、葉の部分だけを乾燥させ保管する。
葉と茎を選別する理由として、葉の部分のみに青色の色素が含まれているため。
期間としては、春先から秋頃まで。

**●藍染めの染料となる蓼づくり**

乾燥させた藍の葉を寝床（ねどこ）と呼ばれる建物に集め、水打ちと切り返しを繰り返して堆肥状のものへと加工する。
期間は秋から冬。約3カ月かけて行う。

**●藍染め**

約1年かけてつくった蓼を用いて藍染めの染め液を仕込み、糸や布、既成の服を染色する。
なお、染めることが出来るのは天然の繊維から成るものに限られ、石油由来の化学繊維などは染めることができない。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）aizumi-aikoubo@ma.pikara.ne.jp
（電話番号）088-661-4484

# 香川県善通寺市　宮田　真央

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
25歳
【出身地】
香川県　高松市
【転出元】
兵庫県　宝塚市
【前　職】
学生
【活動時期】
R2.12～

## 協力隊に応募したきっかけ

大手コーヒーチェーン店での勤務経験を活かせる募集内容であったため。

## 今後の抱負・任期後の目標

【今後の抱負】
市と民間団体をつなぐ架け橋となり、官民連携の流れを作っていくこと
【任期後の目標】
カフェを営業し、様々な人が交流できるような運営を考えています。

## 活動内容

●【イベント関連】

・お接待企画
地域おこし協力隊の存在の認知度を高め、
市民とのつながり作りをするために実施。
この企画をきっかけにして、コミュニケーションをとり
活動の幅を広げることができた。

●【情報発信関連】

・四国霊場七ケ所まいりマップ（遊歩帳）
若者が手に取りたくなるような七ヶ所まいりの
マップを作成。
この企画は、四国学院大の教授や学生、
七ヶ寺の方々等多くの関係者が参加。
作成後は、市広報、新聞、雑誌など
複数のメディアが取り上げた。

・善通寺一高での講義
探求の時間にて、講師の一人として参加。
まちづくり、コミュニティスペースをテーマに講義予定

## 連絡先

【【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）miyata@city.zentsuji.kagawa.jp
（電話番号）0877-63-6312（職場）

# 香川県善通寺市　中川　裕太

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
３７歳
【出身地】
大阪府岸和田市
【転出元】
大阪府大阪市
【前　職】
会社員(建設機械関連)
【活動時期】
H31.4 ～

## 協力隊に応募したきっかけ

仕事中心の生活をしていたが、子どもが生まれたことで、妻の地元である善通寺市で家族中心の生活をすると決心する。
せっかく移住するのであればお世話になった家族や地域の力になれるような仕事がしたいと思い、地域おこし協力隊になり、現在に至る。

## 今後の抱負・任期後の目標

現在の業務で善通寺市の魅力を発掘、発信しながら、自分の活動において、何が地域おこしになるのかをもっと明確化していく。
任期後は人が憩える飲食店を開業したいと考えている。

## 活動内容

**●イベント企画、運営**

・善通寺市の古墳とまちを巡るスタンプラリー
「善通寺作戦」の企画・開催

**●メディア出演**

・NHKミステリアス古墳
TV出演にて市内の古墳を紹介

**●情報発信関連**

・讃岐もち麦ダイシモチを使用した飲食店等を特集したチラシ、ダイシモチめぐりを作成

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）nakagawayuuta@city.zentsuji.kagawa.jp
（電話番号）0877-63-6315　（職場）

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（市観光協会インスタグラム）https://www.instagram.com/kukainavi/

# 香川県善通寺市　福岡　歩美

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
30歳
【出身地】
徳島県徳島市
【転出元】
千葉県八千代市
【前　職】
航空会社(グランドスタッフ)
出版社（編集者）
【活動時期】
R4.4～

## 協力隊に応募したきっかけ

善通寺市が来年１２５０年祭を迎えるにあたり、自分が経験してきた、ライターとしての技術などを活かせると感じたため。

## 今後の抱負・任期後の目標

当面の目標は、空海御誕生1250年祭のPR関連ですが、その後も観光情報発信媒体での、業務に携わっていきたいと思っています。

## 活動内容

**●シティプロモーション**

1250年祭にかかるシティープロモーション用ポスターとフライヤーを担当。タウン情報誌での編集経験を活かし、今まで善通寺市を目的地ととらえていなかった若い層にも注目されるようなデザインを調整中です。

**●記念切手**

ご誕生1250年を記念して発行される切手の調整担当として活動。現在は第一弾の「真言宗十八本山」バージョンの発行に向けて、郵便局や十八本山各寺デザイン等の調整を行っている。

**●空海ナビリニューアル**

１２５０周年を迎えるにあたり、アクセスが予想される空海ナビのリニューアルに関わる業務を担当。掲載店舗の充実やモデルコース等の提案に向け企画取材を実施予定。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）fukuoka@city.zentsuji.kagawa.jp
（電話番号）0877-63-6315
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://www.kukainavi.com/（市観光協会HP）

# 愛媛県今治市　谷本　雅次

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
44歳
【出身地】
愛知県名古屋市
【転出元】
愛知県名古屋市
【前　職】
飲食業
【活動時期】
R3.4～ R5.3
（2年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

▶たくさんの人と繋がり、島の事を詳しく知る事ができる。開業に向けての大切な事を、地域おこし協力隊の活動を通じて得られるのではないかと思い応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

▶「今治」「大三島」「しまなみ海道」を全国の方に知ってもらえる様な活動をしていきたいと思っています。そこから興味を持ってもらい、来てもらい、ファンになってもらう。さらに移住に繋がれば最高です。
　趣味でロードバイクに乗っており、「世界のサイクリストが集まるしまなみ海道に住みたい！」と、移住を決意しました。趣味と経験を掛け合わせた仕事をしたいと思い、しまなみ海道でサイクリスト向けスタミナ飯を提供する店を持つという目標を持っています。

## 活動内容

**●イノシシの解体、狩猟**

協力隊着任当初より、「しまなみイノシシ活用隊」にてイノシシの解体を学んでいます。焼いた時にほんのりミカンの香りがするという大三島のイノシシは、食べ比べコンテスト「日本猪祭り」でグランプリを獲得するほどの逸品。これをもっと全国に広めて島の産業に繋げていければと思います。また、狩猟免許を取得し令和4年度の猟期から狩猟を始めていきます。

**●ペット用イノシシ骨ジャーキー開発、販売**

捕獲したイノシシを余すことなく有効に活用したいと思い、今まで廃棄されていたあばら骨を乾燥させて犬用ジャーキーを開発しました。
今後は内臓部分を使っての製品開発にも取り組んでいきたいと考えています。

**●サイクリングの楽しさをしまなみ海道から発信**

サイクリングってエコで健康的で楽しくてetc...
そんなサイクリングの競技人口を増やすべく、SNS（インスタグラム）を使って、しまなみ海道を中心に思わず行きたくなる様な風景やサイクリストの写真をアップしています。今治が世界に誇るサイクリングロード「しまなみ海道」。ここを走ってもらえれば、必ずサイクリングにハマるはずです。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）　i22590@imabari-city.jp

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://www.instagram.com/shimanami_memory/
https://www.instagram.com/masatsugu555/

# 愛媛県今治市　青野　右京

観光・情報発信

## 基本情報

【年　齢】
30歳
【出身地】
大阪府　箕面市
【転出元】
東京都　中野区
【前　職】
観光,移住誘致とサポート
【活動時期】
R４年４月～R７年４月

## 協力隊に応募したきっかけ

祖父が大島で暮らしていたが、高齢のため生活が難しくなったことがきっかけで家族の家と土地を維持するために移住することを決めた。仕事は前職のスキルを活かして観光、移住に携わろうと決めていたため、現在の今治市の情報等を聞かせてもらうべく今治市役所に問い合わせをしたところ、地域おこし協力隊という制度を紹介して頂いた。

## 今後の抱負･任期後の目標

大島の宮窪町という地域の観光、移住促進。
第一として観光で地域の魅力をUPできたらと考えている。
まずはカレイ山展望公園で観光客を増やす施策をいくつか行い魅力UPに取り組む。２０－４０代の比較的若い人々にターゲットを置いている。今後若者が観光しやすい環境、移住したいと思う環境作りに取り組んでいきたい。

## 活動内容

**●能島の里　黒イチジク農園**

農作業でなく、主に販路開拓や商品改札、メディア対応など裏方全般を担っている。最近は注目を集めており、南海放送やテレビ愛媛等が度々取材をしにきている。現在約４０本の黒イチジクであるが、１１月には苗木を植え約８０本になる予定である。
皆で産地化を目指し頑張っていきたい。

**●カレイ山展望公園キャンプ場**

キャンプ場の運営を担当しており、コロナ期間中にイノシシに荒らされたキャンプサイトの修繕、景観を良くするための木の伐採、ウェブの集客導線及びHP作成、家族層が来やすいキャンプ場にするため、魅力的なキャンプ場作り等、現状着手しなければならない部分がたくさんあり、猫の手も借りたい。

**●カレイ山テイクアウト型　飲食店**

カレイ山はキャンプ客よりも観光客がメインの観光地であるが、最近は観光客も少ない印象である。観光客の平均滞在時間は１０－２０分と短く、まずはカレイ山観光の満足度を上げるためにコーヒーや軽食等を出せる店を作っている。元々あったしまとく市場を現在改装中である。

## 連絡先

# 愛媛県今治市　森重　正浩

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
60歳
【出身地】
広島県三原市
【転出元】
東京都大田区
【前　職】
飲食店　経営
【活動時期】
R3.4～

## 協力隊に応募したきっかけ

大島の不動産情報を集め　最高のフランス料理店を建築する為。

## 今後の抱負・任期後の目標

ヨーロッパの田舎町にあるような　みんなが集えるレストランを造り　国内外からの観光客の方にも来店していただく。

## 活動内容

**●「食材」x「眺望」x「建材」＝ テロワール**

瀬戸内　大島の誇る食材や多島海などの地域資源　多種にわたる季節のフルーツ　島内の自然で育ったジビエ食材　素晴らしい魚介類を活用し　しまなみのフランス料理を仕上げ　マスコミや観光客の方に情報発信する。

**●狩猟採集の料理**

地域の有害鳥獣駆除に携わり　大島のジビエ食材の素晴らしさも伝わるような　狩猟採集の料理　ストーリー性のあるお皿を完成させ　レストランで提供する。

**●大島の東西を結ぶ「線」**

隈研吾氏に店舗設計をお願いして　大島の隈デザインの亀老山展望台とレストランを　観光客の方が行き来して頂けるような新時代のコモンズの提示をしていく。

## 連絡先

# 愛媛県伊予市　上田　沙耶

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
24歳
【出身地】
愛媛県松山市
【転出元】
神奈川県横浜市
【前　職】
大学生
【活動時期】
R2.4～ R5.3
（3年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

子どもの頃からよく家族で祖父母の住む伊予市双海町に帰省していて、町が大好きでした。しかし、過疎化が進む町を目の当たりにし、大学生になったころには、双海町のために自分にできることはないか、と思うようになりました。

## 今後の抱負・任期後の目標

協力隊任期終了後は双海町で飲食、宿泊、観光などを事業とする地域商社を設立して、生業にしていきたいと考えています。

## 活動内容

**●地域産品の販路拡大、加工品の開発**

地域の生産者らを会員とした地域団体「ふたみファンクラブ」を立ち上げて、その団体の事務局長に就任。地域資源を生かした商品（柑橘や魚介類の加工品など）を開発し、「ふたみおうち便」として全国に向けて販売を行いました。

**●地域産品や生産者の魅力の発信**

オンラインのモニターツアーの開催や地域の魅力を届ける冊子「ふたみ図鑑」の作成を通じて、生産者の地域への想いを届け、地域の食とそれに携わる人の魅力を発信しました。

**●地域産品のポップアップ販売**

開発した商品はオンラインだけではなく、関東のセレクトショップなどへの販路を開拓し、地域内外のマルシェにも出店するなどして、積極的にPR・販売しています。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（ふたみ図鑑）https://futamizukan.com/

# 愛媛県四国中央市　小池　悟嗣

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
28歳
【出身地】
愛知県名古屋市
【転出元】
愛知県名古屋市
【前　職】
コンサルタント
【活動時期】
R3.2～ R6.1
(2年目)

## 協力隊に応募したきっかけ

前職ではインターネットやSNSを活用した販売促進や、自治体のブランド推進といったマーケティング支援会社で営業をしておりました。新卒で勉強のため入社し、いずれは地域に根づいた産業や魅力を発信できるような仕事に従事したいと考えていました。また、大学時代より取り組んできたSNSやWebメディア運営などのノウハウも合わせて、協力隊活動を通じて地域に還元できるのではないかと思ったのがきっかけです。全国各地のプロジェクトの中でも、新宮地域のポテンシャルと今の自分にできることの相性がとても良いと感じたため、応募を決意しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

各事業者と連携しお茶×観光を紐づけ、新宮にしかできないようなコンテンツの開発に取り組みます。また、お茶の担い手不足解消も含めて、観光から移住へと段階的な脱限界集落にも着手したいです。
任期後は、現在の個人事業を継続するとともに、自治体と協力しながらまちづくりをサポートできればと考えています。

## 活動内容

**●新宮茶PR映像の制作**

毎年新茶の季節になると、一面に輝く茶畑の風景は多くの人を魅了します。その光景をいつでも見ていただけるように、新宮茶のお茶づくりの様子を短く映像にまとめました。動画はYoutube上で公開し、地域の事業者にもお茶会イベントや販売でタブレットを使い活用いただいております。（企画/撮影/編集）

**●新ブランドのプロデュース**

お茶の担い手不足解消や新ブランドの立ち上げを目的としてスタートしたうま茶振興協議会。こちらに協力隊として参加させていただき、市内産地の茶葉をブレンドした新ブランドのプロデュースを担当させていただきました。
（デザインディレクション/撮影/商品企画/Web制作）

**●発信・販売チャネルの刷新**

新宮茶の商品力は高く根強いファンも多いものの、顧客の高齢化が課題でした。SNSを新たに開設し、道の駅と連携した企画などにより#新宮茶の投稿件数が1年半で約3倍に増加。また、販売についても自社直販を立ち上げ、全国各地から通販経由でご購入いただけるようになりました。（※一部協力隊業務外）

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instaram）
（YouTube）

# 愛媛県愛南町　関根　麻里

観光・情報発信

## 基本情報

【年　齢】
43歳
【出身地】
東京都目黒区
【転出元】
東京都目黒区
【前　職】
飲食店勤務
【活動時期】
R3.2～ R5.1
（2年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

東日本大震災のボランティアがきっかけで地方での暮らしに憧れるようになる。移住イベントで愛南町を知り、それから季節を変えて数回訪問した上で愛南町での就職先を探していた時に協力隊の募集を知りました。
自然体で楽しみながら生活をしていきたい！という思いと、食を絡めたミッションに興味を持ち、人や地域を知りながら自分のやりたいことである町内での飲食店開業をする為の準備が地域おこし協力隊を通してできるのでないかと思い応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

任期後は、愛南町内での飲食店開業を目指して活動している。
それ以外にもやりたいことはたくさんあるので、愛南町の風土（フード）をコーディネートができるように多業での生計を目指しています。
・郷土料理や暮らしを伝える担い手
・特産品開発をして物品販売
・体験教室や料理教室

## 活動内容

**特産品開発　スパイスカレーと縄文土器クッキー**

地元食材を使ったスパイスカレー開発、販売
愛南町の魅力を発信する食プロジェクト第1弾として、町内食材を使ったカレーを町内のレストランやキッチンカー、イベントなどで販売。
新しいお土産として、町内の貝塚から出土された平城式土器の型を使ったクッキーを開発中。

**●郷土料理を知る**

愛南町の魅力を発信する食プロジェクト第2弾として、地元のお母さん達から町内で食べられている料理や味噌などの保存食を教えてもらっています。動画やレシピを作成し、次の世代に食や文化を繋げられるようにしていきたいです。

**●町内の魅力をPR**

前任から引き継いだInstagram（SNS）のアカウントで移住者からみた町内の魅力を日々発信し愛南町のPRを行っています。
イベントの告知を見てカレーを買いに来てくれたり、SNSを通じて取材申し込みがあったりと発信することで新しい繋がりがひろがっています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）sk-chiikiokoshi@town.ainan.ehime.jp
（電話番号）0895-72-7315

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）@biyabiyagram

# 高知県室戸市　川口　真委

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
35歳
【出身地】
大阪府東大阪市
【転出元】
東京都世田谷区
【前　職】
金融系企業の営業・営業事務、エステティシャン
【活動時期】
R4.1～ R7.1
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

隣の町に知人が住んでいたこともあり、5年前から室戸市には毎年訪れていました。来るたびに、壮大な景色、おいしい食べ物、田舎のゆったりとした時間に癒されていました。移住への憧れがあったものの、決断には至りませんでした。当時1歳の子どもを初めて海に連れていった際、ひとりで遊ぶ姿を目にして、自然が身近にある場所で子育てをしたいと強く思いました。また、協力隊制度が移住へ向かう気持ちを後押ししてくれました。さまざまな感動体験を、より多くの方へ伝えたいと思い、観光課への応募を決めました。

## 今後の抱負・任期後の目標

協力隊として移住したことで、この1年は多くの事業者の方や地元の方々と関わる機会に恵まれ、公私共に助けてもらう場面が多々ありました。これまでの経験を活かし、室戸市の観光振興に役立てるよう活動していきたいです。現在私自身が、4歳児の娘の子育て奮闘中ということもあり、同じように子育てをしている世代に向けての観光サービス開発、実施に力を入れていきたいです。任期後のことはまだ決めていませんが、室戸市に住み続けられるよう、模索していきたいです。

## 活動内容

**●既存体験プログラムの磨き上げ･新たな体験プログラムの企画**

市内外のさまざまな体験プログラムを視察したり、事業者の方々と新たな体験プログラムを作ったりしています。観光に訪れる子育て中のお父さんお母さんに向け、新たな観光体験事業「子ども預かりサービス」を企画。椎名集落活動センターたのしいなで、子ども限定の自然体験プログラムとして、11月リリース予定です。

**●研修･セミナー参加**

今年は、総務省や県が主催する協力隊向けの初任者研修に参加しました。その他にも、日々の活動に役立つノウハウや視点を学ぶために、さまざまな研修やセミナーへも参加しました。写真は、和歌山県へ出張し、観光プログラムの造成・運営を事業としている民間企業が行う研修へ参加した際のものです。

**●地元の方々との意見交換会**

地元の事業者や、さまざまな分野で活動をされている方々との意見交換会に呼んでいただいた際の写真です。室戸市を良くしたいという思いのもと活動をされている方々のお話をうかがえるので、とても勉強になり、いい刺激を受けています。また、顔を覚えていただけるいい機会にもなります。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）mr-011200@city.muroto.lg.jp
（電話番号）0887-22-5161

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（室戸市観光ジオパーク推進課）instagram

MUROTOKANKO

# 高知県南国市　佐藤　真

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
34歳
【出身地】
青森県青森市
【転出元】
東京都目黒区
【前　職】
建築設計3Dパース
【活動時期】
R4.3～R7.3
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

高知県へ一度住んでみたいという気持ちを５年程温め続けていた中で、南国市の地域おこし協力隊の募集を発見。
ミッションが「ものづくり」に関連された「中心市街地の活性化」だったため、アートやデザインが得意な自分にも活躍できる可能性を感じ応募した。

## 今後の抱負・任期後の目標

空き店舗を活用し、アートギャラリーやカフェを開き、若年層が気軽に立ち寄りたくなる町にしたい。
任期後も、自治体から引き継げるものは引き継ぎ運営しながら、デザインやデジタル分野で地域に貢献できる事業をこの地で開業できたらと考えている。

## 活動内容

**●地域マルシェイベントのチラシデザイン**

持っているデザインのスキルを最大限に活用し、「ごめんteteマルシェ」というイベントのチラシを作成した。チラシは南国市内の小中学校やスーパーなど、全域に配布や設置された。

**●地域イベントでのスケッチ会主催**

「ごめんの軽トラ市」という地域イベントにて、ご当地ヒーロー「ゴメンジャーNEXT」をモデルとしたスケッチ会を主催した。
午前・午後の２回開催で、小さなお子さんを中心に盛り上がった。

**●地域PR動画を作成**

地域のイベント「ハガキでごめんなさい」のPR用の動画を初めて撮影編集した。
また外部の動画塾にオンラインで参加し、TikTokに挑戦。実写やアニメーションなど2本をアップロードした。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Instagram　https://www.Instagram.com/chanmakonankoku/
TikTok　https://www.tiktok.com/@hotoyome

# 高知県中土佐町　久竹　庸代

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
44歳
【出身地】
高知県高知市
【転出元】
神奈川県鎌倉市
【前　職】
BS・CSテレビチャンネルの広報・マーケティング
【活動時期】
R3.９～Ｒ６.８
(2年目)

## 協力隊に応募したきっかけ

高知市出身で、大学進学で東京に上京しそのまま就職。ずっと東京で働いていましたが、故郷・高知の地域活性に携わりたいと思い高知県内の地域おこし協力隊を探していました。中土佐町には、WEBでみた「久礼大正町市場」の事務局の方が面白そうな人だったことと、市場組合長が“食文化”を大切にしていたこと、役場担当者が素朴で優しかったことが決め手で応募しました。「何をするか」も大事ですが、それ以上に「誰とするか」の方が大事だと、毎日楽しく働かせてもらっている今、実感しています。

## 今後の抱負・任期後の目標

現在、カツオ好きの高知県民がわざわざカツオを食べにいく中土佐町の久礼地区にある「久礼大正町市場」の活性施策(PR全般)を担当しています。久礼地区は、400年のカツオの一本釣りの漁師町です。町にはカツオの食文化が根付いていて、カツオに詳しい“カツオ無双”な町民がたくさんいます。高知出身ながら、知らないことがたくさんあり、もっとカツオのことを勉強していきたいです。ゆくゆくは、久礼および高知のカツオ産業・文化の保護・発展に、なにかしら携われればいいなと思っています。

## 活動内容

**●久礼＆久礼大正町市場のカツオの魅力・特徴をまとめた「カツオHANDBOOK」の企画・編集**

市場の鮮魚店のスポンサードのもと、メディア・観光・教育関係者への資料「カツオHANDBOOK」を企画・編集。生態等の基本情報から、漁の歴史や久礼のカツオの美味しい理由、市場のカツオ料理まで、カツオに詳しい町民・役場担当者に取材協力してもらい、ライター＆デザイナーさんとまとめる。発行後、市場HPでも一般公開。
★閲覧サイト⇒https://bit.ly/3SvbOsf

**●中土佐町のイベント「かつお祭」に連動した、市場主催「久礼大正町市場かつお祭」の開催**

R4年5月に、中土佐町・久礼の名物イベント「かつお祭」が３年ぶりに事前予約制で開催。それにあわせて、カツオの市場として「久礼大正町市場かつお祭」を同時期に実施。初ガツオの時期なので、食堂でのイベント限定カツオメニューや販売店での割引・特典サービスのほか、参加無料の利きカツオのテイスティングなど実施。企画・運営を担当。
★イベントの様子　https://bit.ly/3F9f21G

**●コロナ禍での県外ファン拡大＆ふるさと納税PRを目的にした市場の有料オンライン宴会の開催**

R3年11月に「戻りガツオ到来！ふるさと納税やりゆうぜよ記念　久礼大正町市場オンラインおきゃく」を開催。企画・進行・運営を担当。市場の鮮魚店、事務局同僚、他の協力隊員たちの多大なる協力のもと実施。
★イベントの様子
https://www.kochinews.co.jp/article/detail/520228

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
0889-59-1369(事務局　9時~17時※水土日除く)
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

久礼大正町市場公式SNS各種

Twitter　Instagram　Facebook

# 福岡県篠栗町　溝口　聖子

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
49歳
【出身地】
福岡県嘉麻市
【転出元】
福岡県福岡市
【前　職】
会社員
【活動時期】
H31.４～Ｒ５.３
（４年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

人生１００年を考えたとき、元気なうちに新たなチャレンジをしたいと考えました。そのとき、「伝える」ということに興味があり、伝えたい・残したい文化が息づいている篠栗町に魅力を感じて応募しました。

## 今後の抱負･任期後の目標

今は、自分自身がみつけた情報を発信していますが、
1件でも多くの町内の皆さんが自ら情報発信できるよう
その準備のお手伝いを今のうちにしたいと考えています。

任期後は、収入源を確保しつつ、篠栗町の観光に携わる
企画サポートができればと考えていますが、それが何という職種になるのかは、決めきれていません。

## 活動内容

**●篠栗の魅力発信**

篠栗町の魅力を伝える場に、率先して出向き、自ら案内を行います。お遍路文化に関する紹介や、お寺体験、お寺行事に関心のある人を積極的に声をかけ、ガイドをすることで第三者からの情報発信の協力を呼び掛けています。

**●ファシリテーション**

町内事業者が何をしたい、始めたいという相談をして見えた際、目的やゴールの整理をしています。
思いが強いと、目的と手段が混在してしまうので第三者の立場で話をきき、企画メモをつくり、事業者の想いと計画遂行にむけたサポートをしています。
SNSやPC操作の支援も行います。

**●篠栗霊場ガイド本編集会議**

若手僧侶の団体が制作している「篠栗霊場ガイド本」の編集会議に参加し、編集作業支援を行っています。冊子制作に携わってきた経験を活かし、校正作業のサポートを行っています。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（instagram）　https://www.instagram.com/sasaguriwalk/

# 佐賀県　堀江　恵

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
23歳
【出身地】
東京都　品川区
【転出元】
東京都　品川区
【前　職】
学生
【活動時期】
R4.2～ R6.1
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

5歳のころからガールスカウトに入り、キャンプや料理などの活動を通じて様々なことを経験した。
その中でガールスカウトのリーダーを担ったことや、もともと子どもが好きで、触れあえる機会を持ちたいと思ったことから、佐賀県の地域おこし協力隊として公園マップを作成する企画ということを知り、それが応募のきっかけとなった。

## 活動内容

**●インスタグラム　子どもとおでかけ編集室**

地域の公園、周辺のお店を取材及び、記事作成後情報発信を行っている。令和4年5月13日より毎週金曜インスタグラム「子どもとおでかけ編集室」で配信。令和４年10月から隔週での投稿に変更し、通常の投稿以外に、動画を活用した情報も配信中。

**●インスタグラム　のんびりさが移住日記**

佐賀の良さや、魅力のあるところ等、移住者目線で伝える体験エピソードの情報発信を行っている。
令和4年4月1日よりインスタグラム「のんびりさが移住日記」で配信中。

## 今後の抱負・任期後の目標

今後は、インスタグラムを通じた佐賀のおでかけ情報などの発信は継続しつつ、佐賀で子育てをすることの良さを伝えられるようなイベントなども実施していきたい。
任期後についてはまだはっきり考えているわけではないが、今行っている取材や記事作成、情報発信などを任期後にも活かしていけるようになりたいと思っている。そのための勉強もしていきたい。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
○　子どもとおでかけ編集室
https://instagram.com/kodomo_okekake_saga

○　のんびりさが移住日記
https://instagram.com/nonbiri_saga

# 佐賀県唐津市　野田　宗作

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
４０歳
【出身地】
広島県福山市
【転出元】
山口県岩国市
【前　職】
会社員
【活動時期】
Ｒ３.４～Ｒ６.３
（２年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

自然豊かな地方への移住という家族の願望を実現するため、SMOUTを活用して移住関連の情報を収集し、佐賀県唐津市七山の地域おこし協力隊募集記事を発見し、応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

佐賀県唐津市七山の魅力を発信し、地域内の方には地域の新たな発見、地域外の方には七山に来てみないと感じてほしい。

## 活動内容

**●地域新聞の発行**

地域の農家、加工業者、飲食店などを取材したり、子どもたちの頑張っている姿を記事にした地域新聞を発行し、地域内の全戸に配布している。

**●ＳＮＳでの地域の情報発信**

主にinstagramを活用して、自分の田舎暮らしについてや地域情報などを発信している。

**●活動拠点の開設**

活動拠点の開設に向け、準備をすすめている。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）nanayama-sangyou@city.karatsu.lg.jp
（電話番号）0955-53-7175

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）https://instagram.com/nanayamaokoshi
（facebook）https://www.facebook.com/nanayamaokoshi

# 佐賀県唐津市　山口　真奈

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
２３歳
【出身地】
大阪府　箕面市
【転出元】
大阪府　箕面市
【前　職】
会社員
【活動時期】
Ｒ４.６～Ｒ７.３
（１年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

2年ほど前から単身赴任で唐津に住んでいた父が、地域おこし協力隊の募集を見つけてくれたことがきっかけで地域おこし協力隊という仕事を知り、わくわくする新しいことがしたいと思い応募しました。

## 今後の抱負･任期後の目標

SNSでの情報発信など、今の活動を続けていくとともに、棚田米蕨野の販路拡大や、蕨野でのイベント開催など、わくわくすることに取り組んでいきたいです。

## 活動内容

**●SNSでの情報発信**

地域外の方に蕨野（わらびの）の棚田を知ってもらうために、InstagramとFacebookにて情報発信を行っています。
田植えや稲刈り、草刈りの様子など季節の移り変わりとともに、リアルな蕨野をお届けしています。

**●地域新聞「笑びのだより」の発行**

蕨野集落では、SNSを利用していない方がほとんどなので、地域新聞という形でお届けしています。
SNSでの外からの反応や、イベントの様子など、掲載内容は月ごとに異なります。

**●地域イベントへの参加**

相知町の「蕨野の棚田」がメインの活動場所となっており、蕨野集落でのイベントを中心に参加させてもらい、地域のことを勉強させてもらっています。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
(Instagram) @tanada_writer.warabino
(Facebook)　蕨野の棚田ライター

# 佐賀県玄海町　武藤　敬哉

観光・情報発信

## 基本情報

【年　齢】
27歳
【出身地】
佐賀県　嬉野市
【転出元】
佐賀県　嬉野市
【前　職】
アルバイト
【活動時期】
R３.6～ R6.6
(2年目)

## 協力隊に応募したきっかけ

着任の2年前、家族で浜野浦の棚田を見に行き印象に残っており、新聞で地域おこし協力隊の募集を見つけ棚田のPRや保全活動に協力したいと思ったことがきっかけです。

## 今後の抱負･任期後の目標

棚田耕作者の負担を減らすこと。
耕作体験を浜野浦の耕作者の方たちに浸透させる。
後継者がいない方のサポートを行う。
数年後、耕作者が減り現状維持が難しくなった場合に集落営農に切り替えることも考えて活動をする。
任期後
浜野浦の棚田に関わる仕事であればなんでもやりたいと思っています。

## 活動内容

**●SNSを使った棚田の情報発信**

インスタグラム、Facebookで日々の棚田の景色の投稿、季節ごとに咲く花（菜の花、ヒマワリ、彼岸花コスモス）の開花情報も発信しています。

**●棚田景観維持の草刈り作業**

主に耕作放棄地など誰も手を付けない、付けれない場所で行っています。
大変ですがやりがいしかないです！

**●棚田で米作り**

棚田の地域おこし協力隊をやっているので米作りをしたいと思い始めました。米作りは始めてでしたが浜野浦の耕作者や外部の方々のサポートもあり無事に収穫までの作業を終えることができました。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）mutou-keiya@town.genkai.lg.jp
（電話番号）0955-52-2112

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
インスタグラム　@hamanoura_tanada
facebook　浜野浦の棚田　@hamanoura

# 長崎県長崎市　齊藤　秀男

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
30歳
【出身地】
福岡県福岡市
【転出元】
福岡県福岡市
【前　職】
求人広告営業
クリーニング会社営業
【活動時期】
R2.2.10～ R5.2.9
（3年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

自分が運営するウェブメディアを通して、琴海地区で活躍されている方とお話しさせていただく機会があり、琴海地区の方々の人の良さであったり、豊富な食や地域自らで祭りを催すなど、魅力が多い地域であることを知り、「琴海」を全国、全世界の方に知って欲しいという思いがあったことから協力隊に応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

期間終了後も引き続き、琴海地区に定住し、地域の情報ウェブメディアとして活動し、地域の魅力を発信したい。
また、県全体にも情報共有を積極的に行いたい。

## 活動内容

**●地域活動拠点「ことこと」開設、地域の情報発信**

隊員の自宅1階空き店舗を改修し、地域活動拠点「ことこと」を整備。地域活動支援・移住相談窓口として開設。WEBサイト「ことこと」やTwitter、Facebookを活用し、琴海地区の飲食店やレジャー施設、体験施設を紹介。地域おこし協力隊の活動報告も掲載。

**●地域コミュニティ支援活動**

琴海のグリーンツーリズム団体「あっと！さ@琴海」の活動支援として、やまびこキャンプ場や清流と棚田の里等のHP開設、施設予約のネット受付、テントサウナをキャンプ場に導入するなどして、TVやメディアで取り上げられ、体験施設の知名度と利用者が急増。

**●ふるさと納税を利用し販路拡大、地区内の事業者支援**

隊員自ら、長崎市ふるさと納税登録事業者となり、琴海地区の生産・加工品をふるさと納税返礼品として登録する代行サービスを開始し、事業者の売上増や知名度向上に大きく貢献。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

琴海WEBｻｲﾄ
ことこと▶

Twitter
ことこと▶

Facebook
齊藤秀男▶

# 長崎県佐世保市　栗原　隆

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
42歳
【出身地】
栃木県佐野市
【転出元】
福岡県糸島市
【前　職】
アパレル
【活動時期】
R3.7～ R6.6
2年目

## 協力隊に応募したきっかけ

宇久島に移住を決めて、移住手続きをしている中、行政職員に協力隊の仕事を紹介されたのがきっかけとなりました。
志望動機は、ブログ運営スキルを活用できると思った事と、宇久島に対して知的好奇心を持った為です。

## 今後の抱負・任期後の目標

今後の抱負
・観光協会のHPのアクセスアップ
・協力隊任期後も効果が継続するWEB記事を作成したい

任期後の目標
・ブログ、YouTubeでの価値提供
・WEB書籍出版
・釣り具の製作と販売

## 活動内容

**●観光協会の業務**

観光協会に拠点に活動しています。
レジ対応や、電話の応対、ブログ記事管理、体験プログラムのインストラクターやアシスタントなどをしています。

**●WEB記事作成**

観光協会の業務や、地域での生活で得た知識や情報を元にWEB記事を作成しています。令和4年度はドローンによる写真も活用させていただいてます。作成した記事は宇久町観光協会公式ブログに投稿しています。

**●フリーマガジンの記事執筆**

五島列島のフリーマガジン「fullyGOTO」の特集記事を書かせていただいてます。宇久島の歴史や長く続いているお祭り、体験できる事などの内容に触れています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）takashi.kurihara@city.sasebo.lg.jp
（電話番号）0959-57-3113
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
協力隊SNS：FB(@u9jima)、TW&Insta(@uku_kyoryokutai)
宇久町観光協会公式ブログ：https://www.ukujima.com/ukulog

# 長崎県佐世保市　宇戸　莉央

観光・情報発信

## 基本情報

【年　齢】
２２歳
【出身地】
宮崎県　綾町
【転出元】
埼玉県　熊谷市
【前　職】
学生
【活動時期】
R4.4～ R7.3
（１年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

キリスト教・潜伏キリシタンに興味があり、大学では自分のルーツである新上五島町で潜伏キリシタン関連の研究を行っていました。その研究を通して、もっと長崎全体を広い視野で見ていきたいと思い、この度世界遺産の構成資産を有する黒島へ移住しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

長崎をとりまくキリスト教の文化や伝統、変遷などを総合的な視点で学んでいき、長崎の魅力を発信していきたいと考えています。

## 活動内容

● **「新たな視点での魅力の掘り起こし」と「資源をもとにした地域の魅力発信」**

現在はＳＮＳを通じた地域の情報発信や、黒島ウェルカムハウスでの観光案内などを行っています。今後は黒島の資源や遺産を活用したイベントの企画立案や商品開発などを行いたいと考えています。

● **「世界遺産を中心に島内の観光ガイド」**

令和３年１２月に電気自動車が導入され、観光客の行動範囲が増えたことによる世界遺産の案内や都会にはない島内の美しい自然の観光ガイドを行っています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）rio.uto@city.sasebo.lg.jp
電話番号　黒島ウエルカムハウス　0956-56-2311

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（フェイスブック）https://www.facebook.com/sasebochioko
https：//www.facebook.com/96shima

# 長崎県諫早市　菊山　達也

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
33歳
【出身地】
福岡県北九州市
【転出元】
福岡県北九州市
【前　職】
青年海外協力隊
【活動時期】
R２.９～
（４年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

日本の良さが残る田舎で、しかし田舎過ぎず利便性の良い地域で活動したいと、諫早市での地域おこし協力隊を志望。

## 今後の抱負・任期後の目標

諫早市の情報発信を通じて、市外の方に諫早市のことを知ってもらい、市内の方には諫早市の魅力を再発見してもらう活動を行いながら、どの活動においても「地域の人が主役！」を軸に、地域の人々の「何かをしてみたい」「どうしたらいいんだろう」をサポートしていきたい。

## 活動内容

### ● SNS等を活用した諫早市の魅力や情報発信

主にインスタグラムを使って、自分の目で見た諫早市の魅力的な場所や食べ物、人などの情報を着任以来毎日発信。
市外の人だけでなく、市民にも諫早の魅力を再発見してもらう機会になれば、と、ブログやラジオでも情報発信を行っている。

### ●移住相談対応

自らも移住者である視点から、諫早市での暮らしや魅力、強みや弱みについても情報も提供している。
また、移住を検討されている人が諫早市を訪れた際には、その人の生活スタイルや希望に沿ったルートを組み立て、市内を案内し、移住後の暮らしのイメージづくりのサポートを行っている。

### ●関係人口づくり

「地域の人や事業者との協働」を通じて、魅力的な地域素材を活用した商品開発のサポートを行い、事業者間の新たな関係性や価値を生み出している。また、その活動の中から、体験事業やツアー等を企画、実施し、関係人口の創出にも寄与している。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）iju_teiju@city.isahaya.nagasaki.jp
（電話番号）0957-22-1500
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
ｲﾝｽﾀｸﾞﾗﾑ　https//www.instagram.com/isahaya_city_pr/
ﾂｲｯﾀｰ　https://twitter.com/isahaya_city_pr

# 長崎県波佐見町　小橋　康之

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
54歳
【出身地】
京都府
【転出元】
奈良市
【前　職】
外食サービス業
【活動時期】
R2.12.1～ R5.11.30
（２年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

長年、ニュージーランドという自然に恵まれた国に住んでいましたので、日本でも環境の良い所で生活したいと思いました。ニュージーランドで経営していた店で波佐見焼を使っており、窯業、農業、観光業が盛んな波佐見町に興味を持ちました。新しい地でワクワクしながら自分自身が楽しみたいと思い、地域おこし協力隊に応募しました。

## 今後の抱負･任期後の目標

枠にとどまらず、新しい視点で幅広く魅力を発見・創出をしていきたいと考えています。長年、外食関係に従事してきたので、食に関することや何もない自然しかない国での生活経験と外国での経営者としての視点や経験が役に立てるのではないかと思います。また、よそ者の視点では、ほかに負けないと思っています。

## 活動内容

**●鬼木古民家改修、企画運営、提案**

鬼木の棚田にある児童文学者であり波佐見町名誉町民でもある福田清人氏の生家の改修、企画提案、運営を行います。
民泊と地域・観光のコミュニティ拠点として活用予定です。

**●花企画**

鬼木の棚田も農業従事者の高齢化が問題になっており、今後も休耕地・耕作放棄地が増えることが予想されます。それらの有効活用のため花を植えることを始めました。観光資源として、またニホンミツバチ養蜂の蜜源として新しい特産物の創出を試みています。

**●廃石膏の再利用･有効活用**

波佐見焼を作るうえで排出される石こう型。波佐見町では年間約700トンの産業廃棄物として、数十年来の問題。それらを植木鉢やキャンドル・ホルダー、冷蔵庫マグネットなど、新しい売れる商品として企画・提案します。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）Yasuyuki-kobashi@town.hasami.lg.jp
（電話番号）0956-85-2162

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）hasami833chiikiokoshi
（facebook）hasami.chiikiokoshitai

# 長崎県新上五島町　浅賀　琢巳

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
25歳
【出身地】
東京都　足立区
【転出元】
東京都　足立区
【前　職】
イタリアンレストラン勤務
【活動時期】
R4.8月～

## 協力隊に応募したきっかけ

旅行で訪れたことのあった上五島の魅力に惹かれ、移住関係のフェアで新上五島町での地域おこし協力隊の募集があることを知り、思い切って応募を決意しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

任期後は地域の食材を使ったイタリアンレストランを開業し、更に上五島の魅力発信に貢献したいです。

## 活動内容

**●COMS及びRideeの管理**

新上五島町観光物産協会にて貸し出しているCOMS(一人乗り用電気自動車)やRidee(電動キックボード)の日々の整備・点検など管理業務のほか、これらのモビリティのモデルルートマップの作製などを行い、地域の魅力発信に努めています。

**●有川情報センターでの勤務**

上五島の玄関口である有川港ターミナル内にある有川情報センターにおいて、島を訪れたお客様へのご案内をしています。島内の観光案内から港周辺のグルメ情報まで、様々なお客様の質問にお答えし、お客様の旅をサポートします。

**●SDGｓワークショップ業務**

上五島の海岸に漂着する海洋プラスチックごみを回収、材料として、お魚型キーホルダーに生まれ変わらせるSDGｓワークショップを行っています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）t.asaga@shinkami510.com
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）https://www.instagram.com/chioko_snkm/
（Facebook）https://www.facebook.com/kami510chioko

# 熊本県八代市　松田　萌花

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
２３歳
【出身地】
熊本県熊本市
【転出元】
福岡県福岡市
【前　職】
大学生
【活動時期】
Ｒ４.４～

## 協力隊に応募したきっかけ

大学在学中に、元地域おこし協力隊の先生や八代市坂本町で研究をしている先生と出会い、坂本町の地域おこし協力隊のお話を紹介いただきました。
在学当時のゼミの先生の後押しもあり、坂本町の地域おこし協力隊に応募しました。

## 今後の抱負･任期後の目標

・坂本町には鹿や猪など、野生鳥獣が多くいます。坂本町産の鹿肉を美味しく食べられる機会を増やしたいと考えています。現在は猟友会に入り、罠猟を勉強中です。

・ネットで「坂本町」と検索すると、八代市と合併する前や令和２年７月豪雨の被災前の情報が多く出てきます。今の坂本町をより多くの人に伝えられるようにします。

・坂本町には食、祭り、芸術、様々な面白い文化があります。さらに調査し、体験してもらえるようにします。

## 活動内容

**●SNSを用いた情報発信**

着任後から、X(旧Twitter)・Instagram・Facebookを用いて情報発信を行っている。
各SNSで異なるターゲットを設定している。
複数のSNSを活用することで、より幅広い人たちへ坂本町の情報を伝える機会を増やしたい。

**●狩猟**

坂本町は8割が山林という、自然が豊富な町である。鳥獣被害に悩む地域の方の話をよく伺う。狩猟免許を取得し、1年目の冬から罠猟を勉強している。2年目からは有害駆除員として、より広い範囲で罠猟を行う。

**●地域イベントや祭りへの参加**

坂本町では、イベントや祭りなどの様々な行事が開催されている。
坂本町はとても広く、地域ごとの特色も様々であり、地域の特色を学ぶため積極的に参加している。
地域にある文化財の調査などにも積極的にかかわっている。
地域のアユ料理の食堂にも勉強に行き、坂本町で生きる方法を模索している。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）sa-chiiki@city.yatsushiro.lg.jp
（電話番号）0965-45-2211
【活動の様子を発信しているSNS】
右記QRコードから、各SNSアカウント（X(旧Twitter)・Instagram・Facebook）のリンクに飛ぶことができます。

# 熊本県人吉市　横山　貴一

観光・情報発信

## 基本情報

【年　齢】
27歳
【出身地】
東京都
【転出元】
大阪府吹田市
【前　職】
個人事業主
【活動時期】
R4.5～

## 協力隊に応募したきっかけ

①個人事業主と活動している中、月1度
人吉を訪問。その中で魅力を感じ移住を決意
②実績を作り起業活動に活かすため
③くま川鉄道での業務という地域おこし協力隊でないと関われない仕事内容に惹かれ、大きなチャンスだと感じたため

## 今後の抱負・任期後の目標

①地域おこし協力隊の業務で実績を積み自分自身の事業に活かしていく
②人吉での法人設立
③くま川鉄道で収益事業を立ち上げ赤字額を補填する

## 活動内容

**●SNSでの情報発信**

Instagram、Twitterや鉄道会社ではおそらく初の試みであるTikTokなど各SNSでの情報発信を行い、YouTubeやイベントの集客、ファンの獲得を行う
また人吉市全体の魅力を発信し認知の拡大に努める

**●YouTubeチャンネルの運営**

収益化を目的にYouTube事業を立ち上げ。
「くま鉄チャンネル」を運営し収益の獲得を目指す。
企画、撮影、編集、発信を一括で行う。

**●グッズの企画開発**

くま川鉄道の新たなグッズを企画開発
企画、デザインを行う。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
YouTube 「くま鉄チャンネル」
Instagram @kumatetuofficial

@KUMATETUOFFICIAL

# 熊本県水俣市　本山　祥

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
２８歳
【出身地】
熊本県熊本市
【転出元】
石川県金沢市
【前　職】
バイク販売店の営業職
【活動時期】
R4.1月

## 協力隊に応募したきっかけ

地元の熊本に戻り、熊本をアピールできる仕事に関心を持ち求職活動をしていた。そんな時に水俣市の地域おこし協力隊の募集を知り、水俣市のことを調べたところ、従前のイメージとは違う「観る・食べる・泊まる・癒し」の観光資源が多くあることを知り、それらをＰＲする仕事に取り組んでみたいと思い応募した。

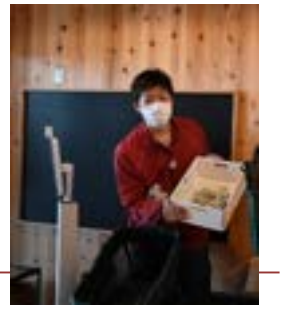
## 今後の抱負･任期後の目標

今後の活動については、市の予算措置等の動向を踏まえ決定する予定。
任期後は、水俣市において観光分野に関わる仕事に就きたい考えているが、詳細については未定。

## 活動内容

**●観光情報発信イベントへの参加**

観光情報発信イベントの参加や一般社団法人みなまた観光物産協会（新水俣駅観光案内所）における観光案内業務の補助を通じて水俣市の観光情報を発信し、観光誘客の増加につながる活動を行っている。



**●ＳＮＳによる観光情報発信拡大**

水俣市の観光情報発信を目的とし、Instagramの個人アカウント「minamata_ba_agenban」を立ち上げ、観光情報発信イベント等の活動を通じてフォロワーを増やし、現フォロワー数は５８１名に到達。フォロワーに向けて随時水俣市の観光情報を発信している。（計６３件）
また、水俣市の公式観光インスタグラム「dekakukkaminamata」においても観光情報発信を行っている。

**●自主企画イベント「水俣ハロウィンフェスタ」の開催**

地域おこし協力隊の自主企画として、水俣バラ園において初の試みとなるハロウィンイベントを開催する。（ハロウィン限定フォトブースの設置、ＳＮＳでのフォトコンテスト開催、無料の初心者向けカメラ講座の開催、キッチンカーの出店他）

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】　※窓口：水俣市経済観光課
（メールアドレス）yamauti-ta@city.minamata.lg.jp
（電話番号）0966-61-1629
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
隊員のインスタグラム　→

# 熊本県山鹿市　伊藤　真紀

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
39歳
【出身地】
熊本県熊本市
【転出元】
神奈川県横浜市
【前　職】
独立行政法人職員
【活動時期】
R４.7～ R７.６

## 協力隊に応募したきっかけ

数年前からUターンを考え始め、熊本の情報を発信する仕事に就き、多くの人に熊本を訪れてもらいたいと思ったことがきっかけです。そこで、地域おこし協力隊のことを知り、自治体および地域の皆さんと共に活動することで、新たな魅力発見や、その地域が本当に求めているニーズを追求することができると思ったからです。

## 今後の抱負・任期後の目標

過去、矢谷渓谷やチブサン古墳、また山鹿温泉などに訪れたことがあり、山鹿は親しみを感じる土地でもありました。私は、これまで約18年間熊本を離れて暮らし、県外には、熊本に温泉があることを知らない人がまだたくさんいらっしゃることに驚きました。そこで、山鹿市の温泉はもちろん特産品や観光地、灯籠まつり、国の重要文化財の芝居小屋「八千代座」その他、歴史や文化などを積極的に情報発信するとともに、フォトコンテストや山鹿温泉巡りなどを開催し、集客につなげていきたいと考えています。

## 活動内容

**●広報活動**

月刊市報である広報やまがの紙面づくりを主な業務とし、市の施策から各課からのお知らせをわかりやすい記事にして掲載します。また、地域の行事や、頑張る住民の皆さんを紹介するなど積極的に取材に取り組み、旬な話題の提供に努めます。

**●情報発信活動**

広報やまがに掲載する記事はもちろん、各課からのお知らせの中には、すぐに告知が必要なスピードが求められる話題も多く、そのような情報は、市公式ホームページや公式ＳＮＳのFacebookやTwitterまた「やまがメイト」で配信するなど、情報発信の強化・充実に努めます。

**●動画配信活動**

令和4年10月から、山鹿市役所職員による施策やイベントなどの情報発信するために立ち上げられたYouTube動画配信部に、メンバーとして参加し、魅力的な動画を配信するため、現在、方向性や内容の企画に取り組んでいます。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）hisho@city.yamaga.kumamoto.jp
（電話番号）0968-43-1110

【山鹿市公式ホームページ】
https://www.city.yamaga.kumamoto.jp

# 熊本県上天草市　明瀬　智博

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
35歳
【出身地】
熊本県熊本市
【転出元】
兵庫県神戸市
【前　職】
空調機器メーカー営業職、バイク整備士
【活動時期】
R3.10～ R6.9
（2年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

3歳から釣り好きの父親に魚釣りを叩き込まれ、趣味として30年間釣りを楽しむ。全国転勤のある会社に就職後、帰省のたびに上天草で魚釣りを楽しんでいたが、馴染みの遊漁船船長から後継者がいないことを聞き、地方の課題がジブンゴトとなる。新卒から10年超勤めた会社を退職し、地元でのビジネスを模索していたときに、上天草市の釣りを軸にしたブルーツーリズム推進事業の地域おこし協力隊案件の募集があり、応募に至った。

## 今後の抱負・任期後の目標

市が推進する釣りを軸にしたブルーツーリズム推進事業と連携し、釣り客の観光消費額増加を目指した取組を継続し、釣り旅行のコーディネート、釣りインストラクター等での収益化を目指す。また、上天草は、立地や海域の特性上、釣り未経験者～初心者向けに優位性を持っているため、メディアへの執筆やYouTubeなどの自身のメディアを通じて、情報発信を継続し、釣り初心者に向けて上天草の認知を高め、ブランド構築を目指す。また、釣りと関連性の高いアウトドアやツーリングなどにおけるサービス連携も図る。

## 活動内容

**●釣りに関する情報発信**

九州・山口の月刊釣り情報誌「釣ファン」にて、見開き2Pを定期連載、熊本で月2回発行されている釣り情報誌「熊日釣りタイム」で釣果情報、コラムの執筆などを通して上天草市の釣り情報を発信。その他、ウェブメディアや自身のYouTube、SNSにて初心者向け・未経験者向けの情報を発信。

**●釣り×地域振興を行う団体と連携したイベントの実施**

市の呼びかけにより、組織された任意団体と連携し、親子釣り教室（釣り×教育）、オンライン釣り大会（釣り×SDGs）、リアル釣り大会（釣り×ゴミ拾い）等、釣り×地域振興をテーマにした各種イベントを企画し、運営を行っている。

**●釣りのコーディネーター・インストラクター**

市の事業として行っている「釣×食×泊」事業に協力し、未経験者～初心者向けの釣り旅行プランのモニターツアー及びビジネスプラン構築に携わる。また地元宿泊事業者と連携した、初心者向けの釣りインストラクターサービスを提供。釣りメディア等の撮影コーディネート等にも従事。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
(Instagram)　https://www.instagram.com/miyo.kamiama_fishing/
(Twitter)　https://twitter.com/kamiamafishing
(YouTubeチャンネル)「かみあまフィッシング　Kamiama Fishing」
https://www.youtube.com/channel/UCpA5oxgMbN56HvobK7Fl8Tw

# 熊本県宇土市　野村　拳児

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
23歳
【出身地】
熊本県八代市
【転出元】
熊本県熊本市
【前　職】
アルバイト
eスポーツプロ選手
【活動時期】
R4.8～

## 協力隊に応募したきっかけ

自分は始めようと思ったきっかけがいくつかあり、最初のきっかけは自分が協力隊のOBの方と知り合いでその方から勧められたのが始まりでした。次のきっかけは、その地域に頻繁に行っており、知り合いも多かったという点です。なので、地域に馴染むのも早いかなと思い、この地域の協力隊になることを決めました。

## 今後の抱負・任期後の目標

今後の抱負は、動画投稿に限らず、自分の特技でもあるeスポーツを用いて高齢者支援やイベント等を行っていきます。また、ドローンの資格を取得し、ドローンを用いた撮影を行っていきたいと思っています。任期満了後は動画投稿とeスポーツ活動を続けつつ、ドローン資格を生かして仕事につなげていきたいです。

## 活動内容

**●動画投稿**

主体となる活動は、YouTubeに動画を投稿してこの地域の魅力を外部に発信していくことです。
様々な名所や名物、行事などを動画で分かりやすく説明していければと思っています。

**●動画投稿short**

２つ目の活動は、本動画だけでなくYouTubeのshort動画も使ってこまめに情報発信をしていくことです。
地域のイベントなどのすぐに上げないといけないものはshortで投稿しようと考えています。

**●SNS**

別の活動としてはSNSの運営です。
投稿した動画の拡散や、撮影しているときなどの実際の様子などをSNSに投稿していければと思っています。

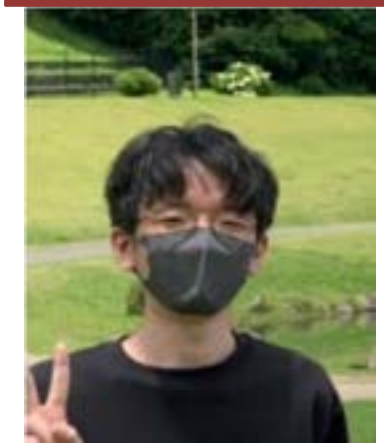
## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
YouTube：ウト’smile - YouTube
Instagram:https://www.instagram.com/ureactivation

# 熊本県合志市　野田　和樹

観光・情報発信

## 基本情報



【年　齢】
33歳
【出身地】
熊本県熊本市
【転出元】
熊本県合志市
【前　職】
カメラ専門店員、カメラマン、デザイナー
【活動時期】
R2.11～ R5.10
（2年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

合志市クリエイター塾のお手伝いをした事がきっかけで、協力隊の求人を知り、自分の経験が誰かの役に立てば良いなと思い応募。

## 今後の抱負・任期後の目標

今年は毎月開催のカメラ講座や市民祭で今までワークショップで関わった方を呼んでブースを作れた。来年は、カメラ塾（週１全四回などのスケジュールを組んだ深掘りした講座）を開催し、よりスキルアップを目指したい方々をフォローしたい。

## 活動内容

**●九州熊本熱闘合志園**

川崎フロンターレとのイベントで缶バッジ制作体験ブースを担当。缶バッジ用のイラストの作成、川崎フロンターレ公式Twitterで動画をツイートしてもらうため合志市クリエイター塾卒業生と制作説明動画を制作。イベントにくまモン出動申請も行い、非常に賑わった。

**●季節のフォトウォーク**

プロカメラマンの保田有希（やすだゆうき）さんとバラ園でポートレート講習会を開催。参加者には屋外で撮影するマナーやモデルとのコミュニケーションの取り方など、プロからの撮影のアドバイスが受けられるので人気のワークショップ（任期中に計3回開催）。

**●合志市金婚式記念撮影**

合志市クリエイター塾卒業生とともに、金婚式にご参加したご夫婦の記念撮影を行った。撮影した写真は作成した記念台紙と共に郵送。昨年には新成人の記念写真も撮影し、合志市のイベントで今後も市民クリエイターと協力して記念撮影を行っていきたい。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://www.loolokoshi213.jp/

# 熊本県芦北町　プラハ ケビン ユーゲン

観光・情報発信

## 基本情報

【年　齢】
27歳
【出身地】
ドイツ
【転出元】
奈良県北葛城郡上牧町
【前　職】
ホテルのハウスキーピング
【活動時期】
R3.7～R5.6
（2年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

妻が同じミッションの協力隊である。
八代海に浮かぶ「うたせ船」を見て、携わりたいと思い、応募した。
募集については、町のホームページで知る。

## 今後の抱負･任期後の目標

観光うたせ船をはじめ、芦北町の景色のすばらしさや、観光スポットなどSNS等を使いながら、知名度を上げていきたい。
任期後は、外国人目線で芦北の観光PRを行いながら、御立岬公園の仕事をしたり、小さい小売店等を経営したい。

## 活動内容

**●芦北町観光PR**

観光うたせ船をはじめ、町内の素晴らしいスポットをSNSにアップし。多くの観光客が芦北町に来てもらえるように今後外国語観光パンフレットを作成します。
また、取材依頼があれば積極的に芦北町の宣伝をしていきたいと思います。

**●御立岬公園管理**

今芦北で一押しの観光スポット「御立岬公園」の第2キャンプ場「星の森」がオープンしました。
ここのキャンプ場や、ゴーカート場などをお客様が気持ちよく利用してもらえるような接客を心掛け、今後増えていくインバウンドへの対応をしていきます。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）kankou@town.ashikita.lg.jp
（電話番号）0966-82-2511(芦北町役場　商工観光課)

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Facebook「芦北町地域おこし協力隊」

# 熊本県芦北町　田川　沙由里

観光・情報発信

## 基本情報

【年　齢】
29歳
【出身地】
奈良県北葛城郡上牧町
【転出元】
奈良県北葛城郡上牧町
【前　職】
ホテルのハウスキーピング
【活動時期】
R3.7～R5.6
（2年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

父方の実家が熊本県八代市にあり、昔、芦北町へも訪れていた。
八代海に浮かぶ「うたせ船」を見て、携わりたいと思い、応募した。
募集については、町のホームページで知る。

## 今後の抱負･任期後の目標

観光うたせ船をはじめ、芦北町の景色のすばらしさや、観光スポットなどSNS等を使いながら、知名度を上げていきたい。
任期後は、外国人目線で芦北の観光PRを行いながら、御立岬公園の仕事をしたり、小さい小売店等を経営したい。

## 活動内容

**●芦北町観光PR**

観光うたせ船をはじめ、町内の素晴らしいスポットをSNSにアップし。多くの観光客が芦北町に来てもらえるように今後外国語観光パンフレットを作成します。
また、取材依頼があれば積極的に芦北町の宣伝をしていきたいと思います。

**●御立岬公園管理**

今芦北で一押しの観光スポット「御立岬公園」の第2キャンプ場「星の森」がオープンしました。
ここのキャンプ場や、ゴーカート場などをお客様が気持ちよく利用してもらえるような接客を心掛け、今後増えていくインバウンドへの対応をしていきます。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）kankou@town.ashikita.lg.jp
（電話番号）0966-82-2511(芦北町役場　商工観光課)

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Facebook「芦北町地域おこし協力隊」

# 熊本県芦北町　三宅　克典

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
49歳
【出身地】
神奈川県藤沢市
【転出元】
神奈川県藤沢市
【前　職】
（株）バンテック厚木
【活動時期】
R4.7～R5.2

## 協力隊に応募したきっかけ

（株）バンテック厚木就職時代のキャンピングカー販売等業務を通じてキャンプ大会を開催した経験を活かした活動ができればと考えています。また、小さいころからキャンプをしてきたので、長年の知識を活かせたらと思い応募しました。

## 今後の抱負･任期後の目標

御立岬公園にあるキャンプ場で、立地条件、ロケーション、施設の充実等素晴らしいキャンプ場の運営に携われていると感じています。情報発信を行いより良いキャンプ場を作っていけるように頑張ります。

## 活動内容

**御立岬第2キャンプ場オープン準備**
御立岬第2キャンプ場（星の森）の看板を設置しました。数日後にオープンを控え毎日バタバタしています。

**御立岬第2キャンプ場プレオープン**
新キャンプ場オープン前に行われたマルちゃんカップビーチバレーinくまもとの参加者の方に、キャンプ体験をしていただきました。前日に10張のテントを汗だくになりながら設営しました。参加者のみなさんに大変喜んでいただきました。

**御立岬第２キャンプ場オープン**
御立岬第2キャンプ場（星の森）オープンの日。7組限定のお客様とキャンプファイヤーを囲んでの談話。無類のキャンプ好きが集まって、次の日には早速インスタなどで紹介していただきました。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（電話番号）0966-82-2511（芦北町役場商工観光課内）

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Facebook「芦北町地域おこし協力隊」

# 宮崎県えびの市　高杉　せれな

観光・情報発信

## 基本情報

【年　齢】
47歳
【出身地】
アメリカ合衆国
ニューヨーク州
【転出元】
東京都　稲城市
【前　職】
客室乗務員（現職）
【活動時期】
R３.４～

## 協力隊に応募したきっかけ

社内で地域おこし協力隊の募集があったため。
客室乗務員として各都道府県に派出していることを知っていたことと、アウトドアが好きであったため募集要項に合致していると感じた。

夫が宮崎県小林市に在住しており、宮崎県への移住を選択肢のひとつとして考えていたため。

## 今後の抱負・任期後の目標

「えびの高原」というとても魅力的な観光地と豊かな自然に囲まれた恵まれた地をもっと多くの方に知ってもらえるよう効果的なPRをしていきたい。
宮崎県ではあるが鹿児島県の方が近いという特徴もアピールし、ANA（所属会社）とも協力し知名度を上げる活動に貢献したい。また地域に根差した起業も視野に入れ活動していきたいです。

## 活動内容

**●アウトドアに関するPR活動**

「アウトドアシティえびの」を掲げるえびの市では多くのアウトドアアクテビティを有し、提供しています。女性ならではの視点、県外者からの視点を持って自分自身が体験したものをSNS等で発信しています。

**●観光・物産振興に関する活動**

「田の神さぁ」や「えびの高原」といった定番の観光地だけでなく、自分自身がこれは良いと思った地元の隠れたスポットをTV番組、ラジオなどを通じて紹介。物産展等にも参加し、「えびの市」の認知度を上げる活動をしています。

**●地元事業者との連携、お土産品開発**

「えびの市」の認知度向上を目的に、地元住民・事業者の方と協力してお土産品開発を実施しました。一から商品を作りあげ、半年で市のブランド認証を受け、宮崎空港でも販売を開始しました。「何もない」という消極的な住民の意識を変えて盛り立てること目的に活動しています。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】
https://www.Instagram.com/ebinocity.kyoryokutai/
https://www.facebook.com/ebinokyoryoku/

# 宮崎県高千穂町　宮脇　岳

観光・情報発信

## 基本情報

【年　齢】
31歳
【出身地】
島根県大田市
【転出元】
長野県安曇野市
【前　職】
派遣アルバイト
【活動時期】
Ｒ２.４～Ｒ５.３
（３年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

結婚を機に妻の地元である高千穂町に移住してきました。このまちで起業するために、まずは地域のことを知ると同時に私の顔を知ってもらうことが大切だと考え、地域おこし協力隊に応募しました。

## 今後の抱負･任期後の目標

任期も今年度いっぱいで終わるため、着任当初の目標であった起業の準備を進めています。店舗物件も見つかったので来年度中には開業できるよう頑張ります。

## 活動内容

**●七夕飾りとお焚き上げ**

七夕の時期にあわせて短冊と竹を用意し、施設内で記入・飾りつけをできるようにしていました。
そして皆さんが書いた短冊は天岩戸神社の宮司にお願いをし、「お焚き上げ」をしていただきました。
ただの七夕飾りではなく神社でお焚き上げをしてもらうまでがセットのとても貴重なイベント。

**●ウォーターサバゲー**

地元のおじいちゃんに講師をお願いして竹の水鉄砲を一緒に作り、完成した竹の水鉄砲で撃ち合いをする夏限定のアクティビティーです。子供はもちろん大人も楽しめるずぶ濡れ必須の大人気イベント。

**●情報発信**

有名な観光地(神社やスポット)の情報はもちろんのこと、観光マップには載っていないような地元の人しか知らない景色・景観などを投稿しています。担当施設でのイベント情報も併せて発信しています。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Instagram：amaterasu_kan
Facebook：天岩戸交流センターあまてらす館

# 鹿児島県阿久根市　中原　雅

観光・情報発信

## 基本情報

【年　齢】
40歳
【出身地】
熊本県熊本市
【転出元】
熊本県熊本市
【前　職】
特定非営利活動法人
五ヶ瀬自然学校
【活動時期】
R3.10～ R6.3

## 協力隊に応募したきっかけ

前職では川でのサップツアーガイドを行っており、海でのツアーも開催したいと考えていたところ、阿久根市の募集内容、体験型観光コンテンツの開発に魅力を感じ応募しました。また幼少期に泳いだ、阿久根大島海水浴場の美しさ、自然の豊かさを想いだし、応募の動機となりました。

## 今後の抱負・任期後の目標

海での活動がメインになりつつあるので、海の町阿久根市ですが、山の自然も活用し、今後は、畑仕事体験や、柑橘農家さん、野菜農家さんとも共同で、子供から大人まで、幅広い年齢層で楽しめ、観光もできるプランを立てて実践を行っていきたいです。また、任期後は、サップ体験をメインとし、起業予定。シーズンオフでは、アウトドア体験や愛犬との山遊びお散歩会などを企画し、愛犬家にも来阿しやすい環境作りを進めて行きたいと考えてます。

## 活動内容

### ●体験型観光コンテンツ開発

カヤック・ＳＵＰといったマリンアクティビティを中心として、体験型観光コンテンツ開発に取り組んでいます。
現在は、ペットと一緒にできるコンテンツ開発や地域の方が自ら提供するコンテンツのお手伝いなど、アクティブに活動しています。

### ●ドッグラン・お散歩会

ペットと楽しめる場を作ることを目的として、ドッグランやお散歩会を実施しています。
阿久根市にはまだないドッグランを作り、市内外から遊びに来てもらえるよう活動しています。

### ●観光情報の発信

阿久根の観光情報を発信することを目的として、Ｗｅｂに記事を掲載しています。
記事を掲載するに当たっては、地域の方とお話ししたり、知らない場所を歩き回ってみたりと新たな発見や地域の方でも気づきにくい情報を外目線から定期的に発信しています。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

←阿久根市地域おこし協力隊フェイスブック

←阿久根市地域おこし協力隊インスタグラム

# 鹿児島県阿久根市　津崎　信乃

観光・情報発信

## 基本情報

【年　齢】
46歳
【出身地】
福岡県福岡市
【転出元】
福岡県福岡市
【前　職】
(株)コロンビアスポーツウェアジャパン
【活動時期】
R2.4～ R5.3

## 協力隊に応募したきっかけ

長く、会社に属したアウトドアの仕事に携わっていたが、もっと地域に密着したアウトドア活動がしたいと思うようになり、そんな時、知人から阿久根の自然と街の取り組みについて聞くきっかけがあった。そこで、一度阿久根に足を運んでみようということで訪れた際、阿久根大島と海の壮大さと自然の豊富さに感動したと同時に街の規模とそのまま残っている町並みから、アクティビティを通じて自分の得意ごとを活かしながら、まちおこしが出来る可能性を感じたから。

## 今後の抱負･任期後の目標

今後は、現在活動している阿久根の自然を活用したアクティビティを本格的にしていくため、起業する方向である。また、それだけでなく、地域の方と語り合える場づくりとしてコーヒーを提供していき、ビーチクリーン、ちいき食堂などボランティア活動は継続しながら、子ども達が未来に向けて生きる力を身につけられるよう、定期的にネイチャー教室を開いたり、フリーマーケット等もイベントも開催予定です。

## 活動内容

**●体験型観光コンテンツ開発**

カヤックやＳＵＰといったマリンアクティビティを中心に、マウンテンバイクやリバートレッキングといった阿久根の自然を体験できるコンテンツ開発を行っています。

**●地域の人との交流の場づくり（フリーコーヒー）**

地域の方々と語り合う場を作りたいとの思いで、阿久根の色々な場所を巡ってフリーコーヒーを行っています。ご老人から子どもまで世代を問わずに話す場を作り、人と人とが繋がる機会になればと思って活動しています。

**●旧校を活用したイベント実施**

地域の人口減少により閉校となった学校を活用し、地域の方との繋がりづくりや、旧校の活用案のひとつになればと思い、自らが得意とする体験にマルシェを組み合わせたイベントを開催しました。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

←阿久根市地域おこし協力隊フェイスブック

←阿久根市地域おこし協力隊インスタグラム

# 鹿児島県出水市　川村　洋太

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
29歳
【出身地】
神奈川県横浜市
【転出元】
神奈川県横浜市
【前　職】
季節労働者
【活動時期】
R2.11～ R6.11(3年目)
※任期特例措置により任用期間1年延長

## 協力隊に応募したきっかけ

出水市に移住を決めていて、仕事を探した結果地域おこし協力隊に着任しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

現在、経営している事業「茶ノ花」を経営して、出水市に定住できるよう事業規模を拡大し、出水を拠点に九州を中心とした化学肥料・農薬不使用の国産茶を首都圏や都市部のレストラン・カフェ・一般消費者（20～40代の男女）になじみ深いブランドに成長させること。

## 活動内容

**●出水で生産されている茶のPR**

鹿児島の中でもトップクラスの寒暖差を誇る出水上場高原で生産されている40年以上有機栽培茶の生産に取り組まれている天下一葉 お茶工房田中園と協力して良質な茶や美しい景観を体験やワークショップを通じて、出水茶のPRを行っています。

**●観光ツアー・観光スポット増設**

自ら、開業し運営している「茶ノ花_chanoka」を活用して、ワークショップや出水で20～30代の男女が立ち寄れるスポットの増設、またサービス内にある多種多様な国産茶の飲み比べワークショップなど行い、食育という観点から出水の観光PRを行っています。

**●特産品の開発**

自ら、開業し運営している「茶ノ花_chanoka」を活用して、出水のお茶を主体にオリジナルのブレンド・仕様・パッケージデザインを施した商品、KAGOSHIMA DRIP TEAを開発。
かごしまの特産品コンクールに出品するなどして出水茶のPRと共に特産品の開発を行っています。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（オンラインストア）https://teaclubchanoka.stores.jp
（Instagram）chanoka_teaclub

# 鹿児島県志布志市　山田　剣志郎

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
37歳
【出身地】
兵庫県神戸市
【転出元】
東京都世田谷区
【前　職】
芸人、派遣社員
【活動時期】
R３.10～ R６.10
（２年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

東京でお笑い芸人として活動していましたが、鳴かず飛ばず。ただただ日々が過ぎていく中、ますますSNS発信が盛んになる状況に、ふと「全国どこにいても発信できるなぁ」と思い、地方移住を考えました。そんな時に知ったのが地域おこし協力隊の制度。まちを盛り上げて、みんなの役に立てて、それを仕事としてできる協力隊は、まさに自分が探していたものでした。

## 今後の抱負・任期後の目標

もっと志布志市のみなさんに自らの存在を知ってもらいつつ、市民のみなさんと一緒に地域おこしをしていきたいと考えています。また、任期後も「地域プロモーション」活動を継続して、志布志市の魅力を全国へ全世界へ発信していきたいと考えています。

## 活動内容

① 広報紙「市報 しぶし」の編集

毎月、読者プレゼントコーナーなどのページを担当し、取材からページレイアウトまで行っています。時には特集ページを企画することもあります。その反響は大きく、「市報みたよ！」と声をかけられることもしばしばです。

② ケーブルテレビ放送

地元ケーブルテレビBTVの行政放送番組内にて、冠コーナー「ヤマダくんの しぶしでたトコMAP」に出演中。クジで引いた場所へ行き、地元の方たちと交流し、志布志市の良さを再発見する街ブラコーナーです。毎回、台本なしの"でたトコ"ロケを展開しています。

③ 「志布志市公式YouTube」発信

市からのお知らせを中心に、公式YouTubeに動画をアップしています。企画・撮影・編集を行い、出演もしています。少しでも興味をもってもらえるように、内容はできるだけわかりやすく、楽しんでもらえるような動画づくりを心がけています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）kouhou@city.shibushi.lg.jp

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（志布志市公式YouTube）https://www.youtube.com/user/shibushicity

# 鹿児島県湧水町　児玉　光

観光・情報発信

## 基本情報

【年　齢】
51歳
【出身地】
愛媛県
【転出元】
北海道札幌市
【前　職】
アーティスト
【活動時期】
R３.７～R６.３
（２年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

湧水町で開催されている,チェンソーアート大会に出場したことがきっかけで湧水町を知り,林業が盛んな湧水町でチェンソーアート制作活動を通して町の活性化をしたいと思い応募した。

## 今後の抱負･任期後の目標

豊かな森林資源を活かして,森の中のあらゆるところに作品を展示し,森一体が美術館であるような空間を作りたい。
また,地元の大手木材メーカーとコラボし,CLT材を使用した,観光のシンボルとなるような巨大オブジェの制作を計画している。
さらには,林業の担い手確保のため,芸術活動を行いながらチェンソーアートを通じて森林環境の教育(木育)活動を行っていきたい。

## 活動内容

### 子どもたちとのふれあい

町内の幼稚園や小中学校で,園児・児童・生徒らとチェンソー試し切り体験や,共同で作品を制作する機会を設けて活動を行った。

### 観光PRや地域活性化としてのベンチ制作活動

湧水町にゆかりのあるものをベンチ作品として制作し,鹿児島空港や全国和牛能力共進会のイベント会場等に設置し町のPRを行った。また,農村地域にも米俵をモチーフにしたベンチを設置するなどの活動を行った。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（電話番号）0995-74-3111(湧水町役場)

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://tree-spirits-art.com

# 鹿児島県肝付町　楢崎　恵

**観光・情報発信**

## 基本情報

【年　齢】
４５歳
【出身地】
鹿児島県　鹿屋市
【転出元】
福岡県　福岡市
【前　職】
ブライダル事業
【活動時期】
Ｒ４.９～Ｒ７.８
（１年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

主人とブライダルの引き出物サービスを運営する会社を経営しており、昨今の新型コロナ ウイルス感染症の影響でブライダル業界も未だかつてないきびしい状況となりました。そんな状況の中、周りの方々のおかげで今も続けていられる事のありが たさを感じたとき、次は私が誰かのために役に立ちたい！と強く思いました。 できれば、お世話になった人達に恩返しがしたい！何かないか？とパソコンで検索してい ると、祖父母の住んでいた肝付町の協力隊のワードに出逢い、協力隊へ応募し 今に至ります。

## 今後の抱負･任期後の目標

地域の方々が肝付町をもっと好きになってもらうイベントを実施予定。そこには物つくりをしている皆さん（特に移住者）と協力して楽しいイベントを開催していく。
イベントを通じてまずは、地域から認知していきながら、町外の方々へと繋がる流れをつくる。

退任後は移住者に雇用 を提供できる仕組みつくりを 完成し、安心して暮らせる町つくりをする。

## 活動内容

**●グッズショップ運営補助･グッズ等開発**

きもつき宇宙協議会が運営する宇宙グッズショップのサポートや新たなノベルティ、グッズ等の商品開発の実施。

**●イベント出展･ワークショップ開催【予定】**

きもつき宇宙協議会と連動し、町内外でのイベント出展や宇宙資源を活かした地域活性化等のテーマだけではなく、まずは地域に愛されるワークショップの企画・開催等を実施予定

**●宇宙のまちPR活動【予定】**

SNSの活用やイベント等での町のPR活動による宇宙のファン・肝付町のファンの拡大。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
お得な情報やイベントなど肝付町に関する情報発信を準備中
Coming soon

# 鹿児島県屋久島町　秦　知恵里

観光・情報発信

## 基本情報

【年　齢】
27歳
【出身地】
香川県さぬき市
【転出元】
香川県さぬき市
【前　職】
広報、ライター
【活動時期】
R4.4～ R7.3
（１年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

婚約を機に屋久島に移住することになり、仕事を探していたところ地域おこし協力隊の募集がありました。もともと大学で観光まちづくりを専攻していたので興味があったし、自分がこれから住む場所は楽しい場所であってほしい、そんな想いで応募しました。
それから友達に「屋久島に移住する」と話すと、ほとんどの子に「一度は行ってみたかった！」と言われました。私が住むからには一度と言わず何度も訪れてほしいと思ったのも応募理由の一つです。

## 今後の抱負･任期後の目標

●里の魅力発掘・発信担当として、現在はSNSでの発信をメインに行っていますが、今後はさらに幅広い表現方法で屋久島の魅力を発信していきたいと考えています。

●縄文杉や白谷雲水峡など自然資源に偏った観光ではなく、地域の暮らしや人、文化に触れられる旅を企画し、「また行きたい」と思ってもらえる屋久島を目指したいです。

## 活動内容

**●まずは自分が屋久島の暮らしを知り、楽しむ**

屋久島は観光の島としてのイメージが強く「どんな暮らしをしているのか想像できない」と言われることが多いです。食べるもの、遊び方、集落の行事など、島ならではの暮らしをまずは一つひとつ面白がって体験（挑戦とも言える）し、SNSで発信しています。

**●「＃屋久島でしたい100のコト」を発信**

Instagramで「＃屋久島でしたい100のコト」をテーマに、縄文杉だけでない屋久島の魅力を発信しています。多くのガイドブックでは山がメインに掲載されていますが、里にも滝、温泉、屋久島食材を使ったカフェなど魅力的なスポットがたくさんあります。新しい屋久島を発見してほしいです。

**●集落をめぐるツアーに参加**

屋久島町には26もの集落があり、それぞれ歴史や文化が違います。現在10集落で里めぐりツアーが行われており、地元の語り部さんが集落を案内してくれます。現状参加者の多くは60代以上ということで、どうすれば若い人たちにも興味を持ってもらえるか実際にツアーに参加してみて模索中です。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（役場電話番号）0997-43-5900

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）https://www.instagram.com/yakushima_cherry
（Facebook）https://www.facebook.com/YakushimaTownChiikiokoshi

# 沖縄県糸満市　トゥイトゥー・ルドヴィック

観光・情報発信

## 基本情報

【年　齢】
44歳
【出身地】
フランス
【転出元】
東京都豊島区
【前　職】
日系メーカー海外営業
【活動時期】
R３.４～R６.３
（２年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

糸満市に移住を検討希望があり、応募
主に次の4点
①観光者としての魅力：自然が美しい
②市民としての魅力：自然環境ではなく都会の利便性
③社会人としての魅力：農漁業が強く、大手企業がなく、起業家の町だとの印象（SDGsを推進するのに適している）
④親としての魅力：糸満市は子供が好きという印象（学校、公園、図書館、医療機関などが整備されている）

## 今後の抱負・任期後の目標

任期中
現地の事業者を軸に地域の海人文化をテーマに欧米人向けの5泊以上アドベンチャーツアーを確立し⇒ モニターツアー実施⇒ 持続性のある商品を観光協会から発売する。
任期後
インバウンド向けのアドベンチャー・トラベルの地域コーディネーターとして、個人事業を開業するのが目標。現段階で地域の業者との信頼関係を強化するのが最も力が要する任務。

## 活動内容

**●インバウンド向けのアドベンチャーツーリズム商品の開発**

地域に貢献するインバウンド観光の開発販売が地域の課題。そこで、アドベンチャーツーリズムの商品を開発している最中。昨年研修を受けて、地域の「海人文化」をテーマに商品開発中である。今年度中にモニターツアーを実施計画中。

**●観光商品向けのグリーンスローモビリティの展開**

地域おこし協力隊としてのミッションはインバウンド観光でありながら、新しいモビリティの手段（グリーンスローモビリティ）も利用して新しい商品開発に挑戦している。

**●広報誌等に市民向けのコラム**

地域おこし協力隊　X　外国人　の目で見た移住先（糸満市）を市民向けに発信することによって、地域を明るくする。18回の絶賛月刊コラムを書いています。月3万部以上の広報誌。
他に
テレビ取材、PV出演、インタービューなど実施

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Facebook）
https://www.facebook.com/chiikiokoshi.itoman/

# 沖縄県伊江村　田仁　省吾

観光・情報発信

## 基本情報

【年　齢】
37歳
【出身地】
兵庫県　神戸市
【転出元】
沖縄県　伊江村
【前　職】
アパレル
【活動時期】
R3.6～ R6.6
（２年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

沖縄が好きで、沖縄の自然と共に子育てをしたく、移住を検討していたところ、伊江村の協力隊募集を知りました。実際に伊江島を訪れ、島の雰囲気に惹かれ、ここに住みたいと思い応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

ハイビスカス園を花の鑑賞施設だけに留まらせず、
体験、学習、研究施設としても発展し、相互作用を図る。

村外の観光客だけでなく、村民や子供たちも訪れ、学び、楽しめる施設を目指します。

## 活動内容

**●ハイビスカス園の経営拡大**

ハイビスカス園を「知ってもらい」「来てもらい」「楽しんでもらう」ための施策のうち、まずは「知ってもらう」ことを重点とした活動を行いました。
2年目は体験教室など、鑑賞以外のハイビスカスの可能性について研究中です。

**●移住生活発信**

伊江島移住生活を発信することによって、移住検討者や観光客誘致につながることを期待。

### 情報発信

インスタグラム
Youtube、ブログ、
TikTok開設。

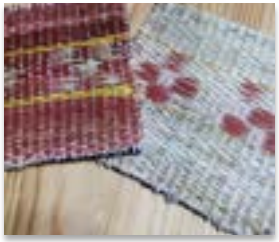
各種新聞、雑誌媒体取材対応。ハイビスカス協会会報誌作成

### イベント

離島フェア参加。

小学校リモート授業開催

### 商品開発



ポストカード作成。

体験教室に向けたメニュー開発。

和紙制作、織物、染色等実験等

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス tani-s@iejima.org

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
インスタグラム　「ie_hibiscus」　「mokichi_okinawa」で検索
YouTube　「伊江島ハイビスカス園」　「沖縄率暮らしの日常」
ブログ　https://yonner-yonner.com

# 沖縄県渡名喜村　清水　久乃

観光・情報発信

## 基本情報

【年　齢】
42歳
【出身地】
静岡県　富士市
【転出元】
滋賀県　大津市
【前　職】
コンタクトレンズ販売員
【活動時期】
R3.4.1～

## 協力隊に応募したきっかけ

もともと沖縄が大好きで、一人で離島めぐりをしてました。渡名喜島も何度か訪れたことがありぼんやりとこの島に住めたらいいなぁと思ってました。
40歳を過ぎ、やりたいことをやるなら今しかないという気持ちもあり、そこに偶然渡名喜島が地域おこし協力隊を募集していたのでこれは運命だと思い一念発起応募しました。

## 今後の抱負･任期後の目標

観光客がとても少ないこの島でなにができるのかを考え、１つでもいいので問題点の解決を図っていく。
農業や特産品作りなど村民と交流をもちながら、それを上手く観光事業（体験ツアー）に繋げる。
来島頂いた観光客の方に思い出に残るような丁寧な接客を心掛ける。

## 活動内容

**●観光協会受付事務全般**

・観光案内所に来館された方への接客応対。
（観光案内、お土産販売、レンタサイクル受付等）
・電話、メール問い合わせの対応。
（宿泊、食事、ガイド等）

**●島の情報収集と観光情報の発信**

・渡名喜島観光サイト（HP）の運用。
・渡名喜島観光協会公式インスタグラムの運用
・琉球新報への寄稿
・伝統行事や地域行事、学校行事への参加

**●その他　観光振興に関する活動**

・ステッカーやふくぎ染め手ぬぐいの製作・販売
・レンタサイクル事業立ち上げ
・島あっちい等体験ツアー作成
・特産品もちきびの栽培から販売まで
・空き家活用やSNS活用のための研修等参加

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）shimizu@tonaki-kanko.or.jp
（電話番号）098-996-3758
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（渡名喜島観光サイト）https://www.tonaki-kanko.com/
（渡名喜島観光協会公式Instagram）
https://www.instagram.com/tonakiisland_kanko/

# 04 商品開発・販売

# 北海道釧路市　本間　忍

**商品開発・販売**

## 基本情報

【年　齢】
48歳
【出身地】
北海道　釧路市
【転出元】
北海道　江別市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R2.10～ R5.9
（3年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

江別市で就職活動を行っていた際に、新聞で釧路市音別町の地域おこし協力隊募集の記事を目にし、さらに調べると釧路市音別町に和紙「富貴紙」の文化があることを知り、ぜひ、この富貴紙に携わりたいと感じ応募した。

## 今後の抱負・任期後の目標

富貴紙の普及促進活動、技術継承に携わりながら、音別地域に数少ない宿泊施設（ゲストハウス）運営で起業、定住し、引き続き地域の魅力を発信していきたい。

## 活動内容

**●富貴紙の普及促進活動**

釧路市音別町の特産物「蕗」の皮を原料として作られる和紙「富貴紙（ふきがみ）」を、イベントでの出店販売や富貴紙のランタンキットのワークショップによりＰＲ。
また、紙漉き体験会の紹介・案内や、体験会での富貴紙のプレゼンテーション。

**●その他音別地域特産物の普及促進活動**

釧路市音別町の特産物「菊芋」や「しいたけ」などのＰＲ。
菊芋畑での芋植えや収穫、また、収穫体験などをＳＮＳで情報発信。

**●富貴紙の文化･技術の継承**

釧路市音別地域交流拠点施設「ルート３８音別館おんぽーと」内の富貴紙製造室にて、富貴紙の製造。
原料搬入・塩蔵から、紙漉き・乾燥・仕上げまでの工程の技術を継承。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）ogchi-chiiki@city.Kushiro.lg.jp
（電話番号）01547-6-2231

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://ja-jp.facebook.com/ombetsu/

# 北海道紋別市　寺岡　聡希

**商品開発・販売**

## 基本情報

【年　齢】
３３歳
【出身地】
兵庫県神戸市
【転出元】
東京都大田区
【前　職】
自営業（食品加工）
【活動時期】
Ｒ３．４～Ｒ６．３
（２年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

紋別市の知人の方からの紹介で地域おこし協力隊の募集を知りました。募集内容が、自身が当時個人事業主として行っていきたい事業内容と重なる部分が多かったので、応募させていただきました。

## 今後の抱負・任期後の目標

紋別市で育てた野菜で人々の健康を支える食品を商品化し、必要とする人々に販売していきたい。特に、体にアレルギーや病気があり食べられるものに制限がある子供たち・社会弱者向けに商品を作り、届けたい。2年目の現在は、無肥料無農薬で甜菜ビートを栽培し、甜菜シロップに加工していますが、3年目(2年目冬から)は、各地に足を運びながら商品の見込み消費者へのヒアリングを本格的に進め、栽培方法や加工方法を再検討し、価格も最終決定する計画です。任期後も、ベストな栽培方法と加工方法を追求し続け、世界で最も安心できて美味しい自然栽培甜菜シロップを作り、人々の健康増進に貢献したいです。

## 活動内容

### ●甜菜ビートの自然栽培 (地場産品開発)

甜菜ビートは明治21年以降、工芸作物として栽培されてきました。一般に農薬と化学肥料が欠かせない作物と言われ、日本で有機栽培されている場所は(おそらく)ありません。しかし地域おこし１年目の試験栽培にて、多少生産性は落ちるものの無肥料無農薬にて栽培できることを知りました。近年化学物質過敏症等、アレルギー反応で農薬・肥料を使用した作物を口にできない人が多くなっています。誰もが安心して食べられる甘味作りのために、2年目より甜菜ビートの自然栽培を農生産のメインに致しました。

### ●甜菜シロップ加工･販売 (地場産品開発)

10月下旬～11月初旬にビートを収穫し、冬季間、順次シロップに加工します。「紋別市加工センター うまいっしょ工房」にて保健所許可を取り、現在加工所として利用しております。来年度以降は、より早い段階で自社製造所を設け、質的にも量的にもより本格的な加工品づくりをしていきたいです。甜菜シロップ単体の商品化はこれからですが、現在、甜菜シロップを使用したキムチの素(紋甜紋甜醤)は商品化しており、定期的に製造販売しております。

### ●子供･市民への食育活動

自身の学問背景や職歴を活かし、子どもや市民の方々向けに普段食している食べ物を安全性や環境保全の観点からお話する活動をしています。1年目には「有機農業とSDGs」についての講演会と有機農業体験イベントの開催、2年目には京都大学農学部の秋津元輝教授を招いて、講演会「食からローカルな暮らしを立てなおす-移出型の生産基地を超えて」を企画致しました。それぞれ20～30名の参加者の方にお集まりいただきました。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）saki@operafarm.com

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（website）https://www.myakusa.net　(instagram) operafarm_mombetsu

# 北海道深川市　森田　純幸

**商品開発・販売**

## 基本情報

【年　齢】
３７歳
【出身地】
奈良県
【転出元】
神奈川県　藤沢市
【前　職】
会社員
【活動時期】
Ｒ３.５～

## 協力隊に応募したきっかけ

これまでの経験を経て、残りの人生は自分が心から好きと思えること、自分の手で何かを作り上げることがしたいと思うようになりました。
お酒づくりの、化学的な反応と制御が理論的に考えられているところに面白さを感じ、醸造・加工の技術などを学びながら、地域の魅力を発信していけたらと考えました。
また、深川市は周辺にスキー場があり、都市部へのアクセスも良好で、夫婦ともにアクティビティが趣味な私達にとって最適な環境だったことも大きな要因です。

## 今後の抱負・任期後の目標

深川産りんご１００％で作る果実酒「ふかがわシードル」の美味しさは、地元の果樹農家さんが丹精込めて育てた果実とこだわりの製法があってこそです。
地域の未来の担い手として、醸造法についてより深く学び、いずれは自ら新商品を開発し、多くの人に味わっていただけるよう頑張ります！

## 活動内容

**●ふかがわシードル醸造①**

収穫された完熟果実から、雑味の元となる芯や種などを手作業で取り除き、美味しい部分だけを使って果汁を絞ります。
絞った果汁はきちんと糖度を測り、保存用タンクに移して適正に管理します。

**●ふかがわシードル醸造②**

果汁を保存用タンクから温度管理ができるサーマルタンクへ移し、発酵させます。醸造には約５週間かかり、その間は温度・圧力管理、成分分析等を行います。
出来上がったシードルは、手作業で瓶詰めします。

**●ＰＲ活動**

ふかがわシードルを地域の特産品として多くの皆さんに知っていただくため、市内外のイベントにも積極的に参加しています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
深川市地域振興課
（メールアドレス）chiikis@city.fukagawa.lg.jp　（電話番号）0164-26-2276

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（深川市公式ウェブサイト内）
https://www.city.fukagawa.lg.jp/cms/section/chiikis/uo2pli000000twoh.html

# 北海道森町　菊地　映利

**商品開発・販売**

## 基本情報

【年　齢】
23歳
【出身地】
北海道江別市
【転出元】
北海道上川郡東神楽町
【前　職】
家具職人
【活動時期】
R3.1～ R6.1
（２年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

学生の頃から、アイディアを考えたり企画をすることが好きだったため、企画力を活かせる仕事を探していたところ、森町で活動していた隊員から地域おこし協力隊の活動について話を伺い、興味をもったことが応募のきっかけです。

## 今後の抱負・任期後の目標

町内のお店を利用する若者を増やすために、商品開発やデザイン・企画に取り組みたいです。
任期後は、ファッションブランドの立ち上げ等も積極的に検討しようと思っています。

## 活動内容

**●森町広告ポスター制作**

森町の「おしゃれ」をPRするためのポスター制作。
町内事業者様にご協力いただき、特産品や衣料品等を紹介しています。
ファッション雑誌のようなデザインを目指し、「なんのポスターだろう」から「実は森町の広告だった！」を狙い、制作に取り組んでいます。

**●洋服デザイン**

町内のアパレル店舗数が少なく、衣料品を求める若者が都会へ流れてしまう現状を打破するため、若者向けの洋服デザインを提案しました。
「町内店舗限定」のアイテムを作ることで、町内のお店に入るきっかけとなったり、森町で衣料品の購入してもらうことが目標です。

**●ノベルティ制作**

地域材である「道南杉」を利用したノベルティ制作を行っています。
道外で開催されたイベントへの出展時には、道南杉の特徴を活かした消臭剤を配布し、森町の魅力を発信できました。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）kikuchi_eiri@town.hokkaido-mori.lg.jp
（電話番号）01374-7-1283

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（インスタグラム）@kikuchi_mori

KIKUCHI_MORI

# 北海道せたな町　谷山　浩司

**商品開発・販売**

## 基本情報

【年　齢】
37歳
【出身地】
大阪府大阪市
【転出元】
大阪府東大阪市
【前　職】
不動産営業
【活動時期】
R4.10～

## 協力隊に応募したきっかけ

妻の実家がせたな町にあったことで田植えの時期などに何度か来ては自然豊かで人と人の距離が近いところに魅力を感じていました。

## 今後の抱負・任期後の目標

せたな町にある自然、その自然から生み出される資源を色んな人に伝えたいのでふるさと納税を通じて商品をアピールしていきたいと思います。

## 活動内容

**●ポールスター道南応援まつり参加**

せたな町としてイベントに参加し町内のブランド豚やその加工品、海洋深層水で栽培された潮トマトなどを販売しました。

**●地域の事業者へのヒアリング**

現在セタナ町でふるさと納税の商品を出されている事業者へのヒアリングなどをしました。また現状の改善策なども同時に提案しています。

**●インスタグラムの運用開始**

せたな町のふるさと納税に出品されている商品やせたな町の食材などを知ってもらうためにSNSの運用を開始しました。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）koji.taniyama@town.setana.lg.jp

# 北海道黒松内町　館山　修

**商品開発・販売**

## 基本情報

【年　齢】
54歳
【出身地】
北海道黒松内町
【転出元】
東京都墨田区
【前　職】
会社員
【活動時期】
R4.4～ R7.3
（１年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

黒松内町出身。
東京で長く飲食業界に勤務し、新店舗立ち上げや新メニュー開発に携わってきた。
これまでの調理経験を活かして地元に貢献したい気持ちが強くなってきたところに、地域おこし協力隊の募集を知り、応募した。

## 今後の抱負・任期後の目標

黒松内のレストランで勤務しているので、町内や周辺地域の食材を使用したメニューを考案していきたい。
地方で常に人材不足。お客様だけでなく、若い後継者が来てくれるような、料理人にとっても魅力的なレストランづくりを進めたい。

## 活動内容

### ●地元食材を活かした新メニュー開発

町内で新規就農した移住者が生産しているアンガス牛の牛肉を使用し、町の新たな特産品となるような新メニューの試作に取り組んでいる（写真上はロコモコ丼）。
また、町内農家から「自分が作ったサツマイモを使用した新メニューを考案して欲しい」との依頼を受け、『さつまいものマッサマンカレー』を試作（写真下）。好評だったため数量限定ながらレストランで提供することが決まった。北海道農政部が主催する『畑の新顔デビューフェア』にも参加予定。
今後もジャガイモや小麦などの町内産の農産物や、近隣の海産物などを使用した新メニュー開発に取り組み、「黒松内ならでは」の新グルメ考案を目指す。

### ●多国籍なメニューの提供

東京の有名タイ料理店で総料理長となった経験を活かし、町民がなかなか食べる機会の少ない本格的なタイ料理をレストランで提供（写真はガパオライス）。
イタリアン、中華料理の経験もあり、町民のニーズに沿った豊富なメニュー展開を目指していく。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】

黒松内町役場 企画環境課

（メールアドレス）kikaku@town.kuromtsunai.hokkaido.jp

（電話番号）0136-72-3376

# 北海道北竜町　佐々木　唯

**商品開発・販売**

## 基本情報

【年　齢】
２２歳
【出身地】
北海道　札幌市
【転出元】
茨城県つくば市
【前　職】
アパレル販売員
【活動時期】
Ｒ４.４～Ｒ７.３
（１年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

企画やイベントなどの仕事に興味があり、親からアドバイスを受け北竜町在住の協力隊員(親戚)に相談をしたところ、協力隊として働くことを勧められたため。

## 今後の抱負・任期後の目標

現在は元々ある企画を実行することや、依頼を受けたデザインの制作などを中心に仕事をしているが、今後は一から自分で考案したイベントや新商品を提案していきたい。

## 活動内容

**●LINEスタンプ作成**

北竜町のキャラクター「ひまわり咲ちゃん」を使ったLINEスタンプの作成。作成過程で北竜中学校の生徒にイラストを描いて貰ったり、アンケートに協力して貰ったりして協同でスタンプを作成し、本年８月に販売開始をした。
また、スタンプのピンバッジを９月に道の駅サンフラワー北竜のガチャガチャにて販売開始し、北竜町の新たなお土産品として好評を得ている。

**●イベント企画と各種デザイン協力**

プロジェクションマッピングの企画とPRポスター作成し、イベントを成功させた。また、ひまわり油の販売促進用ポップ、町内けん玉クラブのロゴデザイン、町内そば同好会のポロシャツデザイン、ひまわり迷路のスタンプラリー帳デザイン、観光センター内物販ブースの看板デザイン・制作等を得意のデザインで協力している。現在はアイスキャンドルイベントの企画中。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）info@town.hokuryu.hokkaido.jp
（電話番号）0164-34-2111（北竜町役場企画振興課）

# 北海道和寒町　塚本　麻里

**商品開発・販売**

## 基本情報

【年　齢】
33歳
【出身地】
千葉/名古屋/大阪/東京
【転出元】
神奈川県海老名市
【前　職】
発酵食講師
【活動時期】
R2.3～ R5.2
（3年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

9年前に和寒町が実施していた農業体験に参加し、以来町の関係者や町民と交流があって、3年前にたまたま現地で会った方と当時の活動を話したことで、和寒町に拠点を移し活動を広げようと考えたから。

## 今後の抱負・任期後の目標

個人事業主として十分な収入を得て自立できるように、現在の活動を続け広げていくこと。

## 活動内容

**●麹製造販売**

檜のせいろに杉の麹蓋、麹室など天然の道具を使い、電気は使わず火と自然の力で丁寧に醸すオーダーメイドの米麹です。仕込みごとに店主が読み取る名前とメッセージが添えられるのも大きな特徴です。
（オーガニック米／和寒産米／持込米で白米／玄米／黒麹の種類があり、味噌用や甘酒用など用途指定可）

**●麹甘酒製造販売**

米麹と天然水のみのシンプルな原料でつくられた非加熱無殺菌の生甘酒です。ノンアルコール、ノンシュガー、濃縮濃厚タイプ。そのままだと食べる甘酒、凍らせてアイスのように食べるのもおすすめ。抹茶やきなこ、カカオ味は牛乳割でラテに。季節限定の苺やぶどうも登場します。（オーガニック白米／玄米、和寒産白米／玄米、オーガニック抹茶,カカオ,きなこ,黒ごま／オーガニック黒麹）

**●発酵教室講師**

様々な発酵食品の基礎知識を学び、手作りを楽しむ講座を開催しています。工房やオンラインの他道内各地へ出張も承っています。（味噌、醤油、甘酒、塩麹、醤油麹、ぬか漬け、みりん、米麹など）

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Hakko Class. HP https://tsuku2.jp/hakko-class
Instagram https://www.instagram.com/hakko_class
Facebook　https://www.facebook.com/HakkoClass

# 北海道美深町　有坂　征志（ありさか せいじ）

**商品開発・販売**

## 基本情報

【年　齢】
26歳
【出身地】
茨城県
【転出元】
東京都　国分寺市
【前　職】
プログラマー
【活動時期】
R４.６～

## 協力隊に応募したきっかけ

何気なく地域おこしのサイトを眺めていた際に「チョウザメ飼育」のその文言が目に飛び込んできました。チョウザメとはなんだったか、ふと気になりWikipediaを確認し、そうかキャビアが採れるのかと――日本で養殖を行っているとは知らず、さらには北海道の美深町という東京から約1300㎞離れている環境に果たして自分自身が適応できるのか――いや、チャレンジするしかないと。逆に今ここで逃したら二度と関われないかもしれないと思い応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

個人的な抱負は、5㎝積もったら「今日は雪が降ったね」という環境で25年生きてきた私は北海道の冬をどう乗り切るか。無事に乗り切ることを目標としています。ノー事故。
チョウザメの事業に関わり、よりチョウザメの食用に対するＰＲに力を入れていきたいと思います。自分も実際食べてみるまでは食用としての価値を知りませんでしたので（笑）

## 活動内容

**●活動内容「チョウザメの飼育」**

辺渓の施設や、チョウザメ館内で飼育を行っており、朝晩の給餌や施設の管理等をしております。
春、夏はサバやホッケなどの生魚を細かく切って与えており、この時期が一番チョウザメにとって成長する時期と言えます。

**●活動内容「チョウザメの稚魚飼育」**

私が着任した6月に生まれたチョウザメの稚魚を現在施設で飼育をしています。
生まれたばかりの頃は小さくて、指先よりも小さい個体ばかりだったのですが、気が付けば4か月で10㎝を超える個体も――。大事に育てて、立派なキャビアを持ってもらいたいです。

**●活動内容「町内のイベント手伝い、参加」**

美深町内で行うイベントや、道の駅などで行っているイベントで出店、全力で焼き鳥を炭火で焼いたり、呼び込みをしていたりしています。
今まで生きてきて、ここまで色々なイベントに関われることもなかったため、こういった部分が地域おこしになって良かったなと思う所でもあります。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
メールアドレス　b-shinko@town.bifuka.hokkaido.jp
電話番号　01656-2-1617（美深町役場・企画グループ）

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
美深町地域おこし協力隊ブログ
http://blog.livedoor.jp/bifuka_kyouryokutai/

# 北海道洞爺湖町　佐川　千明

**商品開発・販売**

## 基本情報

【年　齢】
37歳
【出身地】
徳島県
【転出元】
北海道千歳市
【前　職】
タクシー乗務員
【活動時期】
R３.４～

## 協力隊に応募したきっかけ

新型コロナウイルス感染拡大の影響で前職のタクシー乗務員の仕事では収入が半減し、今後の働き方について考えるようになりました。転職を考えていたところ、募集記事を拝見し、新たなことに挑戦しながら見聞を広め、今後は状況に応じて柔軟な働き方ができるような基盤を作れたらという思いから応募に至りました。

## 今後の抱負・任期後の目標

今後は、退任後の定住に向けて今まで以上に有意義な活動をしていきたいです。
退任後は２種免許や活動を通して得た洞爺湖町についての知識や情報を活かして洞爺湖町を訪れる観光客をご案内できるタクシー乗務員に再び挑戦したいです。
また、活動を通して開発したメニューなどを商品化したりイベント出店なども続けていけたらと考えています。

## 活動内容

**●情報発信**

活動拠点の洞爺まちづくり観光協会及びとうやマルシェでは情報発信を担当しています。観光情報をはじめ、地域のお店やイベントにて取材・撮影を行いSNSで発信したり、洞爺地区の農産物についての発信もしています。

**●商品開発**

とうや水の駅では洞爺地区の特産品である財田米をより多くの人に味わっていただきたいという思いから、お土産用のミニサイズの財田米を提案・販売。また、洞爺湖温泉街にあるとうやマルシェでは新たな名物となるようなメニューや商品を開発できたらと取り組んでいます。

**●調理、イベント出店**

飲食関係の仕事の経験を活かして、とうやマルシェでは食堂の調理補助もさせていただいています。また自らのレシピで作ったメニューをイベントでも販売することもあります。今後は更に特産品PRを兼ねて開発・販売していけたらと考えています。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（洞爺まちづくり観光協会）https://www.instagram.com/mizunoeki108/

# 岩手県花巻市　赤津　有美

**商品開発・販売**

## 基本情報

【年　齢】
42歳
【出身地】
福岡県　大宰府市
【転出元】
東京都　練馬区
【前　職】
エンタメ系・脚本家
【活動時期】
R4.5～ R7.4
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

長年より伝統工芸である和紙に興味があり、生涯現役として手すき和紙の梳き手になりたいと考えていた。
移住するタイミングを計りつつ、梳き手募集を日頃よりチェックしていたところで協力隊からの案件を見つけて応募。
現在も続けている物語の執筆業に関連して、「宮澤賢治のふるさとでもあり童話の文化が息づいている」ならびに「『北限の和紙』といわれる【成島和紙】の生産地である」という理由で花巻を選択した。

## 今後の抱負・任期後の目標

■今後の抱負■
成島和紙の梳き手になるべく修行に励みながら、花巻の伝統工芸を今の時代に合わせた商品開発に従事したい。
また、生涯学習や学校教育において和紙を中心とした伝統工芸関連の講座を開催していきたい。
■任期後の目標■
今の時代にマッチした伝統工芸の企画プロデュース＆販売を行う事業を立ち上げたい。
また、成島和紙の伝承活動を継続していきたい。

## 活動内容

**●成島和紙の生産活動**

350年以上もの歴史を持ち、現在職人が１名のみとなる成島和紙について、紙漉き生産・原料生産を行う。また、成島和紙を伝えるために、学校教育・生涯学習講座・グリーンツーリズムなど通じて伝承活動を行っていく。

**●ノリウツギ栽培プロジェクト**

成島和紙の生産原料のひとつであり、減少の危機にある「ノリウツギ」【アジサイ科樹木）の育苗～植樹～育成管理を実施する。この活動を媒介として、地域イベント・観光・伝統工芸の原料確保という３つの柱を立てて長期的な運営活動を行っていく。

**●花巻･伝統工芸の商品開発**

花巻の伝統工芸品を今の時代にマッチさせた新商品開発や職人同士のコラボレーションを計画し、展示イベントによる商品＆地域アピールや販売促進等を行っていく。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）teiju@city.hanamaki.iwate.jp
（電話番号）0198-41-3516

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（facebook）https://www.facebook.com/hanamakichiikiokoshi/

# 岩手県滝沢市　山田　直輝

**商品開発・販売**

## 基本情報

【年　齢】
３３歳
【出身地】
岩手県盛岡市
【転出元】
東京都墨田区
【前　職】
ワイナリー勤務
【活動時期】
Ｒ３.８～

## 協力隊に応募したきっかけ

かねてから出身地である岩手県に貢献できる仕事がしたいと思っておりました。これまでの経験を生かして、滝沢市にしかできないワインを新たな特産品として生み出していきたいと思い、応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

農業（ブドウ生産）、工業（ワイン製造）、商業（ワイン販売）を通して、滝沢市から食の楽しさを提案していきたいと思っています。

## 活動内容

**●ワイン製造に向けたブドウ栽培**

今年から農地を取得（借用）し、ワイン用ブドウの栽培を開始しています。赤ワイン用、白ワイン用それぞれの品種を栽培し、３～４年後から本格的に収穫できるよう進めていく予定です。

**●物産振興に関する市民向け啓発活動**

将来の滝沢市を担う子どもたちに地場産品への興味を持ってもらい、地域への愛着につなげることを目的として、市内小学生向けにブドウの苗木を定植するイベントを実施しました。

**●市の産業振興に貢献する活動**

今年の夏には、市の特産品であるスイカを生産する市内農家を手伝いました。
今後も市内事業者との連携に取り組み、市の産業振興に貢献していきたいと思っています。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Facebookページ）facebook.com/Takizawa.kyouryokutai

# 岩手県岩手町　笹渡　繁巳

**商品開発・販売**

## 基本情報

【年　齢】
44歳
【出身地】
岩手県　岩手町
【転出元】
神奈川県　横浜市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R４.９～R７.８
（１年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

岩手町に戻ってこれまで親の世代が大切に守ってきた家や耕作地、自然環境を維持継承したいと考えてはいましたが、中学卒業後から実家から離れて生活し、関東で研究職に就いてきたこと、家族（6人）の移住となることから、現在の家業（畜産）にいきなり飛び込むのは難しい現状がありました。そんな時に家族から「しごとクリエイター（地域おこし協力隊）」の話を聞き、これまでの経験を生かした新しい仕事づくりのきっかけと家族の移住の問題を解決できるのではと思い応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

私はこれまで再生・細胞医療の開発や製造受託を手掛けるベンチャー企業の研究所で働いてきました。
これまでの経験から普段目に見えない世界で活躍する細胞やいきものを取り扱うノウハウを活かし、今回地域おこし協力隊として岩手町に根付く発酵にかかわる微生物の探索と発酵食品の開発を通じて地域活性化に貢献したいと考えています。任期後は開発商品をもとに岩手町に拠点を置く事業主として自立を目指します！

## 活動内容

**●「食」「健康」「地域特性」に関連する地域産業創出」**

岩手町に根付く発酵にかかわる微生物の探索と発酵食品の開発を通じて地域活性化に貢献したいと考えています。任期中に開発を目指す商品は岩手町産ビール（または発泡酒）です。岩手町には北上川の源泉をはじめとする水源、ホップ生産の歴史、麦を育てることができる土壌があり岩手町産のビールを開発できる条件は整っていると思います。また、お酒という観点以外にもホップの食欲増進作用、鎮静作用、催眠作用、抗菌作用といった副次的な効果をアピールできる商品開発をしていきたいと考えています。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Facebook）https://facebook.com/sasawshi

# 岩手県軽米町　菅野　由喜男

**商品開発・販売**

## 基本情報

【年　齢】
57歳
【出身地】
宮城県仙台市
【転出元】
宮城県仙台市
【前　職】
会社役員
【活動時期】
R2.4～

## 協力隊に応募したきっかけ

岩手県に再生可能エネルギーに力を入れてる面白い町があるよ！と宮城県の方からお話があったのが、令和元年の9月。

一度見てみたい！と10月に初めて訪れた時に町の可能性を感じました。再エネの活用、特産物もいろいろありこれらを生かした町おこしが出来るのではないか？など魅力を感じました。特に担当者の熱意によるものが大きかったと思います。飲食業を33年営んでいた経験もあり活性化に生かせるのではないか！と思いました。

## 今後の抱負・任期後の目標

今まで以上に町の活性化に力を入れていきたい。
再エネ、特産品、販売促進などもっともっと頑張りたい。

任期終了後は仙台と軽米両方を拠点にした活動をしていきたいと思っています。

## 活動内容

**●新商品開発**

新商品開発はいろいろ取り組みました。ご当地ラーメン、炭火焼き鳥、ひえ味噌チョコアイス、ガレット、リンゴジュース、ご当地コロッケなど地元の業者さんとの意見交換を積極的に行いました。
(写真は炭火焼鳥をイベントで販売した時)

**●広報活動　メディアに出よう！**

メディアには大変お世話になりました。
「わが町バンザイ」「ふるさとCM大賞」「Go Go いわて」などに出演させていただきました。
また、町の「かるまいテレビ」の地域おこし隊の「wonderful　time」というレギュラー番組にも出演させていただき、情報発信を行っております。

**●地元高校生と地域探求**

地元軽米高校生の「地域探求」の時間にアドバイザーとして参加しております。地域が抱える課題や特産品開発、イベントの構築など高校生が考えたアイデアにアドバイスを送り盛り上げて行く時間です。
10月に中間発表を行いました。
（写真は駄菓子屋をやろう！を成功させたチーム）

## 連絡先

**Facebook**　https://www.facebook.com/yukio.kanno1
**Instagram**　https://www.instagram.com/yukio.kanno/

# 宮城県角田市　原澤　祐介

**商品開発・販売**

## 基本情報

【年　齢】
46歳
【出身地】
東京都大田区
【転出元】
宮城県角田市
【前　職】
総合型地域スポーツクラブ運営他
【活動時期】
R3.9～

## 協力隊に応募したきっかけ

以前から何人かの知り合いがやっていて地域おこしに興味があり、たまたま知り合った人が地域おこし協力隊の受け入れをしていたため

## 今後の抱負・任期後の目標

角田市に長く定住しつつ地域おこしをしていくために継続可能な活動環境を作る。1年活動してみて自分の思うような地域おこし協力隊の受け入れ体制を角田市に作りたいので現状、角田市にはない地域おこし協力隊の受け入れをする会社を起業して地域おこしに特化した事業を展開したい。

## 活動内容

**●新規商品開発**

地元角田の農産物を主に地産地消だけでなく、市外、県外にもその魅力を伝えるため、時代に合った新商品開発にチャレンジ中

**●インターネットマーケティングの活用**

インターネットによるマーケティングを15年以上しているので、そのスキルを活かして売り上げを上げるための事業を準備中

**●新規イベントの開設**

角田の産直の農産物と、各出店者の魅力をかけ合わせてその日限定のコラボメニューを来場者に提供しイベントを魅力的に外部に発信し、角田市に人が来ることを増やすことが目的

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
準備中

# 宮城県南三陸町　山口　清緒

**商品開発・販売**

## 基本情報

【年　齢】
50歳
【出身地】
静岡県三島市
【転出元】
静岡県長泉町
【前　職】
会社員
【活動時期】
R3.10～ R6.9
（2年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

面白い事業と感じ、現在の仕事となっている「海藻の陸上養殖」に興味を感じ、「職種」で応募しました。今までの経験も生かせる事も重なり、協力隊の一員として活動しています。南三陸で隊員となり、すごいなぁと感じているのは、地元と移住した方々が環境や研究、事業創出、賑わいなどで盛り上げながら被災地を治癒していく姿に仕事で選んだ私も協力隊になってよかった、と思っています。

## 今後の抱負・任期後の目標

協力隊２年生として海藻をより身近な物として広げていきたいと考えています。2023年初夏には、海藻をコンセプトにした実店舗が南三陸町にオープンします。海藻に興味を持ってもらう事と同時に環境を学ぶこと、そして海と山の豊かさを持つ南三陸を知ってもらいたい！その動きを海藻を介して国内外へ情報を発信していける1年にしたいと思います。

## 活動内容

**●もくろむ/つたえる**

私の職名。「海藻」をもっと身近に使ってもらうために様々な商品開発や企画、販売を担当しています。三陸産の海藻と県内産のバターを使った「三陸海藻バター」は、調味料としてレストランや料理教室など幅広く活躍中！

**●海藻を、新たに。**

海藻を使う視点を変えて、和洋折衷だけでなく焼菓子へも試み、テスト販売を重ね、南三陸の洋菓子店の協力のもと商品化した「海藻バターサブレ」は、発売初日からリピーターが出てくらいのファン率が高い美味しい逸品です。

**●つながる。そして、ひろがる**

2022年5月から新しい海藻食を広げるため、首都圏のマルシェに出店しています。その中でつながった企業とのコラボ商品の開発をはじめ、海外の海藻事業や海藻食をリンクし、「海藻を、新たに」の商品を広げていきたいと思います。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）k.Yamaguchi@season-s.com
（電話番号）0226-36-2311 (株式会社阿部伊組)

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（FB）https://www.facebook.com/keoghpiyo

# 山形県河北町　藏本　善一

**商品開発・販売**

## 基本情報

【年　齢】
60歳
【出身地】
大阪府大阪市
【転出元】
神奈川県横浜市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R２.７～R５.６
（３年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

会社員時代（東北エリア勤務時）に仕事で河北町に訪れる機会があり、地元の方々から多くのご支援を頂戴しました。その際に河北町の特産品である紅花の可能性に魅せられたことや、ご支援いただいた町の方々へ恩返ししたいと思ったことから協力隊へ応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

・紅花を活用した商品開発での成果を出し、たくさんの人の手に届くよう情報発信すること
・開発した商品を事業化させるための計画を作成すること
・任期終了後の起業に向け準備すること

## 活動内容

**●「かほく紅こぎん」周知**

令和３年３月に紅花染めをした木綿糸であしらったこぎん刺しである「かほく紅こぎん」のブランドを立ち上げて頂きました。その周知活動として“雛と紅”タペストリーを作成するため作品を公募したところ1045枚もの作品が集まり、町民の皆さんと協力してそれらをつなぎ合わせ、完成したものを令和4年4月～7月まで展示して多くの方にご覧いただきました。

**●「かほく紅こぎん」普及**

「かほく紅こぎん」のさらなる周知イベントとして令和4年12月3日・4日に「かほくKOGIN FES - 5つのkogin展-」を開催する予定としています。イベントではこぎんにまつわる5つのプログラムを企画しており、こぎんで作られた二大タペストリーの展示やワークショップの開催により、幅広い方々にこぎんを体感していただき「かほく紅こぎん」の普及に努めていきます。

**●紅花水耕栽培支援他**

町では紅花の季節以外でも活用できるよう紅花のハウス内水耕栽培に取り組んでおり、そのサポート活動として育成状況のＳＮＳ投稿やＰＲ活動等を行っています。
また、紅花の活用の幅を広げるため食用メニュー開発に取り組んでおり、山形大学の学生から協力してもらいながら学校給食メニューに「紅花若菜ごま和え」を採用してもらいました。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
インスタグラム：kahokubenikogin
Facebook　藏本善一

# 山形県河北町　井上　奈緒子

**商品開発・販売**

## 基本情報

【年　齢】
27歳
【出身地】
兵庫県
【転出元】
東京都
【前　職】
会社員
【活動時期】
R４.４～R７.３
（１年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

転職のタイミングで、地域と関わる仕事がしたい、と思っており、たまたま出会った方が「かほくらし社」の方でした。初めて河北町に来た時に、小さい町にも関わらず、多種多様なフルーツと高付加価値のイタリア野菜、つや姫を代表とするお米、ご当地グルメの冷たい肉そば、日本一の生産量を誇るスリッパなど、様々な事業者の方がこだわりと熱意を持って生産に取り組む姿勢に惹かれました。そこに自分も何かお役に立てないかと考えました。

## 今後の抱負・任期後の目標

町内の様々な事業者さんへ足しげく通いながら、密にコミュニケーションをとり、ECサイトを通して少しでも販路拡大に役立てるようにしたいです。また、ECサイトのコンテンツを充実化させるべく、口コミ（レビュー）などの新しい機能の追加や、地域商社だからこそできる異なる事業者のセット商品の企画などを進め、売上向上に努めたいです。

## 活動内容

**●地域商社ECサイト運用**

河北町のこだわりの品々を取り扱うECサイトです。ECサイトで販路拡大したいがなかなか予算がとれない、手が回らない地域の事業者さんが多い中、そのお手伝いができればと思います。具体的には、商品の物撮りから、取材、セット商品企画に取り組んでいます。

**●ふるさと納税の商品企画、営業**

かほくらし社が取りまとめる、河北町のふるさと納税の返礼品を企画することも担当しています。現在は、河北町の商品の取り扱いがあるレストランで使用できるお食事券のデザインを一新し、加盟レストランを増やすべく、展示会などでの営業活動を行っています。

**●首都圏での特産品の販売、マルシェ出店**

1~2カ月に1度のペースで、様々な場所を借りて、特産品（特に町産の野菜と果物）の販売を実施しています。その裏方の発注、梱包などの準備から、実際の販売まで行い、少しでも多くの方に河北町の商品を知ってもらうために実施しています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）n_inoue@kahokurashisha.jp（電話番号）0237-84-0450

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（ECサイト）https://shopping.kahokurashi.com/
（かほくらし社 Instagram）https://www.instagram.com/kahokurashisha/

# 山形県河北町　菊地　航平

**商品開発・販売**

## 基本情報

【年　齢】
23歳
【出身地】
宮城県名取市
【転出元】
宮城県仙台市
【前　職】
学生
【活動時期】
R３.４～R６.３
（２年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

就職活動のタイミングで、知人より河北町を紹介いただいたのがきっかけです。もともと地域おこしに興味があった中で、地域商社立ち上げという、新たな取り組みを始めようとする河北町に惹かれて、協力隊に応募することを決めました。

## 今後の抱負・任期後の目標

河北町の魅力を一人でも多くの方にお届けしたいです。そのために、まずはツアー事業や特産品の出張販売、SNS等での情報発信に力を入れていきたいと思っています。また、河北町の学生に地域の魅力を発信していくために、産学官連携プロジェクトでの事業開発を頑張ります！任期後の活動はまだ明確ではありませんが、駆け出しの地域商社を軌道に乗せることが当面の目標です。

## 活動内容

**産学官連携プロジェクト「かほく探求実践プロジェクト」**

県立谷地高等学校・地域商社かほくらし社・河北町の産学官連携プロジェクト「かほく探求実践プロジェクト」のコーディネート・事業プロデュースを行っております。プロジェクトでは、高校生と一緒に町内の事業者さんとコラボした商品開発やメニュー開発等を行っています。

**●ツアー企画・アテンド**

旅行会社とコラボして、町内のツアーの企画やアテンドを行っています。ツアーを通して、地域の隠れた特産品や魅力を発信したり、ツアーに来て頂いた方に河北町のファンになってもらえるよう工夫してツアーを企画しています。

**●特産品の販売と情報発信**

首都圏での物産イベントでの販売を行ったり、地域商社のオンライン販売（EC）の情報発信をSNS等を活用して行っています。地域の特産品の販路を開拓すべく、日々試行錯誤しています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
k_kikuchi@kahokurashisha.jp

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://www.facebook.com/%E3%81%8B%E3%81%BB%E3%81%8F%E3%82%89%E3%81%97%E7%A4%BE-105710631692256

# 山形県河北町　増田　武虎

**商品開発・販売**

## 基本情報

【年　齢】
27歳
【出身地】
神奈川県大和市
【転出元】
神奈川県大和市
【前　職】
学生
【活動時期】
R４.４～R７.３
（１年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

農業法人に勤めた経験があることから、生産はもちろん、農家さんをサポートする仕事に興味を持ちました。
知人の付き添いで偶然寄った河北町に興味を持ち移住を決意しました。
農家さんと密に向き合いながら、産業を中心とした自治体の復興を目指す地域商社の存在を知り、自分もその一員になりたいと感じ、地域おこし協力隊の形で河北町・地域商社とかかわっていく道を選びました。

## 今後の抱負・任期後の目標

町内で就農または地域商社に勤務し、地域産業を活性化する。1事業所・農家では開拓できないような販路を拡大することで地域の産業を盛り上げていきたいです。

## 活動内容

**●かほくイタリア野菜の出荷作業・販路開拓**

河北町農家が10年前からこだわりを持って栽培している“かほくイタリア野菜”をとりまとめ、県内、県外への出荷を行っています。展示会等多くのシェフやバイヤーが集まる場所で生産物のPRや営業も精力的に行っています。

**●ワイン醸造**

河北町の新名物商品として“かほくワイン”の商品化・ブランド化を推し進めています。そのために町内産ブドウの栽培状況を把握し、ワイナリーとの橋渡しを行ったり、実際に生産→収穫→仕込→醸造の過程をすべて把握しマニュアル化することで新規就農者が参入しやすい環境つくりを目指します。

**●河北町のPR**

河北町の生産物、特産品を町外の多くの方に知っていただけるようなイベントに参加し“河北(かほく)町の魅力”を発信しています。常設の「アンテナショップかほくらし」をはじめ、マルシェや祭りでの出店にも力を入れています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）t_masuda@kahokurashisha.jp（電話番号）0237-84-0450

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（ECサイト）https://shopping.kahokurashi.com/
（かほくらし社 Instagram）https://www.instagram.com/kahokurashisha/

# 山形県最上町　川和田　宗太郎

**商品開発・販売**

## 基本情報

【年　齢】
24歳
【出身地】
宮城県仙台市
【転出元】
宮城県仙台市
【前　職】
学生
【活動時期】
R3.4～ R6.3
（2年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

東北芸術工科大学に所属していた頃に最上町にある施設（前森ふれあい陶芸館）を活用しないかという話を頂いたのがきっかけです。陶芸という文化を体験できる観光施設・新たな工芸品を最上町で作りたいと思いました。

## 今後の抱負・任期後の目標

今後の抱負としては、工芸品の開発を本格化させることと、カムロ窯（前森ふれあい陶芸館）を観光資源としてPRすることです。
任期後の目標としては、カムロ窯の運営を継続することです。

## 活動内容

**●観光資源の創出**

カムロ窯を陶芸体験施設・陶器販売店として営業しPRを行っています。団体から個人まで幅広く陶芸体験をすることのできる施設を作っています。

**●新商品の開発**

最上町産原料を活用した焼き物を作り上げ、新たな工芸品として発表することを目標としています。また、東北芸術工科大学でつちかった陶芸の技術と知識を用いて独自性のある工芸品を作ることと、町内のフィールドワークを行い原料の調達と試験・研究を行っています。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（左記よりインスタ・ツイッター・
フェイスブックのQRコード）

# 山形県最上町　秋元　哉子

**商品開発・販売**

## 基本情報

【年　齢】
25歳
【出身地】
青森県五所川原市
【転出元】
山形県山形市
【前　職】
アルバイト
【活動時期】
R3.4～ R6.3
（2年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

東北芸術工科大学に在学中に最上町にある使われなくなった「陶芸館」を活用して欲しいというお話を頂いたのがきっかけです。陶芸体験などを通じて最上町の方々と交流し、陶芸を身近にしたいと思いました。

## 今後の抱負・任期後の目標

今後とも陶芸館はもちろん、最上町のPRも行います。また、町内にある飲食店とコラボして、最上町の新たな魅力作りを行いたいと思っています。
任期後は引き続き陶芸館を活用しながら陶芸体験や陶器販売を行っていく予定です。

## 活動内容

**●陶芸体験による交流**

個人から団体まで幅広く陶芸体験を行っています。近頃は町内の小学生や集落のイベントの選択肢として陶芸体験を選んでいただけることが多くなりました。

**●コラボなど**

町内の飲食店や旅館などとのコラボを目指しています。３年間の任期では難しい内容もありますができる範囲で行いたいと思います。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（左記よりインスタ・ツイッター・
フェイスブックのQRコード）

# 福島県鏡石町　小柳　拓未

**商品開発・販売**

## 基本情報

【年　齢】
24歳
【出身地】
佐賀県　唐津市
【転出元】
東京都
【前　職】
料理人（洋食）
【活動時期】
R４.１～

## 協力隊に応募したきっかけ

前職が料理人ということもあり、その経験生かして「町おこし」をしたいという想いがあり応募致しました。
また、結婚を置きにの移住拠点を作ること。そして、定住に向けた活動をこの３年間で行いたいと思っております。

## 今後の抱負・任期後の目標

現在６次化商品の開発・販売をミッションに活動しております。
商品開発後の継続性や製造所など課題がまだまだありますので様々の方からのお力添えをいただきながら一歩ずつ課題解決を行い、町活性化へと貢献できるように頑張ります！
また、任期後も定住ができるように「食」でビジネスの発展を目指して参ります。

## 活動内容

**●愛情たっぷりん（岩瀬農業高校のコラボ商品）**

岩瀬農業高校には生物生産課があり生徒達の手によって養鶏されています。その生徒さん達が手掛けた愛情たっぷりんの産み立て！新鮮！卵を使用した濃厚プリンが完成しました。
ネーミングやデザインは生徒さんと共に考えた愛情溢れるデザインに仕上がりました！

**●協力隊とつくる親子で料理教室**

鏡石産のお野菜や特産物を使った、料理教室を定期的に開催しております。
料理教室には料理だけでなく、管理栄養士さんから野菜の効能や栄養面から勉強もできる授業も組み込んでおり、お野菜の知識を深めてから「食」を楽しんでいただきたいという想いがあります。

**●町PR販売会（千葉県）**

福島県鏡石町のPR活動として、UR都市機構様とのコラボイベントとして千葉県で鏡石町の食材を使った料理提供と鏡石町の特産品の販売会を行いました。
県外に鏡石町の認知拡大と魅力を広めることができました。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているInstagram】

# 福島県鏡石町　小柳　比呂

**商品開発・販売**

## 基本情報

【年　齢】
24歳
【出身地】
福島県　須賀川市
【転出元】
東京都
【前　職】
大学生
【活動時期】
R４.１～

## 協力隊に応募したきっかけ

私が福島県出身であり、鏡石町は父方の実家がある為、とても馴染み深い地域でした。
生活スタイルは都会ではなく、自然豊かな場所が良く。
就活を機に、地域に貢献できるような働き方を探していたところ協力隊を見つけ応募致しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

まずは、私が鏡石町の魅力をたくさん知って、多くの方々に「食」を通して鏡石町の魅力を届ける事を目標に頑張ります。
鏡石町が力を入れている「田んぼアート」の全国大会が鏡石町で行われたり、八芳園との連携事業が行われたりなど、全国に魅力を発信するチャンスがたくさんありますので、そこに私たちが少しでも力になれるように頑張ります！

## 活動内容

**●田んぼアート、ウエディングフォトでの町PR**

東京八芳園様（結婚式場）とのコラボ事業として、鏡石町田んぼアート初のウエディングフォトスポットとしても活用、認知拡大活動に貢献致しました。
今年で来場者は累計２０万人と町の観光名所として盛り上がりを見せています。

**協力隊新聞製作（町内全世帯配布）**

四半期に１度「協力隊たより」を制作し、活動内容の「見える化」と「認知拡大」を目的に鏡石町の全世帯配布を行っております。
子供も読みやすいようポップで可愛いデザイン構成に仕上げており、キャラクターやイラストは全て手書きにこだわって制作しております。

**●岩瀬農業高校のコラボ商品（愛情たっぷりん）**

鏡石町には「かんかんてらす」という直売所があります。そちらのお野菜のそばに、各お野菜に合わせたレシピを制作し、紙面と動画の両方で料理の作り方が分かるよう２パターンで掲載しております。
お客様が、その日のお野菜とレシピを手に取って今晩のおかずの手助けになれば嬉しいです！

## 連絡先

【活動の様子を発信しているInstagram】

**私がInstagramをメインに運用しています。見てね！**

# 群馬県みどり市　橋本　翼

**商品開発・販売**

## 基本情報

【年　齢】
36歳
【出身地】
千葉県船橋市
【転出元】
千葉県船橋市
【前　職】
・自動車パーツ、アパレルの製造及びOEM生産等
【活動時期】
R2.8～ R5.7
（3年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

元々、地方起業や伝統工芸需要は今後伸びていくという目星を立て、5年計画で準備していた所の3年目、新型コロナウイルスが到来。これにより、地方需要は更に加速していくと思い、計画を早め地方拠点を見定めていた所、この制度を知り応募致しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

出来る組織作りを目標に、今から「誰と組むか、どこで作るか、いつ起業するか、具体的に何を主とするか」を慎重に見極めていこうと思います。

## 活動内容

**●ワークショップ**

みどり市の資源を使用した竹・木工ワークショップ。竹灯篭や水鉄砲、木製食器を始めとする雑貨類の体験教室を行い、みどり市のＰＲや木材の持続化は図る。

**●オリジナル製品**

釣りに使用されるルアーを中心に、釣具や周辺雑貨を製作。イベント出展やオリジナリティを重視した一点物のオーダー品を製作。

**●ＯＥＭ**

ＢｔｏＢ製品の製作。イベントグッズ、アクセサリ資材など木工品の製作を強みとし、企業からの製造請負を行っている。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】
[ツイッター] https://twitter.com/tsubasahashi
[note] https://note.com/sabatsuto
[ユーチューブ] https://www.youtube.com/channel/UCTLg-A_f--ZmDIm1aou77aw?view_as=subscriber

# 埼玉県長瀞町　暮林　まどか

**商品開発・販売**

## 基本情報

【年　齢】
45歳
【出身地】
東京都　中野区
【転出元】
東京都　練馬区
【前　職】
自営業
【活動時期】
R1.11～ R4.10
(3年目)

## 協力隊に応募したきっかけ

長瀞町のミッションが「長瀞町の新しい特産品を作る」という食をテーマにしたものだったので、
おもしろい経験ができそうだなと思い応募しました。
迷ったら自分の心がわくわくする方を選んで生きてきました。
40代になり人生で思いきった冒険ができるのもこれが最後かもしれないと思い、
まだ見たことのない世界に飛びこんでみようと決めました。

## 今後の抱負・任期後の目標

私が今やっていることは協力隊だからできたことで、
協力隊だから3年間、続けられたことかもしれません。
任期が終わった後も引きつづき、これを自力で続けるのはものすごく厳しいことだと感じます。
でも、長瀞町で出会えた生産者さんたちやお客さまが楽しんでくださっていること、続けてほしいと言ってくださったことで、事業化して続けていこうと決めました。
先ずは、民泊もできるリビングカフェという拠点を作り、
みんなが楽しく仕事をできる環境を作りたいと思います。

## 活動内容

**●ながとろ町のお土産野菜　Torocolo(トロコロ)**

採れたての野菜はものすごく美味しくて、畑からは野菜の息吹を感じました。大切に丁寧に野菜を育てる生産者さんたちの姿は、ほんとうにかっこいいんです。私が受けたそんな感動を形にして、サービスにしたいと思い、生産者さんたちと畑の直送便を立ち上げました。

**●ながとろ花梨（カリンカレーペースト）**

町の魅力を探すため、着任してとにかく町を歩き回りました。そんな中で心を惹かれたのがカリンの木です。家を建てるときに昔は幸せの象徴として植えたけれど、今は実を落としたままにしているカリンの実をアップサイクルして、スパイスカレーペーストと、カリンホイップドバターを商品化しました。

**●ながとろ畑の小昼飯**

自家製梅干し、おなめみそ、青柚子胡椒、柿チップや、蕗んぼグラノーラなどなど…
農家さんたちが昔から食べていたという季節ごとにあるおやつや加工品たちを、あらためてブランディングして、野菜と一緒に販売していくことにしました。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（instagram）@madoka_kurebayashi
(HP)　https://torocolo.com

# 新潟県関川村　吉田　美香

**商品開発・販売**

## 基本情報

【年　齢】
36歳
【出身地】
新潟県村上市(旧山北町)
【転出元】
東京都目黒区
【前　職】
製菓製造業
【活動時期】
R3.4. ～

## 協力隊に応募したきっかけ

旧山北町の実家に行きやすい地域を移住先として探していたところ、関川村が候補に挙がりました。一度旅行で村へ来てみて、関川村に移住しようと決めました。
移住後の仕事先を探している中で、特産品開発の分野で地域おこし協力隊の募集があると知って応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

挑戦したい事が日に日に増えていき、まだ考え中ですが、関川村や地元の食材を使った６次化加工はこれからも続けていきたいです。
１年目は商品開発が主な活動でしたが、２年目は活動の場を広げ、ドローン防除や障害者施設のお菓子作り指導をはじめました。
ひとつのことに捕らわれずにこれからも色々なことに挑戦したいと思います。

## 活動内容

**●東桂苑カフェでメニュー提供**

東桂苑カフェで地元食材を使ったデザートなどのメニュー開発、提供をしています。令和４年の夏は、九重栗かぼちゃのかき氷と越後姫かき氷が特に人気でした。（東桂苑は８月豪雨の被害により現在も休業しております。）

**●ドローン防除**

農薬散布用ドローンのライセンスを取得し、今年からドローン防除に参加しました。お米がどのようにできるか、農家さんの苦労なども見ることができてとても勉強になりました。

**●プリメラビスタを使った６次化加工**

関川村の特産品を作ろうと新種のカボチャ、プリメラビスタの栽培を今年４つの農家さんが取り組み始めました。
８月の豪雨被害により規格外になったカボチャを関川村自然環境管理公社が買い取り、東桂苑のスタッフと共にプリンや焼き菓子に加工し始めました。
道の駅関川での販売のほか、個人向けに受注販売しております。また、下越地方の温泉施設で販売する予定です。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）y-mika@sekikawa.org
（電話）0254-64-0252/（公財）関川村自然環境管理公社

# 山梨県早川町　山本　国子

**商品開発・販売**

## 基本情報

【年　齢】
53歳
【出身地】
東京都練馬区
【転出元】
東京都練馬区
【前　職】
SE（金融・気象など）
【活動時期】
R４.４～

## 協力隊に応募したきっかけ

30代の頃から自然の中に身を置いて暮らしたいと思っていました。自然豊かな山の暮らしを地域の方から学び、自分がこれまで経験してきた植物療法にかかわる蒸留や活用方法などの知識や経験を生かして、早川町の豊かな植物資源を地域おこしに繋げていくことができると思い、応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

最近全国的に盛り上がっている「クラフトジン」のレシピを考案したり、ハーブガーデンを蜜源とした日本みつばちの養蜂にもチャレンジしたいです。町で暮らしている人達が、交流したり少し癒されたりするようなコミュニティスペースやイベントを企画して、移住してきた私自身が楽しく豊かに暮らしている様子を発信することで、少しずつ早川町のファンが増えたらいいなと思っています。

## 活動内容

**●香り蒸留事業**

早川町の豊富な針葉樹や芳香植物を原料として蒸留し、精油、ミスト、など特産品としての商品開発を目指しています。温泉地でもあるので、サウナのロウリュウで使用できるアロマ水や香りの石けん、ご当地コスメなども開発していきたいです。

**●雨畑ブラックシリカの硯以外の商品開発**

良質な硯石としての雨畑真石の伝統文化を守りつつ、高い遠赤外線放射率を持つ特性を活かした硯以外の商品開発、お土産品としてのアクセサリー製造を通じて、近隣市町村の工芸品とのコラボ商品（甲州和紙）なども開発していきたいです。

**●無農薬の早川町産緑茶･紅茶の普及**

早川町には茶畑があり、小規模の製茶工場もあります。無農薬栽培で多くが自家用となっていますが、大変貴重であり、また水が豊かで美味しい早川町なので、町内産の緑茶や紅茶を、美味しいお水で淹れて提供できたり、植物染めやリース作りなどクラフト体験などができるスペースを作っていきたいです。

## 連絡先

【連絡先】
バーデンガーデン
（作業場所）409-2727　山梨県南巨摩郡早川町薬袋274

# 岐阜県白川村　白井　洋光

**商品開発・販売**

## 基本情報

【年　齢】
３９歳
【出身地】
愛知県豊田市
【転出元】
愛知県阿久比町
【前　職】
収集運搬業
【活動時期】
R3.11～ R6.11
（１年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

転職活動をしている際に、「人がおらず豆富屋さんが廃業してしまうかもしれない。」という募集があり、参加しました。まったく違った業種からの転職でしたが人の役に立ちたいという想いがあり、また人口が少なく若者も少ない。ということで自分にも何かできたらと思い応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

すったてをより多くの人に知ってもらえるよう広めていくことです。簡単に食べれて栄養価が高く、美味しい！こんな素敵な食材をぜひ一度食べてもらいたいです。もちろんすったて自体がなくならないよう、製造・販売を続けていきたいと思います。
また、昔からある伝統的な食べ方を残していくことも大事ですが、新しい使い方や味を常に模索していきたいです。

## 活動内容

**●すったての製造、販売**

白川村伝統のすったてを途絶えさせないため、日々製造及び販売活動をしています。店頭だけでなく、ネット販売、ふるさと納税、出張販売会など色んな所でやらせて頂きありがたい限りです。製造に関しては、擂り具合や皮の除き具合によって変わってくるので安定して作れることを目標にしています。

**●すったての告知活動**

すったてを知らない人が多く、昔からある使い方や新しいレシピ、保存方法など広めています。自分もこちらに来るまでまったく知らなかったですが、食べてみてとても美味しく、また食べ応え、栄養価も高く良いことづくしの素材です。

**●村内への継続的な納品**

昔から使ってくださっているお宿さんや食事処へ継続して納品させて頂いています。
また。新しく使ってくださるところも増え、今後も色んな所でつかってもらえるよう活動範囲を広げていきたいと思います。

## 連絡先

# 静岡県静岡市　金原　みつみ

**商品開発・販売**

## 基本情報

【年　齢】
42歳
【出身地】
静岡県藤枝市
【転出元】
東京都狛江市
【前　職】
キッチンカー運営、接客業、製薬研究員など
【活動時期】
R３.９～R６.８
（２年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

静岡県中部にて古来から続く文化・風習を残す井川地区について魅力を感じるとともに、少子高齢化により文化継承が危ぶまれていることを知ったことがきっかけになり、その土地の暮らしや農業の営みを若い世代に発信する目標を持ち、これまでの経験が協力隊としての活動に活かせると思い応募した。
また、将来的に農業を軸においた地場産品開発・販売、地域振興などの複合事業をすることで、地域活性につながると考えた。

## 今後の抱負・任期後の目標

「食」をテーマに井川地域の認知度拡大と交流人口の増加を目標とする。
そのために、
・井川の在来作物を使用した商品開発
・市街地や都心でのイベント開催
・SNSやイベントを通した情報発信
・研修会での講師として井川地域のPR活動
・井川文化に基づく新商品を地元企業と共同開発　を行う。
任期後は、起業や事業継承をして井川の魅力発信に努める。

## 活動内容

**●在来作物のPR、加工品開発**

井川地域には在来作物が多く残っていて現在も栽培されているが、地元住人以外にはあまり知られていない。在来作物や地場産品をPRするためにレシピ開発や食育活動などを積極的に行っている。また地元の野菜や果物を使用した加工品を開発し、実際にイベントなどで販売している。

**●井川地域の文化の発信**

市街地から離れた井川地域では昔ながらの伝統や風習が継承されている。焼畑もそのひとつで、実際に作業に参加している。
また、南アルプスユネスコエコパークに指定されていることから、山の魅力や四季折々の風景を発信している。

**●イベントやSNSでの情報発信**

市街地や県内外のイベントに参加することで井川地域全体を情報発信している。
南アルプスユネスコエコパークに関係する研修会に講師として参加する機会も多い。
SNSを活用し、最新の地域情報を提供している。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Twitter）　アカウント名　@ikawa_foodbunka
（Instagram）　アカウント名　ikawa_foodculture

# 静岡県森町　松葉　知香

**商品開発・販売**

## 基本情報

【年　齢】
27歳
【出身地】
愛知県知多郡東浦町
【転出元】
同上
【前　職】
プログラミング教室講師
【活動時期】
R4.4～

## 協力隊に応募したきっかけ

学生時代の講義の中で「地域おこし協力隊」の存在を知る。いつかなりたいと思いながらも一度就職。新型コロナウイルスの影響で経営にかげりが見え始め、同期の仲間たちがリストラされていったのを機に「リストラにおびえながら過ごすより、自分がやってみたいことをやってみよう」と思い退職。学生時代に過ごした浜松市に近い地域を探す中で、森町の募集を知り応募

## 今後の抱負・任期後の目標

・すでにあるビールを「より魅力的に」するためのブランディングを行うこと。
・春夏秋冬の森町を感じるビールを作ること。

任期後は地域のいろいろな企画～デザインまでを担当できるローカルデザイン事務所とお酒が飲める場所作りをしたい！

## 活動内容

**●森町生まれのクラフトビール**

協力隊OBの活動を引き継いだ活動。森町では毎年夏にはブルーベリー、秋には和梨、冬には栗（くり）を使ったクラフトビールの販売を行っている。その製造のサポートと販売のサポート両方をメインに行う。来年からはリブランディングと新ビールの製造が目標

**●とうもろこしの加工食品**

森町は「甘々娘（かんかんむすめ）」という品種のとうもろこしが生産され、近年では一種のブランドのようになっている。生のままの販売では夏だけのものになってしまうため、生産者が夏以外でも販売できるよう「とうもろこしバター」「コーンポタージュ」などを開発した

**●大学生とのブランディング企画**

森町の中山間部で栗（くり）を生産している農家さんと大学生をマッチングさせ、その農家さんならではの良さを引き出す「栗（くり）のブランディング」を企画進行中。農家×デザイン学生の組み合わせでより多くの商品やデザイン企画などが生み出せるのではと期待している。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

# 滋賀県竜王町　義本　健太

**商品開発・販売**

## 基本情報

【年　齢】
39歳
【出身地】
大阪府熊取町
【転出元】
大阪府熊取町
【前　職】
ヘリオス酒造株式会社
【活動時期】
Ｒ４．７～Ｒ７．７
（１年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

〝日常、節目にあるビール〟　そんなビールをこの先100年以上にわたって竜王町民の多くの方々に提供し続けたいとの思いから協力隊に応募しました。私の人生の日常、節目には必ずビールがありました。そのビールが、竜王町民にとっては一般的なビールではなく、”竜王町”で造られたビールであり、町民みんなが〝この町のビール〟として誇りを持ち、みんなが集う際には常にビールがあり、潤滑油のような役割を果たす。そんなビール醸造所をつくり、竜王町産のビールでまちおこしをしていきます。

## 今後の抱負・任期後の目標

・ビール醸造所を開業し、竜王町産のビールを造る。
・竜王町産のビールを竜王町の新たな特産品としてPRし、まちおこしをする。
・廃棄となるような食材（傷ついたフルーツなど）を適正価格で購入し、ビール醸造の副原料として加え、余すことなく食材を使う取り組みを実施する。
・節度ある飲酒、お酒との付き合い方についての啓蒙活動を実施する。

## 活動内容

**●新たな特産品の制作**

竜王町でビール醸造所を開業し、竜王町産のビールを造ります。そのビールを竜王町の新たな特産品としてPRしていくことで、まちおこしをしていきます。

**●講演活動**

日々の晩酌が少し豊かに楽しくなる話や、節度ある飲酒の啓蒙活動、小中学生向けにキャリア形成に関する講義などの講演活動をしていきます。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）info@yoshimoto-jozo.com

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
義本醸造　on Twitter, Facebook, Instagram

# 兵庫県豊岡市　久保　和代

**商品開発・販売**

## 基本情報

【年　齢】
39歳
【出身地】
大阪府　河内長野市
【転出元】
大阪府　河内長野市
【前　職】
会社員
【活動時期】
Ｒ４.４～Ｒ６.３
（１年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

起業を考えていたある日、ＳＮＳを閲覧していると偶然流れてきた投稿経由で、豊岡市が起業型地域おこし協力隊を募集していることを知りました。
豊岡には「お菓子の神様」とされる田道間守命（たじまもりのみこと）を祭る中島神社があり、菓子メーカーの幹部らが参拝する菓子祭が毎年開かれていることや、豊岡市が地域に根差しながら世界に通用するまちづくりを目指していることに、「直感」で「これや」と共感し、豊岡市地域おこし協力隊に応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

豊岡・但馬は野菜でも海産物でも食材が豊富でおいしいです。これからは地元企業とコラボしたレシピや商品開発をしていきたいです。
今後はネット通販による販売も予定していて、越境ＥＣでの海外販売も計画しています。海外進出の夢を叶えたいと思っているので、海外物産展等にも出品したいです。
豊岡・但馬の食材を使った洋菓子で、但馬を全国、世界に知ってもらいたいです。

## 活動内容

**●地元産の食材を使ったスイーツの制作**

活動当初は地元産の食材探しからはじまりました。パリの二つ星レストランでの修行や外資系ホテルでの勤務経験を活かして、豊岡・但馬の食材を使ったケーキや焼き菓子を制作しています。

・**「直感オペラ」（写真上）**
創業90年以上のコーヒー専門店「ヒグラシ珈琲」（豊岡市）のコーヒー豆と、フランスの有機チョコレートを使ったケーキ

・**「ピスタチオニストケーキ」（写真中）**
卵かけごはんで有名な「但熊」（豊岡市）の鶏卵、「井戸養蜂場」（同）の蜂蜜、イタリア産高級ピスタチオペーストを使用したチーズケーキ

・**「但馬マドレーヌ」（写真下）**
神鍋白炭工房（豊岡市）の炭パウダーや香住鶴（香美町）の酒粕、朝倉さんしょ（養父市）などを使った５種類のマドレーヌ

**●販売イベントへの出店**

これまで大阪・心斎橋オーパや市内でのイベントの出店に声がかかり、多数の商品が完売となりました。また、東京の銀行本店社員食堂の運営会社からもマドレーヌの注文をいただき、社員食堂で提供していただいています。

写真：© Kinugawa photo office

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）toyoocome@city.toyooka.lg.jp（電話番号）0796-21-9096
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
飛んでるローカル豊岡HP
https://tonderu-local.com/chiikiokoshi/
豊岡市地域おこし協力隊Facebook
https://www.facebook.com/toyookachiikiokoshi

# 兵庫県多可町　小迫　悠香

**商品開発・販売**

## 基本情報

【年　齢】
24歳
【出身地】
滋賀県甲賀市
【転出元】
滋賀県甲賀市
【前　職】
大学生
【活動時期】
R3.4～ R6.3
（2年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

大学で国際協力や地域開発について学び、日本の地域おこしに興味を持ったから。

## 今後の抱負・任期後の目標

多可町の特産品の認知度をまず兵庫県内において高める取り組みを行い、特産品が町外で売れる仕組みを作れるようにする。

## 活動内容

**●トヨタ販売店でのマルシェ**

兵庫県内のトヨタ販売会社5社における店舗での特産品マルシェを開催。
トヨタ販売店に気軽に入れるお客さんを増やし、トヨタファンを作りたいというトヨタの意向と特産品を町外で広く販売・PRしたいという多可町の意向がマッチし実現した企画。

**●ノベルティ・景品の手配**

町内でのキャンペーンや体育大会等の景品、兵庫県・北はりまでのキャンペーンおよび、トヨタ関連会社のノベルティ企画など、様々な企画の依頼を頂き、特産品でセット組みを行っている。

**●マルシェ×写真展示**

特産品のマルシェを行う際に、商品の製造風景や生産者の写真を展示することで、消費者に商品の背景や魅力をより伝えることができると考え、写真とマルシェのコラボ企画を数回開催した。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）info@raku-taka.com　（電話番号）0795-37-0699

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（多可町ファンサイト）https://raku-taka.com/fanclub/

# 兵庫県多可町　吉岡　潤

**商品開発・販売**

## 基本情報

【年　齢】
25歳
【出身地】
大阪府　豊中市
【転出元】
大阪府　豊中市
【前　職】
アパレル
【活動時期】
R3.10～

## 協力隊に応募したきっかけ

友人と田舎のゆったりとした空間でシェアハウスをしよう！と思い、関西中を回る中で、自然に近く、人も優しい多可町と出会いました。
元々、お客様と直接接することのできる小売業が好きだったため、道の駅という様々なサービスを取り扱う施設に魅力を感じ、応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

道の駅杉原紙の里・多可の運営を通じて、多可町加美区をいつでも賑やかな観光名所することです。
任期後については道の駅での実績を用いて、地方創生を担う情報発信を行いたいと考えています。

## 活動内容

**●26周年感謝祭！**

10月23日に創立26周年の感謝祭を実施しました。
周辺住民の方に協力を仰ぎ、多可町産の野菜の詰め放題を実施。遠方から来てくださるお客様もおり、行列ができる大盛況でした。

**●Instagram開設**

昨年から道の駅の公式インスタグラムを開設しました。
チラシ等の広告手段と違い、SNSはお客様のニーズが逐一反映されるため、従業員の方とコミュニケーションを取る上で、大変重宝しています。

**●クーポン配布**

春のイベントで新駅長就任記念として、播州百日どりのステーキ「車留満定食」の無料券の配布を行いました。
初めて多可町に来たという声も有り、特産品の魅力発信の手応えを感じました。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（tiktok）https://www.tiktok.com/@jun_ekicho?lang=ja-JP

# 奈良県宇陀市　田島　浩樹

**商品開発・販売**

## 基本情報

【年　齢】
23歳
【出身地】
兵庫県神戸市
【転出元】
兵庫県神戸市
【前　職】
学生
【活動時期】
R3.4～

## 協力隊に応募したきっかけ

大学在学中に始めた「木工所からでた木屑を回収し、それを原料に素材開発、商品販売をする」という活動を本業にするために応募した。奥大和という、林業、木工が盛んで、原料である木屑も手に入りやすいという点で宇陀市を選びました。

## 今後の抱負・任期後の目標

自社商品が出来上がったので、販路拡大、生産体制を整える。木屑から生まれ変わった商品を社会に送り出していくとともに、屋号でもある「キクズノヒト」の知名度、ブランド価値を高めていきたい。
任期後も常に木屑を使った新商品の開発を進めていきたい。

## 活動内容

**●商品開発**

木屑を使用した商品の開発をしている。様々な商品を開発し、販路を拡大していきたい。

**●素材開発･販売**

木屑から新素材「キクズノシート」を開発して壁紙などの素材として販売している。

キクズノシートとは
「木屑を薄く曲がるシート状にした物。木屑本来のざらっとした触感を残しつつ、表面の安定した木屑の面を表現できる衣装素材。木屑は一つ一つ大きさや形が違うため、シートにした際も個体差がある。木材の時には木目と呼んでいたように"キクズノシート"になった時も表情の違いが生まれます。」

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（HP）https://kikuzunohito.com
（INSTAGRAM）@kikuzunohito

# 鳥取県三朝町　伊藤　博文

**商品開発・販売**

## 基本情報

【年　齢】
５０歳
【出身地】
島根県松江市
【転出元】
兵庫県神戸市
【前　職】
個人事業主
【活動時期】
R４.５～

## 協力隊に応募したきっかけ

今まで培ったECサイト及び実店舗での営業スキルを活かし、三朝町の農林産物の販路拡大に繋げることができると考えました。
これまで、日本の製品を海外に販売する事業を取り扱っていたため、三朝の商品を国内だけでなく、海外にも販売することを目標にしています。
また、三朝といえば「観光の町」、「温泉の町」です。農林産物に限らず、幅広く情報発信に取り組みたいと思います。

## 今後の抱負・任期後の目標

三朝町での活動も半年が経過し、町のことが分かるようになってきたと実感しています。農林産物を県外・国外の方に知ってもらおうと思ったら、売り手の自分自身がその良さを熟知している必要があります。そのため、まずは地域に出て行って、町を知ることに全力を注ぎました。
今後は、外にも目を向け、ミッションである販路拡大に力を入れていきたいと考えています。まずは、既存商品の販路拡大に力を尽くしますが、ゆくゆくは商品開発にも取り組みたいと思います。

## 活動内容

**●農林産物の販売･販路拡大**

三朝町特産品の「神倉大豆」を使った商品は、「神シリーズ」と銘打った加工品として、納豆、豆腐及びどら焼きなどが販売されています。しかし、どの商品も消費期限が短いことやブランドの確立が不十分であるため、県外への販路が乏しい現状です。
そこで私は、関西圏を中心に販路の拡大、新規の商品開発を地元企業と連携して、取り組んでいます。
ゆくゆくは、海外にも販路を開拓していきたいと考えています。

**●町の魅力を情報発信**

三朝町は日本遺産【三徳山・三朝温泉】に代表される観光と豊かな自然を活かした農林産業の町として知られています。これらの“すでに知られていること”だけでなく、普段の何気ない生活の中で感じられる町の良さも含めて、SNSを通じて、情報発信に取り組んでいます。
また、昨今では紙・チラシだけでなく、動画を活用した周知が効果的であるため、動画コンテンツの作成にも力をれていきたいと思います。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）kikaku@town.misasa.tottori.jp
（電話番号）0858-43-3506

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（instagram）
https://instagram.com/misasachiikiokoshi?gshid=YmMyMTA2M2Y=

# 島根県邑南町　小牧　尚博

**商品開発・販売**

## 基本情報

【年　齢】
５６歳
【出身地】
広島県広島市
【転出元】
広島県広島市
【前　職】
自営業（飲食店）
【活動時期】
Ｒ３.４～Ｒ６.３
（２年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

自分の子どもや家族に安心して食べてもらえる食をより多くの人に提供したいという想いを持ちながら広島で20年間飲食店を営んできた。安心安全で魅力的な食材を求めて様々な場所を訪れる中で、邑南町の食材や生産者に惹かれてここで暮らしたいと考えるようになった。

## 今後の抱負・任期後の目標

自分が感じた町の素晴らしさを都市部に住む仲間に伝えていきたい。そのために、都市部の人たちがそうした魅力に触れることができるような滞在拠点をつくることが重要と考えており、既に副業として飲食店兼宿泊施設として営業を始めた。町内の生産者や事業者の元での研修を通して関係を構築すると共に自分の取組みが地域の方々にとっても有益ものとなるよう勉強していきたい。

## 活動内容

**●農業研修**

食材の生産に関する知識習得のための座学や試験ほ場での実習に加え、町内の農家で実際の栽培作業に従事することで、高齢農家の人手不足対策と自身の栽培技術習得に取り組んでいる。

**●町内事業者研修**

酒蔵、鯉養殖場、野菜生産者など町内の様々な生産・加工現場での研修を通じて町内食材についてより深く学びながら、起業に際して食材等の仕入れがスムーズに行えるよう生産者等との関係構築に取り組む。

**●各種講座への参加**

イタリアン、和食、スイーツなどの講座のほか、A級グルメや里山資本についての座学を通じて、地方で食に携わることの意義や協力隊として邑南町で活動することの意味について知見を広める。

## 連絡先

# 岡山県新見市　舩本　将寛

**商品開発・販売**

## 基本情報

【年　齢】
３７歳
【出身地】
京都府舞鶴市
【転出元】
大阪府松原市
【前　職】
料理店勤務
【活動時期】
Ｒ２.９～Ｒ５.８
（３年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

「食を通して人を集め、地域を盛り上げる」活動がしたいと思っているなか、地域おこし協力隊として活動することで、自分の活動や想いを地域の方に知ってもらえる良い機会になると考え応募した。
起業を視野に入れて移住先を探すなかで、新見市はまだ移住者が少なく、自由な発想で新しいものを創造していける可能性を秘めていると思い新見市を選んだ。

## 今後の抱負・任期後の目標

任期終了までに、新見市の食材を使った新たな特産品の開発と販売を開始したいと考えている。
任期終了後は、任期中に実施してきた事業を継続しながら、新たな移住者や地域の若い世代と協力して、食などのエンターテイメントで地域を盛り上げるプロジェクトも実施していきたい。

## 活動内容

**●空き店舗を活用した飲食店の運営**

明治時代の趣きある建物「太池邸」の内蔵を活用し、新見市の食材を使ったイタリアンレストラン「トラットリア　アルカ」を運営中。
新見市食材をＰＲする場になっており、市外からのお客様も多く来店いただいている。

**●イベント等への出店**

コロナ禍で思うように出店できなかったが、市内外でのイベントを通して、新見市食材のＰＲに努めている。
写真は１０月に新見市で行われた「土下座まつり」で提供した「千屋牛のラザニアランチＢＯＸ」。

**●新たな特産品の開発**

ジビエ肉を使った商品など、特産品の試作に取り組んでいる。
今後は、商品化にむけて取組を加速させていく予定である。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）iju213@city.niimi.lg.jp　（電話番号）0867-72-6114

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（トラットリア　アルカ　Instagram）
https://www.instagram.com/trattoria_arca/?hl=ja

# 徳島県美波町　熊谷　亜未

**商品開発・販売**

## 基本情報

【年　齢】
32歳
【出身地】
宮城県　石巻市
【転出元】
神奈川県　大和市
【前　職】
自動車部品設計
【活動時期】
R4.4.1～

## 協力隊に応募したきっかけ

いつか（定年退職後くらいには）美波町へ移住したいと考えていました。ある日ふと思いつきで美波町を検索したときに地ビール醸造起業をする人を募集していると知り、「ビール飲むのが好き」「ものづくりが好き」「美波町に住みたい」と思ったことから、地ビールで起業するこの挑戦は面白いと考えそのままの勢いで応募したところ選考に通りました。

## 今後の抱負・任期後の目標

2023年3月までは醸造研修を引き続き行い、2023年6月には醸造免許の申請を行う予定です。地域おこし協力隊のミッションとして地ビール醸造起業があるため、2年目から3年目の間には起業することを目標としています。

ビールは人と人とを繋げられるアイテムと考えています。美波町とどこかの人や街が繋げられるようなビール屋さんになれればと考えています。

## 活動内容

**●概要**

美波町日和佐浦にある国登録有形文化財「谷屋（たんにゃ）」の敷地内の古民家を改修し地ビール醸造起業を行うことが目標です。

2024年1月の開業を目標に、現在は月の半分を岡山県にある吉備土手下麦酒でビール醸造や販売に関しての研修を受けています。

**●醸造研修**

醸造研修ではビールの仕込みを教えて頂いています。醸造所のメイン商品から季節のフルーツビールまで様々な仕込みを間近で見たり補助作業をおこなっています。

最近、美波町の麦を使ったオリジナルビールを醸造することができました。

**●地ビール屋さんの作業**

地ビール屋さんだと醸造している時間が多いと思われがちですが、実は清掃、樽洗い、瓶詰め、ラベル張り…といった地味な作業の時間が多いです。また酒税が関わってくるため帳簿を付ける作業も多くあります。

**●販売研修**

ビールを作ることも大事ですが、売れなければ作ることができません。イベント出店を通してお客様へどんな声掛けをしたら売れるのかを学んでいます。

オリジナルビールができたので、最近は地元のイベントでの販売もすることができました。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】
https://www.instagram.com/hiwasa.beer.brewery/

# 香川県善通寺市　臼井　俊行

**商品開発・販売**

## 基本情報

【年　齢】
46歳
【出身地】
岡山県倉敷市
【転出元】
東京都渋谷区
【前　職】
広告代理店
【活動時期】
R2.4～

## 協力隊に応募したきっかけ

広告代理店での経験や、自営業（妻と無店舗型の焼菓子店を経営）のノウハウを活かして、少しでも地域のためになることが出来ればと思い、応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

商品開発担当ということで着任しましたが、それ以外にも地域のためになることは積極的にアイデアを出し、実行していきたいと考えています。
任期後のことはもう少し時間をかけて考えようかと…。

## 活動内容

●【商品開発関連】

・讃岐もち麦ダイシモチ（ゆで麦）をフリーズドライしたサンプルを作成。

・移動式観光案内所にて提供するメニュー開発およびチラシデザイン（右画像）

●【情報発信関連】

・善通寺市内にあるバラエティ豊かな和洋菓子店、パン屋さんを特集した冊子「善通寺市おもちかえりおやつ天国」が好評につき、改訂版として発行した。

・黒板プロモーション「黒板卓球」
旧西高の黒板を利用した卓球台を製作。
ゆくゆくは市民が自由に遊べるような場所に設置予定。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）usui@city.zentsuji.kagawa.jp
（電話番号）0877-63-6315（職場）
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】
現在のところ特にありません

# 愛媛県今治市　青柳　薫

**商品開発・販売**

## 基本情報

【年　齢】
37歳
【出身地】
宮城県仙台市
【転出元】
東京都練馬区
【前　職】
飲食店調理・サービス
【活動時期】
R3.4～ R6.3
(2年目)

## 協力隊に応募したきっかけ

もともと夫が今治市出身であり、夫と初めて愛媛県を訪れた時、島の美しさに感動したことから、移住を考えました。その際協力隊の制度を知り、協力隊としてイノシシの解体を学び、今後の飲食店開店に結び付けられないかと思い応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

イノシシのパスタソースキット販売を軌道に乗せること。
また、主に夫が土日行うイノシシ肉ハンバーガーテイクアウト店の営業を任期後も事業として確立させること。

## 活動内容

**●イノシシラグーソースキット開発･販売**

「しまなみイノシシ活用隊」でイノシシの解体を学ぶうち、脂の多い時期のイノシシに需要が偏ると知り、年間を通した需要を生み出せないかとキットの開発に至りました。一般の方にジビエを気軽に楽しんでもらえるよう既成のソースではなくキットにしました。11月から販売予定です。

**●地域の母子サポートのお手伝い**

社会福祉協議会で行われている育児サロン「えがお」に参加し、地域のお母さんたちと交流を図ったり、隣の島・伯方児童館の「出張児童館」のお手伝いをしています。また、いつか自宅で一時預かりの場所を提供できるよう、ファミリーサポートセンターの講習を受講し、提供会員になる準備をしています。

**●イノシシ肉ハンバーガーテイクアウト店の準備**

ラグーソースキット作成のための調理場を長らく探していましたが、結局新しく建てることになり、その場所の更なる活用として土日にハンバーガー屋さんをオープンします。イノシシ肉の普及、大三島をもっと知ってもらうことを目指し、また、地域の人にも通ってもらえるお店となるよう準備しています。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://pierpankit.com
https://www.instagram.com/pierpan_omishima
https://www.Instagram.com/lalala_omishima

# 愛媛県八幡浜市　田川　花月光

**商品開発・販売**

## 基本情報

【年　齢】
26歳
【出身地】
新潟県新潟市
【転出元】
新潟県新潟市
【前　職】
学生
【活動時期】
R2.4～ R6.3
（3年目）
※新型コロナ特例により
1年延長予定

## 協力隊に応募したきっかけ

2019年8月31日～9月1日に開催された「やわたはま暮らし体感ツアー」(八幡浜市が企画)に参加したことがきっかけ。初日の15～21時に、事前に選択していた山コースの受け入れ地域であった「高野地(たかのじ)」のみなさんと交流。梨・ブドウ狩り、マーマレードを使った料理教室、お神楽鑑賞、地元の料理を食べながらの交流会を体験した。

交流を通して地域の人柄に惚れ、移住を考えるように。地域住民から協力隊という仕事があると教えてもらい、こんな素敵な地域のために何かできたらと思い応募した。

## 今後の抱負・任期後の目標

「四季百果 天空の里 高野地」をより多くの人に知ってもらいたいので、PR動画を作成しSNSやイベント等で発信していきたい。動画はふるさとCM大賞に応募することも考えている。新型コロナウイルス感染症対策として3年間中止になっている地域のイベントも来年こそは開催し、動画に収めたい。

また任期後に市内に定住・就職するかは未定だが、企業組合高野地フルーツ倶楽部とのかかわりは持ち続けていきたいと思っている。

## 活動内容

**●企業組合 高野地フルーツ倶楽部**

自分たちで育てた果物を加工・販売している6次産業組織。当組合のみなさんとともにジャムやマーマレード、みかんのシロップ漬け、たけのこのビン詰め等の製造・梱包・出荷、イベント出店、新商品開発、受注や取材の対応、補助金申請等の事務作業など多方面での活動を行っている。

**●イベント出店**

高野地のPRや美味しいものを販売するため、主に県内のイベントに参加している。高野地フルーツ倶楽部のジャムやマーマレードはもちろんのこと、高野地で採れた梨やブドウ、柿、柑橘等も販売している。販売促進のため、効果的な展示方法やPOP作成について学び、実践している。

**●農家支援、農業環境改善**

農業がメインの地域なので、人手不足の農家さんのサポートとして農作業を手伝っている。

またみかん収穫アルバイターに快適に過ごしてもらいリピーターになってもらえるよう、高野地雇用促進協議会(受け入れ農家の組織) と連携して、補助金を活用した宿舎の改修等を行っている。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）chiiki-takanoji@me.pikara.ne.jp
（電話番号）0894-21-4171

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
八幡浜市地域おこし協力隊(Facebook)
やわたはまぐらむ(Instagram)

# 愛媛県伊方町　田中　健介

**商品開発・販売**

## 基本情報

【年　齢】
28歳
【出身地】
兵庫県宝塚市
【転出元】
大阪府大阪市
【前　職】
会社員
(営業、事業立ち上げ)
【活動時期】
R2.11～ R5.10
(2年目)

## 協力隊に応募したきっかけ

大阪のベンチャー企業にて3年半勤めながら、営業や新規事業の立ち上げを経験し独立しようと考えていたときに、地方のほうが自分が望む暮らしややりたい事の実現にマッチしているんじゃないかと思いはじめていました。そんなとき伊方町のことを知り、四国最西端、、日本一細長い町、、しかも海に囲まれていて、最高！！と足を運んだところ、運良く事業提案型といわれる協力隊の公募があり、行政職員の方からの勧めもいただいて伊方町地域おこし協力隊になりました。

## 今後の抱負・任期後の目標

キッチンカー居酒屋をスタートしたいと思っています。店舗型の居酒屋を、と考えていましたが固定店舗にしてしまうとその集落のお客様しか来ないなと考え、キッチンカーでの移動型居酒屋を計画しました。この仕組みなら僕が要望に応じて出向くだけなので、交通面の心配なく沢山の方々に来て頂けると考えています。色んな地域・集落で開催し、任期終了後にキッチンカー居酒屋を南予地域、愛媛県内と幅広く展開していくことに向け、当面の目標は伊方町内の制覇です！！

## 活動内容

**●大人気の亀ヶ池公園キャンプ場**

オートサイトキャンプ場を4月に仮オープンしました。元々は何も無い公園だったのを活用し、最大6区画で水洗洋式トイレ、炊事場も非常に綺麗なキャンプ場になっています。何といっても真裏の亀ヶ池温泉まで徒歩20秒でいけます。休日や大型連休は満席が多いです。

**●伊方町でふたりの一生の思い出を**

ラヴィファクトリー松山店 (本社：兵庫県神戸市)とコラボし伊方町の絶景を新郎新婦様の門出として一生の思い出になってほしいという想いから始めたフォト婚。現在は商品化されラヴィファクトリーの店舗に行けばどこからでも伊方町でフォト婚撮影が可能になっています。

**●本場の味！けんちゃん たこ焼き**

地域で出したのがきっかけで始めた、たこ焼き。イベント出店では行列で完売必須。町内のリピーターが多く、イベント出店すると毎回足を運んでくれます。出汁が効いた関西人が焼く関西たこ焼き。6個300円とリーズナブルです。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
伊方町地域おこし協力隊｜Facebook

個人：Instagram

# 愛媛県鬼北町　粟野　正臣

**商品開発・販売**

## 基本情報

【年　齢】
39歳
【出身地】
千葉県　鎌ケ谷市
【転出元】
千葉県　鎌ケ谷市
【前　職】
医療相談員
【活動時期】
R２.7～ R5.6
（3年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

・生活環境、労働環境を大きく変えたかったから

・山や川などの自然が豊かな所で暮らしてみたかったから

・「泉貨紙」に興味を持ったから

## 今後の抱負・任期後の目標

泉貨紙の魅力が発揮される商品の開発をしていきたい。

## 活動内容

**●泉貨紙の生産活動（生産技術習得）**

鬼北町伝統手漉き和紙の「泉貨紙」を生産する為、原料の調達・加工から紙漉きに至るまでを行う。
（紙質の維持や道具保管の関係上、冬季のみの活動となる。）

**●商材開発**

泉貨紙を使った品物の企画・製作を行う。
オーダーメイドも行っている。

**●イベントにおける販売（広報活動）**

対面販売を行うことで、直に和紙に触れてもらって、色味・肌触り・質感等を知ってもらう。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
instagram　→

# 愛媛県鬼北町　野口　貴博

**商品開発・販売**

## 基本情報

【年　齢】
29歳
【出身地】
愛媛県松山市
【転出元】
愛媛県松山市
【前　職】
株式会社ぎょうせい
【活動時期】
R３.５～R６.４
（２年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

鹿児島県の離島で一度地域おこし協力隊を経験しておりました。その時は島に自生している果物を使ったエッセンシャルオイルを作り、ブランド化して販売しておりました。また、地域コミュニティ形成をするため、月に一度料理教室を開き、地域住民との交流を図っておりました。

最終年度はレストランの指定管理を請け、エッセンシャルオイルなど地域商材を利用した商品開発と地元雇用創出をする仕組みを作り事業化を行いました。

その経験を活かすために自治体コンサルに入社しましたが、個人で行っていたほうが自治体のためになると再度思いもう一度地域おこし協力隊として活動をしようと思い応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

ノウハウがないと取り組めないような活動内容の隊員と連携を図り、事業化までの「実働を伴った支援」を行っております。（※活動内容①参照）迷っていると任期はすぐに終わってしまうので、総体的に地元商材を使った商品開発を行いたい。ではなく、○○を使うならこういった商品がいいよ。といった抽象度をあげ、事業化までのフローを確認しながら支援を行っております。

また、この活動は自治体を越えた「愛媛県」という枠で行っているので現役協力隊の横の連携を強めることが期待できます。令和８年度までに協力隊を10000人まで増やすと総務省も掲げているので、活動に迷いが生まれる隊員が多くなることも予想されます。そういった方を支援が出来る機関を設立したいと考えております。

## 活動内容

### ①実働を伴った支援

マルシェに出店したいがレイアウトや接客をしたことがないという隊員がいらっしゃったので、現地にて商品の配置や接客のアドバイスを行い、マルシェ終了後にレイアウトや接客のマニュアルを作成しお渡しをしました。

他にはエッセンシャルオイルを抽出したいという隊員には機材導入から商品制作、実地販売などの支援や協力隊OBの方から料理の提供メニューを開発してくださいなど、ストーリー作成から出口戦略を検討するところまで行っております。

### ②鬼北町にある高校の生徒と商品開発

鬼北町には**北宇和高校**という県立高校があり、そちらの生徒と今特産品である「キジ」を使った商品開発を行っております。現在は鬼の金棒をモチーフとしたカレーパンを開発しております。私がレストランで使っていたレシピをベースに地元食材の味噌を入れてオリジナリティあふれるカレーパンに仕上げています。

今後は地元事業者にレシピをお渡しをして継続的に商品を製造・販売を行ってもらおうと検討しております。

### ③企業連携事業

宇和島市という真珠で有名な自治体があり、そちらの商品にならない小粒で変形している真珠の活用方法を起業案件として請けております。

また、別の自治体からはふるさと納税に向けた完熟ジュースに付加価値をかけたいといった起業案件をほかの現役協力隊に仕事を割り振りマネタイズする取り組みを作っております。

### ④コワーキングスペース運営

2022年５月に古民家を改修したコワーキングスペースがオープンし、そちらで新しく事業の創生と交流人口拡大を軸に運営を行っております。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

facebook　　Instagram

# 高知県須崎市　重本　亮

**商品開発・販売**

## 基本情報

【年　齢】
32歳
【出身地】
高知県　高知市
【転出元】
高知県　高知市
【前　職】
施設園芸農家
【活動時期】
R2.4～ R5.3
（3年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

前職で農業に従事し、鳥獣被害の現状に触れる。それをきっかけに狩猟フォーラムに参加し、猟友会メンバーの紹介で協力隊に応募。

## 今後の抱負・任期後の目標

鳥獣被害は身近な所で起きている問題だということを知ってもらい、その上で解決策の一つとして「ジビエとしての活用」があることを知ってもらう活動を続ける。

## 活動内容

**●猪のジビエとしての活用**
有害鳥獣として駆除され捨てられていた猪を、ジビエとして販売できる形にすることで地域資源として利活用する。

**●ジビエとして活用される猪の捕獲**
猟友会に所属し狩猟を行うことを通じ、ジビエ振興活動へ繋げるとともに、新規狩猟者獲得のきっかけを作る。

**●ジビエを身近な商品へと変える為の活動**
「ジビエ＝特別な肉」のイメージをできるだけ払拭する為、普段使いの肉として定着できるように家庭向けの料理レシピの開発を行う。

## 連絡先

（メールアドレス）gibier.uranouchi@outlook.jp
（電話番号）0889-49-0144

# 高知県須崎市　林　佑磨

**商品開発・販売**

## 基本情報

【年　齢】
３４歳
【出身地】
愛知県名古屋市
【転出元】
愛知県名古屋市
【前　職】
飲食店スタッフ
【活動時期】
Ｒ２.８～Ｒ５.３
（３年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

大学1年生のときに猪による獣害を経験したが、院卒というのもあり卒業後すぐには獣害対策の道に進まなかった。前職の飲食店が緊急事態宣言発令のため臨時休業となり、考える時間ができた結果、移住して新しい生活を始めたいという想いが強くなった。ジビエ活用に興味を持ったため応募した。

## 今後の抱負・任期後の目標

転職して資金的に体力をつけてから、ジビエ浦ノ内企業組合の猪肉を活用した事業を始めようと思っている。

## 活動内容

**●地元の猟師さんから搬入された猪の解体**

地元で自家消費しきれず、廃棄されていた猪を有効活用するため、獣肉解体処理施設のジビエ浦ノ内企業組合にて猪の解体に従事。「習うより慣れろ」という感覚で、とにかく数をこなして覚えていった。

**●(株)パンクチュアルと連携したふるさと納税返礼品開発**

脂が乗っていない夏の赤身の猪肉を売っていくため、切落しが1.2kg届くというオトク感のある返礼品を開発した。ふるさと納税doを使用した返礼品発送管理のしくみは導入・運用がスムーズに行くまでとても苦労した。

**●県内･県外商談会への参加**

高知県は「猪はもらって食べるもの」という認識があり地元では売れにくい。このため県内外の商談会に積極的に参加し販路獲得に取り組む。飲食店のオーナーとの直接やり取りや、流通業者との交渉などを行う。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
起業Instagram: gibier_uranouchi_official

# 高知県中土佐町　飯島　賢

**商品開発・販売**

## 基本情報

【年　齢】
31歳
【出身地】
静岡県熱海市
【転出元】
静岡県熱海市
【前　職】
市役所
【活動時期】
R3.5～ R6.4
（2年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

今後やってみたい仕事と移住を検討したときに、東京で開かれていた奥四万十のフェアに参加し中土佐町を知った。その後現地に足を運び、役場や商工会、事業者等と話をして実際の仕事について確認したのち応募。

## 今後の抱負・任期後の目標

事業者の支援を引き続き行っていくことで町内全体の活性化につながると考えている。
任期後も地域に還元できるよう事業を構築していきたい。

## 活動内容

**●外商支援**

町内商品や事業者の外商を支援。
県外からのバイヤー招聘やSNSでの発信、セミナーやイベントの開催を商工会および役場と連携して行い販路拡大や売上増加、認知度向上を目指している。

**●商品開発**

町内事業者と連携を図り、商品の新たな価値を創造するため商品開発に取り組んでいる。
未利用資源や廃棄資源を使用することで事業者への還元にもなる。

**●ふるさと納税支援**

ふるさと納税に掲載されている写真や文章のブラッシュアップおよび新規掲載の取材や撮影を行っている。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）iijima.kyoryokutai@gmail.com
（電話番号）0889-52-2519

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
地域ブランド研究会HP：https://www.nakatosabrand.com/
Instagram：@made_in_nakatosa

# 高知県中土佐町　鈴木　弥也子

**商品開発・販売**

## 基本情報

【年　齢】
24歳
【出身地】
神奈川県横浜市
【転出元】
神奈川県横須賀市
【前　職】
アウトドアメーカー勤務
【活動時期】
R4.3.1~R7.2.28
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

もともと自然が好きだったのに加え、学生のころ気候変動に関する学生運動をオーガナイズしていた経験から、「自然の循環の中で農的な暮らしを送りたい」という思いが強くなり、同町の有機農家に１か月のファームステイをさせて頂いたのをきっかけに移住を考え始めました。
そして移住の手段として、協力隊というシステムを知り、応募することを決めました。

## 今後の抱負・任期後の目標

イタドリなどの地域の特産品を使った加工品販売や、子供向けの自然体験など、小さないくつかの生業を作り、自然の循環に従った暮らしを実践することで、中土佐・大野見の魅力を伝えるとともに、本質的な豊かさを体現することです。

## 活動内容

**●オンラインでのイタドリの加工販売促進**

冷凍の塩漬けイタドリの販売促進として、オンラインでの販売を始めました。
産直サイトのほかにも、ふるさと納税への出品などで販路拡大をしています。

**●地域の広報誌作成**

前担当の引継ぎとして、活動地区の広報誌作成を担当しています。

**●視察訪問**

自然学校や田舎暮らし体験施設などへの視察を重ねることで、経済的に持続可能な「自然と人をつなぐ場」作りを学んでいます。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（電話番号）0889-59-1793

# 佐賀県玄海町　橘髙　ちひろ

**商品開発・販売**

## 基本情報

【年　齢】
40歳
【出身地】
福岡県福岡市
【転出元】
福岡県福岡市
【前　職】
NPO法人
ﾃｨｴﾝﾎﾟ・ｲﾍﾞﾛｱﾒﾘｶｰﾉ
【活動時期】
R2.6～ R5.3
（3年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

前職の海外メディアの取材対応で浜野浦の棚田を訪れた際、棚田はもちろん、周辺の町並みや地域の方の温かさに魅了され、家族での移住を検討。妊娠・出産期間があった為、1年後に応募し、家族3人で移住。

## 今後の抱負・任期後の目標

R3.4月より（一社）玄海町みんなの地域商社へ出向し、ふるさと納税の受付業務を主に、地域ブランディング事業や観光事業に携わっており、任期満了後は、同事業所にて直接雇用予定。

## 活動内容

**●ふるさと応援寄附金事業**

ふるさと応援寄附金受付業務に加え、付随する寄附者へのお礼状や封筒のリデザイン、首都圏レストランでの食材PRイベント等の企画にも携わる。

**●浜野浦の棚田保全耕作体験「守る米づくり」**

浜野浦の棚田保全および地域ブランディングを目的とし、休耕田で一般の方と一緒に米づくりをする「守る米づくり」を企画・運営。R4年は約6アール・10名の参加者と実施。R5年は耕作面積も増やし、30名の参加を目標に企画中。

**●その他**

観光や地域ブランディング事業において、町内外での出店イベント時の対応や、町内生産者の商品ブラッシュアップ、広告物のリデザイン企画などにも携わる。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）kittaka.chihiro@all-genkai.or.jp
（電話番号）0955-51-3007　（玄海町みんなの地域商社　代表番号）

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
なし

# 長崎県南島原市　秋山　大樹

**商品開発・販売**

## 基本情報

【年　齢】
43歳
【出身地】
鹿児島県　志布志市
【転出元】
東京都　東久留米市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R4.10～R7.9
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

自身の人生を振り返り「これまでの経験や知識を社会の為に役に立てたい」と考えていました。それと同時に「家族と共に仕事をしながら、故郷九州の自然豊かな地で暮らす事」を模索していた折、地域おこし協力隊の記事が目にとまりました。その中でも南島原市の「手延そうめん製造の技術が学べる」という募集は強く私の心を惹きつけ、伝統文化を継承する為に南島原市の地域おこし協力隊と自分の思いが合致して応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

【今後の抱負】
先ずは島原手延そうめんの製造技術を身につけ、自分自身で全ての工程を行ったオリジナルのそうめんを作りたい。島原手延そうめんのブランド確立に向けて、観光業を中心とした展開を考えている。海外ではまだ知名度が低い為、そうめんの加工品などを通じて海外展開をしてみたい。
【任期後の目標】
島原手延そうめんの技術を習得し、独立して事業を開業したい。移住してきた私だからこそ出来る事があると考えています。南島原市の発展に寄与したい。

## 活動内容

### ●そうめん製造技術研修

研修先にて「そうめん製造技術」を１から勉強しています。初めは苦労したそうめん製造に関わる各技術も徐々に身体に馴染初めてきました。自分自身のオリジナルそうめんを創り出す為に匠の技術を体得すべく日々努力中。

### ●そうめんの創作料理を通じた地域交流

地域で行われている料理教室に参加し、住民と積極的に交流する事で早く地域に溶け込もうと努力しています。そうめんの本場で教えてもらったそうめんの創作料理は島原手延そうめんのブランドカアップに向けたアイデアを刺激します。

### ●自サイトでの活動報告

自分自身でサイト運営をしているので、そこで南島原市への移住した時の記録や、地域おこし協力隊での活動報告を行なっています。そうめんを使ったオリジナルレシピなども公開しているので、私のサイトをみて後続の方が出てくることを期待しています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）somen@city.minamishimabara.lg.jp
（電話番号）0957-73-6633

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（サイト）https://srmr.jp

# 長崎県川棚町　大山　直昭

**商品開発・販売**

## 基本情報

【年　齢】
30歳
【出身地】
長崎県 佐々町
【転出元】
奈良県 斑鳩町
【前　職】
自営業
【活動時期】
R４.４～

## 協力隊に応募したきっかけ

子供が生まれて、長崎の実家に帰る機会を増やしたいと考えていた際に募集を知り応募しました。

新型コロナの影響でリモートワークが普及し、場所に関係なく仕事がしやすくなったことも後押しとなりました。

## 今後の抱負・任期後の目標

【今後の抱負】
ふるさと納税支援業務を通じて、町の活性に貢献していきたいです。

【任期後の目標】
起業（川棚に定住）

## 活動内容

**●町内事業者向け決起会の開催**

6月29日 川棚町役場にて、決起会「ふるさと納税 キックオフ集会」を開催しました。集会では、町長を筆頭に役場からの挨拶、情報提供、事業者紹介を行いました。
今年度のふるさと納税目標を１億円と設定し、そのための情報提供・ご協力をお願いしました。

**●商品開発・返礼品登録**

ふるさと納税に取り組んでいただいている町内事業者の返礼品開発・登録を支援しています。
（10月現在）4月から10月までの事業者数は36→57へ増加、登録返礼品数も395→573へ増加。
寄附額も昨年以上で推移しています。

**●町外へのPR活動**

イベント等での配布用にふるさと納税パンフレットを作成しました。

9月24日ヴィファーレン長崎のサンクスマッチに川棚町ブースを出店し、ふるさと納税の取組みをPRしました。ブースでは抽選会を実施し、2時間で900人の来場者にアピールすることができました。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://www.instagram.com/nobu_pixelgram

# 熊本県玉東町　越智　大史

**商品開発・販売**

## 基本情報

【年　齢】
32歳
【出身地】
奈良県生駒市
【転出元】
奈良県生駒市
【前　職】
イベント会社
【活動時期】
R3.4～

## 協力隊に応募したきっかけ

以前から協力隊に興味があり、前職を辞める事になったタイミングでやってみようかなと思い応募したのがきっかけです

## 今後の抱負・任期後の目標

任期後は玉東町で、就業もしくは起業が出来るように今年は目標を定めていきたいと思っています

## 活動内容

**●新商品開発**

玉東産の不知火、いちごを使ったアイスクリーム３種類（不知火ヨーグルトアイス、不知火チョコレートアイス、ゆうべにアイスクリーム）を新たに開発、販売をしました。

**●イベント出店**

毎週玉名駅にて36+3観光列車のおもてなし出店
熊本駅前やサクラマチでのイベント出店

**●ぷらっとぎょくとうの支援**

ぷらっとの業務、梱包や発送作業など。

## 連絡先

# 熊本県水上村　藍　介揚

**商品開発・販売**

## 基本情報

【年　齢】
３８歳
【出身地】
台湾　新北市　板橋区
【転出元】
日本　熊本県　熊本市
【前　職】
熊本県
海外展開コーディネータ
【活動時期】
Ｒ１.10～Ｒ4.10

## 協力隊に応募したきっかけ

２０１９年２月、台湾・基隆で開催された「県南・八代物産フェア」にて、初めて水上村産のお米と出会い、とても美味しく試食させて頂きました。約￥２０００／キロの高値で設定されたにも関わらず、ほぼ完売という素晴らしい結果でした。

この結果をどうにか続けたく、もっとたくさんの方々に水上村産食品を召し上がって頂きたい気持ちで、同年８月、水上村の地域おこし協力隊に応募致しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

広大の山地を持ち、生産できる食材と食品は山ほどあると確信しました。とりあえず、生産性が高く、採算性が良く、付加価値が付けやすい３～５項目のものを定めて行きたいです。時間をかけても、任期終了後も、村産商品を定番化へ最善を尽くして参ります。

任期後、もし定番化が見込まれましたら、起業して、増量生産をしながら、商品を一つずつ最適な販路へ導いて、販路拡大と共に、海外市場も視野に入れたいです。

## 活動内容

### ●試食や試飲販売などの販路開拓サポート

海外での「県南・八代物産フェアin台湾」でも、県内での「緑化くまもとフェア花畑広場」でも、出展の他社より高い売上を獲得し、一人も多くの来店者へ当村の特産品を知ってもらい、今からのコロナ緩和後の観光誘致にも繋げると思います。

### ●生産や製造工程の検証、商品開発の実行

自然栽培のタケノコ・加工品も、二次加工のシカニク・ソーセージも、自分の手で作ってみて、生産過程の理解を強化し、製造工程を検証するためでした。今後の販売や営業にはより紹介ができて、次回の商品化にはもっと適切な製造改善を提案できるように下積みをしております。

### ●既存の村産商品の販路開拓と新規営業

県内外の和洋飲食店、食品製造者、及び小売転売社へ満遍なく村産商品を紹介し、まず売れ筋の可能性を探って、多数の販路を確保します。販路開拓により最低の卸売数量を確定できましたら、村生産者にも相談しやすく、計画を組みやすいと思います。今後の新規営業の基盤になります。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（職場番号）０９６６-４４-０３１２　水上村役場地方創生推進課

# 宮崎県川南町　SOK SENG（ソク セイン）

**商品開発・販売**

## 基本情報

【年　齢】
34歳
【出身地】
カンボジア
【転出元】
兵庫県神戸市
【前　職】
パン屋
【活動時期】
R4.4～ R7.3
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

パン屋の開業を目指し、日々神戸できっかけを探していました。しかし、子育てと資金面の問題もあり、中々その一歩を踏み出せずにいた時に「川南町でパン屋開業を目指しませんか？」という１本のYouTubeを目にした事がきっかけとなり、協力隊への応募を決断。
必要とされる町で、自身の作ったおいしいパンを食べてもらいたい。その一心で川南を訪れました。

## 今後の抱負・任期後の目標

2023年の移動販売を目指し、現在作業場の確保へと動き始めています。任期後には、本格的にパン屋として自立・開業し、１人でも多くの方に自分の作ったパンを食べてもらい、知ってもらう活動へと繋げていきたいと思いながら、日々活動しています。

## 活動内容

**●パンの試作及び販売**

パン屋開業に向け川南の食材を活かしたパンの制作を行っています。令和4年7月17日には自治公民館で開催された産業文化祭に初めてのパン販売を行いました。商品は揚げパンやクリームパンなど計6種類のパンやクッキーを販売し、午前中で完売するほど大盛況でした。

**●ドーナツ教室の開催**

令和4年10月7日、19日の２日間川南小学校5年生を対象としたドーナツ教室を開催しました。小学生が育てたもち米を使ったドーナツ教室は協力隊として初めての試みでした。にぎやかな雰囲気で行われたドーナツ教室は子どもたちにとても好評でした。

**●ハンバーガーイベントへ向けバーガーの試作**

令和４年11月13日に川南町で開催されるハンバーガーイベント「ガブリびより」でかわみなみ地域おこし協力隊としてハンバーガーを販売する予定です。バンズも一から試作し、川南町の名産品のマグロカツを使ったハンバーガー試作しています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）k-chiikiokoshi@town.kawaminami.miyazaki.jp
（電話番号）0983-27-8002

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（協力隊ブログ：移住定住サイト内）https://life-kawaminami.jp
（インスタ：toron.baton）（FB：宮崎県川南町地域おこし協力隊）

# 鹿児島県肝付町　ユディカ エルギヤント

**商品開発・販売**

## 基本情報

【年　齢】
４１歳
【出身地】
インドネシア
【転出元】
宮崎県　都城市
【前　職】
エンジニア
【活動時期】
Ｒ３.４～Ｒ６.３
（２年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

肝付町でインドネシアの野菜またはハーブを有機栽培で挑戦をし、インドネシア飲食店開店と食品加工販売をしたいと考えています。又、肝付町在住のインドネシア労働者支援の取り組みをしたいと考えています。

## 今後の抱負・任期後の目標

※　有機野菜とハーブを利用して、インドネシアまたはアジアン料理飲食店を開店
※　外国人向けホストファミリーの取組み

## 活動内容

**●外国人の文化交流**

地域の小学校でインドネシアの文化紹介や肝付町在住のインドネシア人とのバドミントン交流の開催、日本語勉強会の実施、地域の観光地または特産品のアピールをSNSで発信

**●地域農業などの人手不足の解消**

※　地域の農家の方のご協力により栽培・販売ノウハウを見習い
※　インドネシア人実習生をサポート

**●インドネシア料理の開発**

自然栽培野菜やスパイスと特産物を利用したインドネシア料理や調味料を開発しています。
地域の方々にインドネシア料理の試食会を実施しました。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Facebook：Yudika Ergiyanto

YUDIKA_ERGIYANTO

# 05 地域コミュニティ活動

# 北海道岩見沢市　森末　愛美

**地域コミュニティ活動**

## 基本情報

【年　齢】
23歳
【出身地】
広島県三次市
【転出元】
北海道旭川市
【前　職】
学生
【活動時期】
R4.4～
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

学生時代からスキー競技をしており、大学卒業後も仕事をしながらスキーを全力で取り組みたいと考えていた。
知り合いから地域おこし協力隊の話を聞いて、中高美術の教員免許やスキー指導員の資格を活かして、地域のイベント企画に携わりながら、選手として活動を続けようと思って応募した。

## 今後の抱負・任期後の目標

一つの分野にとらわれず、色々な方をつなげる活動をしたい。自分がジョイント役になり、地域の魅力を地域外に発信したり、逆に地域の方にも地域の魅力を再発見してもらうような地域おこし活動を目指す。
また、自身の経験や知識を活かして、子どもたちを対象に、写生大会や工作教室を開催したい。

## 活動内容

**●市民グループ「ズリ山ハイキング」の立ち上げ**

万字炭山森林公園のズリ山を広く知ってもらおうと、ズリ山を登る市民グループの立ち上げに関わる。ズリ山とは、石炭採掘時に発生した捨石が積み上げられ山となったものであり、山頂に続く直線階段（775段）を上りながら四季折々の風景を望むことができる。

**●地域の情報発信**

地域おこし推進員のＳＮＳ（インスタグラム）を開設し、地域に住んでいるからこそ気付く魅力を発信している。

**●地域活動への参画**

田植えなどの農作業や町内会のゴミ拾いや会合への出席、地域のお祭りの手伝いや地域で開催されるイベントのサポート等、地域で行われる行事に参加しながら、いずれ自身が主催するイベントの構想を膨らませながら、地域住民と信頼関係を構築していく。

## 連絡先

メディア等の取材連絡先】
岩見沢市企画財政部企画室　TEL:0126-35-4834

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
■Instagram（@iwamizawa_life）
■Instagram（@iwamizawa_grashi）

# 北海道網走市　浦　雅人

**地域コミュニティ活動**

## 基本情報

【年　齢】
２３歳
【出身地】
神奈川県鎌倉市
【転出先】
北海道網走市
【前　職】
IT　人材派遣営業
【活動時期】
Ｒ３.５～Ｒ６.３
（２年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

以前までは東京で仕事をしていたが、地方で働きたいという意欲が強くなり網走に訪れたことがあったため応募した。リクナビでこの仕事を見つけ情報を収集した。

## 今後の抱負・任期後の目標

現在手掛けている流氷ラスクのパッケージリニューアルやふるさと納税、ゲストハウス、コワーキングスペースの4つの取り組みを商店街のお店とより強く結びつけること。また、イベントや新商品発売などやりたいことは多岐に及ぶ。

## 活動内容

**●活動内容　商品リニューアル**

商店街にあるパン屋さんで作られている「流氷ラスク」という商品の、パッケージリニューアル兼販路拡大を行っている。今まで長年愛されていたパッケージではあるが、幅広い年代の方がより手に取って頂きやすいパッケージに変え、パン屋さんでしか買えなかったラスクを空港やホテル、観光施設などにも置き、お土産としての価値を上げていきたい。

**●活動内容　ゲストハウス運営**

商店街にあるビルの使われていない一室を利用しゲストハウスの運営をしている。商店街の中にゲストハウスを作ることで滞在者が商店街に流れ、飲食店や地元のスーパーなどに行くきっかけになる。また下記のコワーキングスペースと合わせてワーケーションに繋げることができれば、本州の企業なども誘致できる。

**●活動内容　コワーキングスペース運営**

かつて時計屋さんであった商店街の空き店舗をリニューアルしてコワーキングスペースにした。この場所で人が集まり新たなものが生まれる空間にするために作った。どれも商店街の中で生まれて商店街の外に向けて作られているものになり、もっと広く市外道外をはじめ広く知っていただけるようになりたい。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Twitter：@abashiri_ura　Facebook：浦雅人@網走市地域おこし協力隊

# 北海道士別市　紙谷　拓

**地域コミュニティ活動**

## 基本情報

【年　齢】
２５歳
【出身地】
北海道富良野市
【転出元】
北海道札幌市
【前　職】
柔道整復師・鍼灸師
【活動時期】
Ｒ４.４～
（１年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

地方の人口減少が著しい中、野球を通じて選手の育成と地域が抱える課題を解決するために活動する士別サムライブレイズという球団の考え・姿勢に感銘を受けました。

そのような中、士別市が特色ある地域資源を活用して地域の活性化や交流人口の拡大を図ること目的として、地元球団「士別サムライブレイズ」の運営に関する支援活動を行う地域おこし協力隊を募集していたことから応募しました。

## 今後の抱負･任期後の目標

今シーズン、トレーナーとしては選手のコンディショニングやリハビリをメインにお仕事をさせていただきました。チームとしては、HFLの初代チャンピオンチームになることができましたが、終盤にかけて選手のパフォーマンスが落ちてしまったのが、トレーナとしての課題です。

来シーズンはシーズンを乗り切れるようなメニューを組み、選手がベストパフォーマンスを最後まで発揮できるようにしていきたいです。

## 活動内容

**●スポーツの振興及びスポーツを通じた交流人口拡大に向けた活動**

・朝日三望台シャンツェ（ジャンプ台）の整備
・朝日山村広場（グラウンド）の整備
・朝日プールのオープン準備
・各種ジャンプ大会の運営スタッフ

**●天塩岳などの観光資源を活用した観光客誘致に向けた活動**

・天塩岳登山道の橋掛け作業
・天塩岳登山道の橋上げ作業
・観光施設の雪下ろし作業

**●士別サムライブレイズの運営に関する支援活動**

・ホームゲームの運営
・チームスタッフ（トレーナー）として試合同行
・チームホームページやサポーターズクラブの運営
・イベント（感謝祭等）の企画立案

**●その他の活動**

・市内保育園の園庭整備
・市内小学生を対象とした野球指導

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）info@s-bets.jp　（電話番号）0165-28-2600

# 北海道石狩市　奥本 主計（おくもとかずえ）

**地域コミュニティ活動**

## 基本情報

【年　齢】
56歳
【出身地】
北海道札幌市
【転出元】
神奈川県川崎市
【前　職】
会社員
【活動時期】
Ｒ３．７～　（２年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

早期退職を機に出身地の札幌市に近く、家から海に沈む夕陽がきれいに見られる土地が見つかった厚田への移住を決断。

今までは会社中心の生活で地域コミュニティ活動には一切関わって来なかったのですが、退職後は地域に溶け込み、地域に役立つことをしたいと思い、地域おこし協力隊に応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

昨年は１年目でどんな活動をしたらいいのかもわからず、また、コロナで様々な地域行事が中止となり、ほとんど活動できなかったのですが、２年目の今年は夏に地域に人達が気軽に集まって話ができる「広場」を作ってみたり、東京で厚田をＰＲするイベントを開催したりしました。冬には豪雪を活かし、イグルー作り体験も実施してみたいと考えています。退任後は家庭菜園でもしながらのんびり生活しつつ、地域活動のお手伝いは積極的に行っていきたいと思っています。

## 活動内容

### ●あつた広場・もうらい広場

厚田には市街地に夜営業をしている飲食店がなく、大人のたまり場がないというのが課題のひとつ。

そこでお寺の境内を借りてイスとテーブルを用意し、食べ物と飲み物は持参して、青空のもと昔話や近況などを話しながら、盛り上がりました。

地域活性化のヒントもたくさん出てきました。

### ●愛宕マルシェ

東京港区の愛宕神社の例大祭に合わせて、愛宕マルシェ「第一回お国自慢市」北海道石狩市厚田編を開催しました。

写真・ポスター・動画を使って石狩/厚田の魅力を伝えると共に、旬の鮭・イクラを含めた特産品を使った料理を提供し、厚田をＰＲしてきました。

### ●地域振興団体の活動サポート

厚田には「移送」・「除雪」の２つの地域課題に取り組んでいるNPO法人あつたライフサポートの会があります。

今年は記録的な大雪だったので、「除雪」依頼件数も相当あり、一緒に活動をさせていただきました。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）a-chiikis@city.ishikari.Hokkaido.jp
（電話番号）0133-78-2012

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Facebook）http://ja-jp.facebook.com/ishikari.chiikiokoshi/

# 北海道上川町　田崎　充彩（タサキ　アツヤ）

**地域コミュニティ活動**

## 基本情報

【年　齢】
30歳
【出身地】
茨城県　桜川市
【転出元】
栃木県　宇都宮市
【前　職】
山小屋スタッフ（宿泊業）
【活動時期】
R3.12~
（１年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

長くシーズンワーカーとして夏は山小屋、冬は住み込みで各地を転々としながら仕事をするという生活を送っていた。協力隊になる前年、冬季に上川町で仕事をする機会があり、その際に地域の人や地域おこし協力隊の方と関わったことが、コミュニティに入るきっかけになった。これを機に移住し、地域おこし協力隊の活動を通して、自分の仕事を作ろうと考え、応募した。

## 今後の抱負･任期後の目標

自分のスキルで、地域の課題解決や、地域住民のためになることを仕事にして行きたいと考えている。プロデュース業やディレクション業を主体としながらも、コミュニティ形成の一環として現場での作業も仕事にしたいと考えている。具体的には、イベント企画・コーディーネートや、森づくりの活動、「コミュニティ大工」として空き家活用事業などを仕事にしたいと考えている。

## 活動内容

### ●イベント企画、プロデュース、写真撮影

「本と珈琲と〇〇」という名前で、マルシェのようなイベントを月に一度企画・運営している。上川町に限らず、道内各地で開催することで、ローカルの人間が地域間を移動し、新たな何かが生まれるきっかけになればと考えている。その他にも、アウトドアイベント、地域コミュニティ形成につながるようなイベントを企画・運営・サポートしている。また、カメラマンとしてサポートすることもあり。

### ●アウトドアコンテンツ創出、森づくり活動

アウトドアスポーツのようなアクティビティというよりは、キャンプのように、自然の中に入る、体感するということに重きを置いたコンテンツ創出、場づくりを行なっている。また、森づくり自体をコンテンツと捉え、上川町町有林の再利活用の取り組む一環として、林業の現場作業のサポートや、森の中での体験コンテンツ創出を行っている。今後は林業従事者の高齢化や人材不足の解決のためのコーディネートや、町有林を使ったプロダクト制作なども行う予定。

### ●空き家活用事業

今後、上川町は空き家の利活用が課題となる。DIYや大工業のスキルを活かし、現場で作業に携わりながら、過疎地の空き家の利活用自体がコミュニティ形成の手段になったり、施主（移住者など）がコミュニティに入る架け橋になるような、「コミュニティ大工」として活動予定。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
a.tasaki@kamikawork.jp　（上川町役場担当係）01658-2-4063

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Instagram：本と珈琲と〇〇（プロフィールより個人アカウントリンク有）

# 北海道鶴居村　片桐　修

**地域コミュニティ活動**

## 基本情報

【年　齢】
57歳
【出身地】
愛知県一宮市
【転出元】
東京都狛江市
【前　職】
広告会社
【活動時期】
R3.9～
（2年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

前職の広告会社を退職し、第二の人生を自然豊かな「ひがし北海道」で暮らし、今までの経験を生かして地方活性化に貢献したいと思い、地域おこし協力隊に応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

残りの任期で、さらに村の課題を見極め、課題解決に向けた取り組みを実施していきたいと思います。
任期後はその課題解決を担う活動をしていきたいと考えています。

## 活動内容

**●自転車によるまちおこし**

鶴居サイクルスポーツ振興会　事務局員として、
- サイクルイベント企画実施
- レンタル自転車事業立ち上げ　を実施。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（電話番号）0154-64-2100

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://twitter.com/tsurui_official　https://vrev-t.com/
https://famispo-up.com/　https://twitter.com/famispo_up

# 青森県弘前市　佐野　りさ

**地域コミュニティ活動**

## 基本情報

【年　齢】
50歳
【出身地】
青森県　弘前市
【転出元】
静岡県　伊東市
【前　職】
ペンション経営
【活動時期】
R元.7～ R4.6

## 協力隊に応募したきっかけ

20年間伊豆で家族とペンションを経営してきましたが、40代後半となり、私の出身地である弘前への移住を考えるようになりました。相馬地区で、現役協力隊員のお話を聞いた時にうなずける点が多数あり、現在取り組んでいることか活かせるのではないかと考えるようになりました。
そこで、相馬地区のりんご、星空、オニテナガエビなどの豊かな自然と地元の方々との繋がりを通して、生まれ故郷の地域活性化のお手伝いがしたいと強く感じるようになり応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

・キッチンカーの経営
前職で培ってきて無理なく始められるハワイアンフードを中心とした商品構成、また活動地区は農村地区でもあったので、農繁期の食卓の手助けとなれるよう、畑へのデリバリーも視野に入れています。
・女性専用シェアハウスの経営
活動を通じて見えてきた課題である、看護師を目指す学生は多いのに県外流出率はワースト1という現状を緩和できるよう、県外から来られた学生のサポートをできるようなシェアハウスの運営を行っていきたいです。

## 活動内容

**●地域の役に立つものづくり**

菓子製作技術向上のため洋菓子店への研修
相馬地区PRのための日めくりカレンダー製作
廃棄する材料を活用しての染め物製作

**●地域活動、情報発信**

食料品などの移動販売を行い高齢者の買い物支援
地元テレビ局のふるさと特派員として地域の情報発信
FM青森出演
総務省主催全国イベント出演

**●起業にむけて**

起業補助金を利用してキッチンカーを作製、コロナ禍でも受け入れられる新たな販路

女性専用のシェアハウス経営

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）hauoli.cafe0812@gmail.com
（電話番号）090-6808-2042

# 岩手県盛岡市　山代　森

地域コミュニティ活動

## 基本情報

【年　齢】
25歳
【出身地】
岩手県　宮古市
【転出元】
東京都　渋谷区
【前　職】
撮影スタジオ
【活動時期】
R２.10～
（２年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

高校から地元岩手を離れて生活をしてきました。地元に対しては、それまで何にも魅力が無いと思っていましたが、離れたことで、自分が地元のことを何も知らないだけだったのだと気が付き、いずれは岩手に戻って仕事がしたいと考えるようになりました。

前職を退職し、次の行先に悩んでいたところ、築100年以上の古民家で、暮らしながら仕事ができると紹介を受け、「いつか叶えたい地元での仕事」をこのタイミングで実現できれば、と応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

150世帯ほどの小さな集落だからこそ、人との関わりを大切に、この地で続いてきた仕事や、芸能、暮らしぶりを少しでも受け継いでいけたらと考えています。2年後、3年間撮りためた大ケ生集落の写真を、写真展として発表する予定です。退任後、何を生業に生活していくのか、まだ模索中ですが、継承している郷土芸能や、地域の方との関わりを任期中だけで終わらせることなく、継続して地域の暮らしぶりを次の世代へ伝えていける、そんな活動ができたらと考えています。

## 活動内容

### ●大ケ生暮らしの維持活動

活動拠点の大ケ生地域は、牛、りんご、米、きゅうりなどの飼育、栽培が盛んな地域です。何か一つに絞るのではなく、地域の様々な農家さんへ作業のお手伝いへ行っています。移り行く季節と共に、お手伝いに通う場所も変わり、同時にこの土地ならではの様々な暮らし方を先輩方から教わっています。

### ●大ケ生暮らしの記録活動

写真が好きなこともあり、農作業の合間、そこで知り合った方や、郷土料理、季節の土地の景色を写真で記録しています。同市、協力隊の仲間と共に、フリーペーパーを発行したり、地元の情報誌へ連載をさせてもらったりと、地域の方から外の方まで幅広く、ここでの暮らしを記録・発信しています。

### ●大ケ生暮らしの模索活動

今お手伝いに通っている、農家の道を自分も進むのか？新たに仕事を創るのか？チェーンソー講座や機織りの教室に通ったり、地元で採取できる木の樹皮を使って工芸品製作に取り組んだり…。暮らしている古民家では不定期でイベントも開催しながら、地域で生活していくための術を模索しています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】

（メールアドレス）nosei@city.morioka.iwate.jp
（電話番号）019-613-8458

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Instagram　@koalakamado （こあらかまど）

# 岩手県遠野市　只松 靖浩

**地域コミュニティ活動**

## 基本情報

【年　齢】
45歳
【出身地】
福岡県　福岡市
【転出元】
埼玉県　川越市
【前　職】
イベント企画
【活動時期】
R2.10～
（3年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

埼玉県三芳町の文化会館にてイベント企画の仕事に就いていたが、新型コロナウイルスの影響で仕事のあり方を模索している所に、地域おこし協力隊の存在を知り、興味を持ったことが応募のきっかけ。遠野市の地域おこし協力隊を選んだのは、与えられるミッションだけでなく、その他にも色々と挑戦させてもらえること、またその裁量をある程度私に任せていただける懐の広さに魅力を感じたからである。

## 今後の抱負・任期後の目標

今までに培った経験や人脈を活かしたイベント開催を通じ、地域の方だけでなく、その近隣のエリアの方と一緒に楽しい時間を過ごし、私や関係者とだけでなく、参加者同士が繋がってネットワークを広げられる場や時間を今後も届けていきたい。その他、現在遠野市で暮らす園児や小学生たちに向けて、遠野市を舞台にした絵本を作り、彼らの故郷となる遠野の自然や文化の豊かさを、伝えることができたらと考えている。

## 活動内容

**●ねこぜでキネマ映画上映会**

地域の方々と一緒に映画を楽しめる上映会を季節ごとに１回開催している。上映する作品はみんなで一緒に感動したり笑ったりできる名作「幸せの黄色いハンカチ」「学校」などを選定。上映会は自身で「ねこぜでキネマ」と称して主催している。

**●ドイツから学ぶ手製本ワークショップ**

こども本の森遠野と連携した企画。紙と針、糸を使って参加者に手製本の魅力を伝えている。講師には私の友人であり、現在ドイツベルリンで製本家として活動している小関佐季氏をオンラインで迎え、遠野とドイツを結びながら手製本をレクチャーし、また仕事場であるスタジオを参加者にガイドする「知って作って旅するワークショップ」を開催した。

**●生涯学習講座　朗読に触れる**

遠野市教育文化振興財団と連携した企画。講師に現在東京で朗読教室を開催している岡安圭子氏をオンラインで招き、宮沢賢治の「やまなし」などをテキストに選定。作品を参加者がリレー形式で朗読することで、朗読に触れるだけでなく、参加者同士でチームとなって交流を深めていただいた。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（電話番号）0198-62-2111

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Facebook）

# 岩手県岩手町　上村　光治

**地域コミュニティ活動**

## 基本情報

【年　齢】
50歳
【出身地】
埼玉県　加須市
【転出元】
東京都　目黒区
【前　職】
起業家支援
【活動時期】
R４.９～
（１年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

2年ほど前から、岩手町が取り組む「SDGs未来都市共創プロジェクト」の活動に参加しておりました。その後もワークショップの講師をさせていただいたりと何度も町を訪問し、自然豊かな素晴らしい環境に触れ、町民の皆さんや関係者の方々が真剣にまた楽しみながらまちづくりに取り組まれている様子を拝見するうちに、私もその一員として共に岩手町の未来作りに参加したいとの気持ちが強くなり、協力隊に応募させていただきました。

## 今後の抱負・任期後の目標

まずは多くの住民の方々と対話の機会を持ち、一日も早く町民の仲間入りをしたいと思います。その上で皆さんの感じる岩手町の社会課題と地域の良さをヒアリングさせていただきます。長く住んでいる方にとっては当たり前のことでも、他の地域の方から見るととても魅力的なことが多くあるものです。それらを外部に発信することで町のファンを増やしていきます。活動を通じて関わる全ての方との出会いを大切にし、任期後も岩手町と他地域をつなぐ架け橋としての役割を担っていきたいと考えています。

## 活動内容

**●地域課題解決チーム**

岩手町の様々な社会課題を発掘し、その解決に取り組む「地域課題解決チーム」を組成します。課題解決への活動は地域住民（学生や若者、知見をお持ちのお年寄り、子育て中の女性、子どもたち等幅広い層）を中心に、町外の方々も巻き込んだイベントとして、多角的な視点で実施します。

**●関係人口･交流人口の拡大**

岩手町の課題解決活動には、町外の方々にも積極的に関わっていただきます。共に活動し、町の魅力に触れることで、岩手町を第二の故郷とする方を増やします。また他の自治体で同様の活動をしている団体や企業、学校とも連携をとることにより、情報交換だけでなく交流活動を促進します。

**●シビックプライドの醸成**

課題解決活動には地域資本（人的資本・物理的資本・社会関係資本）を最大限に活用し、参加者が自分の町を改めて見直すことで、町の魅力を再確認することが可能です。特に次代を担う小中高校生の皆さんには、若者の視点で見た岩手町の魅力の発信を期待しており、最大限応援したいと思います。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）kamimura@white-box.org
（電話番号）0195-62-2111（内線218・219）
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Facebook）https://www.facebook.com/Ateam.Iwate/
（twitter）　@Ateam_Iwate

# 岩手県岩手町　老松　弘行

**地域コミュニティ活動**

## 基本情報

【年　齢】
49歳
【出身地】
富山県　砺波市
【転出元】
埼玉県　和光市
【前　職】
カメラマン
【活動時期】
R２.10～
（３年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

仕事で岩手県をはじめとする東北地方へ訪れることが多く、そのたびに東北地方特有の古くから残る生活や文化、芸術に魅了され、もっと深く知りたいと思うようになりました。次第に東北地方に移住したいと考え始め、意を決して東京有楽町にあるふるさと回帰支援センターを尋ねました。そこで岩手町地域おこし協力隊「しごとクリエイター」の募集を知り、以前からの目標であります写真スタジオを岩手町で開業したいと考え応募しました。また、自分が魅了された東北地方特有の生活、文化、芸術などを自分の写真作品として残していきたいことも応募理由であります。

## 今後の抱負・任期後の目標

任期後の目標は、岩手町に写真スタジオを開業することです。そこで一般のお客様用の家族記念写真、事業者様の広告用商品撮影などを行い、不定期ではありますが写真に関します講座やワークショップなども開催したいと考えております。その目標のために今後は写真スタジオの整備を本格的に行っていきます。写真が好きな人、学びたい人が気軽に立ち寄り、雑談などができるようなオープンな空間にしたいです。

## 活動内容

**●IWATEMACHI写真講座**

7月に写真の楽しさを知ってもらうことを目的とした写真講座(全３回)を開催しました。受講生はカメラまかせのフルオートではなく、自分でカメラを操作しカメラに撮らされているのではない「自分の写真」を撮ることを目指しました。受講生は初心者の方が多く、優しくシンプルに伝えることに苦労しましたが、無事に講座を終えることができました。(10月に第2回目開催予定)

**●岩手町写真素材収集(共有)**

役場関係者の方が中心となってしまいますが、自身が撮影した岩手町の写真を、いつでも自由に使用してもらう目的でGoogleフォトにて写真共有を行っております。自身この活動を始めてから岩手町の豊かな自然や伝統ある祭りなどを体感し、町に対しての愛着が湧きました。今後は、岩手町のもっと深い部分を掘り下げ撮影していきたいと意欲に満ちております。

※写真使用例(広報いわてまち11月号「モビリタコート」)

**●岩手町事業者様の商品写真撮影**

岩手町には、家具職人、工芸作家などが素晴らしい作品を作っています。それらを写真として納めたいと思い、始めました。普通に定常光で撮るのではなく、大型ストロボ使用した光による演出も加え、どう撮ればそのもの自体が魅力的な写真になるかを研究しています。また撮影した写真を本人にプレゼントすることで、コミニケーションをとる良いきっかけ作りとなっております。

※写真(岩手町家具工房 T-factory 地産材使用ベンチ)

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（ホームページ）https://oimatu.hp.peraichi.com/iwatemachi.lvc

# 宮城県石巻市　米倉　眞喜子

**地域コミュニティ活動**

## 基本情報

【年　齢】
46歳
【出身地】
東京都
【転出元】
東京都品川区
【前　職】
首都圏私立大学
学生相談室カウンセラー他
【活動時期】
R4.7～
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

これまで臨床心理士として、主に個を支える活動に従事する中でいかに個人が精神的に孤立した状況の中で生活をしていて、それがメンタルヘルスに非常に大きく影響していることを痛感し、徐々に個を支えるコミュニティに興味を持ち始めました。またコロナ禍で自分自身の生き方、今何をすべきかを再考する機会もあり、『いつか』住みたいと思っていた場所：宮城県で、やってみたいと思っていたコミュニティづくりに関わることを『今』やろう！と考え始めました。そのタイミングで現在携わっている地域おこし協力隊のプロジェクトを見つけ、応募に至りました。

## 今後の抱負・任期後の目標

地域住民の方が繋がりを感じられる居場所作りとメンタルヘルスに関わる活動が何らかの形で繋げられないか、模索してみたいと考えております。コミュニケーションスキルとしてのアサーション講座や日常に役立つ心理学講座の企画・開催にも力を入れていき、任期後の自身の活動の柱となるようなプログラム構築にも取り組んでいきたいです。個人的には農にも関心があり、将来的に半農半X的な生き方にも挑戦できたらと思っております。

## 活動内容

**【活動目標：地域共生社会を目指して～居場所・交流の場づくり】**

**●居場所づくり：放課後学習スペースの運営**

インターン期間中に実施した住民インタビューでの『事業所周辺に集会所など子供達が集まれる場所がない』という声に基づき、事業所内の一部スペースを放課後学習スペースとして子供たちに開放する取り組みを始めました。現在1ヶ月にのべ50人程度、主に小学生が自主的に宿題に取り組んだり、ゲームなどで遊ぶ場として利用しています。

**●地域住民との協働：地域イベントの開催**

子供の遊び場づくりなどで活躍されている住民の方と地域への想いで繋がり、イベントの共同企画・開催に至りました。子供達の仮装パレード、バンドライブ、住民参加のフリーライブ。大人も子どもも笑顔いっぱいで盛り上がり、街のチカラと希望を参加者と共に感じたひとときでした。今後も地域の活力となるような交流の機会を住民の方と共に創っていきたいと思います。

**●交流の場づくり：ヨガクラスの開催**

地域の大人向け交流の場づくりの一つとして、また心身の健康サポートの一つとしてリラックスヨガのクラスを月に1回の頻度で始めました。
『自分に還る時間』としてご利用いただいています。

## 連絡先

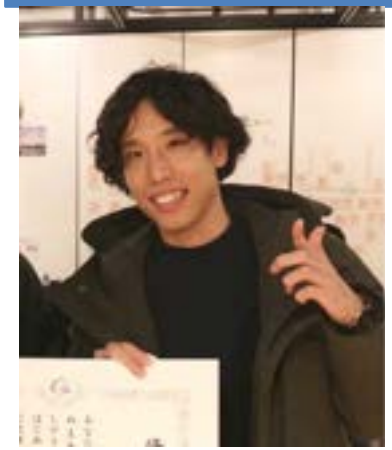
【メディア等の取材連絡先】一般社団法人　りぷらす
（メールアドレス）info@link-replus.com　（電話番号）0225-98-8957

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
ブログ：https://replus.hatenablog.jp
Facebook：https://www.facebook.com/ri.link.plus/
instagram：https://www.instagram.com/ri.link.plus/

# 宮城県気仙沼市　渡辺　修司（わたなべ　しゅうじ）

地域コミュニティ活動

## 基本情報



【年　齢】
31歳
【出身地】
千葉県成田市
【転出元】
千葉県成田市
【前　職】
立教大学 コミュニティ福祉学部 東日本大震災復興支援推進室
【活動時期】
2020年5月～（3年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

ボランティアとして何度も足を運ぶ中で、気仙沼市で信頼できる人達が沢山出来たことがきっかけ。このまちのポジティブな部分もネガティブな部分も両方を知ってまちづくりに関わりたいと思ったから。一番は自分が好きなダンスを通して市内の人材育成に貢献したいと思い、気仙沼まち大学運営協議会のビジョンに強く共感したから。

## 今後の抱負・任期後の目標

任期後には起業して、ダンスインストラクターを生業にして生活していくこと。気仙沼市でダンスを通して、心身ともに健やかに生活できるこども達が増えることを目指している。気仙沼市という地域によりフィットした形で事業形態を検討している。

## 活動内容

**●気仙沼まち大学運営協議会 □shipの運営**

会員制コワーキングスペース □ship(スクエアシップ)を拠点に、学びの場の提供、対話・協働・協創が生まれていくような場づくりを実践。新しいチャレンジやイノベーションが次々と生まれてしていく市民が主役のまちづくりを実現するために活動している。

**●スタジオでのダンス指導**

気仙沼市をはじめ、岩手県一関市、大船渡市のダンススタジオにてインストラクターとして勤務。小学生～高校生まで指導している。気仙沼市だけでなく近隣地域とも連携を進めて、ダンスの魅力を広げていきたいと考えている。

**●高校の授業にてダンス指導**

市内の高校にて非常勤講師として勤務。教育活動として豊かな表現力を身に着くことを目的としてダンスの授業を担当している。ダンステクニックを覚えるだけでなく振付けを創作する時間をつくり、生徒ひとりひとりの主体性も大切に授業を行っている。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）https://www.instagram.com/shinku_info/?hl=ja

# 秋田県能代市　檜森　隆太

**地域コミュニティ活動**

## 基本情報

【年　齢】
36歳
【出身地】
宮城県　柴田町
【転出元】
宮城県　柴田町
【前　職】
サービス業
【活動時期】
R3.10～
(2年目)

## 協力隊に応募したきっかけ

父が能代市の南の三種町、母が能代市の北の八峰町出身で、子どもの頃は毎年能代市に遊びに来ていました。台風とコロナで職を点々としていた時に能代市で協力隊の募集があることを知り、多少なりとも縁のある土地で地域おこしに協力したいと思って応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

配属された梅内地区は、冷泉や蕎麦などの広く知られていない特産品、名産品が多数あります。高齢化が進み情報発信がうまくできていないので、梅内地区の魅力をどんどん発信していきたいです。
任期後は蕎麦打ちを生業にできたらと思います。

## 活動内容

**●梅内駒踊りのYouTubeライブ配信、zoom対談**

2022年8月13日にコロナにより３年ぶりに開催された「梅内駒踊り」をYouTubeのライブ配信で発信した。また、踊り終了後に、踊り手と転出してしまったかつての踊り手とをzoomミーティングを使ってリアルタイムで繋ぎ、対談してもらった。

**●蕎麦打ち体験会開催**

梅内地区の特産品である「田ノ源そば」の蕎麦打ち体験会を企画・開催した。その後地域住民主体で開催した蕎麦打ち体験会に講師側で参加した。

**●宝の森林プロジェクト活動参加**

梅内で活動している「宝の森林（やま）プロジェクト」の山仕事に参加し、薪の出荷や集落林の管理を手伝っている。また、同団体で女性陣が活動している「山菜倶楽部」にも参加し、山仕事の副産物である山菜類の採集・出荷も手伝っている。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）morihi@me.com

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Facebook https://www.facebook.com/umenai.syuraku

# 秋田県大潟村　明平　冬美

**地域コミュニティ活動**

## 基本情報

【年　齢】
32歳
【出身地】
秋田県秋田市
【転出元】
秋田県秋田市
【前　職】
自営業
【活動時期】
R3.10～
(2年目)

## 協力隊に応募したきっかけ

子どもの誕生をきっかけに、食の安全や環境について意識するようになりました。そんな時、夫が消滅可能性都市を免れた大潟村に魅力を感じ、移住を提案してくれたことがきっかけです。当初は村内で飲食店を経営することを考えていました。大潟村を知れば知るほど、自然環境の意識の高さや居住区がコンパクトで美しいまち、住人との距離の近さなどそのポテンシャルの高さにひかれていきました。村の一員になるためにはまず、自分自身が村に貢献したいと考え、地域おこし協力隊の応募を決めました。

## 今後の抱負・任期後の目標

今年度は農業体験や市民農園のほか、農繁期の農家へのランチBOX提供、カフェの開催に向け活動しています。大きな活動としては、生態系公園で「カタマルシェ」と題して、農家、飲食店、商店などの参加による、オーガニックでサスティナブルな暮らしを発信し、交流を拡大、情報共有するためのイベントを計画しています。また、県立大学と連携し、学生による村歩きマップの作成など、積極的な活動を予定しています。

## 活動内容

**●地域のイベントへの参加**

安心安全な農作物を使用した商品開発や飲食店での活動による活性化、より良い子育て環境の確保に向けた活動を目指しています。着任後、まずは地域を知り、輪を広げるためにも様々な団体の企画するイベントや多数の活動に参加、これまでの経験を活かし、自らも発案、多彩な活動を展開しています。

**●カタマルシェ開催（来場者数3200人）**

令和4年6月にカタマルシェを開催しました。「地球の未来を考え、やさしいモノづくりをする人たちを応援したい」をコンセプトに、有機栽培や特別栽培に力を入れ、心身ともに健康な生活を送れる大潟村から、安心安全な農産物を顔を合わせ販売・購入してもらいたいという思いからスタートしました。

**●カタマルシェアート編開催（来場者数3489人）**

令和４年10月にカタマルシェ第2回目を開催しました。アート編と題し、オーガニック志向のみならず、子育てとそのコミュニティに注目し、親子や友だちとのふれあいの場、想像力・判断力・社会性を自然と身につけられるような、芸術を用いて自由に遊べるフィールドを提供するために開催しました。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス） g-kikaku@vill.ogata.akita.jp（電話番号）0185-45-2111

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（カタマルシェホームページ）https://katamarche.studio.site/

# 山形県酒田市　土田　克利

**地域コミュニティ活動**

## 基本情報

【年　齢】
45歳
【出身地】
山形県　酒田市
【転出元】
大阪府　大阪市
【前　職】
飲食業
【活動時期】
R3.7～（2年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

地元を離れて約20年間、大阪で調理の仕事をしていました。大阪での多忙な生活の中、休日は山や森などの緑に囲まれたところへ足を運び過ごすことが多かったです。
コロナ禍のあおりを受けて仕事を辞めることとなり、これからのことを考えていた時、酒田市のホームページで地域おこし協力隊募集の情報を発見し、地元である酒田でなら自然に寄り添った生活をしながら、これまでの食に関わる経験や知識を活かせるのではないかと思い応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

ありがたいことに沢山の方から声をかけていただき、調理講師や料理の勉強など多くの経験をさせてもらいました。
これからも引き続き、食を通して多くの方と交流しながら地域の盛り上がりに貢献できるような活動をしていきたいと思います。
また、フードロスや食文化の伝承・保存といった事にも挑戦していきたいと思います。

## 活動内容

### ●内郷地区親子料理教室/100歳体操

内郷地区の年間行事である『内郷地区親子料理教室』で講師となり、台湾カステラを教えたところ、大盛況でした。
この料理教室がきっかけで、内郷地区の『100歳体操』で毎月1回茶菓子を提供することとなりました。地域の方とお茶会をしながら、地元食材やその調理方法、郷土料理などについて教えて頂ける絶好な機会となっており、今後の事業につながるヒントとなっております。

### ●おとこかれーくらぶ講師

社会福祉協議会松山支部様から調理講師のお誘いがあり、令和3年10月から毎月、『おとこかれーくらぶ』の講師をしています。最近は参加者の皆さまの料理スキルが上がってきており、少し難しい料理にも挑戦しています。このことを、地域おこし協力隊通信『つちstagram』で発信したところ、活動の知名度が上がり、松山地域内外から講師のお誘いや、料理提供の依頼を受けることが増えています。

### ●出店『ツチダノヤタイ』

『夏祭り＆まつみね灯篭流し』へのお誘いを受け、テイクアウト屋台『ツチダノヤタイ』を出店しました。暑い中準備も大変でしたが、周りの方々のサポートもあり、無事完売できました。 また、夏祭りが好評だったため、松山地域イベント『秋まつり』出店へのお誘いを受けており、内郷地域で採れた栗を活用したお菓子を考案中です。今後も地元食材を活かしながら、地域の方々と交流していければと思います。

## 連絡先

**【メディア等の取材連絡先】**
酒田市内郷コミュニティセンター
（メールアドレス）uchikomi@tuba.ocn.ne.jp
（電話番号）0234-62-2933

**【活動の様子の発信】**
（酒田市HP掲載）つちstagram
https://www.city.sakata.lg.jp/kurashi/chiikiokoshi/mchiki030415.html

# 茨城県結城市　早川 修平

**地域コミュニティ活動**

## 基本情報

【年齢】30歳

【活動時期】 R3.4 ～

【出身地】 栃木県上三川町

【転出元】 東京都渋谷区

【前職】 大学職員

【活動概要】

・ソーシャル系大学「結城マチナカ大学」の設立及び運営
・地域イベントの企画運営

## 協力隊に応募したきっかけ

結城市の地域づくりに尽力している「結いプロジェクト」と出会い、この街のヒト・モノ・コトの資源に大きな魅力を感じ、地域おこし協力隊に応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

結城市初となるソーシャル系大学「結城マチナカ大学」を設立し、市民の皆様が楽しんで学べる活動の場を提供していきたいと考えています。

## 活動内容

**●「結城マチナカ大学」の運営**

年齢や職業に関係なく市民が互いに学びあえる場「結城マチナカ大学」を新設・運営し、暮らしと遊びをもっと楽しむためのコミュニティ形成に取り組んでいます。現在、サウナ学科、座禅学科、リノベ学科、英語学科などが活動中。

**●フォトスポットマップの作製**

市オリジナル婚姻届と連携し、結城市へ婚姻届を提出したすべての方への特典として、結城紬着心地体験利用券とフォトスポットマップをプレゼント。ユネスコ無形文化遺産にも登録された最高級の絹織物「結城紬」が映えるスポットをマップにしました。

**●街なか音楽祭「結いのおと」**

街なか音楽祭「結いのおと」の実行委員としてライブ・マルシェの運営を行いました。街なかにある酒蔵やお寺、古民家などがライブステージになり、日常とは違った結城の姿を体感できるサーキット型の音楽フェスで、市内外より多くのお客さんで賑わいました。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】

# 茨城県茨城町　尾﨑　知弥

**地域コミュニティ活動**

## 基本情報

【年　齢】
26歳
【出身地】
兵庫県西宮市
【転出元】
大阪府大阪市
【前　職】
人材派遣会社の営業
【活動時期】
R2.5～
(3年目)

## 協力隊に応募したきっかけ

前職を退職後、学生時代より志望していた、子ども・若者の居場所支援の分野に絞り、転職活動を行っていたところ、茨城町が地域おこし協力隊として、同分野の求人募集をしていたのがきっかけ。

## 今後の抱負・任期後の目標

子ども達との関わりについては、これまでと同様に「主体性をもって自由に過ごせる雰囲気」を維持しながら、残りの期間でも起こるであろう気づきや成長の機会に、共に向き合う。
また、それを促せられるようなイベントを複数回計画する。
任期後については、すでに行っている近隣自治体での同様の活動を本格化させる。

## 活動内容

**●コミュニティスペース「Koco·de」の運営**

茨城町のコミュニティスペースとして子ども・若者・地域住民が交流しつながりをつくることを目的とした地域の憩いの場。家庭でも学校・職場でもない居場所でゆるやかに寄り添いながら主体性をもって自由に過ごすことができる。

**●地域住民による交流の場「Koco·deサロン」**

地域住民を対象にした継続的な集まりを行うことで利用者の裾野を広げ、Koco·deの利活用向上を図る。主に手芸などを行う中で、徐々に子ども・若者との接点を増やしコミュニティの醸成を図る。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）tomoya_o@town.ibaraki.lg.jp（電話番号）029-291-8802

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Facebook）https://www.facebook.com/townibaraki/
（LINE）@066yezu

# 栃木県真岡市　渡部　真子

**地域コミュニティ活動**

## 基本情報

【年　齢】
23歳
【出身地】
千葉県　船橋市
【転出元】
千葉県　船橋市
【前　職】
ペットショップ店員
【活動時期】
R４.４～
（１年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

人と話すことと動物が好きで、ペットショップ店員として働いてきました。仕事をしている中で、動物と触れ合える場所がもっとまちにあればいいのにという相談を受けているうちに、自然と、まちづくりにも関われたらと考えるようになりました。

ちょうどそんな時、真岡まちづくりプロジェクトで、学生と地域の大人たちがまちを楽しくする取り組みを行っているのを見て、私もその一員になりたいと思いました。特に、ドッグランの社会実験では、私の経験を活かすことができると思い、地域おこし協力隊に応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

ドッグトレーナーとしての経験を活かして、犬と飼い主が仲良く暮らせるまちを実現できるように、取り組んでいきたいです。

## 活動内容

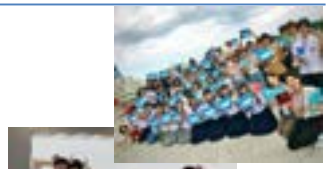
### ●まちあるき×クリーン作戦

令和4年5月21日(土)まちあるき×クリーン作戦を企画し、32名の参加者と市観光協会のボランティアガイド「もおか観光コンシェルジュ」と共に、真岡の歴史を楽しみながらごみ拾いをするイベントを行い、ゴミ袋6袋分のゴミが集まりました。

### ●真岡まちづくりプロジェクト

高校生・大学生、大人たちで、市内のもったいない公共空間の活用を考えて実行するプロジェクトに参加しています。

また、真岡まちづくりプロジェクトはグッドデザイン賞2022、令和4年度地域づくり表彰を受賞しました。



### ●広報もおか10月号表紙、正しい犬の飼い方特集

「正しい犬の飼い方強調月間」にあわせて、広報もおか10月号に特集記事として、犬と飼い主が仲良く暮らせるまちの実現を目指して、PRさせていただきました。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】真岡市プロジェクト推進課
（メールアドレス）project@city.moka.lg.jp（電話番号）0285-83-8059

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
真岡市地域おこし協力隊
Instagram　mokacity_chiikiokoshi
Facebook　mokashi.chiikiokoshi

Instagram　Facebook

# 栃木県下野市　鈴木　祐磨

**地域コミュニティ活動**

## 基本情報

【年　齢】
27歳
【出身地】
宮城県　仙台市
【転出元】
千葉県　四街道市
【前　職】
こどものプログラミング教室スタッフ、コーチ
【活動時期】
R２.７～
（３年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

栃木に住む友人の紹介から興味を持ったことが最初の入り口でした。決め手は2つです。1つは業務内容に惹かれたことです。ソーシャル系大学設立には以前より興味がありました。
もう一つは下野市のヒトです。最初に訪問した際にお話させていただいた地域のプレイヤーの方々の熱量と本気度、そしてよそ者を歓迎してくれる風土を感じ、応募を決めました。

## 今後の抱負・任期後の目標

ソーシャル系大学「シモツケ大学」で、企画＆実施のサイクルをたくさん積むこと。コロナ禍で思うように活動できない部分もありましたが、たくさんの方にサポートしていただきながら、地域の方々とつながりをつくることができました。
一人ひとりに寄り添った活動をしていければと思っています。

## 活動内容

**●しもつけしき　石橋縁側2021夏**

下野市では「新型コロナウイルス感染症への対応と「地域の賑わい創出」を目的に、JR石橋駅西口にあるグリム通り沿いにオープンテラスを設置する「しもつけしき 石橋縁側」を秋と春に実施しました。

**●シモツケ大学**

「シモツケ大学」は栃木県下野市で初となるソーシャル系大学です。
ソーシャル系大学とは、学校教育法の定める大学ではありません。
地域の中に学びの場を創り出し、学びを通して地域社会と関わるコミュニティです。

**●『にぎわい広場実験室(通称：にぎラボ)』**

2021年4月にOPENした石橋にぎわい広場を活用し、自分たちの手でまちを面白くしていこうという活動。実験的に様々な活動を行うことで、広場のあり方や可能性を模索中。
写真はニュースポーツ「モルック」の体験会の様子。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）sougouseisaku@city.shimotsuke.lg.jp（下野市総合政策課）
（電話番号）0285-32-8886　（下野市総合政策課）

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】
http://mobile.twitter.com/shimotsukesuzu

# 群馬県沼田市　高津　修

**地域コミュニティ活動**

## 基本情報

【年　齢】
５６歳
【出身地】
東京都
【転出元】
東京都大田区
【前　職】
大工、システム構築
【活動時期】
R1.11～
(3年目)

## 協力隊に応募したきっかけ

バスツアーがきっかけで、移住する8年前から毎年訪れていました。沼田市の景観やふれあう人々に魅了され、移住を考えていたところに、協力隊の募集があり、決断しました。移住だけでなく地域貢献できるという希望も叶えられました。

## 今後の抱負・任期後の目標

全国各地で地域の衰退が起こっていますが、当地域の活性化も容易なことではありません。自分の培ってきた経験、知識を活かして若い世代の方々ともこの地域で生活できる環境作りを目指します。
任期後は沼田に定住し、自分のスキルを活用してオンライン完結できるプログラム開発・販売の事業を実施予定。雇用の創出と、ビジネスモデルを知ってもらうことで、これから社会人となる若い方に、沼田での起業を勧めたい。

## 活動内容

**●棚田オーナーイベント**

活動団体(薄根地域ふるさと創生推進協議会)でのメイン事業である棚田オーナー制度でのイベント。
耕作放棄地を再生し、都会からオーナーを募っている。
田植え、観察会、稲刈り、収穫祭と年4回のイベントを実施。年々参加者が増え、総勢100名近い参加。
主に広報とカスタマー対応を担当。

**●ホタル再生活動**

環境保全の一環でホタルの再生事業を実施している。
令和元年の開始翌年よりホタルが増え始め、令和4年は延べ400名近い鑑賞者が訪れた。
主に広報とカスタマー対応を担当。
画像は自身が撮影したもので、新聞やその他メディアにも使用された。

**●つなぐ棚田遺産　認定**

着任当初から構想を練っていた「つなぐ棚田遺産」に令和4年3月、認定された。
主に書類作成と申請を担当。
画像は自身がドローン撮影したもので、新聞やその他メディアにも使用された。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（MAIL contact@usunefurusato.com）（電話番号）TEL080-7445-0734
(職場・その他(薄根地域ふるさと創生推進協議会))
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
WEB https://usunefurusato.com/
Insta https://www.instagram.com/usunefurusato/
FB https://www.facebook.com/usunefurusato/
Twitter https://twitter.com/usunefurusato

# 群馬県片品村　大曲　史恵

**地域コミュニティ活動**

## 基本情報

【年　齢】
45歳
【出身地】
福島県福島市
【転出元】
千葉県流山市
【前　職】
介護職
【活動時期】
R4.4～
（１年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

地元福島では湿った雪が降りますが、冬の片品村はパウダースノーが降ると聞いて、数年前の冬に初めて訪問しました。パウダースノーや雪山の美しさだけでなく、自然が豊かで、夏は涼しく、野菜や水が美味しいことに惚れ込み、何度も訪れるようになりました。いつか移住して農業を学びたいなあと夢見る中、片品村地域おこし協力隊の募集に出会い、片品村での実生活を体験するまたとない機会と思い応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

前職の介護職での経験を片品村での介護予防や高齢者がいつまでも働ける環境作りに活かしたいと思い、高齢者の方から農業を教わりながら、何かしらの援助ができれば、高齢者の介護予防にも寄与することができるのではないか、さらには高齢者の就労継続支援事業や福祉農園の立ち上げなど、高齢者の居場所作りをしたいと考えています。

また夏のクーラーの要らない快適な環境を利用したワーケーション基地やコワーキングスペースなど、村に雇用や働く世代を呼び込む事業も展開できたら素敵です。

## 活動内容

**●地域包括での介護予防事業の運営**

地域包括支援センターでは介護予防体操教室やコミュニティカフェ、介護予防サポーター養成講座などを開催しています。また社会福祉協議会が行う移動販売や地域交流サロンを手伝いながら、地域の困り事や要望などをヒヤリングし、新たな介護予防事業を展開する。

**●高齢者の農業継続を支援**

高齢者の農作業を手伝いながら、教えてもらうという相互扶助関係を築く。また独居高齢者の安否確認や見守り、話し相手も兼ね、一人で農業を継続するコツや雪深い山間地域で生活の知恵を伝授してもらうとこで、生きがいややりがいを見つけてもらう。

**●大規模農業の研修**

片品村は冷涼な気候を利用した初夏から秋にかけて大根やトウモロコシ、トマトの栽培が盛んです。首都圏に出荷する農家での農業研修。特に大根は「おはよう百万」と言われるほどかつて稼いでいたと言われ、その生産、出荷におけるノウハウを学ぶ。

**●観光資源の体験と発信**

片品村は春から秋まで四季折々に変化する尾瀬や武尊山、白根山でのトレッキングや高地でのキャンピング。冬はウインタースポーツが楽しめるので、実際に体験し、その活用を探り魅力を発信する。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
〒378-0415　群馬県利根郡片品村大字鎌田3967-3
片品村役場　むらづくり観光課
（メールアドレス）omagari-f@vill.katashina.lg.jp
（電話番号）0278-58-2112

# 埼玉県小川町　梅原　学

**地域コミュニティ活動**

## 基本情報

【年　齢】
34歳
【出身地】
埼玉県草加市
【転出元】
埼玉県草加市
【前　職（在籍中）】
観光業、コンサルティング業
【活動時期】
R4.10～

## 協力隊に応募したきっかけ

2022 年 5 月 22 日に「株式会社おいでなせえ様」と自身が所属している「VOL バイシクルプラスワン株式会社」との共同のイベントを実施し、イベントを通じて何度も小川町に通いたい、そして地域の方と繋がりたいと強く思いました。
そして、おいでなせえ様の方々の地元に対する郷土愛や小川町を良くしていきたいという想いに強く感銘を受け、小川町の魅力を発信するメンバーの一員となりたいと思い、地域おこし協力隊への応募を決意致しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

小川町の有機農業や楮という全国に誇れる農業資源を、生産者と一緒になり体験コンテンツとして開発・販売することで、【小川町で働きながら、心身共にリフレッシュ】できるような空間を旧上野台中学校のワーキングスペースで作りたいと考えています。体験コンテンツの開発、教育旅行向けのコンテンツ開発、地域内外の方が楽しめるようなイベントなど次世代にも小川町に興味関心を持ってもらえるような仕事をしたいです。
また、任期終了後は、任期中に培ったノウハウを活かし、地域内外の人が「農」や「体験」等を通じての交流、地域の魅力を五感で体感し、魅力発信する場を作りたいと考えています。前述の「農」の体験コンテンツ化、サイクリング×地域資源の体験を組み合わせたコンテンツなどを作り、継続的な来訪を生み出す仕組みを作ることで、小川町のファンを作っていきたいと考えています。

## 活動内容

**●旧上野台中学校を拠点としたサイクリングイベントの開催**

- 小川町の近隣にある東秩父村、ときがわ町、鳩山町、嵐山町、滑川町などを中心とした比企郡ネットワークを活かしたサイクリングイベントの開催（サイクルロゲイニング、スタンプラリーなど）
- 子ども向け自転車教室の開催

**●旧上野台中学校を拠点とした交流イベント・ツアーの開催**

- 地域住民向け交流イベントの開催（農業イベント、マルシェなど）
- 地域内外の団体・企業と連携をしたツアーの実施（農業＆調理体験ツアーなど）

**●個人・団体向けの教育研修パッケージの開発・実施**

- 農業や自然体験と社会人の基礎能力を養う研修の開発（団体向け）
- 様々なフィールドで活躍ができる場おこしのプランナー/イベンターの育成研修の開発
- 外郭団体と連携した人材研修会の開催

## 連絡先

# 千葉県銚子市　ロイターマン　絵美

**地域コミュニティ活動**

## 基本情報

【年　齢】
40歳
【出身地】
千葉県銚子市
【転出元】
東京都北区
【前　職】
日本語教師
【活動時期】
R2.11　～
（３年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

大学を卒業後、日本語教師になるという夢をかなえるため台湾に渡り15年間外国人としての生活を経験。日本語教師として現場で経験を積み、その後は本社で部門ディレクターも務めた。その後出産を機に同企業のパートに転身したが、これまでの経験を無駄にしたくなかった。そんな中コロナが猛威を振るい、子育ては家族がいる日本、安心できる環境でしたいと思うようになり帰国。海外経験を活かせる仕事はないかと探していたところ、協力隊（多文化共生）の存在を知り応募。

## 今後の抱負・任期後の目標

「外国人にとっても住みやすい地域づくり」「銚子と台湾の懸け橋に」「銚子の良きに異国スパイスを！」をモットーに活動していきたい。

## 活動内容

**●コミュニケーション支援**

・行政情報の多言語化（ハザードマップ）
・日本語を母語としない市民向け
「銚子市役所てつづきガイドブック」を作成
・情報提供流通ルートの確保（多文化共生の地域づくり）
・日本語及び日本社会に関する学習支援

**●生活支援**

・小・中学校外国人児童 面談協力・通訳
・労働環境
（市役所、ハローワーク等施設にて通訳、
申請書類の作成等をサポート）

**●多文化共生の地域づくり**

・国際交流イベント開催
・地域社会に対する意識啓発

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】
・銚子市地域おこし協力隊FBアカウント
https://www.facebook.com/profile.php?id=100064107460200
・World Travel in Choshi　インスタグラムアカウント
https://www.instagram.com/worldtravel_in_choshi/

# 東京都八丈町　新井　誠人

地域コミュニティ活動

## 基本情報

【年　齢】
31歳
【出身地】
群馬県高崎市
【転出元】
群馬県高崎市
【前　職】
施設管理
【活動時期】
R2.12～
（2年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

廃校活用というパワーワードに興味を持ったのがきっかけ。海なし県でしか生活したことがなかったので、島の暮らしを実際に経験してみたいと考えたのも理由の一つ。
　全く足を踏み入れたことのない地域で自分が何を出来るのか挑戦してみたい気持ちと自分の経験を踏まえて何か力になれることがあるのではないかと考えて応募した。

## 今後の抱負・任期後の目標

自分自身の学び、経験をもっと増やし、地域の方と一緒に地域に合ったコトを実現していきたい。
また、廃校を滞在できる施設として活用できるように、様々な連携を強化し、地域の方はもちろん、島内外の多くの人に足を運んでもらう施設にしたい。
任期後は、地域おこし協力隊での活動を軸に、任期後も地域に残って活動を続けていきたい。

## 活動内容

**●地域コミュニティ活動**

老人会会員であるため、老人会定例会をはじめ、老人会主催のゲートボール大会などの活動に参加して地域住民との交流を深めている。

**●廃校活用に向けた住民説明会**

2013年3月に閉校となった小学校の利活用に取り組んでいる。地域の方にとって思い入れがある施設なので地域住民の声に耳を傾けつつも、町と調整しながら企画を進めている。

**●学びを深める研修への参加**

地域外の研修へ参加することで、まずは自分で学び、地域に合ったコト・モノに取り組める体制を作る。出会った人を通じて、八丈島を知ってもらうきっかけを作る。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）ha130@town.hachijo.tokyo.jp　（八丈町企画財政課）
（電話番号）04996-2-1120　（八丈町企画財政課）

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（facebook）https://www.facebook.com/8okoshi

# 新潟県柏崎市　山田　華緒李

**地域コミュニティ活動**

## 基本情報

【年　齢】
27歳
【出身地】
新潟県上越市
【転出元】
東京都中野区
【前　職】
学生支援団体職員
【活動時期】
R2.9～
（3年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

学生時代、中国の少数民族の文化を専門に学び、文化が薄れゆく中国の村づくりを手伝いたいと思っていましたが、日本の農村にも共通の課題を感じ、地域づくりを手伝うために何かできないかと考えていました。
地域づくりに関わる仕事を探していた際に地域おこし協力隊という制度があることを知り、インターネットで情報収集を行っていたところ、現在の活動地域である矢田の募集を発見。地域の思いに共感し応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

今後の抱負は、退任まであと1年を切った中で地域の皆さん自身の中に「この地域への愛着」をたくさん育てることです。地域の魅力を再認識した地域の皆さんが、今度は住民発信で何かアクションを起こすことができたら嬉しいです。
また、任期後の目標は現在の地域との関わりを続けながら、これまでの経験を活かした地域づくり活動やそのサポート活動を様々な地域で行っていきたいと考えています。

## 活動内容

**●旧商店を活用した集いの場づくり**

かつて商店として使われていた建物を活用し、地域行事やサークル活動を支援したり、様々な教室を開催したり、地域の人たちが集う場を作るための活動に取り組んでいます。
令和4年11月には、「矢田マルシェ」も開催。地域外の人たちとの交流を生み出しています。

**●亮布（リャンプー）を使った祭り衣装プロジェクト**

学生時代に学んだ中国民族の伝統的な布である「亮布」を使い、地域の祭り衣装を作成しました。作成に関しては、布を染めるところから始め、裁断・縫製まで地域の多くの人たちに関わってもらうことで、伝統あるお祭りを未来へ残したいという祈りの気持ちを込めています。

**●活動地域のPR**

様々な魅力がある地域のことを多くの人に知ってもらうため、市内・県内で行われる様々なイベントにも積極的に参加し、PR活動を行っています。
また、地域の人たちにこそ魅力を再発見してもらいたいと考え、自分が見つけた地域の魅力を全戸配布のお便りなどで発信しています。

## 連絡先

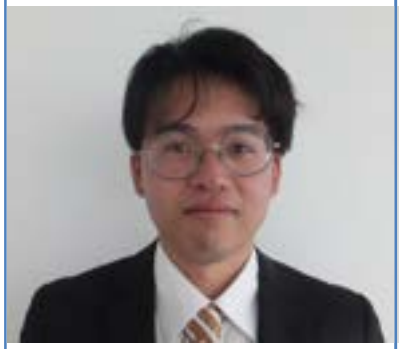
【メディア等の取材連絡先】
柏崎市市民活動支援課　活動推進係
（メールアドレス）shien@kashiwazaki.lg.jp　（電話番号）0257-43-9127

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://m.fecebook.com/kashiwazaki.kyoryokutai/

# 新潟県新発田市　早川　諒

**地域コミュニティ活動**

## 基本情報



【年　齢】
29歳
【出身地】
群馬県太田市
【転出元】
新潟県新潟市
【前　職】
システムエンジニア
【活動時期】
R4.2～
(1年目)

## 協力隊に応募したきっかけ

前職のシステムエンジニアでは、日々パソコンでの仕事であったため、自然や人と触れ合いながら働きたく、地域おこし協力隊を選んだ。その中でも、新発田市は山も海もあり、歴史もある町だったので、応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

任期後にも同じような仕事ができるよう、飲食や動画作成等、幅広く活動をし、自分の方向性を見極めていきたい。そのためにも、参考となる協力隊の先輩や地域の方と協力して活動をしていきたい。

## 活動内容

**●地域づくり支援センターの助成金対応**

地域づくり支援センター（中間支援組織）では、３つの助成金（地域活性化事業、新型コロナ支援、講師費用助成事業）があり、それを運用する。

**●地域のお悩み解決**

地域づけの地域おこし協力隊や集落支援員が駐在していない地域での要望や課題のヒアリングや、解決を実施する。

農福連携で田植えを行っている団体のイベントに参加している様子

**●地域おこし協力隊、地域づくり支援センターの情報発信**

SNSへの記事投稿や映像撮影、動画作成、地域づくり支援センターのHPの更新をし、活動内容やイベントの告知、魅力発信をする。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）machizukuri@city.shibata.lg.jp
（電話番号）0254-22-3030(内線1652)

【活動の様子を発信しているSNSログなど】
（地域づくり支援センターHP）　　協力隊Facebook

# 新潟県十日町市　小林　陽子

**地域コミュニティ活動**

## 基本情報

【年　齢】
36歳
【出身地】
新潟県新潟市
【転出元】
新潟県新潟市
【前　職】
調理職
【活動時期】
R1.11～
（3年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

前職で国内外・県内外にて調理の仕事をしており、さまざまな文化に触れるなか、日本の食文化や生まれ育った新潟の食の豊かさに改めて気づき、お米や野菜の生い立ちを直に知りたいと思いはじめました。四季のはっきりしている自然環境豊かな地域で、季節の移ろいと共にある農・食・暮らしを楽しみたいと思い、住んだことのない新潟県十日町市を志望しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

それぞれその土地のものや身近にあるものが身心の一番のご馳走であることを実感した3年間でした。自然のなかに身を置きながら、引き続き農・食・自然の恵みを生かした料理人の仕事をしながらこの地域で暮らしていこうと思います。

## 活動内容

### みんなの田んぼ・畑

地域の田畑にて、田植え・稲刈り・収穫したものをみんなで食す活動。
地域の資源で子どもから大人まで遊びます。
収穫したお米や野菜は、収穫祭にて地域のみなさんで食べたり、販売して活動費に充てたりします。

### 地域の素材で地域づくり

地域にある旬の野菜で餃子づくりや、新潟の郷土料理・笹団子作り、しめ縄づくりなどを、地域の食材や稲わらなどの素材で作ります。

### 釜川大地のお弁当「釜弁」

地域で余った野菜や出荷できない野菜を提供していただき、加工して地域にお返しするコミュニティ活動。これをきっかけに、食材の提供や、お弁当を取りに来れない人の分を、近隣の人が届けるなどの思いやりの輪が広がっています。
毎月1回、第3水曜日開催

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）t-kikaku@city.tokamachi.lg.jp
（電話番号）025-757-3693　（職場・その他（新潟県十日町市企画政策課））

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Instagram kuramata_nakasato

# 新潟県胎内市　森　麻衣子

**地域コミュニティ活動**

## 基本情報

【年　齢】
31歳
【出身地】
神奈川県相模原市
【転出元】
神奈川県相模原市
【前　職】
アルバイト
【活動時期】
R２.３～
（３年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

地元を離れ新しい環境で働きたいと思ったため。住居のサポートなどがあるため。協力隊の活動が楽しそうだと思ったため。

## 今後の抱負・任期後の目標

残りの任期が限られてきたが、限られた中でも集落内外の交流を生むイベントをどんどん開催していきたい。任期後も集落と中学生や地元若者グループとの繋がりが継続されていくようにできたら良い。任期後の住居や仕事は現在探しております。

## 活動内容

**●集落サロンの開催**

月に１回集落住民（主に高齢者女性）が集まるサロンを企画している。内容は地域の食材を使った料理作りや、育てているハーブを使った小物作りなど。集落内外の交流も取り入れている。

**●地域の人・モノを活かしたイベント企画**

・山間部に住む子どもたち向けのイベント
・赤ちゃんとママ向けのイベント
・ブラジル人移住者によるブラジル料理作り
・チューリップで染め物
・笑顔の高齢者写真コンテスト　等

**●パン作りサークルの主宰**

胎内市の食材・商品を使ったパン作りを楽しむサークルを立ち上げ。コロナ禍でなかなか開催できないが、毎回おいしいパン作りと胎内市に住む人々との交流を楽しんでいる。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（電話番号）0254-43-6111

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
胎内市地域おこし協力隊のインスタグラム（右）
フェイスブック（左）

# 新潟県津南町　長井　惇子

**地域コミュニティ活動**

## 基本情報

【年　齢】
25歳
【出身地】
埼玉県川越市
【転出元】
東京都板橋区
【前　職】
MD事業
【活動時期】
R4.7～
（2年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

前職を退職し、以前から田舎暮らしへのあこがれがあったこと、人の暮らしに密着し手助けになるような仕事がしたかったことが協力隊を検討することに繋がりました。仕事の内容だけを考えるのではなく、今後のライフスタイルという大きな枠で考えたことが大きなきっかけになりました。

## 今後の抱負・任期後の目標

移住者や関係人口を増やしていくことが目標です。
今住んでいる秋山郷、津南町が今後も快適に過ごせる場所であるよう、魅力の発信活動に力を入れ、町内外ともに津南町の魅力を認識していただけるよう尽力します。

## 活動内容

**●地域活動**

地域の方々のおうちにお邪魔し、お茶飲みをしています。交流を深め、土地の歴史や慣習、過去のお祭りの話や食事の話を聞くことで、単純な歴史の継承というだけでなく、今後の目標や活力にしてもらえたらと思っています。地域の草刈りにも参加し、共同作業を通して交流をしています。

**●農作業の手伝い、野菜作り**

津南町内、特に秋山郷ではほぼ全員が野菜やお米を作っています。手が足りなかったり、補助が必要な作業があったりする場合に、手伝う活動をしています。自分でも野菜作りをすることで、共通の話題が生まれ地域に入る、ということにつながっていると感じています。

**●移住ツアーの開催**

地域の存続には移住者の存在が不可欠なため、移住のきっかけになるよう、開催する予定です。また、地域住民にとっても「移住者の受け入れ」ということについて考えたり体感したりするきっかけになればと考えています。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://www.instagram.com/tsunanachi/

# 山梨県富士吉田市　上田　潤

**地域コミュニティ活動**

## 基本情報

【年　齢】
31歳
【出身地】
山梨県南アルプス市
【転出元】
東京都杉並区
【前　職】
会社員
【活動時期】
R2.10～
(3年目)

## 協力隊に応募したきっかけ

サラリーマンとして数字や成果を追う日々に違和感を感じていたときにコロナが発生。世の中にいろんな不安が蔓延し、生活に苦しむ人が多くでてきた状況のなかで、これからは暮らしに近い領域で、社会貢献に取り組みたいと考えるようになりました。そんなタイミングで、人のご縁に恵まれて、富士吉田市の地域おこし協力隊になりました。

## 今後の抱負・任期後の目標

「人のつながりで社会課題と向き合う」というコンセプトでソーシャル・ビジネスに多く取り組んでいきたいです。任期中に会社を設立し、共生社会の実現に向かって、福祉とまちづくりという領域で、富士吉田市を拠点に活動していきたいと考えています。

## 活動内容

**●高齢者生活支援活動〈じばサポ〉**

福祉制度だけではまかなえない高齢者の生活の困りごとを、有償ボランティアとして請け負う活動です。地域包括支援センターや市内の福祉関係者らと連携し、困りごとの解決を通して高齢者の孤立を解消し、地域全体でのケアの質向上に寄与したいと考えています。

**●高齢者の日常を発信するインスタマガジン〈しわじわ〉**

高齢者との日常を発信することで、自分のおじいちゃん・おばあちゃんや、地域の高齢者を身近に感じてもらいたいと考えています。今後の事業の展開として、紙媒体での出版や、展示会などを思案しています。

**●まちのサードプレイス事業〈ソーシャルハウス宝島〉**

共生社会の実現を目指した場作り事業です。主に社会的に孤立しやすい福祉対象者や、社会的マイノリティと呼ばれる方の居場所・活躍の場として機能することが目的。人のつながりをつくり、地域住民の互助を推進していきたいと考えています。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
facebook　:https://www.facebook.com/uedajun729
Twitter　:https://twitter.com/uejun729
Instagram　: https://www.instagram.com/siwa.jiwa

# 長野県諏訪市　塚西　文香

**地域コミュニティ活動**

## 基本情報

【年　齢】
39歳
【出身地】
東京都三鷹市
【転出元】
長野県諏訪市
【前　職】
総合スポーツクラブインストラクター
【活動時期】
R2.4～
（3年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

諏訪市には祖父母の家があり、幼少期からゆかりのある場所でした。その祖父母の家を拠点に、いままでの経験を活かし諏訪市を活性化するお手伝いが出来ないかと思い応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

任期後の起業を目標に、まずは諏訪を知り、すわっチャオを拠点に市民の方々との関係を深め、次に市民の方々が求めるものに沿った起業のありかたを模索していきたいと思っています。
現在、筋膜リリースの施術研修に行かせていただき、任期後に自宅で起業準備をしている最中です。

## 活動内容

**●メインミッション**
すわっチャオを活用した地域活性化創出のための取組（施設運用管理、SNS利用のプロモーション活動、地域関係者との連携による地域活性化創出活動等）

**●その他**
高齢者向け体操教室（月4回）
体操教室講師派遣
YouTube/Facebook発信
移住イベント参加など

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）ayaka-tsukanishi@city.suwa.lg.jp
（電話番号）0266-75-5257　駅前交流テラスすわっチャオ
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Facebook　＃諏訪市地域おこし協力隊、諏訪市公式YouTubeチャンネル内諏訪地域の魅力発信番組
「住んでみたら！すわっていいょ！いいら下諏訪！ちおこトーク！」

# 長野県塩尻市　岩佐　岳仙

地域コミュニティ活動

## 基本情報

【年　齢】
43歳
【出身地】
神奈川県横浜市
【転出元】
神奈川県横浜市
【前　職】
デザイン事務所経営
【活動時期】
R2.7～
（3年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

もともと長野県内で宿泊事業に取り組みながら横浜との２拠点生活を送っていました。新型コロナ流行による宿泊事業への影響を機に、より長野県の地域と関われる仕事や、今後のライフスタイルの見つめ直しで応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

任期後も塩尻を拠点に、自分自身も地域のプレイヤーとして研鑽しながら、地域の課題に取り組む人たちの助けとなりたいと考えています。また地域にとどまらない社会動向など大局を見る視点や気づきの機会もつくれるような役割も担っていきたいと考えています。特に高校生起業家の育成や気候変動、まちなかの活性化に関する活動をしていきたいと考えています。

## 活動内容

**●シビック・イノベーション拠点スナバ**

社会人向けと高校生向けの起業家育成プログラムなどをはじめ幅広い年代の起業家の伴走に努めています。またスナバのブランディングを見直し、より地域の課題やステークホルダーたちとの関わりを深めています。

**●エコモビリティ活用促進事業**

Eバイクの利用を中心に、奈良井宿や高ボッチ高原などの既存の観光資源の活用やこれまで観光資源とみなされていなかった史跡をイノベーションをテーマに価値の再発見をする取り組みをしています。

**●まちづくり地域活性化**

市の第六次総合計画策定に検討委員として参画しています。独自にもまちづくりに関するワークショップを企画し、プレイヤーの育成や地域での関心を高める活動をしています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）gakusen.i@sunaba.org　（電話番号）090-7224-7135

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（スナバHP）https://www.sunaba.org/
（個人Facebook）https://www.facebook.com/gakusen.iwasa/

# 長野県塩尻市　蓮沼　菜穂子

**地域コミュニティ活動**

## 基本情報

【年　齢】
40歳
【出身地】
愛知県知多市
【転出元】
愛知県知多市
【前　職】
美術作家の制作アシスタント
【活動時期】
R3.7～（2年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

日本仕事百貨に掲載されている求人情報を見て、地域の人の「やりたい」に寄り添いながら、自分の「やりたい」を始めることができるのではないか、と考え、メンバーやスタッフとのコミュニケーションの中で自分もやりたいことに向き合いながらこれからの人生で大切にしていきたいことを少しづつ始めていきたいと思い、応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

シビック・イノベーション拠点スナバの運営に携わりながら、本年度はアーティストを招聘したワークショップをスナバや塩尻市内で実施し、今後レジデンスを受け入れる際の地域とアーティストのタッチポイントとしてワークショップが機能するような体制を構築していきたいと考えています。そして、任期後の活動にも繋げていきたいと考えています。

## 活動内容

●シビック・イノベーション拠点スナバの運営

オープニング作業や内覧者対応など通常の施設運営やアクセラレータープログラムの開催などの起業家支援業務に加え、メンバー向けプログラムとしてアート関連のワークショップを開催。

●Workshop Terminal

複数の分野のアーティストと連携して企画するワークショップの実施。
地域課題として感じた芸術に触れる機会の少なさに対する打ち手として、表現することを通じて直に芸術文化に触れられるプログラムを企画し、地域の調査や学校や保育施設との連携体制の構築などにも注力し実施する。
塩尻市や近隣市町村の地域性や特色をワークショップに取り入れ、地域とアーティスト、参加者の有機的な繋がりを生み出せるようなテーマや素材を取り入れる。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）naoko.h@sunaba.org
（電話番号）090-4217-7513
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

# 長野県塩尻市　上田　直子

**地域コミュニティ活動**

## 基本情報

【年　齢】
50歳
【出身地】
兵庫県明石市
【転出元】
大阪府大阪市
【前　職】
会計事務所勤務
【活動時期】
R３.7～
（2年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

山に囲まれた自然豊かな場所に居を移して生活したい、社会貢献活動に関われるような働き方にシフトしたいという想いから地方移住に関心をもつようになり、長野県を中心に移住先を探していました。日本仕事百貨の募集記事を見て、先進的な関係人口創出の取り組みや、シビック・イノベーション拠点「スナバ」のような多様な人と出会えるコミュニティがある塩尻という町に興味をもち、応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

ポータルサイトの運営を通じて、地域内で活動するプレーヤーの情報を収集・発信するとともに、地域外の方々が塩尻と関わるきっかけとなる窓口の役割を果たすことで、地域と継続的に繋がる関係人口を増やしていきたいです。

任期終了後の具体的な活動についてはまだ未定ですが、着任して1年たち、人との繋がりもでき、地域への愛着も湧いてきています。引き続き、空き家活用やワインや農産物の振興など、地域活性に繋がる活動に関わっていきたいと思っています。

## 活動内容

### ●関係人口創出事業

副業などで関わる首都圏のプロ人材と協働して地域課題を解決する関係人口創出事業の企画・運営に携わっています。具体的には、地域課題の発掘とプログラムの企画・設計、関係人口コミュニティ「塩尻CxO Lab」の運営、副業人材の募集・採用とコーディネート、各種イベントや座談会の開催などを行っています。

### ●関係人口ポータルサイト「のりしお」の運営

noteの地方公共団体支援プログラム活用し、関係人口向けポータルサイトを立ち上げ、運営を行っています。市内外の誰でも参加できるイベントやプロジェクトの情報を、塩尻を「まなぶ」、塩尻に「かかわる」、塩尻で「はたらく」の3カテゴリーに分けて発信しています。

### ●空き家利活用プロジェクトへの参画

地域のNPO法人が主催する、塩尻市街地の空き家利活用のプロジェクトに参画中。片付けイベントなどを通じて、地域活動や空き家問題に関心がある首都圏の方々を呼び込み、継続的な関わりを創出する活動を行っています。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://shiojiri-city.note.jp/
https://twitter.com/norishiojiri

# 長野県塩尻市　嶌本 真澄

**地域コミュニティ活動**

## 基本情報

【年　齢】
30歳
【出身地】
山梨県山梨市
【転出元】
東京都荒川区
【前　職】
大手人材サービス
【活動時期】
R4.2～
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

塩尻に住む友人からシビック・イノベーション拠点「スナバ」での協力隊求人を紹介してもらい、スナバのビジョンや活動、スタッフの想いに魅かれて応募しました。
元々地方での仕事に就きたいと思っていた一方で、どの分野でどんな活動をするかが絞れていなかったため、様々なバックグラウンドや活動をされている方々と出会えるスナバに魅力を感じて応募に至りました。

## 今後の抱負・任期後の目標

任期後についてはまだ具体的な活動を決められていませんが、人とのつながりやまちでの生活など、塩尻での暮らしがとても気に入っています。
人生において大事にしている「人々の可能性を広げるサポートがしたい」という想いを軸に据え、まずは今の活動がより発展するように取り組みたいです。また、活動を通して任期後に自分がどうありたいか・何をしたいかを考えていきたいと思います。

## 活動内容

**●シビック・イノベーション拠点「スナバ」の運営**

スナバの利用者がシビック・イノベーションをより生み出しやすい環境を創出・維持するため、施設の運営、起業家などのメンバー（利用者）への伴走、イベントの立案・運営を行っています。メンバーの事業がより加速するためのプログラムの企画・運営なども実施しています。

**●「スナバ」の法人連携促進**

スナバが利用者だけでなくより広くまちとつながるため、塩尻市内を中心とした法人との連携を進めています。
具体的には、課題を持った法人に対しスナバが持つリソースを活用した連携を模索し、法人とやりとりをする中でプランの提案などを行っています。

**●地域企業の人事業務支援**

前職での経験を活かし、地域企業の人事にまつわる課題のサポートを行っています。塩尻市や周辺エリアの中小企業を中心にヒアリングを行い、課題の特定と解決策の提案、伴走支援を実施しています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）masumi.s@sunaba.org
（電話番号）　090-4134-1825

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://www.facebook.com/Masumi.Shimamoto/

# 静岡県浜松市　田代 起也

地域コミュニティ活動

## 基本情報

【年　齢】
32歳
【出身地】
静岡県 沼津市
【転出元】
静岡県 静岡市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R4.10～
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

春野町に移住を決めてから、地域の方と親睦を深めるにつれて、こんなに良い町なのに何故過疎化していってしまうのか、何か出来ないのだろうか？という気持ちになりました。

移住してからやりたいことと併せて、地域を発信して手助けできれば良いなと思い応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

地域住民の方々とコラボして、企画、実行、情報発信、雇用の創出までできればいいと考えています。
ゲストハウスの製作や生活観光の視点から10年後、20年後の地域の姿を想像して、地域が続いていくような活動をしていきたいです。

## 活動内容

**●地域取材**

写真と画像編集を駆使して、地域の産業から個人の活動や暮らしを発信。
まずは地域の名前を若い世代に向けて認知してもらうことを主体としている。

良いことだけではなく、町の問題点も調査してまとめていきたい。
また、地域の風景を撮りためて写真集としての展示も検討中。

**●軽トラを使って活動**

軽トラの荷台に天竜木材をつかった小屋を作製し、地元素材を使った料理の地域への提供やイベント出店を計画中。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）hr-kyodo@city.hamamatsu.shizuoka.jp(協働Cアドレス)
（電話番号）053-983-0001（協働C電話番号）

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Instagram　https://www.instagram.com/tas.lovesoulcoffee

# 静岡県浜松市　西田　紘人

**地域コミュニティ活動**

## 基本情報

【年　齢】
32歳
【出身地】
静岡県浜松市
【転出元】
東京都練馬区
【前　職】
フリーランス
【活動時期】
R4.4～
（２年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

大学進学をきっかけに地元を離れ10年ほど東京で過ごし、独立という夢を叶えました。
次に何をしたいか考えたときに、コロナや過疎化の影響を受けている地元に貢献したいという思いが募り応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

任期中は地域団体の活動や情報を発信し続けていきたいと思っています。
任期後は地域資源等を生かした事業を立ち上げ、雇用を創出していきたいと考えております。

## 活動内容

**●地域支援活動**

地域で人力を必要としている方の農作業支援や、地域団体が行うイベントの企画・広報紙編集の参画と運営支援。

**●不耕作地活用**

不耕作地をお借りして自分達で耕作し直し、地域の方と交流しながら農作物の栽培と生産物を活用した商品開発の取組み。

**●地域広報イベント出店**

各地で実施されているイベントへ出店し、地域の紹介や、地域特産品の販売の実施。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）is-kyodo@city.hamamatsu.shizuoka.jp
（電話番号）053-542-1112

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
・山里いきいき隊隊員共通ブログ　https://yamaikitai.hamazo.tv/
・Twitter(個人アカウント)　https://twitter.com/nishidafree

INASAYAMAIKI

# 三重県尾鷲市　日向　風花

**地域コミュニティ活動**

## 基本情報

【年　齢】
20歳
【出身地】
神奈川県　横浜市
【転出元】
神奈川県　横浜市
【前　職】
現役大学生
【活動時期】
R4.6~

## 協力隊に応募したきっかけ

自分を変えたい！世界一面白い人生を送りたい！と強く思う裏腹、大学一年生の時はオンライン授業で家に閉じ込められる日々。パソコンで大学行けるなら、いっそのこと自分から社会に飛び出そう！と、三重県尾鷲市の企業さんに住み込みインターンとして飛び込ませていただく。ここにいた方が誰かの役に立てるかもしれない。と、尾鷲に残ることを決意。その手段として地域おこし協力隊になった。

## 今後の抱負・任期後の目標

常に無我夢中になりやりたいことをやって生きる。自分の人生をとてつもなく面白い映画にすることが目標。だから協力隊で今やりたいことはきちんと形にしたい。だから任期が終わってしまったら、自分で尾鷲に残れる手段を考える。尾鷲で一区切りついたら、私はまた別のところで仕事をしたい。それは、日本の自然が大好きだから。もっと他の場所にも素晴らしい自然があるはず！大好きな場所をたくさん作りたいし、日向風花の功績を日本中に残したい。

## 活動内容

**●多世代の居場所　立ち上げ**

着任している尾鷲市向井地区に子供からじいじ、ばあばまでみんなが来られる場所を作ります！今はその立ち上げに奮闘しています。

**●おわせむかい農園さんお手伝い**

尾鷲市向井地区で新たにはじまった挑戦が、おわせむかい農園さんです。元々火力発電所関連の仕事をしていて、そこから新たに体験農園を始められました。体験農園にシフトするためのお手伝いをしています。

**●地元の学校でキャリア教育**

尾鷲市では、私のような存在が稀有らしく、中学生などに私のやっていることや尾鷲にきた経緯をお話しさせていただいております。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
尾鷲市政策調整課
（メールアドレス）hito@city.owase.lg.jp
（電話番号）0597-23-8116

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Facebook：https://www.facebook.com/fuka.hinata/

# 滋賀県長浜市　堀田　雅史

**地域コミュニティ活動**

## 基本情報

【年　齢】
36歳
【出身地】
群馬県東吾妻町
【転出元】
神奈川県横浜市
【前　職】
食品メーカー
【活動時期】
R4.3～
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

地方で利用されていない資源を有効活用し、新たなビジネスを創造したいと思ったため。
長浜市を選んだ理由は、この場所から東にも西にも行きやすく、将来ビジネスをする上で横の広がりがあり、ポテンシャルを秘めている地域だと思ったため。

## 今後の抱負・任期後の目標

【今後の抱負】
①多くの学生に地域を知ってもらう。
②学生だけでなく、企業さんにも参画してもらい、学生と企業がマッチング出来るような場を作りたい。
③今まで関わった学生が、就職しても地域に関わってもらえるように、何かしらのつながりを持つ。
【任期後の目標】
現在お借りしている空き家をリノベーションし、コミュニティスペースとして誰でも利用できるようにしたい。

## 活動内容

### ●空き家の調査

活動地区にある空き家情報を集め、出てきた空き家を利用出来る・出来ないを調査しています。
空き家情報を集めるため、情報発信や地区の活動などにも積極的に参加し、様々な方とコミュニケーションを取ることを意識しています。

### ●空き家の利活用方法の検討

利用できる空き家をどのように活用していくか検討しています。まずは私が住んでいる空き家をリノベーションし、大学生サークルや企業利用を想定しています。また、地域の方のコミュニティスペースとしての利用も進めていきたいと考えています。

### ●大学生との交流

都市部の大学生を地区に呼び込み、地域活性化を一緒に取り組んでいます。今年度は東京都の3大学、滋賀県の1大学が地区に来て、各々のワークショップ・フィールドワークを行っています。来年度はさらに多くの大学を呼び込み、大学の枠を超えたサークルを作りたいとも考えています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）katsuyaku@city.nagahama.lg.jp（長浜市市民活躍課）

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）アカウント名：tanemasa2022

# 京都府京丹後市　八隅　孝治

**地域コミュニティ活動**

## 基本情報

【年　齢】
36歳
【出身地】
京都府　京都市
【転出元】
京都府　京丹後市
【前　職】
公務員（消防士）
【活動時期】
R1.11.11～
（3年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

妻の実家が京丹後市にあり、京丹後市を知ったことがキッカケです。自然、食、人の素晴らしさに魅了されました。子どもが生まれた頃、「子育てをするなら丹後の自然の中で育てたい。」と思うようになり、移住を考えました。前職は消防士でしたが、休みを利用して頻繁に丹後を訪れていました。丹後の自然がとにかく大好きで、丹後で暮らせるなら、消防を辞めても惜しくはないと考えていたので、丹後のまちに貢献できる『協力隊』の仕事を知り、是非やりたい！と応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

ミッション開始から、観光や自然環境保護の活動を行ってきました。残る２年の任期では、現在行っているビーチクリーン活動の規模を拡大すること。また環境活動自体を観光、教育、研修として受け入れる体制を作っていきます。また行政と連携し、未来のこどもたちに丹後の自然環境を残していくため、最終処分場の体制についても検討していきます。また最終年度、任期後の展望は、全国から環境活動や、地域活性、フィールドワークで丹後を訪れる方が集まったり、宿泊できる場所を作っていきたいと考えています。都市と丹後がつながり、また様々な人が来る場所で、地元のこどもたちが刺激を受けるようなコミュニティスペースを作ろうと考えています。

## 活動内容

### ●Eバイクを活用した観光

丹後の大自然やまちなみ、人の雰囲気をダイレクトに感じることのできる手段としてEバイクのレンタサイクルを実施しています。Eバイクは配送・回収できるサービスを行っており、Eバイクを所有していない宿や駅であっても、丹後を訪れる方がレンタサイクルを利用できるように体制をつくりました。

### ●ビーチクリーン活動

自然が豊かな丹後も、年間を通じて大量の海ゴミが漂着します。今後、海ゴミは30年で2，3倍に増えることが予測されています。未来を生きるこどもたちに豊かな自然を残すため、定期的にビーチクリーンを実施しています。SNSで参加を呼びかけ、毎月50名以上が集まるイベントになっています。

### ●Precious Plastic

オランダで生まれたプラスチックリサイクルプロジェクトを行っています。目の前で体験しながらプラスチックのリサイクルやゴミについて学べる研修を作成し、現在、地元教育機関への講演や体験の提供をしており、また他府県からの企業や団体からの視察、研修を受け入れています。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（丹後エクスペリエンス）https://tango-exp.com
（Instagram）https://www.instagram.com/yoisho8

# 京都府京丹後市　足立 樹律

**地域コミュニティ活動**

## 基本情報

【年　齢】
30歳
【出身地】
京都府京都市
【転出元】
京都府京都市
【前　職】
会社員（ゲストハウス）
【活動時期】
R3.9～
（2年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

東京で働いていた時、心身ともに疲れきっていた時期にサウナに出会った。サウナに入ると日々の疲れがふき飛び、悩みを忘れることができる。この「サウナ体験」に魅力を感じ、多くの人に体験して欲しいと思うようになった。そうして、長野県のアウトドア施設に就職し、経験を積んだ後、京丹後市の地域おこし協力隊の募集があり、京丹後市にやってきた。

## 今後の抱負・任期後の目標

地方では少子高齢化・人口減少が進んでいるが、人口増加は難しくても交流人口の増加は可能だと考えている。サウナで市外から観光客を呼び込むことができるはず。サウナ小屋を作り、地域の方々と観光客が交わる場づくりに取り組みたい。昔ながらの銭湯のように何気ない会話を楽しみながら、心も温まる空間をイメージしている。また、観光客にはサウナだけでなく、地域の方々が作った野菜や果物を食べていただく機会を提供するなど、市内の食の魅力発信にもつなげていきたい。

## 活動内容

**テントサウナの無料体験会の実施**

京丹後市でサウナ事業を展開するにあたり、予想以上にアウトドアサウナの認知度が低いと感じ、無料テントサウナ体験会を開催し、アウトドアサウナの魅力の普及と周知に努めた。

**●食とサウナのイベントの実施**

キッチンカーでスパイスカレーの販売を行っている会社と京丹後市のキムチを作っている事業者とコラボしてスパイスカレーとサウナのイベントを実施。京阪神からの利用客もあり、交流の場に繋がった。

**●空き古民家を活用したサウナ施設**

空き家となっている古民家の一部を改築し本格フィンランド式サウナ施設が完成予定。
今後はこの施設を拠点に市内外に向けたイベントや地域の人に体験していただく取り組みを行い、観光客と地域が交流する場づくりに繋げたい。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）mineyama-shimin@city.kyotango.lg.jp
（電話番号）0772-69-0711
（職場）京丹後市役所　市長公室　峰山市民局
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://lit.link/musugokasauna

# 京都府京丹後市　平岡　紫保

**地域コミュニティ活動**

## 基本情報

【年　齢】
46歳
【出身地】
京都府京都市
【転出元】
京都府京都市
【前　職】
会社員（野菜の流通業）
【活動時期】
R3.9～
（2年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

都会から離れたところで暮らしていくことに興味を持ち、訪れた京丹後市に魅力を感じ移住を考えていたところ、移住支援団体を通じ地域おこし協力隊の募集について教えていただいたことがきっかけです。

## 今後の抱負・任期後の目標

地域の方々が楽しく集える町になるよう、自分に何ができるのか、じっくり考えていきたいと思います。今日まで建築と調理に従事してきましたので、今後は魅力ある場所に積極的に訪問し、スクラップ＆ビルドを繰り返しながら、より心地よい場所づくり模索し、任期後は民泊・食堂を始めたいと考えています。

## 活動内容

**●地域づくりの推進と地域の活性化**

地域コミュニティの再生を目的に、地域で開催されるイベントや地域活動等に積極的に参加することを通じ、地域づくりの推進や地域の活性化に取り組んでいる。

**●地域住民との交流**

任期終了後を見据え、任期中の「活動」「起業」の両立を目標に、地域の食材や伝統料理を深く知る事と、地域の方々との交流を深めることを重視した活動を行っている。

**●都市農村交流の推進**

現在、地域と大学生との交流活動にかかわっており、今後も積極的に地域と都市部を繋ぐことにより、都市から農村への交流人口を増やしていきたい。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）yasaka-shimin@city.kyotango.lg.jp
（電話番号）0772-69-0715
（職場）京丹後市役所　市長公室　弥栄市民局

# 大阪府能勢町　高江 直哉

地域コミュニティ活動

## 基本情報

【年　齢】
32歳
【出身地】
兵庫県尼崎市
【転出元】
兵庫県尼崎市
【前　職】
JICA隊員、高校教員
【活動時期】
R3.7～
(2年目)

## 協力隊に応募したきっかけ

JICA青年海外協力隊員時代、派遣先のブラジルで日系社会の抱える問題と日本の地方が抱える問題の類似性を感じたという経験から、帰国後は地方の課題解決に取り組みたいと思い、応募した。募集情報は知人を通じて収集。

## 今後の抱負・任期後の目標

連携先である町内団体「能勢なつかしさ推進協議会」とともに様々なイベントや企画を運営していくことで、地域コミュニティが移住者や地元の方、来訪者との間で強い関係性を構築できるようにしていきたい。その大きな柱となるのが「里山技塾」の運営であり、任期後もこの運営を担っていきたい。

## 活動内容

### ●里山技塾の運営

能勢なつかしさ推進協議会が母体となって運営している農業塾。里山の資源を副業にできる「ワザ」を身につけるという目的で、能勢の里山に関わるワザを講座化（講師は地元住民）していく。現在は通年講座「西田流栗接木剪定術」を運営。今後は道の駅との連携講座や山の管理に関する講座を実施予定。

### ●能勢なつかしさ推進協議会との連携

町内の農家、店舗や学校、行政などで構成された団体で、さまざまな地域課題に取り組む。先述の里山技塾だけでなく、町民参加型のイベントや直売所との連携を図った事業などを随時企画。この秋は直売所に自動栗むき機械を試験導入し、来客数の向上とハネ品の栗の活用をおこなった。

### ●町内の情報収集・聞き取り取材

里山技塾の受講生が卒業後に就農できるため、また援農の仕組みづくりのために町内の農家や店舗・職人の方々に聞き取りを行う。また、そういった町の情報を発信・アーカイブ化するためSNSや能勢町公式サイト「のせむすび」にて記事を随時投稿

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）seisaku@town.nose.lg.jp　（電話番号）072-734-3036

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
公式サイト「のせむすび」 https://nose-circulation.com
地域おこし協力隊アカウント　Facebook、インスタグラム(nose.chiikiokoshi)
里山技塾アカウント　Facebook、インスタグラム(satoyama_artcollege)

# 兵庫県洲本市　藤田　美沙子

**地域コミュニティ活動**

## 基本情報

【年　齢】
34歳
【出身地】
大阪府富田林市
【転出元】
大阪府大阪市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R4.5～
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

東京への転勤の話や結婚を気に地方移住を考え出し、淡路島での地域課題解決型インターンに参加。
淡路島の中で知り合った人々は、自分のやりたい事や夢を持ってイキイキと暮らしている方ばかりで、企画を通して人の役に立てる、様々な生き方や価値観を持つ方と積極的に交流し、自分自身をさらに成長させられると思い、協力隊に応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

3年間でたくさんの方と知り合い、知り合った方々と一緒に楽しく淡路島の地域活性化につながる仕事がしたい、シマトワークスのみなさんと企画の仕事がしたいと考えています。
もうひとつは、心や体に良い効果をもたらすハーブやアロマテラピーについてもっと知識を深め、自分で商品を作りたい。例えば、淡路島産のハーブを使ったお酒などを考えています。

## 活動内容

**●淡路島ゼロイチコンソーシアムの推進**

持続可能性の高い社会を目指す島外の企業が、洲本市で新たな事業を起こす支援をする産官学金連携の組織です。明るい未来を実現する事業を推進し、若者が地方で働くことに”憧れ”を抱くきっかけを作ることを目指して活動しています。

**●域学連携PBLプログラムの設計**

コンソーシアム参画企業と連携して、大学が地域でフィールドワークを行う際のPBL（課題解決型学習）プログラムの設計や実施を行っています。

**●古民家改修拠点作り**

生活や地域活動の拠点にするため、築50年の古い一軒家を契約しました。
まだまだ住める状況ではありませんが、少しずつ時間をかけて改修を進めています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）kikaku@city.sumoto.lg.jp

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（淡路島ゼロイチコンソーシアム）https://workation.life/

# 兵庫県洲本市　小林　力

**地域コミュニティ活動**

## 基本情報

【年　齢】
31歳
【出身地】
新潟県新潟市
【転出元】
東京都東村山市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R3.4～
（2年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

娘が生まれたことをきっかけに、地方移住を含め今後の暮らし方を見直す機会が多くなりました。また、「自分のやりたいこと」×「地域に求められていること」に目を向けた仕事で起業したいという想いがあり、起業の可能性の向上及びリスク軽減が図れること、協力隊の仕事を通じて地域に対する想いを醸成したいと考えたことから、協力隊に応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

「竹原空き家リノベーションプロジェクト」にて改修している地域交流拠点を始め、地域に“成果”を残したいと考えています。
また、地域と関わる人を増やす仕掛けを作っていくとともに、隊員が地域で自活し稼げるような事例を作っていきたいと考えています。

## 活動内容

**●集落内の空き家を活用した地域交流拠点の再生**

集落の集会所、簡易宿泊施設を備える拠点づくりとして「竹原空き家リノベーションプロジェクト」を発足し、地域の住民や大学の生徒たちと一緒に地道に古民家の改修を行い、集落内の空き家を活用した地域交流拠点の再生を行っています。

**●地図インフラ構築**

竹原集落内及び集落に至るまでの道路約1キロの360度写真の撮影を実施し、GPS情報の調整を行い集落内や観光農園内部のGoogleストリートビューを構築。現在インターネット上から竹原集落が閲覧可能になり、オンライン上の地図インフラを実現しました。

**●既存の生業の支援**

既存の施設紹介や観光情報を発信するWebメディアの構築、プロモーション活動、イベント企画として、竹原集落公式HPの拡充やSNS運用支援などを行っています。（飲食店、キャンプ場、観光農園）

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）kikaku@city.sumoto.lg.jp

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（洲本市千草竹原HP）https://tikusatakehara.com/
（竹原空き家リノベーションプロジェクト）
https://bankalanka.com/project/takehara-renovation/

# 兵庫県朝来市　崎山　祥

地域コミュニティ活動

## 基本情報

【年　齢】
26歳
【出身地】
兵庫県姫路市
【転出元】
兵庫県姫路市
【前　職】
会社員（デザイン）
【活動時期】
R3.4～
（2年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

先に朝来へ移住していた姉の影響もあり、朝来市の地域おこし協力隊に興味を持つ。大学でプロダクトデザインを専攻し、デザインのコンペティションで最優秀を受賞したことも。東京でのデザイン会社勤務を経て、地域おこし協力隊体験会に参加し、朝来市大蔵地域での活動に応募した。

若者の主体的な地域活動への参加を、デザインのチカラで引き出すというミッションを提案し、今までにない新たな取り組みを行っている。

## 今後の抱負・任期後の目標

地域の空き家を改修し若者が集える「ASAGORAKU(あさごらく)」の開設が最終目標。コワーキングスペースでもあり、ちょっとしたカフェでもあり、デザイン会社として起業した際の事務所機能も兼ねる施設を目指す。

品質はとても良いのに、あまり知られていないという地域の特産物や商品を、ブランディングやマーケティングで「売れる商品」にするような事業をしたい。都市部にすむ友人のデザイナーとも協力し、朝来市を拠点に展開していきたい。

## 活動内容

### ●若者を地域イベントに

地域の若手作家や農家と協力し「ひとときマルシェ」という連続イベントを企画した。また、所属する地域でのフリーマーケットも開催、フライヤーのデザインや出店者との調整を通じて、若者の地域参加に貢献した。地域イベントでのＤＪブース設置は、世代を超えて好評を博した。

大蔵フリーマーケット

### ●田舎をもっとかっこよく

都会よりも田舎にこそデザインのチカラが必要、という思いから、協力隊の募集ブースをトータルコーディネートする。また、ふるさと納税の返礼品となる市内企業の商品開発に企画の段階から参加、働く忙しい女性に向けた食器兼調理器具「Cosara」の完成に携わった。

JOIN移住協力隊フェア

### ●ほかの隊員とのコラボ

同じ大蔵地域で活動する北川隊員は年の離れた兄弟のような関係。北川隊員は、獣害として捕獲された鹿を食肉処理し、精肉として販売を行う活動に取組んでいるが、そのジビエ事業のブランディングを行った。隣接する養父市の協力隊員で、クラフトビールの醸造所開設を目指す活動にも参加する。

北川隊員の鹿肉ブランド

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】大蔵地域自治協議会
（メールアドレス）ookura186-3@asago-net.jp
（電話番号）079-672-5651

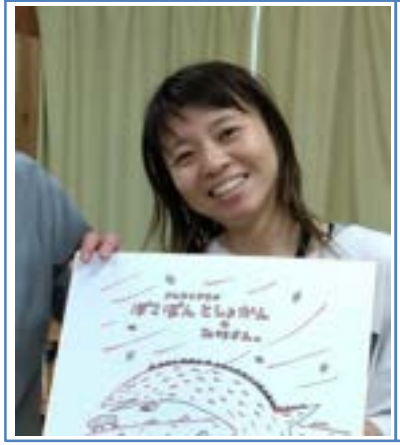
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://instagram.com/sho.sakiyama?igshid=YmMyMTA2M2Y=

SHO.SAKIYAMA

# 奈良県下北山村　奥田　深緒

地域コミュニティ活動

## 基本情報



【年　齢】
35歳
【出身地】
奈良県　香芝市
【転出元】
和歌山県　和歌山市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R4.3.1～
(1年目)

## 協力隊に応募したきっかけ

知人が地域おこし協力隊として活躍しており、応募する前から協力隊制度に興味があり、自分も地域で活躍できる人材になりたいと考えていた。
前職の小売業も地域密着型ではあるが、大衆向けの職業であるため、より身近な地域住民のためになる仕事にチャレンジしたいと思い応募。

## 今後の抱負・任期後の目標

NPO法人サポートきなりで実施している、有償運送の運転手としても活躍できるよう資格を取得。
今後も地域住民のためになるよう、様々な業務に携わっていきたい。

## 活動内容

**●野菜の栽培の手伝い**

下北山村で古くから自家野菜として栽培されてきた下北春まなや、村内の学校給食に提供している野菜の栽培の手伝い。
また、村民が育てた野菜を販売する地産地消の朝市にも携わっている。

**●図書館の活性化**

所属するＮＰＯ法人サポートきなりと、村内のボランティアで管理運営されている図書館の運営の手伝い。
前職では本の販売も取り扱っていたため、その知識を活かし来場者が増えるよう活性化に努めたい。

**●ハーブ(クロモジ)の研究**

村に自生しているハーブ(クロモジ)の研究をしており、今後その植物を使った蒸留水やお茶の販売やワークショップなどを開催したい。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス) soumu@vill.shimokitayama.lg.jp
(電話番号) 07468-6-0001

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

# 和歌山県高野町　宇奈手　侑子

**地域コミュニティ活動**

## 基本情報

【年　齢】
３３歳
【出身地】
奈良県　田原本町
【転出元】
奈良県　田原本町
【前　職】
書家
【活動時期】
Ｒ４.８～（１年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

赴任先の高野町杖ケ薮は、高野七不思議の一つです。ここには、様々な歴史文化風習がありました。しかし、過疎化が進み、畑をしに通うものだけで、誰も住む者がおらず、廃村寸前になっていました。

この区の区長とともに、何とか、この村をもう一度もりあげたいと思いました。

パートナーが笛吹きなので、ここなら、大きな音が出せ夜でも吹けるというのも要因です。

## 今後の抱負・任期後の目標

任期中の活動費は、実に助かりますが限りがあります。３年の間に、観光資源となりうる、村の霊場への里道や村の整備など、住人がいない場合は、自分でするしかありません。やる必要のある場を絞ってコツコツ整備し、この地が観光コースとなるようにしていきたいと思います。

任期後は、観光案内やちょっとした販売物などで、私の収入の一部を、村の存続の費用にあてたいと思います。

## 活動内容

### ●PR活動

任務地ゆかりの言葉や、印象を書作を通じアピールしていきます。

YouTubeで、音楽と杖ケ薮の風景の映像をUPすることも考えています。

### 里道の整備活動

里道の管轄は町にあるが、その管理は住民にあります。高齢化や、過疎化が進んだ地では、道は荒れ放題となるのは、必然である。少しでも、自分で整備していきたいです。

### 村の名所看板つくり

村には、数多く霊場があるが、住む人間が分かればいいという状況が進み、この社がなにか、この寺がなにかが、初めて来た人には分からないので、看板を書き設置していく予定です。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）tuegayabu.okoshi@gmail.com
（電話番号）0736-56-2939

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
facebook ・インスタグラム　杖ケ薮地域おこし

# 和歌山県高野町　津田　睦子

**地域コミュニティ活動**

## 基本情報

【年　齢】
62歳
【出身地】
大阪府豊中市
【転出元】
大阪府豊中市
【前　職】
グラフィックデザイナー
【活動時期】
R3.11～
(2年目)

## 協力隊に応募したきっかけ

兼ねてより関心のあった紙漉き事業に携わる活動という事が募集要項に挙がっていましたので、応募致しました。また、活動地域にはゆかりがあり、第二の故郷のような印象を持っていますので、その地に根をおろし、振興に役立つ事ができるなら、自分にとっても素晴らしい事だと思いました。

## 今後の抱負･任期後の目標

高野紙・細川紙を中心とした地域活性化を目指します。自身の紙漉き技術の向上はもとより、研究や実証実験などを重ねて、紙への理解を深め、その伝承に努めます。また、任期後も引き続き、当地域の紙漉き、及び文化・芸術に関わり、新しい価値観を持って世界を見据えた社会貢献ができればと存じます。

## 活動内容

**●花オクラと花オクラ染め**

紙漉きに必要なネリの原料であるトロロアオイの花は、これまで廃棄されていましたが、栄養価の高い食品でもあるので、無駄なく、地産品として活用することに取り組んでいます。また、美しい色の染料も取れ、「花オクラ染め」として発展するよう計画中です。

**●和紙あかり**

域内神社の祭りの広報を兼ね、和紙を小さな行燈に仕立てた「和紙あかり」イベントを行っています。参拝者に祈りと願いの言葉を書いて頂く催事です。和紙とのコラボで、地域に人を呼ぶ催しとなるよう活動しています。

**●ほそかわ通信**

紙漉きの歴史や、地域の特徴、トピック、おすすめスポットなどを、広く一般に伝える為の小冊子を季刊で発行しています。広報の役割と、地域の人々のコミュニケーションツールとしても役立っています。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
西細川活性化実行委員会公式Facebook
https://www.facebook.com/nishihosokawa

# 鳥取県鳥取市　山川　良子

**地域コミュニティ活動**

## 基本情報

【年　齢】
51歳
【出身地】
京都府京都市
【転出元】
東京都杉並区
【前　職】
業界新聞社・出版社社員等
【活動時期】
R２.２月～
（３年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

出版社に勤務していた頃、中山間地振興や地方創生に関する企画を担当し、興味を持っていた。退職を機にネット情報をもとに協力隊の募集情報を集めましたが、当時はほとんどのケースで年齢制限にひっかかり苦戦しました。着任した現在の場所の募集情報については知人に教えてもらいました。ラッキーだったと思います。

## 今後の抱負･任期後の目標

コロナということもあり、親しくなる機会としての会合やイベントなどが減る中、２年目３年目とやっとさまざまな方に意見をうかがうことができるようになってきました。
　これまで同様、地区のアイデンティティを大切にした活動を一緒にさせていただくとともに、任期後の生活においても、まずはそのスタンスを大切にしていきたいと考えています。

## 活動内容

**西郷工芸の郷　のお手伝い**

200 年近い歴史をもつ牛ノ戸焼、人間国宝のやなせ窯など、古くからの窯元を軸に「工芸の郷」をむらおこしの核として地域活性化をはかる西郷地区において、各種イベントなどのお手伝いをしています。写真は毎年秋に開催される西郷工芸祭りの様子です。

**いなば西郷むらづくり協議会のお手伝い**

いなば西郷むらづくり協議会では、曳田川の草刈りや掃除、水仙やヒガンバナの花植え、昔話の発掘、西郷の部落史の作成など、多くの事業を行い、地域のアイデンティティの再確認や景観美化に努めており、そのお手伝いをしています。写真はヒガンバナ植えの様子です。

**三滝まもり隊のお手伝い**

河原町指折りの景勝地でもある三滝渓は、現在、最大の見どころである千丈滝への遊歩道が崩れて立ち入り禁止になっています。地元の有志がそれを惜しみ、林道沿いの草刈りやレストハウス三滝荘の清掃、イベントの開催などで三滝再興への道を探っており、そのお手伝いをしています。写真は大雨のあとの土砂の除去作業です。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）rsrt815@gmail.com
（電話番号）0858-85-0445

# 島根県美郷町　窪添　可奈子

**地域コミュニティ活動**

## 基本情報

【年　齢】
33歳
【出身地】
千葉県　流山市
【転出元】
千葉県　流山市
【前　職】
総合職
【活動時期】
R3.2～（2年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

昔から自然豊かな場所での暮らし、ゆったりとした仕事の仕方に興味がありましたが、なかなか行動できていませんでした。そんな中、コロナの影響で在宅ワークをすることが増え都会にいなくても仕事ができるなら田舎で暮らしてみてもよいのでは？と思いいろいろ調べてみたところ、地域おこし協力隊や現在活動している美郷町君谷地域の花づくりやみつばちの活動を知り興味を持ったことがきっかけです。

## 今後の抱負・任期後の目標

とくにこれをやるぞ！と心に決めていることはありませんが、地域に貢献できるような活動をしながら複数の仕事で生活していくような働き方・暮らし方を目指しています。行事やイベントに積極的に参加したり、わくわくすることに挑戦していき、自分らしい働き方や暮らし方を見つけていきたいと考えています。

## 活動内容

**●花づくり**

先輩の代から耕作放棄地を活用して花づくりをし、蜂を育てて蜂蜜を生産されています。私はその中でもミソハギという湿気を好む花を休耕田を活用して育てる活動をしています。草刈り、草抜き、苗植え、水やりのほか、イノシシの多い地域ですので電柵の管理を行い花畑が荒らされないように気を配りながら育てています。

**●小学2年生向け みつばち学習**

養蜂に取り組んでいる方と一緒に小学2年生に向けたみつばち学習を実施しています。一緒にミソハギの苗植えをしたり、ミツバチを観察したり、はちみつ石鹸づくりをしたりと年間通して3回の授業を実施しています。

**●蜜蝋クリームづくりワークショップ**

養蜂に取り組んでいる方と一緒に蜂蜜の作り出す蜜蝋を使った蜜蝋クリーム作りのワークショップを行っています。

**●地域住民との交流**

地域内で行われる様々なイベントに参加し、住民のみなさんと交流をはかっています。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
インスタグラム　@kimidani_zoe

# 岡山県倉敷市　脇村　拓嗣（わきむら　たくじ）

地域コミュニティ活動

## 基本情報

【年　齢】
25歳
【出身地】
兵庫県神戸市
【転出元】
東京都杉並区
【前　職】
システムエンジニア
【活動時期】
R2.8～（3年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

**●自然と都市のバランスが魅力的**

自然と共存した暮らしに憧れるも、生活の継続に不安を抱いていた。倉敷は、自然と都市との距離感が近く、移住・定住して生活できる良いイメージが沸いた。

**●若者が活躍するフィールドに共感**

倉敷市の児島下津井（こじましもつい）で若い方々が活発に活動されている雰囲気に共感。倉敷の魅力向上に向けて、様々なチャレンジを行いたいと思い、倉敷に移住することを決意した。

## 今後の抱負・任期後の目標

松島の豊かな自然や海産物、美しい景観など、魅力的な地域資源を活用していきたい。「松島のポテンシャルを背景に、新たな価値観が生まれ次の世代につながっていく」、そんな流れを起こしたい。

開業を目指している民泊やワカメ漁などを通じて、どのように地域資源を活用するか、どのように地域に還元できるかを模索しながら進めていきたい。

## 活動内容

**●旧松島分校の利活用**

倉敷市下津井沖の離島「松島（まつしま）」にある、廃校した市の学校「旧松島分校」は、芸術の創作活動の場として動き出している。滞在制作をされる芸術家の方々を受け入れ、皆さんが集中して創作活動ができるよう、分校の掃除や島内の草刈り、漂流物等の片付けなどの環境整備に努めている。

**●古民家の再生と民泊の開業**

松島に気軽に人が訪れることのできる場を作るため、民泊の開業を目指している。松島の古民家を活用して、地元の大工さんの力を借りながら改装を開始。人手も知見もない中で、古民家の改装はとても大変だが、目に見える立体的な成果があり、日々、小さな達成感を感じながら汗を流している。

**●ワカメ漁の継承など**

地元の方々に、松島の歴史や生活文化を教えていただくなど日々、勉強をさせてもらっている。例えば、松島の特産品はワカメであり、ワカメ漁を継承するため、地元の漁師さんにワカメ漁を教えていただいている。コミュニケーションを大切に、皆さんの松島への想いを活かしながら活動している。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
マツシマ荘　HP：https://matsushimaso.jp
Instagram: @o_matsushimaso

# 徳島県美波町　氏家　里菜

**地域コミュニティ活動**

## 基本情報

【年　齢】
24歳
【出身地】
香川県　善通寺市
【転出元】
兵庫県　神戸市
【前　職】
学生
【活動時期】
R4.5.1～
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

大学院のフィールドワークで美波町由岐地区を訪れた際に，地域おこし協力隊を募集しているということを聞きました．
他の地域についても検討しましたが，防災の研究をしていることもあり，美波町が一番防災の知識を生かすことができるのではと思い，応募しました．

## 今後の抱負・任期後の目標

平時の課題と災害時の課題は繋がっているので，災害時の対策は考えつつ，平時の課題を福祉的な点から楽しく解決していけるように頑張りたいと思います！

## 活動内容

**●コミュニティカフェ”まったりカフェみなみ”の手伝い**

自主防災組織の女性部の方が運営するコミュニティカフェ“まったりカフェみなみ”にて，毎週火曜日のランチ営業のお手伝いをしています．仕込み作業，材料計算，買い出し，チラシ作り，配達，ＳＮＳ更新等を行っています．コロナ禍のため，お弁当や惣菜販売がメインとなっていますが，店内飲食で人と人の繋がりが続いていくように，今後取り組んでいきたいです．

**●個別避難計画作成に向けた高齢者へのヒアリング**

地域で避難支援が必要な方への計画を考えるためには，まず要支援者の方が何人，どこにいらっしゃるのかを把握する必要があると考え，まずは後期高齢者の1人世帯と夫婦世帯を対象に自主防災組織の方と一緒にヒアリング調査を行いました．状況は変化していくので，今後も続けていきたいと思います．

**●個別避難計画作成に向けた地域組織での取り組み**

ヒアリングで明らかになった支援が必要な方々の避難計画を，地域で作成することを目的に，支援者となる地域組織の方を集めた会議を開きました．その会議で話し合った計画が本当にできるのかを，避難訓練で検証し，今後の地域活動へとつなげていきます．

## 連絡先

【活動の様子を発信しているTwitterのURL】
https://twitter.com/mattari_kizuna

# 徳島県美波町　宮野　幸広

**地域コミュニティ活動**

## 基本情報

【年　齢】
55歳
【出身地】
岩手県　盛岡市
【転出元】
神奈川県　大和市
【前　職】
海上自衛官
【活動時期】
R 4.6.1 ～
(1年目)

## 協力隊に応募したきっかけ

前職を退職後に四国に移住を考えていたところ、都内の移住相談会に参加し担当者から協力隊の説明を受け、移住へのステップと考えていた。
実際に木岐や役場の方々に会い、皆さんの人柄と木岐の自然豊かな環境にひかれ応募した。

## 今後の抱負・任期後の目標

木岐まちづくり協議会として会長とともに、所属する各団体のさらなる積極的な参加、活動を目指す。
任期後は県内に就職、移住を希望する。

## 活動内容

**●10/30思い出コンサートの実施**

歌手の皆谷尚美さんを招いて、現在休校中の木岐小学校で木岐の地元のお年寄りの方を中心に約100名の来場があった。この企画を計画し、準備段階から当日まで中心となり、盛況に実施できた。

**●10/23かかし展示会の実施**

毎年の恒例になっている行事ですが、木岐奥地区のふれあい農園にてかかしの展示を中心に、子供たちへのミニチュアかかし作成や焼き芋の振る舞い、ミニチュアかかし人気投票などを行った。

**●9/16の台風によるの消防団の対応**

水門が波をかぶり、砂でせき止められて雨水が排水出来なかったので、水門を開放し対応しました。
また木々の倒木による被害の確認を行なった。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）kiki-yasuragi@me.pikara.ne.jp
（電話番号）080-2986-1195
（職場・その他（○○））
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】
https://www.facebook.com/minami.kyouryokutai

# 徳島県東みよし町　山口　大地

**地域コミュニティ活動**

## 基本情報

【年　齢】
26歳
【出身地】
徳島県東みよし町
【転出元】
東京都杉並区
【前　職】
株式会社リクルート
【活動時期】
R4.4～(1年目)

## 協力隊に応募したきっかけ

着任した東みよし町は私の故郷であり、10年前に地元を離れる際に「地元を世界一のまちにする」と決意したためにUターンで妻と一緒に戻ってきた。協力隊への応募理由は地域の情報と将来計画をインプットし、改めて地域に根付くための土壌づくりをする環境として行政と協働する上で最適な機会と認識したから。
実際に協力隊として活動する中で、地域や行政の抱える現状課題について新しく知れたこともあり、また行政職員と関係構築できたことも大きな収穫だった。

## 今後の抱負・任期後の目標

これから私は地元・東みよし町を「世界一の人財育成のまち」にしていく。そのために、まずは住民が自分たちでまちづくりを積極的に取組みやすい環境づくりやマインド醸成が重要になってくる。
今後の活動として、地域のコミュニティネットワークを結びつけて強化する、地域交流拠点CO-MORIを開設・運営していく。今後の目標はCO-MORIが地域の未来をより良くするプロジェクトと人材を生み出す拠点にしていきたい。

## 活動内容

### ●地域分析調査

現状の地域交流や多世代交流について、若者(n=60)と地域のキーパーソン(n=40)に対して1人30分～1時間の住民ヒアリングを実施し、地域の現状を可視化した。今後の活動で解決すべき課題把握だけでなく、町政のヒントも多くキャッチできたことで、町長含め行政から高い評価をいただけた。

### ●地域コミュニティ拠点CO-MORIの開設準備

東みよし町は「田舎過ぎない田舎」で、住民は危機的には困っておらず、行政が何とかしてくれた経験から、地域の主体性が周辺地域よりも欠けている。そこで、CO-MORIを立ち上げ、住民が自分たちが楽しみながら新しい取り組みを始めて、その活動を通じて自己開発できるような環境整備を進めている。

### ●公式Instagramの運用

着任当初、SNSを活用した町の情報発信をしたいと行政からミッションを任され、SNSの活用目的やKPIの設定、退任後に行政が自走できる運用システムの構築を実施した。担当から約半年間で、停滞していた既存アカウントを再稼働させ、フォロワー数も380人から600人と約1.5倍まで増加させることができた。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）comori.tokushima@gmail.com
（電話番号）080-6373-1499

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
現状はなし(今後、CO-MORIの活動についてはSNSを立ち上げ予定)

# 香川県綾川町　金盛 友彦

**地域コミュニティ活動**

## 基本情報

【年　齢】
41歳
【出身地】
北海道旭川市
【転出元】
北海道旭川市
【前　職】
高梁市地域おこし協力隊
個人事業主
【活動時期】
R2.4～
（3年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

地域と密着しながら、住民、協力隊、行政と連携し、地域活性化に携わる仕事を探していたところ、綾川町で協力隊の募集があったため。

## 今後の抱負・任期後の目標

地域活性化を目的に、地域住民と団体をつくり、外部人材を呼び込みながら交流事業を進めていく。

## 活動内容

**●活動内容　公民館連携活動**

綾川町役場と活動地域である西分公民館に拠点を置き、職員の仕事をサポートしたり、訪れる住民の活動に参加してコミュニケーション、情報発信と共有を行っている。

公民館を利用した地域団体イベントの様子

**●活動内容　地域集落活動**

活動地域の大相集落に入り、自治会に加入する傍ら草刈り、地域清掃活動などの協力活動に従事しコミュニケーションをとっている。

集落の法面の草刈り作業

**●活動内容　空き家活用事業**

大相集落の空き家を活用し、交流事業を行っている。内覧会、地域おこし協力隊報告会、公民館クラブへの場所貸し、モニターツアー、作物収獲作業などを地域住民と共に企画、実施している。

集落モニターツアーの様子

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）iimachi@town.ayagawa.lg.jp
（電話番号）綾川町役場いいまち推進室 087-876-5577

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
綾川町地域おこし協力隊Facebook
https://www.facebook.com/Ayagawa.chiikiokoshi

# 香川県綾川町　山下 真央

**地域コミュニティ活動**

## 基本情報

【年　齢】
36歳
【出身地】
兵庫県神戸市
【転出元】
香川県高松市
【前　職】
コールセンター勤務
【活動時期】
R3.4～
（2年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

海外で経験を積み、大学院進学のため帰国。2020年4月に入学した際、コロナ禍に遭遇する。コロナ禍での大学院生活を送り、地域活性化に興味がわく。実践的にも地域のために役立てる方法を模索していたところ、友人から地域おこし協力隊を勧めてもらい応募した。

## 今後の抱負・任期後の目標

キャンプ場の利用客や芸術祭の観客の滞在時の満足度をあげ、「また来たい」と思っていただき、何度も地域に足を運んでもらえる人を増やしたい。そのために、環境づくりや、接する人のモチベーションを上げるもしくは維持し続けるように、協力していきたい。

また、地域住民が主体的に、地域をより良くしたいと思え、住民や地域の企業の得意な面を引き出せるようにして、その人たちが得意分野で活躍してもらえるように、活動を通して調整や仕組みづくりに貢献したい。

## 活動内容

**●早起きは三文の徳プロジェクト**

2年目に入り、偶然、小学生の朝の通学バスの待ち時間の様子を見学した。そして、通学バスの待ち時間を有効活用できないかと考え、当該プロジェクトを発案。1学期は「ことわざ教室」、2学期はさらに「水仙百本計画」も始動し、児童、保護者と小さな成功体験を通して、主体的に地域をよりよくする楽しさを実感してもらうことを目標とし、取組み中。

**●「道の駅に寄って、キャンプ場へ」動線づくり活動**

担当地区にはBBQもできる町営のキャンプ場がある。キャンパーの持ち込み食材を観察すると、町外のスーパーで買い物したものが大半であった。綾川町の野菜は美味しく、BBQでも勝負できるのに、その美味しさをキャンパーに対してPRできていないのでは？と考えた。往路時に町内にある道の駅に寄って、BBQ食材を購入してもらう、動線づくり活動に取組み中。

**●「第5回　かがわ･山なみ芸術祭」実行委員活動**

担当地区発祥の「かがわ・山なみ芸術祭」の実行委員としても活動中。2年（3年）に1度開催で、2022年は開催年である。第5回目の今回は町内の展示エリアを拡大する目標で、地域住民を巻き込んで、準備を進めている。協力隊員自身にとっては、初めての経験で、同じ実行委員や地域住民に教えを請いながら活動。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）iimachi@town.ayagawa.lg.jp
（電話番号）087-876-5577【綾川町役場総務課いいまち推進室】

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
FACEBOOKページ「綾川町地域おこし協力隊」

# 愛媛県今治市　兵頭 未来洋

**地域コミュニティ活動**

## 基本情報

【年　齢】
51歳
【出身地】
大阪府　堺市
【転出元】
東京都　中野区
【前　職】
デイサービス
【活動時期】
R2.4～
(3年目)

## 協力隊に応募したきっかけ

・地方での暮らしに興味があり、父の出身地である愛媛県は馴染みがあった。
・サイクリングで何度もしまなみ海道に来ていたため、候補となった。
・協力隊として移住すると地域に馴染みやすいと考えた。
・協力隊の期間に生業作り、住居探しができると考えた。

## 今後の抱負・任期後の目標

・「介護タクシー・困りごとお手伝いサービス」の開業
・格闘技フィットネス教室の継続および参加者の増加

## 活動内容

**●格闘技・フィットネスジム**

18年間の格闘技経験を活かし、スポーツ施設がない島で、キックボクシングを基としたキックフィットネスおよび組技（グラップリング）教室を開催。
子供から大人まで、今治市だけでなく、他市町村からも参加いただいている。

**●オリーブ園**

耕作放棄地を開墾し、特産化を目指しオリーブ園を運営しているポパイズクラブのお手伝い。
一年目から、農作業やネットでの販路の拡大、フライヤー作成などのお手伝いを行っている。

**●移住促進、情報発信**

移住促進用のサイトを作成したり、ローカルの魅力発信サイト「ローカリティ!」に記事を書き、情報の発信をしている。

## 連絡先

メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）sumou@imabari-city.jp　（電話番号）0897-72-8772

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（HP）https://www.shimanami-fight.com/
（Instagram）https://www.instagram.com/grabaka_imabarioshima/

# 愛媛県今治市　山之内　由香

**地域コミュニティ活動**

## 基本情報

【年　齢】
42歳
【出身地】
愛媛県　松山市
【転出元】
愛媛県　松山市
【前　職】
通信会社
【活動時期】
R4.4～
(1年目)

## 協力隊に応募したきっかけ

幼い頃から海の見える波の音が聞こえる家で暮らすことに憧れを抱いていました。瀬戸内の多島美・夕陽・山々の美しさを再認識し魅了され、その頃からしまなみ海道に住みたいと思い、そして地域の人たちのお役に立てるような仕事がしたいと思うようになり地域おこし協力隊に応募しました。
私自身も起業をしたいと思っていて、今治市の起業の色々な支援制度があることも気持ちの後押しとなりました。

## 今後の抱負・任期後の目標

コロナで思うような活動が出来ていませんが、地域の方々を対象としたストレッチ教室やマッサージ教室をどんどん開催して、皆さんが健康で美しく過ごせるお手伝いができたらと考えています。また、父の介護経験を生かして移住前から希望している老人介護施設へのハンドマッサージ訪問ができるようになればいいなと思っています。
任期後はリンパケアセラピストとしてマッサージ店の開業と、ペットと宿泊できるドッグラン付きのゲストハウスの開業を目標に活動しています。

## 活動内容

**●セルフマッサージ講座**

社会福祉協議会主催の介護者が集まるサロン等で「セルフマッサージ講座」や私自身が参加者の方へ施術させていただく「癒やしのハンドマッサージ」活動や「アンチエイジングのセルフフェイシャルマッサージ教室」などを不定期開催させていただいています。

**●子ども支援活動**

伯方島にある子どもの第三の居場所作りをされている「ちんじゅのもり」さんや「伯方児童館」さんで子ども達のワークショップやイベントのお手伝いをさせていただいています。看板作りや親子ストレッチ教室など行っていますが、新しいワークショップも随時考えていきたいと思います。

**●ガイドブックリニューアル・新設場へ設置**

前協力隊員が制作をしたガイドブックが大変好評で、情報のリニューアルとして、新店舗やゲストハウスなども追加掲載の活動を行っています。
また、屋外観光地にガイドブックを設置出来ていなかったため、設置と管理を行っています。
素敵な伯方を住民の皆さんにも改めて知ってもらう良い機会だと思っています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス)sumou@imabari-city.jp
(電話番号)0897-72-8772

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
なし

# 愛媛県今治市　阿部川　由紀

**地域コミュニティ活動**

## 基本情報

【年　齢】
41歳
【出身地】
埼玉県加須市
【転出元】
東京都品川区
【前　職】
飲食業
【活動時期】
R4.4～
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

移住での島暮らしに憧れ、いろいろな島を探すなかで
今治の大島と出会い、移住前にそこでの生活（仕事）を考えている最中に、島の方からこんな制度があるよと教えて頂きました。すでに島のことが大好きだったので、その島の為になることが出来て生活が出来るという素晴らしい制度だと知り、応募させて頂きました。

## 今後の抱負・任期後の目標

長く「食」に携わる仕事をしてきたので、島でも食を通じて活動していきたいと思っています。特に、一人暮らしの高齢者の方が多く、お知り合いになって詳しい話を聞けば聞くほど食事は生協で冷凍ものを買う、、、などの食生活や、もっとこんなお店があったらいいのにという実際にみんなが必要としていることが少しづつわかってきたので、それに寄り添った活動がしていければと思います。

## 活動内容

**●クラブ活動参加**

地元のお婆ちゃん達が公民館を利用して活動している「古布クラブ」という会に参加しています。基本は古い着物のリメイクなどの裁縫ですが、月に一回料理会もしていて、地元の料理や調理法などを教わっています。

**●カレイ山展望台　遠見茶屋運営**

NPO法人から高齢化して運営できなくなっていた茶屋の運営の依頼があり、土日祝日に兼業で運営を始めました。景観が素晴らしく、来た人誰もが感動するような場所なので、これからもっと広めていって、大島に立ち止まるきっかけとなる場所にしていきたいです。

**●放課後ボードゲーム開催**

放課後の子供たちの居場所作りとして、毎週木曜日に公民館で放課後ボードゲームをしています。毎週たくさんの子供達が学校が終わってから楽しそうに集まってくる姿がとてもかわいく、年上の子が自分より年下の子にゲームを教えてあげたり、みんなで笑い合ってとてもいい時間を過ごしています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）sumou@imabari-city.jp （電話番号）0897-72-8772

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

# 愛媛県今治市　佐藤 由香子

**地域コミュニティ活動**

## 基本情報

【年　齢】
50歳
【出身地】
福島県　福島市
【転出元】
福島県　福島市
【前　職】
歯科医院
【活動時期】
R3.4～
（2年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

温暖な気候の島で、「コミュニティ空間」を作りたいと長年思っていました。子どもが独立したこともあり、SNSで移住について調べていたところ、「地域おこし協力隊」の存在を初めて知りました。定住したいという希望があったので、そのためには、地域の方々に自分を知ってもらう事、地域の方々との繋がりが大事だと思いました。「地域おこし協力隊」として、地域のために活動できることは、地域の方々と交流しながら、地域のことを知る良い機会だと思い応募しました。

## 今後の抱負･任期後の目標

「コミュニティ空間」（居心地のいい空間）を作りたいと考えています。飲食店（島の食材を使った料理の提供）を軸に、島内の作家さんの作品の展示や販売スペース、対面セッションができる談話スペースを作り、地域の方々も楽しめる空間を提供したいと思っています。

## 活動内容

**●きれいな景観を目指す活動**

色褪せた看板の塗装や補修を行っています。大島在住の画家のとんぼさんにアドバイスを頂いたり、地域の方々には足場をお借りし、高所作業などはお力をお借りしながら作業しています。その他に、毎月数回、海岸清掃を行っています。

**●子供たちとの活動**

B&G海洋クラブ活動「マリンスポーツ活動」「水に賢い子どもを育む年間型活動」、伯方児童館「親子クラブ」「出前あそび講座」、吉海小学校「ふるさと学級」ほか、子どもたちの活動をサポートしています。

**●高齢者の方との交流**

オリーブ園・ブルーベリー園・しんせん農園などの農作業（草刈りや収穫など）、ハーブソルト・ジャム作り、収穫祭などイベントのフライヤーやプライスカードの作成などのお手伝いをしています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）sumou@imabari-city.jp
（電話番号）0897-72-8772

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://www.facebook.com/imabari.ohshima

# 愛媛県今治市　石塚 拓海

**地域コミュニティ活動**

## 基本情報

【年　齢】
24歳
【出身地】
神奈川県　藤沢市
【転出元】
神奈川県　藤沢市
【前　職】
銀行
【活動時期】
R4.4～
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

・瀬戸内海の街で暮らす選択の手段として、地域おこし協力隊という手段を見つけた。
・瀬戸内海の魅力を全国と世界中の人にもっと知ってもらい、今治へ遊びに行きたい、暮らしたいという人を増やしたいと思った。
・場所を選ばない働き方が主流になりつつある昨今、「職場に通いやすい場所で暮らす」のではなく、「本当に住みたい場所で暮らす」人のサポートをしたいと考えた。

## 今後の抱負・任期後の目標

・観光と教育の側面から今治を盛上げたい。
・観光ではサイクリング客が回れる場所、サウナなどの休憩所を作りたい。また友人や元同僚、学生時代の恩師を通じて、観光、移住、ビジネス展開を検討中の人に今治を紹介する。
・教育では「子供が学びたいことを好きに学ぶ寺子屋」を作り、子供の主体性を育める場所を作りたい。
・自分の本当にやりたいことを見極める。

## 活動内容

**●東部桜井地区での活動**

今治市東部の桜井地区の綱敷天満神社にて、子供の成長祈願祭「宮島さん」や敷地内にある「清風館」での映画上映会の手伝いを行った。また同地区の石風呂跡にて、清掃や海上自転車大会の運営に従事。今後も地元住民と協力の上、「島だけではない今治の魅力」を桜井地区から発信していく。

**●小学生を対象としたサイクリング教室**

今治市内の小学生向けの観光課施策。今治の代表的な観光資源であるしまなみ海道のサイクリング体験を通じ、子供たちのシビックプライドの醸成を目指しつつ、仲間と共にサイクリングをする楽しさを味わってもらった。同時に交通安全教室も実施し、子供らが交通ルール学ぶ機会にもなっている。

**●プログラミング塾**

協力隊OBが経営するプログラミング塾にて従事予定。プログラム構築を通じ、生徒の主体性や想像力を磨き、数理的な考えを身につけることなどがテーマ。今治の子供たちの教育に貢献し、かつ寺子屋運営の参考にしたい。現在は研修を受けており、2023年1月に勤務開始見込。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス)sumou@imabari-city.jp
(電話番号)0897-72-8772

# 愛媛県宇和島市　志村 盛之

地域コミュニティ活動

## 基本情報

【年　齢】
52歳
【出身地】
東京都世田谷区
【転出元】
東京都豊島区
【前　職】
調理師
【活動時期】
R2.4～
（3年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

母が他界し、都心部にいる必要性が薄れ、また前職が施設系の調理師だった為、同職であれば都市部との賃金格差も少ないので地方に目を向けた。現在の地域に注目したのは様々な立地条件が自分の起業に活かせると思ったからである。

## 今後の抱負・任期後の目標

退任後は飲食系での起業を予定している。
また、地域企業同士、協力隊ミッションの製品開発や販売協力などもすでに着手しているが、現行の職員型でのマネタイズができないため、今後の課題として重要なファクターになっている。
地方行政区分以外から「特定地域づくり協同組合」のお話もいただいており可能ならそちらにも注力したい。

## 活動内容

**●地域観光資源の現地案内**

えひめ南予きずな博における移住希望者に向けた移住・定住促進ツアーの行程作成協力、ツアー当日に御槇地区及び市内の現地案内人として参加。また、関係機関などに向けても、御槇地区の観光資源を案内。

**●行政境を超えた「南予エリア」としての商品開発等**

単独市町ではすでに販売、誘客、移住政策などの力が減衰しており、広域エリアでの協力体制での対応を「民間主導」で出来るように様々な企業や人材のマッチングや、開発の仲介・原案提供などを行っている。

**●地域コミュニティ組織傘下「みまきガーデン」の運用補助**

宿泊、飲食を主とした民間の組織である「みまきガーデン」において、当初は運用の最適化を目指したが、様々な問題から方針を「延命」に切り替え、着任中の助成金申請や政策への対応、それを活かした誘客などに注力している。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（（みまきガーデンFB）https://www.facebook.com/mimakigarden

# 愛媛県東温市　岩橋 洸平

地域コミュニティ活動

## 基本情報

【年　齢】
25歳
【出身地】
大阪府　藤井寺市
【転出元】
大阪府　大阪市
【前　職】
会社員
（製造機械系の商社）
【活動時期】
R2年.9月～ R4年.3月
（3年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

生まれも育ちも、働いているのも大阪という都会よりの生活をしていました。特に何をするでもない普通の人生になるのかなという漠然とした不安や何者にもなれないことに焦りを感じていました。そこで思いきって大きく環境を変えてやりたいことをしようと思ったことがきっかけです。学生時代から地方創生などに興味があり、協力隊の制度や募集要項が魅力的だと思ったので愛媛県の東温市を選びました。

## 今後の抱負・任期後の目標

まずは地域をどうこうするよりも自分の生活を守る、より良くしていくことを目的として動きます。任期後は宿泊業やサウナ・農業などを生業としていく予定です。観光業を通じて、東温市や愛媛県の良いところを旅行者の方々に発見してもらえればと思います。そこから農業の事業で他の方にも生業を提供することなどが出来れば移住したいと思える人も出てくるのではないかと思います。その一歩目として、どう生活を成り立たせているかを証明することが必要なのではないかと思います。

## 活動内容

### ●シキミの担い手募集

活動地域の井内地区の特産品はシキミという植物で西日本では墓にお供えするものとして使われています。担い手不足や、耕作放棄地の増加が問題になっています。自身で畑を借りてシキミ作りを学びながら、アルバイトを募集し体験することで興味を持ってもらい将来的にやってみたい方を募集しています。

### ●シキミ線香の製品化・販売

地域の特産品であるシキミの廃棄される部分を活用できないか？というアイデアから始まった線香づくりのプロジェクト。製品の作製からパッケージデザイン箱詰めまでを地域で行い販売に至った商品。商品のPR活動や、販売の補助などを行いました。

### ●菖蒲園の開園

地域で昔から開園されていた菖蒲園が、管理者の方が高齢になられたことで存続が難しくなりました。そこで菖蒲園を残すために地域の方々と協力して、園内の整備や菖蒲の管理などを行い今後も継続できるように改修などを行いました。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Twitter）https://twitter.com/waihashi

# 高知県高知市　吉田　友一

**地域コミュニティ活動**

## 基本情報

【年　齢】
40歳
【出身地】
新潟県長岡市
【転出元】
京都府京都市
【前　職】
鍼灸師・俳優
【活動時期】
R４.４～

## 協力隊に応募したきっかけ

学生時代から芸能活動を開始し、TVドラマ「特捜戦隊デカレンジャー 」などに出演。2005年８月に高知市で開催したヒーローショー出演が初めての高知でした。

芸能活動の傍ら東洋医学を学び、2018年に鍼灸院を開業。2021年６月まで島根大学地域包括ケア教育センターの職員としても勤務し、離島での地域包括ケアや大学院での研究生活を経て地方創生への情熱が湧きました。大学時代の恩師が開院している縁のある高知への移住を決意したタイミングで地域おこし協力隊の募集を知り、応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

地域を巡回していると、住民の方から「今なにしゅう？（今なにしてる？）」とお声を掛けられることが多くなってきました。徐々に皆さんに受け入れていただいているんだなと実感し、うれしく思っています。

地域の皆さんが笑顔になるように、自分の強みを生かしながら、地域活動に取り組んでまいります。

任期後は、協力隊としての経験も活かし高知市で鍼灸院を経営し、患者さんの健康養生に寄与できるように頑張っていきたいです。

## 活動内容

**●地域行事への参加や資源の発掘・活用**

地域行事への参加や資源の発掘・活用に関する活動などを行っています。着任２日目の４月２日に、長浜地域の伝統行事である「神田祭（通称どろんこ祭り）」に参加。地域の方と直接話すことができ、次の行事へ声がけいただくなど、地域の皆さんとの距離が縮まるきっかけになりました。

**●情報発信**

広報紙やホームページの作成・ＳＮＳなどによる情報発信を行っています。

協力隊目線で地域資源の素晴らしさを伝えようと、すいか農家、干物屋、どろめ漁師への取材を企画。地域の方々との関係構築ができたほか、協力隊自身も新たな体験ができました。

**●地域おこし学校「こうちみませ楽舎」の企画・運営**

旧御畳瀬小学校の校舎を活用し、地域住民や地域おこしに興味がある方と一緒になって活性化に取り組むための「こうちみませ楽舎」の企画・運営に従事。１年目はオープンスクールや開校式での司会、教室の進行管理などを行っています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
高知市地域活性推進課（メールアドレス）kc-011700@city.kochi.lg.jp
（電話番号）088-823-8813

【活動の様子を発信している
SNS・ブログなど】

高知市HP　Instagram　note　Twitter

# 高知県高知市　伊藤　明子

**地域コミュニティ活動**

## 基本情報

【年　齢】
52歳
【出身地】
大阪府大阪市
【転出元】
大阪府八尾市
【前　職】
児童養護施設事務局員
【活動時期】
R4.4～

## 協力隊に応募したきっかけ

海外のリゾートが大好きで、ハワイやバリ島などよく出かけていました。コロナ前までは海外に移住を考えていましたが、コロナがきっかけで日本の良さに気が付き、子どもの進学を期に高知を知り、偶然、高知市地域おこし協力隊の募集チラシを目にして今は、高知市にいます。

## 今後の抱負・任期後の目標

この任務に就き私が感じた事は、地域で活躍されている人を深く知ることで、人の温かさや地域の魅力がよく分かるということです。今後、私が実践したいのは、人口減少はもう止められない中、今の流行など周りと同じことをしていても一時的な活性にしかなりません、私は地域の声を拾い上げたうえで、ココでしか無い、この場所でしか出来ない、まだまだ眠っているオンリーワンの資源を掘り起こし、地域おこし協力隊ならではの発信の仕方で長浜・御畳瀬・浦戸地域の皆さんと一緒に活性していきたいと思います。「地域作りは人作り」この地域の皆さんとなら叶うような気がします！

## 活動内容

**●地域おこし学校「こうちみませ楽舎」の企画・運営**

こうちみませ楽舎とは、学びと実践を通して地域おこしを行う場所で、今年度はプレミアム教室と通常教室を開校しています。私は、プレミアム教室では受講生として、通常教室ではスタッフとして参加しています。

また、御畳瀬にある干物屋さんを講師に迎え、高知大学野生生物研究会の皆さん協力のもと、特別教室の開催を企画しました。

また、みませ楽舎の事をもっと知って頂きたいと思い、地域を飛び出し高知大学の黒潮祭やイオンモール高知のSDGｓイベントなどに参加し、PRしてきました。

**●広報紙や・SNSなどによる情報発信**

SNSの発信の他に紙媒体の広報紙「新・里海かわら版」や「協力隊なにしゆう」を定期的に発行しています。地域にはお年寄りも多く、紙媒体での告知は重要です。また、直接渡すことにより、会話も広がり、住民との距離が近くなりました。特にVOL.7の取材を通して地域の方々の思いや、優しさに触れる事ができ、とても貴重な体験をさせて頂きました。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
高知市地域活性推進課（メールアドレス）kc-011700@city.kochi.lg.jp
（電話番号）088-823-8813

【活動の様子を発信している
SNS・ブログなど】

高知市HP　Instagram　note　Twitter

# 高知県室戸市　石原　光

**地域コミュニティ活動**

## 基本情報

【年　齢】
33歳
【出身地】
長崎県諫早市
【転出元】
大阪府門真市
【前　職】
家具メーカー 営業
金属加工業
【活動時期】
R3.12～
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

学生時代から毎年サーフィン目的で高知県を訪れており、高知県で暮らすことを検討していました。求職中に室戸市の地域おこし協力隊の募集を見つけ、募集事業のひとつに室戸岬椎名地区の集落活動支援というものがありました。

調べてみると椎名大敷という定置網漁を基幹産業としている小さな集落。活動形態上、地域住民との距離が近く地域を知ることや自分自身を知ってもらうことへの近道になると思い応募を決めました。母の故郷が小さな漁村で椎名地区に懐かしさを感じたこともきっかけでした。

## 今後の抱負・任期後の目標

着任後1年が経ちましたが、この1年間は通年行事を一通り経験する1年としました。自分自身が出来ることや好きなことが出てきたので、今後はそのことを中心に地域活性化につながる活動を行っていきたいです。

目標は宿泊施設を開くことです。家族やサーフィン仲間、観光客にお遍路さんなどで賑わう場所を作りたい。海辺の暮らしやピザ作りの体験ができたり、地域の方々とカフェを開いたり一緒に体操をしたり、現在の活動を活かした施設にできたらと思っています。

## 活動内容

### ●体験プログラムの企画・実施

ビーチコーミング・クラフト体験を企画、イベントを実施し観光客向けにネット商品化。海岸での漂着物収集やモノ作りを通じて地元の海の魅力や問題を発信しています。イベント時はビーチコーミング活動をしている地元住民を講師に招き、地元小学生を中心に参加してもらい地域交流の場となりました。他の体験活動やイベントへの出店も行っています。

### ●活動グループのフォロー

勤務場所である集落活動センターには地域住民でカフェを運営しているグループや高齢者が体操などの活動をしているグループがあります。メンバーの減少や高齢化もあり事務業務や活動準備などのフォローを行っています。地域住民が身近になり活動がないときの交流も増えました。

### ●ピザ作り講習会の実施

集落活動センター敷地内にはピザ窯があり、月に1度地域住民向けにピザ作り講習会を行っています。ピザを生地から作り石窯で焼くまでを学び将来的には観光客向けの販売をできるようにすることが目的です。今年度は1度観光客へのピザ焼き体験を実施しました。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）hikaru.19890915@icloud.com
（電話番号）0887-98-7020（椎名集落活動センターたのしいな）

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
インスタグラム（個人・地域団体しいな遊海くらぶ）

# 高知県安芸市　貝瀬　和行

地域コミュニティ活動

## 基本情報

【年　齢】
51歳
【出身地】
埼玉県　ふじみ野市
【転出元】
高知県　安芸市
【前　職】
看護師
【活動時期】
R2.3～
(3年目)

## 協力隊に応募したきっかけ

食べ物が美味しく絶景の多い四国での生活に憧れていました。
資格を生かして仕事を見つけられないか模索する中で、都内で開催されていた高知県の移住フェアに参加しました。
そこで地域おこし協力隊の制度を知り、挑戦してみたいと思い応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

地域にプラスアルファをお届けできるような存在を目指して活動してきました。
残りの任期があと数か月となり、医療・福祉の分野に戻ることを視野に少しづつ動いています。兼業で地産材を利用してものを作る仕事をしてみたいので、余暇でこしらえたハンドメイド品をお世話になった方にお渡しして感想を聞いたりしています。
また、活動を通じて野菜を作る楽しさを学ぶことができましたので何らかのかたちで続けられたらと考えています。

## 活動内容

### ●入河内大根のこそう会での活動

地域の畑をお借りして入河内大根を作っています。入河内大根は安芸市の伝統野菜で、PRをかねて市外スーパーで販売を行っています。毎年民放各局様の取材を受けたりもします。入河内大根のこそう会では会計を担当していますので出荷時期の１～２月は繁忙期です。

### ●集落活動センターかまん東川としての活動

テレビや学校からオファーを頂いて取材を受けたり活動について話をさせて頂いたりしました。県主催のマルシェ出店もさせて頂きました。
最近は地域の方々から要望を受けて、皆でお茶を飲みながらお喋りするサロン活動を行っています。

### ●地域見守り・地域新聞配布

地域の駐在さんと情報を共有しながら、見守り活動を実施しています。地域新聞を配布し、お声かけをしています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス） rivereastcooperation@gmail.com>
（電話番号） 0887-32-3031　集落活動センターかまん東川

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（かまん東川（facebook）　）

# 高知県香南市　井上　ひとみ

**地域コミュニティ活動**

## 基本情報

【年齢】
45歳
【出身地】
北海道　釧路市
【転出元】
愛知県　小牧市
【前　職】
特別養護老人ホーム
【活動時期】
R3.9～
(1年目)

## 協力隊に応募したきっかけ

福祉の仕事に携わる中で高齢者に対する強い尊敬の念が出てきました。「何かひとつでも自分にできることはないか？」と考えていたところ、地域おこし協力隊として高齢者移動支援コーディネーターの募集を知り、自分の経験を活かせるチャンスだと思い応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

○今後の抱負
各地域や介護予防教室に出向き、高齢者の移動手段の実態調査に入る。今後の生活支援や移動支援の検討の参考に資料をまとめる。

○任期後の目標
NPO法人を拠点とし、福祉・ユニバーサル事業に携わっていきたいと思います。地域住民の助け合いや子供から高齢者まで気軽に参加できる事業のお手伝いに取り組みます。

## 活動内容

**●活動内容1　高齢者へのアンケート調査**

介護予防教室や地域に出向き、高齢者の移動手段の実態調査を行う

**●活動内容2　関係機関との連携**

地域支援課とタクシー会社の協議に同席して、タクシー会社への聞き取り調査を行う。
また、地域支援課と介護予防教室へ同行して、市バスの利用についての実態調査を行う。

**●活動内容3　資料整理**

実態調査を元に、アンケートを入力し集計結果を出す。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）hoken@city.kochi-konan.lg.jp
（電話番号）0887-57-5811
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）https://www.Instagram.com/konan_city_kyouryokutai/
(HP)　　https://www.city.kochi-konan.lg.jp

# 高知県中土佐町　水田　政徳

地域コミュニティ活動

## 基本情報

【年　齢】
57歳
【出身地】
高知県高知市
【転出元】
東京都小平市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R２.8～
(3年目)

## 協力隊に応募したきっかけ

地元にUターンを考えていたおりに、本協力隊の募集を知りました。活動地域は、以前にスキューバダイビングを実施した事があり、その時に自然豊かな環境の良い場所である思い出がありました。そのスキューバダイビングサービスが現在は閉鎖しているとの事と地域が限界集落になって来ているとの話を聞いて矢井賀地区の活性化に尽力したいと応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

残りの約1年で少しでもダイビングサービス再開の足掛かりを作りたい。任期後は、地域に残って漁師を目指しながらダイビングサービスの再開を目指す。

## 活動内容

**●地域行事への参加**

地域で一番大きな松尾神社で行われる中土佐町の無形文化財である「花取り踊り（練り）の奉納」が住民の現象化の為に5年ほど実施されていない。この奉納の復活を目指すべく他の地域の力を借りることも視野に入れて活動中。

**●地元漁師さんの御手伝い**

私は、スキューバダイビングのインストラクターや潜水士資格を持っており、その資格を活用して地元漁師さんの手伝いとして水中での作業などをしています。

**●ダイビングサービス再開活動**

ダイビングサービス再開に向けて矢井賀の海中調査を実施しています。昔は素晴らしい珊瑚礁が点在していましたが、現在は、珊瑚礁はほぼ全飯しポツポツと点在して生息している状況です。今後は珊瑚礁の復活をする活動もしていきたい。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス） shibaten2011@gmail.com

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
・https://www.paddy3.com/　（現在構築中）
・https://www.facebook.com/masanori.mizuta.3/

# 佐賀県　木村　瑠々花

**地域コミュニティ活動**

## 基本情報

【年　齢】
27歳
【出身地】
兵庫県芦屋市
【転出元】
神奈川県茅ヶ崎市
【前　職】
総合デベロッパー
→フリーランス（スポーツ関係）
【活動時期】
R3.12～（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

【知ったきっかけ】九州移住を検討しており、その中で佐賀県・福岡県にて仕事を探していた。佐賀県唐津市の移住相談ができるNPO団体から佐賀県庁の仕事をご紹介いただいた。
【応募したきっかけ】県庁の募集が複数ある中で、現在の「くらしのモビリティサポーター」の活動に強い関心を抱いた。また地域に“最適な”交通を関係者と見つけていくという仕事の進め方が自身に合うと感じたため応募に至った。

## 今後の抱負・任期後の目標

【今後の抱負】自身以外にも地域交通を考えていくサポーターを増やし、3年間で終わりのムーブメントにしないようにしたい。また交通に対する課題は日本全国同じなので、地域交通に関わる協力隊が増えるように働きかけをしたい。

【任期後の目標】実際に行政の中に入り、行政の仕組みを学べる機会は貴重であること。また県全体の仕組みづくりに関われることは、県庁所属の協力隊であるメリットだと考える。この経験を任期後も活かしていきたい。

## 活動内容

### ●交通と福祉の連携により既存の地域交通の魅力を高める

佐賀県基山町の交通担当・生活支援コーディネーター（SC）と連携をしている。地域内で「くらしのモビリティサポーター」を担える人材を増やしていきたく、高齢者との接点が多いSCに注目した。SC向けのコミバス乗車体験会、交通担当と福祉担当との座談会を開催。今後、SC主催のコミバスイベントなどを開催予定であり、引き続き取り組みをサポートしていく。

### ●市町交通担当との関係構築・既存交通への乗車体験など

コミバスや予約型のりあいタクシーといった地域交通は市町が主体的に運行するものであるため、まずは市町交通担当に私の存在を知っていただくことに重きを置いている。また県内の地域交通の状況を知るために、コミバス中心に乗車体験中。運転手や利用者との会話、窓から見える街のつくりや家・車の保有数を見ながら、地域の特徴をインプットしている段階。

### ●地域主体の移動手段確保の動きをサポート

公共交通空白地域もしくは交通が不便な地域において、住民主体の動きが増えてきている。地域内の高齢者の移動手段確保に関するサポートを県として行ったり、社協を通して地域から移動手段に関する相談があったり、少しずつ直接相談をもらう案件が出てきている。移動手段の導入には手順や優先順位があるため、自身も勉強しながら対応している。
※この場合も市町の交通担当と連携を図りたいと考えている。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】佐賀県庁さが創生推進課　木村宛
（メールアドレス）sagasousei@pref.saga.lg.jp　（所属）
（電話番号）0952-25-7505　（所属）

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Facebookページ）「くらしのモビリティサポーター」で検索
https://www.facebook.com/kuramobisaga

# 佐賀県　長谷川　晶規

**地域コミュニティ活動**

## 基本情報

【年　齢】
33歳
【出身地】
大阪府茨木市
【転出元】
大阪府吹田市
【前　職】
看護師
【活動時期】
R４.６～
（１年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

出身の大阪に戻る前に、瀬戸内海の島で訪問看護師として島中の家を訪問する仕事をしていました。各家には個人的な文化があり、島には島の文化があり、いろんな人の生活文化、暮らしを見聞きする中で「島での暮らし」に興味を持つようになりました。以前住んでいた島は橋でつながっていたので、離島に住んでみたいと思うようになりました。観光地化していない独特の文化のある島を探していたところ、佐賀県の島で、人の話を聞き、記憶を記録する人を探していると知り、応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

任期中の目標は、佐賀の７つの島の文化慣習を面白おかしく文化的に本にするミッションを行うのはもちろんですが、島の人が少しでも元気に暮らしたい場所で暮らしを続けられるように、心身ともに健康であれるように、さりげなくお手伝いできたらと思っています。任期後の目標は、日本にある過疎化の進んだ知名度の低い島々の魅力を写真や文章を通して、少しでも多くの人に島の情報を届けて、関係人口を増やしていく活動をしていきたいと考えています。

## 活動内容

**●７つの島を取材し聞き書きアルバムづくり**

昔の文化や慣習は伝承することが少なくなっています。島の人へのインタビューを通して、アルバム（本）にまとめることをしています。島の行事、仕事、慣習、暮らしを取材、雑談して月に１度取材した内容を写真、イラストをもちいて、島内新聞を作成し、各島への情報伝達として配布しています。

**●島人の写真撮影**

スマートフォンやデジタルカメラの普及により、現像する文化がなくなりつつあります。昔のアルバムをみながら、懐かしむ瞬間は心に残ります。島の取材を通して家族写真や行事撮影を行い、現像して写真として形に残す活動をしています。

**●食文化の交流**

島ならではの料理の作り方を教えてもらい、一緒に作ったり、隊員の得意料理のたこ焼きやお菓子づくりを通して、島にはない食を提供している。隊員と島民の両方にとって新鮮な食文化のコミュニケーションを図り、日常に近い食のイベント活動をしている。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）　hasegawa-akinori@pref.saga.lg.jp
（電話番号）　　050-5236-8213

# 佐賀県　長塩　千夏

**地域コミュニティ活動**

## 基本情報

【年　齢】
31歳
【出身地】
長崎県 佐世保市
【転出元】
東京都 日野市
【前　職】
出版社勤務、私立美術大学助手
【活動時期】
R4.6～
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

小さいころから絵を描いたり自然の中で遊ぶことが好きで、学生時代は絵画を専門に学んでいました。進学で九州を出て関東に10年ほど暮らしていましたが、ゆくゆくは九州に帰りたいという思いがあり、これからのこと、地方での仕事について考えているときに、島の協力隊のアルバムづくりの仕事を見つけました。プロジェクトの内容である「そこに住む人々が紡いできた歴史、土地の記憶を、お話を通して書き起こしていく」という点に大きな魅力を感じ、応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

まずは3年後、島の方々に喜んでもらえるアルバムづくりができることが一番なので、「島の人たちが残したいと思っていること」を大切にしながら、島のことをじっくりと知っていきたいです。任期後は個人的にイラストや絵でお仕事できればと思いますが、3年間島で暮らしてきたことを活かし、島のレシピや歴史、聞いたお話など自分の絵で独自にまとめてみたいなとも思っています。自分ができる形で、島に興味を持つ人を少しでも増やすことができればと考えています。

## 活動内容

**●7つの島を取材し聞き書きアルバムづくり**

島民の方から、島の暮らしや歴史、食文化などのお話を聞き、書き起こすという形で3年後に向けアルバムを作成しています。アルバムは七つの島を対象とし、それぞれの島に配布される予定です。

現在は七つの島を歩き回りながら、島のお祭りやちょっとした行事に参加したり、集めた情報をもとにまた人を訪ねていったりして、少しずつお話を集めています。お話だけでなく、実際に昔から島で食べられていた料理を一緒に作ったりしながら、当時の生活についてお話を聞かせてもらうこともしています。
また、島には高齢者の方も多く、島の記録として写真を残していることも少ないため、現在の何気ない島の暮らしの様子も撮影するようにしています。

**●「聞き書き新聞」の作成**

月に一度、日々の取材の内容をまとめた、全島民向けの新聞を発行しています。各島で聞いたことやイベントのお知らせなど、七つの島共通で配布することによってアルバムづくり活動の進捗報告だけでなく、島民が他の島の生活や歴史について知る、ささやかながらも、島同士を結ぶような存在になっています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）nagashio-chinatsu@pref.saga.lg.jp
（電話番号）050-5363-2337

# 佐賀県　野見山　茂

地域コミュニティ活動

## 基本情報

【年　齢】
43歳
【出身地】
福岡県　北九州市
【転出元】
福岡県　北九州市
【前　職】
株式会社の経営
【活動時期】
R３年11月～
（１年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

経営者のつながりから佐賀県の各種CSO団体の活動に触れ営業やPRを委託で受けたことに始まり、CSO団体での活動の中で利益の為ではなく地域の為に本気で取り組まれている方々の利他の姿に感動したこと。またそれら活動の中で地域おこし協力隊の制度をご紹介いただいたこと。

## 今後の抱負・任期後の目標

経営者との交流の中でこれまで培ってきた人脈や見識を県民の協働というテーマに沿って地域に還元していきたい。
特に防災とまちづくりの分野での事業化を残り２年の任期中に達成するため各方面のCSO団体との信頼関係構築を最優先課題としている。
任期後は取得した専門性の高い免許や資格を活用しながら地域にニーズのある課題に目を向けソーシャルセクターでのNPOの立ち上げや2次創業を目指す。

## 活動内容

**●災害支援団体での活動**

災害支援団体【SPF】の事務局担当として重機講習や防災講習の運営を担当、動画撮影・編集のスキルを活用した県内外へのPR動画制作。
（動画URL）
https://www.youtube.com/watch?v=EsZF2ExwoFw

**●まちづくり団体での活動**

地域の夏祭りでごみの分別と持ち帰りを呼びかける、【栄の国まつり ごみダイエット大作戦】にて全体統括業務を担当、動画撮影・編集のスキルを活用した県内外へのPR動画制作。（動画URL）
https://www.youtube.com/watch?v=5eCu6frGRqg

**●中間支援団体での活動**

CSO団体の伴走支援の為、日本ファンドレイジング協会の准認定ファンドレイザーを取得。人・モノ・資金・情報といった団体運営に不可欠なものを集め団体が活動を続けられるよう支援するスペシャリストを目指す。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）s.nomiyama@saga-suttc.org
（電話番号）080-6433-6891

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
アメブロ　https://ameblo.jp/cso-enmusubi/
Youtube　QRコードにて

# 佐賀県　草田　彩夏

**地域コミュニティ活動**

## 基本情報

【年　齢】
26歳
【出身地】
東京都江戸川区
【転出元】
佐賀県佐賀市
【前　職】
（株）LITALICO学習支援事業部 児童指導員/保育士/支援コンサルタント
【活動時期】
R4.1～（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

以前の仕事では自他ともに少しでも受容する事ができる環境作りや教育を「療育」という手段より熟考していました。一方で、都内特有の親子の距離感や習い事への依存意識に疑問を感じたり、地域で安心できる人と繋がれたりしていれば困りが減っていた可能性があると感じた事例も多くありました。近くで見ていてくれたり自分のことを認めてくれたりする人がいることがその人の安心や自信に繋がるのではと考え「子どもの居場所立ち上げサポーター」の仕事に魅力を感じて応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

佐賀県内の子どもの居場所を20市町全てに設置、運営する地域住民がいる状態を作ることが目標です。「居場所」に対する認知度や開設ハードルが高いエリアに対して、理解促進と丁寧な支援内容を伝えることによって達成していきたいと考えています。
任期後は未定ですが、子どもの居場所に対する価値の発信を中心とした活動を続けていきたいと検討をしております。

## 活動内容

**●子どもの居場所に関するリアル＋オンライン相談チャネル**

県域を対象に子どもの居場所開設希望者の相談チャネルが無かった点に着目し、隔週で子どもの居場所相談を佐賀市内で実施した。同時にLINEを活用して居場所開設希望者を対象にした相談チャネルを構築した。

**●開設希望者市町行政職員と関係者のマッチング**

子どもの居場所を開設、運営する地域住民と該当市町の担当職員や関係者とのマッチングを行い、必要な補助メニューの提案や地域資源の支援提案につなげている。

**●子どもの居場所開設の立ち合い、既存の居場所訪問**

県域で子どもの居場所を運営する方々へのヒアリングや状況視察を実施し、課題点や問題点を整理しながら必要な支援内容を県が委託する中間支援組織と検討している。
また、新規開設の際には立ち合いを行い安定した運営の支援をしている。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）kusada-ayaka@pref.saga.lg.jp　（電話番号）0952-25-7056

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

（子どもの居場所なんでも相談室）https://lin.ee/Zv4lJ6Y
（佐賀県　子どもの居場所　ポータルサイト）https://saga-codomo.com/

# 佐賀県　武田　有里子

**地域コミュニティ活動**

## 基本情報

【年　齢】
28歳
【出身地】
京都府　京田辺市
【転出元】
ドイツ　フランクフルト
【前　職】
旅行会社営業
お好み焼き屋副店長
【活動時期】
R3.12～
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

きっかけは孫ターンです。佐賀の伊万里に祖父母が住んでいて、小さい頃からよく遊びに行っていました。私の出身地はいわゆるベッドタウンだったので、伊万里の方がずっと“ふるさと”という気がしていました。外国に住んでいた時期もありましたが、佐賀の活性化に貢献したいと思い、応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

地域の人と外国の人の、小さくても長く続く交流を増やしていきたいです。地域の人と外国の人同士で顔の見える関係性を作るお手伝いをします。「△△人の○○さん」ではなく、「○○さん」自身を知るきっかけを作りたいです。地域の人たちには、佐賀に住む外国人住民のことをもっと知ってもらい、一方で、外国人住民には佐賀のいいところをもっと知ってもらいたいです。そのために、今後は地域により入り込んでいけたらと思っています。

## 活動内容

**●「やさしい日本語」でオンライン交流**

3月実施。対象は、多文化交流サポーター(県職員ボランティア）と、佐賀に来られず当時は、ミャンマーにいた待機留学生です。内容は、互いのおすすめ(場所、物、食べ物)を「やさしい日本語」で紹介し合うというもの。留学生からは、「佐賀に行く前に知り合いができて、安心した」という声が多く寄せられました。

**●「うちわ作り」で異文化交流**

6月実施。上記の待機留学生がようやく佐賀に来られることになり、対面の交流会が実現しました。内容は、日本人参加者にアイデアを出し合ってもらい、「うちわづくり」に決定。ミャンマーでのうちわに関する考え方なども知ることができました 。最後は作ったうちわを交換して、交流を深めました。

**●国際フェスタでブース出展しよう！**

9月～10月実施。県内大学生、留学生、多文化交流サポーターを集めて、10月末開催の国際フェスタでブースを出展してもらいました。国も世代も異なる彼らは、何度も話し合いを重ね、企画から運営まで全て行いました。異文化を体験できるブースは子供たちに大人気でした。

## 連絡先

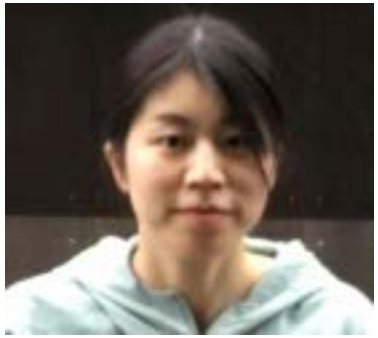
【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）kokusai@pref.saga.lg.jp
（電話番号）0952-25-7328

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Excellent Saga 佐賀県国際課）https://www.facebook.com/ExellentSAGA

# 佐賀県佐賀市　筒井　美由希

**地域コミュニティ活動**

## 基本情報



【年　齢】
３２歳
【出身地】
東京都　練馬区
【転出元】
東京都　練馬区
【前　職】
紙の専門商社事務
【活動時期】
Ｒ３．４～
（２年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

祖母の住む佐賀県で職を探していたところ、地域社会に貢献できる点や、前職と全く異なる職種で新たに挑戦できる環境に魅力を感じたため応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

森林空間とヨガを掛け合わせて、人の心を豊かにしたり、心身ともに健康でいられる取り組みをしていきたいです。地域住民の方の健康維持に目を向け、日常的な健康づくりの場を築くことを引き続き行います。

活動の場を拡げるため、子育て支援センターでのヨガ、都市住民向けに豊かな自然に触れあい、心身を癒す場としての森林ヨガ実施を予定しています。

## 活動内容

**●高齢者団体ヨガレッスン**

高齢者の方の負担軽減を考慮し、従来のマットを敷いて行うヨガではなく、椅子に座って行う椅子ヨガ教室の実施。簡単な動きで体を動かし、自律神経や心を整えてリラックスしていただけるような取り組みやすい内容。

**●地域イベント手伝い**

直近では、「古湯温泉秋の彩フェスタ」を実行委員会の皆さんと協力し運営のお手伝いをさせていただきました。様々な方と交流を深め良い経験となりました。

**●工作体験指導・補助**

NPO法人みんなの森プロジェクト、北山森クラブにて子どもたちに工作・指導補助のお手伝いをさせて頂いています。出前講座に出向くこともあり、中山間地域のことを知っていただけるきっかけ作りにも繋がっています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】

（メールアドレス）chiiki_kyoryoku@city.saga.lg.jp

# 佐賀県小城市　田中　あき

**地域コミュニティ活動**

## 基本情報

【年　齢】
３６歳
【出身地】
佐賀県小城市
【転出元】
東京都狛江市
【前　職】
事務職（建設業及びビルメンテナンス業の会社）
【活動時期】
Ｒ３.６～
（２年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

Uターン転職を考えるうえで、出身地である小城市に貢献出来るようなことをしたいなと思っていたところ、東京で移住の相談をしていて、さが移住サポートデスクの方に、小城市で地域おこし協力隊の募集をされていることを教えていただきました。
活動内容の説明を受け、棚田の保全や農業、地域づくりなど、未経験の分野ではありましたが、「面白そうだな」と興味を持ったので応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

ミッションは、江里山地域の活性化（アイデア創出とその具現化）と情報発信です。今後は、「棚田の保全と棚田で農業」をテーマに、以下の3つの項目につなげられるよう、地域のみなさんの思いを汲み取りながら、その実現に向けてサポートしていきたいと思っています。
１．お金を生み出す
２．農作物などをもっと売る
３．耕作放棄地を減らす

## 活動内容

**●農業体験（米・野菜の栽培）**

江里山の棚田での農業体験として、お米と野菜づくりに挑戦しています。栽培の経験がないので、地域のみなさんに助けていただくことばかりですが、お米や野菜を収穫する喜びを感じるとともに、栽培の大変さや棚田地域ならではの苦労があることも実感しました。

**●地域コミュニティへの参加**

江里山地域の伝統料理「さしみこんにゃく」を作り続けているグループの活動や、市内の中高生が農業体験を通して棚田の保全について学ぶ「江里山たなだ部」の活動に参加するなどして、地域内外の方との交流を深めています。

**●コミュニケーション誌の発行**

地域のみなさんとコミュニケーションを図るきっかけづくりとして、毎月１回、「だんだんだより」を発行しています。協力隊の活動内容を報告したり、地域活性化のヒントになるような情報を掲載したりしています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）nourinsuisan@city.ogi.lg.jp
（電話番号）0952-37-6125（小城市役所 農林水産課）

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）https://www.instagram.com/eriyama_tanada/

# 佐賀県大町町　公門　寛稀

**地域コミュニティ活動**

## 基本情報

【年　齢】
32歳
【出身地】
佐賀県佐賀市
【転出元】
神奈川県横浜市
【前　職】
NPO職員
【活動時期】
R2.10～
(3年目)

## 協力隊に応募したきっかけ

災害支援をおこなうNPOの職員として６ヶ所の支援活動に関わりました。被災地域の復旧、復興は短期間では答えが出ません。しかし、被災地域外から支援に入る外部団体として活動の区切りがあることに違和感を感じていました。そんな中、令和元年佐賀豪雨の支援で大町町と武雄市で活動しました。その後、大町町が継続した被災者支援の担当として協力隊を募集する事を聞き、協力隊という行政側としてこれまでと違う立場で防災に関われる事や地域と一緒に復旧・復興に取り組みたいと思い応募しました。

## 今後の抱負･任期後の目標

災害が発生すると、避難所の設置・運営、人命救助、り災証明の発行など各種手続き、災害廃棄物の受け入れ、仮設住宅の手配など行政が対応する支援は多岐にわたります。しかし、このような事に平時から具体的な対応を検討することは難しいと感じます。この様な課題を解決するためには、行政内にも防災の専門家を配置すべきと思い、防災コンサルタントとしてBCPなどのハード面ではなく、自治体職員の災害に係る制度認識向上や自主防災組織や地域ボランティア・NPO との連携調整など発災時に必要になってくる地域防災力向上に向けて行政と一緒に取り組む体制を作りたいと考えています。

## 活動内容

**●被災者からの相談対応、見守り支援**

R元年の災害発生時より、みなし仮設住宅の入居者へのフォローや家屋改修後のカビ消毒などの対応を実施。また、生活再建支援金などの公的支援の説明や申請サポート、体調面など気にかかる方がいれば保健師や担当部署に情報を共有し対応頂くなど、住民と行政の橋渡し役として活動。

**●発災時の災害対応コーディネーション**

協力隊着任1年目のR3年8月に豪雨災害が発生。NPO職員時代の支援者との繋がりを活かし、支援活動を実施。定期的な情報共有会議を行い、地域住民、社協、行政や県内外の支援団体の活動を調整。被災者ニーズを汲み取り各セクターの専門機関に繋ぎ対応頂くなど現地コーディネーターとして活動。

**●地域防災力向上**

行政やNPOと連携し、地域住民を対象とした、防災講座、避難所の設置体験会など防災・減災啓発活動を実施。また、発災時に協力頂いた地域住民や民生委員との繋がりを活かし、行政と連携した避難所運営の協力体制構築など進め、地域防災力向上を目指し活動。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(電話番号) 0952-82-3111

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
(Facebook) https://www.facebook.com/omachi.chiikiokoshi

# 長崎県佐世保市　榎本 秀実

**地域コミュニティ活動**

## 基本情報

【年　齢】
５７歳
【出身地】
東京都　大田区
【転出元】
東京都　大田区
【前　職】
会社員
【活動時期】
R2.4～
（3年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

両親共に東京育ちで田舎がありません。旅行や親戚の田舎を訪れるたびに、地方での暮らしに憧れるようになり地域で役に立てる事があれば、是非、移住したいと思いました。

## 今後の抱負・任期後の目標

地域に根差した活動を続け、移住者の指針を作りたいと思っています。

## 活動内容

● **「地域の生活環境向上」と「観光ポイントの美観の維持」「地域特産品の継承」**

地域に公共交通機関がなく自動車は必需品ですが地域に自動車整備工場がなく緊急対応ができず修理に時間がかかるので車や農機、船舶の修理依頼を受けています。高年齢化で除草作業や倒木処理が滞ってしまうので、できる範囲で活動しています。

除草作業での観光ポイント制作

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）hidemi.enomoto@city.sasebo.lg.jp
電話番号　黒島支所　0956-56-2001

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（フェイスブック）https://www.facebook.com/sasebochioko
https：//www.facebook.com/96shima

# 長崎県平戸市　齊藤 三花

**地域コミュニティ活動**

## 基本情報

【年　齢】
31歳
【出身地】
神奈川県　川崎市
【転出元】
東京都　文京区
【前　職】
保育園　調理師
【活動時期】
R4.4～
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

「平戸のきれいな海と人情に惚れて」
以前より田舎に住みたい、自身が癒されるきれいな海の側で暮らしたい、人の温かさに触れていたいと考えていました。将来、６次産業に挑戦する夢を持っており、地方移住では「食」に携わる仕事を優先事項で探し、マッチしたのが平戸市でした。さらに地方移住フェアでOBの方が親身に対応してくれたこと、支援が整っていることに安心感を抱き、応募を決めました。平戸市を知っていたわけではないのですが、今では地域に惚れ、地域のために動き続けたいです。

## 今後の抱負・任期後の目標

地域の方も観光で来た方もみんなが楽しく交流できる場を目指して、農業体験や地元食材を使った調理体験等のイベントを企画していきたいです。さらに地域食材の味を伝えるために、まずは手に取ってもらいやすく、目を引く加工品を製作していきたいです。地元の味×流行フードとして新しいけれども親しみやすいものを目指します。「食」を通じて多くの人が笑顔になり、「食」が人との繋がりのきっかけになるよう努めます。

## 活動内容

**●農業で地域と関わる**

まちづくり運営協議会を通じて、地域生産者から農業を学んでいます。まち協事業の小麦栽培に参加し、参加者とのコミュニケーションを通して地域の現状を把握するよう努めています。農業体験イベント等を企画するためにも、まず自身で学び、実践することでスキルアップしていきたいです。

**●農業体験、調理体験**

小学生向けの食育イベントに講師として参加しました。座学では小麦の成長や製粉の仕方を説明し、収穫体験では地域農業・地域食材への興味が増進するよう一緒に汗を流し、調理体験では作る楽しさや食欲増進に繋がる取り組みとなるよう心掛け実施しました。

**●地域食材の商品**

地域で収穫された小麦粉・野菜を使って、お菓子やお惣菜を製作しています。まずは地域の方に食べていただきたく、月に１度の地域市場「ぴんぴんシュシュ」で販売しました。地域になじみ深い味に近づくよう話を聞きながら今後も改善していきたいです。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
平戸市企画財政課（電話番号）0950-22-9105

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
来年度から始動を予定しています

# 長崎県新上五島町　濱本 憲吾

地域コミュニティ活動

## 基本情報

【年　齢】
37歳
【出身地】
大阪府茨木市
【転出元】
京都府京都市
【前　職】
芸能活動（ラーメン屋）
【活動時期】
R4.9～
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

幼少期からの夢だったお笑い芸人（タレント）を引退した時に、他にやりたい事が見つかりませんでした。
そんな時に、以前から知ってはいた地域おこし協力隊についてきちんと調べてみると、興味がわきました。芸能界でつちかったコミュニケーション力と話術をいかせるチャンスと思い応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

　今後は地域のみなさんが楽しめる交流を企画しています。
移動型のオリンピックなど思案中です。
任期後は地域の方が食べたいと言っている「ラーメン屋さん」を開業できればと思っています。

## 活動内容

**●文化的景観を守り、地域住民の心も守る**

文化的景観を守る為と、集落支援の為に空き家となっている家屋に生えている「ツタ」の除去作業を行いました。

**●パズルで作ろうピースの輪**

コロナ禍で人の集まりが少なくなっている中で、今までよりも小規模、少人数で開催している老人会の集まりに、地域の風景がで作ったジグソーパズルを少しづつ完成させて、いつもの集まりのなかにひとつ目標も定めて達成感を分かち合う為に運営。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）k.hamamoto@town.shinkamigoto.nagasaki.jp
（電話番号）0959-53-1113

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）https://www.instagram.com/chioko_snkm/
（Facebook）https://www.facebook.com/kami510chioko

# 熊本県菊池市　古閑　恵子

**地域コミュニティ活動**

## 基本情報

【年　齢】
55歳
【出身地】
東京都目黒区
【転出元】
東京都杉並区
【前　職】
起業コンサルタント
加工食品診断士
【活動時期】
R２.４～
（３年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

退職後、彼らの郷里である熊本県にUターンした親の介護問題が発生し、二拠点生活の方法を考え始めていた時に、ふるさと回帰支援センターHPで“地域おこし協力隊”の制度を知り、ビッグサイトのイベントに参加し菊池市の協力隊に応募。

## 今後の抱負・任期後の目標

加工食品診断士として安心安全な調味料の普及を行っていきたい。地元の豊かな恵みと温かい人々のマンパワーを活かし安心安全な調味料の製造もできたら・・・と考える日々。ターゲットは差別化を狙う幼稚園や学校給食。
地元のおいしい物とセットにし、都会向けのサブスクもやってみたい。

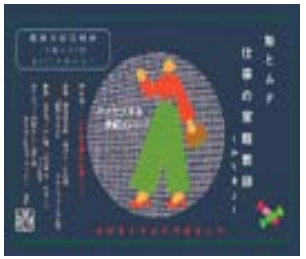
## 活動内容

**●おとな食堂**

フードドライブで集めた食材や、道の駅などから提供していただいた野菜を活用し、子どもシェフ達が独創的で予想外に美味しい創作料理を大人に振る舞う。子供たちの料理へのハードルを下げると同時に、大人たちの本音トークの場の提供を目指している。

**●仕事の家庭教師**

市役所や商工会に相談に行くほどではないけれど、これが解決したらスッキリする！
前に進める気がする！そんな小さなお悩みを持ち込んでいただき一緒に考える場の提供。
市役所を飛び出して定休日のカフェをレンタルして開催中。



**● 召しませ着物（浴衣）**

歴史のある菊池のまちには和装がとてもよく似合う。まちを和服で歩く人を増やすことを目的とし、地元のお母さんたちに浴衣を着つけて頂いたりカメラマンによる写真撮影を行ったりしている。和装の関係人口を増やすべく着付け教室も定期開催中。今後は着物で参加したくなるイベントも開催していく予定。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレスkk.labplus@gmail.com (古閑氏の会社)
shoukou@city.kikuchi.lg.jp（菊池市商工振興課）
（電話番号）0968-36-9720（菊池市商工観光課）

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://www.facebook.com/菊池市-地域おこし協力隊-765929873524925/

# 熊本県玉東町　稲井　萌実

**地域コミュニティ活動**

## 基本情報

【年　齢】
３３歳
【出身地】
兵庫県神戸市
【転出元】
熊本県熊本市
【前　職】
山小屋アルバイト
【活動時期】
Ｒ４．９～
（１年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

夫の故郷であるウクライナが軍事侵攻を受け、玉東町でもウクライナ避難民を受け入れるプロジェクトが始動したことを人伝いに聞いた。ウクライナへの渡航歴もあり、多少ながらウクライナ語がわかるので自分に何かできることがあるのではと感じた。また、ちょうど、今年から夫の仕事で熊本県に移り住んだところでタイミングが良かったこともあり、応募させていただいた。

## 今後の抱負・任期後の目標

現在町に避難したウクライナ避難民の方々は来年夏～秋まで有効のビザを持っていることもあり、この1年は日本での生活に彼らが慣れることができるよう、また自立できるように支援していきたい。
同時に、ウクライナ人のみならず他の外国人住民と日本人町民が共生し、共に良い影響を与えあえるような町づくりに尽力したい。

## 活動内容

**●ウクライナ避難民受け入れプロジェクト「Orange Network Project（ONP）」**

玉東町と特定非営利活動法人【れんげ国際ボランティア会（ARTIC）】と協働でウクライナ避難民受け入れプロジェクトを発足。現時点で４世帯の家族を受け入れており、チームで協力して日々の生活支援、教育支援を行っている。

**●ウクライナ避難民４世帯受け入れ**

避難民受け入れに伴い、空港への迎え、メディア取材や歓迎セレモニー対応、そして日本の制度や慣習を紹介するオリエンテーションの実施を行った。

**●木葉小学校にて多文化共生プレゼンテーション**

JICAとONP共同で避難民の子どもを受け入れる小学校にて多文化共生プレゼンテーションを行なった。私はウクライナの国情報や簡単な言葉の紹介、当日の簡単な通訳を担当した。

**●町民誌で世界について伝えるコーナー作成**

多文化共生促進の一環として、「ハローワールドGYOKUTO」コーナーを町広報紙にて毎月連載している。初年度はウクライナという国をテーマに、文化紹介ややさしい日本語をテーマに記事を作成している。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
主の活動であるウクライナ避難民受け入れ事業HP：https://orangenetwork-on.com/

# 熊本県芦北町　大町　陽平

**地域コミュニティ活動**

## 基本情報

【年　齢】
４２歳
【出身地】
東京都　日野市
【転出元】
東京都　日野市
【前　職】
木造住宅加工工場の配送・生産管理、ベトナム人技能実習生世話役
【活動時期】
Ｒ２．１０～
（３年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

・未知なことに挑戦したい

・地域の人と一緒におもしろいことをして、一緒にたくさん笑いたい

## 今後の抱負・任期後の目標

・キャンプ場をよりたくさんの人に利用していただき、当地域の豊富な自然に恵まれた素敵な山里のファンを増やす

・地域の人が自信を持って作っているお米がより高く売れるシステムの構築

・地域でのイベント（お祭り等）を企画し、子供からおじいちゃんおばあちゃんまで楽しめることをしていく

## 活動内容

**●キャンプ場運営**

山里の地域にて自然を活かしたキャンプ場を2箇所開設しました。
1箇所目は休耕期の田んぼ、2箇所目は使用していない山林です。
開設にあたり、地域の人に多大なる協力をしていただきました。

**●キャンプ場を通した野外体験・地域交流**

運営している田んぼのキャンプ場にて地域の保育園の子供達と田植え・稲刈をして、できたお米をキャンプ場で竹で炊いて食べました。
また、地域の子供達・大人の人達にキャンプ場に集まっていただきBBQ・竹のそうめん流し等をしています。

**●農業実践**

地域の農事組合の方々と一緒に当地域のメイン作物の米を中心に作りながら、農業を教えていただいています。また、田んぼを貸していただき自分でお米を作り販売にもチャレンジしています。
農業を通して、地域のこと・地域の人達をより知っていき、地域の発展に繋げていきたいです。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）machi85machi@gmail.com
（電話番号）0966-82-2511
葦北郡芦北町役場企画財政課

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】
Facebook〖芦北町地域おこし協力隊〗INSTAGRAM〖oonocamp〗

# 熊本県水上村　本岡　康博

**地域コミュニティ活動**

## 基本情報

【年　齢】
39歳
【出身地】
熊本県多良木町
【転出元】
神奈川県川崎市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R3.9.13～

## 協力隊に応募したきっかけ

キャリアアップを目指し転職を考えていた時期に、母からの勧めで地域おこし協力隊の話を聞きました。地元のために働けることや、人と直接関わる仕事内容に魅力を感じ応募させていただきました。

## 今後の抱負・任期後の目標

任期中にできるだけ多くの福祉関係の資格を取得し、
任期後も福祉関係で水上村の発展に貢献できる
ような仕事に就きたいと思っています。

## 活動内容

**●地域高齢者の介護予防活動の支援、参加者の送迎**

・一般介護予防事業　「元気くらぶ」
・水上村社会福祉協議会委託事業「ふれあい会」
・住民主体の「通いの場」の支援

**●高齢者支援に必要な活動及び現地での支援**

・地域おこし協力隊合同活動
　「地域の清掃活動・避難所の支援活動」
・一人暮らし高齢者の見守り・傾聴活動
・公民館での地域高齢者との交流会

**●熊本保健科学大学との包括連携協定による高齢者の活動支援**

熊本保健科学大学との合同事業の体力測定・チェックリストや各種調査への支援

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）motooka@vill.mizukami.lg.jp
（電話番号）0966-44-0313　（職場 ・ 水上村役場 保健福祉課）
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
インスタグラム mizukami_kyoryokutai5
mizukami_hokenfukushi

# 大分県佐伯市　ノブ ムラナカ

**地域コミュニティ活動**

## 基本情報

【年　齢】
39歳
【出身地】
東京都 東村山市
【転出元】
神奈川県 藤沢市
【前　職】
外資系企業マネージャー
【活動時期】
R3.10～
(2年目)

## 協力隊に応募したきっかけ

2020年まで北米で18年過ごす中で、日本の風土・文化をきちんと自らの五感を通して知りたかったことがそもそもの動機。そして、土地の魅力を地域内の方々に再認識してもらい、海外を含めた地域外の方に共感してもらうきっかけづくりを考えていました。
その中で、大分県佐伯市の地域の方々のやさしさ、豊後水道や番匠川を育む美しい自然というアウトドアフィールド、今後の持続可能性・責任ある社会構築に不可欠なオーガニック憲章に大いに魅了され佐伯市を選びました。

## 今後の抱負･任期後の目標

定住することが大切なことに理解を示しつつ、人・知識・経験が循環する社会を目指しています。
一つの地域に移住定住者が増えるという事は、他地域からの流出があるという事、他の地域の発展の機会を奪う事になりかねないと自問自答しています。日本全体の幸福を考えると、もっと軽やかに地域と地域が、日本と世界がワクワクする事で繋がっていくことを夢見る者の存在もまた大切と考えています。任期に捉われずに、そのような自分を受け入れてくれる地域や組織と共にのんびり生きていくことが目標です。

## 活動内容

**●アウトドア推進による地域活性化**

「自然」というコンテンツだけではなく、他の付加価値と組み合わせたイベントを企画運営。地域外の方が楽しんで終わるのではなく、地域内のデマンドも考慮し、双方のメリットを考える。ミニマム・オペレーションにすることで、地域住民が自立し、継続運営できるよう、様々な意味でのサスティナブルな道筋をのんびり模索中。

**●実証有機圃場の管理運営**

耕作放棄地や就農問題を抱える中で、「農業」や「オーガニック」というものにまず興味関心を持っていただけるよう、家庭菜園イベントを実施。育てる喜び→市民農園→休耕地へと繋がっていくストーリーを目指す。また、圃場にウッドデッキを作るなどして、気楽に、気軽に楽しめる空間づくりをしながら、今日も雑草と格闘中。

**●その他**

各種アンケート調査や顧客分析を通して、行政・民間含む地域の方々へ、最適なオペレーション、改善点の洗い出し、潜在的なデマンド等を共有中。
地域の人々にデータの重要性を理解してもらい、主体性を持ってアクションを起こしてもらい、失敗を恐れない文化の浸透を目指す。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（電話番号）0972-46-1111（大分県佐伯市 弥生振興局）

# 大分県竹田市　レナルディ・フィルマンシャー

地域コミュニティ活動

## 基本情報

【年　齢】
24歳
【出身地】
インドネシア
【転出元】
大分県別府市
【前　職】
なし
【活動時期】
R3.11月～
（２年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

私は、竹田市の経済的、文化的、社会的発展に貢献できる外国人、特にインドネシア人のコミュニティを作ることを目指している。日本人と外国人が一緒に竹田市を作り上げていく姿を見ることができるのは、とても良い機会だと思う。

## 今後の抱負・任期後の目標

外国人技能実習生の受け入れを継続的に支援し、竹田市での実習生の生活や仕事を可能な限りサポートしていきたいと考えている。また、竹田市の国際的なコミュニティを常に向上させることを目指している。

## 活動内容

**●外国人技能実習生受入業務従事**

技能実習監理団体として、竹田商工会議所が取り組んでいる「外国人技能実習生」受入事業に従事する。海外から規律と情熱を持った若い実習生を受け入れることで、労働力を必要としている企業の手助けをすることを目指している。

**●技能実習生入国後講習担当**

竹田商工会議所では、約1ヶ月間、入国した実習生に日本の生活習慣やルール、マナーについての指導をし、今後実習先での実習が少しでも円滑に進むことを目的として講習を行っている。

**●ランゲージ交流ルーム**

担当者として、様々な活動を通じて、外国人と日本人が交流し、互いの言語や文化を学び合う機会を提供することを目指している。活動は毎週水曜日の夜、竹田交流プラザで行っており、年齢、性別、経歴に関係なく、誰でも参加できる。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）Lenardi@taketa-cci.or.jp
（電話番号）0974-63-9018

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（竹田商工会議所）https://www.taketa-cci.or.jp/

LINEはこちら

# 宮崎県都農町　石原　英明

**地域コミュニティ活動**

## 基本情報

【年　齢】
38歳
【出身地】
岐阜県　岐阜市
【転出元】
岐阜県　岐阜市
【前　職】
サッカークラブ運営・
人材派遣・電力事業など
【活動時期】
H31.4～
（4年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

知人から都農町でスポーツによる地域活性化のプロジェクトが立ち上がることを聞き、これまでの経験を活かした活動ができると感じたため。

## 今後の抱負・任期後の目標

ツノスポーツコミッションの基盤づくりを行い、現在取り組んでいるプロジェクトを継続、発展させる。また、新型コロナウイルスの影響により滞っていた交流人口増加に対する施策や、地域課題に取り組む人材の育成にも本格的に取り組みたい。

任期後は、継続してツノスポーツコミッションの運営を行いながら、全国の様々な地域とのネットワークを構築し、スポーツによるまちづくり・人材育成という分野全体が活性化されるような取り組みを都農から発信したい。

## 活動内容

一般社団法人ツノスポーツコミッションの代表理事として、各種事業の企画・運営・管理等を行う。
一般社団法人ツノスポーツコミッションは、スポーツを活用した若者の移住促進と、地域課題の解決および地域ぐるみでの人材育成を目指す。

### ①つの職育プロジェクト

株式会社J.FC宮崎が運営するサッカークラブJ.FC MIYAZAKI(現ヴェロスクロノス都農)を都農町へ誘致し、都農町とJ.FC宮崎との三者協定により、互いの資源や機能などの活用を図りながら都農町への移住・定住を促し、都農町の農業・商業・工業・福祉等、労働力が不足している町内事業者等での職場体験を通じ、自分に適する職業を見つけた若者が夢を追いかけながら町の新しい活力になることを目指す。地域おこし協力隊制度も活用し、競技活動と同時に住居整備、にぎわい創出、魅力発信などの移住定住対策事業、また期間産業である農業の担い手不足緩和のための農家支援、マッチング事業なども行う。

### ②ツノスポーツアカデミー

「よき社会人であれ」をコンセプトに「スポーツ」「生活」「教育」「職育」を通して少年期から青年期までの若者を、行政、地元企業、農家等、地域ぐるみで育てる取組。町内唯一の高校だった都農高校の閉校に伴う若者流出の対策としての側面もあり、所属する高校生は町外、県外出身者がほとんどで、高校の3年間を町内の選手寮で生活しながらスポーツ、教育、職育に励む。地域を引っ張て行く人材を育てるとともに、若者がチャレンジしやすいまちづくりを目指す。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）info@tsunospo.com（電話番号）0983-32-0137
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（HP）https://tsunospo.com
（Facebook）https://www.facebook.com/tsunospo
（Twitter）https://twitter.com/tsuno_oko
（Instagram）https://www.instagram.com/tsuno_oko

# 鹿児島県鹿児島市　増留　愛香音

**地域コミュニティ活動**

## 基本情報

（左側）

【年　齢】
35歳
【出身地】
鹿児島県鹿児島市
【転出元】
東京都杉並区
【前　職】
国際NGOにて海外開発協力担当
【活動時期】
R2.10～
（3年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

小さい時から当たり前にあった桜島は、見るとほっとする存在で、県外や国外から帰ってくると、鹿児島愛を感じさせてくれる桜島。そんな地元の身近な存在を生かして、地域をより元気にする活動をしたい！、と思い応募しました。

同世代が鹿児島に戻ってきたい、住みたい、と思えるような活動に繋げていきたいです。

## 今後の抱負・任期後の目標

地域の魅力を外部へ発信し、移住者や来訪者の増加に寄与できる活動を行っていきたい。

桜島の空き家を活用した、地域の拠りどころや、地域密着型マルシェなどの開催を目指したい。

## 活動内容

### ●地域情報誌「さくらじま便り」の発刊

地域の魅力を桜島内外に発信する地域広報誌を桜島在住のイラストレーターと協力して発刊しました。また、オンラインでも読めるようにアップしています。

### ●地域イベントの復活開催

夜空を見ながら徒歩で桜島を一周する「サクイチナイトウォーク」を復活して開催しました。

夜間に見る桜島の姿や夜空に照らされる地域の情景など、地域資源の新たな魅力発掘につながりました。

### ●イベントの開催や開催協力

地域住民やダンス講師と共に、地域での生涯学習の充実を目指すべく、親子ダンスイベントを、自主学習グループとして開催しました。

また、学校シューズを再利用するための洗い方を子どもが学ぶイベントでは、地域事業者の方々へのご協力のお願いや、島内の学校への参加の呼びかけなどを協力させてもらいました。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）a.masudome@sakurajima.gr.jp
（電話番号）099-245-2550　（勤務先：NPO法人 桜島ミュージアム）

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Facebook）https://www.facebook.com/Sakurajima.1117m
（twitter）https://twitter.com/LifeSakurajima

# 鹿児島県鹿児島市　押川　蓮斗

**地域コミュニティ活動**

## 基本情報

【年　齢】
32歳
【出身地】
鹿児島県鹿児島市
【転出元】
大阪府吹田市
【前　職】
広告代理店／メディアプランナー
【活動時期】
R2.10～
（3年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

学生時代にソーシャル/コミュニティデザインといったキーワードに触れたことで、自分のスキルを地域活動に活かせないか検討したことが、はじめの一歩のような気がします。就職後、よりやりたいことに近づくために地域に飛び出すことが必要なのでは、という考えに至り、応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

鹿児島／桜島の地域は、魅力的な自然や人の営みがあり、また地域想いの方もいらっしゃる素敵なエリアです。一方で、地域の方のお話を聞けば聞くほど課題は山積していることを実感しております。世界的に見れば偏った課題と見えたり、“自然”に抗う行いと捉えられたりすることも地域課題にはあるように思えます。
それでも、この地域が積み重ねてきた努力の上になにかできることがあると信じて、正しいと思えることに時間の限り尽くしていきたいと思います。任期後も、生まれたての我が子が成長していける環境を、この地域に残していくための活動を、この地域で行なっていきたいと考えています。

## 活動内容

### ●地域産業(農業・観光)活性化支援

農業支援として、魅力的な産品の発信方法の磨き上げをすべく、イベント企画や広報支援を行っております。
また、観光支援として、2次交通の問題や地域のキャッシュポイントづくりとして、Eバイクによるガイドツアーを企画開発しております。

特産品PRイベント広報支援

Eバイクツアー開発

### ●交流人口(主に学生)創出支援

地域には高校や大学がなく、若者と地域の関わりしろが少なくなり、地域の人材流動性に欠けていることが地域活性化への課題と捉えています。そのため、鹿児島の学生と地域を結びつける活動として、桜島でのインターンの受入活動や地域コミュニティイベントへの誘致活動を行なっております。

農家との交流

地域コミュニティとの交流

### ●高齢者等へのデジタル支援

桜島地域は少子化とともに高齢化も進んでおり、昨今の急速なデジタル化に伴い、デジタルに不慣れな高齢者等も増えています。そういったデジタルデバイドを少しでも解消するためスマホ教室を開催するなど、地域の高齢者等へのデジタル支援を進めています。

ポスター

勉強会の様子

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）r.oshikawa@sakurajima.gr.jp
（電話番号）099-245-2550 （勤務先：NPO法人 桜島ミュージアム）

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Facebook/Instagram：押川蓮斗(Rento Oshikawa)
協力隊公式ウェブサイト：https://sakurajima-area-okoshi.studio.site/

# 鹿児島県鹿屋市　元村　早希

**地域コミュニティ活動**

## 基本情報

【年　齢】
30歳
【出身地】
大阪府堺市
【転出元】
兵庫県三田市
【前　職】
電機メーカーの工場営業
【活動時期】
R4.1～
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

コロナ禍の影響で、在宅勤務や外出自粛が求められるなか、これまでの働き方や暮らし方に違和感を感じるようになった。人とのつながりが感じられる環境に身を置きたいという思いから、地方移住に関心を持ちはじめ、ローカルキャリア相談会に参加したことをきっかけに、鹿屋市での協力隊を目指すようになった。

## 今後の抱負・任期後の目標

着任から１年弱経って、まだまだ地域住民とのネットワークが狭いと感じている。今後は、少しでも多くの地域住民と関わりながら、地域とのつながりを強固にしていきたい。具体的な活動としては、地域住民が先生となって好きなこと・得意なことを教え合う「趣味の教室」を開催したい。特に、郷土料理や魚の捌き方など、地域の方があたりまえに感じていること、地域ならではのものを活かした講座を、地域の方と一緒に作っていきたい。

## 活動内容

**●耕作放棄地を再生して野菜づくり**

人口減少や高齢化に伴い、地域には耕作放棄地が増え、鳥獣被害や景観悪化に繋がる問題となっている。少しでも状況を改善しようと、地域団体で畑を借り上げ、野菜づくりに取り組んでいる。収穫物販売による自主財源確保や、植付/収穫体験による交流機会創出を目指している。

**●地域交流の拠点づくり**

小学校の廃校を活用した宿泊施設「ユクサおおすみ海の学校」を拠点に、地域住民や地域外からの多様な世代が交流できる、つどいの場づくりに取り組んでいる。R4年度は、スクエアステップ交流会、SDGsキャンプの受入、軽トラ朝市等を企画実施。

**●「荒平天神」の賑わいづくり**

地域の宝として大切に守られている、風光明媚な観光スポット「荒平天神」をはじめとした、地域の魅力を発信し、賑わいを作りだそうという活動。昨年度、新しいお土産品として御朱印や合格鉛筆を開発し、多くの来訪者に購入いただいている。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（電話番号）0994-45-6930

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

Homepage　Facebook　Instagram

# 鹿児島県大崎町　NGUYEN THI ANH TUYET

**地域コミュニティ活動**

## 基本情報

【年　齢】
27歳
【出身地】
ベトナム（ゲーアン署）
【転出元】
鹿児島県鹿児島市
【前　職】
大学院生
【活動時期】
R４.７月～
（１年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

日本に来てから今は8年目です。学生時代には、在鹿児島ベトナム人会と共に、鹿児島県民とベトナム人住民を結ぶ活動に努めていました。卒業後は、勉強した知識、また得た経験や体験などを活かせる仕事が第一の希望でした。そして、７年間優しく育ててくれた鹿児島に大恩返ししたいから、鹿児島で働きたいとずっと思っていました。そのため、大崎町への多文化共生の推進を目的に協力隊員になりたいベトナム人を探していると聞いた時、躊躇わなく応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

大学での専攻は農業だったため任期後に母国に帰り、農業・農村開発省の国際協力課に働くことを目指しています。ベトナムにいてもベトナムと日本の友好事業に貢献したいと思っています。また、大崎町はゴミリサイクル日本一の町であるため、帰国後に大崎町の素晴らしさを環境問題が大変となっている母国にも広げていきたいと考えています。

## 活動内容

**●ベトナム語の通訳・翻訳**

大崎町役場の広報誌、ゴミ分別ガイドパンフレット、ゴミ分別手引きなどの翻訳をしています。そして、企画課の活動でもあり、役場本館の住民環境課も共に動き、窓口に来られるベトナム人の方々に、また交通安全講座、ゴミ分別講座、防災訓練などで通訳をしています。

**●外国人住民の生活の支援**

ベトナム人住民とコミュニティを取るため、Facebook への「在大崎町ベトナム人会」を作成し、管理しています。これを通して町内のベトナム実習生の声を聞いて、また夜間にも悩み相談、対面相談などを受けています。

**●国際交流・多文化共生の理解の促進**

町民の異文化の理解を深めることできるようにベトナム文化紹介、国際交流イベントの企画を立ちあげて、実施しています。町内の在住外国人も日本人と接する機会を増やすため、イベントの一部の内容を担当させます。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
大崎町役場　企画政策課
（電話番号）099-476-1111

# 鹿児島県南大隅町　福元　信一郎

**地域コミュニティ活動**

## 基本情報

【年　齢】
50歳
【出身地】
鹿児島県鹿児島市
【転出元】
鹿児島県鹿児島市
【前　職】
調理師
【活動時期】
R３.９～
（２年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

自然豊かなところでお店（飲食店）をしたい。という思いから、50歳を目前にチャレンジするなら今と考え前職を退職。

地域おこし協力隊の話を聞き、南大隅町の募集があることを知り、すぐに応募しました。

## 今後の抱負･任期後の目標

地域にもっと多くの人が定住できるように、仕事の場を増やし、心豊かな生活を送れるように公民館活動も継続して取組を進めます。

## 活動内容

**●辺塚だいだいの加工･商品開発**

GI登録の「辺塚だいだい」ですが、なかなか販路がなく、集落内ではあまり収穫されずそのままの状態で放置されています。
活用方法の幅を広げることを目標に、果汁を使ったムースやゼリーなどを試作してみました。今後は販売できるよう進めていきます。

**●海を望む棚田で手植えにチャレンジ**

活動拠点の「辺塚」の米はおいしい！はじめて辺塚に来た時に感じた感想です。今後、この地区で飲食をするならば、自分で育ててみることに。
農業の大変さ、大切さ、考え方などを学ぶため、手植え・田車除草など、昔の方法でチャレンジしました。

**●活動拠点「辺塚地区」の関係人口拡大の可能性**

鹿児島大学のゼミ、東京農業大学のアジア・アフリカ研究会サークルの研修受入れを、地域の方々と一緒に行いました。地域の生活や歴史、文化。辺塚だいだいなどの農産品について、鳥獣害対策や地理的要因による農業スタイルなどを体験と交流によりお伝えしました。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）hetukakyouryokutai2021@gmail.com
（電話番号）0994-25-1308

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Instagram ID：minamioosumi.hetuka
Facebook　ID：佐多辺塚協力隊

# 鹿児島県屋久島町　池添　慧

地域コミュニティ活動

## 基本情報

【年　齢】
29歳
【出身地】
東京都　清瀬市
【転出元】
茨城県　水戸市
【前　職】
農業専門学校職員
【活動時期】
R2.7～
（3年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

生まれてからずっと都会暮らしだった自分が、農業を通じて自然と関わりながら暮らす生活の中に自分の生きがいを見つけ、より自然あふれる場所で自分のスキルを磨きたいと思ったため。

## 今後の抱負・任期後の目標

活動も３年目に入ったことから、まずは任期後も口永良部島に居続けたいという強い気持ちを実現できることを第一に、残り任期中の活動に取り組んでいく。

任期後は、東京の生活で人生の目標を見つけられなかった私が、「ここに来てよかった、この島にずっと住みたい」と感じたように、誰かにとって人生の生きがいを見つけられるきっかけを提供できる活動を島でしたい。

## 活動内容

**●地域のマンパワー**

100人の島の1人として、地域行事や手伝いに参加。
草刈り・温泉掃除などの日々の活動から、災害復旧活動まで、地域のマンパワーとして活動に取り組んでいる。

**●観光案内、情報発信**

口永良部島観光案内所の運営の傍ら、SNSを通して観光情報や災害情報など、小さな島の情報発信活動をしている。

**●空き家改修**

任期中に発見した島の課題の解決、そして自分の生きがいの実現、2つの目標を叶えるため、住めなくなった空き家を解体して、模索しながら夢の実現のために改修を行っている。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Facebook）https://www.facebook.com/kei.ikezoe.9
（Twitter）https://twitter.com/KeiErabu
（note）https://note.com/shizengasuki

# 06 漁業・水産業

# 北海道奥尻町　仲川　明夢

**漁業・水産業**

## 基本情報

【年　齢】
１９歳
【出身地】
北海道北広島市
【転出元】
北海道北広島市
【前　職】
学生
【活動時期】
R3.5.1～ R5.4.30
(2年目)

## 協力隊に応募したきっかけ

将来漁業に携わる仕事がしたいと思っていたところに、高校の先生と奥尻町役場の水産担当の方から地域おこし協力隊の情報を教えていただき、奥尻町の地域おこし協力隊に応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

協力隊の活動が順調に進んでいるので、残りの時間も悔いのないように活動していきたいです。任期終了後は奥尻島で漁師をやろうと思っており、協力隊の活動で取得した知識や経験を活かしながら、漁師として活動していきたいです。

## 活動内容

**●漁師について研修中**

任期終了後は奥尻島で漁師をやろうと思っており、現在それに向けて地元の現役漁師さんの所で漁法や漁具の作り方を学び、任期終了後に漁師として活動できるように研修を行っています。
他に、鹿部町にある北海道立漁業研修所に入学し、漁師に必要な免許などを取得してきました。

**●水産に関する業務**

海洋に関する調査や、種苗の放流など水産に関する業務をしています。

**●SNSを使った情報発信**

インスタグラムを中心に、SNSを使って奥尻島の観光地やイベントなどに実際に行き、写真や動画を撮影し、現地に行ってみての感想と紹介を付けて投稿しています。

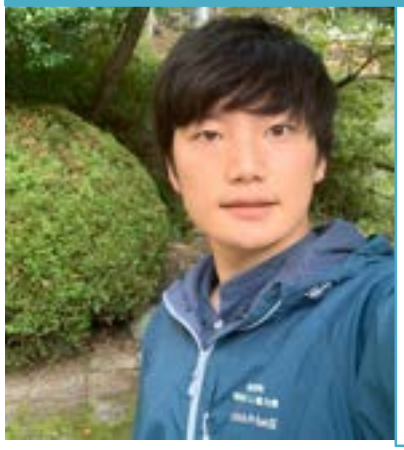
## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）https://www.instagram.com/okshiri_chiikiokoshi

# 東京都奥多摩町　市原　達也

**漁業・水産業**

## 基本情報



【年　齢】
24歳
【出身地】
埼玉県坂戸市
【転出元】
静岡県静岡市清水区
【前　職】
水産食品の卸売り
【活動時期】
R4.3～

## 協力隊に応募したきっかけ

・幼少期から川や魚が好きな自分にとって、魚の飼育や加工、販売に携われる「内水面漁業の振興」という活動内容がとても魅力的に感じたため。
・今まであまり関わりのなかった土地で、今の自分に何ができるか挑戦してみたいため。
・都市部よりも地方に住む方が自分に合っていると感じていたため。
・地方移住が昨今のブームとなっている理由が何なのかを身をもって知りたかったため。

## 今後の抱負・任期後の目標

・1年目までに毎年廃棄されている採卵後のヤマメを活用した「揚げかまぼこ&すり身」の開発・加工によって、奥多摩の新たな特産品を確立させる。2年目以降は新たな商品を開発する。
・町内外の漁協や養殖業者が育てた川魚を食べられるイベントを企画し、開催する。
・任期後も奥多摩の魚を活用した商品開発やイベント開催、その他新たな試みを町内で継続し、漁業の視点から奥多摩を盛り上げる。

## 活動内容

**●飼育池の管理**

出勤している日はほぼ毎日、町内の小河内漁協の飼育池にて、ヤマメやイワナなどの飼育管理をしています。主な内容は給餌と池の掃除ですが、釣場や飲食店から注文が入れば、出荷作業も行います。魚のへい死率を減らすために、水温や泳ぎ方、エサの食べ具合を確認しながら大切に育てています。

**●河川で渓流魚の放流**

禁漁の期間中には稚魚、渓流釣りの解禁日や夏の釣り客が多く訪れる夏には成魚を放流します。現在は年に数えるほどしか放流を行っていませんが、釣り客をさらに誘致するために、夏の期間は放流の頻度を月に2回程度に増やし、HPやSNSで発信しようとと考えています。

**●魚の加工・販売**

奥多摩のブランド品である“奥多摩やまめ”のフィレや燻製などの食品の加工をお手伝いしています。また、今後は町内に新たなお土産・特産品を商品化するべく、採卵後のヤマメを活用した新商品の加工や販売活動(パッケージデザイン作成・イベントで出店など)を行っていきます。

奥多摩やまめ

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Twitter）https://twitter.com/okutama_osakana

# 岡山県美作市　宇都宮　健二

**漁業・水産業**

## 基本情報

【年　齢】
48歳
【出身地】
兵庫県姫路市
【転出元】
兵庫県姫路市
【前　職】
製造業
【活動時期】
R2.10.1～ R6.3.31
（3年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

前職では、蛍光灯や給湯器、オートバイ部品など製造に関する仕事をしていたが、激務で体調を崩すなどしており、この先どう働いていこうかと考えていた。最後の会社を辞めると決めたころに、Facebookで継業バンクの募集記事を見つけ、「これは僕のためにある仕事だ」と思い、すぐに応募を決めた。10年ほど毎週のように渓流釣りを楽しんでおり、美作市には何度か訪れる中でいい印象もあったことから、移り住むことに何も抵抗はなかった。

## 今後の抱負・任期後の目標

今後の抱負
・他の養魚場へ研修に行き、生産効率の向上を目指す。
・右手養魚センターを広く宣伝し、販売促進活動を行う。
・インターネット等を活用し、新販路の開拓を行う。

任期後の目標
・後継者となり、地域の行事等の盛り上げに取り組む。
・市全体の産業の発展のために市内全域で連携を強化する。
・後継者を育成して、将来へバトンを繋ぐ。

## 活動内容

**●譲る人と受け継ぐ人**

事業を譲る右手さん（写真左）と事業を受け継ぐ宇都宮さん（写真右）。協力隊の任期を通して、基礎から技術を学び、事業承継に向けて準備を進めている。

**●魚の育成**

魚の様子を見ながら、餌の量を調整するのも大事な仕事。育てる人によって魚は変わると言われている。

**●魚の選別**

養魚池の数が限られており、生育と生産量のバランスを取るため、大きさや色をチェックし、アマゴの選別をする宇都宮隊員。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（ホームページ）　https://genryunosato-ute.com/
（インスタグラム）https://www.instagram.com/ute_fish_farm/

# 香川県土庄町　吉田　小百合

**漁業・水産業**

## 基本情報

【年　齢】
39歳
【出身地】
東京都板橋区
【転出元】
東京都板橋区
【前　職】
YouTuber/Webコンサル
【活動時期】
R3.8～

## 協力隊に応募したきっかけ

R3年の春、取材の仕事で初めて小豆島を訪問、土庄町に滞在。この取材で移住者、協力隊卒業生、地域の方々と交流する機会があり、自身の情報発信に関する実績やノウハウで地域の役に立てるかもしれないと感じる。1週間の滞在中に偶然見かけた移住者インタビューの記事内に締切間近の協力隊募集情報を見つけて応募に至る。（他にもいくつか理由があるので詳細は下記記事をご参照ください。）
▶海外から一時帰国した私が小豆島へ移住した7つの理由
https://00m.in/mGVpL

## 今後の抱負・任期後の目標

▶今後の抱負
地域おこし協力隊とは、「地域が持続可能になる方法を共に模索する存在」「地域に気付きを与える存在」「地域が多様性をもつための存在」この3つを指針にして行動しています。地域で頑張る人や魅力をSNSを始めとした各種媒体で発信しながら、土庄町の魅力を伝えていく所存です。
▶任期後の目標
構想中ですが、協力隊を経験できたからこそ見えた地域の課題を解決するビジネスに取り組む予定です。

## 活動内容

### ●親子向けオンライン食育＆社会科見学イベント

全国の親子と地域の子どもを対象。魚食普及、漁師の仕事や地元漁協立ち上げの地魚ブランド小豆島島鱧の認知度拡大を目指した企画。Zoomを使い、料理家と一緒にハモのミンチでかまぼこを作り、調理の空き時間で漁港から活きたハモの様子を中継。参加者と漁師さんとの交流コーナーも設けた。

▶活動事例① https://00m.in/MGGcK

### ●学校給食の地場産物提供とYouTubeを使った漁業振興

町内の学校給食を担う給食センターが給食で地場産物を扱う際に協力隊としてコラボ。給食で食べるだけでなく漁師の仕事も知ってもらおうと底曳き網漁を取材、動画に。小中学校に導入されているICTを使って動画視聴、タブレットで質問を募集。給食中に漁港からYouTubeライブで中継。中学校と漁協の協力を得て、活きたハモの力強さと質問への回答を生放送。 ▸活動事例② https://00m.in/vkdrm

### ●漁師による魚礁設置と調査を県水産課協力のもと発信

瀬戸内海の漁獲量減少に悩む地元漁師らが漁業活動と並行し海の環境改善に取り組む活動の魚礁の設置、その後の香川県による水中ドローン調査、などを数ヶ月かけて同行取材。魚礁の設置、数ヶ月後に魚礁にタコを確認、魚礁付近で産卵前のタコ放流など、地元漁師の一連の活動を動画などで発信。

▶活動事例③ https://00m.in/8BBWp

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（電話番号）土庄町役場 農林水産課 0879-62-7007

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（note）　https://note.com/sayulog/
（Instagram）　@tonosho_tiikiokoshi / Facebook @tonosho.kyoryokutai

# 長崎県対馬市　釜坂　綾

漁業・水産業

## 基本情報

【年　齢】
26歳
【出身地】
長崎県　長崎市
【転出元】
長崎県　長崎市
【前　職】
学生
【活動時期】
R3.4～ R6.3
(2年目)

## 協力隊に応募したきっかけ

対馬の水産業のパワー、そして海産物の美味しさに心を打たれ移住しました。
対馬の豊かな海も近年では磯焼けの問題が深刻化しており、その改善や基礎的調査に少しでも協力できればと思っています。

## 今後の抱負・任期後の目標

残存する藻場の調査地点を拡充するとともに、対馬の漁法を紹介する動画や過去の藻場についての聞き取り等を進めていきたいです。
また、アマモ水槽で普及啓発活動と併せて、地域の教育機関と連携し、磯の生物観察会や移動水族館等で、子どもたちが自然を身近に感じられる機会を設けていきたいです。

## 活動内容

**●藻場の基礎的な生物調査**

島内のどこにどんな海藻があるか(あったか)を調べています。また、潮下帯での生物調査や潜水調査で採取した海藻を乾燥標本にすることで、学術的資料としても活用が期待できます。

**●定置網の漁獲物（未利用魚）調査**

未利用魚の漁獲状況調査のため、島内の２つの定置網事業者の漁に同行し、漁獲魚種の記録をしています。水揚げされない未利用魚や小型魚についてもデータを収集することで、当該海域における出現魚種のより詳細なデータ化を目指しています。

**●海の魅力発信関連**

対馬で減少している海草「アマモ」の認知度向上・普及啓発のため、対馬市役所庁舎内において水槽を設置しています。アマモに加えて、アマモ場に住む生物を展示し、解説パネルを設置することで、市民の方の学びの場となるよう努めています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（電話番号）　0920-53-6111㈹

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Instagram：shimasui_tsushima（しますい_大きな対馬の小さな水族館）
https://www.instagram.com/shimasui_tsushima/

# 長崎県新上五島町　梶山　寛泰

**漁業・水産業**

## 基本情報

【年　齢】
34歳
【出身地】
佐賀県
【転出元】
福岡県
【活動時期】
R2.3～

## 協力隊に応募したきっかけ

上五島の海や手つかずの自然環境に惹かれ、以前より興味のあった水産業を学びながら地域の課題解決ができればと思い応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

鮮魚流通や藻類養殖の分野で六次化できればと考えます。島の魅力のひとつである水産業を知って頂くきっかけ作りの為に、観光の方とも結びつけられたらと考えます。

## 活動内容

**●漁協各種業務及び定置網による操業業務**

・漁協一般業務
有川町漁協内で生産者が水揚げした鮮魚の荷捌き。
漁協本所事務所内で、漁船登録、漁船保険、各種官公庁提出書類作成などの事務作業
・漁協の自営定置網による操業業務

**●国、県等の支援事業を活用して実施する各種取組**

・有川地区漁業集落事業内で実施しているあおさの養殖に関する生育研究や実施サポート。
六次化に向けた実地研修の実施。
・藻場再生活動として、海草アマモの増殖に関する研究や、他漁協や小学校などへ種子の提供、生育に関するアドバイスの実施。

**●水産物及び水産加工物の付加価値向上のための新たな技術の導入支援やPR活動**

・有川町漁協に水揚げされる水産物のオンライン販売や、町ふるさと納税返礼品として伊勢海老、鮮魚などの水産商品の施工や販売の実施。
・体験型イベントの実施。お魚捌き体験、あおさの摘み取り体験、ビーチクリーン、海草アマモの採取や植え込みなど

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）h.kajiyama@arikawa-fish.net
（電話番号）0959-42-0019　有川町漁協本所

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）https://www.instagram.com/chioko_snkm/
（Facebook）https://www.facebook.com/kami510chioko

# 長崎県新上五島町　豊﨑　洸太

**漁業・水産業**

## 基本情報

【年　齢】
２８歳
【出身地】
兵庫県　伊丹市
【転出元】
福岡県　福岡市
【前　職】
会社員（営業職）
【活動時期】
Ｒ３.４～

## 協力隊に応募したきっかけ

趣味の釣りで五島列島に何度も訪れる中で、地方への移住・離島での生活に興味があり、地域おこし協力隊の募集があったので応募をした。

## 今後の抱負･任期後の目標

任期中では、情報発信、自身のアウトドア経験を活かしたイベントを実施していきたい。
所属している漁協の加工品や鮮魚の販路を拡大していくような取り組みを通して五島の魚の魅力を広める。
任期終了後は、町内または周辺地域への定住を目指して残りの任期で人脈形成をしていく。

## 活動内容

**●海の安全講習会**

町民の海での安全意識の向上と海での事故防止の必要性を感じてイベントを計画。
佐世保市のアウトドアショップ「ATEISM」とライフジャケットメーカー「高階救命器具」の協力をいただき、７月に北魚目小学校の生徒・保護者・教員に向けてライフジャケットの講習会を実施。

**●漁協の加工品をふるさと納税で販売**

派遣先の漁協では、あごだしの加工品を製造・販売をしているが電話とFAXのみの販売がメインで販路の拡大ができていなかった。
新しい販路・ネットでの受注のスモールスタートとしてふるさと納税の返礼品として販売を開始した。

**●情報発信**

長崎県のWEBメディア「ながさーち」で新上五島町の情報を発信。
趣味である釣りを活かして釣り雑誌「釣りファン」に新上五島町での釣りを紹介した記事を投稿。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）https://www.instagram.com/chioko_snkm/
（Facebook）https://www.facebook.com/kami510chioko

# 長崎県新上五島町　黒田　泰晴

**漁業・水産業**

## 基本情報

【年　齢】
43歳
【出身地】
福岡県柳川市
【転出元】
千葉県市川市
【前　職】
会社員（不動産管理）
【活動時期】
R４．１～

## 協力隊に応募したきっかけ

数年前にプライベートで転機となる事があり、元々勤めていた業界、業種とは違う業種の仕事に挑戦してみたいと思う様になりました。
農林水産業に興味があり、ある程度、都心であればこういう業種、地方ではこういう業種、という想定で転職活動をしましたが、その中で新上五島町、上五島町漁業協同組合のお話をうかがえる事になり、採用して頂きました。
実は私は募集要綱に記載の年齢を超えていましたが、ご相談させて頂き、その後採用して頂いて感謝しています。

## 今後の抱負・任期後の目標

右に記載の活動に関して、宣伝、広報、PRという部分がまだまだ足りていないと感じています。
とにかく今は宣伝！広報！PR！！を意識して行動したいと考えております。

## 活動内容

**●広報**

新上五島町の美味しい魚介類が、まだまだ知られておらず売り逃しがある様に感じております。
ホームページの改善や、島外の料理店、居酒屋、販売店との連携、販売方法の変更などにより認知度、反響、売上、利益アップを目指します。

**●釣り文化振興モデル港**

所属する上五島町漁業協同組合が青方港を管理しており、国土交通省が指定するモデル港に指定されています。
2022年10月にオープニングセレモニーを催し、これから一般客を招き入れるところです。こちらの運営、広報、集客等を行います。

**●その他**

「水産業と観光業の連携事業」が私の地域おこし協力隊としてのミッションとなっております。
余り既成の枠に捉われず、事業者さん、学生さん、個人的にアイデアをお持ちの方たちと連携して町や漁協にメリットをもたらせる事を考え、実行していきたいと思います。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）https://www.instagram.com/chioko_snkm/
（Facebook）https://www.facebook.com/kami510chioko

# 07 農業・林業

# 北海道釧路市　小川　周次

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
39歳
【出身地】
北海道釧路市（旧阿寒町）
【転出元】
北海道札幌市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R3.9～ R6.9
（2年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

年に1,2回帰省する地元(釧路市阿寒町)がとても好きでしたが、結婚と法事をきっかけに帰省する機会が増え、生まれ育った町と人の良さに改めて気付き、生まれ育った町と育ててくれた家族へ直接的に役に立てることはないかと思っていたところ、協力隊の募集に応募し着任を機にUターンをしました。

## 今後の抱負・任期後の目標

釧路の農業の課題創出とPRについてさらに努めていきたいです。特に、人材コーディネートや酪農体験施設ついて仕組化できる部分はないか、模索と協議を進めたいです。
また、地元の方々が自分達の町で行われている農業を知り、生産者や消費者にとっても誇りに思えるような発信を心がけていきたいと思います。

## 活動内容

### ●新農業人フェアへの出展

東京国際フォーラムにて行われた「新農業人フェアEXPO」へ釧路市農林課の方々と一緒に出展に参加しました。都市部にお住まいの方々の農業への関心を肌で感じ、今後のPR方法や釧路の強みと課題について行政の方々や農家さんと共有することができました。

### ●お祭り等イベントへの参加

FMくしろ主催の夏まつりでは牛乳消費拡大のPRとして牛乳券の配布や釧路の農業をPRを行いました。これを機会にラジオ出演や、農政事務所の方々との親睦も深まり他イベントでの協力や意見交換が行えるようになりとても良い出会いが生まれました。

### ●釧路イオンで阿寒フェア

阿寒町の特産品を集めた阿寒フェアを開催し、協力隊活動で知り合った農家さんや事業者に喜んでいただける販売会がありました。二日間のトータル売上が約100万円近くなり良いイベントとなりました。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）Kushiro.chiikiokoshi.noson@gmail.com
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）
https://https://www.instagram.com/kushiro_nouson_agriculture/
（Facebook）https://www.facebook.com/kushiro.chiikiokoshi.noson

# 北海道北見市　齊藤　波来

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
24歳
【出身地】
神奈川県茅ヶ崎市
【転出元】
神奈川県茅ヶ崎市
【前　職】
学生
【活動時期】
R4.2～ R7.1（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

私は農業に興味を持つとともに田舎暮らしにも興味を持っていました。さらに昔から豊かな自然に憧れを持っており、そこで暮らしたいという願望もありました。

また、地域活動に参加し、地域活性化を目指しつつ農業を学べる地域おこし協力隊というものはまさに自分の求めているものであると感じ、応募に至りました。

## 今後の抱負・任期後の目標

農業を通じて地域を活性化していきたいです。また、地域の人たちと交流を深め、一緒に農業に携わることで農業の素晴らしさを発信しつつ、知識や技術の習得を目指して頑張りたいです。

任用後は北見市に定住して農業に携わる仕事をすることを考えています。そして、将来的には就農を目指して頑張りたいです。

## 活動内容

### ●地域農家への農作業研修

オホーツク管内でも有数の農業地帯である北見市端野自治区、その中の豊実・北登地域にて指導農家協力のもと、農作業研修を受けています。

馬鈴薯や玉ねぎ、大豆、甜菜、人参、シソ等、様々な作物の栽培に携わっています。

地域の人たちと交流を深めながら、新たな農業の担い手になるべく、日々経験を積んでいます。

### ●地域のイベントへの参加

地域のイベントに参加し、参加者とふれあうことで、イベントを盛り上げています。

また、農業だけでなく、様々な業種の方々と交流を深めながら、自身を多くの方々に知ってもらえるよう努めています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】

（メールアドレス）ta.sangyo@city.kitami.lg.jp（電話番号）0157-56-4003

担当：北見市端野総合支所産業課農務係

# 北海道北見市　金沢　恵

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
22歳
【出身地】
兵庫県西宮市
【転出元】
兵庫県西宮市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R4.9～ R7.8（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

北見市での雇用就農を目指して求職活動をする中で、今の協力隊指導農家さんと出会い、協力隊を勧められたことがきっかけでした。

詳しい話を聞く中で、協力隊では幅広い現場の情報・支援をもとに、農業の知識・技術を身に付けられるところや、一定期間その地に居住することで地域への理解も深められるところに魅力を感じ、将来安心して就農に臨めるのではないかと思ったため、応募に至りました。

## 今後の抱負･任期後の目標

普段から食への関心があり、食べ物を通して幸せになることもあれば、不幸にもなり得るという考えのもと、人に自然にやさしいモノづくりがしたいと考えます。このことから、有機栽培に興味があり、可能であれば挑戦してみたいと思っています。また、北見市には薄荷の歴史があることから、ハーブ栽培も挑戦してみたいです。

任用後は、北見市での雇用就農・定住を考えています。

## 活動内容

**●地域農家への農作業研修**

オホーツク管内でも有数の農業地帯である北見市端野自治区、その中の豊実・北登地域にて指導農家協力のもと、農作業研修を受けています。

馬鈴薯や玉ねぎ、大豆、甜菜、人参、シソ等、様々な作物の栽培に携わっています。

地域の人たちと交流を深めながら、新たな農業の担い手になるべく、日々経験を積んでいます。

**●地域のイベントへの参加**

地域のイベントに参加し、参加者とふれあうことで、イベントを盛り上げています。

また、農業だけでなく、様々な業種の方々と交流を深めながら、自身を多くの方々に知ってもらえるよう努めています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】

（メールアドレス）ta.sangyo@city.kitami.lg.jp（電話番号）0157-56-4003

担当：北見市端野総合支所産業課農務係

# 北海道士別市　鈴木　良美

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
23歳
【出身地】
千葉県
【転出元】
東京都
【前　職】
学生
【活動時期】
Ｒ２.４～Ｒ５.３
（３年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

専門学生の時に実習で「羊と雲の丘」に来たのをきっかけに、地域おこし協力隊というものを知りました。

はじめは、現在の研修先である「羊と雲の丘」に就職を考えていましたが、周りからの助言もあり、協力隊の制度をつかい羊について学びながら現場に出たいと考えたからです。

## 今後の抱負･任期後の目標

任期終了後は、３年間研修をさせていただいた「羊と雲の丘」に就職する予定です。今後は職員として会社に貢献したいと思います。

また、めん羊工芸館くるるんでの羊毛製品の製作も続けていきたいと考えています。

## 活動内容

### ●めん羊の飼育管理

毎日行うことは、羊の餌やりや堆肥出し、怪我をしていないか体調が悪くないかなど確認するため観察も欠かさず行っています。

春には毛刈り、夏頃には牧草刈り、放牧管理、冬には羊の出産管理や補助などもあります。

（餌やり作業中の様子）

### ●世界のめん羊館

「世界のめん羊館」という観光施設があり、その施設内の業務もしています。

大型連休には複数のイベントを行っています。現在シープドッグショーの担当をしていて、牧羊犬と一から関係を築き、人・牧羊犬・羊がふれあえるように心がけショーを作っています。

（シープドッグショー練習の様子）

### ●羊の魅力･情報発信

Instagramのアカウントを作成し、羊の様子を飼育員目線で投稿しています。アカウント開設から２年ほど経ち、現在のフォロワー数は３００人を超えました。

羊が主な投稿ですが、イベント告知や牧場にいる他の動物たちも載せています。興味があればぜひフォローをよろしくお願いします。

（Instagram実際の投稿）

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
士別市経済部畜産林務課畜産係
（メールアドレス）chikurinka@city.shibetsu.lg.jp
（電話番号）0165-26-7127
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Instagram　世界のめん羊館（@meeeestagrams）

MEEEESTAGRAMS

# 北海道名寄市　西川　僚

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
29歳
【出身地】
静岡県　富士市
【転出元】
静岡県　浜松市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R4.3～ R7.2
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

北海道で独立就農したいと思い都内の新規就農フェアで名寄市を知り応募したことがきっかけです。応募までの間、名寄市へ2回訪問し農業体験や移住体験をしましたが、他市町村と比べて行政や農協のサポートが良さそうだと感じ、家族での生活や教育面にも不便さを感じないところも決め手になりました。

## 今後の抱負・任期後の目標

活動期間中は地域に馴染むことを目標に、仕事にしっかり取り組むことはもちろん行事に参加し認知していただきたいです。また、気候が静岡とは全く違うので名寄市での農業の仕方を少しでも覚えていきたいです。
任期後は新規就農してもち米を中心とした経営を成り立たせることと、いずれは地域を担う農業者になっていきたいと思います。

## 活動内容

**米作り(代かき)**

田植え前の代かき作業でトラクターからの様子です。田んぼに水を張ると一面湖のように見えます。代かきは田植え、収穫に並んでの大きな作業のひとつです。土を均平にすることで稲の初期生育に大きく関わりとても大切で難しい作業です。

**●とうもろこし収穫**

とうもろこしを収穫しているところです。研修のため、ひとりで栽培管理してみました。他の農家さんにアドバイスいただき悪かった点がいくつか見つかったので来年は改善できると思いました。

**●なよろ産業まつり**

産業まつりに手伝いとして参加しました。農業が基幹産業のため餅まきやクイズの景品も農産品でとても盛り上がっていました。生産者は消費者と交流できる良い機会だと思いました。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）ny-hisyokoho@city.nayoro.lg.jp
（電話番号）01654-3-2111
（担当）総合政策部秘書広報課

# 北海道当別町　髙橋　健太

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
３２歳
【出身地】
北海道二セコ町
【転出元】
北海道札幌市
【前　職】
飲食業
【活動時期】
Ｒ３.６～

## 協力隊に応募したきっかけ

当別町で農業アルバイトを経験したことがきっかけで、農業に携わりたいという思いが強くなったため、お世話になった農家さんからの紹介で地域おこし協力隊に応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

まずは作物の生産技術をしっかりと学び、習得したいです。

将来的には、農業者として、地域の課題解決に向けて活動していきたいと思います。

## 活動内容

**●米づくりの習得**

・育苗ハウスの準備から、播種、苗の管理、田植え、生育管理、収穫、販売など、作業のほぼ全てに携わることができています。
・作業の全体に携わることができる農業は、とてもやりがいがあります。

**●花づくりの習得**

・ハウスや露地で、ヒマワリやカラーづくり（種まきから管理・収穫・出荷準備まで）をしています。
・今年からはケイトウもつくりはじめたため、特に夏場は大忙しです。

**●地域農業のPR**

・情報発信スキル向上に向けて研修を受けるなど、手法を学んでいます。
・２年目からは、実際に得た知識を活かして、当別町公式Twitterを通じて情報発信を始めました。

## 連絡先

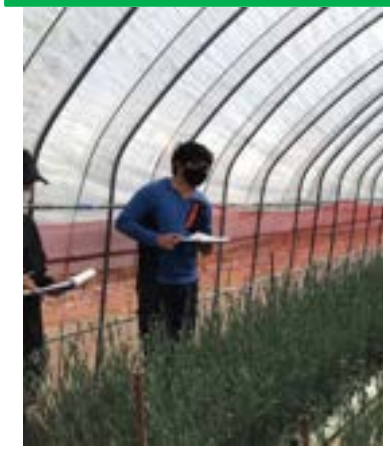
【メディア等の取材連絡先】
当別町経済部農務課
（メールアドレス）norin1@town.tobetsu.hokkaido.jp
（電話番号）0133-23-3091

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（当別町公式Twitter）https://mobile.twitter.com/town_tobetsu

# 北海道当別町　八代　昂憲

**農業・林業**

## 基本情報



【年　齢】
２０歳
【出身地】
北海道札幌市
【転出元】
北海道札幌市
【前　職】
学生
【活動時期】
Ｒ４.５～

## 協力隊に応募したきっかけ

当別高校で農業を学んできたこともあり、当別町で就農を考えるようになりました。
そのような中で、お世話になった農家さんからの紹介がきっかけとなり、地域おこし協力隊に応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

まずは農業法人に就職し、地域に溶け込みながら、色々な作物の生産技術を習得したいです。
将来的には独立し、ハウスでトマトをつくりたいと考えています。

## 活動内容

**●米づくりの習得**

・田植え、生育管理、収穫、出荷作業などを通じて、米づくりを学んでいます。
・美味しいお米ができるように、丁寧な管理を行うよう心がけています。

**●南瓜づくりの習得**

・南瓜の播種、生育管理、収穫、調製、出荷作業などを通じて、南瓜づくりを学んでいます。
・つくっている南瓜の品種は栗五郎といい、ほくほくとした、栗のような甘さが特徴です。

**●地域農業のPRに向けた準備**

・地元直売所のイベントに参加し、消費者と対話しながら農産物のPRを行いました。
・地域農業の情報発信に向けて、研修を受講するなど、PR手法を学んでいます。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
当別町経済部農務課
（メールアドレス）norin1@town.tobetsu.hokkaido.jp
（電話番号）0133-23-3091

# 北海道岩内町　木村　秀彬

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
27歳
【出身地】
東京都　荒川区
【転出元】
東京都　荒川区
【前　職】
ビルガラス清掃
【活動時期】
R３.９～

## 協力隊に応募したきっかけ

東京生まれ東京育ちの私は広く一次産業に興味を持っておりました。社会人として数年働く中で、北海道で農業をしたいという思いが強くなり、農業系の協力隊や、農業法人への就職を検討していた時、本募集を見つけ応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

新規就農を果たし、耕作放棄地の活用、特産品となるような作物の生産などによって岩内町の一次産業に貢献したいと考えています。また、将来的には農家民泊を営みたいと考えており、地元のお米、野菜、海産物、ジビエなどの地産地消が理想です。

## 活動内容

### ●アスパラガス等の農作物の栽培

耕作放棄地であった土地を2反ほど借用してアスパラガス、ミニトマト、なす、といった野菜を作り畑作を学んでいます。私は農業経験は無く、地元の農家さん方にご教授いただきながら取り組んでいます。収穫した野菜はわずかではありますが、地元の温泉で販売したり、地元企業に使っていただいています。

### ●地元高校の総合学習への参加

地元の高校にて「探求の時間」という授業があり、外部講師として参加しました。内容は、生徒達がいくつかの班に分かれ、それぞれが自由に決めたテーマについて疑問などを掘り下げて探求するというものです。私は大学から山登りに少し熱を入れており、「野外で食べるご飯はなぜ美味しいのか」というテーマで生徒達の活動をサポートしました。

### ●ジビエ料理提供に向けた取組

農作業のない冬季には、地元猟友会に加わり狩猟を学んでいます。念願であった狩猟に携ることができ大変有意義に感じています。また、本年度には役場関係者の方々のご協力もあり狩猟免許を取得することができました。農家民泊でのジビエの提供を目指しています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）kikkaku@town.iwanai.lg.jp
（電話番号）0135-62-1011

# 北海道知内町　松下　壮登

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
34歳
【出身地】
北海道札幌市
【転出元】
北海道知内町
【前　職】
公務員
【活動時期】
R4.7～

## 協力隊に応募したきっかけ

食の根幹を支える農業に興味を抱き、就農フェアで知内町の取り組みや職員のしっかりとしたサポートを感じたためインターン協力隊を経て、地域おこし協力隊として活動しています。

## 今後の抱負・任期後の目標

自分自身の新規就農のための農業研修に注力することが第1でありますが、それだけに終止することなく、自分と同じように「知内町で新規就農したい」と思える人が一人でも多く増えるように、各種イベントへの参加やSNSを活用した情報発信活動なども行っていきたいと考えています。

## 活動内容

**●はじめてのニラ「北の華」調整作業**

北海道一の産地を誇るニラ「北の華」。パートさんと一緒にニラ調整作業を行いました。

**●ほうれん草収穫作業**

ほうれん草の収穫体験を行いました。インターン地域おこし協力隊の期間中は、ニラやほうれん草など様々な作物に触れることができました。

**●トマト生育勉強**

神奈川県から知内町に移住した滝川さんからトマトの生育などに関することを学びました。
先輩移住者として、農業に関することのほか町の生活環境などについても教えてもらいました。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
知内町役場　政策調整課政策広報係　　担当：大谷
〃　　産業振興課担い手対策推進係：担当：沖津
（メールアドレス）mono@town.shiriuchi.okkaido.jp
（電話番号）01392-5-6161

# 北海道上ノ国町　米田　和子

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
54歳
【出身地】
北海道　檜山郡江差町
【転出元】
北海道　苫小牧市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R３.５～

## 協力隊に応募したきっかけ

出身地の檜山での生活を希望し就職活動をしていたところ、上ノ国町が隊員募集をかけているのを見つけた。
活動概要に「ぶどう栽培支援活動」と書いてあったため、子供のころ住んでいたことのある風景にぶどう畑ができることに興味がわいたことがきっかけとなり、応募した。

## 今後の抱負・任期後の目標

新型コロナウイルス感染症の影響で、栽培支援があまりできていないため、今後は新規でぶどうを育てている農家への支援などに力を入れたい。
また、あと半年ほどで3年目に入るため、卒業後に向けて経験を積みたい。

## 活動内容

**●醸造用ぶどう栽培に係る支援等**

上ノ国ワイナリーが令和４年１月にオープンし、町外の醸造用ぶどうによるワインづくりが始まっている。町内産の醸造用ぶどうによるワインづくりに向けて、令和３年から栽培が始まり果樹経営補助金申請や農地確認などを担当者と取り組んでいる。

**●上ノ国町内の物販PR**

以前住んでいた苫小牧市のつながりから、イベントに招待されたため、上ノ国町産の品物を持参し出展販売を行った。

**●任期満了後の活動に向けて**

任期中に町内外を巡回し、今後上ノ国町でどのような活動を行うことができるのか可能性を調査している。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）seisaku@town.kaminokuni.lg.jp
（電話番号）0139-55-2311

# 北海道せたな町　今井　栄太

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
20歳
【出身地】
大阪府　堺市
【転出元】
大阪府　堺市
【前　職】
私立浪速高等学校
【活動時期】
R3.6～

## 協力隊に応募したきっかけ

未経験の酪農という仕事を１週間せたな町で体験をさせてもらい、この先も色々な体験をしていきたいと感じました。

せたな町は、山もあり、海もあり自然がある所や、家族で酪農を経営されている様子や人の温かさを知り、新しい未知のなかでの「酪農ヘルパー」という仕事につき、少しでも酪農家さんのお役に立てる仕事が出来ればと思い、応募しました。

## 今後の抱負･任期後の目標

現在は、搾乳や給餌、牛舎管理など２年目を迎え作業スキルアップに向け、日々取り組んでいますが、牛の発情や体調管理などまだまだ経験不足もあり、牛をしっかりと観察し判断出来るように成長していきたい。

将来的には、自分で牧場を経営出来るよう、せたな町でたくさんの経験をさせていただき、海外の酪農を勉強しに海外留学したいと考えている。

## 活動内容

**●酪農ヘルパー業務**

せたな酪農ヘルパー利用組合へ派遣をされ、ヘルパー職として町内の酪農家において搾乳や給餌・牛舎管理などの作業を担っている。

大型特殊自動車免許、車両建設機械作業免許を取得し、機械操作や新たな作業にも取り組み始め、日々活動している。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
せたな町農務課
yuya.yoshida@town.setana.lg.jp　　TEL 0137-84-5111

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
せたな酪農ヘルパー利用組合　https://www.setana-helper.com

# 北海道美瑛町　岸本　雅宏

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
48歳
【出身地】
神奈川県横浜市
【転出元】
千葉県船橋市
【前　職】
会社員
【活動時期】
Ｒ３.９～Ｒ６.８
（２年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

コロナ禍において、これまでの働き方や生活を見直すタイミングがあり、移住を検討。
美瑛町を移住先候補とし、仕事を探していた際に、地域おこし協力隊を募集していることを知る。
募集内容は「農業と福祉の連携業務」で、これまで携わったことがない分野だったが、前職の企業で発達障害のメンバーをサポートした経験も活かせると思い、協力隊に応募。

## 今後の抱負・任期後の目標

美瑛町の農福連携事業は令和4年度で2年目となるが、運用や体制、障がい者へのサポート方法など、まだまだ課題が多い。
任期後も美瑛町で農福連携事業に携わり、障がい者の活躍の場を作っていきたい。現時点では、就労継続支援B型に所属する障がい者のみだが、将来的には不登校児童やひきこもり状態といった人々にも参加してもらえるユニバーサル農園を目指したい。

## 活動内容

**●美瑛町の農福連携事業について**

地域おこし協力隊として、農福連携ジョブコーチに着任。
農家の人手不足の解消と障がい者の就労場所創出を目的とし、美瑛町では「農福連携推進協議会」を設立（美瑛町役場が主体）。
農福連携ジョブコーチ（地域おこし協力隊1名、委託1名）が障がい者に農作業の指導やサポートを実施。
※ジョブコーチは、美瑛町新規就農アドバイザーから技術サポートを受ける

**●障がい者に農作業指導やサポートを実施**

障がい者が農家で作業を実施できるように、実習として町内のビニールハウスでトマト栽培を実施。
障がい者に栽培技術の指導や作業サポートを行なう。

**●障がい者の農家派遣実習のサポート**

農家に障がい者雇用を体験してもらうことを目的に、ジョブコーチが障がい者を引率し農家で作業を実施。
障がい者主体で実施するため、ジョブコーチとしてサポートや体調、安全管理などを行なう。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）soumu@town.biei.hokkaido.jp
（電話番号）0166-92-1111

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
NHK「いいいじゅー」
https://www.nhk.jp/p/ts/J7775NQ8GW/episode/te/Q27Z77686G/

# 北海道白老町　野田　和規

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
25歳
【出身地】
佐賀県小城市
【転出元】
佐賀県小城市
【前　職】
学生
【活動時期】
R2.4～ R5.3
（3年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

学生時代から自然の美しさを伝える仕事をやりたいと思っていました。
そんななか東京で知り合った方から、白老町の森林ガイドとしての地域おこし協力隊を紹介していただき応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

白老町にあるポロトの森をメインフィールドとして、ガイドを生業にしていきたい。
また都市でも森の美しさを伝えていきたいので、札幌でも道外でも活動の幅を広げていきたい。

## 活動内容

**●ポロトの森　ガイド**

ポロトの森にて四季に合わせた自然ガイドをやっています。冬はイタヤカエデの樹液採取から始まり、秋はキノコガイドや鮭ツアーを行っています。

**●ワークショップ　講師**

三年目の活動からは、札幌や道外（福岡や京都）で出張ワークショップを行っています。
内容はお茶や薬草飴を作ったりするワークショップです。

**●民泊事業**

町内にて野草を軸にした民泊の運営をしています。
道内外の自然好きの方に利用していただいています。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（HP）https://nodateyasou.life/

# 北海道厚真町　渡部　真子

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
３５歳
【出身地】
神奈川県　川崎市
【転出元】
北海道　恵庭市
【前　職】
観光牧場
【活動時期】
Ｒ３.６～

## 協力隊に応募したきっかけ

厚真町で協力隊を経て独立した西埜さんと元々知り合いで、私が前職の牧場を辞めた際に、西埜さんが札幌で行っていた馬搬現場を訪れ、働く馬がいる林業現場がとても面白い！と思ったことがきっかけです。ちょうど厚真町の協働型協力隊の話が出ていた時で、この制度を使って新しい分野でやってみたいと思い応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

馬搬、森林について理解し、一人でもできる知識と技術を身に付けたいです。また、丁寧な木材搬出や手作業の多い仕事ならではの材や山の恵みを販売に繋げられる事業を行いたいと考えています。
ハスカップ栽培にも力を入れたいと思っています。農業について学びを深め、農薬や化学肥料に頼らない農法でハスカップや野菜などを持続的に育てることも目標の一つです。
また、馬と子どもたちの活動の幅を広げ、自然と動物と子どもを結びつけた仕事をしていきたいと考えています。

## 活動内容

**●馬搬**

馬搬現場は２シーズンやって少し慣れてきています。何が危ないか感じながら安全に作業できるようになってきたと思います。まだ伐倒や、選木が難しかったり、樹種の知識も浅く勉強したいことが山積みですが、馬との会話は以前よりうまくでき、安心して木を運べるようになってきたと思います。

**●ハスカップ栽培**

地元のハスカップ農家のおばあちゃんから３００株ほどを借りて、剪定や摘み取りなど栽培方法を学びながら出荷まで行っています。今年は札幌のレストランに売り先が確保でき、去年より売り上げをあげることができました。大変な仕事ですが、地元の方が温かく受け入れてくださって、嬉しく思います。

**●馬と子供の活動**

月に３回ほど厚真町内の小学校に馬を連れて行き子供達と馬搬や、馬ソリ、乗馬や森の整備を楽しんでいます。回数を重ねると上手に馬を扱える子が増えてきたり、何が危ないか子どもたち自身で気づける場面もあり、日々の変化が楽しいです。子どもたちのやりたい！を伸ばせると良いなと思っています。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（メールアドレス）iju@town.atsuma.lg.jp

# 北海道厚真町　佐々木　拓哉

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
29歳
【出身地】
広島県　安芸太田町
【転出元】
兵庫県　市川町
【前　職】
木材加工業
【活動時期】
R3.8～ R6.3
（2年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

森林資源を活用して地域に貢献することに関心がありました。
受入企業となる株式会社西栗倉・森の学校が厚真町に支社を立ち上げることを知り、地域資源の発掘を得意とする同社と一緒に挑戦したく、応募しました。

## 今後の抱負･任期後の目標

木材の消費先がこれまでなかった町内に、集積地を整備し、町内で木材が循環する仕組みをつくりたいです。それを起点に、町外へも販路を拡大することで、森林整備を促進する役割を担いたいです。

## 活動内容

**●木材チップの供給**

町内に導入される木質バイオマス発電所へ、木材チップを加工・供給します。必要な機材の選定など、情報収集を進めています。

**●木材の集荷**

町内で伐採される木材の買付け・集荷をします。今後は製材用、チップ用など、用途に応じた選別・流通させることを目指しています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）iju@town.atsuma.lg.jp

# 北海道平取町　登口　真理

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
35歳
【出身地】
北海道　札幌市
【転出元】
北海道　札幌市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R４.４～

※本人は写真の中央です。

## 協力隊に応募したきっかけ

2020年10月頃に札幌市で開催された平取トマトのイベントがあり、就農に関する相談会も併せてやっていたので話を聞きに行きました。もともと農業に興味もありましたし、コロナにより仕事も減り、将来への不安から、地に足の着いた仕事がしたいなと思いました。

## 今後の抱負・任期後の目標

無肥料栽培や循環農法等、今の時代に合った農業を自分なりに模索しつつ、トマトや農業に限らず、果物作りなどにも携わっていき、農業で安定することを目標に頑張っていきたい。

## 活動内容

### ●トマト栽培

トマトの栽培作業は冬から始まります。トマトは収穫時期を分散させるために、早いハウスは3月から定植作業を行い、その後、6月頃まで定植作業を行います。定植後は、摘芽や防除などの管理を行い、11月中旬頃までトマトの収穫作業を行います。

### ●寒締めほうれん草栽培

平取町ではトマトの収穫後、冬期間のハウスを活用し、寒締めほうれん草を栽培しています。秋に播種を行い12月から収穫を行います。
寒さで葉が凍らないように、縮みながら糖分を蓄えるため、甘くて美味しいほうれん草になります。

### ●加工品づくり

受入先の農園がある平取町岩知志地区には、農産物の加工施設があるため、農閑期には地域の方たちと一緒にびらとりトマトを使ったジャムや味噌などの加工品づくりを行い、地域の皆さんと交流をしています。

## 連絡先

# 北海道新得町　櫻田　亜里沙

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
33歳
【出身地】
東京都　立川市
【転出元】
東京都　立川市
【前　職】
飲食業
【活動時期】
R2.4～ R5.4
（3年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

夫が新得町の協力隊に入ったのがきっかけで、この募集を知りました。新得産ではないのですが、昔食べた原木しいたけの美味しさがとても印象的でした。それ以来、しいたけ狩りに行くなど興味を抱いていたこともあって、この仕事に決めました。

## 活動内容

**●日々の仕事**

4つの農家さんのしいたけと関わりがあるので人によってしいたけの違いを知ることができて勉強になりますし、この仕事をしていなければ、この先使うことはなかったであろうもの（草刈り機、チェンソー、ドリルなど）を使うのは、最初慣れるまで苦労しましたが、今では使えるようになり、とても嬉しいです。

**●活動記録**

農家さんごとにしいたけ栽培における菌の種類に違いがあって、最初は戸惑いましたが、菌の違いによって出すことができる味があると言うことを知り、勉強になりました。しいたけのよしあしを見分けるのは簡単のことではありませんが、日々の業務の中でなれてきて、楽しく仕事ができています。

**●しいたけの魅力**

しいたけは、適切な温度、湿度などの環境がなくとも生育することは可能ですが、しっかりとした環境で生育していくことで、より洗練されたしいたけを栽培することができます。

## 今後の抱負・任期後の目標

退任後は町に残り、夫婦で起業し、エゾシカ肉を活用した加工品をオンライン販売するため、新得町の特産品PRや販路拡大・販売促進に寄与し、町の魅力を発信していけるような取り組みを進めていきたいと考えています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）chisen@town.shintoku.hokkaido.jp
（電話番号）0156-64-0521
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

町公式インスタ

町公式ホームページ

# 北海道新得町　佛坂　樹華

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
31歳
【出身地】
北海道　旭川市
【転出元】
千葉県　千葉市
【前　職】
個人事業主
【活動時期】
R3.6～ R6.6
（2年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

私自身が子どもの頃から登山やキャンプ等で自然の中で体を動かすことに慣れ親しんできたため、自然の中で仕事をしたい、自然を守る仕事がしたいと感じ、林業関係の仕事を探していた際に新得町が林業部門で地域おこし協力隊を募集しているのを発見し、応募しました。

## 活動内容

**●日々の仕事**

現在は、地域の方たちや子どもたちに森林の大切を伝えるために「木育」に取り組んでいます。今年は、切った木をスウェーデントーチにしてバームクーヘンを作ったり、木の再利用として子どもたちと木製のおもちゃを作成するイベントを開催し、やりがいを感じています。

**●活動記録**

「木育」という活動を通じて、各方面から活動依頼が入るようになりました。地域おこし協力隊として、林業の魅力発信をすることができる場が多くなってきているのは自分の活動が実を結び始めていると感じ、うれしく思います。

**●林業の魅力**

林業は、近年のゼロカーボンや環境保全といった国内で重要視されている資源のひとつだと思います。木で家を建てることができたり、廃材から、おもちゃを作ることもできる。また、自然災害から町を守ってくれる時もある。林業にはそんな魅力があると私は思っています。

## 今後の抱負・任期後の目標

木育マイスターになることができたので、各種助成等を使いつつ木育活動を展開していきたいです。具体的には自然学校のような拠点を作りたいですが、課題も多く実現することができるように今後の活動でどのようなことが必要なのか勉強しながら取り組んでいきたいと思います。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）chisen@town.shintoku.hokkaido.jp
（電話番号）0156-64-0521
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

町公式インスタ

町公式ホームページ

# 北海道本別町　小宮　航一

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
３１歳
【出身地】
東京都足立区
【転出元】
北海道江別市
【前　職】
書店員
【活動時期】
Ｒ１．１ ～ Ｒ４．１
（３年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

鳥獣が多く、ハンターとして活動しやすい北海道に移住し、銃猟免許の取得に向け活動していたところ、求人サイトに有害鳥獣捕獲を業務とした地域おこし協力隊の募集ページを見つけ、応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

具体的な目標は決まっていませんが、有害鳥獣による農林業被害防止は、地域に必要な仕事と思っていますので、引き続きハンターとしての活動を考えています。

## 活動内容

### 猟銃や罠に使用した有害鳥獣の捕獲

農業者から有害鳥獣による被害のあった畑の脇に罠を設置することが多いですが、時には猟銃を使用して捕獲しています。カラスやキツネ、アライグマ等は箱型の罠を使用し、罠のなかに種類に応じたエサを設置して、捕獲率を高める工夫を行っています。

### 地域の猟友会と連携した活動

農業被害の軽減を図るため、特に被害の多いエリアを定期的に地域の猟友会と巡回し、猟銃による捕獲を行っています。狩猟期には、エゾシカが多く生息している場所で、複数人による追い込み猟を実施しています。

### 本別町地域おこし協力隊によるイベント開催

現隊員４名による地域イベントを実施。各隊員の紹介や日ごろの活動がわかる展示、各隊員の分野ごとに催し物を行い、地域住民と交流しながら隊員活動の理解を深めています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
メールアドレス　tiikisk@town.honbetsu.hokkaido.jp
電話番号　0156-22-8121

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】
Facebook ：https://www.facebook.com/honbetsu.chiikiokoshi

# 北海道厚岸町　佐倉　咲之介

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
２３歳
【出身地】
北海道札幌市
【転出元】
北海道札幌市
【前　職】
サービス業（イベント運営関係）
【活動時期】
Ｒ3.０９～Ｒ6.０９
（２年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

幼少より自然が好きで、自然に関わる仕事に従事したいという思いがありました。また、もともと牡蠣が好きで、牡蠣まつりの時期はよく訪れており、妻も厚岸町出身ということでなじみがあったので、町のホームページで林業隊員の募集を見てすぐに応募を決めました。

## 今後の抱負･任期後の目標

・林業に係る知識・技術等の習得
・森林整備の適正な実施に向けた森林所有者への提案等
・林業従事者の交流活動の企画、実践

## 活動内容

**●標準値調査**

山林にて、標準値調査を行いました。
2か所調査し、その山のおおよその木の本数と、そこから何パーセント切るか調査しています。

**●下刈り作業**

下刈り作業は、秋・春に植え付けした苗木の周りにある雑草を刈払機で除去する作業です。この作業の目的は、苗木の周りの雑草をそのままにすると日光を遮られたり、水分を奪われたりして健全に育たなくなるため、それらを事前に防止するためのものです。

**●苗木植え付け**

町有林、民有林の植え付けを２人１組で行っております。去年の秋の植え付けと比べ、植え付けのスピードも上がり、本数も増えているため、自分でも成長を実感できました。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）seisaku@akkeshi-town.jp
（電話番号）0153-52-3131
（総合政策課政策調整係）
【活動の様子を発信しているSNS･ブログなどのURL】
（Facebook）https://www.facebook.com/akkeshi.chiikiokosi

# 北海道別海町　三原　萌佳

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
27歳
【出身地】
大阪府寝屋川市
【転出元】
大阪府寝屋川市
【前　職】
会社員（税理士事務所）
【活動時期】
R３.４～R６.３
（２年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

自然の中で身体を動かす仕事をしてみたいと思い、主にネットで検索して各地の協力隊の方々がUPしている動画やSNSを参考に応募した。

## 今後の抱負・任期後の目標

自分自身が体験した酪農の素晴らしさを、今後はたくさんの人に伝えてPRしていきたい。別海町で新規就農したいと思ってもらえるように酪農だけではなく、町の良さも広く認知されるような活動を続けたい。

## 活動内容

●「べつかい酪農女性プチサミット」の開催、運営

酪農に関わる女性が集まり、ともに学び交流を深める会を開催。今回のサミットのテーマ『ロスを減らそう時間を作ろう』に基づき、講師のデイリーコンパス 久富聡子さんによる講演会と、グループでのワークショップ行った。(参加者：９０名)

●全国紙「DAIRYMAN」の表紙

協力隊として町内外での地道な広報活動が普及所職員の目に留まり、編集者へ表紙モデルに推薦いただく。酪農業界ではメジャーな酪農情報誌の表紙を務めたことで、全国的に町を認知してもらえるきっかけに。(R4年10月号)

● 移住者密着のテレビ番組に出演

NHKの「いいいじゅー」という番組に出演決定(放送は12月予定)。酪農の技術・知識０から始めた牧場での暮らしや、SNSを使用した広報活動の様子を撮影していただき、酪農はもちろん町の魅力を伝える。30分の全国放送番組のため、幅広い層へのアプローチが期待でき、町のPRにも貢献。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）nousei@betsukai.jp
（電話番号）0153-75-2111（内線1419）

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Instagram（betsukai_kenboku）
Facebook （別海町酪農研修牧場）

Instagram　Facebook

# 岩手県盛岡市　阿形　正

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
58歳
【出身地】
東京都杉並区
【転出元】
東京都杉並区
【前　職】
バス運転士
【活動時期】
Ｒ３.８～
（２年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

20年ほど前に趣味の登山をしている際にパークレンジャーの方から、シカによる針葉樹林の食害の話を聞いたことで被害の大きさと深刻さを知りました。その一方、山中では駆除目的で殺処分されたシカが適当に処理されている姿を目にすることもありやりきれない思いにもなりました。

そうした体験を通して、鳥獣被害で困っている方々の手助けをしつつ、処分された鳥獣の有効利用に携わりたいと考えるようになったことがきっかけです。

## 今後の抱負・任期後の目標

まず、狩猟の知識や技術を学んでいきたいと考えております。現在は地元の猟友会の方々と行動することが多く、知識や技術のみならず経験や地域の特性も学んでおります。今冬からは猟銃を使用した捕獲にも挑戦していき、現場での経験を積んでいきたいと思います。

また、捕獲のみならず農作物等の被害が減少するような防護法の調査や、地域の方々との協力体制の構築を継続して行っていきたいとも思っております。

## 活動内容

### ●鳥獣被害の現状確認

玉山地域での鳥獣被害を把握するために実地調査を行いました。昼間には被害のあった農地へ赴き被害作物や足跡の確認をし、夜間には監視カメラによる生息鳥獣の確認をしました。鳥獣毎に有用な罠や餌が違うため今後の活動のための基礎となる活動でした。

被害のあったデントコーン畑

### ●罠の設置及び見回り

猟友会の方々と協力し、罠の設置、見回り及び捕殺対応を行いました。罠の設置方法や場所を指導してもらうだけでなく、撒き餌さを使用することで効果的に捕獲できるよう自分なりの工夫もしました。令和４年度には玉山地域で初めてのイノシシ捕獲にも協力することができました。

設置されたクマ罠

### ●地域の方々への広報活動

地域全体で鳥獣被害を防止する“地域ぐるみの被害防除体制”を確立することができれば、今よりも鳥獣による農作被害が減少すると考えております。そのためにも地域住民への広報活動などを行っていければと思います。本年は地域の集会で鳥獣被害や対策についてお話しすることができました。

地域の集会で説明する阿形隊員

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）tamayama.jyugai@gmail.com
（電話番号）019-683-3852（盛岡市玉山総合事務所産業振興課）

# 岩手県北上市　松岡　冴

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
29歳
【出身地】
東京都　大田区
【転出元】
東京都　大田区
【前　職】
製造業
【活動時期】
R1.4～ R4.4
(卒業済み)

## 協力隊に応募したきっかけ

前職の倒産後の就職活動中に地域おこし協力隊制度を知る。
養蚕に従事したいという夢があり、養蚕関連の地域おこし協力隊を探し、いろいろな地域のものを見てきた。
その中で北上市の環境の良さに触れ移住を決意。
2019年に着任した。

## 今後の抱負・任期後の目標

今は就任していた地域の空き家を改装し移住、染織工房・養蚕場・桑畑を設立し、本格的な活動拠点を作る。
桑畑から養蚕、養蚕からとれた繭を染織・製糸して、販売までを行う6次産業を現在行っている。
今後は養蚕・絹製品の製造・販売を主軸にしつつ、イベント・体験などを通した養蚕の普及活動も行いたい。

## 活動内容

**●地域イベント活動**

手織り体験を通して養蚕の認知を広める活動。
持参した手織り機を使い織りの楽しさから入り、絹糸に触れる体験を通してシルクが何から出来ているか、シルクの歴史などを描いたチラシを配布するなどした。
子供から大人まで楽しめるイベントを目指す。

**●養蚕農家として独立準備**

養蚕農家として独立・定住を目標に活動。
お蚕さんの飼育だけでなく、餌になる桑の育て方、桑畑の整備の方法を学ぶ。
同時に独立のための空き家・空地探しを行う。
今は空き家をDIYして定住、家の前の空き地を利用して桑畑を作り、そこから養蚕をしている。

**●染織工房・オリジナルブランド展開**

大学のころに学んだ染織技術を生かし、2019年染織工房「さらのき工房」を立ち上げた。
繭から絹糸を製糸したり、染め・織りができる設備を整え、養蚕から製品販売までの基盤を作る。
2022年にオリジナルシルクブランド「SaLa Silk」から初のシルク商品を販売、岩手県内で販売中。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
・Twitter　https://twitter.com/WiYAVQ5y8QYe1WE?t=Nn1VKBxoCP-yzahGvT7fzw&s=09
・Instagram　https://instagram.com/saranokigongfang?igshid=YmMyMTA2M2Y=

# 岩手県北上市　髙橋　愛衣

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
34歳
【出身地】
神奈川県　横浜市
【転出元】
埼玉県　富士見市
【前　職】
県庁職員（一般事務）
【活動時期】
R2.4～

## 協力隊に応募したきっかけ

北上市には父の実家があり、高齢の祖母が1人で住んでいました。介護のために移住するに当たり北上市内での職を検討していたところ、協力隊の募集を知りました。
「将来の養蚕農家育成プロジェクト」との募集内容で、昆虫や伝統産業に興味のあった私は迷わず応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

現在、地元企業さんと共同で、養蚕を地域に復活させる活動をしています。体験イベント等を通して、ある程度地元での認知を得ることができたと感じています。
ただ、生産した繭は市外に出荷するのみで、市民の皆さんのお手元に届く機会がないのが現状です。
今後は繭細工（規格外の繭を使った花や人形等の作品）や繭サック（繭をそのまま利用する洗顔グッズ）等の商品を地元の方に届けていきたいと考えています。

## 活動内容

**●養蚕**

受け入れ団体である地元企業「㈱更木ふるさと興社」さんと共同で、年４回の養蚕を実施しています。
生産した繭は製糸工場へ出荷するほか、盛岡市の健康食品会社へも研究用として提供しています。
また、古くなってしまった桑畑を再生させるべく、新たな苗木の育成を行っています。

**●繭細工**

企画外で出荷できなかった繭を利用して、花や人形を作成しています。これまでに市のイベントで使用いただける胸章を作成したり、市内のクラフト市に出店して販売したりしました。
市内の桜の名勝である「展勝地」の桜を使用した、繭の草木染にも挑戦しています。

**●子供向けの本の制作**

「養蚕ってなんだ!?ゲームブック」というタイトルで、遊びながら養蚕を学べる本を制作しました。小学生向けの内容としていますが、大人の方々からもご好評いただいているようです。
市内小学校や全国の公立図書館に寄贈させていただいたほか、インターネット通販も実施しています。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Twitter　：https://twitter.com/sericultureKTKM
Instagram　：https://www.instagram.com/sericulturektkm/?hl=ja
通販（BASE）：https://sericulture.base.shop/

# 岩手県久慈市　阿部　大地

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
32歳
【出身地】
岩手県久慈市
【転出元】
北海道苫小牧市
【前　職】
プラント内設備の
防災・運転・維持管理業務
【活動時期】
R4.4～

## 協力隊に応募したきっかけ

両親も高齢化しており、地元に戻り定住したいと思っており、それを実現させるため、地元で生活出来る仕事を作りたいと考えたことが協力隊に応募したきっかけです。
地域に必要とされる事業なら需要もあり、存続していけると思い、久慈市の地域問題である「白樺林の寿命の問題」に着目し、木の幹から醸造する「木のお酒」や白樺林の未使用資源の活用をその問題解決の一助に出来ればと思っています。

## 今後の抱負・任期後の目標

今後の抱負
・白樺・クロモジ・松を使用したハーブティーの製品化を目指します。
・テントサウナでのイベントを開き、一般の方に来てもらえることを目指します。
・木のお酒を実現するため、協力者や可能性を探し、進められる部分を増やすことを目指します。
任期後の目標
上記の事業化、地域資源活用に関するアイデアの事業化

## 活動内容

**●木のお酒について**

木を構成するセルロースは糖の塊であるが細胞壁により発酵が難しかった。その細胞壁を細かく砕くことで木自体の醗酵を可能とする技術が「木のお酒」となります。白樺で木のお酒を作る為、白樺林の現状や必要な技術や設備などを確認し、協力者や人材を募っています。

**●白樺・クロモジのハーブティー**

白樺の葉やクロモジの枝葉などの地域の未使用資源を使い、ハーブティーの試作品を作成した。飲料や香りを楽しむアロマとして製品化を目指しています。現在は葉の収穫や製造場所など飲料として出すための課題を確認しています。また、この地域の松を南部アカマツと呼びます。いずれはマツのハーブティーも考えています。

**●ヴィヒタ、テントサウナイベント**

サウナで体を叩くために使う白樺の枝葉を束ねたものを「ヴィヒタ」と呼びます。また、野外で気軽にサウナを楽しめるサウナテントというものがあります。現在、日本ではサウナがブームとなっています。未使用資源の白樺の枝葉や薪をテントサウナイベントで活用し、商品や地域のPRをして地域おこしに繋げたいと考えています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）d-abe@city.kuji.iwate.jp

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
今後、作成予定

# 岩手県一関市　山崎　裕也

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
43歳
【出身地】
茨城県水戸市
【転出元】
東京都足立区
【前　職】
株式会社ADEKA
（加工食品研究開発）
【活動時期】
R2.11～

## 協力隊に応募したきっかけ

食の開発に携わった中で、持続可能な食の循環社会を目指す仕事をしたい思いが高まり、ローカルな場での活動を考えた。 地域課題のセミナーなどに参加する中で、（一社）いわて圏主催イベントにて、当市の協力隊の募集を知った。

## 今後の抱負・任期後の目標

西洋野菜の産地化というテーマで活動する中で、生産者や飲食店など食に関わる様々な方々とつながることができた。そして、皆様が抱える地域の生産流通に関わる課題を知ることができた。
今後は、これらを解決するための仕組み作りを進め、持続可能な食の循環社会の実現に向けて行動していきたい。
そして、地域のみなさまに温かく受け入れられていることに感謝し、将来の一関市の形について対話して、仲間をつくりたい。

## 活動内容

**●西洋野菜の生産者の拡大**

一関市の新たな園芸品目として、西洋野菜の産地化に向けて取り組んでいる。市場需要や栽培適正の観点から、エシャロット（西洋タマネギ）とリーキ（西洋ネギ）を特産化の軸に据えることとして、市内農家と協力し、適正な栽培方法の確立、品質規格の設定を行っている。

**●西洋野菜の認知拡大**

市民へのPR、そして生産者と飲食店のつながりをつくるイベントとして、市内飲食店で、西洋野菜を使った期間限定メニューを提供する「ＨＥＬＬＯ！セイヨウヤサイフェア」をこれまで3回実施した。

**●西洋野菜の販路開拓**

西洋野菜の生産者たちとともに、販売PRをする組織「西洋野菜プロジェクト」を設立した。“いちベジ”ブランドの立ち上げ、道の駅や産直と協力した市内外の販路開拓を行っている。
また、地産地消の仕組みづくりにデジタルを活用するべく、一関工業高等専門学校と共同で進めている。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（電話番号）0191-82-3050 :南部農業技術開発センター
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】
https://www.facebook.com/ichinosekiyasai

# 岩手県釜石市　三科　宏輔

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
26歳
【出身地】
神奈川県相模原市
【転出元】
神奈川県相模原市
【前　職】
株式会社パソナ
【活動時期】
R4.4～
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

僕は「自分の人生全うしているか」の問いに“yes !”と即答できないモヤモヤしていた会社員でした。
ご縁があり、釜石に訪れた際に“生”を実感しながらイキイキと活動されている方々とお会いし、「僕もこの地域で人生全うしたい」という感情抱き、釜石移住を決意しました。
以前より興味を持っていた「農・食」に関連する地域おこし協力隊の募集情報を入手し、応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

現代の農業のあり方として、『作物に対しての価値交換』が主にあると思います。もちろんその軸も持ちながらも、「消費を促し、価値交換をする」選択肢以外の新たな農のあり方を探求していきたいと考えています。
任期後何年かかるか分かりませんが、“日本の古き良き暮らし”を農を中心に継承に挑戦し続けていきたいです。

## 活動内容

### ●遊休農地の活用（そば生産）

約11.5ha(東京ドーム2.5個)の圃場でのそば生産。担い手不足や重労働等を背景に圃場管理業務を担当。圃場整備や生産活動の補助に従事。

※今年の収穫量は約1トン（全盛期10トン）
来年度のより良い生産活動に向けて栽培計画中。

### ●地域資源の活用（狩猟/ジビエ）

年間1400頭焼却処分されている鹿を活用を目指す。ハンターの担い手不足や高齢化等の背景もあり、鳥獣被害は年々増加中。現状を打破する種火となる担い手狩猟者のロールモデルを目指す。

※免許取得し(第一種/罠)、本年度より狩猟開始予定

### ●暮らしの発信

“モノに溢れ、便利さに溢れている生活”とは異なる僕なりの豊かな暮らしをyoutubeにて配信中。古民家改修や畑づくりなど、日常に溢れる豊かさや地域の魅力を発信。

※投稿日：毎週土曜日18:45～

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（Youtube）　東北古民家暮らし
【都会出身 脱サラリーマンの日常】

(YouTube)

# 岩手県西和賀町　西崎　太郎

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
28歳
【出身地】
岩手県盛岡市
【転出元】
岩手県西和賀町
【前　職】
羊の牧場従業員
【活動時期】
R2.05～

## 協力隊に応募したきっかけ

北海道で仕事を辞める際、いつかは羊飼いになりたいと思っていました。ちょうどその時に、高校からの友人に今住んでいる西和賀町で羊を飼い始めないかと勧められ、沢内貝沢のこの場所を紹介してもらいました。

## 今後の抱負・任期後の目標

健康的で魅力ある羊を育てることやおいしい羊肉や羊毛、毛皮など質の良いものを県内に出荷していきたいと考えています。岩手県内の羊飼いの方々と共に岩手ブランドの羊を育てていきたいと考えています。
ラウムルファームとして地域の羊飼いの方々をサポートしつつ、自分が目指す羊を育てていきたいです。

## 活動内容

**●羊との日常**

朝、夕方に日々のエサやり。
放牧地の羊の健康チェック。
羊は病気をしても、あまり表には出しません。小さな変化に気付けるように日々観察をしています。

**●季節ごとの仕事**

羊の繁忙期が季節ごとにあります。
毛刈りと分娩です。4月下旬から5月までは毛刈り。
1月から3月にかけて分娩があります。
町内に飼われている羊が、自分の羊を除いても約15頭います。この羊たちの毛刈りも担当しています。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Twiter）https://twitter.com/SheepRAMWOOL

# 岩手県住田町　佐々木　裕郷

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
26歳
【出身地】
埼玉県大宮市
【転出元】
東京都町田市
【前　職】
NPO法人スタッフ
【活動時期】
R2.7～ R5.6
（3年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

元々大学生の頃に住田町の隣の陸前高田市に活動しており、卒業後は岩手に行きたいと考えてました。その中で住田町の「農を繋ぐプロジェクト」の募集があり、応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

専業農家としての生活というより、研修を受けた身として移住者が地域に根ざす１つの大きな武器として3年間の農業研修期間を活かしていきたいです！自分の中では紆余曲折はありながらも、長くこの地に関わっていける人になりたいと考えています。移住者としてこの地で暮らしていくのに大切な技術の一つとして農業との関わり方を作っていきたいです。

## 活動内容

**●修行の毎日**

町内の育苗農家さんのところで修行中です。
農家さんや家庭菜園を楽しむ方に向けて良質な野菜苗を育て、お届けする農家です。
ある程度の量を作る育苗農家は住田町や近隣の市を含めても片手で数えるほどしかいません。それくらいニッチな業界です。

**●苗を大事に育てます！**

根がよくはった、体格の良い苗を理想とし、育てています。

**●日々の活動について**

季節、天候、気温、湿度、出荷時期など様々なことを考慮しながら行う水かけや土作り、温度管理は1年ちょっとの経験で満足な技術にはなっていませんがとてもやりがいのある仕事です。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）nousei@town.sumita.iwate.jp
（電話番号）0192-46-3861

# 岩手県大槌町　大邉　慧之

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
34歳
【出身地】
三重県桑名市
【転出元】
東京都練馬区
【前　職】
設備業　現場監督
【活動時期】
Ｒ４．７～

## 協力隊に応募したきっかけ

たまたまyoutubeで自伐型林業を営んでいる夫婦の動画を観て、自分もこんな生活がしたいと興味を持ち、移住サイトに登録していました。そんな時、妻の実家のある岩手県から地域おこし協力隊員の募集があり、お試しちおこ制度というものを利用して大槌に来てみたところ、自分に合った生活ができるのではと感じ応募させていただきました。

## 今後の抱負・任期後の目標

まずは、主軸としている林業の専門的な知識を身につけ、独立してからもそれを生業にしていくことを目標にしています。また、協力隊員の３年間の任期の中で、林業に絡めた副業も探していきたいと考えています。現状では、地域のニーズにあった事を模索中ですが、木工製品と子どもの知育を職業としていけたら面白いのではないかと考えています。

## 活動内容

### 現場作業

勤務先のＮＰＯ法人では、役場や個人から依頼された小規模間伐を中心に行っています。大型重機などが入って作業できない現場での人力作業のため、チェーンソー、ウィンチ、ロープ等を駆使して作業を行っています。

### 木工教室

勤務先のＮＰＯ法人では、地域の公民館などをお借りして、小中学生を対象に木に親しんでもらうための木工教室を定期的に開催しています。木が私たちの生活にどのように関係しているかを学ぶ、ＳＤＧｓに深く関係する活動となっています。

### 薪祭り

今年で１０回目の開催となるＮＰＯ法人吉里吉里国が主催のイベントです。震災後に始まった地域復興活動の一つで、岩手県のみならず他県からも多くの人々が参加する年に一度の一大イベントとなっています。私はその中の木工ブースを担当しました。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（note）https://note.com/keishi_obe

# 岩手県田野畑村　中野渡　和也

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
37歳
【出身地】
青森県青森市
【転出元】
青森県青森市
【前　職】
農業法人
【活動時期】
R2.12～

## 協力隊に応募したきっかけ

山林が多くを占める田野畑村において、地域の特性を生かした放牧型酪農である山地酪農に魅力を感じたことがきっかけでした。

## 今後の抱負・任期後の目標

現在は、牛舎での飼育と一部放牧を実践している酪農家を中心に酪農家の作業を研修していますが、任期後に就農できるよう、酪農家の皆さんとの関係を大切にし、営農に向けて計画をたてています。

## 活動内容

### ●春の訪れを感じ、牛も大喜び

酪農家が放牧している牛たちも、どんどん山奥に進んでいく光景が見られるようになってきました。暖かくなり牛の喜びようは凄いものです。
急斜面の葉を食べたり、馬のように駆けたり 飛び跳ねたりする牛もいます。軽自動車に向かってくるように感じて怖い時もありますが、新芽を無我夢中でパクパク食べる光景は、かわいくて仕方がありません。
牛追いをすると、冬はのんびりな牛たちも早足に山をどんどん駆け上がっていきます。新芽を食べることは、牛にとって幸せなことなんだなぁと思います。【広報たのはた2022.4号より】

### ●牛と一緒に山作業をしています

気温が上昇し、山の木々や畑にも緑が増え、草刈りなどで汗が出てくるようになってきました。冬に必要な薪を乾燥させるために、立木を早めに伐採するのですが、チェーンソーの音がすると、遠くにいた牛たちが行進を始め近づいてきます。お目当ては生い茂っている木の葉。伐採した所に一斉に向かってきて、木の葉を無我夢中でムシャムシャと食べる光景はとても面白いです。葉が付いている枝と付いていない枝とでは、枝払いの作業の労力が全く違うので、気の葉を食べてくれる牛にはとても感謝しています。まだ山作業は未熟者なので、安全な伐採作業や樹木の名前を覚えるまでには時間と経験が必要です。【広報たのはた2022.7号より抜粋】

### ●子牛が誕生。捜索・救助活動をしました

先日、放牧していた牛が山で無事にお産をしました。子牛と母牛が一緒にいると見つけやすいのですが、今回は母牛が一足先に下山したようで、子牛が迷子になってしまいました。しばらく捜索活動をしてると、林の木陰にひっそりとたたずんでいる子牛を発見。一緒に歩いてくれると下山しやすいのですが、生まれたてで足腰が弱い子牛には、軽トラックも入って行けないほどの急斜面は、まだきついみたいでした。担ぎ上げての下山も考えたのですが、生まれたてでも体重は40～50kgほど。下山するころには腰が悲鳴を上げそうなので、今回はソリを準備して子牛の救助に向かいました。下山途中、母牛の姿が見えると元気に立ち上がり、自力で母牛の元に戻った姿はとてもたくましいものでした。【広報たのはた2022.10号より抜粋】

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス） k-nakanowatari@vill.tanohata.iwate.jp
（電話番号）0194-34-2111

# 岩手県普代村　谷口　智亮

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
32歳
【出身地】
福岡県福岡市
【転出元】
長崎県東彼杵町
【前　職】
JICA海外協力隊
【活動時期】
R3.9～

## 協力隊に応募したきっかけ

JICA海外協力隊としてモザンビークで養蜂の技術支援のボランティア活動をしていましたが、新型コロナの影響で緊急帰国しました。
帰国後の進路を模索していたところ、地域おこし協力隊を知り、「日本の知らない所でチャレンジしたい」という気持ちで応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

ニホンミツバチの養蜂を普代村で成功させたいです。
ミツバチを通して自然環境の重要性を訴えていけるような活動をしたいです。
また、三陸ジオパーク認定ガイドと狩猟免許を取得し、自然をテーマにしたアテンドや観光開発をしていきたいです。

## 活動内容

**●ニホンミツバチの養蜂**

廃校の小学校跡地の屋上を中心に巣箱を置いています。今年は入居しなかったですが、辛抱強く頑張ります。
また、村内外で仲間を増やしミツバチの巣箱を沢山置いて三陸を中心にミツバチの保護活動をしていきたいです。

**●三陸ジオパーク認定ガイドの取得**

認定ガイド取得のために勉強中です。
三陸ジオパークの魅力を発信し、観光開発に努めていきたいです。

**●狩猟免許取得・ジビエ事業化**

シカやクマなどの野生動物を資源として活かすためにジビエの事業化に向けて準備を進めています。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
各種SNSのリンクをlit.linkに載せています。
https://lit.link/hachifm38

# 宮城県角田市　吉川　一利

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
３３歳
【出身地】
宮城県七ヶ浜
【転出元】
宮城県利府町
【前　職】
利府町協力隊
【活動時期】
Ｒ４．１～

## 協力隊に応募したきっかけ

前任地で梨栽培の一連の流れを取得し、今後も永続的に農業を続けていくにはどうすべきか、長らく考えていました。将来的に一次産業で生計を立てていくためには、初めからまとまった梨畑での就農準備を進めた方が効率が良いという考えに至り、その条件に当てはまる場所を求め、東北６県プラス新潟県の梨産地を対象に情報収集を進めました。その中で、角田市の梨畑がもっとも理想に近い条件が揃っていた事が一番の志望の理由になります。

## 今後の抱負･任期後の目標

梨以外の果樹栽培にも積極的にチャレンジ出来ればと考えており、現在興味のある果樹としては、桃・ぶどうの２品目、加えて角田市名産の梅栽培。また、収穫物を生かした６次産業事業にも携わる事が叶えばと思っております。 梨に限らない果樹全般に対する知識や新たな栽培技術を取得し、どの果樹においても専門的な栽培ができるようになりたいと考え、任期終了後は、梨を中心とした果樹農家として定住するとともに、地域の方々と積極的にコミュニケーションを図りながら継続的な営農活動を進められればと思います。また次世代の新規就農者のために体得した技術は全て共有し、産地を守る活動事業にも力を入れていきたいと思います。

## 活動内容

### ●耕作放棄梨園　再生計画　STAND　UP!!

耕作放棄地、されど伸びしろがある農地があるだけ運が良い。手がける梨園は、２年から１０年営農活動を行っていなかった場所、梨の木の状態は悪い。しかし設備などはまだまだ活かせる状態であったため、耕作放棄梨園（９０a）を拠点にすることに決めた。損傷が激しい梨の木（およそ１００本)全て伐根。そこに新たな梨苗木を植え、耕作放棄地をまた稼げる梨園にすることがミッションになります。

### ●北海道に学ぶ、農業経営のすすめ

広大な果樹園界隈に宿泊可能なキャンプサイトを作る活動を進めております。角田市姉妹都市交流事業として北海道栗山町に訪問させていただいた際に、選考事例として栗園（3ha）×キャンプ場経営を行っている農園を視察。「北海道での学びを角田の地で実践したい」をテーマに自信が手がける梨園に遊べる楽しめるキャンプサイトを作り、果樹園関係人口を増やし、新たな農産物販路を開拓することを目的とした活動を進めております。

### ●地域住民と地域農業の現状共有

角田市で行われている「かく大學の農ある暮らし学部」を通し、地域の方々を耕作放棄梨園に招待し、作業の現状や今後の課題や将来展望を共有しました。将来的に梨狩り体験可能な農園にしたいと考えており、様々な人が関わる、地域の方に愛される観光果樹園を目指せればと思います。

## 連絡先

# 宮城県富谷市　西嶋　陸

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
27歳
【出身地】
宮城県仙台市
【転出元】
宮城県仙台市
【前　職】
法人カーリース営業
【活動時期】
R4.8～ R7.3
(1年目)

## 協力隊に応募したきっかけ

今までよりも一層宮城に根差した生活をしたいと考えたことがきっかけです。この制度を知った時、営業で培った能力を活かし富谷の活性化に貢献できるのではないかと考えました。東北の人口流出が嘆かれるなかで富谷市は50年以上人口が増えていることを知り、それは富谷が魅力ある街であることの裏付けだと感じました。そこで行われる養蜂の重要性、蜂蜜の効能、加工品の幅広さに可能性を見出し、私も養蜂を通して新たな特産品を開発し、富谷を盛り上げる一助となるべく邁進したいです。

## 今後の抱負･任期後の目標

自然との共生を大切にしながら養蜂に取り組み、快適で過ごしやすい養蜂場の環境整備を目指していきます。また、自然豊かな富谷で、地域の方とコミュニケーションを取りながら養蜂や農業を通して新たな特産品の開発と、市の農業と地域を盛り上げる活動を行って行きたいです。

任期満了後もEIGHT CROWNSでの活動を継続したいと考えております。

## 活動内容

**●養蜂業務**

富谷の生はちみつ「WILD FLOWER」を採蜜するために日々ミツバチ達の世話や観察を行っております。現在は天敵であるスズメバチ対策に力を入れ、越冬を目標に養蜂業務を行っております。

**●蜜源植物の育成**

ミツバチに蜂蜜を作ってもらうには蜜源植物が欠かせません。シロツメクサ、ヒマワリ、栗、藤、アカシア等の蜜が採れますが、新たな蜜源植物を育てるために秋蒔きを行いました。富谷の気候に対応できるか、越冬できるかどうかの調査も兼ねて育てています。

**●店舗運営**

受入れ先企業の(株)EIGHT CROWNSは富谷宿観光交流ステーション「とみやど」内に店舗を構えております。養蜂以外の時間は、接客、在庫管理、オンライン商品の発送、ドリンク調理等の業務を行っております。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
EIGHT CROWNS 公式Instagram
https://www.instagram.com/eightcrownsjapan

# 宮城県富谷市　菅野　文彰

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
48歳
【出身地】
宮城県　仙台市
【転出元】
宮城県　仙台市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R4.9～ R6.3
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

東日本大震災にて被災し離農しましたが、「いつかは複農を」と思慮していたところ、知人の紹介から協力隊応募となりました。以前からブルーベリー栽培等に興味があり、これまでの農作物栽培・被災後の民間企業での業務経験を活かし、新たな地域で地元に根付いた活動にチャレンジしようと決断しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

農産物の収穫までには月日がかかりますが、安定した収穫量を確保するための栽培技術、独自による販売計画・6次産業化までの発展が目標です。日々の作業に追われ先々の事ですが、栽培実績を確実なものにし増産していくことが課題です。
任期後、引き続き栽培技術の確立、新たな富谷ブランドになりえる農産物の生産、地域活動に参画していきたいと思います。

## 活動内容

**●生育状況**

一般的な野菜栽培（根菜・葉茎菜類）から取り組んでいます。（最短出荷出来るもの）

**●育苗管理**

国産の需要が求められているレモン栽培の取り組み
鉢上げ作業。

春季栽培に向けての播種準備作業。
(基本情報の写真から)

**●お茶栽培**

㈱夢ファームTOMIYAで以前から栽培しているお茶の栽培管理。（霜降・降雪対策）

## 連絡先

# 山形県寒河江市　小林　勇気

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
26歳
【出身地】
青森県　弘前市
【転出元】
青森県　弘前市
【前　職】
大学生
【活動時期】
R4.4～ R7.3
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

以前より興味のあった農業に挑戦してみたいと思っていたところ、地域おこし協力隊という制度があることを知り応募しました。

その中でも寒河江市は作ることができる農産物の品種が多く、選択肢はたくさんあった方がよいだろうと思ったため寒河江市を選びました。

## 今後の抱負・任期後の目標

最終目標は任期終了後に新規就農者として独立し、寒河江市での安定した営農を行う事です。その為に、任期中には営農していくうえで必要な知識や技術を身に付けることはもちろんのこと、情報発信や販売会などを行って寒河江市の農業振興の一助となればと思います。

## 活動内容

**●農業研修**

地域の農家さんの所に研修に行き、新規就農に向けて知識や技術を習得しています。野菜からフルーツまでさまざまな農産物に触れ、将来自分が就農する際の軸となる作物を検討中です。

**●販売会**

地域の農家さんからの農産物を出してもらい、様々な所で販売会を行っています。自身にとってもよい経験になり、さらにお客様には地域の農産物に触れる機会を、地域農家さんには気軽に出品できる機会を提供できればと思っています。

**●食育授業**

地域の小学生などに農業に触れる機会を提供し農業に対して興味を持ってもらうことで、将来の農業担い手が少しでも増え、地域の農業がより一層盛り上がればと思います。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://twitter.com/sagae_chi?s=11&t=HHbmmL6HZRBSHnel2CxZtg

# 山形県寒河江市　森川　宏輝

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
29歳
【出身地】
東京都　江戸川区
【転出元】
宮城県　仙台市
【前　職】
広告代理店　営業職
【活動時期】
R4.4～ R7.3
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

フルーツが大好きで「自分で作りたい」と思うようになり、農業を始めるため研修先や就職先を探していたところ、たまたま寒河江市の求人に出会いました。仙台在住の時にさくらんぼ狩りで寒河江市に行ったことがあり、縁を感じて応募しました。
また、過去に日本一周をしたことで、知らない地域の新しい魅力に出会い、「この地域を知らない人にも知ってもらいたい」と地域振興や情報発信にも興味があったので、幅広い分野で仕事ができそうだったため。

## 今後の抱負・任期後の目標

任期後の目標は「新規就農」です。そのために、目標とする作物の研修を行い知識と技術を身につけたいです。
６次産業化やカフェの運営など、より農作物を身近に感じてもらえるようなブランド作りも行っていきたいです。
また、自身だけではなく地域の農業の認知度向上や、若手農家の交流を通じて後継者不足の解消も図っていきたいと考えているので、情報発信やコミュニティスペースの開設など、農を取り巻く環境改善にも力を入れていきたいです。

## 活動内容

**●農業研修**

寒河江市にある「農業担い手の会」という団体で、研修の受け入れをしていただいています。
若手農家さんを中心に、時期や作物ごとにさまざまな農園に伺い、さくらんぼやラ・フランス、トマト、とうもろこしなど、作業を実際に行いながら学んでいます。

**●マルシェや販売会、メニュー開発の実施**

市内で販売会を行い、地元のお客様に農作物の販売や交流をしています。山形の農産物の魅力を幅広く届けられるように東京のマルシェにも参加したほか、自身で「わらしべ農家」という野菜の交換企画を実施しました。収穫した農作物のメニュー開発や試食会にもチャレンジしています。

**●地域活動**

8月に発生した大雨により最上川が氾濫し、川沿いの園地が浸水する被害がありました。園地の復旧作業支援でゴミの撤去や泥の除去などを行いました。
また、地域の小学生や学園の子どもたちと一緒に植え付け体験や収穫体験を行うなど、農業の楽しさを伝える活動にも参加しています。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Instagram　@sagae.agriboy
note　https://note.com/sagae_agriboy

# 山形県南陽市　遠藤　友紀

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
３５歳
【出身地】
山形県　米沢市
【転出元】
山形県　米沢市
【前　職】
café経営
【活動時期】
Ｒ４.４～

## 協力隊に応募したきっかけ

前職で飲食に携わってきました。その中で生産することに興味を持ち、新鮮で身体に優しい野菜・果物を作ってみたく、農業研修が出来る協力隊に応募いたしました。

## 今後の抱負･任期後の目標

今年はまだ一年目ではありますが、さくらんぼ農業を一から始めたり、畑を耕して野菜を育てました。
自分で育てた野菜・果物をこの地区だけでなく県外や国外にも上手く広く発信して知ってもらいたいと思います。
また、それらを使った６次化商品の開発も進めて行きたいです。
任期後はcaféを運営しながら、自分で育てた農作物を提供して行けたら良いなと思っています。

## 活動内容

**●活動内容　さくらんぼ農業**

今年４月から引退される農家さんから引き継いで、さくらんぼ農業をスタートしました。まだ、雪が残っている時期から剪定し始め、６月の収穫まで全て初めての経験で、一日一日が学びの連続でした。同じことをやっても天候や環境によって違い、とまどいを感じることもありましたが、その大変さがあるからこそ達成感は大きかったです。

**●活動内容　野菜づくり**

一から畑を耕して様々な野菜づくりにもチャレンジしました。植えて水をやって終わりではなく、日々のそれぞれの野菜の管理の大変さ、特徴等も学ぶことが出来ました。質の高いおいしい野菜を作るために土の知識も勉強して行きたいと思いました。一生懸命育てた野菜は収穫の喜びもひとしおでした。子供と一緒にチャレンジできた畑・野菜づくりは最高の思い出となりました。次期は、どの野菜をどれくらい、どのバランスで、どういう並びで、とかプランニングもブラッシュアップして行ってみたいです。

**●活動内容　商品開発**

私の「農業研修」と、もう一つのミッションが、「6次化商品開発」です。私の師匠でもあるラ・フランス農家の方が手掛けたラ・フランスストレートジュース・リンゴジュースの反響がとても大きく、今年はラベルのデザインを担当させていただきました。これらを迎える農閑期には、市内の酒造メーカーさんのお手伝い等を通して農作物の加工を学び、さらなる６次化商品の開発につなげて行きたいと思っています。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
－

# 山形県南陽市　田中　のどか

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
25歳
【出身地】
山形県山形市
【転出元】
東京都西東京市
【前　職】
小学校教諭
【活動時期】
R4.4月～R7.3月予定
（１年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

学生の時に、スペインバルでアルバイトをしていたことがきっかけでワインに興味をもったから。また、地元である山形で働き、山形の魅力を発信したいと思ったから。

## 今後の抱負・任期後の目標

葡萄栽培や、ワイン醸造について、より深く学び、自分のオリジナルワインを作れるようになりたい。また、インスタグラムやイベント等を活用した情報発信を継続し、山形のワインの魅力を広めていきたい。

## 活動内容

**●葡萄栽培研修**

株式会社グレープリパブリックで葡萄栽培の研修を行っている。棚づくりのデラウエアの栽培を行っているが、今年から1000本以上のワイン用葡萄を、垣根仕立てで植えた。芽かき、誘引、ビニール張り、収穫等、葡萄栽培を一から学んでいる。

**●ワイン醸造研修**

株式会社グレープリパブリックで、ワイン醸造の研修も行っている。葡萄の除梗や、圧搾、ワインチェック、ボトリング等の手伝いを行い、ワイン醸造の方法を学んでいる。

**●販売研修**

県内外の酒類販売のイベントに参加し、研修先のワインの販売をおこなっている。また、インスタグラムを活用し、日々の様子を更新している。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（instagram）wine_nanyo_wine

# 山形県河北町　岡部　なぎさ

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
32歳
【出身地】
山形県天童市
【転出元】
神奈川県横浜市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R３.４～R６.３
（２年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

新型コロナウイルスにより首都圏での生活が一変し、以前より夢であった花農家を目指し、山形県へのUターンを決めました。農業をするための空き家を探し、河北町役場へ相談したことが応募のきっかけです。

## 今後の抱負・任期後の目標

基盤のない就農者が少しでも就農しやすい基盤づくり（小屋や機械、住宅など）の継続と、河北町の農業、及び花の魅力をもっと広めたいです。
任期後は切花栽培をメインとした農家になります。

## 活動内容

**●新規就農者支援**

河北町で就農したい方が相談にいらした時に、河北町での農業・気候の特色を踏まえて、どのような作物が適しているかや、どういった作物の組み合わせでの経営モデルがあるかなどお話ししながら、就農のイメージをつかんでもらったり、技術指導を行ってくれる研修生受入農家さんへのアテンドなどを行っています。

**●農業情報発信**

主にYouTubeを活用し、季節ごとにどのような農作業を行っているのかを、実際に私自身が体験し、視点カメラの映像などを使いながら紹介しています。

**●農業研修**

私自身も就農を目指していることから、実際に就農に向かって準備する上での技術習得やシーズン作業の流れ、また土地の確保や経営計画の作り方などを学びながら、どんな苦労があるのかを、新規就農希望者に説明できるようにしています。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
YouTubeチャンネル「野生のなぎサウルス★」「河北町さ来てみねが」
Instagram　_unjardin

# 山形県飯豊町　武田　親祐

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
37歳
【出身地】
山形県　山形市
【転出元】
山形県　山形市
【前　職】
飲食業
【活動時期】
R4.8～

## 協力隊に応募したきっかけ

新規就農の機会を探していた中で、飯豊町での農業応援協力隊の募集を知りました。

飯豊町には何度か訪れたことがあり、田園風景と散居集落の美しさや自然の豊かさに魅せられました。

魅力を感じたこの場所で暮らし、就農を目指したいと思い応募させていただきました。

## 今後の抱負･任期後の目標

次世代の農業の担い手として、任期後の定住を目指し稲作を中心とした農業技術の習得、各種免許の取得、地域活動への積極的な参加を行いたいです。
また、自身の体験を通した農業や地域の情報発信を行い地域活性化に繋げていきたいです。
魅力を感じた飯豊町の暮らしを守るため、循環型農業・稲作と畜産の連携強化・耕作放棄地の活用・後継者問題等にも取り組みたいと思っています。

## 活動内容

**●稲刈**

先輩農家の方々と稲刈を行いました。
コンバインの操作だけではなく、機械の整備や実際の刈取りの際の注意点、倒れてしまった稲の刈り方など実務的な内容をご指導頂きました。
毎年の活動を通し自分のものにしていきたいと決意。

**●畑作研修**

畑2か所を利用させていただき、枝豆・黒豆・大根・キャベツ・白菜・そば、さつまいも、玉ねぎ・にんにく等多数の野菜を栽培、管理させて頂いています。
施肥・除草・病害虫管理の難しさを実感。
同時に収穫の楽しさや、畑で地域の方々と交流出来る楽しみもあります。

**●地域のでの交流**

地域の子供たちを含め、みんなでもち米の刈取りとくいがけ(刈り取った米を干す作業)を行いました。
ベテラン農家のみなさんが、鎌の使い方や刈り取った稲を稲を使ってまとめる方法などを指導。
大人にとっても子供にとってもいい思い出作りになると感じました。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（インスタグラム）
https://www.instagram.com/iide_yamagata_chiikiokoshi/
(Twitter) @iidemachitanbo

# 茨城県笠間市　髙山　健

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
28歳
【出身地】
東京都世田谷区
【転出元】
千葉県柏市
【前　職】
コンサルティング
（シンクタンク）
【活動時期】
R４.６～

## 協力隊に応募したきっかけ

大学在学中に笠間市の方々と出会い、農作業やイベントの手伝い、都市農村交流のワークショップなどの活動を通して、農業や地域活性化に興味を持ちました。

前職では、政府の政策運用や政策に関わる調査を担当しており、その中でプレイヤーとして地域や農業の課題解決に努めたいという思いが湧き上がってきました。ちょうどそのタイミングで、お世話になった方から、地域おこし協力隊の募集をご紹介いただき、笠間市地域おこし協力隊として活動することを決意しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

まずは、農業のプレイヤーになることを目指し、市内の農家さんとの関係を構築させていただくなど、農業技術習得に努めていきます。その上で、農業の新たな担い手創出のために、新規就農者の支援やコミュニティ農園を通じた関心層の増加に努めていきたいと考えています。

担い手不足となりつつある農業に、自分自身も含め次世代の担い手を増やし、次世代に繋がる持続可能な農業を展開していきます。

## 活動内容

**●笠間市農業公社や市内農家での農作業の研修**

「笠間の栗」をはじめとする笠間市内での農業について、笠間市農業公社や市内の農家さんから農作業の研修を受けています。農業技術習得に向けた研鑽と、市内の農家さんとの関係構築に努めています。

**●新規就農者のサポート**

「移住コンシェルジュ」の高橋隊員と共に、笠間市内への移住と就農を目指されている方々の相談を受けています。

栽培作物や作付面積などの具体的なイメージを持たれていない就農希望者が、相談できる窓口が少ないという課題を知り、この活動を開始しました。現在は、相談者のニーズをヒアリングし、意向に合う農家さんを交えて相談会を実施しています。

**●コミュニティ農園「友部コモンズ農園部」（体験型農業イベントの企画）**

農業に興味があるが、一人ではハードルが高いという方に、気軽に農業へ携われる場として、コミュニティ農園の活動をしています。「朝活農業」や「枝豆収穫＆火起こし体験の親子WS」などのイベントを、次々に企画・開催しています。農業に興味を持つ方を増やし、新たな農業の担い手が増えていくきっかけになればと考え活動しています。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

（笠間市地域おこし協力隊FB）

（友部コモンズFB・Instagram）

# 茨城県稲敷市　丸田　聡太郎

**農業・林業**

## 基本情報

【出身地】
東京都足立区
【転出元】
東京都足立区
【前　職】
学生
【活動時期】
Ｒ３．１０～Ｒ５．７

## 協力隊に応募したきっかけ

○友人の紹介で稲敷市の人口減少が著しいこと、地域おこし協力隊にて江戸崎カボチャの後継者を募集していることを知り、新規就農に興味を持った。
移住定住コンシェルジュで地域おこし協力隊のOB隊員に協力隊ついて説明を受け、相談に乗っていただいた。

## 今後の抱負・任期後の目標

○農業の知識を身につけ、江戸崎カボチャの後継者として新規就農するため研修に取り組んでいく。
２年目はある程度自力での栽培にも挑戦したい。
また農業や市、県の魅力をSNSを通し情報発信に努め人口減少問題に取り組んでいきたい。

## 活動内容

**●稲敷市の特産、江戸崎かぼちゃの栽培研修**

着任当初から、研修先としてＪＡ稲敷の南瓜部会部会員の皆さんの農場で栽培について学ばせていただいています。
江戸崎かぼちゃは、ＧＩの認定も受けた稲敷市を代表するブランド農産物だが、生産者の減少が課題の一つであり、早く生産者の仲間入りができるよう日々活動しています。
活動も２年目に入り、一から自分の手でカボチャを栽培するということも行っていますが、地域おこし協力隊の制度を利用することで、ある程度のトライ＆エラーが可能であることは、とても心強いです。
今後も先輩農家の皆さんのご指導を仰ぎながら、一人前の江戸崎南瓜農家となれるよう頑張ります。

**●地域おこし活動のＰＲ**

地域おこし協力隊の活動を、ＳＮＳを通して発信しています。また、イベントに参加して江戸崎かぼちゃの宣伝や市のパンフレット配布なども行っています。
市内の中学校からの要望で、地域おこしに関する講義なども実施しました。

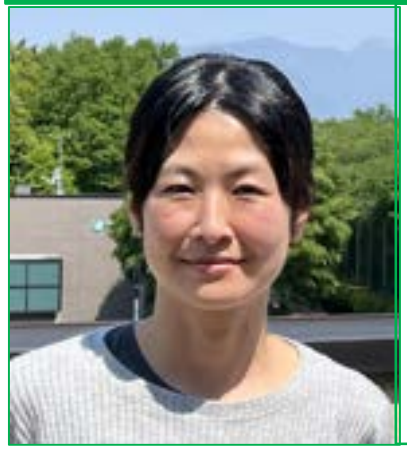
## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）jinkou@city.inashiki.lg.jp
（電話番号）029-892-2000
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】
作成中

# 栃木県那須塩原市　大束　絵梨

**農業・林業**

## 基本情報



【年　齢】
39歳
【出身地】
千葉県　市原市
【転出元】
千葉県　市原市
【前　職】
酪農業
【活動時期】
R４.５.９～R７.５.８
（１年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

酪農の今後を考えていたときに、以前栃木県に住んでいた時に知り合った方から、乳製品関係の協力隊の応募があることを聞きました。
今までの経験を活かした活動ができると思い応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

那須という自然豊かで魅力あふれるこの地域をより深く知ることで、活動の幅を広げていきたいです。
酪農や農業に関わる方々と一緒に、地域が楽しくより豊かになるような取り組みをしていきたいと考えています。

## 活動内容

**●酪農、農畜産物のPR活動**

地域のマルシェやイベントに参加し、生乳生産量全国２位である那須塩原市の乳製品や農業のPR活動。
田舎暮らしの豊かさや農業の魅力を発信。

**●酪農家、農家の圃場回り**

農家さんを回って一緒に作業をしながら、新たな農産物や地域の魅力を発掘する活動。
県内外の就農希望者や移住希望者に向けて農業や乳製品を中心とした情報を発信。

**●乳製品の製造技術研修**

乳製品製造の技術習得のため六次産業化を行っている牧場で研修中。
今後は製造技術を生かし、新製品の開発など那須の酪農を生かした製品を作っていく予定。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram/Facebook）　@nasushiobarachiikiokoshi

# 群馬県富岡市　市川　素

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
33歳
【出身地】
京都府　京都市
【転出元】
千葉県　木更津市
【前　職】
国際協力機構（JICA）
【活動時期】
R４.７～

## 協力隊に応募したきっかけ

私は地域おこし協力隊を通じて、日本の養蚕文化を日本や世界に伝え、新しい令和の時代にも魅力ある日本の原風景として残していきたいと考えています。

青年海外協力隊（現JICA海外協力隊）として派遣された、インドでの養蚕農家支援の経験を活かして、日本のこれまでの養蚕技術に加えて、新しい視点で養蚕に取り組み、見る人を惹きつける発信をしていきたいと考えています。

## 今後の抱負・任期後の目標

まずは研修を通して養蚕を学び、今後の新規就農を目指して頑張っていきたいと思います。また、活動を通じて富岡市の地域と関わり、地域を学び、地域の人々と交流していきたいと考えています。

## 活動内容

**●養蚕農家さんの下で研修**

地域の養蚕農家さんの元で研修させて頂き養蚕の基礎を学んでいます。同じ養蚕と言えど農家さんによって飼育方法や道具・設備、作業の時間帯や大事にしているポイントまで人それぞれで大変興味深いです。私も自分に合った養蚕スタイルを徐々に考えていきたいなと思います。

**●養蚕デビュー**

今年度最後となる、そして私のデビュー戦となる晩晩秋の養蚕がスタートしました。

約3万頭のお蚕さんを受け取り、せっせと桑をやったり、ストーブを付けたり消したりの温度管理をしたり、お蚕さんをのぞき込んでご機嫌を伺っております。研修で教わったことを思い出しながら試行錯誤を繰り返しています。

**●社会貢献型インターンシップ「クラダシチャレンジ」**

大学生8名が富岡市を訪問し、養蚕農家での養蚕研修や若手農家との座談会等を通じて、養蚕振興やシルク商品のPRについて考えてくれました。私の研修先の農家さんにも2名の大学生が来てくれて、桑の伐採や蚕への桑やりを手伝って頂きました。これまで繋いできた歴史や伝統を必死に守ろうとする農家さんや関係者の方々がいることを県外の若い方に知ってもらうとても貴重な機会になりました。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Facebook　https://www.facebook.com/tomiokashi.chiikiokoshi/

# 群馬県みどり市　伊藤　友樹

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
37歳
【出身地】
群馬県北群馬郡榛東村
【転出元】
大阪府大阪市淀川区
【前　職】
パチンコ・スロットホール社員
【活動時期】
R3.12～ R6.11
（2年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

前職の転勤で以前みどり市に住んだ時に、自然の豊かさや住み心地の良さに魅力を感じました。その後、自然への回帰欲から林業への転職を検討したところ、運良くみどり市が林業振興者の募集をしていた為、思い切って応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

主軸の林業は引き続き研鑽に励みつつ、精油関連も事業化できるよう取り組んでいきます。また、林業のデジタル化を進める為の勉強・実践をし、地元林業家や林業振興OB・OGの方々に共有することで地域貢献をしたいと考えています。

## 活動内容

**●地元林業家の元での研修**

自伐林業を実践されている小林林業をはじめ、高性能林業機械を積極的に導入している共進林建の現場に赴き、チェーンソーの扱い方や重機操作などをご指導いただいています。

**●市有林の間伐実践**

各林業家の元で培った技術を使い、みどり市の市有林にて仲間と共に道を切り開いて間伐を実践しています。ここで感じた疑問点や不明点を後日各林業家に伺い解消したうえで、再度挑戦することで技術力向上と経験の蓄積を行っています。

**●山林資材から精油精製**

間伐の際、材として使用しない枝葉を用いて精油の精製及び関連商品の開発を行っています。現在ヒノキの葉の精油を主軸に商品開発を進めています。今後は東町の柚子などから精油が精製出来るか試行します。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
[Facebook] https://www.facebook.com/woodjob.yuukiito

# 群馬県みどり市　植松　竜次

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
37歳
【出身地】
群馬県太田市
【転出元】
群馬県太田市
【前　職】
ホテル勤務
【活動時期】
R2.4～ R5.3
（3年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

もともと林業に興味があり、地域おこし協力隊を探していたところ、みどり市が林業振興で募集していたことや、かねてから子どもを自然が豊かな土地で育てたいという気持ちもあり、地元からもさほど遠くもなく生活しやすいため、みどり市を選びました。

## 今後の抱負・任期後の目標

自伐林業家としての知識や技術を身に付け一人立ちをすること、またみどり市に定住に向けた基盤作りを目標としております。

## 活動内容

**●林業活動**

地元の林業会社や自伐林家の方の下で勉強させていただき技術を磨いています。使う機械、重機が用途によって様々で、それが難しくもあり面白くもあります。
3年の任期の中で知識、技術を身に付け、一人前の林業家を目指して頑張っていきます。

**●果樹栽培 柿**

近所の農家の方から誘っていただき、少ない面積ですが柿の栽培をしています。春から2週間おきに消毒作業と畑の整備、秋には収穫と販売、冬は剪定と1年を通して忙しく、林業と並行してできるか模索中です。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）ryuji-ue@city.midori.gunma.jp
（電話番号）0277-76-0984（職場）
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】
[インスタグラム] https://www.instagram.com/midori_chiiki/?hl=ja
[ツイッター] https://twitter.com/midori_chiiki
[フェイスブック] https://www.facebook.com/midori.chiiki.okoshi/
[ブログ]https://ameblo.jp/midori-chiiki/
[ユーチューブ] https://www.youtube.com/channel/UCC-sTng5RtvDLb0UFA21EDQ

# 群馬県みどり市　小越　健

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
27歳
【出身地】
群馬県富岡市
【転出元】
東京都新宿区
【前　職】
鉄鋼の専門商社→飲食業
【活動時期】
R3.10～ R6.9
（2年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

元々、東京で飲食業を起業しており、商流を遡り生産者側の立場にも触れることで、飲食業とのシナジーがあると考えていました。どこかで農業を学びながら自分でもできる場所がないかと考えていたところ、協力隊の制度を知り、応募しました

## 今後の抱負・任期後の目標

飲食店への出荷が現在のメインなので販売ルートを確立し、消費者への直接販売を進めていきます。人脈による販売網ももちろんですが、インターネット販売などといった時代のニーズも読み取りながら進めていき、ゆくゆくは野菜のブランド化を狙っています。

## 活動内容

**●野菜の生産**

農家さんの下で栽培方法を学びながら、自身で畑を借りて、野菜類（タマネギ、ジャガイモ、キャベツ類など）を栽培しています。作った野菜は地域の施設で販売したり、東京に送ったりしています。

**●お米の生産**

地域の組合に加入し、稲作をスタートします。育苗、田植え、稲刈りなどの行事は地域の組合で共同で行うので、ベテランの方々に教わりながら手探りで進めています。

**●遊休農地の利用**

畑として使う以外にも遊休農地の効果的な利用方法はないか、様々な農業の形を見ながら日々考えています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（電話番号）0277-76-1937（職場）

# 群馬県みどり市　佐々木　梨乃

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
31歳
【出身地】
群馬県邑楽町
【転出元】
埼玉県川島町
【前　職】
販売・飲食業
【活動時期】
H31.4～ R5.3
（3年目）
（R1.10～R2.9 育休取得）

## 協力隊に応募したきっかけ

はじめは主人がみどり市で地域おこし協力隊をやりたい！と思い立ち、一緒に見学に来たことがきっかけでした。
　地域の特産物や農産物がどういったものがあるのか、道の駅や直売所を巡ってみるのが好きで、いずれは私も作ってみたいという思いがありました。そんな思いを担当の方にお話すると、奥さんも一緒にやってみたらどうかと勧めて頂き、応募しました。

## 今後の抱負･任期後の目標

食品加工・農産物加工の技術を向上させていきたいと考えています。そのために、地域の方々と関わりを持ち、その土地ならではの手法や昔からの手法を学びたいです。また、そこで学んだ技術などをSNS等で発信してみたいです。
　任期後には、主人と自家栽培の小麦を使ったパン屋を開業します。そこで、任期中に学んだことを活かした製品づくりもしていきたいです。

## 活動内容

**●小麦からつくるパン屋さん**

無肥料・無農薬で育てた小麦を、自家製粉し、その全粒粉と北海道産小麦をブレンドしたパンを販売しています。
店舗は地域の方から古民家をお借りし、自分たちでデザイン、改装して、2022年4月からオープンしました。

**●地域の特産を活かした商品作り**

自分たちの小麦だけでなく、みどり市で採れたハチミツやベリー、隣町の黒保根で採れた卵など、地場産のものを使った商品作りをしています。

**●マルシェの開催**

2021年の10月からみどり市東地域で「うさかめマルシェ」を主催しています

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）rino-sa@city.midori.gunma.jp
（電話番号）0277-76-0984（職場）
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】
[インスタグラム] https://www.instagram.com/midori_chiiki/?hl=ja
[ツイッター] https://twitter.com/midori_chiiki
[フェイスブック] https://www.facebook.com/midori.chiiki.okoshi/
[ブログ]https://ameblo.jp/midori-chiiki/
[ユーチューブ] https://www.youtube.com/channel/UCC-sTng5RtvDLb0UFA21EDQ

# 群馬県みどり市　田阪　真央

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
34歳
【出身地】
アメリカ・イリノイ州
【転出元】
東京都板橋区
【前　職】
外食業勤務
【活動時期】
R3.10～ R6.9
(2年目)

## 協力隊に応募したきっかけ

元々、自然に係る仕事をしたいという思いはありましたが、何をしたいのか明確にわかりませんでした。そんな中、コロナの自宅待機で、自分について考え、都会ではなく、田舎で暮らしたいと思うようになりました。そして林業をやりたいと思うようになりましたが、経験がなかったため、一から始める良い方法はないかと、探した結果、地域おこし協力隊の存在を知り、応募しました。

## 今後の抱負･任期後の目標

木の伐倒だけでなく、重機など、様々な機械が扱えるようになりたいです。また、木を傷つけたりする、有害鳥獣の駆除などにも、力を入れたいと考えています。

## 活動内容

**●活動内容　伐倒**

林業においてもっとも基本的な活動であり、最も重要な活動です。木を切り倒すことで、初めて、その木を材木にしたり、薪にしたりすることが出来るのです。

**●活動内容　造材**

木を切り倒した後にする、作業です。切るための印をつけたり、余分な枝を切り落としたり、一定の長さに切り分けたりします。これにより、木はようやく商品として、市場に出すことができます。

**●活動内容　薪割**

木を切り倒した後にする、別の作業です。短く切り分けた木を、斧を使ったり、薪割機を使って、薪にします。これを乾燥させることで、冬を暖かく過ごせます。

## 連絡先

# 群馬県みどり市　吉澤　駿

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
26歳
【出身地】
東京都江戸川区
【転出元】
東京都江戸川区
【前　職】
配送業
【活動時期】
R4.10～ R7.9
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

以前から自然に囲まれた環境で仕事をしたいと考えていたところにみどり市で林業分野のおためし地域おこし協力隊の募集をしていることを知り、参加したことがきっかけで応募に至りました。

## 今後の抱負・任期後の目標

限られた期間の中で精一杯勉強し、３年後には独立をすること、定住に向けた基盤作りを中心に活動していきたいと思います。

## 活動内容

**●装備品の購入**

地域おこし協力隊として活動するための初任者研修を受けました。

また、未経験の分野を一から学ぶために必要な講習や装備品の購入をしました。

**●特別講習の受講**

チェーンソーの特別講習を終え、実地での作業に加わりました。

**●ニホンジカの誘引捕獲見学**

有害鳥獣駆除の見学をしました。前日に仕掛けられた罠を見回り、罠にかかったシカの保定、とどめ刺しを実演していただきました。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
shun-yo@city.midori.gunma.jp
（電話番号）0277-76-0984（職場）
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】
[インスタグラム] https://www.instagram.com/midori_chiiki/?hl=ja
[ツイッター] https://twitter.com/midori_chiiki
[フェイスブック] https://www.facebook.com/midori.chiiki.okoshi/
[ブログ]https://ameblo.jp/midori-chiiki/
[ユーチューブ] https://www.youtube.com/channel/UCC-sTng5RtvDLb0UFA21EDQ

# 群馬県中之条町　枝　拓未

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
21歳
【出身地】
茨城県桜川市
【転出元】
茨城県桜川市
【前　職】
宇都宮大学生（現在も）
【活動時期】
R3.4～

## 協力隊に応募したきっかけ

大学で地域づくりやまちづくりについて学んできました。フィールドワークや福島県の奥会津での二拠点生活を半年間行うなど、地域との関係を深めてきました。そんな中で、中之条町にもフィールドワークに訪れ、半年間月1回で通っている間に中之条町の風土と人柄に魅かれ地域おこし協力隊になりました。

## 今後の抱負･任期後の目標

今後は、定着するための準備を進めつつ、より中之条町に貢献できる活動をしていきます。また、令和４年に地域の人達と立ち上げたNPO法人の事務局として、産業と産業を繋ぎ、より地域全体に裨益する活動を行っていきます。

## 活動内容

**●高校生農業インターンの受け入れコーディネーター**

令和4年度から、都内の高校生数名を2週間中之条町の農家さんにインターンするプログラムのコーディネーターをしました。毎日の生活はもちろん、日々のインターンシップでの困りごと、各農家での活動の目的設定など高校生が実践的により学びになるプログラム運営をしました。

**●地域おこし協力隊募集、その他関係人口の受け入れ**

地域おこし協力隊募集事業として、おためし協力隊や協力隊インターンの受け入れコーディネートを行いました。そのほか、中之条町をより多くの方に知っていただくため、地域づくりやまちづくり、観光を入り口にした講座の運営や町に興味を持っていただいた方の体験・受け入れを行っています。

**●農業振興関係業務**

上記の二つは農業をはじめとした町の担い手を確保していくための活動です。その他にも、町に新設された第6次産業化・開業支援のための調理施設の運営やオンラインでのお米の販売、農産物のマルシェなど小さいことからコツコツと始めています。今年からもう一人の協力隊との2人体制になりましたので動きを大きく加速させていきます。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）nakanojotiikiokosi@gmail.com

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Facebook（個人）：https://www.facebook.com/profile.php?id=1000128
インスタ（NPO法人中之条コネクト）https://www.instagram.com/nakanojoconnect/

# 埼玉県小川町　泉地　春香（せんち　はるか）

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
23歳
【出身地】
埼玉県 ふじみ野市
【転出元】
埼玉県 ふじみ野市
【前　職】
IT不動産にて住宅相談員
【活動時期】
R4.10～

## 協力隊に応募したきっかけ

有機農業が盛んな小川町で、食を中心とした地域内の循環を体感したい！活動したい！との思いで応募しました。
暮らしに必要なものはほとんどが揃う町で生まれ育ちましたが、「自分が普段食べているものがどこから来ているのか」という疑問や、生産地と消費者であるわたし自身が遠い関係にある事に、不安と違和感を覚えていました。
小川町は、地域で育った野菜が地元のスーパーや直売所で買えること、レストランで食べられること、農家さんとの距離が近いことなど、魅力を感じております。

## 今後の抱負・任期後の目標

町の人に愛され、外から来るお客さんにも楽しんでいただけるようなマルシェを開催することが私の目標なので、まず1年目は小川町について学び、沢山の人と知り合い信頼関係を築いてまいります。農業のスキル知識面もあわせて身につけ、自分で自給できるような家庭菜園もしたいと考えております。

## 活動内容

**●マルシェ出店のお手伝い**

埼玉県の有機農業者が集まるマルシェにて販売と広報を行いました。観光案内所での研修で得た町の知識や、農家さんとの関わりがあるからこそ伝えられる生の情報をお客様にお伝えしました。10月11月もいくつかのマルシェにて、出店のお手伝いをさせていただきます！

**●OGAWA'Nプロジェクト 発信**

小川町の農家さんの取り組みを認証して応援するOGAWA'N(おがわん)プロジェクト。農家さんへの負担が大きい有機JASではなく、町として認証することで、美味しくて安心安全な野菜が持続可能な形で流通できる画期的な仕組みです。応援してくれるファンを増やすため、これから発信してまいります！

OGAWA'N Project

**●観光案内所「むすびめ」（研修）**

OGAWA'N野菜も多く取り扱う観光案内所にて、観光案内の研修を1ヶ月しております。農家さんと知り合うことはもちろん、小川町の歴史・観光について学んだり、消費者の方がどんなものを求めているのかを目の前で見て感じる事ができる貴重な体験になっております。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
これから発信をこちらのアカウントで行ってまいります。
Instagram：https://www.instagram.com/ogawanproject/

# 埼玉県小鹿野町　金子　小百合

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
44歳
【出身地】
千葉県我孫子市
【転出元】
東京都足立区
【前　職】
制作会社営業
【活動時期】
R４.２～

## 協力隊に応募したきっかけ

かねてより一から物を作り体験をしながら、自分の力で生活してみたいという思いがありましたが、なかなか実現できずにいました。コロナ禍で改めてこれからの生き方について考える中で、小鹿野町で養蜂人材の募集をしていることを知りました。養蜂の経験はありませんでしたがチャレンジしてみたいと強く思ったので挑戦する決断をしました。

## 今後の抱負･任期後の目標

養蜂を始めてから１年未満ですが、養蜂体験を通じて学んだことが多くありました。また、養蜂を通じて知り合ったり関わりを持った人々も増えてきました。
着任中は養蜂の技術を高め、安定して蜂蜜の生産ができるようになることを目指します。
将来、養蜂の体験をしてもらったり、蜜ろうをやはちみつを使った特産物を作って販売し、ミツバチを通じて様々な人が交流できる場所を作れたらと思っています。

## 活動内容

**●養蜂**

春に２群から開始し、５群を新たに追加して、合計７群のミツバチを育てて、はちみつを採りました。その後、分蜂をして13群で冬越しをする予定です。養蜂に関わる全ての作業を行っています。冬には巣箱を自作したり木工も手掛けています。

**●販売**

生産した蜂蜜を販売しました。
コロナでイベントも少ないこともあり、主に通信販売を利用しました。少ないながら、地域のイベントに参加して、試食していただき、はちみつを知っていただくことができました。

**●農業（蜜源植物栽培）**

蜜源植物として、花を栽培しました。
ミツバチにとって、過ごしやすい環境を作るためと、地域に合った植物を知るために、様々な草花を育てました。巣箱づくりに利用した木材を利用したり、雑草を堆肥にしたりして、資源を生かしていくことを目指しています。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
ブログ：リリーと花と蜜蜂【ゼロから養蜂】
https://note.com/ryryohne

# 千葉県鋸南町　堀越　美奈

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
３４歳
【出身地】
東京都江戸川区
【転出元】
東京都葛飾区
【前　職】
会社員
【活動時期】
Ｒ３．１～

## 協力隊に応募したきっかけ

鋸南町へは観光でよく来ていて移住に興味を持ちました。
前から農業に興味があり、移住相談時に地域おこし協力隊募集の案内を受け応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

今までの2年で定番野菜などと、季節限定で人気の枝豆や落花生の作り方を学びました。
今後は農協出荷の品目や、施設栽培のパプリカを中心に知識を深め、道の駅と農協出荷と両立しながら、観光農園で落花生掘り体験等をして稼げる農家を目指したいです。

## 活動内容

**●アグリツー活動**

地域の非農家の皆さんと共に農業の知識を深め、情報交換をしていく。
耕作放棄地を一から耕し、無農薬栽培を学んでいます。
作業小屋としてのハウスの建設なども完全手作業で、とても勉強になっています。

**●上佐久間や長井で農地の一部を間借りし、試験栽培**

様々な地形で作付けをし、その土質に何が適しているか？どんな畝つくりなら成功するか？等、詳しく実践的な勉強をしています。
落花生、枝豆、ニンニク、アスパラガス、タマネギ、キャベツ、大根など何種類も栽培中。

**●ハウスの一部を借り、育苗から施設栽培を学ぶ。**

真冬に夏野菜であるパプリカの種子を加温機を借りて発芽させ、ポットに移植を繰り返して育苗、ハウス内に定植して収穫に至るまでの流れを勉強させてもらいました。この技術でハウス夏ネギや収穫を早めた枝豆など、様々な高収益野菜を考えられるようになりました。新規就農時の作物選定に活かせるのでいいと思いました。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://Instagram.com/mina_yu_chan/

# 東京都大島町　神田　遼

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
30歳
【出身地】
千葉県市原市
【転出元】
東京都江東区
【前　職】
旅行会社
【活動時期】
R2.10～ R5.09
(3年目)

## 協力隊に応募したきっかけ

都内で会社員をしていたのですが将来的に地方、田舎暮らし、島暮らしへの憧れがあり、地域での活動がしたいと思っていたところ地域おこし協力隊という制度を知りました。その求人の中で現在の仕事の募集があり即決で応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

任期後も伊豆大島への定住を予定しています。個人事業での開業を予定しています。2022年7月に伊豆大島ジオパーク認定ジオガイドとなったのでガイド業と現在の直売所を掛け合わせられるイベントを造成したいと考えております。卒業後はゲストハウスの立ち上げを予定しており任期中に着手して開業を目指しております。

## 活動内容

**●店舗のSNS運用**

農産物直売所「ぶらっとハウス」に勤めているので日々の店舗での様子やイベント情報などをSNSを通じて宣伝、発信しています。

**●イベントの企画運営**

店舗での仕事の他にも定期的にイベントの企画運営をしています。店舗としてのマルシェ開催に加えて少し小規模な収穫体験、野鳥観察会など野菜の販売以外での広がりを目指して日々活動しています。

**●特産品を使った商品開発**

季節ごとの特産品を使ったジェラートの製造をメインに商品開発をしています。それに加えてドリンクなどの商品も開発しています。商品を充実することにより長い時間滞在できるような店舗の仕組みも考えています。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
(ガイドHP QRコード) (Twitter:@2knd0) (Instagram:@2ryknd0)

# 東京都利島村　上田　哲郎

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
４２歳
【出身地】
東京都利島村
【転出元】
東京都
【前　職】
飲食業
【活動時期】
Ｒ３.４～Ｒ６.３
（２年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

元々、利島出身で中学卒業してからは都心で生活、仕事をしていたが、二子が小学校入学するタイミングで、地元に帰り、家業を継ぎながら椿関係の仕事をやってみたいと考えて応募しました。

## 今後の抱負･任期後の目標

椿の苗木づくりや椿山の管理、野菜づくりなどの成果をよりあげられるよう頑張っていきたいと考えています。

## 活動内容

**●椿山の管理**

椿油の原料になる椿実を効率よく拾える環境づくりを1年かけて行っています。隊員になって初めて経験しました。春から夏にかけての草刈は重労働で、秋から冬の実拾いは根気のいる作業です。段々畑の形状となっているため、より効率的にできないか試行錯誤しながら管理を行っています。

**●野菜の生産**

ハウスでの野菜づくりも初めのことだったので、手間がかかり大変でした。生産物は小松菜などの葉物を中心に色々と挑戦しました。収穫できたものを農協の購買店舗で販売したり、総菜などの加工品などに活用しています。

**●椿の苗木づくり**

椿実の優良木の枝を使用し、挿木による苗木づくりを行っています。育苗ポッドの用土も複数使用することで育成に違いがないか定点観測を続けています。将来的には、年間3,000本程度の苗木をコンスタントに出荷できることを目指しています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）oginoryou@toshimamura.org
（電話番号）04992-9-0046（利島村役場 産業観光課）

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
なし

# 新潟県妙高市　塚田　歓太郎

**農業・林業**

## 基本情報

【年齢】
２５歳
【出身地】
新潟県上越市
【転出地】
三重県津市
【前職】
学生
【活動時期】
R3.7～

## 協力隊に応募したきっかけ

・気楽に飲める美味しいワインをブドウ栽培から取組み、醸造まで行いたい。
・大学時代、細菌学を専門に学んできたが、その時の経験を活かし、栽培技術を習得したい。

## 今後の抱負・任期後の目標

・ブドウ栽培、ワイン醸造、経営方法の基礎を学び、知識や経験を身につけたい。
・ブドウ栽培やワイン醸造など活動状況をＳＮＳで発信し、認知度を高めたい。
・若者が気楽に国産ワインを楽しめるような環境づくりを行いたい。
・任期後も、農業法人で仕事を続けていきたい。

## 活動内容

**●加工用ぶどうの栽培**

妙高市において平成２８年から栽培を行っている加工用ぶどうの収量安定化と果実の品質向上を目指し、令和３年７月に着任。県普及指導センター様や岩の原葡萄園様の支援を受けながら、栽培技術を習得しつつ、令和４年に初の妙高市産ワイン「フルコン・ドゥ・ネージュ」を販売。今後は、ぶどう栽培のみならずワイン醸造に関する知識の習得を経て、産地の特徴を活かしたぶどう・ワイン造りを目指します。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）gf2-ebzu@joetsu.ne.jp
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
facebook: https://ja-jp.facebook.com/tiikinokosi
Instagram:
https://www.instagram.com/myoko_chiikiokoshi/?utm_medium=copy_link

# 新潟県上越市　荘司　勇太

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
42歳
【出身地】
北海道上川郡美瑛町
【転出元】
東京都青梅市
【前　職】
林業、山林土木現場作業員
【活動時期】
R4.5～ R7.5
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

出身の美瑛町が畑作が盛んな地域で、子どものころから農家の手伝いをしていたので農作業や体を使う仕事が好きでした。

東京に出た後に山登りを始めましたが、次第に山や自然豊かなところで暮らしたいと思い始めました。

その後、東京の奥多摩での林業の仕事を通して自然の中で働く気持ちよさに触れ、地方に移住することを本格的に考え始めました。

数年前に東京で開かれた「新・農業人フェア」で柿崎の方々と知り合いになり、2度ほど柿崎を訪れました。そこで東横山の景色のすばらしさに触れ、住んでみたいと思いました。また、移住者を含む若手の農家で構成される農業団体「柿崎を食べる会」をはじめ、柿崎の農家の方々が生き生きと農業をする姿を見て、この場所で農業がしたいと思いました。

いろいろと相談するうちに協力隊の制度を知り、応募してみようと思いました。

## 今後の抱負・任期後の目標

まず 第一に稲作技術を習得し、一人前の農家となることを目指したいと思います。

また、林業の経験を活かし、集落の山林の維持管理にも貢献していきたいと思います。

東横山の棚田はとても素晴らしいものですが、休耕地として雑草が生い茂っている田んぼも多くあります。自分が農家になることで、今ある棚田を維持していきたいと思っています。

そして、現在は放棄されている田んぼも別の作物に転用するなどして再び耕地に戻せるよう努力していきたいと思います。

## 活動内容

### ●稲作技術習得

「柿崎を食べる会」の方の指導のもとで、稲作技術の習得に取り組んでいます。今年は水田の田起こし、代掻きや除草作業からコンバインでの収穫などを経験しました。

また、復田した休耕地で蕎麦の栽培を行いました。

### ●大出口泉水周辺の環境保全

東横山には環境省選定の「平成の名水百選」に選ばれた大出口泉水があります。

日々多くの人が名水を汲むために訪れる場所であり、日本海も一望できる景勝地なので、訪れた人が気持ちよく過ごせるように草刈りをするなど保全に努めています。

また、以前よりその水を使いニジマスの養殖がおこなわれていた場所でもあり、現在はその設備を借りてイワナの養殖に取り組んでいます。

### ●地域の特産品づくり

東横山は尾神岳から風が吹き下ろすため、昔から美味しい干し柿ができるといわれています。今年は「柿崎を食べる会」が毎年行っている干し柿づくりを手伝わせていただきました。

また、東横山は昼夜の寒暖差が大きく、おいしい野菜も取れるところです。今年は自分でも畑を借りて大豆やニンジン、ジャガイモなどを栽培しました。

新たな地域の特産品となるような野菜を作れるよう、日々研究を重ねています。

### ●獣害対策・狩猟

上越市の「捕獲サポート隊員」として、集落に設置されたイノシシの箱罠の見回り業務を行っています。9月には罠猟免許を取得したので、今年の冬は自分でも罠を設置してみたいと思っています。

農作物を荒らすイノシシなどの獣も、資源として有効活用していけたらと考えています。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS】
Instaglam「住もっさ上越」(https://www.instagram.com/sumossajoetsu/)
Facebook 「上越市地域おこし協力隊」
(https://www.facebook.com/joetsu.kyoryokutai)

# 石川県金沢市　高野　智司

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
30歳
【出身地】
埼玉県さいたま市
【転出元】
埼玉県さいたま市
【前　職】
農家
【活動時期】
R2.4～ R5.3

## 協力隊に応募したきっかけ

・協力隊の仕事を紹介していただいた行政の方、現地を案内しながら、説明していただいた地域の方などに好感を持ち、この人たちと仕事をしたいと思ったから。
・地域の雰囲気が気に入ったが、地域には働き口がないなかで、３年間月給を得ながら、活動できる点が魅力的だった。

## 今後の抱負・任期後の目標

・内川地区の振興を支えてきた竹・たけのこ産業の担い手として、たけのこ生産、たけのこ料理、竹加工を継承すること。
・伐採適期を迎えながら、採算がとれないため、伐採されずに置かれている造林地に対して、小規模伐採をすることで、山の更新につなげながら、山の木を少しずつお金に変えていく、自伐型林業に取り組んでいくこと。

## 活動内容

### ●たけのこご飯事業

金沢の春の風物詩だった、内川地区のたけのこ料理店がコロナの影響などにより姿を消した。わたしは地域伝統の味覚を引き継ぐために、内川地域産のお米とたけのこで、たけのこご飯を製造し、販売している。

### ●自伐型林業

自伐型林業に不可欠な、山への道付けの講習や安全な伐倒の実習などに参加し、技術を学んできた。
講師を招き、地域のスギ山へ道付けを行い、その道を利用して、実際に木を切り出して、丸太市場へ出荷した。

### ●獣害対策

内川地区の田畑へ甚大な獣害をもたらしている、サル、イノシシの捕獲に取り組んでいる。
とくに、サルの大型檻を設置、管理し、サルの一斉捕獲を目指して、試行錯誤している。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）uchikawa.reactivating@gmail.com

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（内川四季）https://medial-uchikawa.com/

# 山梨県韮崎市　船津　祐平

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
44歳
【出身地】
兵庫県西宮市
【転出元】
岡山県岡山市
【前　職】
太陽電池メーカー
【活動時期】
R3.4～

## 協力隊に応募したきっかけ

　ワイン造りの魅力と甲州種で作った白ワインの美味しさに感動し、山梨に移住する事を決めました。
　韮崎市は日本でも数少ないワイン特区のひとつであり、韮崎産のワインを全国に発信したいという思いから地域おこし協力隊に応募しました。
　募集情報は主にインターネットで収集。

## 今後の抱負・任期後の目標

・ワイナリーを起業する
・ワインを通して地域活性となる活動をする
・耕作放棄地を利用して醸造用ぶどうを栽培する
・空き家や使用されていない施設等をワイナリーとして検討する

## 活動内容

**●醸造用ぶどう栽培**

市内の耕作放棄地を賃借して、醸造用ぶどうの栽培と苗植えを実施。今後も耕作放棄地を利用して、新規圃場の整備を進める。

**●醸造研修**

醸造技術習得のため、市内のワイナリーにて研修を受講。同時に自身で栽培したブドウを使い、研修先でワインを醸造。

**●ワイン関連のイベント**

商工会と連動して、韮崎産ワインのイベントを市内のキャンプ場で開催。多くのお客様が県内外から参加されて、韮崎産ワインの良いプロモーション活動となった。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（韮崎市HP）
https://www.city.nirasaki.lg.jp/special/cooperationcorps/report.html

# 山梨県韮崎市　髙橋　天貴

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
25歳
【出身地】
宮城県遠田郡美里町
【転出元】
山梨県甲斐市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R4.6～ R7.5
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

もともと自然やアウトドアが好きで、自然豊かな韮崎市をもっと他の人に知ってもらいたい、米の素晴らしさ、美味しさをもっと知ってもらいたいとの思いが強く、韮崎市への移住を考えていました。移住相談員の方へ相談する中で、地域おこし協力隊の活動を紹介されたのがきっかけで応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

減りつつある農林48号（米の品種）の魅力、美味しさを広め地域活性化を図りたい。また、鳥獣被害の現状を知ってもらい、その上でジビエに対する関心を持ってもらえるような活動をしていきたい。現状鳥獣を処分する際は埋設してしまうことがほとんどであるためジビエカー、ジビエサテライトユニットを導入し、多くの人々に比較的安く提供出来るような仕組みを考えていきたい。

## 活動内容

**●農業生産活動**

活動を始めたばかりのため、現在は市内で米作りや鳥獣害対策等を手掛ける企業の仕事を主にお手伝いしています。田植え作業、除草作業、田んぼに放す合鴨の世話、稲刈り等の農業生産活動を活発に行っています。

**●広域電気柵の簡易点検**

電気柵自体は比較的新しいものですが、所々で伸びてきた竹や木が触れていたり、垂れ下がった木々が電気柵に触れているので、漏電している可能性が何ヵ所か見受けられました。獣を外へ出さないためにも今後改善していく必要があります。

**●漏電に伴う電気柵不具合の改善**

地域から依頼があり、電気柵周りを見回っていくと、画像のように、電線と支柱を干渉させないようにする碍子部分から電線が外れて、これにより金属の支柱と接触し、漏電していることがわかりました。元に戻し再度電流を流すと、電線部分が正常6000ボルト以上流れるようになりました。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
いいじゃん！韮崎市！
https://www.city.nirasaki.lg.jp/special/index.html

# 山梨県上野原市　吉野　艶子

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
40歳
【出身地】
神奈川県湯河原市
【転出元】
神奈川県湯河原市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R１.4～

## 協力隊に応募したきっかけ

キヌアという国内でも例のない穀物の特産化に向けた取り組みを行うとのことで、新しい挑戦に興味を抱いたため。

## 今後の抱負・任期後の目標

キヌアの料理方法を広めることで、上野原市産キヌアを購入するきっかけ作りを行いながら、キヌアを使った商品開発や安定的な生産に繋がるように、栽培方法について試行錯誤を行いたいです。

## 活動内容

**●キヌア食堂の実施**

上野原市の西原地区にある民間の宿泊施設「西原ife体験宿したで」さんと協力しながら、月に１回の頻度で、キヌアを使った料理をふるまい、語らうことができる「キヌア食堂」を開催しています。

**●キヌアの栽培**

市内に畑を借りて、キヌアの栽培に取り組んでいます。また、市内でキヌアの生産を行っている農業者の方々と情報交換を行いながら、安定した収穫量の確保に向け試行錯誤をしています。

**●キヌア栽培方法の普及活動**

上野原市内の圃場で自分で栽培した方法について、これからキヌアを作ってみたいという方へ向けて、栽培方法について情報提供を行っています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】上野原市産業振興課農村地域づくり担当
（メールアドレス）nosonchiiki@city.uenohara.lg.jp
（電話番号）0554-62-3119

# 山梨県山中湖村　佐藤　仁孝

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
63歳
【出身地】
東京都葛飾区
【転出元】
山梨県南都留郡山中湖村
【前　職】
企業の契約社員
【活動時期】
R4.6～

## 協力隊に応募したきっかけ

出身が山梨県であり、仕事の関連も山梨県との関わりのある案件が多く、山中湖村においても農泊推進対策の事業にも携わっている。そのような関連から、山中湖村を訪れる機会が度々あり、村の持つ様々な魅力や今後の課題についても知ることができた。
この度の地域おこし協力隊を機会に、自身の得意分野を生かした仕事（新規事業の構築）に従事し、魅力ある山中湖に移住することも念頭に応募した。

## 今後の抱負･任期後の目標

花き栽培に興味を持たれた方々と協議・協力をし合いながら、花き産業の担い手数とそれに伴う生産数を増やしていき、山中湖の主たる産業、安定した産業になるような振興計画を進めて行きたい。
任期後は山中湖村でこれから花き栽培を始めたい方、県外から山中湖村に移住して花き栽培を始めたい方々を募り、栽培の指導や事業の計画を支援するコンサルティング業務を行いたい。

## 活動内容

**●花き栽培を中心とした観光と産業の発展**

標高が高い山中湖村ならではの気候や富士山や山中湖のブランドを生かした花きを栽培し、山中湖の玄関口である「花の都公園」の施設を中心にリピーター客が続出する話題性と魅力のある観光地づくり、また山中湖村の新たな特産品として利益性が高い花き産業の振興を村民とともに目指して行く。

〈8月に花の都公園内で開催したフラワーアウトフェスティバル〉

## 連絡先

# 山梨県富士河口湖町　植野　景吾

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
29歳
【出身地】
東京都世田谷区
【転出元】
東京都三鷹市
【前　職】
株式会社　伊東屋
【活動時期】
R4.4～

## 協力隊に応募したきっかけ

物質的な豊かさに抱いていた憧れが、コロナ禍で価値観が変わり、自然に近い農的な生活を強く求めるようになった。

そこで協力隊の募集を見かけ、農業未経験から新規就農にむけ、給料を得つつ農業を学びながら生活が可能な点に惹かれた。

また、自分と同様に農的な生活に興味を抱いている方たちに向けて体験した魅力を発信し、農業に携わる仲間を少しでも増やしていきたいと考えたため。

## 今後の抱負・任期後の目標

1年目は支援団体の農家の方々の下で農的な生活に慣れ、時期ごとの流れや基礎的な技術を学びつつ力をつけてきた。

2年目からは引き続き農家さんの下でより実践的な研修を続け、プラスで小規模の畑を借りて数種類の作物を作ってみる予定。

今後は、独立後に拠点にしたい場所や、自分がメインで作りたい作物などを少しづつ考えていき、任期が終わった際にスムーズに独立でき、自分の農業で生活が送れ、魅力を十分に伝えられるような計画を練っていきたい。

## 活動内容

**●研修について**

研修先の団体「河口湖野菜倶楽部」に所属する３名の農家の下を、1名につき１週間研修を行い次の農家へ移る形のサイクルで回る研修となった。
４月、５月は主にマルチ張り、種まき、苗植えを行い、６月にはレタス等の収穫も行った。最盛期となる夏場には草刈りや真夜中からとうもろこしの収穫も行った。

**●地域活動について**

作物への見識を広げる傍ら、地域貢献活動の一環として研修先のそばの小学５年生と一緒に田植えを行った。自らの存在を知ってもらいながら、子供たちに農業に少しでも興味を持ってもらえるよう今後も活動を行っていただきたい。

**●事業の取り組みについて**

研修先の農家さんが行っている「FCふじざくら山梨」とのコラボ事業に参加させていただいた。地域の活性化を一つの目的とする双方にとってプラスに働いている事業であるため、独立後に向けてこういった事業を行えるよう繋がりや手腕を学んでいっていただきたいと考える。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（facebook）https://www.facebook.com/fujikawaguchiko

# 長野県中野市　榎本　郁美

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
31歳
【出身地】
東京都北区
【転出元】
埼玉県さいたま市
【前　職】
学校給食調理員
【活動時期】
R２.４～R５.３
(3年目)

## 協力隊に応募したきっかけ

登山が趣味で農業にも興味があり、自然の近くで暮らす生活に憧れを持っていた。ご縁があり中野市のぼたんこしょう農家さんと出会い、2週間ほど住み込みでお手伝いをした。その際に、ぼたんこしょう保存会の高齢化や担い手不足の現状を知り、力になれたらと協力隊になることを決めた。

## 今後の抱負・任期後の目標

ぼたんこしょう保存会の活動にとても魅力を感じているので、退任後も中野市に住み、引き続き自分が続けられる形での保存方法を考える。そのためにぼたんこしょう保存会としてではなく、自分のブランド（山の台所）でぼたんこしょうや中野市で出会った食・文化・人の魅力を伝える。退任までに自身のブランド「山の台所」を起業予定。ぼたんこしょうで生計の糧となるような仕組みや仕事を考えて実践していきたい。

## 活動内容

**●ぼたんこしょう保存会の活動、PR活動**

・ぼたんこしょうの栽培作業
・ぼたんこしょう加工品製造作業
・料理教室開催、SNSで保存会の活動内容発信
・ネット販売
・新商品開発
・マルシェ出店　等

**●山の台所活動**

・月１で地域のお母さんと一緒に中野市のふるさとの味を詰め合わせたお弁当を販売
・チャレンジショップで2週間限定ぼたんこしょう食堂をオープン
・インスタグラムでレシピの発信

**●SNSで活動内容発信、地域活動**

・地域おこし協力隊のインスタグラムで活動の内容や中野市の食レシピを発信
・地元の小学生と一緒にぼたんこしょうの植え付けや田植え作業等を行う
・地域の繋がりの輪を広げるきっかけとして「ぽんぽこTALK」トークイベントを開催

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
電話番号　中野市経済部農業振興課　0269-22-2111
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
中野市地域おこし協力隊インスタグラム　@shinshu_nakano_kyouryokutai
山の台所インスタグラム　@yamanodaidokoro

# 長野県中野市　山下　和貴

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
51歳
【出身地】
福岡県福岡市
【転出元】
東京都豊島区
【前　職】
会社員
【活動時期】
R3年4月～

## 協力隊に応募したきっかけ

長野県への移住、新規就農を目指していたところ、中野市役所の方に協力隊制度を利用した新規就農（果樹農家）を推奨されたため。

## 今後の抱負・任期後の目標

今後は農業、栽培技術の習得、新規就農者の中心として技術の支援や農業者コミュニティーづくりに励みたい。また、市のＰＲを目的に都市部と農村の交流を図れるように、交流イベントに参加したい。
任期後は中野市内での定住を目指し、農業を生業に自営業として独立したい。

## 活動内容

**●苗木の植え付け**

ぶどう苗木の植え付けを市内先輩農家の方に技術指導いただきました。

**●ぶどうの房切り**

ぶどう栽培における房切り、摘粒について市内先輩農家の元で体験させていただきました。

**●棚の施工作業**

果樹棚の施工を市内先輩農家の元で体験させていただきました。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
メールアドレス　yamashita-kazutaka@city.nakano.nagano.jp
電話番号　中野市経済部農業振興課　0269-22-2111

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
フェイスブック　https://www.facebook.com/nakanokyouryojutai

# 長野県箕輪町　山川　正信

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
58歳
【出身地】
神奈川県鎌倉市
【転出元】
神奈川県横浜市
【前　職】
農業・農家レストラン・農産加工販売
【活動時期】
R4.4～

## 協力隊に応募したきっかけ

1996年　山形県にて新規就農し農業、農家レストラン、農産加工を行っていましたが2018年、脳卒中で左半身麻痺となりすべての事業を廃業。実家に戻りリハビリが一段落した時、やはり農ある暮らしがしたいということで、身体障害者ではありますが自分のキャリアが活かせるだろうということで協力隊に応募しました。
希望地は雪のほとんど降らない東日本の山間部。ということで上伊那地方となりました。

## 今後の抱負・任期後の目標

スモール農業・スモール六次産業化の実践
・トマトを中心にした野菜づくり
・農と食をテーマとした交流農園、体験農園
・新規就農者の育成

## 活動内容

**●トマトプロジェクト**

本年は31種類のトマトを栽培。この地域の気候特性と栽培特性を知ること、トマトにおける加工品の試作など地域における六次産業化の可能性の調査。

<私の農業における資格と経験>
・信州六次産業化プランナー（農山漁村発イノベーションプランナー）
・食の六次産業化プロデューサーレベル3
・山形県大江町認定農業者（廃業まで）
・平成23年度六次産業化法総合事業化計画認定事業者
・山形県農業研修生受け入れ農家（廃業まで）

**●花プロジェクト**

箕輪町ながた自然公園キャンプ場入り口とサイクルテラス・バンプトラック前面における花壇の設置と花の植栽。花は播種、育苗から行い、夏秋の花、冬春の花と年2回植栽し、管理しています。

**●農業関係セミナーの実施**

・有機農業入門セミナー
・六次産業化セミナー
・新規就農者の実践農業セミナー

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
自己紹介HP　http://yukainayasaimura.com/
活動の様子　インスタ

# 長野県下條村　瀧井　悠爾

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
29歳
【出身地】
神奈川県　横浜市
【転出元】
東京都　世田谷区
【前　職】
飲食業
【活動時期】
R2.4～ R5.3
（3年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

結婚をきっかけに、子育てなど自分の人生設計を見つめなおし田舎移住や職業としての農業に興味を持った。
見知らぬ土地で、経験ゼロで就農するよりも協力隊として地域になじみながら、就農の準備をしようと考えた。
長野に限らず方々で候補地を探したが、学生時代からの友人が近隣ですでに協力隊として活動していることを知り、当地を選んだ。

## 今後の抱負・任期後の目標

任期満了と同時に子供が生まれ、これまでよりさらに地域との結びつきが強くなるので、しっかりと農業で地に足を付けられるような準備をしたい。
また、都市部から移住して農家として楽しく生活している様子を発信して、潜在的に田舎暮らしに興味を持っている人との交流のきっかけになっていきたい。

## 活動内容

**●都市と地方の持続可能な地域づくりプロジェクト**

NPO法人「南信州山都共同社中」によるプロジェクトへの従事。プロジェクト内の事務を担当する中で、プロジェクト参加農家から農業経営への知見を得る。
実際に試験圃場で栽培の研修を受ける。

**●梨栽培**

村内で栽培をやめる予定だった梨園を譲り受け、任期後に向けて梨の栽培を行う。
SNSで梨栽培の様子や田舎暮らしの様子を発信している。

**●南信州LIVES**

飯田下伊那14市町村の協力隊で集まり広報誌の発行。それぞれの活動の様子や、地域内のイベント季節毎の風習などを発信している。
また、他地域の協力隊の様子を聞ける情報交換の場としても機能している。

## 連絡先

# 長野県豊丘村　布川　俊輔

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
45歳
【出身地】
神奈川県厚木市
【転出元】
神奈川県厚木市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R４．４　～　R6．３
（1 年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

独立して経営者として事業を行いたいと考え、幾つかの職業を調べる中で、未知の領域ではありますが、栽培技術や環境予測、土壌管理など多岐にわたる深い知識と経験が必要な農業という職業に興味を惹かれるようになりました。ただ、知識も経験もない状態だったため、それらのサポートがしっかりと受けられる南信州地域でのプログラムがある事を就農フェアで教えて頂き応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

きゅうりの研修がひと段落しつつあり、市田柿の加工研修がこれから始まる為、また新しい技術や知識をしっかりと習得したい。活動2年目では実際の就農を常に意識しながら1年目に学んだことを活かせるよう活動する。

任期終了後は活動地域である豊丘村で農地を借りさせて頂き、地域に貢献できるよう農業も含めて努力したい。

## 活動内容

**●活動内容　農業研修での様子**

農業を本格的に取り組ませて頂いたのは初めて。とても奥が深く、指導マネージャーの長年の経験と知識、知恵を一つでも多く習得出来るよう意識して日々活動しております。

この地域で直ぐ収入に繋がる、夏秋きゅうりの栽培と、市田柿の栽培・加工を学んでおります。夏の暑さなど体力的に大変な時期もありますが、体も大切な資本と考え体調管理にも気を付けております。

一年先輩の研修生、自分と同じ５期生、同じ農業を目指す仲間との繋がりからも学ぶことがたくさんあります。

また、JAの方々が親身になって相談に乗って頂き、多くの情報を得させていただきながら農業を学んでおります。行政からも住宅、生活面でのサポートをいただき令和６年春の就農に向けて頑張っております。

写真上は、この春、畑を起こしている様子。ぎこちなさが見えます。（笑）下は、南信州特産の市田柿を吊るしております。柿の時期は忙しいですが、渋柿が美味しくなる過程を楽しみながら学んでおります。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス） teiju@vill.nagano-toyooka.lg.jp
（電話番号）0265-34-2520

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://shuunou.minamishinshuu.net/

# 長野県大桑村　奥野　宏

**農業・林業**

## 基本情報

©Masahiro Ikeda

【年　齢】
３８歳
【出身地】
岐阜県本巣郡北方町
【転出元】
長野県大桑村
【前　職】
陶芸家
【活動時期】
Ｒ２.５～

## 協力隊に応募したきっかけ

４年前に娘が産まれたことと、コロナパンデミックをきっかけに、都市部での生活より地方の生活の方が幼少期の子供にとっての発育に良いのではないかと思い、今までの手仕事を活かした地方での暮らしを始めるきっかけとして地域おこし協力隊に応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

村内の築110年の古民家を購入しました。古民家の再生技術を地元大工さんに指導いただきながら、村の古材を活用して改修しています。来年度には少しづつ不定期に開放して土器、陶器、本の展示会等の文化的な催し、寺子屋的な学びの機会となるような寄合を行っていける場所にしたいです。古民家で軽くお茶等出したいので飲食の許可等独立に向けての手続き準備も進めていきたいです。

## 活動内容

**●改修中古民家ギャラリースペースでの展示会風景**

「里ラボ」というプロジェクトの中で改装中の古民家ギャラリーを解放しました。
近隣の町村で活動されている、照明器具を制作した作家の方、古道具を創造的再利用している作家の方達と展示会を行いました。

©Masahiro Ikeda

**●古民家再生技術を地元大工さんに指導して頂いているところ**

土台からの床の作り方を指導してもらっています。
古民家に眠っていた古材や村内の解体された古民家から出された木材を活用しながら改修しています。

©奥野宏

**●地元木工職人さんに技術指導をうけているところ**

村内の古民家から廃棄された什器、家具等を技術指導いただき修復しました。

©奥野宏

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（電話番号）0264-55-3080　職場代表番号

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
instagram@okuno_hiroshi

# 長野県大桑村　金井　元

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
42歳
【出身地】
東京都
【転出元】
東京都
【前　職】
自営業
【活動時期】
R3.7～

## 協力隊に応募したきっかけ

以前祖父母が近隣町村で暮らしており、子供の頃幾度も訪れた。十数年振りに木曽郡を訪れると以前より高齢化が進み活力の低下を感じた。また数年間2拠点生活を送り、有機農業の勉強を始め、就農を希望するようになった。その様な中、偶然農業担当の募集を知りすぐに応募した。人が減る未来を地域社会が生き抜くには、基礎体力が有りリソースが豊富な内のイノベーションが必要不可欠だと思う。イノベーションの面で自分自身の経験を地域貢献に活かせると感じた。

## 今後の抱負・任期後の目標

オーガニック米を村の特産に育てたい。また「大桑ブランド」を確立し広めていきたい。当初任期中に有機稲作の作付け面積を増やし、退任と同時に村内で就農、空き農家の購入し定住を目標としていた。しかし国の就農支援の枠組みの問題や任期中は小面積の試験栽培に従事するなど状況の変化もあった。販売が出来ないのでブランド化は難しくなった。今後も有機稲作技術の研鑽に努めたい。また村内農家にも技術を広めたいと思う。他地域に先駆け有機米を広められれば今後の発展が期待できると思う。

## 活動内容

### ●有機稲作試験栽培

有機栽培は慣行栽培以上に土壌、気候、水温、標高、地域雑草の種類など理解する必要がある。地域に合った栽培方法が確立できれば村内全域で共有することが可能になると思い試験栽培を開始した。種まきから、有機JAS規格に合わせた技術確立に努めている。

### ●有機稲作の技術研究

村内には無農薬稲作に取り組む農家が無いため県内外の民間研究所で研修を受けてきた。実際の技術、科学的裏付けなど学んだ。今後この技術をどうやって村民に還元するかが課題。また地元農家で慣行稲を一緒に作り通常の稲作も学んでいる。

### ●農産物の特産化

村内で米が一番作付面積が多い。一次産業は差別化が難しく特に米は品種や産地の価格差が少ない。有機米なら高単価化出来る。また十数年前に植えられた柿の木が放置されつつある。これを活かし柿の特産化を考えている。人口が少ないので今あるリソースを生かさなくては持続できないと感じている。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
　もう一人の農業担当の隊員がインスタを立ち上げてくれたので今後一緒に運営していく予定。

# 長野県大桑村　木又　邑熙子

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
31歳
【出身地】
神奈川県　横浜市
【転出元】
長野県　大桑村
【前　職】
呉服企業勤務
【活動時期】
R４.４～

## 協力隊に応募したきっかけ

今後農業に携わっていきたいと思い、募集を調べていたところ地域おこし協力隊による農業の募集を見つけました。農業を通して地域おこしへも繋がるのであれば、より大きな可能性を持って取り組んでいけると思ったことが協力隊に応募したきっかけです。

## 今後の抱負・任期後の目標

農業を通して地域の方々との連携を大切にしながら、大桑村といえばこれ！と言えるような特産品を開発し、地域おこしに繋げていきたいです。
退任後は新規独立就農を目指しています。農業については、環境負荷に配慮した持続可能な農業を担う世代として環境にも人にもやさしいものづくりができる生産者になりたいです。そんな農家となり、地域の振興に貢献できればと思っています。

## 活動内容

**●農作物の栽培**

畑を借りて主に多品目の野菜の試験栽培をしています。この地に合った栽培管理方法など学ぶことがたくさんあります。
また、花き栽培にも携わらせて頂いています。

**●特産品開発**

まだ特産と呼べるものがない大桑村ですが、栽培を通しながら加工品などを考えたり、地域の方々と協力しながら以前、養蚕が盛んだったこの地ならではの「桑」に着目して商品を試作してみたりと、日々特産品の開発に努めています。

**●地域との繋がり･連携**

村の農家さんのところへお手伝いに行かせて頂いていて、野菜をはじめ花きや稲作なども学んでいます。
特産品開発では中学校の総合学習で一緒に考えたり、今後は保育園にある農園にも携わらせて頂く予定です。地域全体での繋がりが農業振興への第一歩となっています。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
(Instagram）https://instagram.com/okuwa.kyoryokutai.nogyo

# 長野県信濃町　坂井　孝次

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
30歳
【出身地】
愛知県名古屋市
【転出元】
愛知県名古屋市
【前　職】
自営業
【活動時期】
R4.8～ R7.8
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

29歳の時にビーチクリーン活動や、保護猫ボランティア活動、児童養護施設のボランティア活動などをしていた中で自身から生まれる活動をしてみたいと考えていた時に、地方創生活動をしている方と出会い、調べていく中でさまざまなやり方で地方創生に取り組んでいる人達の発信を見て、とても惹かれるものがあり、そして地方移住も考えていた中で自分の気持ちとマッチしているのが地域おこし協力隊だと思い応募するに至りました。

## 今後の抱負・任期後の目標

今後の抱負は食、農への理解を深くし、活動地域の農林をより良い影響で広げていけるような活動をしていきたいです。そのために今後自身の畑を持ったり、０からの体験を重ねていきたと考えています。
任期後の目標はまだ明確なものは決めていません。ですがその目標を明確に持ち実行できるように任期をより充実したものにしていきたいと考えています。

## 活動内容

**●伝統野菜イベント**

伝統野菜のからごしょうを使用した“こしょう漬け”の料理イベントを開催。

**●大根の作付け**

料理教室の先生の畑を一部借りて、伝統野菜イベントに使用する大根を作付け。

**●ネギの試験栽培**

地元農家の水田の一部を転作利用し、ネギを栽培。
地域の商業施設などへ提供を実施。

## 連絡先

【産業観光課農林畜産係】
０２６－２５５－３１１３
nourin@town.shinano.lg.jp

# 岐阜県下呂市　平田　肇

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
４８歳
【出身地】
大阪府貝塚市
【転出元】
大阪府貝塚市
【前　職】
調理人
【活動時期】
Ｒ２.１０～Ｒ５.９
（３年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

農業と飲食店を一体化していきたいという思いがあって、下呂市馬瀬地域の募集を見て、応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

令和4年10月から「下呂市ふるさと納税」に出品し、自らも農産物を栽培し、かつ馬瀬地域の方々が栽培した農産物の販売拡大に頑張っています。
任期後については、馬瀬地域でとれた野菜がその場で食べられ、買える飲食店を出していきたいと思っています。将来的には、馬瀬の特産品を扱うオンラインストア及びアンテナショップの役割を果たす場所にしたいです。

## 活動内容

**●農作物の生産及び販売**

買い手の方に販売品目の魅力を最大限に伝えるため、自らも農作物の生産をしています。農薬、化学肥料、除草剤、動物性堆肥、Ｆ１種は不使用とし、植物性堆肥、固定種で栽培しています。
また、シェフおすすめとして、地域ブランド米「馬瀬ひかり」や農家自慢の農産物の販路開拓のため、現在「下呂市ふるさと納税」に出品しています。

**●農地の荒廃防止活動**

荒廃した農地を借り、自ら機械により耕し、農作物を栽培し、シェフお勧めの野菜を提供しています。

**●シェフとして**

馬瀬地域の「水辺のレストラン」で、うま味豊かなフライの鮎を挟んだ「馬瀬バーガー」、甘辛い甘露煮がのった「馬瀬のひやしぶっかけうどん」など創作鮎料理を提供しています。

## 連絡先

# 静岡県下田市　田中　裕香

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
48歳
【出身地】
静岡県藤枝市
【転出元】
静岡県藤枝市
【前　職】
エステサロン経営
【活動時期】
R２.11.1～

## 協力隊に応募したきっかけ

下積み時代の都内より地元に戻り会社経営10年目にコロナ禍を迎え、生き方を変えたい強い思いになりました。地域貢献・移住のキーワードから地域おこし協力隊を知りました。その中で観光の町だと思っていた下田市の活動概要が田畑と森林の力を活かした豊かな里山部門であり鳥獣被害対策も含まれていた事が気になりました。仕事の傍ら、狩猟免許を取得し週末ハンターをしていた事、地元に戻ってからは伯父の畑の手伝いをしていた事、いつかは住みたかった伊豆半島への思いから応募に至りました。

## 今後の抱負･任期後の目標

家庭のごみを減らしたい、捨てない暮らしとしてLFCコンポストを続けてエコで豊かな畑から安心安全な野菜を作り、そんなサイクルを徐々に周りに広げて行きたいと思っています。任期後はご縁から農に関わることが出来た事で、憧れだった「半農半X」な生き方を豊かな自然と四季を感じながら実現して行くことが目標です。

## 活動内容

### ●オリーブ圃場の利用

前任者より受け継いだオリーブのまちづくり事業ですが事業縮小を知り、枯木・倒木後の空き場所を利用して薬効の高い万能ハーブのホーリーバジルを栽培し、地元の元々の生産者さんと共にホーリーバジル茶を生産しました。「地域の健康に役立つもの」になればとホーリーバジルティの普及活動中です。

### ●畑への挑戦と循環生活

活動の中にご縁があって畑を使わせて頂ける事になり、実際に野菜を作り始めました。安全美味な食糧を目指して有機栽培作物を少しづつ増やしている所です。それに伴い家庭で出る生ごみをLFCコンポストで堆肥化して利用。ごみの減量から焼却による$CO_2$削減や循環型の社会に繋げる活動を実行中。

### ●獣害被害対策

圃場や畑を管理していく中、獣害被害を受けて農家さんの気持ちがわかりました。獣害による被害は年々増えてきており、当市でも講師を招いての講習会や現地確認を開催するようになりました。狩猟者、畑に関わる者として毎回参加し今後の獣害被害対策を役所の方、地域住民と共に取り組み始めています。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://www.facebook.com/tanaka.yuuka.1

# 愛知県西尾市　安江　つぐみ

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
24歳
【出身地】
岐阜県加茂郡東白川村
【転出元】
愛知県一宮市
【前　職】
果樹園アルバイト
【活動時期】
R4.4～ R7.3
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

以前に訪れたことがあった佐久島で出会った島民の方々が、観光客の私にも優しく接してくれたことで、とても好きになりました。その後島で住み込みのバイトをして何度か訪れ、より島民の方との交流が増え島の良さ、楽しさを知ったことがきっかけです。

## 今後の抱負・任期後の目標

島暮らしの経験を活かして、観光のお客様に佐久島の良さを伝えられる仕事を目標にしています。
製菓衛生師の免許を活かし、佐久島の特産品「サクのいも」を使ったスイーツ、旅の思い出になる商品などを開発、制作したり、海外のお客様にも、島の良い所をPR出来る様英会話力を活かした観光案内にも関わりたいです。

## 活動内容

**●「サクのいも」の栽培**

島の遊休農地を利用して、島で活動している団体「島を美しくつくる会」と一緒にサツマイモ栽培をしています。
島のサツマイモは潮風をたっぷり浴びて甘ーい芋になります。
出荷した芋は焼酎になります。

**●佐久島のお土産商品開発**

佐久島のキャラクター「さくしまさん」
もともと佐久島オリジナルのお土産がなかった島にお土産を作りました。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）sakushima@city.nishio.lg.jp（電話番号）0563-72-9607

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（佐久島HP）https://sakusima.com

# 滋賀県長浜市　隅田　あおい

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
32歳
【出身地】
滋賀県高島市
【転出元】
滋賀県高島市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R2.2～ R5.1
（3年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

馬と家族のように暮らしながら関係を築いていきたい。そのためにはどのような仕事なら理想の関係を馬と築けるだろう。そんな事を考える中で、山で切り出した木を馬で搬出する「馬搬」に出会いました。馬搬をしてみたいと思い、長浜市の林業研修を受けていたところ、長浜市で林業にかかる協力隊を募集していることを知りました。研修を通して仲間もできてたことから、この長浜市で「馬搬」に取り組み、地域の里山を活用し、いろんな人が生き生きと楽しめる地域を作りたいと思い、応募しました。

## 今後の抱負･任期後の目標

今後は、馬とのふれあい体験事業と馬搬で搬出した木を活用した事業を展開しようと思っています。馬との様々な体験を提供して、呼び込める層を広めることで、長浜市に関わる関係人口の増加につなげていくとともに、馬搬による森林整備を行うことで、他の地域にはない特色を持たせ、森林整備に興味のある人材を地域に呼び込めたらと考えています。

## 活動内容

**●馬の調教**

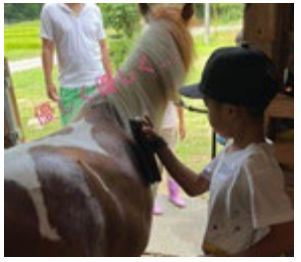
今は2頭の馬と一緒に暮らしています。調教されていない馬を迎え入れたため、日々、調教をしています。馬搬をできるようになるため、馬を連れて山に入ったりしています。馬搬をするには、まだまだ練習が必要ですが、馬を通して、地域の活性化ができればと思い、今は馬のふれあい体験をメインに活動しています。道の駅や地域のイベントに出張して、ＰＲ活動をしています。

**●グリーンウッドワーク**

山に興味を持ってもらうきっかけになればと思い、生木を使った木工「グリーンウッドワーク」講座を地域団体と一緒に開催しています。いつか、馬搬で搬出した木を使ってできればと思っています。

**●馬のお世話体験**

馬の背に乗って揺れを感じたり、馬にブラシをかけ毛並みに触れたり、歩幅を合わせて散歩に行ったり、のんびり一緒に過ごして深呼吸することを思い出したり、馬と過ごす時間はたくさんの学びに溢れています。そんな学びを体感してもらえるような場として馬のお世話体験を子ども向けに始めました。



## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
下記のホームページ内のお問合せフォームよりお問い合わせください。

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（星の馬　ＷＯＲＫＳ） https://www.hoshi-no-uma.com/

# 兵庫県市川町　永瀬　静

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
23歳
【出身地】
兵庫県姫路市
【転出元】
兵庫県姫路市
【前　職】
フリーター (飲食店 等)
【活動時期】
R4.4～ R7.3
(1年目)

## 協力隊に応募したきっかけ

有機農業に魅力を感じており、有機農業に取り組みたいと思ったから。また、有機農業を通した地域おこしの取り組みに加わり、地域の方や有機農業に関わる方と一緒に活動したいと思ったから。

## 今後の抱負･任期後の目標

就農をしたいと思っている。また、農業体験ができて宿泊もできる農家民宿を開き、地域にある自然や文化、コミュニティを大切にしながら、多様な方々と出会える場作りに取り組みたい。

## 活動内容

**●販路打合せ**

地元の有機農家を巻き込み、新たな販路を開拓するため、打合せを行っている。

**●収穫体験**

生産者と消費者が交流できる場を企画し、季節ごとの農作物の収穫体験を行っている。
※写真はショウガの収穫体験

**●直売会**

病院食に使用されている野菜を販売している。また、病院で直売会を行っている。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
(HP) https:// kasagata-of.jimdofree.com/

# 兵庫県市川町　東　勇太

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
26歳
【出身地】
兵庫県加古川市
【転出元】
兵庫県神戸市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R3.4～ R6.3
(2年目)

## 協力隊に応募したきっかけ

市川町の地域おこし協力隊は農業中心の仕事内容だったため、応募しました。

## 今後の抱負･任期後の目標

地域おこし協力隊の任期が終わっても、今、運営している笠形地域づくり協議会が存続していけるように活動していきます。また、任期後は就農を目標にしています。

## 活動内容

**●笠形コーン直売会**

笠形地域づくり協議会で栽培している「笠形コーン」のPR及びブランド化を目指し、7月上旬に直売会を行っている。

**●農業体験**

春夏コース(全10回)と秋冬コース(全10回)の農業体験を主催し、有機農業に興味・関心がある人達に向けて有機農業の魅力を発信している。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
(HP) https:// kasagata-of.jimdofree.com/

# 奈良県御杖村　中嶋　浩二

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
36歳
【出身地】
大阪府大阪市
【転出元】
大阪府大阪市
【前　職】
地域おこし協力隊
【活動時期】
R2.10～ R5.10
(3年目)

## 協力隊に応募したきっかけ

林業や自然と関わる仕事、自然を生かす仕事を考えている中で自伐型林業の事を知りました。自然の大切さを発信していきたいです。

## 今後の抱負・任期後の目標

３年間で身につけた技術で林業の担い手として活動していきます。
また、キックボクシングの指導をしていた経験を活かし、自然の中での体づくりから「生きる力」を子ども達に伝えていきたいです。

## 活動内容

**●林業研修。バックホーでの作業道づくり**

自伐型林業とは、山に作業道を付け、長期に渡って間伐を繰り返し、大径木の育成を目指す林業です。３年間の研修で作業道づくりや間伐など山の手入れの仕方を学びます。

**●間伐材の搬出**

大型機械等で皆伐を行わない自伐型林業は土砂災害を防ぎ環境保全に寄与するといわれています。作業道づくりの支障木や間伐材の搬出を行っています。

**●子どもキックボクシング教室**

放課後児童一時預かり事業の中で、小学生にキックボクシング教室を開催し、体の使い方などのトレーニング方法を楽しく指導しました。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）kankou@vill.mitsue.lg.jp（電話番号）0745-95-2001

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Instagram：https://www.instagram.com/mitsue_kyoryokutai/

# 和歌山県高野町　谷口　光

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
39歳
【出身地】
大阪府南河内郡河南町
【転出元】
大阪府南河内郡河南町
【前　職】
国立大学職員
【活動時期】
R３.６～

## 協力隊に応募したきっかけ

私は米国の大学でアジア地域研究を修め、30代でアジアと中米の大学院で新興国や発展途上国における環境問題と高齢化社会の知見を深めてきたのですが、その後日本に戻って人口問題まわりで国際機関や官公庁、学識者や国会議員の方々の側で政策形成に関わるお仕事をさせてもらい、ふと日本の少子高齢化現象は世界でも珍しい先端事例であり、農林水産業が人口政策の根幹であってきた事から、今日の日本の限界集落に身を置き、それらが抱えている問題や課題について自分なりに地域のニーズを知りながらどういった取組みが現実的な打開の糸口になりえるのかな？という疑問点から畑違いの分野ではありますが応募に踏み切りました。

## 今後の抱負・任期後の目標

小さな限界集落内にも同じ町内にもグループに住み分け、そして昔から独特の濃い人間関係からシナジーに至らないケースが点在している。地域おこしは誰の何の為なのか、主体性や当事者意識形成は支援しうるのか、地域おこし協力隊制度事態の集落内認知度やイメージ改善等を後半残っている任務期間でしなければいけないと思っています。任期後は、語学力（英語・サンスクリット語・アラビア語）と国際経験を観光や教育事業に活かしながら、畑から食卓に至るまでの有機的な循環を生み出す安全で持続可能な農業コミュニティーの形成と存続を支援する活動を続けていきたいと考えています。

## 活動内容

**●地元野菜販促活動**

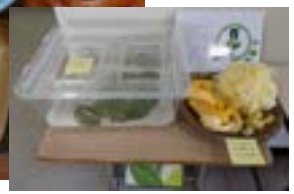
宿坊直納、商店卸売、宿坊マルシェ、報恩高野市、高野町観光文化センターのiKOYA Marche、ベジタリアン＆ヴィーガンレストランの店先で季節の朝採り野菜の販売を行い、高野山地区内の住民に対して富貴・筒香野菜のPR活動をしました。

**●農業従事事例**

地域特産の茗荷畑の手入れから出荷作業に地域の農業を牽引されてきた農業委員さん達につかせてもらって日本の食卓の基本的な野菜（大根、白菜、キャベツ、人参等）の試験的栽培を体験し、地域の気候風土や郷土料理の探究をさせてもらう。

**●観光・教育・国際化に農業のメインストリーム化**

隊員活動の中で生まれた疑問「どうして農業が振るわないのか」には縦割化制度内に捉えられ閉じ込められたが故、抜け出せなくなってしまっている。今一度あらゆる分野における農業のプレゼンスを捉えなおす町内で隊員による農業のメインストリーム業務をあらゆる分野でやっていきたい。



## 連絡先

# 和歌山県由良町　武田　青空

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
20歳
【出身地】
大阪府　大阪市
【転出元】
大阪府　大阪市
【前　職】
アルバイト(高校生)
【活動時期】
Ｒ３．４～Ｒ６．４
（２年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

高校卒業後に農業をしたくて探しているときに、農業をしたい人に向けた「新農業人フェア」というイベントに参加しました。
そこで初めて地域おこし協力隊の制度の事を知り、活用するしかないと思い応募しました。

## 今後の抱負･任期後の目標

任期満了まであと半分なので、協力隊の間に出来る事をやりきって卒隊後に活かせるようにします。
任期満了後、観光農園をできるようになることを目標にしています。

## 活動内容

**●人手不足解消の為のお手伝い**

高齢化に伴い人手が不足しているので、農家さんのお手伝いをしています。
また、お手伝いをしながら将来に向けた技術習得もしています。

**●農地の維持･管理**

耕作放棄地を増やさなように農地の維持を行い、次世代の農業者に引き継げるよう管理をしています。

## 連絡先

# 鳥取県琴浦町　潮見　修平

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
31歳
【出身地】
北海道札幌市
【転出元】
北海道札幌市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R4.6～R6.12

## 協力隊に応募したきっかけ

社会人として働いている中で、農業に興味はあったもののなかなかあてもなくぼんやりとやりたいと思っていました。その中で、妻の実家琴浦町でが農業を営んでいるとのことで、地域おこし協力隊に応募し、任命いただきました。

## 今後の抱負・任期後の目標

まずは、一人前の農家として収益を上げられるよう、学習を続けていきたいと思っています。
いずれは、無理のない範囲で規模拡大し、地域に貢献していきたいと考えています。

## 活動内容

**●研修スタート**

6月1日に任命式があり、協力隊員として、研修生としてスタートを切りました。

**●地元の高校生と意見交換**

地元の鳥取中央育英高校２年生の生徒が授業の一環として琴浦町の農業研修制度について学ぶ機会があり、研修生として意見交換を行いました。
高校生からは、「失敗したらどうするのか？」といった真剣勝負の厳しい質問もあり、改めて研修生として気を引き締め、新たに決意しました。

**●農業大学校での研修スタート**

研修の一環として鳥取県立農業大学校で研修をスタート。師匠のもとで実践をしながら、農業簿記など経営に必要なことや学校の果樹園で基礎的な技術を身につけています！

開講式での1枚（前列右端）

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）nourinsuisan@town.kotoura.tottori.jp
（電話番号）0858-55-7802（琴浦町役場農林水産課）

# 島根県吉賀町　渡辺　隼人

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
44歳
【出身地】
広島県　尾道市
【転出元】
広島県　福山市
【前　職】
作業療法士
【活動時期】
R３.４～

## 協力隊に応募したきっかけ

吉賀町で暮らすにあたり、業としてやっていけそうだと思い応募しました。
自然の中で体を使いながらやっていきたいと思っていて、その中で仕事を探しているときに吉賀町の協力隊に出会いました。

## 今後の抱負・任期後の目標

林家として自立し、この町で暮らしていく。
そのためのノウハウ、技術を習得していく。
吉賀町の山を整備し、健康な山として継続していける状態にしていきたい。

## 活動内容

**●森師研修員育成事業**

吉賀町の森林資源を有効に活用するため永続的な森林経営が可能な森林管理システムの構築とそのシステムに沿った造林、作業道開設、収穫までを実施することのできる「森師研修員」の育成に取り組むこととしており、「壊れない道づくり」を核とした、森林作業を実践できる「森師研修員」の育成を実施している。
具体的な活動としては、町有林において「壊れない道」を小型バックホウにより開設し、開設した作業道を活用し利用間伐による木材生産を行っている。
また、長伐期の法正林施業を小規模な機械で実践する方針であり、その根幹となる「壊れない道づくり」を実践しておられる奈良県の先進林業事業体に御協力いただき実地指導を行ってもらっている。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）sangyo@town.yoshika.lg.jp
（電話番号）0856-79-2213

# 岡山県岡山市　濱野　潤

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
42歳
【出身地】
岡山県倉敷市
【転出元】
宮崎県宮崎市
【前　職】
リネンサプライ配送業
【活動時期】
Ｒ３．５～

## 協力隊に応募したきっかけ

就農に関する情報収集をしている中で、地域農業の振興が活動内容となっていた岡山市地域おこし協力隊の募集を見つけたことがきっかけとなり、地域おこし協力隊について調べ、希望に合致していると感じたことから、本地域の隊員に応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

農業を通じて地域の良さを発信することにより、地域貢献に繋がると感じています。
活動は、地域営農組合の農作業支援を主に、珍しい作物による地域のＰＲ、収穫体験等を行っています。
今後は、任期後の地域への定住を目指し、活動を通じて視野を広げ、人との出会いや関わりを大切にし、地域の方々に喜んでもらえるような活動をしていきたいと考えています。

## 活動内容

### ●地域農業支援

水稲栽培（約６町）、野菜栽培（約3反）、大豆栽培（約５町）の耕耘から播種、害虫・害獣防除、収穫、出荷までの作業の支援を行っています。
その他、地域内で栽培しているぶどう（シャインマスカット）の品質向上と収量増加が図れるよう支援しています。
農業支援を行いながら、任期後の活動にも生かせるよう栽培技術の習得に励んでいます。

### ●野菜、果樹の試験栽培

農薬や化学肥料、除草剤を使用しない自然循環型の栽培方法を勉強しています。
また、本地域の風土にあう珍しい野菜を試験的に栽培し、イベント時に販売を行うことなどにより、地域のPRに繋げています。
本地域や活動内容を知っていただくため、収穫体験等も実施しています。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
岡山市北区役所建部支所ホームページ
https://www.city.okayama.jp/soshiki/22-1-6-0-0_14.html

# 岡山県浅口市　早川　健星

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
２７歳
【出身地】
神奈川県相模原市
【転出元】
神奈川県川崎市
【前　職】
IT企業
【活動時期】
Ｒ2.9～Ｒ5.8
（3年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

私が浅口市地域おこし協力隊へ応募した理由は、瀬戸内海へ一目惚れしたからです。２０歳になり初めて岡山県を訪れるまで瀬戸内海を見たことがありませんでした。海、景色、島々を感じながら生活していきたいという思いが強くなり、好きだと思える場所で、地域に根差した仕事がしたいと考えたからです。

その中で、幼いころから家庭菜園が生活の一部にあり、いつしか自分で農業がしたいという気持ちがあり、浅口市の農業従事者ができる地域おこし協力隊に応募しました。

## 今後の抱負･任期後の目標

浅口市の中でも、海が見える寄島地区で、畑地灌漑設備の有効活用を考える中で、特にレモン農家として生計が成り立つよう頑張っていきたいと思っています。

特にレモンは、有機無農薬栽培にこだわってやっていきたいと考えており、ネット販売をはじめ、直接販売を行えるよう販路拡大にも力を入れています。

## 活動内容

**●畑の開墾**

１年目は、ひたすらに草刈りの毎日でした。草刈機、チェーンソー、耕運機のどれも初めて使うものばかりで最初は大変でした。しかし、地域の人たちに教えてもらったり、手伝っていただきながら、草を刈り、木を切っていき、畑を開墾しました。

**●レモン栽培**

レモン栽培を行っている特産果樹研究会に入会し、県農業普及員の方から剪定講習の指導をいただくなどして、レモン栽培を行っています。

**●地域活動への参加**

寄島小学校、中学校の児童・生徒とともに、地元の竜王山にトレッキングを行うなど、地域活動にも積極的に参加しています。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（インスタグラム）https://www.instagram.com/kenseihayakawa/

# 山口県柳井市　古谷　勇人

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
41歳
【出身地】
山口県山口市
【転出元】
大阪府大阪市
【前　職】
お笑い芸人（現在も）
アルバイト
【活動時期】
R1.10～

## 協力隊に応募したきっかけ

故郷である山口県が大好きで、「いつかは山口県を盛り上げることができるようなお笑い芸人になりたい。」と夢見ながら１４年間、大阪で生活していました。

お笑い芸人としては、なかなか芽が出ず、将来をどうすべきか悩んでいた令和元年６月に、所属している吉本興業㈱から「地域おこし協力隊員として、山口県の離島で生活するお笑い芸人を募集する。」とのメールを受け取り、自分を変えるきっかけにしたいと思い、思い切って応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

平郡島の魅力をTVやYouTubeを通じPRし、若い方にも関心をもってもらえるよう努めたい。そのことで、平郡島への移住者が増えることを目指します。

平郡島でしか栽培されていない、さつま芋の品種である「へぐり丸」を生産しPRしていきます。「へぐり丸」を全国的なブランド野菜にしたい。

## 活動内容

**●へぐり丸（さつま芋）の生産**

島の伝統野菜である、さつま芋の「へぐり丸」を生産しています。「へぐり丸」を使用した焼酎を造酒屋に委託して作っています。

**●平郡島のPR**

イベントやYouTubeを通じ平郡島をPRしています。瀬戸内の自然豊かで、ゆったりとした時が流れる平郡島の魅力を多くの方に知ってもらい、平郡島を訪れてもらえるよう情報を発信しています。

**●地域行事の支援**

運動会、盆踊り、文化祭、餅つき大会など平郡島の地域行事の運営支援をしています。持ち前のユーモアと笑いのセンスを活かして地域行事をもりあげています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】
https://www.youtube.com/channel/UCtQDl4soHJy_mcBkpQ3Guag
https://www.facebook.com/heigunstory/photos/a.1569672226620285/1569672236620284/?__tn__=%3C

# 香川県土庄町　中口　元希

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
58歳
【出身地】
大阪府大阪市
【転出元】
香川県小豆郡土庄町
【前　職】
編集デザインDTP
【活動時期】
R.2.12.1～R.5.11.30
（2年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

前職を続けていても将来への展望が持てず、大阪での生活に閉塞感を抱いていた。以前より豊島で暮らしたいと思っていたところに地域おこし協力隊を募集していることを知り応募。

## 今後の抱負・任期後の目標

農業に関わりたいと思う人々や、就農者ほか地元住民の為に役立つことをやっていきたい。
地元の野菜や米粉を使ったメニューを飲食店と協力して開発していきたい。

任期後も豊島で何かの職業に就きながら、副業で農業をしたり、地元の飲食店と共に「食の島」をアピールできるような活動を続けていきたい。

## 活動内容

**●棚田エリアの景観維持**
実働農地や耕作放棄地の草刈り。農道整備。害獣除けフェンスや電気柵の保守点検。

**●農作業**
棚田での米作り。果樹、野菜、綿花の生産。

**●野菜即売会**
自分たちの畑や果樹園で収穫したものの他、農家からの依頼も含めた野菜や果物の販売。毎月2回実施。

**●棚田エリアでのイベント開催**
田植え、稲刈り、サツマイモや果樹の収穫などの体験イベントを定期的に実施。

**●農業関連以外の活動**
体育協会のメンバーとして、地元住民の健康増進イベントの運営に参加。
唐櫃浜盆踊り大会実行委員会のメンバーとして、途絶えていた盆踊り大会を復活させる活動に参加。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】
Facebook「てしまぐらし」
https://www.facebook.com/てしまぐらし-102362191748023

# 香川県土庄町　児戸　源太

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
32歳
【出身地】
香川県土庄町
【前　職】
酪農業
【活動時期】
R3.7～ R6.6
（2年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

元々、畜産業で独立したいと思っていた時に知人の方から地域おこし協力隊を募集しているのを教えていただき応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

今後も土庄町の畜産や小豆島オリーブ牛の知名度向上になるような活動をしたいです。
任期後は土庄町で畜産農家として自立したいです。

## 活動内容

**●技術の習得**

町内の農家さんの所で畜産に関する作業を通して基礎的な知識、技術の習得を通して、自立する際の参考にする。

**●農業研修**

畜産農家さんでの現場作業を通して畜産に関する技術や基礎的な作業を習得する。

**●snsを通しての広報活動**

インスタグラムで土庄町の畜産農家さんでの活動や技術、小豆島オリーブ牛の紹介等を行っています。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（インスタグラム）
https://www.instagram.com/shodoshima_olive_fedwagyubeef

# 香川県土庄町　大西　歩

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
36歳
【出身地】
兵庫県三田市
【転出元】
兵庫県三田市
【前　職】
学生
【活動時期】
R2 .5 ～R5.3
(3年目)

## 協力隊に応募したきっかけ

小豆島で林業をしたかったから
小豆島の林業に興味があったから

## 今後の抱負・任期後の目標

林地残材を利用して商品を作る
小豆島の森林の状態を維持向上する
森林サービス産業について先進的な事例を見学し、小豆島で取り組めないかと考えている
木を切る技術を向上し、安全に作業できるようにする

## 活動内容

**●作業体験**

任期期間中は土庄町森林組合に作業体験を依頼している。写真は土庄町内にある八坂神社の境内にある木を切っているところ。

**●学生への説明**

依頼があれば、県外の学生向けに森林や林業のことを説明することもある。写真は修学旅行で小豆島に来た中学生向けに説明してるところ。紙芝居形式で説明できるようにしており、会議室でも森林の中でも同じものを使っている。

**●林業研修**

林業関係の研修に参加している。写真は、ロープを使って木に登り枝や幹を切る研修を受けているところ。

## 連絡先

電話0879-62-7007（職場）
SNS「土庄町地域おこし協力隊」
https://www.facebook.com/tonosho.kyoryokutai/
SNS「土庄町地域おこし協力隊（林業」
https://www.facebook.com/tonoshou.shinrin/

# 愛媛県松山市　藤本　周一

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
６７歳
【出身地】
兵庫県神戸市
【転出元】
東京都小金井市
【前　職】
東京都
【活動時期】
Ｒ３．４～Ｒ６．３
（２年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

忽那諸島の魅力発信を通して、人を呼ぶ・集める活動を展開したいと考え応募した。

## 今後の抱負･任期後の目標

「地域資源を活かした特産物の開発」や「耕作放棄地・低未利用農地を活かした地域農業の活性化」等を行いたい。任期後についても、農業を通じて地域の活性化につながる仕事をしたいと考えている。

## 活動内容

**●農園芸に係る活動**

忽那諸島の主産物（柑橘類）の生産振興のため、県や農協の生産技術指導担当者の支援を行っている。その他、柑橘類以外（アボカド・パッションフルーツ等）の作物栽培に関する助言や支援も実施。

**●生活環境整備に係る活動**

狩猟（ワナ・猟銃）免許を取得し、獣害対策の活動支援を行っている。

**●教育機関との連携による学習支援**

愛媛県立松山北高等学校中島分校の生徒に対して、小麦の栽培指導や校内の菜園の管理指導を行っている。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）shuuichi.fujimoto@city.matsuyama.ehime.jp
（電話番号）089-948-6816

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Facebook）https://www.facebook.com/people/松山市地域おこし協力隊/100067691480734/

# 愛媛県今治市　平岡　正

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
48歳
【出身地】
愛媛県　久万高原町
【転出元】
東京都　渋谷区
【前　職】
情報システム
【活動時期】
R3.1～

## 協力隊に応募したきっかけ

以前よりワイナリーを作りたいと、候補地を探していたところ、今治市の大三島にすでにワイナリーがあり、土地の性質や日照時間、立地場所を鑑みて大三島にとても興味が沸いた。移住の方法を調べていたら地域おこし協力隊のことを知り、今治市がフリーミッションということも分かり、応募に至った。

## 今後の抱負・任期後の目標

5年以内にワイナリーを作りたい。二年目の春に農地を取得し、700本の苗木を植樹できたので、今後も農地を拡大し、もっと苗木も植えて醸造免許が取得できるだけの生産本数を確保できるようにする予定。
島内2番目のワイナリーとしてワインツーリズムなど、大三島の観光産業にも寄与できるよう活動していきたい。

## 活動内容

**●活動内容１**

大三島みんなのワイナリーでの畑作業、醸造の手伝い。一年を通して必要なブドウ栽培について学び、醸造についても基本作業を教えて頂く。

**●活動内容２**

耕作放棄地を探して借地、または購入して自分の圃場として整備を開始。全体で4反ほどの畑になったので醸造用ブドウを700本植樹。草刈りや防除など必要な作業を通年で実施。

**●活動内容３**

地域のイベントの手伝いや参加。地域の有志の方で作っているマヤマックスキッチンという団体の郷土料理教室に参加したり、祭りにボランティアスタッフとして参加。小学校の運動会や地域の草刈りなどに参加し、地域住民の方と交流。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

HIRAOKA.VINEYARD

# 愛媛県大洲市　中村　光一

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
３０歳
【出身地】
東京都
【転出元】
千葉県山武市
【前　職】
農業
【活動時期】
Ｒ３.９～Ｒ６.８
（２年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

今までの農業や庭師、海外渡航などの経験を活かして、生活に自然を取り入れる提案をしたいと考え、地域おこし協力隊になることを決めました。

大洲市を選んだ理由は、農業部門でも活動の幅が広いことに加え、実際に事前に訪れた際に歴史的な町並みや文化、豊かで変化に富んだ地形、温かい人たちに肌で触れて、ここでなら何とかなりそうと考えたからです。

## 今後の抱負・任期後の目標

大洲市の地域おこし協力隊（農業部門）の１年目は、市内全域を見て回り、各地域や大洲の農業について学びました。その中で、ほたる祭りや藤縄神楽、雲海などから独自の魅力を感じ、柳沢地域で就農することを決めました。

現在、住まいの確保や耕作放棄地の整備に加え、地域に入っていくために各イベントや会合に参加をしています。

退任後、美しい地域の景観を維持しながら、農業を中心として、盆栽や造園、うかいの船頭、狩猟などを組み合わせて稼いでいけるように取り組みます。

## 活動内容

### ●市内の植物を利用して「THUGIKI」起業

市内に残る里山文化や自然などを伝えつつ、人が集まるような場所を就農場所で作ることと、退任後の農業以外の副収入外とするため、市内にある自然のものを活かした盆栽・花束の販売や造園を副業として「THUGIKI」を開業しました。地域のマルシェなどに参加しています。

### ●放置竹林の竹を活用したハウスの試験製作

大洲市が県内で最も放棄竹林が多いことや鉄の価格高騰への対応、里山の景観維持を目的に、竹を用いたビニールハウスの試験製作を行いました。今回は小さなものを製作しましたが、今後は営農用にさらに大きなものの試作を行う予定です。

### ●地域の文化継承活動に参加

市内に残る文化を継承していきたいと思い、「大洲のうかい」の船頭の研修を受け、今年デビューしました。また、今年から柳沢地域で就農するために活動をしており、地域のお祭りや各イベントの実行委員会等に参加して情報収集に努めています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
・メールアドレス　kouichi.nakamura@city.ozu.ehime.jp
・電話番号　０８９３－２４－１７２７
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

Instagram　Facebook　大洲市HP

THUGIKI.OZU

# 愛媛県久万高原町　生島　尚

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
47歳
【出身地】
愛媛県松山市
【転出元】
愛媛県松山市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R２.4～

## 協力隊に応募したきっかけ

以前より農業に興味があり、会社員時代に久万高原町と縁が出来家庭菜園を行っていた。
思いのほか楽しいのと、上手く栽培出来ないので本格的に取り組みたいと思い、久万高原町での転職活動を行っていた際に協力隊で農業ミッションでの募集を見つけた為、応募を決意。

## 今後の抱負･任期後の目標

ホップ栽培を本格的に取り組み、他ミッションの協力隊員が進めているクラフトビール事業の一助となるよう頑張ります。
他、栽培に取り組んでいる雑穀、自然薯栽培の規模を拡大し生業とできるよう取り組んでいきたいです。
他の農家との差別化を図る為、有機無農薬栽培に取り組んで付加価値を付けれればと考えます。

## 活動内容

**●ホップ栽培**

久万高原町クラフトビールの商品化の一翼として地元産ホップの実証栽培に取り組む。
試験栽培を任期2年目から行い、3年目に地元産100%ホップを使用してのクラフトビールの委託醸造まで行えるようになった。

**●雑穀栽培**

愛媛県・農業指導班が推進している雑穀の普及活動と協力して、キビ類の栽培を任期2年目から実施。
タカキビ、コキビ、地トウモロコシ、黒モチキビ等の栽培を行い、精米・製粉等を行い商品化、出荷。

**●自然薯栽培**

自然薯部会の会長を紹介頂き、自然薯栽培に任期2年目から取り組み。
指導を頂きながら良品の栽培技術を勉強中。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（facebook）https://www.facebook.com/kumakogen.kyoryokutai

# 高知県室戸市　鈴木　蓮也

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
２２歳
【出身地】
愛知県豊橋市
【転出元】
長野県上田市
【前　職】
農家
【活動時期】
R4.8.1～ R7.7.31
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

「独立したい、それを農業でしたい。」と愛知県にいる頃から思い、趣味がサーフィンをはじめとした海辺でのアウトドアのため、自然豊かな室戸へ移住することを長野県への移住以前から考えていました。パンデミックの情勢が少し落ち着いたくらいに、自分に合った地域おこしの「ミッション内容」の募集がされていたため再び室戸へ訪れました。協力隊の現地案内といった事前見学の際に、運や人に恵まれ多くの同年代や人と知り合え、田舎移住に対する不安がなくなったことも大きく影響しています。

## 今後の抱負･任期後の目標

私は室戸の日南（ひなた）地区、「集落活動センターひなたぼっこ」にて、農業振興、主に伝統野菜「ぼたなす」の栽培・PR・販促活動を行っています。高齢過疎化が進んでいる地区のため、日南地区での農作業者を増やしたいと考えています。

任期後も日南で地区で農業を続け、「ぼたなす」の他にも作物を育てたいと考えています。そのために、日々農業の勉強をするほか、地区の方との時間も大切にしていきたいと思っています。

## 活動内容

**●高知の日曜市**

日南（ひなた）地区「集落活動センターひなたぼっこ」で農業振興、主に伝統野菜「ぼたなす」の栽培・PR・販促活動を行っています。

高知市で行われている日曜市で、収穫したぼたなすの出店をしました。ぼたなす農家の方による実際の販売を見るなど、販促活動について多くのことを学びました。

**●共に勉強**

ぼたなすを販売されている谷口さんとの一枚。アドバイザーの方に合同でアドバイスを聞くなど、日南地区や「ぼたなす」の発展に向けて学んでいます。

そして、日南地区について谷口さんをはじめとした地区の方々に教えていただいています。

**●収穫体験**

採れたての「なす」は、へたがトゲトゲしている。といった新鮮な「なす」の見分け方を学び、体験に来てくださった方にそのことを伝えました。その他に、その場で「なすの丸焼き」を食べてもらうなど普段できないことを体験できるプログラムを組み活動しています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）mr-010900@city.muroto.lg.jp（電話番号）0887-22-5117

【インスタグラム】 ひなたぼっこの更新を主に行っています。

# 高知県香南市　小島　漱一郎

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
28歳
【出身地】
東京都世田谷区
【転出元】
神奈川県鎌倉市
【前　職】
接客サービス業
【活動時期】
Ｒ３.４～Ｒ６.３
（２年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

以前より高知県にて生活をすることを目標としていて、その中でも興味のある業種（農業）への就業をサポートいただけるプログラムを当市の地域おこし協力隊にて実施しているため、応募させていただきました。
募集情報は東京での高知移住フェアと現地取材において関係者から伺いました。

## 今後の抱負・任期後の目標

みかん栽培技能の習得と、研修にて管理させていただいている園地（主に耕作放棄をされ荒れ気味の畑である）をより綺麗に管理し、地域の方に信頼いただける新規就農者となるべく行動いたします。

## 活動内容

**○収穫をしたみかんの選果実作業**

行政と包括連携協定を結ぶ民間企業にて新規就農へ向け通年みかんの栽培の実地研修をさせていただいております。その傍ら地域のイベントやみかん農家さまのお手伝いも行っております。画像は収穫後のみかんを綺麗なもの（秀品）、傷のあるもの、加工用に大きく分けてゆく作業風景です。この後さらにサイズ別に分ける作業を行います。

**○果実肥大調査風景**

研修の中ではJAの営農指導員による現地調査にも同行させていただいております。写真は収穫までのみかんの実の肥大率をチェックしてゆく作業で、ほかにも収穫間際の糖酸度調査や現地栽培講習会などにも参加させていただいております。

**○山北みかん販促PR活動への参加**

研修先の企業と民間団体、行政とが連携し執り行った山北みかんの販促PRイベントにて会場スタッフとして商品説明を行いました。このほかにもふるさと納税返礼品であるミカンの木のオーナー制度における木に掲げる愛称看板の制作なども行っています。

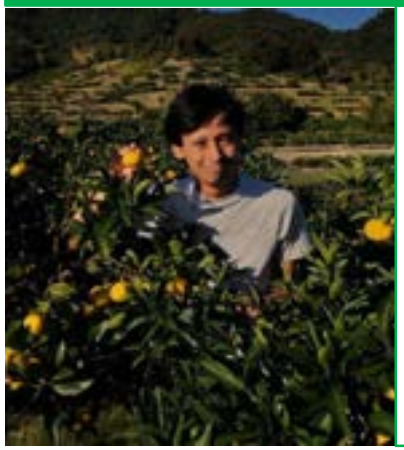
## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（地域おこし協力隊Instagram）konan_city_kyouryokutai
（研修先会社Instagram）yamakita.mirai

# 高知県香南市　春田　航輝

**農業・林業**

## 基本情報



【年　齢】
27歳
【出身地】
神奈川県鎌倉市
【転出元】
神奈川県鎌倉市
【前　職】
大学院生
【活動時期】
R4.5～ R7.4
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

地域おこし協力隊に応募したきっかけは昨年末のみかんの収穫時期に「こうなんワーキングホリデー」に採用いただいたことです。その際に1か月半の間、香南市に滞在しながら収穫作業をはじめとしたみかん農家の繁忙期の作業に従事させていただき、そのことがきっかけで果樹栽培を仕事にしてみたいと思い、みかん研修生の協力隊に応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

１年目の今年はみかんを栽培するために必要な技術を取得するための活動を行っています。2年目以降はそれをさらに効率的に行えるようにして、協力隊卒業後はみかん農家として独立できるようにしたいと思っております。

現在はコロナ禍の影響でイベント等も行われておりませんが、今後は香南市の特産物である山北みかんの販促・普及活動にも貢献していきたいと思います。

## 活動内容

### ●雑草との戦い

春から収穫までの間は雑草との戦いです。夏の炎天下の中、草刈り作業や除草剤の散布に追われる日々です。これまでよく考えたこともなかった雑草の成長スピードに驚かされた1年目でした。

### ●収穫

10～12月は春から育ててきたみかんの収穫時期です。1日に数十トンにも及ぶみかんを人の手で収穫していかなくてはいけないのでアルバイトの方にも来ていただきご協力いただきます。収穫に際してはアルバイトの方や農協の方としっかりコミュニケーションを取る必要があります。

### ●選果作業

みかんは収穫して終わりではなく、倉庫へ運んだみかんをサイズごとに振り分け、傷ついたものを選別する選果作業まで行う必要があるので収穫期は大忙しです。

収穫されたみかんの山を選果してようやく出荷に至ります。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）nourin@city.kochi-konan.lg.jp
（電話番号）0887-50-3015（職場）

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（特になし）

# 高知県香南市　小比賀　拓也

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
40歳
【出身地】
香川県高松市
【転出元】
香川県高松市
【前　職】
ＩＴ関係
【活動時期】
R4.5～ R7.4
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

高知の自然と美味しい食べ物、よさこいなどに魅了されて高知に憧れを抱くようになりました。特に産直市や良心市めぐりで農作物に癒されることが多く、“高知で暮らすなら農業”と思いました。そして様々な品目を調べたなかで自分にあっていると思うニラを選びました。

## 今後の抱負･任期後の目標

ニラ農家は近隣の農家さんや地元のそぐり手の方の支援があって成り立つ仕事です。そのため栽培技術を習得するだけでなく、地元でお手伝いできることがあれば積極的に参加していきたいと思います。

任期後は地域のニラ生産の一端を担い、後継者を育成できる農家を目指したいと思います。

## 活動内容

**●地元の農家さんでの栽培研修**

ニラ農家さんのもとでニラの栽培について学んでいます。早朝からの収穫、そぐり作業、ビニールハウス管理など慣れないことだらけですが、毎日が新鮮で楽しいです。

**●サポートハウスでの栽培実習**

香南市のサポートハウスにて、ニラの栽培実習を行っています。農家さんから教えていただきながら土づくりから畝立て、ニラの定植、栽培管理、収穫など一連の栽培実習を行っています。

**●地元のお祭りへの参加**

のいち佐古祭りに準備から参加させていただきました。地元の方と知り会えるいい機会でした。
お祭りは朝から晩まで多くの方でにぎわい、特に“ニラ飛ばし競技”はニラを持ってどれだけ遠くまで飛ばせるかを競うお祭りでした。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（地域おこし協力隊Instagram）konan_city_kyouryokutai

# 佐賀県佐賀市　中西　紀元

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
57歳
【出身地】
神奈川県　横浜市
【転出元】
東京都　あきる野市
【前　職】
民間会社の営業職
【活動時期】
R３.７～

## 協力隊に応募したきっかけ

かねてから地球環境に興味があり、環境問題に係る仕事に携わりたいと考えていた。残念ながら、前職の民間会社での仕事は、売り上げ拡大を目標とした大量生産・大量消費を促すものであり、積極的に環境を守ることにはつながっていないと考え、会社を早期退職。
その後、自然の中で生活したいと考える中で、佐賀市富士町で募集していた地域おこし協力隊に興味をもち応募。

## 今後の抱負･任期後の目標

これまで行ってきた、森林環境教育関連に加えて、県や市、地域の森林組合と一緒になって、林業従事者を増やすための取り組みを行う。
また、施業に携わる自伐型林家になるための準備として、車両系建設機械運転等の必要な資格取得を行う。

## 活動内容

**●佐賀の山をもっと佐賀の人に知ってもらうために講義を実施。**

佐賀県や佐賀市における森林と林業の現状について、大学の講座や高校生を対象とした就業体験で講義やプレゼンテーションを行っています。活動を通して、佐賀市民に地元の森林や林業に興味をもってもらい、就業者の増加につながればと活動中！

**●自身も森林施業に携わるための活動を実施。**

隊員卒業後も森林に携わっていきたいとの思いから、自伐型林家育成のための研修に参加。刈払機や伐木のためのチェンソーの安全講習受講から、専門家の指導のもとで、伐木を運び出すための作業道開設に必要な機械運転の講習など幅広い資格取得のため現在勉強中！

**●地域内エネルギーの可能性に挑戦。**

地域資源である木質バイオマスを生かした発電・売電計画への参画や熱利用の可能性の模索など、持続可能な地域内エネルギー循環システムの構築に向けて他の自治体の事例確認や研修会に参加し、日々研鑽中！

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）shinrin@city.saga.lg.jp（職場）
（電話番号）0952-58-2183（職場）

# 佐賀県佐賀市　玉邑　祥己

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
36歳
【出身地】
福井県鯖江市
【転出元】
東京都大田区
【前　職】
営業
【活動時期】
R3.4～

## 協力隊に応募したきっかけ

移住を決める上で、せっかくであれば地域活性化に貢献出来る事をしたいと考えた。その為には、まずは、地域に入り、知るという事が必要と考え、協力隊であればそれが可能、また、任期中に地域課題を見つけ、解決に努めれると考えたから。

## 今後の抱負・任期後の目標

任期後は農地を守る事、支援をしていきたいと考えています。現在、佐賀市中山間地区は高齢化が進んでいます。
その中でも、自分の田、畑などの土地を守っていこうという方もいらっしゃいます。そういう方を支援できるサービスを提供し、地元の方々と共に協力して守って行きたいと考えます。

## 活動内容

**●産業用ドローンによる農薬散布**

水稲の除草剤、農薬散布をオペレーターとして行いました。作業面積は30町以上
中山間地区には狭い圃場が点在している為、
ドローンにはぴったりの場所。
地元の先輩の方々には操作難易度も高い為、
現在オペレーター不足という状況。

**●休耕作地を借りて農産物生産**

地元の方の、土地をお借りして野菜を生産しています。現在は、さつまいも、玉ねぎ等。
鍬で土を耕していると近所の方がトラクターでしてくれました。
ノウハウもない素人ですが、販売出来る様なクオリティーまで持っていければと思います。

**●米 生産～販売に向けて補助**

広域を管理する組織で生産作業～直接販売に向けての作業を行いっています。
今までの既存ルート（卸売り）以外で直接、消費者につなげるる為、今後イベント出店やEC出店のサポートをしていきます。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）chiiki_kyoryoku@city.saga.lg.jp

# 長崎県長崎市　水野　新

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
41歳
【出身地】
東京都　港区
【転出元】
岐阜県　多治見市
【前　職】
一般社団法人　理事職
【活動時期】
R3.3～

## 協力隊に応募したきっかけ

妻の妊娠を契機に子育てに最適な農村部への移住先を探していた折、長崎市の募集を知る。当地の美しい自然環境と募集内容が希望する農業関連活動であった事から、応募に至る。

## 今後の抱負・任期後の目標

現在の活動地域に定住して、地域の自然資源を活かした事業を行う。また、子育て世代の移住希望者に対して、何らかの形で移住支援をサポート出来るような取組みを実施したい。

## 活動内容

**●大中尾棚田保全組合のサポート**

大中尾棚田保全組合（神浦地区）において、組合員の各種農作業や組合が実施する各種イベント等の実施支援を行っている。

**●有機水稲栽培の実施**

大中尾棚田ならびに外海地区における有機農業を促進等を目的として、大中尾棚田で試験的な水稲の有機栽培（生産）を実施している。

**●有機ハーブティーの生産**

外海地区における有機農業の促進および特産品開発の一環として、ハーブの有機栽培・加工（ハーブティー）を実施している。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（ＨＰ）　https://www.sotome.life

# 長崎県新上五島町　鉄川　吉康

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
40歳
【出身地】
長崎県　新上五島町
【転出元】
埼玉県　春日部市
【前　職】
機械設計者
【活動時期】
R4.5～

## 協力隊に応募したきっかけ

地場産品や地域おこしに興味があり、地元の農産物で地域を盛り上げたく地域おこし協力隊になりました。

## 今後の抱負・任期後の目標

直売所の会員数を増やし、長く続けていただけるようにモチベーションを維持して頂ける工夫を行いたい。
任期後は地場産野菜を使ったお店ができればと考えています。

## 活動内容

**●直売所の新規会員の確保**

高齢化に伴い退会される方や、畑の規模を縮小される方が増えている為、会員数を増やすために町内の畑を回り新規会員の確保に努めている。

**●出荷手段がない方の補助**

野菜は作っているが、直売所まで運ぶ手段を持っていない方がいらっしゃるため、会員確保の合間にご自宅から直売所まで野菜の集荷の補助を行っている。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）y.tetsukawa@town.shinkamigoto.nagasaki.jp
（電話番号）0959-53-1166

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）https://www.instagram.com/chioko_snkm/
（Facebook）https://www.facebook.com/kami510chioko

# 熊本県玉東町　稲田　郁人

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
40歳
【出身地】
熊本県熊本市
【転出元】
東京都目黒区
【前　職】
アルバイト
【活動時期】
R3.8～

## 協力隊に応募したきっかけ

上京し十数年が過ぎたが、いつかは地元熊本に戻り子育てをしたいと考えていた。また、以前より農業に興味があって新規就農を目指しており、今回農業に関する募集を見つけたので、参加を決めた。
将来、地元である熊本に戻り農業をしたいと思い応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

玉東町の新鮮な農作物のおいしさ、生活環境利便性や教育環境充実、または観光資源等、町の「良さ」を発掘し多くの方が訪れてくれるよう取り組んでいきたい。
　さらに自身も就農を目指し、日々の時間を大切に活動していきたい。
今後はみかん栽培に向けて地元農家の元、知識技能を習得し、任期後はみかん農家として新規就農を目指す。

## 活動内容

**●地元農家での農作業**

玉東町の若手農家団体である「ぎょくだん」の元、玉東町名産の、みかんや梨、スイカの農作業を実施。農業未経験のため慣れない作業だが、何事も新鮮で日々勉強になる。

**●ハニーローザの栽培**

玉東町が生産量日本一を誇る、幻のスモモ「ハニーローザ」の栽培を実施。収穫までの摘果や防除作業等を実施し、甘く大きい実を収穫することができた。また、毎年6月には収穫祭を開催しハニーローザの普及活動を行っている。

**●物産展で玉東町のPR**

物産展でハニーローザや梨の加工品等を販売し、県内外の方々に玉東町の知名度向上に向けた活動を実施。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（インスタグラム）玉東町地域おこし協力隊

# 熊本県菊陽町　秋築　要介

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
40歳
【出身地】
熊本県熊本市
【転出元】
熊本県熊本市
【前　職】
自営業
【活動時期】
R4.6～

## 協力隊に応募したきっかけ

転入する地域に貢献し、コミュニティづくりを円滑に行うことで安心して楽しく新生活を送るため。

## 今後の抱負・任期後の目標

活動内容を可視化できるよう、WEBサイトの充実を図る。

## 活動内容

**●総合交流ターミナルの宣伝に関する活動**

SNSコンテンツや掲示物等を制作し、新規顧客の誘客を行う。施設に関するPRを行う。

**●農産物イベントの企画・運営に関する業務**

集客や記録、当日の運営など総合交流ターミナルのイベントへの協力。

**●農産物の販売促進**

商品や品種、生産者の情報提供をする掲示物などの制作。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（製作中_菊陽町地域おこし協力隊）https://kikuyotown-lrct.studio.site

# 熊本県菊陽町　平田　悠

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
24歳
【出身地】
奈良県　奈良市
【転出元】
奈良県　奈良市
【前　職】
無職
【活動時期】
R4.6～

## 協力隊に応募したきっかけ

自然に囲まれた土地で様々な人と関わる中で、自分自身に合ったライフワークを見つけたいと思ったため

## 今後の抱負・任期後の目標

都市部と農村部の繋がりを良好なものにするために、地域の方との関わりを拡げながら農産物の魅力を伝えられるよう取り組んでいきたいと考えています

## 活動内容

**●総合交流ターミナルの宣伝に関する業務**

施設公式のＳＮＳの運用

**●イベントの企画・運営に関する業務**

都市部と農村部の交流となるイベント作り
新規の顧客の方が施設を利用していただけるようなイベントの企画
施設内イベントのサポート

**●農産物の販売促進**

店内商品のレシピ作成を行い、特設サイトでの掲示
ネット販売を通しての食材のロス削減

## 連絡先

# 熊本県芦北町　石津　義秀

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
58歳
【出身地】
福岡県北九州市
【転出元】
福岡県北九州市
【前　職】
・ダイレックス株式会社
・(有)コンフォートクリエーション　ほか
【活動時期】
R4.4～

## 協力隊に応募したきっかけ

・芦北町をテレビ番組で見た際に、海と山に囲まれた温暖な地というイメージを持ち、「芦北町に住みたい」と思ったため。
・ミッションであるオリーブ事業が、今年度から実証栽培を開始する初めての取組みであるためやりがいを感じたため。

## 今後の抱負・任期後の目標

・オリーブの栽培技術を習得し、実の収穫を軌道に乗せたい。
・実の収穫量が安定するまでに、商品化や観光農園化等に向けた長期的な計画を立てて事業の確立に備えていきたい。
・これまで職務経験のある観光業の知識を活かし、御立岬公園の観光全般に関わり盛り上げていきたい。

## 活動内容

**●オリーブ試験圃場での栽培管理と技術習得**

・14品種の苗木を250本植栽、更に成長状況の良い８品種を250本追加で植栽し、成長記録のチェック等を行い実証栽培を実施しています。また、栽培に必要な施肥、防除、草刈り等の作業をスケジュールを組み立てて実施していいます。

**●オリーブ加工品開発**

・オリーブの実が生るのは３年生の苗を植えてから３年後と言われているが、今年少量の収穫ができたことから、実験的に実の塩漬けの加工、オリーブ茶の試作、簡易搾油機を使った搾油を試みました。
・今後、３年後の収穫を見込み搾油機の導入や加工場の整備を行っていきます。

**●技術習得のための視察及び研修**

・御立岬でのオリーブ事業の取組みはスタートしたばかりでノウハウがないため、先進的に取り組んでいる自治体や企業に視察研修を行っています。
・今後は、栽培過程で必要な剪定等の作業研修や先進地への視察を行っていきます。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
0966-82-2511（内線275）＜芦北町役場農林水産課内＞
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
『芦北町地域おこし協力隊』の活動紹介FB

# 熊本県あさぎり町　山添　敏孝

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
30歳
【出身地】
千葉県市川市行徳
【転出元】
千葉県市川市行徳
【前　職】
システムエンジニア
【活動時期】
R1.12～ R4.12
（3年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

前職の息抜きに始めた家庭菜園で野菜を作る楽しさや、作った野菜を食べてもらって「美味しい」と言われる嬉しさを知り、昔から興味のあった農業に若いうちからチャレンジしてみようと一念発起し、まずは東京で主催された「全国農業フェア」に向かいました。そこで「地域おこし協力隊」の存在を知り、総務省の地域おこし協力隊の募集ページからあさぎり町の募集を見かけ応募させて頂きました。

## 今後の抱負・任期後の目標

今年で任期が満期を迎えて、任期終了後はあさぎり町のふるさと納税の管理など地域に密着した仕事をさせていただき、地域に貢献していきたいと思っています。また折を見て就農するチャンスがあればしたいと考えています。もともと農業がしたくて来たので、今後も地域や農業に携わっていきたいと思います。

## 活動内容

**●ほうれん草の収穫**

あさぎり町の冬の農業支援センターでの仕事の主な作業になります。朝、霧が深い中みんなで横一列になってほうれん草を収穫し、コンテナに入れていきます。11時ごろには霧が晴れて太陽が出てくるのでとても気持ちがいいです。

**●お米の育苗**

春先になってくると、農協の育苗センターでお米の育苗の作業が始まります。あさぎり町全体の食用米、飼料米、焼酎米を作っているので種まきだけでも1日中かかります。苗ができると農家さんが取りにくるので、その際にお話しをさせていただいたりして、仲良くさせていただきました。

**●あさぎりのグルメ**

僕はあさぎりの広報紙を通して自分の活動や近況報告をさせていただいているのですが、あさぎり町の食について伝えるのも大事だと思っており、時折このように食べ物を載せていただいています。広報紙を見て初めて足を運んだ方も結構いたようです。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）info-asagiri@asagiri.kumamoto.jp
（電話番号）0966-45-7211(企画政策課直通番号)

# 宮崎県諸塚村　神保　広武

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
41歳
【出身地】
神奈川・相模原
【転出元】
同上
【前　職】
無職
【活動時期】
R4.5～

## 協力隊に応募したきっかけ

林業が盛んな場所だったため。農林業訓練コースで、現場での体験を通して山で生きるスキルを身につけられると思ったため。

## 今後の抱負・任期後の目標

上記を実行できる環境作り。

## 活動内容

**●林業勉強**

刈払機やチェーンソーなどの各種資格の取得。
杉苗やクヌギ苗の植林、造林予定地の地ごしらえなどの作業に参加。
地元の林業事業所へ研修、林業現場を見学。

**●稲作勉強**

田起こし、代掻き、田植え、除草、水管理、収穫までの流れを学ぶ。田を借用し、自ら田起こしから収穫までを行った。

**●しいたけ原木栽培勉強**

駒打ち、本伏せ、起こし木、椹場整理などの作業に参加。
木材の玉切りなどを体験。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
諸塚かてゃーり隊　https://morotsuka.fan

# 鹿児島県志布志市　森田　真奈

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
34歳
【出身地】
鹿児島市
【転出元】
鹿児島市
【前　職】
飲食店・生花店
【活動時期】
Ｒ３.１～Ｒ６.１
（２年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

植物を一から育てたいという思いがあり、「農業求人」で検索したところ、いちごの栽培技術と経営を一から教えて頂けることに、とても魅力を感じ応募させて頂きました。
約1年半いちごの研修を受けましたが近年の資材高騰などにより一人での栽培が難しくなり、現在は大崎町で日本の定番野菜からフランス・イタリアなどの西洋野菜を少量多品目栽培をしている「トモタカファーム」さんのところで研修させていただいています。

## 今後の抱負・任期後の目標

研修で学んだことを活かしながら借りた畑で野菜などを栽培。
女性一人でも農業が出来るように自立就農を目指しています。そして、若い世代に繋げていけたらと思っています。

## 活動内容

**●研修先での様子**

8月の中旬より、日本の定番野菜からフランス・イタリアなどの西洋野菜を少量多品目で露地栽培をしている、大崎町のトモタカファームさんのところで研修をしています。
画像は夏野菜（薄紫ナス・水茄子・万願寺唐辛子・フェアリーテイルナス・フルーツトマト・ダビデの星オクラ）

荒れ地の畑を借りて、夏場は雑草が生い茂るので月に２回ほど草刈りしていました。
初めての草刈り機、１時間続けてやると振動で手の震えが止まらなかったです。

9月～10月は土づくり、種まき、苗植え
ミニ耕運機を購入して土づくりをしています。露地栽培は体力が必要とする作業が多いです。
毎日天気を見ながら季節の移り変わりを肌で感じています。

## 連絡先

# 鹿児島県湧水町　鳥羽　一輝

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
42歳
【出身地】
鹿児島県　姶良市
【転出元】
佐賀県　鳥栖市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R２.４～R５.３
（３年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

就農する為,地域の農家さんが何を作っているかなど見てみたいと思ったからです。

## 今後の抱負・任期後の目標

湧水町幸田でもち麦や水稲の生産支援をしながら農業の経験を積み上げてきました。
　その経験を活かしつつ就農をしていきたいです。また，物産館などの運営についてもしていきたいと思っています。

## 活動内容

**●就農に向けた取組**

任期中，ハウス2棟を利用してトマトやトウモロコシ，オクラの栽培や路地によるニンジンなどの野菜類を物産館等に出荷してきました。今後も引き続き，トマトやニンジン等の生産をしていき，農地の規模拡大を図りたいと思っています。

**●物産館の運営**

最終年度からくりの物産館の館長を引き継ぐため経験をしてきました。期間終了後は,農業就農と併せて,物産館の運営も行っていきたいです。

**●棚田の景観保全及び地域活性化**

高齢化や後継者不足に伴い,遊休農地が増加する中で,「つなぐ棚田遺産」として認定された「幸田頭の棚田」で荒廃農地となっていた田んぼを再生させる取組を行いました。
農業体験をすることで後継者の育成や農業に興味を持ってくれる子供たちが増えたらいいなと思います。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
電話番号）0995-74-2908(湧水町栗野物産館)

# 鹿児島県屋久島町　大水　孝介

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
２３歳
【出身地】
福岡県　太宰府市
【転出元】
鳥取県　鳥取市
【前　職】
大学生（鳥取大学）
【活動時期】
R4.4~

## 協力隊に応募したきっかけ

もともとコケに興味を持っており、その中で屋久島というコケの宝庫に移住することを決めました。移住するにあたり、職を探していたところ、自由提案型での募集が屋久島町にてあり、自身の強みでもあるコケで仕事ができると考え、募集しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

活動の目的でもある、屋久島のコケ産業を確立させること、それに必要なコケ農協を屋久島で始めたいと考えています。コケの生産を協力隊の任期中に増やしつつ、生産したコケを仕入れ、島内外に販売する農協のような企業を立ち上げたいです。

## 活動内容

**●コケの生産**

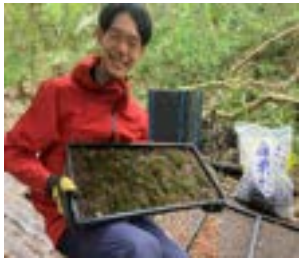
屋久島でのコケ生産を拡大していくために、まず屋久島でコケの生産が可能かどうかのテストを行っています。種類や場所も様々なパターンを試しており、どのような生産体制が屋久島に適しているのかを明らかにしたいと考えています。

**●コケのイベント**

コケの生産を拡大させるためにも、コケの魅力をより多くの人に知ってもらいたいです。そのためにもコケに興味を持ってもらうような企画として、野外での観察会、顕微鏡での観察、苔盆栽作りなどを行っています。

**●情報発信**

自身の活動をより多くの人に知ってもらうよう、情報発信にも努めています。SNSでの投稿はもちろん、地元ラジオへの出演や新聞への記事掲載なども積極的に行っています。



## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）https://www.Instagram.com/kokedou_
（note）https://note.com/kokedou_

# 沖縄県恩納村　中村　朋子

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
４６歳
【出身地】
和歌山県和歌山市
【転出元】
香川県高松市
【前　職】
旅行会社勤務
【活動時期】
Ｒ３.２月～

## 協力隊に応募したきっかけ

コロナ禍で勤めていた旅行会社が休業や、希望退職募集や出向などで、しばらくこの状況が続くと思いました。
これを機会に違ったことに挑戦したいと考え、住居が準備され信頼のおける機関が募集している「地域おこし協力隊」に興味を持ちました。
沖縄が大好きだったのと、仕事や旅行で何度も訪問した思い出のある恩納村に決めました。

## 今後の抱負･任期後の目標

地域の方に温かく迎えていただき、恩納村、また沖縄全体にとても愛着を感じています。
今後も地域のためになる仕事に携わりたいと考えています。

## 活動内容

**●農産物の集荷**

毎週金曜日の朝、高齢で免許を返納されたり、距離もあるので、出荷が困難恩納村北部の集荷に行っています。
農産物に関する情報収集や地域のことなどを知り、交流の場ともなっております。

**●移動販売**

地産地消の一つとして、地域の農産物は地域で使っていただきたいとの思いで、週に４日恩納村内の地域の方が集まる場所、ホテルや飲食店などで移動販売を行っております。
野菜や果物を売るだけではなく、地域の声やどのような品が必要なのかを実感します。

**●沖縄めんそーれフェスタ**

祭事やフェスタなど、恩納村の農産物や加工品をPRできる機会に参加させていただきます。
関東の沖縄ファンの方や沖縄出身の方が集まる機会となり、勉強になりました。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://www.facebook.com/tomoko.nakamura.12576049

# 沖縄県伊江村　中村　慎吾

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
38歳
【出身地】
千葉県　野田市
【転出元】
東京都　世田谷区
【前　職】
農業コンサルタント
【活動時期】
R元.7～R5.3（4年目）
※新型コロナウイルス感染症により活動に影響を受けた地域おこし協力隊員の任期特例を適用

## 協力隊に応募したきっかけ

前職で伊江村の方と知り合い、かつては落花生の大産地であったことを教えてもらいました。

沖縄県産の需要はあるにも関わらず、人口減や高齢化で島内に人手が足りず伸び悩んでいる状況を何とかできないかと思ったことと、コンサルタントとしてではなく地域に根差して取り組みたいという考えたことから、協力隊という形で関わることにしました。

## 今後の抱負・任期後の目標

在任中に立ち上げた落花生1次加工場の自主経営、落花生の生産量のさらなる増加、伊江島産落花生の販路拡大と新たな商品開発の促進を目指しています。

退任後の安定的な収入の確保がまだ課題ではありますが、任期後もそれらの活動に携わり、伊江島の落花生の地域商社的な役割を果たしたいです。

「農業」や「食料自給率の向上」は学生時代から前職、現在まで自分の人生を貫いているテーマなので、今後も死ぬまで貫き通していくことになると思います。

## 活動内容

### ●活動内容１　落花生の栽培を広めてます

伊江村は、昔から落花生（島の言葉で「ジーマミ」）が栽培されてきた離島の村です。出荷にかかる手間や安価な輸入品との競争により、生産量は減少傾向にありました。私の出身地・千葉県を参考にしながら、沖縄の環境に合った栽培方法を研究し、種用の落花生を栽培して希望者に配布することで新たに植える農家を増やしています。

### ●活動内容２　落花生の集出荷拠点を立ち上げました

沖縄産の落花生は希少なので製造業や飲食店からの問合せは多かったのですが、安定的に出荷する体制が整っていなかったため拠点となる1次加工場を立ち上げました。

建物は使われなくなった建物を活用し、設備は他産地を参考に最適だと思えるものを導入し、人員は農閑期の農家や主婦、福祉作業所などに声をかけて集まってもらいました。

### ●活動内容３　伊江島産落花生の宣伝隊長をやっています

村内外のイベントに出て一般の消費者向けにPRしたり、都市部で飲食店関係者向けの試食宣伝会を開催するなど、伊江島の落花生を村内外に知ってもらうための活動にも取り組んでいます。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）nakamura@iejima.org
（電話番号）　　0980-49-3161（伊江村役場農林水産課内）

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://Instagram.com/iejima_iju_official

# 08 環境保全・自然保護

# 北海道北見市　和田　孝子

**環境保全・自然保護**

## 基本情報

【年　齢】
５4歳
【出身地】
北海道
【転出元】
北海道札幌市
【前　職】
株式会社 サウンズグッド OS札幌支店
【活動時期】
Ｒ3．6～Ｒ6．3
（２年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

2011年より猫の保護活動を始めた時から、この活動が仕事になれば良いと思い続けていたところ、地域おこし協力隊で犬猫愛護推進員という仕事があると聞き、今までの経験が仕事として役に立つのであれば是非やってみたいという思いから応募しました。

## 今後の抱負･任期後の目標

犬猫の問題は動物好きの方だけで解決すれば良いと思われがちですが、決してそうではありません。犬猫が存在している限り、犬猫問題は無くならないと思います。行政とボランティアそして地域の三協で問題を小さくすることは可能と思います。地域おこし協力隊の経験を活かして、犬猫に関して悩んでいる方がいれば一緒に良い方法を考え、犬猫を好きな人も嫌いな人も笑顔になる活動と、不幸な犬猫を増やさない活動を今後も続けていきたいです。

## 活動内容

**●犬猫の適正飼育の啓発**

生活環境の悪化につながる犬猫の不適正飼育の未然防止のため、適正飼育の啓発活動を実施

**●飼い主のいない猫の対応**

猫を寄り付かせない方法の助言や付近でえさやりに対する指導や地域理解のもと避妊・去勢を実施したうえでのえさやりやトイレのしつけを行うなどの地域猫活動を推進すべくそうした手法を伝えながら普及につなげる活動を行っている。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）kankyo@city.kitami.lg.jp　（電話番号）0157-25-1131

# 北海道北見市　佐藤　美佐子

**環境保全・自然保護**

## 基本情報

【年　齢】
53歳
【出身地】
北海道
【転出元】
北海道札幌市
【前　職】
生活協同組合コープさっぽろ
【活動時期】
Ｒ３.６～Ｒ６.３
（２年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

以前より動物の救済に関わる仕事に就きたいと考えていたところ北見市の尊い命のための取り組みを知り、ぜひ北見市で活動させていただきたいと考えました。

## 今後の抱負･任期後の目標

1年目にできなかった、自身の活動のお知らせや、啓発活動にもっと力を入れて、動物との共生に理解を深められるよう取り組みたいです。

## 活動内容

**●犬猫の適正飼育の啓発**

生活環境の悪化につながる犬猫の不適正飼育の未然防止のため、適正飼育の啓発活動を実施

**●飼い主のいない猫の対応**

糞尿被害の訴えに対しては猫を寄り付かせない方法の助言、付近でえさやりに対する指導、地域理解のもと避妊・去勢を実施したうえでのえさやりやトイレのしつけを行うなどの地域猫活動を推進すべくそうした手法を伝えながら普及につなげる活動を行っている。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）kankyo@city.kitami.lg.jp　（電話番号）0157-25-1131

# 北海道岩見沢市　藤嶋　裕介

**環境保全・自然保護**

## 基本情報

【年　齢】
25歳
【出身地】
北海道岩見沢市
【転出元】
新潟県粟島浦村
【前　職】
地域おこし協力隊
【活動時期】
R4.5～

## 協力隊に応募したきっかけ

元々出身が岩見沢市であり、学生時代にエゾシカに関する研究をしていたフィールドが現在の活動地域であったため。

そこで出会った農家や猟師の方々と交流する中で、この地域で働きたい、この地域の産業である農業を守りたい、と考えたため。

## 今後の抱負･任期後の目標

狩猟や有害鳥獣駆除に興味を持つ学生や若者に対する狩猟の技術的指導や、エゾシカの角や肉を利用した地域の新しい特産品の開発等といった、有害鳥獣の駆除から派生する地域振興活動に取り組んでいきたい。

## 活動内容

**●狩猟講座の開催**

狩猟や有害鳥獣駆除に携わりたいと考えている学生や若者を対象に、罠猟、解体などを指導するフィールドワークや研修合宿を定期的に開催している。

**●ヒグマ注意喚起**

地域の駐在署と連携し、キャンプ場利用者に対して、ヒグマの注意喚起を行った。残飯等を放置していると、匂いにつられたヒグマと遭遇する恐れがあるため、車内に保管する、ごみを持ち帰る等の啓発を実施した。

**●獣害対策従事者との意見交換**

近隣自治体において活動する獣害対策従事者との意見交換を実施した。有害鳥獣駆除担い手の高齢化が進展していることもあり、特に若い獣害対策従事者同士での交流、情報交換等を積極的に行っていく。

## 連絡先

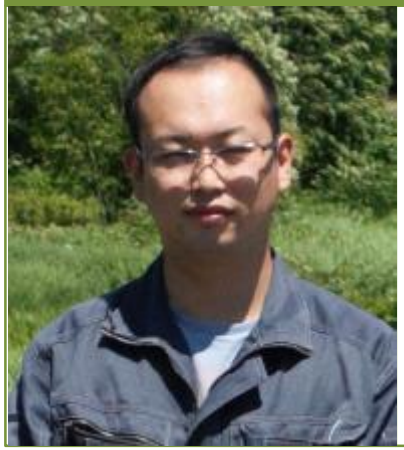
メディア等の取材連絡先】
岩見沢市企画財政部企画室　TEL:0126-35-4834

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
■Instagram（@iwamizawa_life）
■Instagram（@iwamizawa_grashi）

# 北海道沼田町　橋本　幸太郎

**環境保全・自然保護**

## 基本情報



【年　齢】
３１歳
【出身地】
埼玉県　深谷市
【転出元】
茨城県　行方市
【前　職】
製造業
【活動時期】
Ｒ３.５～Ｒ６.４
（２年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

もともと農業関係の仕事をしていたこともあり、より農業業界に貢献できる仕事をしたいと思っていました。
そんなときに、沼田町で有害鳥獣駆除に関わる地域おこし協力隊員を募集しているのを知ったのがきっかけで応募しました。

## 今後の抱負･任期後の目標

将来は他の市町村などと連携し、有害鳥獣から町民の生活を守る仕組みを作りたいです。
そのためには、まず自分も現場を熟知しないといけないと思っており、技術を身に付けることや農家さんやまちの人との信頼関係を築く事を大切にしていきます。
また、今いる有害鳥獣駆除の匠たちの技術継承を含め、若い世代へ広く情報や知識などを広めていく活動をしていきます。

## 活動内容

### ●活動の概要

町民や町民の生活を守るフィールドサポーターとして活動しています。
狩猟ではなく、あくまでも人や農作物に危害を加える可能性のある動物を捕獲・駆除しています。
人間の生活圏と動物の生活圏を分けるのが、自分の仕事だと思っています。

### ●一日の活動スケジュール

午前中は、町内各所に設置している罠の見回りをします。
見回りをしながら罠のエサ交換をしたり、新しい罠場を探したり、設置箇所の環境に応じた設置の工夫なども行なっています。
また、捕獲のあった場合は、それらの処理を行っています。

午後は、主に書類作成を行っており、捕獲報告書や罠の種類ごとの分布図の作成・更新等のマッピング作業を行っています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）jyuumin@town.numata.lg.jp
（電話番号）0164-35-2115 (職場：住民生活課)
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://m.facebook.com/NumataReactivator/

# 山形県酒田市　内藤　小容子

**環境保全・自然保護**

## 基本情報

【年　齢】
３９歳
【出身地】
神奈川県藤沢市
【転出元】
神奈川県藤沢市
【前　職】
自然環境保全行政
【活動時期】
Ｒ２.４～Ｒ５.３
（３年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

○ライフワーク：社会と自然環境の接点に関わること
酒田市はまさにこれを実践できる場所
○「再チャレンジしたい」という強い思い入れのある土地
前職で全国を異動する中、酒田市でも勤務するも、体調を崩し、志半ばで異動した悔しい経験
○高い自由度をもって活動できる環境
酒田市の地域おこし協力隊はフリーミッション型なので、特定の枠にとらわれない自由な活動が可能

## 今後の抱負・任期後の目標

今後の抱負
○地域の中で資源と経済が循環する“真の意味での里地里山の再興”を実現するため、地域の方と協力していきたい
任期後の目標
○任期中に企画した事業の発展による起業
○「現代の百姓（百姓＝100の仕事がこなせる人）」を実践するのが理想のライフスタイル
持続可能な暮らしのための知恵と技を駆使して自然や文化の活用による地域活性化を推進

## 活動内容

**●活動内容**
**地域の伝統文化／伝統技術の魅力に対する普及促進**

①「庄内さしこマスク」の刺し方動画（Youtube）企画・制作・配信
②茅葺き古民家「旧阿部家」に関する事業
葺き替え見学～資源／命の循環を考える～
茅葺き屋根をめぐる命をテーマにした紙芝居の発表

**●活動内容　地域の自然環境の魅力に対する普及促進**

地元の子どもをターゲットにイベントの企画・開催
①「いきもの発見塾」
フィールド：夏のたんぼ、冬の森
②「地域の宝：ため池のSOS展」
里地里山におけるため池の役割と生態系を学ぶ展示・イベント

**●活動内容　地域の未利用資源の活用**

①放置柿を利用した柿渋づくりとその６次産業化による「庄内SHIBUGAKI隊プロジェクト」の企画運営
放置柿の収穫／柿渋の仕込みWS、柿渋染め／塗り体験WS、柿渋の用途アイディアコンテスト（予定）
②米作りとそれをめぐる資源(稲わら)の環境の復興、普及促進をめざす「稲笑循環プロジェクト」企画

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Ｆａｃｅｂｏｏｋページ：酒田市地域おこし協力隊【平田地域拠点】

# 山形県飯豊町　後藤　武蔵

**環境保全・自然保護**

## 基本情報

【年　齢】
31歳
【出身地】
山形県飯豊町
【転出元】
愛知県豊田市
【前　職】
自動車エンジニア
【活動時期】
R3.10～

## 協力隊に応募したきっかけ

私は、現在の活動地域である飯豊町の出身で、高校生の頃から「飯豊町の資源からエネルギーを作りたい」という想いをずっと持っていました。ただ、何も経験や能力がない中で戻ってきても何も興せないと考え、大学卒業後に民間へ就職し、仕事のやり方などを学んできました。6年目で徐々に仕事が楽しくなり、今が一番働けると感じ、飯豊町でエネルギー事業を立ち上げたいと決意し、応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

任期後の目標としては、飯豊町の資源（特にバイオマス）を生かした発電設備を立ち上げたいと考えています。現在、再生可能エネルギーは大規模集中型で森林伐採や破壊も伴っているケースが多く、本当の意味で環境に良いエネルギーには認知されていない事業だと感じています。そこで、森林整備を中心として、その中で出た恵（間伐材や林地残材となるD材以下）を利用した小規模分散型の発電設備を立ち上げ、飯豊町の美しい森林を守り、発展させていく事業にしたいです。

## 活動内容

**●森林整備修行**

週末を利用して、2週に１回の頻度で山に入り、森林整備のやり方を学んでいます。その中で持続可能な林業とは何か、どうすれば林業は持続可能な産業になるかを先輩の林業家の方々と話し、事業構築へFBしています。また、カーボンクレジットを使った新たな価値創造や仲間集め事業にも挑戦中。

**●事業構築･仲間集め@ローカルベンチャーラボ**

ビジネススクール（ローカルベンチャーラボ）に参加し、地方で起業を目指す全国の人との意見交換や自分の事業案のブラッシュアップを実施しています。現在、飯豊町で興すプロジェクトで一緒に参画してもらうなど、仲間作りにも繋がっています。今後、全国で地方起業の輪を作っていきたい。

**●電力事業修行@おきたま新電力（株）**

昨年立ち上がったおきたま新電力（株）にて、電力への理解を深めることを目的に、立ち上げ業務と新規再生可能エネルギー電源のポートフォリオ作成、新規事業の仕組みづくりなどを実施。今後、置賜地区で電力の地産地消100%を目指し、様々な人たちと協力して、推進力をもって、進めていきたい。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://iide-iju.com/report/

# 埼玉県長瀞町　清水　勇多

**環境保全・自然保護**

## 基本情報

【年　齢】
32歳
【出身地】
大阪府阪南市
【転出元】
神奈川県厚木市
【前　職】
アパレル
【活動時期】
R2.10～ R5.9
(3年目)

## 協力隊に応募したきっかけ

応募した当時は新型コロナウィルス感染症の拡大でこれからどんなことが起こるのか？全く予想もつかない状況でした。これまでアパレルブランドのディレクションやPRなどの仕事をしてきました。同じことではなく全く新しいこと。誰も知らない場所、何もないところから何かをつくる。地方の魅力を全国へつなげていく。そんな挑戦をしてみたいと思い、地域おこし協力隊に応募しました。

## 今後の抱負･任期後の目標

地域おこし協力隊として展開してきたWITH RIVERを事業化。「川」「自然」「町」「人」、商品を通じて美しいローカルを未来につなぐこと、"Keep Local Beautiful”をミッションにかかげた事業をスタートします。川などの自然環境改善につながる洗剤やシャンプーなどの商品を開発中。「ローカルから日本を解放する」 をテーマに起業、長瀞を中心に全国の川があるローカルにWITH RIVERを展開します。

## 活動内容

### ● WITH RIVER LOCAL TO CITY 120

長瀞から東京まで繋がる荒川をSUPでごみ拾いをしながら120キロ先の東京までダウンリバー。環境問題や川のゴミ問題を川の上から考える企画。川の冒険をまとめた映画と本を制作し、長瀞町と川の魅力を発信しました。

### ● Good for Local

長瀞町に住む中学生と高校生を対象にラフティングなどの川遊びを無料プレゼント。地元の魅力を伝えるためにアウトドア事業者6社と、川のゴミ拾いを含むオリジナルメニューを開発し提供。2022年度は約30名に長瀞での川遊び体験をプレゼント。

### ●ULTRA A47 リバークリーン&SUPレース

「たくさんの人が川で楽しむフェスティバル」を目指すSUPレースを企画。全国のプロ選手だけではなく、一般の方も参加できるラフティングリバークリーンを同時開催。大会開催には大手企業が協賛し、埼玉リバサポと長瀞町役場が協力。官民が連携したイベントを実現。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
yshimizu@pbbyunderclasshero.com

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://shinlocal.thebase.in/　　https://www.instagram.com/shimi___chan/

# 千葉県鋸南町　小池　貴久

**環境保全・自然保護**

## 基本情報

【年　齢】
50歳
【出身地】
神奈川県 鎌倉市
【転出元】
東京都渋谷区
【前　職】
マスコミ関連
【活動時期】
R3.12～

## 協力隊に応募したきっかけ

数年前に中部地方でサービスで提供されたジビエ料理を食べてから狩猟に興味を持ち、銃とわなの狩猟免許を取得しました。趣味として活動できるような環境を探していた時に、小学生の頃に遊びに来たことのあった鋸南町での募集情報を知り、前職の契約期間のタイミングと重なっていた事もあり、思い切って応募に至りました。

## 今後の抱負･任期後の目標

有害鳥獣対策を担当していますが、それ以前に「地域おこし協力隊」として、これまでの様々な経験を活かして、地域の活性化に貢献したいと思っています。任期後の目標は漠然としていますが、有害鳥獣対策だけではなく、町内で生活している方々のあらゆる困りごとを解決できるような役割を担っていける立場になれたら良いなと考えています。

## 活動内容

**●獣道を見つけてくくりわなを設置**

町民からの通報や相談を受けて、町役場の職員と検討の上、箱わなやくくりわなの設置を行います。現場を訪れ、有害獣の足跡や何かしらの形跡が残っていないのかを調べた上で、わなの設置位置を決めていきます。創意工夫が問われる作業です。

**●有害獣の町内一斉捕獲に参加**

町から任命された実施隊員が一堂に介して、有害獣が潜んでいる棲息地に、猟犬と共に入って「巻狩り」を実施します。猟犬が追い込んだイノシシ、シカ、キョンが立ち位置に逃げてくるのを待って、散弾銃で仕留めるという流れで行われます。

**●大型の囲いわなで一網打尽**

対象となる有害獣の中にニホンザルとアカゲザルが含まれます。ヒトと近い種族ですが、群れで行動するという特徴があります。それを活かした囲いわなを町有害鳥獣対策協議会が数台購入。町民の方々の協力で組み立て、餌付けから捕獲までの全てを行っています。

## 連絡先

# 長野県原村　内田　将大（うちだ まさひろ）

**環境保全・自然保護**

## 基本情報

【年　齢】
32歳
【出身地】
東京都武蔵野市
【転出元】
東京都北区
【前　職】
会社員（建設会社）
【活動時期】
R4.9.1～

## 協力隊に応募したきっかけ

ゼネコンで都市開発の仕事に約7年間関わってきましたが、高層ビルをつくって・壊しての繰り返しに違和感を覚えていた時に、偶然、協力隊募集を見つけました。元々、原村には親戚の別荘があったこともあり、約30年間毎年訪問するほど馴染みがある原村での「“日本で最も美しい村”の推進」のミッションに魅力を感じ、思い切って応募しました。

## 今後の抱負･任期後の目標

まずは、「村民全員（約8,000人）と顔馴染みになること」を目標に考えています。そして、最終的には、住民の方と私みたいな移住者が集まれるような場所をつくる等、前職で培った一級建築士の知識も活かしながら尽力していきたいと思っています。

## 活動内容

### ●１．「日本で最も美しい村連合」に係る活動の推進

原村を含む、全国61町村が加盟する「日本で最も美しい村連合」に係る活動の推進が、主なミッションです。登録地域資源である「八ヶ岳山麓に広がる豊かな自然と農地が調和した農村景観」「土蔵の鏝絵（こてえ）」「ぼろ機織りとさき織りが共存する織物文化」の継続とさらなる発展に向けて、日々取り組んでいます。

### ●２．美しい村の外部ＰＲ･自治体間連携

東京・名古屋等で開催される「美しい村マルシェ」に参加し、原村産品の販売・ＰＲを行っています。商品の選定、生産者さんとの交渉、販売促進までを一貫して担当しています。また、他の美しい村加盟町村の協力隊等と連携する機会を継続して設けており、定期的な情報交換やコラボ企画等を実施しています。

### ●3．美しい村に関連する拠点整備に向けた活動

美しい村としてのさらなるシティ・プロモーションを促進するためにも、美しい村をテーマとした拠点形成等も検討中です。例えば、地域資源である住民文化を発信するきっかけとして、住民と移住者が集まれる場所をつくる等、村内の空き家の発掘・改修等を契機として行えないか、日々検討しています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（電話番号）0266-75-0669 [原村役場 商工観光課 田舎暮らし推進係 宛]

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Instagram：https://www.instagram.com/haramura_nagano/
Facebook ：https://www.facebook.com/haramura.chioko

# 静岡県伊東市　浦上　健司（うらがみ けんじ）

**環境保全・自然保護**

## 基本情報

【年　齢】
50歳
【出身地】
神奈川県横浜市
【転出元】
神奈川県川崎市
【前　職】
フリーランス
【活動時期】
R2.8～ R5.8
（3年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

地域振興、主に木質エネルギーの地産地消システム構築にかかる調査や計画策定、研究等に従事し、また趣味のトレランを通じて、かねてより森林の保全・活用への関心は高かった。コロナ禍の行動制限中、新常態において生活様式等が大きく変わる可能性を感じ、地方への移住を考えるに至った。そうした中、これまでの知見等を活かせそうな本案件を見つけ、書類を送付し、派遣先の代表者らとオンラインでの意見交換等を通じて、森林の再生と資源活用に対する考え方が自分に近いと感じ、入隊を決意した。

## 今後の抱負･任期後の目標

派遣先企業で準備に携わった新規事業（薪炭事業）で、スタートアップ時の生産業務に携わりつつ、事業を軌道に乗せ、事業規模を拡大するための経営や営業にも関わることを予定している。
また、個人事業として、同社の従来から事業であるジビエ加工品を活用（低廉で仕入れ）するとともに、天城のクロモジ等の山野草木を活用したカフェ・バル事業の実施を構想しており、必要になる資格の取得や協力者とのネットワーク構築を進めている。

## 活動内容

**①ニホンジカの管理捕獲、及び屠体の資源化の強化**

派遣先NPOが受託する県のニホンジカ管理捕獲業務の捕獲（罠猟）に従事し、当該業務の安全強化策の提案と普及に努めている。また、駆除屠体の資源化率向上と、屠体の活用部位ごとの資源化にかかる商品開発、新規の販路開拓等に関与しており、特に赴任時に未利用だったシカも商品化し、資源化率はほぼ100%になった。

**②未利用人工林の天然生薪炭林への転換**

派遣先NPOでは管理が不十分な人工用材林を、シカ防除をしながら薪炭林に転換し、薪生産する構想を持っている。そのため、他のメンバーに先駆けて最低限の林業技術の講習を受け、技術習得に努めた。しかし、NPOの計画する規模の森林管理は未定で、活用可能な狭小な森林の整備を進めている。

**③薪炭生産事業の計画づくりと実施に向けた準備**

②が滞っているが、当面は原料に主に支障木等を用いた薪生産に、バイオ炭生産を付加した事業計画を作成するとともに、導入技術の選定、資金獲得（経産省補助金）等を支援し、さらに大学等との連携体制の構築を手掛けた。2022年内には、設備導入等の準備が整い、年度内に試運転等の準備を実施予定。

## 連絡先

# 大阪府能勢町　江藤　幸乃

**環境保全・自然保護**

## 基本情報

【年　齢】
40歳
【出身地】
和歌山県和歌山市
【転出元】
東京都多摩市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R3.7～

## 協力隊に応募したきっかけ

地方への移住を検討している中で、能勢町地域おこし協力隊の業務内容（環境教育）に興味をもったこと。

## 今後の抱負・任期後の目標

今年度検討を開始した薪ストーブ・薪事業について、関係者との調整を進め、継続して取り組むことのできる仕組みを構築したい。連携団体である、株式会社能勢・豊能まちづくりの地域内での認知度が低いため、様々な媒体での情報発信を行う。地域住民に連携団体の取組について知ってもらい、取組への参加者が増えるようにしたい。

任期後に地域に住み続けるための仕事や住居について、引き続き検討する。

## 活動内容

### ●省エネの普及啓発

連携する地域電力会社の地域サービスの一環として、省エネの普及啓発活動を行った。今夏は教育施設にすだれ等を寄付し、昨年度比-3%減に挑戦した。

また、グリーンカーテンの普及を図るべく、地域住民の協力の元、様々な条件でホップをグリーンカーテンに仕立てて栽培した。また、効果測定を行った。

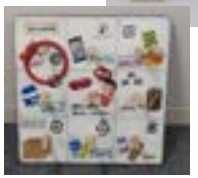
### ●森林資源の利活用の検討

再生可能エネルギーを軸としたまちづくりの一環として、森林資源を活用する、薪ストーブの普及と薪事業について検討した。地域の飲食店や住民への聞き取り調査を行った。薪事業については、今冬から材の買取を始め、2024年度本格市場参入を行うべく、検討している。

### ●環境教育の企画・運営

未就学児とその保護者を対象とした、端材を活用した積み木作りの企画・運営を行った。10組の参加者に木の手触りを楽しみながら工作していただき、木製品を使うことが森林環境の保全に繋がることを伝えた。（欠席の2組には積み木と資料を配布）。

小学生を対象に、エコについて楽しみながら学んでもらうエコ縁日と木工体験の企画・準備を行った（コロナにより中止）。



## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（電話番号）072-734-3036 （能勢町総務部総務課政策推進担当）

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram） https://www.instagram.com/nose.chiikiokoshi/?hl=ja
（FB）https://www.facebook.com/profile.php?id=100072262427035

# 愛媛県今治市　馬越　通照

**環境保全・自然保護**

## 基本情報

【年　齢】
52歳
【出身地】
東京都府中市
【転出元】
兵庫県伊丹市
【前　職】
製造業
【活動時期】
R３.４～R６.３
（２年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

2点あります。
１．いつか祖父の住んでいた愛媛へ帰ろうと思っていたこと
２．令和2年の夏頃に偶然今治市広報を閲覧して募集を知ったこと

## 今後の抱負･任期後の目標

猪の捕獲を安全に実行できること。島内の害獣被害を減らすことを目指して地域貢献に努めながら島で暮らして生きたい。

## 活動内容

**●活動内容：島の歴史を探り暮らし方を学ぶ**

昭和時代の島暮らしを聴いたり、最近の暮らし方(困っていると感じたこと・伯方らしい風景を眺めて居心地の良さを感じたこと)から自身の今後を考える

**●活動内容：有害鳥獣捕獲**

伯方島での猪の捕獲の為に罠を仕掛けたり、捕獲個体の肉を食すことで島民被害の削減に協力している

**●活動内容：猪狩猟活動**

現在生息する猪をターゲットとして島内の猪捕獲場所情報を収集中である。猟期に情報を基に実績を挙げることを目標に銃と罠の使い方を学習中である。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）i22589@imabari-city.jp　（電話番号）0897-72-1500

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
なし

# 長崎県雲仙市　山本　哲也

**環境保全・自然保護**

## 基本情報

【年　齢】
３２歳
【出身地】
愛知県安城市
【転出元】
長野県松本市
【前　職】
大学研究員
【活動時期】
Ｒ４.８～

## 協力隊に応募したきっかけ

これまで培ってきた知識や経験を、雲仙地域に咲くミヤマキリシマや貴重な生物の保全活動に活用したくて応募した。

## 今後の抱負･任期後の目標

地域おこし協力隊在任中に、長期的に雲仙地域の環境保全に関わるための土台を作成し、卒業後に活動範囲を広げていきたい。

## 活動内容

**●ミヤマキリシマの保全活動と利活用**

長崎大学や地域NPOと協力し、雲仙地域に生息するミヤマキリシマについて遺伝子解析を行い、原種等の保護活動を行う。また、ミヤマキリシマを観光資源として利用し、雲仙の活性化を目指す。

**●環境教育の実践**

地域の子どもたちを対象にした環境教育を行い、貴重な自然環境を後世へつなぐ。地元小学生による生物調査や植樹活動により、地域の自然環境への理解につなげる。

## 連絡先

# 長崎県東彼杵町　森島　剛

**環境保全・自然保護**

## 基本情報

【年　齢】
55歳
【出身地】
愛知県一宮市
【転出元】
神奈川県川崎市
【前　職】
会社員・宮内庁
【活動時期】
R3.12～ R6.11
(1年目)

## 協力隊に応募したきっかけ

私事にて、長崎国際大学に勤める「茶道学」の友人に毎年訪問して交流。その際、「日本一の そのぎ茶」 や 「歴史遺産」などの魅力がある一方で、全国認知がなされていないと聞き及んだ事がきっかけとなります。
「そのぎ茶は、日本一おいしさという強みあるが、新規や富裕層マーケティングが弱い。人口減の課題を抱えている。」と聞き、民間で培ったスキルが役立つかと考え応募しました。

## 今後の抱負･任期後の目標

写真化学・デジタル複写機製造業の広報経験に加え、宮内庁皇室写真の撮影業務実績やドローン操縦スキルを生かし、映像用いて感動と価値を伝える。
◆手法
・Instagram/Facebookなどを効果的に活用する。
・町内向け発信に加え、海外向けの発信も実施。
→ 国内全国と海外へ伝わる外向け発信で伝播させる
◆任期後の目標
・映像スキルを駆使し、町内外へ向けてビジネスする。

## 活動内容

**●特産「そのぎ茶」拡販と町の認知向上に資する活動**

＊茶生産者の取組みを視察・お困り事への支援
・若手茶園とSDGs専門家を繋ぎ、意見交換。
・日本茶は欧米中等の高評価あり輸出好調。
＊競合との差別化策/肥料高騰状況を把握
・大手伊藤園の宇治茶等との差別化をどう図るか?
・SDGs面での認知向上について社長と意見交換。

**●環境を配慮しつつ交通利便性をプロモ**

＊長崎県の中心にある東そのぎインターは、長崎空港/西九州新幹線を繋ぐHubです。
＊郷愁の「千綿駅」では素晴らしい夕陽と豪華列車が走り、日々人が訪れています。これらを国内外にプロモしています。

**● 移住潜在層に向け NHK番組出演&制作**

＊東彼杵町役場の職員と協力隊の森島、斎藤が、NHK番組「いいいじゅー」に出演。元職業カメラマン森島は、NHKさんへドローン映像等を提供し、ほぼ全国へ放送される活動を実施。
※写真は放送時のものです→

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
長崎県 東彼杵町役場 総務課
地域おこし協力隊　森島 剛 (ニックネーム: モリッシー)
電話: 0957-46-1286
E-mail: t.morishima@town.higashisonogi.lg.jp
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://www.instagram.com/higashisonogi_official/?hl=ja

# 熊本県芦北町　渡邊　義文

**環境保全・自然保護**

## 基本情報

【年　齢】
３３歳
【出身地】
福岡県三井郡太刀洗町
【転出元】
東京都足立区北千住町
【前　職】
(株)ケンコーポレーションソニー生命保険(株)
【活動時期】
Ｒ３.８～Ｒ６.７
（２年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

協力隊に応募する前、旅を通してチャリティー活動をする中で、地方の魅力や課題を感じて、地方移住を考えたことがきっかけ。

## 今後の抱負・任期後の目標

今後は、自ら有害鳥獣対策として実際に防護柵の設置や捕獲活動に従事すること。そして、有害鳥獣対策として町民を巻き込んだ連携や仕組みづくりをしていきたい。
また、任期後もこの分野に従事しながら生活できるような収益化を図りたい。

## 活動内容

**●有害捕獲（くくり罠）**

設置した罠は基本的に毎日見回り、状況を確認。
くくり罠で捕獲したシカを止め刺しする様子。

**●有害捕獲（箱わな）**

箱わなで対象鳥獣を捕獲するためにエサとなる「米ぬか」を撒き誘導する。

**●小学校との交流**

地元小学校で「みんなで里山を守っていこう」をテーマに授業

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
0966-82-2511（内）272　（芦北町役場農林水産課内）

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
『芦北町地域おこし協力隊の活動紹介FB』

# 鹿児島県指宿市　神野　正樹

**環境保全・自然保護**

## 基本情報

【年　齢】
35歳
【出身地】
愛知県半田市
【転出元】
同上
【前　職】
会社員
【活動時期】
R２.10～

## 協力隊に応募したきっかけ

友人が、指宿市で協力隊として活動していたので、何度か訪れたことがあり、いい所だなと感じていた矢先、協力隊の募集があったので応募しました。

## 活動内容

**●棚田地域における農作業、環境保全活動の支援**

・棚田の草刈り
・石積みの棚田の維持補修
・遊休農地への作付け　など

**●棚田地域住民と外部人材の交流、対話の場づくり**

・農作業ワークショップ等の棚田地域との交流人口創出を目的としたイベントの実施

**●地域資源を活かした田舎暮らしのマネジメント**

・棚田における活動の情報発信

## 今後の抱負・任期後の目標

耕作放棄された田が少しでも再生し、美しい状態を維持することで、もっと多くの方々に棚田に来ていただき、共に活動する仲間を増やしていきたいです。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）nosei@city.ibusuki.jp
（電話番号）0993-22-2111（内線714）
（職場）農政課

# 鹿児島県長島町　長谷川　一総

**環境保全・自然保護**

## 基本情報

【年　齢】
３３歳
【出身地】
大阪府能勢町
【転出元】
鹿児島県長島町
【前　職】
学生
【活動時期】
Ｒ２.8.1～R5.7.31
（３年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

海や山の自然に恵まれた町で協力隊員として活動したく、スタンバイカンパニーのサイトから応募した。

## 今後の抱負・任期後の目標

先端企業との共同研究を進めており、学術雑誌や研究レポート、またはそれに類するものとしての発表予定である。調査研究という、これまでとは別の角度から住民の興味関心を高めることができる可能性がある。
　任期終了後についても長島町に定住し、鳥獣害対策に関わり農作物等の被害をなくしていきたい。

## 活動内容

●【活動概要】

捕獲に関する活動（狩猟免許の取得、罠設置の試行錯誤など）、ITを導入した野生動物に関する調査（gpsビーコンによる行動範囲の調査：現在進行中）、情報収集と発信（猟友会や、他地域のハンターとの交流、被害地の視察、広報誌・SNS・ラジオ生放送出演など）

**●現在の活動について感想**

着任から1年で、猟友会や、他地域のハンターとの交流があり情報交換ができ、非常に充実した活動が出来ている。
　また、町の職員さん、一緒に活動している協力隊員の協力もあり、今後の活動も円滑に進めていくことができると考える。

**●受講した研修**

鳥獣被害対策コーディネーター育成研修
鳥獣利活用技術研修会

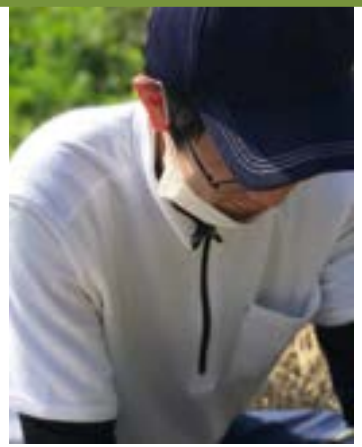
## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
長島町役場地方創生課　0996-86-1101

# 沖縄県竹富町　玉木　大悟

**環境保全・自然保護**

## 基本情報



【年　齢】
32歳
【出身地】
岐阜県多治見市
【転出元】
岐阜県多治見市
【前　職】
ネイチャーガイド
【活動時期】
R4.4～ R6.3
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

竹富島へ観光で訪れた際、アイヤル浜でビーチクリーンをしていたときに竹富島財団の理事と話し、島での環境保全活動について聞き、年度内の地域おこし協力隊の募集に応募したもの。

## 今後の抱負・任期後の目標

竹富島での財団業務および環境保全活動の拡充。主にビーチクリーン、外来種の防除、ゴミ問題の改善および祭祀の供物となる島由来の作物の農事等を遂行するもの。また、任期後は財団業務の継続および島内の漂着ゴミに関わり、継続した環境保全に携わっていきたい所存。

## 活動内容

**●ビーチクリーン**

島内の各浜に漂着するゴミの収集等に関わる業務。

**●島内の観光客由来のゴミ問題の解決**

竹富港に設置するゴミ箱の分別作業および収集状況の調査に関わる業務。

**●竹富島の祭祀の供物となる作物の農事**

島の古老に習い、祭祀の供物となる、アワ（粟）、島ピン（島にんにく）の作付けおよび畑の管理等に関わる業務。新規事業として竹富小中学校の児童、生徒へ教育目的で島由来の粟の育生を共に行うもの。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（竹富島地域自然資産財団Instagram）
https://www.instagram.com/taketomijima_zaidan/

# 09 医療・保健

# 岩手県紫波町　星真土香

**医療・保健**

## 基本情報

【年　齢】
41歳
【出身地】
岩手県　奥州市
【転出元】
宮城県　仙台市
【前　職】
看護師
【活動時期】
R2.2～ R5.1
(3年目)

## 協力隊に応募したきっかけ

2019年にコミュニティナースを受講。今後の看護師としての活動の場を病院や医療機関ではく、地域の中で実践してみたかったため、出身地である岩手県で実践をと考え、紫波町に応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

2023年１月で任期終了となりますが、現在の活動に看護師や他の様々な職種の有志の方々が畑に集まってきていました。これからは、この方々と力を合わせ、現在の活動を継続・発展させながら、健康的なまちづくりに取り組み社会全体が豊かになるよう取り組んでいきたいと思います。

## 活動内容

### 暮らしの保健室

着任当初より、新型コロナウイルス感染症の流行が始まり、住民の方から感染対策を教えて欲しいとニーズがあったことから、看護師の経験を活かして感染対策や健康の相談に応じていくべく“暮らしの保健室”を始めました。

### 畑多楽縁（サードプレイス）

暮らしの保健室を始めたところ、住民の方が保健室を“居場所”として利用されるようになり、町の中に“自分らしく居ていい場所”を作ることで人や社会と繋がり、それが自分自身の健康を作ることに繋がるのではと考え、畑多楽縁（はたらくえん）という公園のように過ごせる場を畑に作りました。

### 畑をフィールドにしたイベント企画・運営

健康に関心がない人も、畑でのイベントを通じて自分の健康をもっと身近に考える機会を提供する。
①畑でコーヒーをのむ会
②しわ農楽耕（しわのうがっこう）
③畑の朝市、夜市

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Instagram：https://www.instagram.com/ha_ta_raku/

# 京都府綾部市　池田　香理

**医療・保健**

## 基本情報

【年　齢】
５６歳
【出身地】
京都府宇治市
【転出元】
埼玉県朝霞市
【前　職】
行政保健師
【活動時期】
Ｒ３.12～ Ｒ６.11
（１年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

綾部市への移住を考える中でコミュニティナースの存在を知り、自分のこれまでのキャリアを生かせるのではないかと思った。

## 今後の抱負・任期後の目標

地域の人々と信頼関係を築くなかで地域の健康づくりを一緒に考えていきたい。

## 活動内容

**●コミナスの部屋**

・各地区の最寄の公会堂や集会場を借りて地域の方が気軽に集まれる場所、健康を生み出す場所づくりの創出
・地域の方ならどなたでも参加可能（赤ちゃんから高齢者まで）

**●個別訪問・健康相談**

・個別のアプローチとして関わりをもち時間をかけて健康や暮らしについて傾聴していく。必要時は専門機関への情報共有を行い、切れ目ないフォローを目指す。

**●地域行事への参加**

・行事や地域サロンへ参加し、様々な生活の場面で出会うことで多面的に生活様式をアセスメントし健康行動につながる関わりを目指す。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）nn-nabeshima@city.ayabe.lg.jp
（電話番号）0773-54-0095
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Facebook）https://www.facebook.com/communitynurseayabe/
(綾部市HP)　http://www.city.ayabe.lg.jp/teiju/kenko/cn/index.html

# 10 デジタル

# 北海道栗山町　土山　俊樹

**デジタル**

## 基本情報

【年　齢】
29歳
【出身地】
北海道札幌市
【転出元】
北海道札幌市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R1.10～ R4.9
(3年目)

## 協力隊に応募したきっかけ

大学卒業後、札幌市内のファブ施設（3Dプリンターなどのデジタル工作機械や工具等を誰もが利用可能なものづくり施設）で働いていたところ、職場の先輩から「栗山町にファブ施設を作る計画がある」という話を聞き、栗山町内で行われたワークショップに参加したことがきっかけです。栗山町の担当職員から「ファブ施設を一緒につくる地域おこし協力隊に応募してみないか」と声をかけていただき、研修内容やプロジェクトに魅力を感じたこと、家族にも背中を強く押されたこともあり、応募を決心しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

任期終了後、栗山町から「ファブラボ栗山」運営業務と後輩隊員育成業務を受託し、2023年1月に予定されている本格運営の準備を進めています。インストラクターとして利用者のものづくりをサポートしながら、まちの課題解決を担う人材育成やプロジェクト開発、地域資源を活用した事業、プログラミング教室等の教育事業、クリエイターと連携したワークショップ開発などを行いたいです。都市部と変わらない気軽に通えるファブ施設として、地方に住む人々の「選択肢の一つ」になればと考えています。

## 活動内容

**●ファブラボ鎌倉での長期派遣研修**

１年目は、栗山町が先進事例としている「ファブラボ鎌倉」に約１年間派遣され、MITのオンライン授業「ファブアカデミー」の受講をはじめ、OJT研修や関東圏のファブ施設等を巡るフィールドワークなどを通じて、ファブ施設の運営に必要な知識・技術の基礎を学び、関係者とのネットワークを拡げました。

**●ファブラボ栗山βによる試行運営と実践活動**

２年目は、栗山町内の既存工房施設を活用し、「ファブラボ栗山β（ベータ）」として工作機械や工具などの貸し出しほか、誰もが気軽にものづくりを体験できるワークショップやイベントの開催など、様々なサービスの試行と実践を繰り返しながら、興味関心を高めてもらうPR活動に注力しました。

**●起業に向けたビジネスプラン作成と後輩隊員育成**

３年目は、任期終了後においても継続して「ファブラボ栗山」の運営に関わるべく、同僚隊員と共にビジネスプランを作成し、任期中に自主事業の試行実施を行いながら「合同会社ジモトファブ」を立ち上げました。また、ラボ運営のサポートを担う後輩隊員2名の育成も進め、体制強化を図りました。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）info@fablabkuriyama.jp　（電話番号）0123-76-7787
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）　（Facebook）

# 北海道幕別町　今村　均

**デジタル**

## 基本情報

【年　齢】
60歳
【出身地】
神奈川県横浜市
【転出元】
北海道札幌市
【前　職】
富士通株式会社
プロジェクトマネージャ
【活動時期】
R4.8～
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

これまで大規模なシステム開発における、ソフトウェア開発及び、開発マネージメントに従事してきました。多くの人に役立つもの作りに携わることで、自分自身の使命感及び、社会的責任を感じてきました。これまでは首都圏での業務が中心でしたが、地場である北海道の地域活性化に（地域貢献）携わりたいという意識を常に持っていたこともあり、この度募集のあった本件に、自分の持つ経験やスキルが活用できるのではないかと考え応募致しました。

## 活動内容

**●幕別町電子地域通貨のシステム導入支援**

SEの立場で、サービス要件やシステム仕様及びシステム構築に必要な、設備・運用などの設計及びベンダー向けの対応を実施しており、全体をPMOも含め側面から支援している。
（幕別町商工会へ出向し、商工会の立場での業務を行っている）

**●商工会事業者向けの対応**

商工会参加事業者向けに、電子地域通貨導入に向けた技術的な説明および、技術サポートを実施
　地域の利便性向上に向け参加していただく事業者への依頼と、個々の課題事項解決に向けたアドバイスなどを適宜実施している

**●地域イベントへの参加（支援）**

幕別町に訪問された旅行者向けのイベント等に参加し、イベントなどの運営をサポート

## 今後の抱負・任期後の目標

自分の持つスキルを次世代を担う多くの人に伝え、地域のビジネス拡大や、暮らしの利便性向上に役立てたい。任期後の生活については、活動開始直後ということもあり、多くの情報を集めてからじっくりと考えていきたい。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）shokokankoka@town.makubetsu.lg.jp
（電話番号）0155-54-6606

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（なし）

# 岩手県大船渡市　根本　大介

**デジタル**

## 基本情報

【年　齢】
27歳
【出身地】
埼玉県所沢市
【転出元】
京都府京都市
【前　職】
SMBC日興証券
【活動時期】
R２.11～
（２年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

大船渡市で友人が地域おこし活動をしている話を聞き、大船渡に何度も足を運ぶうちに、様々な魅力を感じ、大船渡を好きになっていくのを感じました。自分自身も、感化され、地域おこし活動に挑戦することを志し、応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

隊員活動によって、蓄積された経験を活かし、動画制作に強みをもった事業を行いたいと考えています。

地域事業者との話し合いから、抱えている課題を抽出し、ICTノウハウを習得しつつ、 webマーケティング支援により、地域のあらゆる事業者の売上増加に貢献できる状態を目指したいです。

また、大船渡市に移住してから、ジビエ(鹿肉の利活用)について興味を持ち、狩猟免許を取得しました。今後、ジビエの事業化へ向けた取り組みも行いたいと考えています。

## 活動内容

### 動画を活用した地域事業者のWEBマーケティング支援

地域の事業者より、WEB上での商品やサービスを売る仕組み・行動についての課題についてヒアリングを行ったうえ、マーケティング支援の有用性について学んだり動画制作等の実践を積んでいます。

### 大船渡の魅力発信

隊員活動を通じて発見した大船渡市への魅力についてSNS等で発信を行っています。
休日には、狩猟、農漁業者のお手伝いを通じて、大船渡市での働き方や生活について発信も行っています。

### 地域おこし活動を進めるなかで生じた困りごとの整理

当市で活動している隊員から、活動や移住における困りごとや悩みごとについて吸い上げを行い、市担当者と整理を行っています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）ofu_sangyo@city.ofunato.iwate.jp
（電話番号）0192-27-3111

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Instagram：https://www.instagram.com/daisuke_nemoto/
Facebook：https://www.facebook.com/daisuke.nemoto.180/

# 岩手県八幡平市　金野　利哉

デジタル

## 基本情報

【年　齢】
27歳
【出身地】
岩手県一関市
【転出元】
神奈川県横浜市
【前　職】
青年海外協力隊
【活動時期】
R3.4～
（2年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

青年海外協力隊員としてフィリピンで活動していましたが、新型コロナウィルスの影響で日本に帰国していました。その期間でプログラミングスキルを身に着けたいと思い、八幡平市で開催されているスパルタキャンプに参加し、八幡平市で起業された先輩達をはじめ、多くの面白そうな人たちがいて、私も八幡平市で仕事がしたいと思っていました。そんな時に地域おこし協力隊の仕事を紹介してもらい、やりがいがありそうだったので応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

今後の活動として、現在八幡平市で運用中の公式LINEのアップデートをしていきたいと思っています。また、私の開発した公式LINEを他市町村でも使ってもらえるように、広める活動をしていきたいと思っています。

地域おこし協力隊の任期終了後は、八幡平市に残って、公式LINEの運用をする会社を経営したいと思っています。

## 活動内容

### ●八幡平市公式LINEの開発

防災無線が聞き取り難いという課題を解決したいと思い、私は八幡平市の公式LINEを開発しました。機能としては、市役所からのイベント情報や、お知らせをリアルタイムで発信するのはもちろん、私の独自技術で、火災などの災害が起きた時に自動でLINEを通じて配信する仕組みを開発しました。災害時はとても忙しいというのは前職で経験しているので、負担の軽減のために自動で配信する仕組みを開発しました。現在は住民の皆様が自分の欲しい情報だけを選択して取得出来るように、新たな開発をしています。
また、この開発したLINEは市役所以外でも利用することが出来ます。現在は八幡平市内の民間企業に導入したり、病院の予約にも利用したいとのお話を頂いている状況にあります。

### ●公式LINE説明会の実施

住民の皆様方に公式LINEを利用してもらうために、公式LINEの説明会を実施しました。住民の方々からは“防災無線で聞こえなくてもLINEでテキストで見ることが出来るから便利”や“市外にいても情報を得られるから便利”など好評を頂いています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）toshiya@8mt-okoshi.com　（電話番号）070-7489-1263

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（八幡平市公式LINE）

# 鳥取県湯梨浜町　田中　恭平

デジタル

## 基本情報

【年　齢】
34歳
【出身地】
東京都　台東区
【転出元】
千葉県　松戸市
【前　職】
営業職
【活動時期】
R3.11～
(1年目)

## 協力隊に応募したきっかけ

①昔から自然の豊かな所に住みたいと思っていた為
②33歳の記念年(S63.3.3生まれ)に人生をがらりと変えたかった為
③地域創生関係の仕事をしてみたかった為
④移住するにあたり、地方の一般企業へ転職しようとも考えましたが、ハードルが高かったので、協力隊制度に注目しました。
⑤人と話すのが好きだから
⑥第2のふるさとづくり

## 今後の抱負・任期後の目標

令和4年11月～　二年目に入ります。
今後はもっと実用的なデジタル推進(LINE初級・応用、キャッシュレスで始めての買い物等)を企画していきます。
任期後は定住出来るよう、最近はやりたい仕事探しをしています。実際に農家さんに体験農業に行ったり、地域住民の方々とコネクションづくりをしています。
定住できるかはこの一年にかかっていますので頑張ります！

## 活動内容

**●スマートフォン個別相談会／訪問相談**

スマホの操作に慣れていなかったり、不明点がある町民を対象に、個別相談会を開催しています。
場所は曜日ごとに変わり、町内全域をカバーできるようにしています。また、庁舎に来れない人もおりますので、訪問相談も実施しています。
相談内容は、スマホに関する事なら何でもOKです。

**●スマートフォン教室**

町内の組織・団体・区・班等から要望を頂き、スマホ教室を開催しています。
内容は、上記団体から要望を頂き、その教室を行う事もあれば、一般的な初級教室・LINE教室などを開催する事もあります。

**●マイナンバーカード出張申請**

マイナンバーカードの普及率UPの一環で、各支所に来れない町民を対象に、対象者宅へ訪問しての出張申請を行っています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）spirits_with_in@i.softbank.jp
（電話番号）0858-35-3141

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
特になし

# 山口県下関市　平岡 祐二

**デジタル**

## 基本情報

【年　齢】
32歳
【出身地】
山口県下関市
【転出元】
東京都品川区
【前　職】
WEBデザイナー
【活動時期】
R4.4～
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

地元下関市での起業を視野に入れている中で、自身のこれまでの経験を活かした活動ができ、起業に向けてのサポートをしてもらえるということで応募いたしました。

## 今後の抱負・任期後の目標

任期中はスマートシティ推進のサポートとして、市民にスマートシティ構想を広める活動やデジタル人材の育成などに注力していきたいと思っています。
任期終了後は、下関市で起業し、市内事業者様のWEBサイト制作やWEBサービス開発を通じて、下関市から全国または海外展開をしていく事業者様を支援し、下関の発展に繋げていきたいと思います。

## 活動内容

**●下関市立大学の主催イベントのWEBサポート**

デジタル人材育成の一環として、学生主催イベントの特設サイトやデザイン周りのサポートを継続的に行っています。

**●下関商業高校で特別授業**

プログラミングを学習する生徒向けにWEBデザインに関しての授業を行いました。WEBデザインの概要やトレンドなどの解説、WEBデザインのクイズや制作物のレビューなどを行いました。

**●市内事業者様との交流**

最終ミッションである市内での起業に向けて、市役所の方や横の繋がりを起点にして、支援を必要としている市内事業者様との繋がりを増やしています。
任期が終了する2年半後までに起業できるように着実に事業者様との繋がりを増やしていき、起業を実現させたいと思います。

## 連絡先

# 熊本県水上村　三戸田　直志

**デジタル**

## 基本情報

【年　齢】
60歳
【出身地】
山口県下関市
【転出元】
熊本県熊本市北区
【前　職】
SE
【活動時期】
R4.3～
（2年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

前職の仕事で当村を訪れるたび、球磨川、市房山などの自然と村民の優しさにふれ、定住を意識するようになり協力隊での活動を希望した。
協力隊での活動を通じ、村の文化、歴史、地理を理解すること、協力してイベントなどを実施することで、村民との信頼関係の構築に役立つと感じたから。

## 今後の抱負・任期後の目標

職歴である情報処理技術を利用し、村内の観光や施設などの資源の整理を行い、情報発信を行うことで村内での有効利用と観光客、移住者の誘致に向けた取り組みを行っていきたい。
また、趣味である写真撮影や天体観測、工芸品の製作をITと融合することで、今後の個人事業の主体として村内での起業すると共に、関連企業の誘致を目指したい。

## 活動内容

**●市房山登山記録簿**

現在手書きで行っている登山者の記録簿入力を、QRコードを利用したウェブページでの入力を可能とすることで登山記録の入力比率を増やし、非常事態が発生した際の初動対応に有効な情報とする。

― 現在、評価試験中

**●空き家対策データベース**

村内にある空き家（廃屋、放置住居）を、損傷状況や危険度などの情報と所有者の連絡先などを整理することで、防災・防犯対策や今後の移住者支援などの活用に向けた取り組みとする。

― 現在、基礎データ作成中

**●地図情報と連携した観光･施設情報サイト**

村内にある観光スポットや物産・飲食・宿泊業と、祭りや観光イベントなどを時間軸・地理軸と連携させることで、観光案内や情報発信に利用し、観光客・宿泊客の増加に向けた取り組みを行う。

― 現在、評価試験中

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）mitoda@vill.mizukami.lg.jp
（電話番号）0966-44-0312

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
庁内用のウェブページのため非公開

# 11 教育･文化

# 北海道夕張市　夏　思雅（か　しが）

**教育・文化**

## 基本情報

【年　齢】
28歳
【出身地】
中国・四川省
【転出元】
埼玉県熊谷市
【前　職】
外国語指導助手
【活動時期】
R４.８～
(1年目)

## 協力隊に応募したきっかけ

大学生のとき「幸福の黄色いハンカチ」を見て、素朴な風土が残った夕張に深い印象を持ちました。
去年夕張市地域おこし協力隊に着任した友人から、「子ども・子育て支援担当」を募集していると聞き、大学で教育を勉強した私は日本の教育にも関心を持っているので応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

① 保育園やこども園、学校と関わる機関などと連携しながら、活動し、子供たちと交流します。
② ゆうばりっこページのFacebookとinstagramを使って、子ども・子育ての情報とイベントの様子などを発信します。
③ 夕張市拠点複合施設「りすた」にあるゆうばりっ子ひろばで、季節ごとの装飾を行います。
④ 冬休みに、子供たちと一緒に化石のレプリカ作りと中国語勉強などを行うつもりです。

## 活動内容

**●教育機関のイベントの補助**

保育園やこども園、学校と関わる機関などのイベントに参加して、手伝っています。
例：くれよん会の野菜収穫と料理作り
　　こじか保育園の遠足と運動会に参加
　　乳幼児健診の手伝いなど

**●SNSの投稿**

ゆうばりっこページのinstagramを作りました。
Facebookと一緒に使って、子ども・子育ての情報とイベントの様子を発信しています。

**●ゆうばりっ子ひろばの装飾**

夕張市拠点複合施設「りすた」にあるゆうばりっ子ひろばで、季節ごとの、装飾を行っています。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://www.instagram.com/yubarikko/
https://www.facebook.com/yubarikko/

ゆうばりっこページ Instagram

ゆうばりっこページ Facebook

# 北海道共和町　髙岡　聡子

**教育・文化**

## 基本情報

【年　齢】
３０歳
【出身地】
奈良県葛城市
【転出元】
奈良県葛城市
【前　職】
図書館司書
【活動時期】
R4.4.1～
（１年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

学生時代から郷土料理や民芸品、特産物などの地域の文化や個性に関心があり、それらを活かして地縁をつむぐ仕事がしたいと考えていました。中でも北海道は何度訪れても興味の尽きない場所で、北海道で働き暮らしたいと思っていたところ、共和町地域おこし協力隊の募集記事を目にしました。共和町は豊かな特産物、北海道開拓の歴史やアイヌ文化の残る場所など、私が北海道で活かしたいものと強みになる魅力が詰まっている点、任期後の支援をしていただける制度がある点から応募しました。

## 今後の抱負･任期後の目標

着任してから、町の方に野菜をいただいたり、料理や昔の共和町のことを教えていただいたり…。お誘いいただいて町の文化サークルにも入りました。本当にあたたかく気にかけていただいて公私共々心豊かに過ごすことができています。　今後は共和町の文字になっていない生活の文化や歴史を町の方との会話の中から知っていき、いつか小さなものでも形にしたいと考えています。また、読書活動に関する活動や教室の開催なども引き続き行い、幅を広げていきたいと考えています。共和町に住む方々が、今にも増して「自分の町は素敵なところ」と思っていただけるように生涯学習の分野から携わっていきたいと思います。

## 活動内容

### ●生涯学習教室の実施

「生涯学習教室」として、子どもから老人まで幅広い世代を対象とした様々な教室を開催しています。自分の持てるスキルを活用し、体験活動を主として、「野菜染め教室」や「おさかなモビール教室」など、身の回りにあるものを材料にしながら教室を開催しています。今後も町民のニーズを見定め、継続して実施していく予定です。

### ●読書の普及活動

デジタル化が進む社会の中ですが、本を手にして読む機会が減ってきていることと思います。前職のスキルも活かし、共和町で「読書手帳」を作成しました。「いつ、誰の、どんな本」を読んだかを記録し、達成感を味わうとともに本を読む習慣を付けてもらえるようにと、考えています。

また、所属先施設の共和町生涯学習センターには図書室があり、毎月新刊を購入しているのでＳＮＳを活用して周知し、利用者がより一層本との距離感を縮めてもらえたらと思っています。

そのほかに、町内の小学校から要望があり朝の活動として絵本の読み聞かせを行っています。私の活動で少しでも本に触れる機会が増えることを期待しています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）kikaku@town.hokkaido-kyowa.lg.jp
（電話番号）0135-67-8795

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://instagram.com/kyowa_chiikiokoshi?igshid=YmMyMTA2M2Y=
（共和町地域おこし協力隊公式instagram）

instagram
QRコード

# 北海道奈井江町　竹内　栞汰

教育・文化

## 基本情報

【年　齢】
25歳
【出身地】
福岡県福岡市
【転出元】
福岡県福岡市
【前　職】

【活動時期】
R4.10～
(1年目)

## 協力隊に応募したきっかけ

地域活性化に興味があり関連の仕事を探してました。奈井江町のホームページをみて公設塾「ななかま」を知り、活動内容に興味を持ちました。教育を通し奈井江町の魅力を子どもたちと一緒に理解し、発見したいという想いで応募しました。日々の学習や体験のなかで子どもたちの成長に繋がる場になるように様々なコンテンツを考えています。

## 今後の抱負・任期後の目標

子どもたちと一緒に学びある空間をつくっていくことが目標です。小学生の学習習慣が定着できるように指導していきたいです。子どもたちが学びを進める中で、「できた」の数や学ぶことへの楽しみがすこしでも発見出来るように頑張ります。

## 活動内容

**●ななかま**

火曜日から金曜日の放課後、土曜日の9時～12時で、開塾しています。子どもたちは宿題や検定学習を中心に取り組んでいます。その他、ななかまノートや15分チャレンジ、読書学習など様々な学習をしています。

**●特別活動（歓迎会）**

自己紹介、福岡の方言クイズ、すごろく作りを行いました。北海道と福岡の違いに驚く子どもたちもいました。
　また、すごろく作りではグループ内で話し合い、子どもたちならではのアイディアでとても面白い作品ができていました。

**●広報活動**

　週に1回、SNS（Instagram・Facebook）にて活動内容等の発信と、月に1回、ななかま通信を発行しています。地域での回覧と、HPへの掲載を積極的に行っています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）naie.kyouiku.juku@gmail.com
（電話番号）050-5468-7756

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
奈井江町公設塾「ななかま」| 奈井江町教育委員会 | 健康と福祉のまち　北海道奈井江町ホームページ (town.naie.hokkaido.jp)

# 北海道奈井江町　柴田　華

教育・文化

## 基本情報

【年　齢】
27歳
【出身地】
京都府京都市
【転出元】
京都府京都市
【前　職】
京都市　職員
【活動時期】
R3.4～
（2年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

求人サイトで、公設塾の立ち上げと、それに伴う人材募集についての記事を見かけ、その場で応募を決めました。
小学生向けの公設塾というものが全国的に見ても珍しく、先進的な取組みであると共に、子どもたちの基礎的な学習をサポートしつつ、多種多様な体験活動を提供することで、学びを豊かにしていきたい、という教育理念に深く共感しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

公設塾が立ち上がってまだ1年半ですが、今よりもっと豊かな学びを、より多くの子どもに提供できるよう、活動を展開させていきたいです。この公設塾が、奈井江にとって、なくてはならない場所になれるよう、地域も巻き込んでいきたいです。
任期後の目標はまだ決まっていませんが、常に新しいことにチャレンジしていきたいと思っています。

## 活動内容

**●放課後や休み期間の学習支援**

普段は、小学3～6年生へ向けて、主に放課後、公民館にて学習支援を行っています。
夏休みや冬休みなどの長期期間中は、対象を全学年まで拡大し、多種多様な体験活動を提供すると共に、宿題のサポートを行います。

**●特別活動**

月に1回程度の頻度で、理科の実験や、運動、工作、音楽等、各講師の得意分野を活かした授業等を企画・提供しています。
町民を講師に迎える「まちの先生」企画では、段ボールアート講座、お米の講座等も開催しました。

**●広報活動**

週に1回、SNS（Instagram・Facebook）にて活動内容等の発信と、月に1回、通信を発行し、地域での回覧と、HPへの掲載を行っています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）naie.kyouiku.juku@gmail.com
（電話番号）050-5476-9553

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）https://www.instagram.com/naie.kyouiku.juku/
（Facebook）
https://www.facebook.com/profile.php?id=100066496012951
（ななかま通信）
http://www.town.naie.hokkaido.jp/kyoikuiin/naie_nanakama/

# 北海道由仁町　熊谷　卓也

**教育・文化**

## 基本情報

【年　齢】
44歳
【出身地】
北海道　室蘭市
【転出元】
北海道　室蘭市
【前　職】
団体職員
【活動時期】
R03.04～

## 協力隊に応募したきっかけ

自身の持つICTスキルを活かした現場貢献ができないかと思案しておりました。また、かねてより学校教育現場への関心がありましたので、移住等の抵抗はあまりありませんでした。
これから更なる加速を続ける高度情報化社会を生きる子供たちに、より良く・より強く生き抜くためのICTスキルを身に付けてもらいたいと思い応募しました。

## 今後の抱負･任期後の目標

ICTの普及とその活用には要した時間と成果が比例して現れるものです。その成果を手にするためには、管理側がしっかりとした中～長期計画を作成し、そこで示された方向性を現場側と共有して歩みを進めていく必要があります。
そのような状況下において、物事を円滑に進ませるためのハブ的な存在として、地域社会に貢献していけるようにありたいです。

## 活動内容

**●GIGAスクールサポーター**

GIGAスクール構想の推進にあたり、端末の使用ルールや環境整備などの（情報設備の設計や納品を除く）業務にあたっております。
通信ネットワークの監視や子供たちの情報リテラシー教育、時には教職員向けのGIGAスクール端末セミナーなども担当させていただくこともあります。

**●校内のICT利活用支援**

「ICTを利活用した授業の円滑化」を目的とし、トラブル発生時の対処から、活用時の現場フォローまで柔軟に対応することをモットーとしています。
プログラミング教育などにおいては、教室内で特別授業を担当させていただくこともあります。

**●地域内でのICT利活用サポート**

ICT機器に関するトラブルバスターを主な業務として、静止画・動画の撮影委託などを副業という形で活動しています。
今後は町民向けのオンラインセミナーや、プログラミング塾などの実施を計画しております。

## 連絡先

# 北海道東川町　土居原　翔司

**教育・文化**

## 基本情報

【年　齢】
28歳
【出身地】
新潟県　佐渡市
【転出元】
東京都　北区
【前　職】
会社員
【活動時期】
R3.4～
（2年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

きっかけは２つあり、一つ目は選手・ボランティアとして経験した写真甲子園を通して、東川町が私にとって、写真関連の進路や仕事をしようとしたきっかけとなった場所ということ。２つ目は写真を通した町おこし、ギャラリーの運営といった仕事内容が魅力的であったから応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

今後の目標として、「写真」を通した関係人口を増やすことを目指します。任期中に東川町が収蔵している写真コレクションの活用と写真を学ぶ環境作りを行っていきます。

任期後は、地域おこし協力隊の経験と一般企業での経験をいかし写真を核としたフォトビジネスに取り組みたいと考えています。

## 活動内容

**●文化ギャラリーでの作品展示・展覧会企画**

東川町文化ギャラリーで開催される展覧会での写真作品の額装、インストール作業等担当。その他、２０２２年度は公募展「大地に根を貼り、記憶紡ぐ」展・企画展「植田正治を変奏する 田中仁 research/tribute」を企画実施。他コレクション展企画等。他企画展での作品プリントも併せ担当。

**●町民さんを対象としたワークショップの実施**

町民さんを対象とした「プリント＆セレクト」ワークショップや東川中学校・高校での地域探究授業での写真の撮り方やスマートフォンでおしゃれに写真を撮る方法といった授業での講師を担当。

**●東川町国際写真フェスティバル**

地域おこし協力隊インターン事業の実施や東川賞受賞作家作品展にて展示指導員や事務局を担当。
写真作品の売買を匿名で行う「匿名希望展 inHigashikawa」の実施

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）doihara.shoji@town.higashikawa.lg.jp
（電話番号）0166-82-2111（東川町役場）

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

# 北海道枝幸町　齊藤　歩

**教育・文化**

## 基本情報

【年　齢】
34歳
【出身地】
神奈川県横須賀市
【転出元】
東京都豊島区
【前　職】
民間個別指導塾の教室長
【活動時期】
R2.5.1～R5.4.30
（３年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

10年近く携わった教育業界での知見を活かすことのできる新たなチャレンジの場を探していたところ、「日本仕事百貨」という求人サイトで枝幸町公営塾スタッフの募集記事を見つけ応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

まずは地域おこし協力隊の任期中3年間で、枝幸高校生にとっての学びを探求しつつ、今後につながる枝幸町公営塾の基盤を作り上げることができればと考えています。どのようなかたちになるかわかりませんが、任期終了後も公営塾の活動をはじめとした枝幸町のふるさと教育に寄与できればと思います。

## 活動内容

**●公営塾の運営**

枝幸高等学校の生徒を対象とした枝幸町公営塾のオープニングスタッフとして、開設準備を行い、令和3年度の正式開設から塾長を務め、管理運営と学習指導に取り組んでいる。
どのように公営塾の運営を行うか、どのような順序で物事を進めるか等、あらかじめ決められているものはなく、地域や高校、通塾生とのコミュニケーションを通じて、まさにゼロから作り上げていく仕事になります。立場の異なるさまざまな関係者との調整も生じますので、そういった点がやりがいでもあり、大変な部分でもあります。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）i01001@ess45.jp　（電話番号）0163-64-7777（職場）

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Facebook）https://www.facebook.com/esashijuku/

# 北海道置戸町　林　奈緒美

**教育・文化**

## 基本情報

【年　齢】
２９歳
【出身地】
北海道　別海町
【転出元】
福岡県　福岡市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R4.4～
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

地元である北海道へのＵターンを考え、転職活動を行っていました。北海道内で司書の求人は多くありましたが、「地域おこし協力隊」での採用はあまり見たことがなく、目を引きました。かねてより「本を中心とした居場所づくり」を考えていたこと、また先輩隊員の活動に興味を持ち、応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

今後は学校巡回司書をを続けながら、町民との関りを深められるよう、本にまつわるイベント、移動式の書店を限定的に開いていきます。

任期後は、本を中心とし文化に触れられる場所、かつ心の拠り所となるような居場所を作ることが目標です。

## 活動内容

**●学校図書館の整備、運営**

小学校、中学校の学校図書館にて、図書の整理及び管理、広報、公共図書館との連携、学級文庫設置、教員への資料提供などを行う。

**●町立図書館での活動**

町立図書館司書と連携した図書館業務のほか、図書館での催しものの実施

**●本の読み聞かせ**

置戸町地域おこし協力隊として複数名の隊員での地域間交流の際、地域にゆかりのある絵本の読み聞かせを行った

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）shinko@town.oketo,lg.jp　（電話番号）0157-52-3312

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）https://www.instagram.com/naomi_shorin/
（Twitter）https://twitter.com/naomi_shorin

# 北海道豊浦町　木村　美朝

**教育・文化**

## 基本情報

【年　齢】
３０歳
【出身地】
北海道 札幌市
【転出元】
北海道 札幌市（直前は海外）
【前　職】
イベント制作業
【活動時期】
Ｒ３.４～
（２年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

東京で働いていましたが、海外でのホームステイを経て今後は田舎で暮らしたいと思いました。空き家バンク等を見て家を探していた時に、町HPで偶然こちらの募集が目に留まり、図書室と町づくりというミッションに興味を持ち応募しました。住居の補助があってすぐに移住でき、起業補助もある制度は決め手となりました。

## 今後の抱負・任期後の目標

前半の１年半は図書室の基本的な整備をしてきました。ここからの後半は、より多くの町民の皆様とお話ししながらニーズに応える活動ができればと思っています。図書室をつながる場として活用いただくためには、幅広い年代の方々に集っていただけるよう、催しや企画にも力を入れていきたいです。

## 活動内容

### ●町の皆さんと共に図書室整備

図書室をより活用いただくために、なんとなく暗く使いにくかった図書室の整備をしました。棚の配置を変えたり、ボランティア制度を開設して装飾や見出しを子ども達に作ってもらったりしました。また町民の皆さんと作業をして、書庫だった部屋を読書スペースにリニューアルオープンしました。

### ●広報「まちびとリレー」

町の広報で町民にインタビューをしています。インタビューされた人が次の人を指名するリレー形式で、今では毎月楽しみにしてくれている読者もいます。本を読まない・図書室を利用していない方に向けてのアピールなので、読書家ではなく「町の面白い人」を紹介してもらうところが肝です。

「広報とようら」で検索！
（生涯学習課のページ）

### ●図書フェス

幅広い層に親しみを持ってもらいたいと思い、本以外のものにフォーカスしたイベントを度々開いています。「図書フェス」では除籍本の古本市だけでなく、音楽、食、映画、ワークショップなど様々な催しを開きました。未だにコロナ禍ではありますが、工夫をしながら交流の場も復活させていきたいです。

## 連絡先

**【メディア等の取材連絡先】**
（メールアドレス）kimura.misaki@town.toyoura.hokkaido.jp
（電話番号）0142-83-2239（豊浦町教育委員会 生涯学習課 社会教育係）

**【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】**
とようら図書室インスタグラム https://www.instagram.com/toyoura.library/ ▶ TOYOURA.LIBRARY

# 北海道白老町　乾　藍那

**教育・文化**

## 基本情報

【年　齢】
35歳
【出身地】
北海道　札幌市
【転出元】
北海道　札幌市
【前　職】
イタリア語講師
【活動時期】
R3.10.1～
（2年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

ウポポイを見学しに白老町を訪れた時、白老の町の美しさと人の優しさに魅了された。もともと、都会ではなく自然の多い場所に暮らして子育てしたいと思っていたので、白老町で働くことができないか調べたところ、地域おこし協力隊の募集を見つけた。白老町は実家である札幌とのアクセスも良く、移住のストレスが少ないと感じた。また、家賃が安く、将来的に畑などを作るのにも土地が比較的手に入りやすいだろうと考えた。

## 今後の抱負・任期後の目標

今後は与えられた活動費を使いながら、白老町のアイヌ文化振興に役立てていく。そのために、4つのアプローチを考えている。①白老町民に向けて白老アイヌ協会などの活動を知ってもらうこと　②白老町外で白老アイヌ伝統工芸品を売る仕組み作り　③次世代を担う子供に向けた教育活動　④町外や海外からの研修の受け入れ
任期後は、マンガで体験を発信していきたい。

## 活動内容

**●次世代を担う子供へのアプローチ**

地域の子供たちと町内のアイヌ文化に触れられるスポットを訪れる試みを1ヶ月に一回行っている。また、保育園や子育て支援センター等でのアイヌ絵本の読み聞かせ会やユカラの披露などを伝承者に依頼して開催している。今後は、子供向けコンサートや上映会も企画していく。

**●白老のアイヌ文化を紹介するウェブサイト構築**

白老の伝承者に聞き取りを行ったり、アイヌ文化を体験できる店舗などを取材したりしながら、ウェブサイトに掲載してSNSも用いながら白老町外に発信している。この内容をもとに、白老のアイヌ文化を伝承する人や活動を紹介する冊子と地図を作る予定。

**●研修受け入れ●アイヌ文化体験の案内**

ウェブサイトやSNSをきっかけに、研修や体験の申し込みがあった。中国人留学生1名、名古屋の大学生3名、札幌の大学生3名、札幌のアメリカ人大学院生1名、沖縄からの旅行者1名、群馬からの旅行者1名の体験や研修の案内をし、海外からも問い合わせを受けている。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログ】
（タント•タンタ•シラオイ）https://shiraoi-ainu.site　（インスタグラム、フェイスブック、ツイッター、ユーチューブ）　@tanto.tanta.shiraoi

# 北海道勇厚真町　山中　卓也

**教育・文化**

## 基本情報

【年　齢】
41歳
【出身地】
北海道旭川市
【転出元】
北海道札幌市
【前　職】
JICA北海道　国内協力員
【活動時期】
R4.4～
（１年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

中学校と高校と合わせて11年間学校教員として勤めていた経験があります。その中で、学校生活の中では輝くことができなかったり、自分のやりたいことをみつけられなかったりと学校生活を楽しめていない生徒の姿を見ることがありました。そのような生徒たちが、学校から少し離れた場所で楽しみつつ自分のやりたいこと探しができる場づくりをしたいと思い、応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

現在、塾に通って来ている生徒の多くが「塾に来るのが楽しい」や「塾があってよかった」と言ってくれています。『居場所作り』は少しずつですが、できてきています。これからは、この居場所が生徒のものだけではなく、地域の方々にとっても居場所となることで、生徒と地域の方々が交われる様にしていきたいです。それとともに、老若男女問わず、誰もが一緒に学ぶことができる場づくりを行っていきたいと考えています。

## 活動内容

**●バンドプロジェクト**
今まで楽器に触れたことがなかったのですが、塾に置いてあったギターで練習を始め、3年生最後の文化祭で、バンドを組みステージに立つことができました。彼が通う厚真高校では近年ではこのようなことにチャレンジする生徒がいなかったようですが、自分のやりたいことを見つけ、一生懸命練習に取り組んでいました。

**●バイク修理プロジェクト**
乗り物が好きな生徒と一緒に、バイクの修理を行なっています。まずは、部品を取り外し、汚れやさび落としから始めています。細かい部品も扱っているため、修理と共に、バイクの構造を学ぶことができます。修理が終わった際には、塾スタッフが厚真町の林道を走る予定です。

**●おにぎりプロジェクト**
「世界をちょっとだけ良くする」をテーマのもと、おにぎりアクションを町民の方と一緒に参加する活動です。ポスターを作って町内に配布したり、おにぎりのレシピを考えたりと多くの人に参加してもらえるようにしています。生徒の考えたおにぎりが町内の飲食店で販売される予定です。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）kyouiku@town.atsuma.lg.jp
（電話番号）0145-27-2494

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
特になし

# 北海道上士幌町　伊藤　あかり

**教育・文化**

## 基本情報

【年　齢】
25歳
【出身地】
千葉県千葉市
【転出元】
北海道上士幌町
【前　職】
医療事務
【活動時期】
R3.12～
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

MYMICHIプロジェクトという1ヶ月間のプログラムに参加をして、雄大な自然を体感したり、人の温かさに触れ、上士幌町のファンになったことが移住のきっかけです。
子どもに関わる仕事がしたいと考えていたとき、幼児教育支援コーディネーターの求人を見つけ、興味を持ったため応募をしました。

## 今後の抱負・任期後の目標

地域の真ん中にあるこども園も目指し、地域の方とたくさん触れ合いながら、今後も子どもたちと楽しいことをたくさんしていきたいです。
任期後は子どもの可能性を最大限引き出せるような遊び場や、地域の方が集えるようなコミュニティの場づくりをしたいと考えています。

## 活動内容

**●国際交流**

アメリカ カリフォルニア州に帰省していた、国際交流推進員のメイ先生とリアルタイムでZoomを繋ぎ、現地のスーパーマーケットで店内を紹介しながらお買い物ゲームを行いました。
幼いころから多様な価値観や文化に触れることで自分の中の世界を広げるきっかけになることを願って、今後も取り組みを続けていきます。

**●体づくり×地域交流**

こども園職員が中心となり作成した「ほろん体操」を、シルバー世代の皆さんと一緒に踊りながら交流を行っています。
地域に大切にしてもらって育った子どもが大人になったとき、またその地域を大切にし、地域が発展することに繋がると考えています。今後も地域交流を進めていきたいです。

**●国際交流×地域交流**

ベトナムの文化をスライドで紹介し、Google earthを用いて街並み散策をしました。その後、町内の牧場で働いているベトナムの方をお招きし、伝統的な料理を一緒に作り、交流をしました。
子どもたちは普段食べることのない味に戸惑いながらも楽しんでいる様子で、最後はベトナム語でありがとうと元気に挨拶をしました。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）itou-akari@town.kamishihoro.hokkaido.jp
（電話番号）01564-2-3686

# 北海道大樹町　長谷川　彩

**教育・文化**

## 基本情報

【年　齢】
34歳
【出身地】
東京都 板橋区
【転出元】
神奈川県 横浜市
【前　職】
自営（フリーランス）
【活動時期】
R2.9～ R5.8
（3年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

学生時代から北海道に移住したいと思っていたが、手に職をつけるため、大学卒業後は神奈川や東京で書籍や出版に関わる仕事をしていた。前職が一区切りついたことと、30歳の節目を機に移住を選択。地域おこし協力隊を選んだのは、協力隊という立場にあることで町に溶け込みやすく、今後の活動がしやすいと感じたから。

## 今後の抱負・任期後の目標

引き続き、町の仕事（ふるさと納税等）や本に関わる仕事を続けつつ、可能であれば行きたいときに行きたいところへ行けるような体制を整えながら、北海道を拠点に仕事を続けていきたい。

## 活動内容

**●大樹高校図書室の整備**

司書不在でほぼ使われていなかった図書室を、まずは経年に耐えられない本の除籍（廃棄）から始め、少しずつ生徒にとって使える本棚にバージョンアップした。現在では、昼休みや放課後には常に生徒がいる空間になっている。

**●宇宙のまち大樹町note**

ネット上で検索しても出てこない大樹町に関する情報をあらゆる角度から取材してPRしている。編集方針を定め、他のライターとも相談しながら戦略的に情報発信したことで、この1.5年でフォロワー数や各記事のビュー数も伸ばすことができた。　URL https://taiki-town.note.jp/

**●大樹町子育て応援手帳の制作（進行中）**

大樹町の子育てに関する情報を集約した「子育て応援手帳」（冊子）を地域のお母さんたちと共に制作中。町内の支援制度や、ボランティアサークル等の紹介、有識者へのインタビューなどを掲載予定。

**●書店活動（補足）**

副業的に行っているので、厳密には協力隊の活動とはいえない卒業後も育てていきたい事業。本と出会うきっかけが著しく少ない地方において、厳選した本を携えて、各地で移動販売を行なっている。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）kikaku-kakari@town.taiki.hokkaido.jp
（電話番号）01558-6-2113 大樹町役場 企画商工課 企画係

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（媒体）宇宙のまち大樹町note https://taiki-town.note.jp/
月のうらがわ書店　https://www.instagram.com/tsukimitaini/

# 北海道中標津町　藤岡　美紀

**教育・文化**

## 基本情報

【年　齢】
３０歳
【出身地】
千葉県　千葉市
【転出元】
北海道　札幌市
【前　職】
建設コンサルタント
【活動時期】
Ｒ３.４～
（２年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

地域おこし協力隊の業務内容（学芸員）に興味があり、応募しました。募集時点で中標津町の航空写真を見たときに、町内に広く張り巡らされている「格子状防風林」が非常に特徴的で、この場所で自然に関する調査研究を進めていくことに魅力を感じました。

## 今後の抱負・任期後の目標

格子状防風林だけにとどまらず、中標津の自然を幅広く知って、それを町内外の人に発信するような活動を進めていきたいです。
格子状防風林内の生物については、あまり知られていないので、調査で得られた成果を展示や講演、論文など様々な形で広げていきたいです。また、町民の方々がもっと気軽に自然と触れ合えるきっかけづくりを、企画していきたいです。

## 活動内容

**●格子状防風林内での生態系調査**

格子状防風林内をどのような生き物が利用しているのか把握するため、鳥類、哺乳類、植物、昆虫等の生息状況把握調査を行います。現在は、鳥類調査（鳥類ラインセンサス）と哺乳類調査（捕獲調査、自動撮影カメラ調査）を中心に取り組んでいます。

**●開陽台展望館での格子状防風林に関する展示設営**

町の観光施設である「開陽台展望館」内にて、格子状防風林の歴史と自然をテーマに、展示パネルやジオラマの展示作成を行っています。展示は2022年5月から開始しており、今後も調査で得られた情報を新たに追加したりと、格子状防風林に関する情報発信の場として活用する予定です。

**●環境教育プログラム（なかしべつエコサークル）の運営**

中標津町内の小学生を対象に、子ども向けの環境教育プログラムを運営しています。内容は、町内にある公園でのバードウォッチングや、格子状防風林内でのゴミ拾い、自然散策など、自然と触れ合うきっかけづくりとなるような活動を行っています。2022年5月～2月の期間で全9回の活動を予定しています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）m-nakazono@nakashibetsu.jp
（電話番号）0153-73-3111（教育委員会　学芸係　内線282）

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（中標津町郷土館facebook）https://www.facebook.com/nakakyou

# 北海道羅臼町　城　幸子

**教育・文化**

## 基本情報

【年　齢】
34歳
【出身地】
茨城県利根町
【転出元】
熊本県熊本市
【前　職】
コンサルタント会社
【活動時期】
R3.4.1～
（2年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

将来は自分が身に着けた海外経験や語学力を社会に還元していきたいと考えていました。また、自然豊かな場所で暮らしたいという願望がありました。羅臼町で語学教育に関する募集があり、このような特色ある場所で語学活動することで、日本がより世界に貢献することに繋がると考えました。

## 今後の抱負・任期後の目標

隊員一人が英語や中国語を教えるという形ではなく、誰もが語学を当たり前に教え学ぶことができるスタイルを確立させ、羅臼町だけでなく、日本全体の語学教育の変化に繋がるように、活動していきます。

活動内容でのコミュニティについてのご紹介は、その一歩として着実に始まった形の一つです。「本当に自分の人生を豊かにする」ことを自分から作っていける人が集まる環境を作っていきたいと思います。

## 活動内容

＜羅臼ランゲージラボ～羅臼語学研究所～＞（ランゲージ＝Language研究所＝Labo）

「羅臼の語学コミュニティの基礎を作る」ことを目指し、年齢も関係なく、英語教育ができる組織はどんなものか？を探し続けた結果このコミュニティを作ることができました。
まだ規模は小さいですが、英語が好き！というメンバーが集まって、自分の1ヶ月の活動を形にして発表しています。
また、大人のメンバーからすると「私も小学生、中学生の時にそんな風に英語を話せるようになりたかった！」という声もあり、お互いに切磋琢磨できるようなコミュニティが形成され始めています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）jou.yukiko.21@rausu-town.jp
（電話番号）0153-87-2004

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
ー

# 岩手県葛巻町　天羽 翔太

**教育・文化**

## 基本情報

【年　齢】
25歳
【出身地】
徳島県石井町
【転出元】
徳島県石井町
【前　職】
WEBデザイナー
【活動時期】
R4.3～ （1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

地域の活性化に繋がることに携わりたいと思い、実際に行ってみて田舎の良さを感じたことがきっかけです。
また、大学時代に大変お世話になった方が同活動に携わっていて、同じ思いを持ち地域の活動に関わりたいと考えました。

## 今後の抱負・任期後の目標

くずまき山村留学ハウスマスターとして、生徒の人間的な成長を促せるように取り組んでいき、生徒が社会に出る前からでも活躍できるような活動をサポートしていきたいと考えており、自らも生徒や地域と関わりながら自分のできることを掘り下げ、葛巻町が盛り上がることにつなげていきたいと思います。

## 活動内容

**●くずまき山村留学ハウスマスター**

くずまき山村留学生の寄宿舎における生活をサポートし、安心して充実した高校生活を送るための成長と自立を促すことで「葛巻らしさ」を体験できる、山村留学の情報発信を目的としています。

業務内容
・山村留学生の寄宿舎での生活全般における指導及び個別の相談・支援
・施設の管理維持
・寄宿舎における行事等の企画運営
・山村留学生の地域活動への参加支援
（情報提供、地域とのつなぎ、活動のサポート）

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）kuzumaki@town.kuzumaki.iwate.jp
（電話番号）0195-66-2111 内線442

# 岩手県岩手町　小田　勝宣

**教育・文化**

## 基本情報

【年　齢】
31歳
【出身地】
神奈川県　横浜市
【転出元】
長崎県　諫早市
【前　職】
大学職員
【活動時期】
R４.４～
（１年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

前職である大学職員時代に、留学生が半数以上を占める大学院の事務業務を担当しました。さまざまなバックグラウンドを持つ学生や教員と触れ合ううちに、自分の経験を活かしながら教育に携わることはできないか考えるようになり、漠然と起業を意識するようになりました。そんなときに、自身のキャリアを活かして起業を目指す岩手町の地域おこし協力隊「しごとクリエイター」の制度を知り、地方をフィールドにして起業を目指してみたいと思い応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

岩手町を「誰もがずっと学び続けられるまち」にすべく、生涯学習を推進していきたいと考えています。特にSDGsの考え方について、世代を超えた学習機会をつくっていければと思っています。
また、任期後は地域密着型の学習塾を起業し、単に学力向上だけでなく、勉強することの意味や、生涯にわたって役立つ勉強法などを広めていきたいです。

## 活動内容

**●町外小学生を対象とした岩手町学習ツアーの実施**

隣町の一戸町で運営されている公営塾に協力を仰ぎ、一戸町内小学校に通う小学生に岩手町を知ってもらうイベントを企画、運営しました。当日は美術館ツアー、岩手町在住彫刻家の講演、それぞれのSDGsの取り組みについての授業（小田が担当）を実施し、両町をつなぐ機会を創出することができました。

**●語学講座（韓国語）の主催**

町内の公民館を会場として、語学講座を開催。
昨今の韓流ドラマやK-POPなどのブームを受け、ニーズはあるものの地方では学習機会の少ない韓国語に焦点を当てて、文化も関連して紹介しました。
連続３回で実施した講座には10名以上の町民が参加し好評を博し、講座の継続実施が決まっています。

**●地域環境美化＆交流イベントの主催**

町役場が主催するイベント「世界一楽しいきかっけづくり」に連動し、町民有志とゴミ拾い＋ウォーキング＋おしゃべり交流会を行う「はてなウォーキング」の実行委員会を立ち上げ、委員長に就任。幅広い年代の人に参加していただき、交流の起点になることができました。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Twitter）https://twitter.com/odakatsunori

# 岩手県九戸村　秋元　星良

**教育・文化**

## 基本情報

【年　齢】
23歳
【出身地】
岩手県　九戸村
【転出元】
宮城県　柴田町
【前　職】
保育士
【活動時期】
Ｒ３．４～
（２年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

高校を卒業後、宮城県の専門学校へ進学し、そのまま保育士の仕事を始めました。２年ほど経ったときに、現場の仕事ではなく何か企画の仕事ができないかなとぼんやり考えていたときに、実家の両親からちょうどいい求人があるよと連絡がきたのが、この協力隊の募集でした。廃校の危機である母校の魅力化がミッションで、今やりたいことにぴったりだと思い、すぐに応募し、無事採用いただき今に至ります。

## 今後の抱負・任期後の目標

努力が実を結んだのか、時の運かはわかりませんが高校への入学者が増加したので、この調子で廃校の危機の学校ではなく、みんなが入りたいと思えるような学校になるよう全力でサポートしていきます。

## 活動内容

**●県外留学生の募集**

村内の子供の数は減少しているため、県外からの入学者を積極的に募集しています。遠いところへ入学するのは不安だと思うので、定期的に学校説明会や見学を受け付けています。

**●村おこし会社**

高校の授業の中の「総合的探究の時間」を利用して、疑似的な会社を設立し、商品を企画・開発・販売しています。実際にイオン等で販売し、商売の勉強のサポートをしています。

**●郷土芸能・江刺家神楽の伝承**

高校時代、郷土芸能委員会の会長だった経験を活かし、江刺家神楽の指導を行っています。令和４年度の高文祭では見事全国大会への切符を手にしてくれました。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）kunohekyouryokutai6@gmail.com
（電話番号）0195-42-2111

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

# 岩手県一戸町　長尾　脩平

**教育・文化**

## 基本情報

【年　齢】
26歳
【出身地】
宮城県 仙台市
【転出元】
宮城県 仙台市
【前　職】
大学生
【活動時期】
R３.４～
（２年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

公的な教育機関で、社会教育に関わる仕事がしたい。
そして、岩手県の県北に住みたい。という思いから一戸町で地域おこし協力隊に応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

任期後は一戸町地域おこし協力隊として、「教育」関連の事業で活動した経験を生かして、中学校教諭として働く予定です。

今後は約１年半の任期の中で教育関連の業務のみに留まらず、より積極的に様々な分野での、地域活動やセミナーに参加し、地域の活性化、そして自分の成長に繋げていきたいと思います。

## 活動内容

### ●一戸町公営塾の運営

「自学自習」をテーマに町内の小学3～6年生を対象とした塾の運営をしている。町内5教室で各教室週２回の授業を行っており、計69名の塾生が在籍している。(R4.10.20 時点)
また、今年度は通常授業の他に、料理教室、芸術をテーマとした体験学習、夏期講習、冬期講習、各種検定の受験運営などの活動も行っている。

### ●土曜学習会の運営

8月末から3月初旬にかけて、毎週土曜日の午前中に高校受験対策講座を運営している。町内2教室で計35名の塾生が在籍している。(R4.10.20 時点)
講師は教員経験のある方や塾での指導経験のある方、大学生と一戸町公営塾のスタッフで構成されており、主に英語と数学を指導している。

### ●「総合的な探究の時間」の授業での学習サポート

一戸高校の「総合的な探究の時間」の授業で各グループの学習をサポートしている。
今年度は町内の蔵を紹介する蔵マップ、町の劇場でのライブ企画、地域の「食」を販売、町のお年寄りとの交流イベントの企画などをテーマとし、町の課題を主体的・協働的に解決する中で自己と地域社会を見つめ直すことを目的として学習している。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）ichinohe.ns@gmail.com（電話番号）080-7027-0863

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
↓一戸町公営塾Facebookページ↓
https://www.facebook.com/ichinohekoueizyuku

# 宮城県大崎市　田邉　香

**教育・文化**

## 基本情報

【年　齢】
48歳
【出身地】
埼玉県戸田市
【転出元】
宮城県東松島市
【前　職】
技術補佐員
【活動時期】
R２.４～
（３年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

前職が任期満了することに伴い、職を探していたところ地域おこし協力隊（鳴子こけし工人）を知りました。こけしに関してはこれまで詳しくありませんでしたが、子供のころから物作りが好きで、父が石英ガラス加工職人であったこともあり、職人に尊敬と憧れがありました。そこでこけし工人に関して改めて調べてみて、一生の手仕事であるこのこけし工人に興味とやり甲斐を持ち応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

今はしっかりと技術を習得するために一所懸命修業に励みたいです。それに伴って鳴子こけしの知名度向上等に貢献できればと思います。そして退任後は伝統鳴子こけしを継承し、見た人が笑顔になるようなこけしを作り続けたいです。また日本古来からの伝統こけしを広く紹介し、より知名度の向上と販路拡大に貢献したいです。そして私もいつか師匠のように伝え継ぎたいです。

## 活動内容

●鳴子こけし作りの技術習得

３寸から６寸までの絵を付けた鳴子こけしの制作を行い，徐々にこけしのサイズを大きくしています。

●こけし作りの道具や材料作りの習得

こけしを作るために原木から準備を行います。木工業者から届いたミズキの木の皮を剥くことから始まり木工旋盤で木地を作ります。

●販路拡大支援

えじこ型の新しいこけしを作成し，様々な層の方のニーズへのリーチを展開しています。相乗効果で伝統的な鳴子こけしへの注目も高めることができます。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
かおりこけし代表　田邉　香
（メールアドレス）kaorikokeshi@gmail.com（電話番号）090-6685-9799
※作業中は電話に出られないことが多いので，E-mailまたはショートメールをご利用いただけますとありがたいです。
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】
（Instagram）https://www.Instagram.com/kaori.kokeshi

# 秋田県仙北市　岩見谷 慎太郎

**教育・文化**

## 基本情報

【年　齢】
３３歳
【出身地】
秋田県　横手市
【転出元】
東京都　港区
【前　職】
DJ
【活動時期】
Ｒ４．５～
（１年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

DJとして20代前半から全国、世界を周り活動してきました。パンデミックの最中、水への感謝を表す大自然での音楽体験を作りたいと思い、仙北市の田沢湖へロケハンをしに行き、仙北市の大自然や街の風潮に感動したのがきっかけです。ただの音楽イベントではなくそれを超える体験を創造する為に移住を考えました。また、仙北市の地域の方々のために自分にできることがあればと思い応募しました。

## 今後の抱負･任期後の目標

・わらび座との連携で伝統音楽のSample Packを作成し、世界へ日本の伝統音楽を発信する。
・地域の伝統芸能をPR&継承する。
・DJの交友関係や経験値を活かし、地域の歴史、大自然、風潮を活かした音楽体験、文化交流をイベントとして開催。
・空き家を活用し、世界中のアーティストが東北の自然からインスピレーションを受ける音楽制作合宿の実施。
・農業体験、若年層と熟年層の交流、知恵の継承。

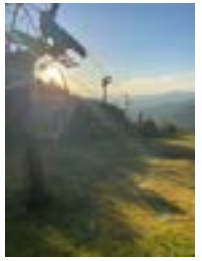
## 活動内容

**●キャリア教育**

仙北市の生保内中学校の総合的な学習の時間で、キャリア教育のための質疑応答やDJ体験の実施、自分自身も実際にDJを披露しました。

**●スキー場の活用**

田沢湖スキー場の紅葉リフトの期間に、お米をリフトにはさがけしました。稲刈りを手刈りで行い、はさがけの行程を農業体験、若年層と熟年層の交流、また地域の産物や施設のPRの誘発を目指しました。



**●SNS発信**

SNS発信を活用し、自分のファンや交友関係のあるアーティストへ地域の見どころをPRしています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）kybunka@city.semboku.akita.jp（文化財課）
（職場）0187-43-3384（文化財課）
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
仙北市地域おこし協力隊フェイスブック
https://www.facebook.com/sembokurashi/
個人SNS　https://www.instagram.com/djshintaro/

# 山形県寒河江市　鈴木　郁

**教育・文化**

## 基本情報

【年　齢】
63歳
【出身地】
山形県寒河江市
【転出元】
東京都練馬区
【前　職】
会社役員
【活動時期】
R4.4～
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

前職を60歳で退社。
生まれた寒河江市や山形県などに、何か社会貢献できるようなことはないかと考えていたところ、友人より地元の寒河江市が「さがえ未来コンソーシアム」構想の立ち上げというポジションの募集をしていると聞いた。
教育分野の事業ということで、地元の人材作りに何か役にたてるのではと思い、応募し、現在業務推進中。

## 今後の抱負・任期後の目標

今後は計画した「さがえ未来コンソーシアム」事業の推進が目標。

1.コンソーシアム事業で核となっていくキャリア教育の基盤となる「さがえの企業ライブラリー」の立ち上げ。
2 「さがえ未来コンソーシアム」のホームページの立上げ
3.令和5年度の「職場体験学習」に向けた受入企業開拓
4.「さがえ少年少女発明クラブ」の運営と令和5年度活動計画
5.コンソーシアム事業の重要なツールとなるデータベースの事業準備・立上げ（ふるさと学習、職業講話、ボランティア、等）

## 活動内容

### ●「さがえ未来コンソーシアム」事業プランニング

「さがえ未来コンソーシアム」は、「キャリア教育の視点に立ち、学校、地域、企業が連携・協働することで、次代を担う『さがえっこ』を育む学習プログラムの推進」という構想です。始めに、キャリア教育、ふるさと学習、発明クラブ、人材確保等の領域で約10の事業計画を策定。それらについて各学校の校長ヒアリング、教職員やコミュニティ・スクールの運営委員等へ説明・周知の活動を実施。

### ●「さがえ少年少女発明クラブ」立上げ

コンソーシアム事業計画の1つである発明クラブを立ち上げた。クラブの組織・規約作り、今年度の活動計画（実験・工作）、運営役員の就任依頼（地元企業）、指導員（ボランティア）募集、地元企業数十社より協賛金確保を行い、公益財団法人発明協会（東京港区）から承認を受け、令和4年10月1日に発足・開講式・第1回工作活動を開催。市内小中学生40名がクラブ員となり、県内最大クラブとして活動スタート。

### ●キャリア教育サポート

キャリア教育のプログラムである「職場体験学習」「職業講話」「探究型学習」等のサポート業務。 今年度「職場体験学習」では、地元企業に働きかけ約30社の新規受入先を開拓。「職業講話」では、地元のグローバル企業や伝統的もの作り企業などの講話を提供。地元商工会の出前授業プログラムのサポート等も行っている。また、活動の情報発信、協賛企業募集等の目的を持つホームページを立上げ準備中。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）kaoru.suzuki@sagaemirai.jp　（電話番号）0237-85-1556

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

https://www.sagaemirai.jp/（立上げ準備中）

# 山形県中山町　稲垣　圭祐

**教育・文化**

## 基本情報

【年　齢】
25歳
【出身地】
三重県
【転出元】
神奈川県
【前　職】
学生(大学院在籍中)
【活動時期】
R2.4～
(3年目)

## 協力隊に応募したきっかけ

学生時代に歴史学を専攻し、庶民生活や日本民家について学んでいました。また、博物館ボランティアなどの活動を通して、博物館や文化財と地域の関わりについて関心を持っていました。
この経歴を活かして、文化財を通じた町づくりや地方での歴史学研究に関わる進路を考えていた際、文化財建造物に関する地域おこし協力隊の募集を見つけて応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

起業など具体的な内容は未定だが、文化財関係業種に就職を検討中。地域の文化財などについて注目すると共に、より広域に関わることを目指しつつ中山町とは調査フィールドとしての関係継続を模索中。

## 活動内容

### ●旧柏倉家住宅等の維持管理

町内の旧柏倉家住宅は令和元年に国指定重要文化財に指定され、翌年より一般公開が行なわれている。茅葺き屋根の主屋、四棟の土蔵をはじめ、小屋などの付属屋が残されている。これら大規模な建物の清掃や点検、広大な敷地周辺や分家の旧柏倉惣右衛門家住宅の点検などを行う。

### ●旧柏倉家住宅に関する調査研究

旧柏倉家住宅は建築学や歴史学などの研究者により調査研究に取り組まれている。一方で、民具や意匠など詳細不明の資料が多く残されていたため、これらの資料について分野を問わず内容の確認調査を行った。

特に現在町が所有する旧柏倉家住宅と旧柏倉惣右衛門家住宅(分家)を対象に家族や建造物、生活慣習について、関係者への聞き取り調査を行った。任期中に成果物を発行予定。

### ●旧柏倉家住宅の公開スタッフ

一般公開日や視察などで訪れた見学者に対しての開設案内を行なった。着任当初は概要的な内容であったが、前項の調査活動を通して得られた成果を還元し、解説内容の充実・向上に努めた。また、これまでの経験から全国の民家や山形県内の地域的特色を踏まえた解説内容を行っている。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
地域おこし協力隊に関する内容は中山町総合政策課まで。
旧柏倉家住宅の見学公開については中山町教育課まで。

# 福島県郡山市　堀越　梨江

**教育・文化**

## 基本情報

【年　齢】
３３歳
【出身地】
福島県　本宮市
【転出元】
東京都　杉並区
【前　職】
サインデザイン制作
【活動時期】
Ｒ３.８～
（２年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

以前に和紙職人としての経験があったことと、海老根和紙工房との繋がりがあったことがきっかけです。
ものづくりが好きで、和紙に携わっていたことや自身の経験を地元の活性化に活かせればと思い、応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

和紙の持続的な普及と、伝統工芸や伝統芸能の魅力を効果的に発信していきたいです。
伝統を残しつつ、現代の生活に合った商品などを作りたいと考えています。
任期後は、和紙の継承に携わりつつ、関係する事業(例えば印刷やデザイン、地域活性化の仲介など)を目標にしていきたいと思っています。

## 活動内容

**●地域の伝統文化の継承**

和紙職人の経験を活かし、海老根和紙やデコ屋敷の張子人形など地域の伝統文化の継承に向け、担い手団体の活動に加わり一緒に活動しています。

**●「伝統文化×○○」を生み出す繋ぎ手として**

地元の大学や企業、あるいは伝統文化同士など地域の資源や活力を繋いで、化学反応を起こす新たな機会と場を創出しています。

**●新たな産品の開発**

郡山市の伝統文化をたくさんの人に知ってもらうために、地域にある資源を活用したお土産品や旅行商品などの開発に取り組んでいます。
Ｒ３年度は、郡山の美味しい果物や野菜を張子でＰＲしたいと思い、海老根和紙を使用したフルーツ張子を製作・販売しました。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）gakuto@city.koriyama.lg.jp（電話番号） 024-924-3711

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
facebook　https://www.facebook.com/koriyamachiikiokoshi
Instagram　@koriyama_chiikiokoshi
YouTubeチャンネル　「郡山市地域おこし協力隊」

# 茨城県稲敷市　谷野　正朝

**教育・文化**

## 基本情報

【年　齢】
38歳
【出身地】
茨城県北茨城市
【転出元】
東京都調布市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R3.4～
（2年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

生まれ育った茨城県で、今まで培った建築の知識・技術を生かしながら地域貢献したいとの思いと、建物を建てる最前線で働きたいとの思いから稲敷市の地域おこし協力隊(建築大工育成支援事業)に応募した。

## 今後の抱負・任期後の目標

木造住宅の設計、大工作業の知識・技術を習得して工務店を引き継ぎ、お客様に寄り添いながら設計と工事のどちらにも重きを置いて、一貫した仕事をすることでいい家を提供できる工務店にすること。

## 活動内容

**●大工仕事**

協力隊となってからの約１年半で平屋や２階建ての住宅・事務所・車庫の新築工事やリフォーム工事に携わった。これらの工事を通して木造の建物を建てる各工程の基本的な作業手順や使う道具・材料の知識を身につけた。

**●設計**

基本的な大工仕事が身についてきたこともあり、住宅設計にも携わった。設計業務の始まりは施主との打ち合わせから始まり、要望を聞いて家族構成や敷地の条件、予算等を考慮しながら間取りのプランを考え、図面や三次元パースを作成し、再度施主と打ち合わせを繰り返しながら最終的な住宅の仕様を決めた。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）jinkou@city.inashiki.lg.jp
（電話番号）029-892-2000

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://www.facebook.com/inashiki.chiikiokoshi

# 茨城県行方市　BOLD ZOLJARGAL（ﾎﾞﾙﾄﾞ ｿﾞﾙｼﾞｬﾙｶﾞﾙ）

**教育・文化**

## 基本情報

【年　齢】
４０歳
【出身地】
モンゴル国
ウランバートル市
【転出元】
千葉県
【前　職】
会社員
【活動時期】
Ｒ２.１１～
（３年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

最初は2019年8月に行われた2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会の事前キャンプでモンゴル国重量挙げ選手達の通訳で初めて行方市に来ました。
その後ネットで地域おこし協力隊の募集を知り、応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

1.2022年3月末まで新型コロナウイルスの影響で国内と国際の事業が厳しいなか行方市とモンゴルの交流事業を実施して来ました。
2.引き続きモンゴルと日本の架け橋になりながら文化交流、物的交流、人的交流を行います。
3.地域おこし協力隊を卒業後は会社を設立したい

## 活動内容

**●モンゴル国文化の紹介**

市内小学校・放課後児童クラブでモンゴル語教室を実施（モンゴル語、文化、伝統的なゲーム、音楽）、市内の小中学校の給食にモンゴル料理のメニューを提供、モンゴル国の文化や近年の交流の様子を展示する。

**●モンゴル国との交流**

2021年4月モンゴルへ柔道着を贈るキャンペーン実施（900着）贈呈式は渋谷の駐日モンゴル大使館に行われた（出席：茨城県モンゴル国ホストタウン桜川市、城里町、行方市）同じく4月にバッチジャルガル駐日モンゴル大使が行方市訪問時にオリンピック聖火リレーのトーチをモンゴルゲルの中に展示する。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）seisaku02@city.namegata.lg.jp
（電話番号）0299-72-0811
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://www.facebook.com/profile.php?id=100043226672166

# 茨城県行方市　内門　紗綾

**教育・文化**

## 基本情報

【年　齢】
２６歳
【出身地】
宮崎県小林市
【転出元】
東京都台東区
【前　職】
第74回国民体育大会茨城県競技力向上対策本部　スポーツ専門員
【活動時期】
Ｒ２.４～
（３年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

行方市が東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に関し、モンゴル国ウエイトリフティングナショナルチームの事前キャンプを受け入れた。当時、競技選手として同キャンプに関わり、今後も同市においてウエイトリフティング競技を推進していくことから、その一助になりたいと応募した。

## 今後の抱負・任期後の目標

行方市において、大人から子供まで様々な世代がウエイトリフティングに親しめる環境を作っていきたい。
　また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機として、スポーツの楽しさを地域の人にもっと知ってもらえるように活動していきたい。
　さらに、知られていない行方市の魅力を県内外に広く伝えていきたい。

## 活動内容

**●ウエイトリフティングの普及**

ウエイトリフティングモンゴル選手の事前合宿をきっかけに、行方市でもウエイトリフティングを普及を目指す。オリンピックが延期になり、事前合宿は実施されなかったが、市内の小中学生等を対象にウエイトリフティング教室を週２回開催している。

**●サイクリング情報の発信**

つくば霞ヶ浦りんりんロードでのサイクリング番組の企画や撮影等に従事し、サイクリングを活用した健康増進と行方市のイベントや魅力を伝える。なめがたエリアテレビで生放送番組のスタッフのほか、なめテレオンデマンドにもアップロードし、情報を発信している。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）seisaku03@city.namegata.lg.jp
（電話番号）0299-72-0811　（職場）
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】
https://www.facebook.com/nameokoshi/

# 群馬県渋川市　大野　雄哉

**教育・文化**

## 基本情報

【年　齢】
３５歳
【出身地】
東京都　板橋区
【転出元】
東京都　板橋区
【前　職】
カメラマン、庭師、ギター製造
【活動時期】
Ｒ１.９～

## 協力隊に応募したきっかけ

手に職をつけて一生の生業を見つけたいと思いながら、右往左往していたところ協力隊制度と遭逢し、興味を持った。
ものづくり、木工で収入に結びつきそうで、クリエイティブな募集を見つけたので、応募させていただくことと相成った。もともと東京を上手く使いこなせていなかったため、地方都市の住環境が合っている気がしていたというのも、理由の一つである。

## 今後の抱負・任期後の目標

周りの方々のおかげで、ある程度のこけし製作に関する技術と知識を身につけることができた。今後は「シンプルな木の人形」の魅力を伝える宣教師的な役割を為し、これまでにターゲットにされていない趣味嗜好の人たちに向けたこけしも作るとともに、他のカルチャーとの融合を図る試みもしていきたい。
要約すると、精進して自身のこけしをもっと売りたい。

## 活動内容

**●創作こけしの技術習得**

こけし製作に使用する機械や道具の扱いの習得。
木工ろくろは使用する刃物を作るところからはじまり、習得に時間を要する。海外式の木工ろくろであるウッドターニング技術も取り入れ、日本のろくろでは難しい加工も行えるようになった。また、仏像彫刻の技術も学び、こけしの製作に落とし込もうと鍛錬中である。

**●こけしコンクールへの出品**

こけし製作者として、また協力隊としての発表の場でもある、コンクールへの出品も重要な活動である。群馬の近代こけしコンクールでは関東経済産業局長賞や群馬県知事賞など、割と聞こえがいい感じの賞を受賞させていただいた。全日本こけしコンクールでもギリギリの入賞を果たした。
コンクール作品は予想の斜め上を狙いがちである。

**●オリジナルこけしの販売**

任期後の生計を立てるために最も重要な活動である。
クラフトフェアに参加したり、ふるさと納税の返礼品に使っていただいたり、県施設に置いてもらったり、地元企業のクラウドファンディングのお返しに使っていただいたりと、こけし作家として知名度を上げるために奔走する。
最近の自信作イエスちゃんガチャは好評だと思いたい。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）yuya.ohno.photograph@gmail.com
（電話番号）0279-22-2596（渋川市役所商工振興課）
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
インスタグラム（伊香保こけし創作室）
https://www.instagram.com/shibukawa_kokeshi/
ホームページ　https://www.ikaho-kokeshi.com/

# 埼玉県東秩父村　足立 桜

**教育・文化**

## 基本情報

【年　齢】
２３歳
【出身地】
兵庫県姫路市
【転出元】
兵庫県姫路市
【前　職】
学生
【活動時期】
Ｒ３.４～
（２年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

和紙に興味があり、大学でも和紙について学んできました。
大学の先輩が東秩父村和紙の里で働いていたこともあり、ホームページで協力隊の募集を見つけて応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

和紙の良さをより多くの方に知ってもらいたいと考えています。
そのために、まずは一人前の職人になれるよう頑張ります。

## 活動内容

**●紙漉き技術の継承・和紙文化の振興**

紙漉き技術を継承するため、紙漉きに至るまでの基本的な工程を改めて一から学んでいます。
和紙を作る仕事に就くことができ、やりがいを感じています。

工房全景

工房風景

圧縮

紙漉き風景

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
東秩父村和紙の里
TEL：0493-82-1468

# 富山県氷見市　河原　朱里

**教育・文化**

## 基本情報

【年　齢】
２７歳
【出身地】
神奈川県　横浜市
【転出元】
神奈川県　横浜市
【前　職】
人材会社（法人営業）
【活動時期】
Ｒ２.６～
（３年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

隊員応募の前から、長期休みなどを利用して氷見に滞在する機会があり、自然や氷見を盛り上げようと活動されている方々と交流を深めながら、いつか氷見に移住し地域の力になりたいと考えていました。
その折、地域おこし協力隊として「教育魅力化コーディネーター」を募集していることを知り、自身が学んだ高校生向けのキャリア教育実践や地域の方と生徒をつなげるファシリテータースキルを活かして、「主体性を創る教育」のお手伝いができるのではと思い、応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

高校での地域協働学習において、市内で活躍されている方と生徒をつなげることは出来ましたが、新型コロナの影響でフィールドワークによる実際の体験活動が制限されていたため、積極的に現地に飛び出す取り組みを強化したいと考えています。
また、退任後に向けてコミュニティスペースの機能を拡充し、「カフェ」「個別指導塾」「イベント」を柱に事業展開するとともに、高校生が地域を巻き込んだプロジェクトの実現を支援して、子ども達の氷見への愛着醸成につなげたい。

## 活動内容

●氷見高校における地域協働学習の推進

地域と高校が密接な関係を築き、「地域を５感で感じる」をテーマとした氷見高校１学年の授業「未来講座HIMI学」において、教員の業務負担が大きく、以前は地域課題を調べるだけの学習であったが、隊員が積極的に市内の地域や事業者、まちづくり協議会等との協力体制を構築することで学習の場を広げ、高校生が実際に地域で活躍する大人の話を聞いたり、フィールドワークをする中で、氷見市の課題を見つけ、解決に向けて探究を行う授業へと改革した。

●高校生のためのコミュニティ・スペース「ひみりべ。」の創設

学校の授業よりもフランクに高校生と地域・社会・世界のあらゆる人が繋がり、高校生の「やってみたい」ことが実践できる場が必要と考え、市内の社会人３名および富山大学の学生３名と一緒にコミュニティ・スペース「ひみりべ。」の創設に取り組み、駅と氷見高校の導線上の物件を所有者の行為により無料で賃貸し、DIYによるリノベーションを行っている。
また、令和４年９月に隊員を代表とした一般社団法人D-liveを設立。マルシェや地域を考えるワークショップを開催している。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）　nobuaki.arai@city.himi.lg.jp
（電話番号）　0766-74-8013

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（氷見市地域おこし協力隊）　https://www.facebook.com/himiokoshi

# 石川県加賀市　古岡　史帆（ふるおか　しほ）

**教育・文化**

## 基本情報

【年　齢】
30歳
【出身地】
大阪府八尾市
【転出元】
大阪府八尾市
【前　職】
営業職
【活動時期】
R3.4～

## 協力隊に応募したきっかけ

知り合いから求人情報の紹介をいただきました。

## 今後の抱負・任期後の目標

これまで取り組んできたことに加え、年齢や趣味嗜好にかかわらず、より幅広い子どもたちがコンピュータクラブハウスに関われる仕組みづくりをしていきたいと考えています。
　個人的には現在行なっている飲食業を発展させ、地域の食材や農業に他の地域の人が興味を持ってもらえるような事業にしていきたいと思っています。

## 活動内容

**●コンピュータクラブハウス加賀の運営・広報**

全国で初めて加賀市に誕生したテクノロジー教育施設・コンピュータクラブハウス加賀(以下、CCH)の運営及び、子どもたちの活動の発展に寄与することがミッションです。施設運営をしながら子どもたちと関わり、その様子をSNSやHPで外部に発信しています。

**●CCHでのユースカウンシル制度立ち上げ**

自治体で行われている若者議会のCCH版立ち上げを企画・運営しています。「私たちの場所は、私たちでつくる」をコンセプトにキャッチフレーズを考え、高校時代CCHに通っていた大学生と共に運営を作っています。

**●CCHガールズデーの開催**

CCHには利用者の90%以上が男子という現状があります。女子率30%以上を目標に、ガールズデーを発足し、9月からは月1回ガールズデーを開催できる体制になりました。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（コンピュータクラブハウスホームページ） https://computer-clubhouse.jp/
（Instagram） https://www.instagram.com/cch_kaga/

# 石川県加賀市　重吉　祐輔

**教育・文化**

## 基本情報

【年　齢】
３０歳
【出身地】
石川県　小松市
【転出元】
東京都　大田区
【前　職】
株式会社FAプロダクツ
【活動時期】
Ｒ４.８～Ｒ７.７
（２年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

これまで製造業の分野でキャリアを歩んできましたが、昔から子どもが大好きで、いつか何かしら子どもや教育に関わる仕事をしたいという想いをずっと抱いていました。

また、自分の地元で何か社会貢献をしたいという想いもあり、子どもや教育の場でこれまでの自分の経験が活かせないかと考えていました。

今般、様々な教育に関する書籍や記事を見たり、教員から話を聞く中で、教育課題が山積みになっていることを知り、地元にUターンをして支援団体を立ち上げるなどの検討をしていましたが、ロードマップを描き切れずにいたところ、今回の求人を見つけ、応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

今回の高校魅力化プロジェクトを通して、県内でのモデルとなるような事例を創出し、課題が山積みとなっている現状を打破する希望となるような取り組みをしたいと考えています。また、今後将来的には自分自身で新たに団体を立ち上げるなどの活動も考慮に入れながら、継続的かつ他地域への展開性のある仕組みづくりに努めたいと思います。

## 活動内容

**●大聖寺駅前フリースペースの運営**

平日の放課後（概ね16:30～20:30）に中高生向けのフリースペースを運営しています。家庭と学校以外の居場所（サードプレイス）としての機能はもちろん、様々なテーマのイベントや、地域で探究活動を行うプログラムなどを通して、異なる高校や学年の生徒同士の交流の場として機能しています。

**●市内高校の探究授業支援**

市内高校の総合的な探究の時間（探究授業）に参加し、高校生のプロジェクトをサポートしています。探究授業の中でのプロジェクトに対するアドバイスやフォローアップの他、地域の方々と学校とを繋げるお手伝いなどをしています。

**●学校外での探究活動プログラム**

高校生が放課後に探究活動が出来るプログラムを運営しています。フリースペースに中学生を呼び込むためのイベント企画や、市内の施設を紹介する動画を制作するなど、高校生たちによる様々なプロジェクトが誕生し、高校生の愛郷心と大学受験等に活かす活動に展開しています。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（facebookページ）https://www.facebook.com/daishoujifreespace/

# 福井県勝山市　永野 龍典

**教育・文化**

## 基本情報

【年　齢】
42歳
【出身地】
神奈川県　横須賀市
【転出元】
宮城県　仙台市
【前　職】
株式会社マクロミル
【活動時期】
R4.2～
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

令和4年度から全国の高校で実施されている「総合的な探究の時間」に、職務として直接的に関与できる場を探していた中、「探究特進科」の開設を予定していた勝山高等学校に出会いました。そもそも、この分野への関心の源としては、出身大学（東京都市大学）のゼミのサポートとして学生らに伴走する経験や前職において部門内のメンバーの育成、大学への出張講座、インターンシップの受け入れなどにも携わる経験から、より広く学びを届けることができる場を求めて辿り着きました。

## 今後の抱負・任期後の目標

教員以外の経験値を持った人物が、授業の現場に一定量関与することの価値を明らかにし、同様の活動ポジションを日本中に広めていきたいと考えています。これは学生への好影響はもちろんのこと、教職員に対しても外部の風と混ざり合うことで、社会の変化に対応した学校づくりの一環として寄与するものとも考えます。それにはまず、個人として独立した事業として成立させるため、多数の同じ思想を持った仲間を集め、探究副業人材として世の中の学校とのタッチポイントをつくることが課題と認識しています。

## 活動内容

**●総合的な探究の時間の授業計画・実施**

福井県立勝山高等学校における探究を推進するため、授業計画・実施・生徒への伴走指導などを先生と共に行っています。主として深く関与しているのが〔探究特進科〕で、企業時代の社員研修等で行っていた内容を再解釈したプログラムも取り入れているほか、前職や大学との関わりの中で培った、課題解決に向けた思考を整理する対話やプレゼン技術、文章表現などを重視したアプローチをしています。探究を通し、思考・判断・表現の力の育成と、非認知能力として、越境体験、壁を乗り越えるマインド、自己肯定感などを醸成することで、楽しく生きる知恵をつけていってもらえたらとの想いです。

**●地域事業者によるキャリア＆探究合同セッション**

地域で事業を営む21の事業者等の協力を得て〔職業紹介：3割〕〔このまちで働くに至る個人のストーリー：7割〕の配分で、先輩から学生へのメッセージを語る会を“合同説明会形式”で実施。協力いただいた企業からは「自身にとっても過去を振り返る有意義な時間」「高校生と接点をもてる貴重な機会」との感想。学生からは「人との関わり方や自らチャレンジをしていくこと」「やってみたいと思う仕事を見つけることができた」という感想が得られました。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（くらげ先生の探究学習note）https://note.com/kuragesensei

# 山梨県韮崎市　篠原 健志

**教育・文化**

## 基本情報

【年　齢】
24歳
【出身地】
山梨県韮崎市
【転出元】
東京都文京区
【前　職】
タバコ会社
【活動時期】
R3.8～
（2年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

将来教員になることを目指していたため、青少年と関わる仕事がしたいと思い「Miacis」で働いています。Miacisは私が高校3年生の時に利用者 & 立ち上げメンバーとして通っていた「青少年育成プラザ」で、今度は利用者側ではなく、スタッフとして働きたいと強く思ったため協力隊に応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

青少年育成プログラムや、学術に基づいた青少年育成アプローチを日本に普及させるため、日々奮闘しています。具体的にはPositive Youth Development (PYD) アプローチというアメリカから生まれた青少年の捉え方や接し方に焦点を置き、これに基づいたプログラムを作るため努力しています。

## 活動内容

**●キャリア教育プログラム**

年間200人以上の生徒が参加し、地元の中学生がキャリア意識を高めるためのワークショップや、生徒の職場体験を受け入れてくれる企業の開拓と関係性の維持を行っています。地元企業や学校との協力を通じて、韮崎の青少年を大切にし、理解するコミュニティづくりをしています。

**●PYDプログラム**

アメリカや世界各国の青少年教育に使われているPYDアプローチを活用したプログラムの開発、計画、実施、評価を行っています。直近では参加者の自制心、マインドフルネス、メンタルヘルスに関する理解を向上することを目的とした「ココロのBBQ」の実施を企画しています。

**●スタッフ研修**

PYDに基づいた組織形成 & 施設運営を行うために、MiacisのスタッフにPYDや利用者との関係性についての研修を実施しています。これらの知識やノウハウはアメリカの青少年育成研究団体のワークショップに参加をしたり、学術であるものを翻訳し、スタッフに分かりやすいように伝える努力をしています。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://note.com/kenji_9/n/n89b9286c43fb

# 山梨県韮崎市　清田　祐華

**教育・文化**

## 基本情報

【年　齢】
30歳
【出身地】
兵庫県神戸市
【転出元】
東京都中野区
【前　職】

【活動時期】
R4.4～

## 協力隊に応募したきっかけ

もっと住みやすい街はないかと探しているときに、地域おこし協力隊という制度を知り、NPO法人河原部社を見つけました。ミアキスという若者の居場所を作って運営しているところや、同年代の人たちがおもしろい活動をしているところに惹かれ、ここで働きたいと思い応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

もっと中高生にミアキスについて知ってもらったり、ミアキスを活用してもらうための活動や、中高生がやりたいことを実現するための伴奏支援などを中心に今後も活動していきたいです。
任期後はまだ未定です。

## 活動内容

**●職場体験プログラム**

韮崎市内にある２つの中学校と共同で、河原部社が生徒を受け入れてくれる企業の開拓や、中学校での職場体験に関する授業、企業と中学生を組み合わせるマッチングなどを行っています。
地元企業や学校との協力を通じて、韮崎の青少年を大切にし、理解するコミュニティづくりをしています。

**●まちづくりカフェ**

韮崎市の総合計画に中高生の意見を反映させようという取り組みとして、まちづくりカフェを行いました。
中高生に集まってもらい、中高生の視点からもっといい街にしていくのに必要なことや困っていることなど、様々な意見が出ました。若者視点のアイデアや発想は、人口対策などにも役に立つと思います。

**●6周年記念イベント**

ミアキスの6周年の周年イベントを10/8,9に行いました。
たくさんの中高生にミアキスに来て、楽しんでもらえるように、卓球大会やお菓子のつかみ取りなどを企画したり、中学生企画のイベントをしました。
イベントを通して、年齢や性別など関係なく、同年代の繋がりができていくのがミアキスのいいところです。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://note.com/yuka_pink

# 山梨県丹波山村　仲野　宏樹

**教育・文化**

## 基本情報

【年　齢】
41歳
【出身地】
京都府福知山市
【転出元】
東京都東久留米市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R2.5～
（3年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

チャレンジできる場所を探していた時に、協力隊の制度を知ったこと。大好きな山と川がある場所で暮らしながら、自分の力を試してみたいと思ったから。

## 今後の抱負・任期後の目標

音楽の力で丹波山ファンの数を増やすことと、丹波山ファンの気持ちをつなぎ止め続ける楽しみを生み出すこと。そういった活動の成功事例を増やして、協力隊活動の多様性や、田舎での暮らし方の多様性を押し広げたい。

## 活動内容

**●たばやまレコード**

村内在住の男性と2人でアコースティック・ユニット「双鴨（そうかも）」を結成し、音楽を通した村おこしに取り組んでいる。YouTubeチャンネル「たばやまレコード」を開設し、オリジナルの楽曲や、村の郷土芸能「ささら獅子舞」のお囃子の笛の吹き方などを配信している。

**●「丹波っこくらぶ」での児童の見守り**

小学校の放課後に開かれている「丹波っ子くらっぶ」で、児童の遊び相手・相談相手として活動。元特別支援学校の教員としての経験を生かしている。書店や大きな図書館がない丹波山村で、子どもたちにより多くの本に親しんでもらおうと、県立図書館から毎月100～150冊の本を借りて、貸し出している。

**●保育所の訪問**

月に一度「のっちの日」として、村内の保育所でサッカー教室を開いたり、歌を歌うなどしたりしている。デイサービスでは、利用者と一緒になつかしの曲や童謡などを歌っている。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）soumu@vill.tabayama.yamanashi.jp
（電話番号）0428-88-0211

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（たばやまレコードウェブサイト）https://tabayama-record.com

# 長野県東御市　平島　佳奈子

**教育・文化**

## 基本情報

【年　齢】
５１歳
【出身地】
東京都板橋区
【転出元】
東京都豊島区
【前　職】
地方公務員
【活動時期】
Ｒ４.５～
（１年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

以前から、東御市在住エッセイストの玉村豊男さんのライフスタイルへの憧れがあり、いつかは写真集の風景にあった東御市で生活したいと考えていました。
情報収集する中で、東御市では多くの分野で協力隊員が活躍していることを知り、地元の方々との交流の機会を得やすいのではないかと思い、応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

担当業務である「火のアートフェスティバル２０２２」が終了しましたが、来年は、地元の方々を中心により一層親しみを持っていただき、楽しんでもらえるイベントにしたいと思っています。
任期後は、休日に勉強中であるワインブドウ栽培や地元の方々と交流できるような副業で生活していきたいと思います。

## 活動内容

**●学校陶芸教室**

市内１５の保育園、幼稚園、小学校、中学校において地元陶芸グループの指導のもと、協力隊員が従事して学校陶芸教室を実施した。
子ども達が制作した作品は、火のアートフェスティバル２０２２において登り窯で焼成した。

**●スケッチ大会におけるワークショップ**

市が運営する丸山晩霞記念館が例年企画しているスケッチ大会において、東京家政大学監修のもと、協力隊員が羊毛で飾りを制作するワークショップを実施した。

**●火のアートフェスティバル２０２２**

１０月８、９日の２日間、開催された標記のイベントにおいて、各種催事があるなかでも、協力隊員は、主にワークショップ、陶芸、３０周年記念事業の関係の企画に従事し、多くの来場者を得た。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
bunka@city.tomi.nagano.jp　（電話番号）0268-71-0670

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
インスタグラム https://www.instagram.com/hinoart.festival.o/
Twitter https://twitter.com/hinoartfestival
note https://tomi-city.note.jp/（火のアートフェスティバルに係る記事２つ）

# 長野県軽井沢町　塚越　紗衣

**教育・文化**

## 基本情報

【年　齢】
43 歳
【出身地】
群馬県　高崎市
【転出元】
東京都　杉並区
【前　職】
日本語講師
（フランス：グルノーブル・アルプ大学）
【活動時期】
R3.10～
（2年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

軽井沢は家族や友人と訪れたことがあり、私にとって馴染みの深い場所でした。自然豊かな場所が好きで、都市圏ではないところで何か仕事がないかと探していた時に、求人の募集を見つけて応募しました。

高校生の指導・学習サポートは初めての経験になりますが、教材開発の仕事や、外国語学習、日本語講師としての経験を生かして、教育業界でステップアップしたいと思っています。

## 今後の抱負・任期後の目標

軽井沢町の学習センターでは、私は英語（英検講座）を中心に学習サポートをしているので、担当する生徒が合格するまでサポートしていきたいです。生徒一人一人との距離が近く、目標設定から達成まで丁寧に見ることができるので、たくさんコミュニケーションをとっていきたいと思っています。

任期後も、軽井沢の地でできた繋がりを大事にして、言語教育等を通じて、軽井沢と関わる仕事を続けていきたいです。

## 活動内容

### ●英検講座

英検合格にむけて、英検の過去問を使って演習を行っています。過去問でトライアルを行いレベルを見極めたあとに、レベルにあわあせて目指す級を設定して、年に３回ある試験の時期にあわせてスケジュールをたてます。筆記、リスニングの強化の他、単語強化に特化した講座も開いています。

### ●日仏オンライン交流会

学習センターに通う高校生と、前職の大学（フランスのグルノーブル・アルプ大学）の外国語学部の学生をオンラインで繋げて、読書会を行いました。まず、それぞれの地域を紹介したあと、英語と日本語で絵本を読んで感想を話し合いました。今後は、地域に縁のある人物や歴史の本を使って読書交流会を開きたいと考えています。

### ●朗読駅伝のサポート

地域の図書館（中軽井沢図書館）が主催する［朗読駅伝］に参加する高校生たちのサポートをしています。軽井沢朗読館の館主である朗読家の青木裕子さんが、学習センターに来て生徒たちに直接指導してくださるので、本番にむけての練習会の設定や生徒と連絡等でサポートを行っています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）karuizawa_gakushucenter_tsukagoshi@g.nagano-c.ed.jp
（電話番号）職場 ・ 0267-31-5195
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://www.facebook.com/karuizawa.gakushucenter

# 長野県軽井沢町　三尾　花澄

**教育・文化**

## 基本情報

【年　齢】
24歳
【出身地】
長野県飯田市
【転出元】
愛知県弥冨市
【前　職】
新卒
【活動時期】
R4.4月～（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

大学時代の経験から、学校とは違った立場の存在が自己肯定感の向上につながるのではと、地域での教育活動に興味をもちました。また、県外に進学した際に、出身地である長野県の良さを感じ、県内で就職したいと思うようになりました。ちょうどお知り合いの方が紹介して下さり、軽井沢にくる事になりました。

## 今後の抱負・任期後の目標

英検、漢検などの検定試験で一人でも多く合格できるよう、学習伴走を頑張っていきたいです。その他にも、多くの価値観に触れ、少しでも生徒自身の可能性を広げて将来を決めることができるようなお手伝いもしていきたいです。

## 活動内容

- **英検講座**

年３回行われる、英語検定能力試験の対策講座を行っています。今年度は、2級と準2級の講座を担当しました。筆記対策として、単語テスト、長文対策、英作文の添削などを行いました。

- **言語化講座**

文章を「書く力」を育むことを目標に、言語化講座を行っています。テキストを使って、語彙の習得、文章の書き方を中心に教えています。

- **交流会、マイプロジェクトの伴走**

学習指導だけでなく、自分の興味関心をプロジェクトにして活動を行う「マイプロ」の伴走を行っています。また、県外の高校生との交流会を生徒が企画し、当日のサポートも行いました。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Instagram:karuizawa.gakushucenter

# 長野県軽井沢町　若林　詩織

**教育・文化**

## 基本情報

【年齢】
29歳
【出身地】
神奈川県　藤沢市
【転出元】
神奈川県　藤沢市
【前　職】
岩手県住田町
教育コーディネーター
【活動時期】
R4.4～（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

地方や地域が好きなのですが、今後の人生を考えてもう少し地元の近くに住みたいと思っていた時に、元々つながりのあった前協力隊の方にお声がけいただきました。
祖母の地元が近いことや、昔から長野に縁があったことも決め手となりました。
前職でも近しい仕事をしていましたが、学校ではなく地域側から高校生と関われることに魅力を感じています。

## 今後の抱負・任期後の目標

これからも、高校生がわくわくする（＝意欲が生まれる）瞬間を作っていきたいです。
軽井沢で求められていることと、自分にできること（強みや特性）を踏まえて、何が実現できるかを考えていきます。その積み重ねが、任期後のキャリアにつながると思っています。

## 活動内容

### 軽井沢町学習センター（公設塾）の運営

軽井沢高校の敷地内にある学習センターで、放課後(16:00～20:00)の学びの場をつくっています。
普段は、学校帰りに立ち寄る高校生に向けて、英国数を中心とした講座や大学受験に向けた対策など様々な取り組みを行なっています。

### 高校生と社会人をつなぐ

高校生にとって、親や教員以外の大人に出会うことは、視野が広がり、選択肢を増やすきっかけになると思っています。
今年度は、社会福祉士、看護師など計3名と高校生をオンラインでつなぎ、お話をしてもらいました。

### 軽井沢フィールドワーク企画

埼玉県の高校教諭の知り合いから依頼を受け、埼玉県の高校生と軽井沢の高校生のフィールドワーク企画が決まりました。
当日は、コロナ感染拡大により延期となりましたが、オンラインに切り替えて交流を深めました。（リベンジ予定！）

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】軽井沢町役場総合政策課軽井沢高校魅力化支援係
（メールアドレス）karuizawa.gakushucenter@gmail.com
（電話番号）0467-31-5195

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

facebook　instagram

# 長野県木曽町　池戸　通徳

**教育・文化**

## 基本情報

【年　齢】
５９歳
【出身地】
長野県　飯田市
【転出元】
長野県　飯田市
【前　職】
飯田市役所　職員
【活動時期】
Ｒ３.４～
（２年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

地球温暖化防止や自然環境保全の活動をライフワークとする中で、日本の森林にて持続可能な活用をしていくことが急務と認識し、木のおもちゃ(けん玉など)や地域産材の利用(住宅建築・増改築等)を促し普及してきました。
東京おもちゃ美術館にておもちゃ学芸員として活動に関わった際、木曽町に「ふるさと体験 木曽おもちゃ美術館」が開設すると知り、木曽においても活動したいと思って通っていたところ、美術館の開設など担う地域おこし協力隊の募集があったので応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

２０２２年１１月１９日オープン「ふるさと体験 木曽おもちゃ美術館」が問題なくスタートできること、指定管理者(NPO法人)の運営が順調にいくこと、来館者が増えること、が大事で、そのために必要なことをサポートします。
任期後の立場は不透明で、美術館の指定管理者が自分を必要な人材とするか否かにより分かれます。必要とされた場合は勤務条件を確認して就業しますが、必要なくなれば、別の仕事に就きながら、おもちゃ学芸員というボランティア活動を継続して美術館を支援していきます。

## 活動内容

**●ふるさと体験 木曽おもちゃ美術館、開設と企画運営**

木育と木曽の伝統文化を体験で伝える木曽おもちゃ美術館。そのボランティアスタッフ「おもちゃ学芸員」の養成講座を昨年から５回開催し計103名が登録になりました。10月９日の出発式にて赤エプロンが授与されいよいよオープンします。四季折々の催事とおもちゃを組み合わせて運営を展開します。

**●木育人材の育成･連携に関する業務**

おもちゃコンサルタントやけん玉講師として「おもちゃの広場」を開催し、主に子供たちを対象に木育を推進するとともに、地球規模の自然環境保全を普及啓発しています。環境保全と地域経済が好循環になる仕組みも模索しながら、木に関わる人々を増やしていく必要性を啓発しています。

**●定住及び交流の促進に関する活動、企画、イベント**

自宅を「サードプレイス・ゲストルーム　ペチカんず木曽」として令和３年７月から運営しています。青少年の情報交差「店」という位置づけですが、親子連れや一般の方も利用されます。
令和４年１０月から「信州こどもカフェ」いわゆる子ども食堂を週１回開催していきます。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（インスタグラム）https://www.instagram.com/stories/pechikanz.kiso/
（フェイスブック）https://www.facebook.com/michinori.ikedo/

# 長野県信濃町　中山　雅士

**教育・文化**

## 基本情報

【年　齢】
23歳
【出身地】
熊本県熊本市
【転出元】
奈良県奈良市
【前　職】
大学生
【活動時期】
R3.10～
(2年目)

## 協力隊に応募したきっかけ

大学時代に考古学を専攻していたこともあり、歴史や考古学に関わる仕事をしてみたいという思いがありました。そこで日本史の教科書にも載るような歴史的にも有名な場所で博物館を通した地域おこしをしたいと思い、信濃町に応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

来年度7月より野尻湖ナウマンゾウ博物館で特別展を開催する予定です。それに向け、展示解説パネルの作成等の準備を進める予定です。

また、埋蔵文化財調査や展示品の３Dスキャン、展示解説等の博物館業務についても引き続き行っていく予定です。

## 活動内容

**●発掘研修**

埋蔵文化財の発掘技術や手法を学ぶため、町内外で行われている、発掘調査に参加しています。

**●学習会、ワークショップの運営補助**

野尻湖ナウマンゾウ博物館で開催される学習会やワークショップにて、誘導や解説、説明等の運営補助を行っています。

**●埋蔵文化財報告書作成**

過去に信濃町内にて発掘された遺跡で報告書が未作成のものについて実際の遺物を調べながら、報告書の作成を進めています。

**●団体見学者対応**

野尻湖ナウマンゾウ博物館に団体で来館された方で展示解説の希望があった場合に、館内の展示解説を行っています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）naumanzou@town.shinano.lg.jp
（電話番号）026-258-2090

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

# 静岡県川根本町　伊神　花織

**教育・文化**

## 基本情報

【年　齢】
３６歳
【出身地】
愛知県弥富市
【転出元】
東京都世田谷区
【前　職】
広告代理店／教育コンサルタント
【活動時期】
Ｒ２.２～
（４年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

前職で教育コンサルタントとして、小中学校でキャリア教育コーディネーターをしていました。教育に携わりたいと思ったきっかけが、自身が高校生の時に高校教育に対し疑問を持ったことでした。なので、以前から高校教育に携わりたいという思いが強く、魅力化コーディネーターの募集を探していたところ、本町の募集を見つけました。教育委員会が募集していたことが、応募の決め手です。

## 今後の抱負・任期後の目標

現職では、全てにおいて私自身が主体でなくサポート役に徹することができる状態にすることが最終目標でした。徐々にその足がかりはできつつありますが、現時点では達成にはいたらないと感じています。後任の地域おこし協力隊へ引継ぎ、継続していくとともに、できれば業務委託等での継続的な関わりを持って、中長期的に協働を目指したいと考えていますが、現時点は不明です。

## 活動内容

**●生徒募集に関する広報活動**

オンラインや東京で行われる学校説明会での学校紹介の実施。Facebook・Instagram・Twitterによる、日々の学校風景等のSNSによる配信。

**●「総合的な探究の時間」等の授業コーディネートや授業企画の設計・提案、実施におけるファシリテーション**

探究学習に関連する、年間や学期単位での企画設計提案や、授業実施のサポート。それに伴う、外部講師等のコーデイネート調整。

**●小中学校や大学との連携事業のコーディネート**

地域の小中学校と連携した授業や地域活動の企画およびコーディネート。
県内の大学との連携した出前授業などの事業実施の企画及びコーディネート。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）k-igami@as-it-is.co
（電話番号）0547-58-2555（川根本町教育委員会 ）
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】
Facebook→https://www.facebook.com/kawane.h.official
Instagram→https://www.instagram.com/kawane.h_official/

# 京都府京丹後市　岡部　萌香

**教育・文化**

## 基本情報

【年　齢】
24歳
【出身地】
東京都檜原村
【転出元】
東京都あきる野市
【前　職】
大学生
【活動時期】
R3.3～
(2年目)

## 協力隊に応募したきっかけ

大学在学中から高校生の探究活動のサポートや高校生と地域の方との交流の機会を作る活動をしていました。 知り合いからこのお仕事を紹介していただき、仕事の内容が自分の興味関心に近かったということと、説明会で伺った丹後の方の暮らしに魅力を感じて応募することに決めました。

## 今後の抱負・任期後の目標

高校生に少しでも自分の住んでいる地域でたくさんの大人と関わり、視野を広げて卒業をしてほしいと考えています。 そこで、現在関わっている総合的な探究の時間を切り口に、生徒が地域のことを知り、たくさんの大人と関わって充実した高校生活を送ることのできるようなサポートをしていきたいと思っています。

## 活動内容

**●『つくろう！みらいのまち』プロジェクト支援**

京丹後市が行う令和4年度「都市拠点等の在り方検討会議」の若者ワークショップに参加する高校生の活動を伴走支援する。
オンラインミーティングや、アイデア出し、フィールドワークのサポートなど、高校生のやりたいことを形にするため活動している。

**●探究授業支援**

活動地の京都府立清新高等学校において、総合的な探究の時間の中で地域の方の話を高校生が聞ける機会づくりを行い、高校生に京丹後市について色々なことを知ってもらう機会づくりにもつなげている。
授業では自らの経験も講演し、高校生が将来の選択肢を広げることにつながる取り組みもしている。

**●生徒の伴走**

活動地の京都府立清新高等学校の生徒に対して、興味関心に応じたボランティア、地域のイベント等の紹介や活動の際の引率を行う。
生徒が学校の外に出て、地域の多様な大人と出会うことで、自身の将来や生き方について考え、価値観を広げるための活動を行っている。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）kikaku@city.kyotango.lg.jp
（電話番号）0772-69-0120
（職場）京丹後市役所　市長公室　政策企画課

# 京都府京丹後市　李瓊瑞

**教育・文化**

## 基本情報

【年　齢】
27歳
【出身地】
中華人民共和国青海省
(烏蘭県)
【転出元】
京都府京都市
【前　職】
無職
(同年度夏までは大学院生)
【活動時期】
R3.3～
(2年目)

## 協力隊に応募したきっかけ

元々大学のゼミで「農村計画」を学んでおり、「地域おこし協力隊」については馴染がありました。今の地域での活動内容などはゼミ先輩から情報共有をいただき、興味があったため応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

面白い地域のキーパーソンと連携や協働をしていただき、地域の大人が持っている知見で将来性に満ちた高校生たちの「社会性」を育てながら、自主的に課題を発掘していく能力を醸成させていきたい。

## 活動内容

**●学校の授業の伴走支援**

活動地となる京都府立丹後緑風高等学校網野学舎の課題研究授業の伴走支援を行っています。
市内の高校生などを支援する施設に学生を連れていくことや、学生が実現したいことに対するアドバイスを行うなど、生徒に寄り添った活動を行っています。

**●授業での講演**

高校の授業の中で、様々な地域のことを学べる機会を提供することと国際交流の一環として、出身地の中華人民共和国青海省についての講演を行いました。学生にとって、今まで知らなかった土地のことを、直接住んでいた人から学べる機会となり、学生の将来の選択肢を広げることにつなげています。

**●地域人材と高校生のコーディネート**

生徒が自発的に考案したプロジェクトや商品開発提案を相応しい地域の人材へマッチングし、実社会へフィールドワークの企画と伴走支援を行っています。地域社会で積極的に活動されている大人たちと出会い、多様な価値観や生き方を体感し、高校生の今後のキャリアデザインに繋がるように試みています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）kikaku@city.kyotango.lg.jp
（電話番号）0772-69-0120
（職場）京丹後市役所　市長公室　政策企画課

# 大阪府能勢町　平原　綾耶夏

**教育・文化**

## 基本情報

【年　齢】
23歳
【出身地】
三重県名張市
【転出元】
大阪府池田市
【前　職】
学生
【活動時期】
R4.4～
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

大学生時代に、福井県越前町でフィールドワークをした際、町おこしに興味を持った。さらに、OGの方が別の場所で地域おこし協力隊をやっておられ、協力隊がどんなものか教えていただいた。
教育関連に関心があり、実際に生徒と関わりながらの活動にとても魅力を感じたため、能勢町の地域おこし協力隊に応募した。

## 今後の抱負・任期後の目標

今後は、今取り組んでいる制度の利用生徒を増やし、能勢分校の生徒増加につなげたい。
任期後の目標として、教育現場で活動していることを活かした業務を行いたい。

## 活動内容

**●里山留学生、里山ファミリー増加**

大阪府内在住の生徒を対象とした下宿制度で、利用生徒（里山留学生）や受け入れ家庭（里山ファミリー）確保のため、様々な場所で広報活動を行う。制度を利用する生徒を増加することで、能勢分校の魅力向上に繋げる。

**●里山留学プログラム**

能勢町の歴史、文化、産業を学ぶ体験型学習の支援を行う。里山留学生、自宅から通う生徒数名でチームを組み、月に一度程度で活動を行っている。

**●海外留学生交流支援**

能勢分校では継続的な海外留学生の受け入れ、SGH認定校だったこともあり、国際交流が盛んにおこなわれている。海外留学生と里山留学生、能勢分校生と交際交流を行うことで、グローカルな学びを行う。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）seisaku@town.nose.lg.jp（電話番号）072-734-3036

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）https://www.instagram.com/nose.chiikiokoshi/
@nose.chiikiokoshi
（Facebook）能勢町 地域おこし協力隊 (facebook.com) **能勢町 地域おこし協力隊**

# 奈良県上北山村　藤本　圭子

**教育・文化**

## 基本情報

【年　齢】
59歳
【出身地】
三重県名張市
【転出元】
三重県名張市
【前　職】
書籍、月刊誌などの編集・デザイン
【活動時期】
R4.4～
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

山林の暮らしの歴史・文化に興味があり、「歴史と文化を生かした活動」という募集要項が、自分のスキルを活かせると考えたため。新潟県十日町市で限界集落の話を聞き取りし、書籍にした経験を生かし、上北山村の歴史や文化を記録できると考えた。

## 今後の抱負・任期後の目標

村の歴史家の方や教育委員会と相談し、村民が村の歴史を再度認識して誇りを持てるような冊子を編集します。
また、村で昔から活用されてきた花木や植物を見直し、山の価値を見出し、特産品を開発します。

任期終了後は、観光案内、特産品や食品の販売、体験プランの企画、情報発信など、自分のスキルを生かした複数の仕事で収入を得られるモデルを作りたい。

## 活動内容

**●村の歴史・暮らしの冊子制作**

学校の社会科副読本制作のサポートを行うとともに、村民向けに歴史・文化・暮らしについてまとめた冊子を制作予定。村の歴史家、教育委員会と企画進行中。

**●過去の16ミリ、8ミリビデオの放送**

かけ橋プロジェクトの一環として教育委員会に保管されていた昭和時代の16ミリ、8ミリビデオを編集し、ケーブルテレビで毎月放送している。また、ケーブルテレビで放送した映像を歴史家の解説とともにスクリーンで放映するイベントを行う予定。

かけ橋プロジェクト・・・村史や村の書籍の内容を紹介し、広い世代に村のことを知ってもらい、過去と現在のかけ橋とする

**●特産品の開発、官学連携プロジェクト**

農産物などが少ない村なので、村の特産品が少ないが、トチノミやお茶、山野草、クロモジやヒノキなどを使った食品や日用品の開発を村のNPO団体と企画している。
また、官学連携の森林プロジェクトに参加し、森林を生かした活動、昔の暮らしを体験する体験プランなどを企画。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（上北山村地域おこし協力隊＆支援員Facebook）

# 鳥取県大山町　霧生　彩乃

**教育・文化**

## 基本情報

【年　齢】
23歳
【出身地】
東京都町田市
【転出元】
東京都町田市
【前　職】
大学生
【活動時期】
R4.4～
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

地域での暮らしを体感しながら、地方の農業を盛り上げていきたいと思ったのがきっかけで、協力隊に応募しました。小学校の頃に、祖父の畑で一から野菜を育ててみたことがきっかけで、農業にハマり将来は農業に関することで起業したいという夢を持つようになりました。大学も農学部に進学し、農業技術や農業経営について実践を通して学ぶため全国各地30箇所を越える農家で実習などを行わせていただきました。その中で、“農業を通じたまちづくり”に興味を持ち、実践していきたいと考えました。

## 今後の抱負・任期後の目標

アグリ起業部の活動を通して、農業の楽しさや農業の可能性を地元の中学生や県内外の大学生に伝えていき、将来何らかの形で農業に関わる人々を増やしていきたいです。
また、中学生や大学生がアグリ起業部の活動を通じて、大山町でやりたいことを実現できるよう、精一杯サポートしていきたいと思います。任期後は、農業を通じて、人々が成長したり楽しんだりできる場をつくっていきたいと考えているので、その目標に向けて、大山町にて実践を繰り返し準備をしていきたいです。

## 活動内容

**●農業経営実践プログラム「アグリ起業部」**

地元の中学生が農作物の生産から販売を行うプログラム「アグリ起業部」の企画・運営をしています。「アグリ起業部」では、中学生が、農業経営について、地元の農家や県内外の大学生と共に学び、実践をおこなっています。具体的には、町内での野菜栽培、野菜を使った料理の開発、販売のためのロゴづくり、チラシづくり、POP作成などをおこなっています。販売は、町内の道の駅で行う予定で、町内外から来るお客さんと交流をしながら販売をします。最終的には、どれくらい売り上げたかなどの決算までを行い、ビジネスについても考えていきます。

**●農業実習コーディネート**

農業に関心のある大学生を対象に、町内や町内周辺の農家での実習のコーディネートを行っています。なし農家、なしの選果場、野菜農家、ブドウ農家での実習を実施したり、農家の話を聞く場を設けました。農業を仕事とすること、地域農業の魅力などについて知り、農業を職業とするイメージを掴んでもらうことを目的に活動をおこなっています。
参加者は、将来農業に携わる仕事がしたいと考える学生がほとんどで、「将来自分が農業を行う場合のイメージが掴めた」「多くの農家に会わせてもらい、もう一度、この地域に訪れたい」という声をいただくことができました。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）kiriu0102@keio.jp　（電話番号）080-7754-1211

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）https://www.instagram.com/agurikigyoubu

# 島根県浜田市　藤重　佳久

**教育・文化**

## 基本情報

【年　齢】
67歳
【出身地】
福岡県久留米市
【転出元】
福岡県久留米市
【前　職】
音楽指導者
【活動時期】
R3.4.1～
（2年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

浜田市が取り組もうとしている「音楽を核とした定住促進事業」の業務内容に共感し、応募した。
浜田市HPから募集情報を収集した。また、石見地域で音楽活動を行っている一般社団法人石見音楽文化振興会からも情報を収集した。

## 今後の抱負・任期後の目標

音楽指導者向けの講習会や、市民対象の音楽塾など、音楽に触れる機会をもっと増やし、地域を音楽の力で、盛り上げたい。

## 活動内容

①音楽を核とした定住促進事業

市に移住した若手音楽家に対して、演奏技術と音楽指導技術の向上を目的として音楽指導を行った。
特に、これまで東京都からプロの演奏家を呼んで開催していたスクールコンサートにおいて、音楽指導を行い、学校の教育方針に沿った演奏会の実施に寄与した。
また、定期演奏会においては、若手音楽家と浜田高等学校吹奏楽部との共演の機会を作るなど、音楽指導技術の向上に尽力した。

②音楽愛好家や音楽活動団体等との交流促進

新型コロナウィルス感染症の影響により、市民参加型の音楽演奏会などの予定している取組が未実施の状況。

③市内の中学校及び高等学校吹奏楽部の演奏技術と指導技術の向上

市内の中学校、高等学校、大学の吹奏楽部の指導を行い、音楽スキルの向上に尽力した。
特に、浜田高等学校吹奏楽部は、昨年に引き続き、県大会において金賞を受賞し、高校魅力化の一助となった。
一方で、新型コロナウィルス感染症の影響により、令和3年度に比べると活動の機会は減少した。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
浜田市定住関係人口推進課
（メールアドレス）teiju@city.hamada.lg.jp
（電話番号）0855-25-9511
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】
藤重佳久のブログ：https://ameblo.jp/fujisige1228/
石見音楽文化振興会HP：https://iwamiongaku.jp/

# 島根県大田市　金田 郁也（かねた ふみや）

**教育・文化**

## 基本情報

【年　齢】
28歳
【出身地】
群馬県高崎市
【転出元】
茨城県つくば市
【前　職】
株式会社JTB
筑波大学大学院の学生
世界遺産専攻 修士課程
【活動時期】
R3.11～（2年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

**●地方への移住、まちづくりに興味があった**
約9年間の東京での学生生活、社会人生活を経て、地方への移住とまちづくりに関わる機会を求めていました。当初は大学院の研究が目的で、中期滞在の予定でしたが、大田市大森町の暮らしに馴染んでいく中で、本格的な移住を決意し、地域おこし協力隊に応募しました。

**●地元の方との接点を持ちたかった**
仕事を通じて、地元の方との密な交流も期待していました。

## 今後の抱負・任期後の目標

●今後の抱負
まだまだ大森町で知らないことが沢山あるので、色々な人と繋がりながら、少しずつ大森町のことを知っていきたいと思っています。特に、この町で生まれ育ってきたご年配の方々に、昔の大森についてお話を聞いてみたいです。

●任期後の目標
まだ何も考えられていません。色々な可能性を探りながら、様々な経験をしていきたいと思います。

## 活動内容

**●地元の高校生とのプロジェクト**

島根県立大田高校と私が所属する筑波大学大学院の研究室を繋ぎ、共同プロジェクトを行っています。世界遺産を舞台に、世界遺産周辺に住む高校生と世界遺産について学ぶ大学院生が相互に学び合う場となっています。
R.4年度は高校生の視点で石見銀山の認知度の現状調査、地元の方や飲食店へのインタビューを踏まえて、石見銀山の魅力をまとめたフリーペーパーを制作します。

**●大学生インターンシップの受け入れ**

大田市をフィールドとした大学生のインターンシップを企画・運営しています。R.4年度は2件（2校）の受入実績です。大田市には多様な産業がある他、歴史や伝統芸能、海・山・川の自然環境など、教育資源に恵まれており、様々なテーマで対応することができます。短期滞在から中長期滞在まで、今後も発展させていく予定です。

**●修学旅行生に向けたプログラム開発**

石見銀山の教育旅行の受け入れ態勢整備や歴史学習だけではない、様々なテーマでプログラムを企画しています。人が住む世界遺産の町であること、今子どもが増えている町であることなど、ここで得られる教訓や学びを基に、講話や町並み案内、熊谷家を拠点にした体験プログラムなどを作っています。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

Instagram　Facebook

# 島根県奥出雲町　坂下　柊

**教育・文化**

## 基本情報

【年　齢】
23歳
【出身地】
岩手県宮古市
【転出元】
島根県仁多郡奥出雲町
【前　職】
なし（新卒のため）
【活動時期】
R4.04～（１年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

私は、大学4年時に教育の道を志し、高校生に伴走したいと考えていました。しかし、教職課程を履修しておらず、学校で働くという選択肢はありませんでした。模索していたところ、友人から高校魅力化プロジェクトを教えてもらい、高校で働くことができる高校魅力化コーディネーターという仕事を知りました。

奥出雲町地域おこし協力隊に応募した決め手は、横田高校が高校魅力化を先駆けた高校であること、説明会で話した協力隊の先輩と働いてみたいと思ったからです。

## 今後の抱負・任期後の目標

任期中は、２つのことに注力したいと考えています。１つは、一人でも多くの生徒の興味・関心を引き出し、伴走することです。もう１つは、横田高校でしかできないこと、学べないことを生み出していくことです。

任期後は、継続的に「人を育てる」ことに関わりたいと思っています。目標は、大学、専門学校、高校などでゼミや授業を持つことです。私と関わる人達が主体的に自分色の人生を歩めるよう、私の経験や学びを還元していきたいです。

## 活動内容

### 地域連携

・高校生の地域活動の情報収集、募集、マッチング
・高校生が制作に関わる『奥出雲ふるさとカレンダー』制作のサポート
・『SHIMANEみらい共創CHALLENGE』の伴走

### 授業の魅力化

・たたら操業の授業を導入（理系科目の教員と授業を企画、運営。１，２年生を対象とし、３回実施）
・１年生のキャリア教育授業『キミチャレ』の企画
・高校魅力化先進校の視察（津和野高校、隠岐島前高校、島根中央高校）

### 広報

・Facebookでの高校の情報発信
・ノベルティを制作
・学校案内パンフレットの制作
・地域みらい留学合同説明会（東京）に参加

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
島根県立横田高校　（電話番号）0854-52-1511

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://www.facebook.com/yokota.dandan（横田高校公式）

# 島根県川本町　波多野　あかり

**教育・文化**

## 基本情報

【年　齢】
33歳
【出身地】
神奈川県横浜市
【転出元】
同上
【前　職】
横浜市職員
【活動時期】
R２.４～
（３年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

青年海外協力隊の同期が住んでいた川本町で、新しく女子高生が滞在する施設ができること、コーディネーターを募集していることを知りました。かつて青年海外協力隊で活動していく中で、高校生との関わりは私にとって「天職」だと感じていた私は実際に町を訪れ、移住を決断しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

【卒業生に「まだいたの？」と言われること】
県立高校は先生方の異動があるので、卒業してから年月が経つと、知っている先生がいらっしゃらないケースがあります。
私はこの町で結婚しました。歳を重ねて子育て等も経験しながら寮で生徒たちをサポートし続け、訪ねてきた卒業生に「おかえり」が言える存在でありたいと思っています。

## 活動内容

**●主役は寮生**

オープンから２年以上過ぎ、高校の先生方と連携し、教育面でのアドバイスもいただきながら、寮生と関わってきました。オープンスクールの案内や月一回の大掃除、クリスマスやハロウィン等、寮生が主役になる場面が増えています。

**●自分を健康にする力を育む**

オープン当初から課題となっていたのが、残飯の多さでした。それをきっかけに、食育をメインテーマとし、講義の開催や調理の方との話し合いをしてきました。今後も、寮生が自分で自分を健康にする育む場所となるよう、引き続き活動します。（写真はひなまつりの特別献立）

**●月一回の大掃除**

大掃除を毎月するのは多いと感じられるでしょうか。「部屋の乱れは心の乱れ」いう言葉があるように、生活している環境を清潔に保つことを大切にしています。また、毎月大掃除をしていく中で、時が経つにつれ当たり前のように協力しあっている寮生の姿は本当にすばらしいと思います。

## 連絡先

# 広島県大崎上島町　神田　瞳

**教育・文化**

## 基本情報

【年　齢】
25 歳
【出身地】
島根県出雲市
【転出元】
島根県出雲市
【前　職】
島根県松江市立女子高等学校　常勤講師
【活動時期】
R2.4～

## 協力隊に応募したきっかけ

前職では教員という立場から教育に関わっていたが、地方で開催されていた教育イベントを通し、地域おこし協力隊制度を利用した「高校魅力化スタッフ」としての教育への関わり方を知る。「地域とともにある教育」を町をあげて実践している土地で、学校の枠を超えた学びのあり方を模索すべく、協力隊へ応募。

## 今後の抱負・任期後の目標

大崎上島町の「町全体をフィールドにした学び」に小学生時代から触れる機会として、食を軸としたプログラム開発を行っていく。また、中高生と共に企画・運営することで、「地域で学び育つ近い世代のロールモデル」としての中高生と小学生の交流機会をつくる。これらを通し、島内進学率上昇・将来の島内人口増加を目指す。

## 活動内容

### ● 大崎海星高校内に設置されている公営塾「神峰学舎」における生徒支援

公営塾では教科講座の実施（数学を担当）や高校教員と連携した個別学習支援を行っている。さらに生徒それぞれが興味関心に沿って立ち上げたプロジェクトを形にし、やり抜くまでの伴走の役割も担う。右写真は、地域の農家の方から「古くなった倉庫を高校生たちにデザインしてもらえないか」という依頼を受け、同校のデザインに興味のある生徒たちと描き上げたものである。このように、地域の方から高校生が挑戦できる機会を提供いただく機会も増えてきている。

### ● 大崎海星高校における「教科横断的な視点を取り入れた授業」の実践

同校には「大崎上島学」と呼ばれる大崎上島町の地域資源を活用し、対話・協働・実践を通して学ぶ総合的な探究の時間がある。この総合的な探究の時間と教科授業の学びをつなぐ、また各教科同士の学びをつなぐ教科横断的な視点を取り入れた授業づくりを高校教員と連携して進めている。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://www.facebook.com/kangaku.osk

# 山口県萩市　原田　透

**教育・文化**

## 基本情報

【年　齢】
42歳
【出身地】
福岡県福岡市
【転出元】
福岡県福岡市
【前　職】
アートディレクター
【活動時期】
R3.4～
（3年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

私の妻がアーティストインレジデンスで萩市に滞在したきっかけから萩市への移住を希望していた。私の海外生活の経験や自身の制作活動を活かして、地域の魅力や新しい発見を発信していきたいと思った為、応募に至った。

＊アーティスト・イン・レジデンスとは、芸術活動を行う人物を一定期間ある土地に 招聘し、その土地に滞在しながら作品制作を行う事業のことです。

## 今後の抱負・任期後の目標

地域の空き店舗、空き家物件などを活用しながら体験できる場所作りとして、作家を受け入れる事のできる施設などハード面の整備（宿泊、制作場所）を進めている。

環境に配慮した生活の体験ができる農泊を提供できるような場所づくりなど、地域資産活用事例を作りながら、継続可能な事業の運営を目指す。

## 活動内容

**●はぎ文化財アート回遊week（アーティストレジデンス）**

文化財施設活用を目指したユニークベニューとして、展示や演出などを実施している。招聘作家の短期滞在「アーティストステイ」では、閑散期の宿泊施設を活用して地域体験（リサーチ）を作り出しながら展示企画を進めた。表現活動の中で長期的に地域の魅力を発信していけるような取り組みを目指している。＊はぎユニークベニュー事例紹介▶萩市HP：
https://www.city.hagi.lg.jp/soshiki/55/h53518.html

**●浜崎旧正月提灯まつり**

萩市の老舗提灯店の提灯を浜崎伝建地区に位置する文化財施設・旧山村家住宅と旧山中家住宅に飾り旧正月をお祝いする企画。萩市では雛祭りなどの行事を旧暦に合わせて祝う習慣があり、明治以前の太陰暦での習慣を呼び起こすような企画となっている。

**●文化財で文化を繋ぐ（萩高版画ワークショップ）**

地域の文化財を知り、地域で活躍する作家と交流することにより、市内高校生が地域を理解し、芸術への知見を深めてもらうことを目的として、市内の学校、文化財施設、作家と連携した現代版浮世絵のワークショップを実施。完成した作品は、萩市文化財施設にて展示され、市内外から多くの方が見に来られた。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）teijyu@city.hagi.lg.jp　（電話番号）0838-25-3360

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（萩市地域おこし協力隊Fb）https://www.facebook.com/hagiokoshikyouryokutai/
（萩市地域おこし協力隊HP）https://www.city.hagi.lg.jp/site/hagitiikiokoshi/

# 徳島県鳴門市　高橋　真冬

**教育・文化**

## 基本情報

【年　齢】
27歳
【出身地】
愛知県豊橋市
【転出元】
愛知県豊橋市
【前　職】
舞台俳優
【活動時期】
R２.４～
（３年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

都会と地方での芸術文化の差を感じ、地方での芸術文化の発展に携わりたかったため。

## 今後の抱負・任期後の目標

今までのキャリアと協力隊で培った人脈を活かし鳴門をエンターテインメント溢れる街にするべく、発想力や企画力を武器に老若男女全ての人が笑顔になれる地域活性事業を展開し、地域・地方を創生するまちづくりに特化した会社を設立予定。
現在立ち上げている一般社団法人TSURIBITOの事業も拡大し、インバウンドや修学旅行生の誘致にも力を入れたい。

## 活動内容

### ●ミュージカルを中心とした舞台芸術活動

ミュージカルを中心とした舞台芸術の花を咲かせるべく、協力隊としてミュージカルスクールを運営し、年に一回から二回公演を行ったり、地域のイベントに出演したりしている。
今年度も2月にオリジナルミュージカル『仕合わせの色』を上演予定。

### ●自然体験活動の実施

【学び】を取り入れた自然体験活動をモットーに、季節ごとのイベントを展開。
椎茸の駒打ち体験・自由研究応援イベント・釣り体験・海岸清掃活動など、他団体とのタイアップイベントも含め年に12回以上イベントを打っている。

### ●演劇教育の推進

演劇教育を学校のカリキュラムに取り入れていただくべく、モニターとして受けていただける市内の学校を巡回しプレゼンを行う。
来年は芸術家派遣事業の実現に向けて準備中。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）narutokyoryokutai2020@gmail.com
（電話番号）070-8366-5442

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

# 愛媛県今治市　古谷　澪

**教育・文化**

## 基本情報

【年　齢】
24歳
【出身地】
香川県高松市→神奈川県横浜市→愛媛県今治市
【転出元】
愛媛県今治市
【前　職】
大学生
【活動時期】
R3.4～
（2年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

県外での大学卒業後の就職において、地元でなにかできることがないか？と自分のやりたいこと・できることを見つけるため

## 今後の抱負・任期後の目標

イラストレーターとして生計を立てたい。
任期後にもこの地域に何年も残るものを残したい。

## 活動内容

**●アイアイ今治Tシャツデザイン**

アイアイ今治のTシャツをデザイン。
今治の特産や名物をイメージしてかわいらしく仕上げました。
今治シティマラソン2022のTシャツも手がけました。

**●子育て支援施設へのイラスト提供**

大西町の子育て支援施設:輪い和い親子広場にイラストを提供しています。
壁面を賑やかに飾ったり、誕生日プレゼント用のカードのデザインもしています。

**●作品展示**

大西支所内で、今までに制作した作品を展示する作品展を行いました。
立ち寄ってくださった方との交流の場にもなりました。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス)sumou@imabari-city.jp
(電話番号)0897-72-8772

# 愛媛県上島町　来住 美里（きし みさと）

**教育・文化**

## 基本情報

【年　齢】
28 歳
【出身地】
神奈川県 横浜市
【転出元】
神奈川県 横浜市
【前　職】
民間企業
【活動時期】
R3.4～
（２年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

- **募集内容に興味を持ったため**
  教育を起点に地方活性化に取り組む『**高校魅力化プロジェクト**』にかねてより関心があり、その一環で自治体が運営している公営塾に勤務したいと思った。
- **瀬戸内海の島暮らしに憧れたため**
  多島美の風景を楽しみたいという思いに加えて、上島町がPRする「日本一便利な離島」に惹かれた。

## 今後の抱負・任期後の目標

**弓削高校魅力化プロジェクトを通じて、地域に学びをひらき、生徒の地域住民のつながりをつくる**

高校は地域になくてはならないものであると同時に、地域も高校の学びの充実化にとってなくてはならないものです。地域と高校がWIN-WINの関係となれるよう、協力隊の立場を活かして活動していきたいと思います。

## 活動内容

**公営塾「ゆめしま未来塾」で、塾のない島の高校生の学びと進路を支える**

上島町にたったひとつの高校、弓削高校には、現在79名の生徒が通っています。そのうち約半数の生徒が公営塾に在籍し、講師のサポートのもと、学校の授業の予習復習や、大学受験・就職試験対策を行っています。教科学習だけでなく、社会で求められる力の育成を目指す授業も積極的に挑戦しています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
MAIL：yumeshima.miraijyuku.hikari@gmail.com
TEL：080-1212-2030

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
ゆめしま未来塾 公式サイト
https://sites.google.com/view/yumeshima-miraijuku/home

# 高知県須崎市　川島 武雄

**教育・文化**

## 基本情報

【年　齢】
49歳
【出身地】
埼玉県　草加市
【転出元】
東京都　台東区
【前　職】
会社役員
【活動時期】
R4．4～
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

転出元にて地域おこしイベントの実行委員長として活動していたが一段落したため、地方の地域おこしに興味をもちました。イベント活動をしている中での経験や人脈を活かしてお役に立てればと思い応募いたしました。

## 今後の抱負・任期後の目標

今後の抱負
地元高校と地域の連携が主なミッションですので、関わった生徒さんが将来、一人でも須崎市の地域おこしに興味を持って活躍したいと思ってもらえるように手助けをしたい。

任期後の目標
東京での人脈を活かし須崎市とつなげるような商売をしたい。

## 活動内容

**●須崎総合高校ひまわりプロジェクト**

集落活動センターと地元高校が連携して、休耕地にヒマワリの種をまく作業の補助をいたしました。

**●「総合的な探求の時間」授業補助活動①**

須崎市を盛り上げることを目的に市内事業所と高校との連携のお手伝いをいたしました。高校生が事業所を訪ね何ができるかをリサーチした際の写真です。

**●「総合的な探求の時間」授業補助活動②**

高校生が須崎市内の美化に協力したいとの相談を受け以前は駅前にあり現在は不要になったベンチをリメイクし公園へ再設置する活動のお手伝いをしました。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）project2@city.susaki.lg.jp　（電話番号）0889-42-1256

# 佐賀県大町町　平井　奏

**教育・文化**

## 基本情報

【年　齢】
28歳
【出身地】
奈良県　奈良市
【転出元】
奈良県　奈良市
【前　職】
事務職
【活動時期】
R元.08～ R5.04
(4年目)

## 協力隊に応募したきっかけ

今までに行ったことのない土地で経験したことのない仕事をしてみたいと思い協力隊を志望しました。
数多くある協力隊のミッションのなかで一番興味のあった子育て支援を行っている自治体を探し、その中で一番規模の小さい自治体が大町町でした。
人口が少なく、規模が小さい町で地域活動を行うことで1人ひとりと丁寧に深い繋がりを作ることができると思い、大町町の協力隊に応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

大町町は児童館や公園といった子どもの居場所がほとんどありません。そのため子育てサークルや大町町の協力隊が共同で運営しているフリースペースPeri.など子どもとその保護者が来ることのできる居場所作りを行ってきました。
今後はこれらの居場所を今まで以上により多くの方にご利用いただけるような環境作りを進めていくとともに、育児について悩みを抱えている保護者が気軽に相談できるような体制作りを行っていきたいと思います。

## 活動内容

**●子育てサークル“ふくふく”**

毎月2回、0歳から3歳の乳幼児を対象として子育てサークルを実施しています。
製作や体育遊びなど毎回違うテーマを用意し、子どもも親も楽しめる子育てサークルを目指しています。
町内外問わず多くの方にご参加いただき、子育ての息抜きの場・輪作りの場となっています。

**●地域交流拠点フリースペースPeri.**

地域の方々のよりどころとなる居場所作りを目的として大町町の協力隊が共同でR3年8月から開設しています。
幅広い年代の方の交流の場としてはもちろん、放課後の小学生の遊び場として毎日多くの子どもたちが遊びに来る居場所となっています。

**●高校生と共同の地域イベントの実施**

“コロナ禍で様々なイベントが中止になって地域での楽しい思い出が作れていない子どもたちのために何かしたい！”という想いを持つ町内の高校生と共同して子ども向けイベントの企画・実施をしています。
高校生が主体となり自由な発想で子どもたちが楽しめるイベントを作るためのサポートを行っています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）oomati.kosodate@gmail.com

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（大町町地域おこし協力隊公式LINEアカウント）

# 長崎県五島市　梅村 功太郎

**教育・文化**

## 基本情報

【年　齢】
24歳
【出身地】
埼玉県　草加市
【転出元】
東京都　立川市
【前　職】
調理職
【活動時期】
R４.２～
（１年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

自然に囲まれた地域にIターンをしたかった。

## 今後の抱負・任期後の目標

多世代交流イベントの活性化や放課後児童クラブ新設など、奈留しまなび舎の活動の幅を広げていく。

任期後は島で事業を立ち上げたい。

## 活動内容

**●離島留学生の寮運営**

奈留高校の存続のため、島外から高校に通いに来る離島留学生を受け入れるための男子寮を運営しています。
中学卒業後、親元を離れて島暮らしをしている高校生たちの自立した生活の支援や心身のケア、島暮らしを一緒に楽しむなどの活動をしています。

**●島の子どもたちのための放課後教室**

島の小学生に向けた宿題・学習支援、中学生の受験勉強の補助などを行います。
月に一度、体験学習として島の資源を生かした“もの作り”や、自然体験、生活体験を通して「生きる力」を身に付ける活動をしています。

**●地域住民の多世代交流**

子どもから地域の大人、お年寄りまでみんなが集い交流ができるイベントや講座、拠点づくりを行っています。
地域のニーズを聞きながら、多くの人が参加できるイベントを企画しています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】　一般社団法人奈留しまなび舎
（メールアドレス）narushimanabiya.goto76@gmail.com
（電話番号）0959-64-4010

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（HP）https://narushimanabikyogi.wixsite.com/my-site
（Instagram）@naru.shimanabiya

# 長崎県小値賀町　囲　幹夫

**教育・文化**

## 基本情報

【年　齢】
57歳
【出身地】
長崎県　大村市
【転出元】
長崎県　長崎市
【前　職】
学習塾経営
【活動時期】
R3.11～
(1年目)

## 協力隊に応募したきっかけ

コロナ禍による経営不振のなか、離婚などを経験して睡眠障害を患ったために転地療法を含めて、決心をしました。16年間学習塾の経営を行っており、思春期の子供たちの成長を見守ってきたので、その世代に対しての事業を探しており、この「ふるさと留学事業」のハウスマスターという職種に出会いました。

## 今後の抱負・任期後の目標

この1年を経過してこの事業の特殊性を痛感しております。離職率が高い部分をいかにクリアして後進を育てていくことが肝要と思います。
個人的には３年後の任用後も継続していく選択肢もありますが、島内で島Caféか古民家活用の事業を始める所存です。

## 活動内容

**●朝食･ランチ担当**

趣味が料理ということもあり、夜勤時には朝食を準備しています。時々には調理人が手配できないこともあり、その場合はランチなどを提供しています。また台風などの緊急時も食事の準備をしています。

**●留学生アクティビティ**

離島という特性もあり、マリンスポーツも盛んなので、夏の体験としてダイビングをしたり、また島で陶芸の窯もあるので、寮生とそれぞれのアクティビティに引率し、体験を共有しています。

**●地域行事への参加**

都会から来ている留学生なので、地域との連携もあって、海岸清掃や餅つき大会など、都会では見慣れない行事にも引率して、積極的に参加しています。

## 連絡先

# 熊本県菊池市　平松　あすか

**教育・文化**

## 基本情報

【年　齢】
48歳
【出身地】
熊本市
【転出元】
熊本市
【活動時期】
R4.4～
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

昨年度菊池高校の授業に外部講師として携わっていました。今年度地域探究コースが新設され、菊池高校の生徒たちともっと関わりたい、今までの経験を活かしたいと思い応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

菊池市には高校が3校あり、それぞれの特色があります。
その特性を活かして、3高校連携でなにかしらのプロジェクトを考えています。
また、小中学校でもキャリア教育支援が出来たらと思っています。
任期後は地域と高校、地域の方々を繋げられるような活動を行っていきたいと思います。

## 活動内容

### 菊池高校「菊高ジャック」

昨年度から開催されている地域を盛り上げるイベントで、少子化問題を考え、高校生が企画した婚活イベント、楽しみながら職業を学べる「キッザニア」を菊池高校バージョンにした「キクザニア」を企画。

### 菊池市役所との連携

菊池高校の地域探究コースの取り組みで菊池市役所の各課の課題を出してもらい、高校生がバーチャル市役所の職員として課題解決をするプロジェクト。
市役所職員にもWSや授業に入ってもらい、今年度中に実現に向けて活動中。

### 九州ドラフト会議参加

移住定住担当の地域おこし協力隊と連携をして、九州ドラフト会議に参加。
高校生にも協力してもらい、菊池市の移住定住を増やす。また、参加することで菊池市のPRにも繋がる。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）hiramathu@miraizlab.com（平松氏の会社）
chiiki@city.kikuchi.lg.jp（菊池市地域振興課）
（電話番号）0968-25-7250 (菊池市地域振興課)

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
菊池市ホームページ、インスタ、フェイスブック

# 熊本県合志市　安在　涉

**教育・文化**

## 基本情報

【年　齢】
２６歳
【出身地】
福岡県福智町
【転出元】
熊本県熊本市
【前　職】
学生
【活動時期】
R2.4～
（３年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

合志マンガミュージアムの館長に地域おこし協力隊として活動してみてはどうかと提案されたことがきっかけです。もともと、学生時代に合志マンガミュージアムでアルバイトをしていた経験もあり、即戦力になるかもしれないと考え、応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

合志マンガミュージアムを単にマンガが読めるだけの場所ではなく、マンガを描くなど…マンガ文化全体を体験できる場所というイメージを定着させたいです。
任期後はこういったマンガ関連事業に貢献できるような活動をやっていけたら良いなと思っています。

## 活動内容

**●マンガ教室の企画・講師**

合志マンガミュージアムの子ども向けPRの為、マンガ教室イベントを企画・講師を担当しています。現在は毎月2回、コロナ禍でも開催可能な安全で楽しめるイベントを企画しています。

**●出張マンガ教室**

地域の放課後等デイサービス・市民センター等の教育関連施設と連携して出張マンガ教室事業も行っています。福祉や教育の分野とコラボレーションしていき、マンガを通した地域連携・活性化を狙っています。

**●ミュージアムの美術業務**

普段はマンガミュージアムのスタッフとして活動しており、主な担当は展示やチラシデザインなどの美術系の業務を担当しています。

## 連絡先

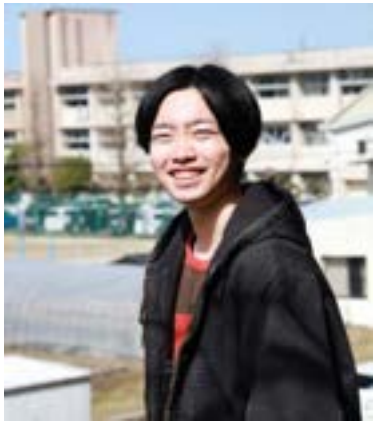
【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス：合志MM）koshimm.info@gmail.com
（電話番号：合志マンガミュージアム）096-273-6766

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Twitter）@Anzai_Manga　（instagram）@anzai_manga_

# 熊本県甲佐町　西田　太陽

**教育・文化**

## 基本情報



【年　齢】
23歳
【出身地】
京都府京都市
【転出元】
京都府京都市
【前　職】
なし
【活動時期】
R3.5～
（2年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

大学時代から先生としてではなく、少し年上の人間として高校生と関わっていたため、仕事でもその経験を活かしたいと思い応募しました。募集情報はIndeedで収集しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

任期後の目標は、具体的にはまだ決まっていませんが、今後の抱負として、生徒に考える場を提供するということと、自分が考え続けることを重点に継続できればと考えています。

## 活動内容

**●公営塾「あゆみ学舎」での学習指導**

県立甲佐高校内に「あゆみ学舎」という公営塾が設置されており、その塾講師をしています。学校の勉強だけではなく、資格取得に向けた支援など、生徒それぞれの目標に応じて幅広く指導を行っています。

**●「だがし屋さん」体験で社会経験の場提供**

学習指導のほかにも、商いの体験や地域住民との交流を目的として、町内で行われる様々なイベントに高校生が行う「だがし屋」として参加しています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）kousakoueijuku@gmail.com
（電話番号）080-2518-4618
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】
https://www.facebook.com/kousa.ayumigakusha/

# 鹿児島県いちき串木野市　後藤 香音

**教育・文化**

## 基本情報

【年　齢】
23歳
【出身地】
東京都中央区
【転出元】
東京都中央区
【前　職】
学生
【活動時期】
R3.4～
（2年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

島津藩と縁のある母校の大学がいちき串木野市と連携・協力に関する協定を結んだことから、卒業生から協力隊が派遣されることになった。応募した決め手は、東京とは全く異なるいちき串木野市の雰囲気（海と山と街の距離が近く、面白いこだわりと熱意をもつ市民によく出会う）に魅力を感じたことと、所属先の企画政策課で自分のもつ英語やプレゼンテーションの能力を活かせると思ったから。

## 今後の抱負・任期後の目標

2年間で様々な活動に挑戦し、自分のできることや市が必要としていることが徐々にわかってきたと感じるので、今後はそれに注力し磨いていきたい。例えば、すでに活用している英語や動画に自然やスポーツなどの新しい要素を加えることで、さらに厚みのある活動をしていきたい。3年目には、今少しずつ取り組み始めている3Dアートや海外販路開拓の事業にも携わりたいと考えている。任期後はどこに住んでいるかまだわからないが、場所を選ばない現在の活動を引き続き行い、いちき串木野市と関わりをもち続けて、市役所と市民に恩返しをしていきたい。

## 活動内容

**●国際交流・多文化共生イベント**

小学校での英会話教室や大人向けの英会話講座など、主に英語を教える活動をしている。令和4年度夏からは、小学生に異文化交流、実験、講義などの多様な学びを提供する一日プログラム「いちき串木野市こども大学」（写真）を実施。他には「日本語サポーター養成講座」や「国際交流パネル展」など。

**●動画で情報発信**

教育委員会から移住者向けPR動画（写真）を依頼されたことがきっかけで、動画を使った情報発信にインパクトがあることが認知され、各課から依頼を受け解説動画を中心に制作。市役所の中で動画編集技術の習得に意欲がある人がいるようなので、職員向けに動画編集講座も行っている。

**●イラスト・デザイン**

前述のイベントで使うチラシ、講座の資料の表紙や挿絵などを作成している。また、市の特産物サワーポメロをモデルにした「探偵ポメロ」というキャラクターを作り、おいしい＆楽しいスポットも紹介。令和4年度は、KKBふるさとCM大賞に応募するために初めてアニメーション（写真）を制作した。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（電話番号）0996-33-5628

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（HP）https://kanongoto.com　　（Instagram）@kanon_goto

# 鹿児島県さつま町　升　澄子

**教育・文化**

## 基本情報

【年　齢】
52歳
【出身地】
東京都八王子市
【転出元】
千葉県船橋市
【前　職】
国税職員
【活動時期】
R４.４月～
（１年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

鹿児島県での生活を視野に、住居を探しにさつま町を訪れていたところ、さつま町役場の職員から「地域おこし協力隊員」として高校魅力化コーディネーターを募集しているので応募してみないかとの声掛けがあった。町HPで活動内容や求める人物像を調べてたところ、自分のこれまでの経験が生かせる、やり甲斐のある仕事であったことから思い切って応募した。

## 今後の抱負・任期後の目標

当面は高校魅力化に繋がる活動に精一杯取組み、地域みらい留学生や本校の生徒たちの高校生活がより充実するように、そして将来この町を担う人材に成長するように、支援をしていきたい。
任期後においても、さつま町で元気に暮らし、地域の支援を必要とする子供たちや高齢者への支援活動をしていきたい。

## 活動内容

**●地域みらい留学365（高２留学）生徒募集活動**

内閣府の「地域みらい留学」（都市部の在籍校と地方の高校とが連携して、高校２年生に１年間地方で学び、都市部ではできないことを経験してもらい関係人口を増やす事業）の採択校として生徒募集のための全国オンライン説明会を開催。
現地での学校見学会では留学を希望する生徒、保護者をアテンド。

**●町や地域、高校での人間関係づくり**

町（行政）と地域（住民）、高校（生徒・教師）の、各方面で人間関係を築きながら、自分のすべきこと、求められていること、したいことを一つずつ周囲を巻き込み実現。

**●HPやFacebook等のSNSを活用した情報発信**

高校HP上でのブログを、より多くの人の目に触れ知名度を上げることを目的に、高校のＦＢアカウントでも発信することにした。
また、協力隊のアカウントでは【高校魅力化コーディネーター】としてブログとは少し角度を変えて学校の魅力を発信中。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）satsumacho.coordinator@gmail.com
（電話番号）0996-53-1111

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Facebook）https://www.facebook.com/satsumachiikiokoshi

# 鹿児島県湧水町　前田　千嘉

**教育・文化**

## 基本情報

【年　齢】
27歳
【出身地】
鹿児島県　姶良市
【転出元】
京都府　京都市
【前　職】
西陣織織元での販売
【活動時期】
R2.4～R5.3

## 協力隊に応募したきっかけ

地元からも近く、本町にある屋外美術館「霧島アートの森」には何度も訪れたことがあり、縁がある土地だったことと、大学まで美術を学んでいた経験から、ミッションである「芸術がある町」まちづくり事業での町おこしに興味を持ったため。

## 今後の抱負・任期後の目標

芸術家としての作家活動をする予定はなく、本町で就職したいと思います。

## 活動内容

**●町内アート作品のマップ作成**

町内各地に設置しているアート作品をまとめたアートマップを作成しました。インターネット上のマップ作成サービスを利用し、QRコードを読み込めば現在地と連動するアートマップを閲覧することもできます。
（URL:https://stroly.com/viewer/1611895367）

**●町内施設等でのアートワークショップ**

町内の子育て支援センターや幼稚園、学童などに赴き、ものづくりワークショップを行いました。幼児向けの積み木やお正月用のしめ縄飾りなどを一緒に制作しました。

**●棚田での田んぼアート**

同町協力隊員が耕作放棄地だった棚田での稲作に取り組んでおり、その棚田で本町初の「田んぼアート」を試みました。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）ijyuu@town.yusui.kagoshima.jp
（電話番号）0995-74-3111

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）湧水町 地域おこし協力隊　@yusui_chiikiokoshi

# 鹿児島県大崎町　元　郁美

**教育・文化**

## 基本情報

【年　齢】
44歳

【出身地】
鹿児島県

【転出元】
宮崎県宮崎市

【活動時期】
Ｒ４．４～
（１年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

大崎町に外国人が増えていること、多文化共生に向けた取り組みを進めていることを知り、これまでの経験が活かせるのではと思い応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

大崎町に住んでいる外国人と、町内の日本人が共に楽しく幸せに暮らしていけるような町づくりを目標としています。また、大崎町の子供たちに、広い視野を持ってもらえるような取り組みを行っていきたいです。後々は、大崎町に国際交流の拠点を作りあげていけたらいいなと思っています。

## 活動内容

### ●異文化クイズ

町内の小学生向けに、これまで訪れた海外の国々の紹介や、異文化理解をクイズ形式にして実施した。小学生１～６年生まで20名程の参加者だったが、『世界のことが知れてよかった』『文化の違いにびっくりした』『海外に行ってみたい』等、子供たちが楽しんでくれてとてもよいイベントとなった。

### ●日本語教室のサポート

鹿児島大学と連携して町内で行っている日本語教室のサポート業務に取り組んできた。
外国人の方々からは、日本語を学ぶだけではなく、町内の日本人と接する良い機会だという声も聞けてこれからの多文化共生の取り組みに向けての大変価値のあるものとなった。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】

大崎町役場　企画政策課

（電話番号）099-476-1111

# 12 スポーツ

# 北海道夕張市　竹部　玲央那（たけべ　れおな）

スポーツ

## 基本情報

【年　齢】
21歳
【出身地】
北海道　札幌市
【転出元】
北海道　札幌市
【前　職】
専門学生
【活動時期】
R4.5～
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

自身のスポーツだけでなく資格を生かし地域の方々に知ってもらいたいと思い応募しました。
　募集情報は専門学校の先生から教えていただき情報を得ました。

## 今後の抱負・任期後の目標

今後は夕張市でスポーツやピラティスなどの資格を生かして子供から高齢者多世代にスポーツ、栄養、運動、姿勢改善の指導をしていきたいです。また、今年は地域おこしに入った方とも交流を深めてステップアップしていけたらなと思います。

## 活動内容

**●夕張市内のイベントの補助**

1. 市民学習講座　（6/19）
2. 第一回バリバリメロンラン　（7/3）
3. 小学校高学年クイズラリー　（7/10）
4. ブックフェスティバル　（7/21）
5. 朝活キッズ　（8/2）

**●夕張市外イベント参加**

夕張全体のスポーツ活動向上のため、実際に札幌で小学生向けの新体力テストの研修を体験してきました。現在、小学生の肥満度上昇が進んできている中でどんなことができるかそしてその経験を子供から高齢者多世代に発信していくか学んできました。

**●ユるっとゆうばりスポーツクラブ**

ボクシングクラブ、ピンバドミニバレークラブ
剣道クラブ、文スポ・りすた楽々運動教室
ノルディックウォーキングクラブ
ランニングクラブがあり、11月にはミニバレーボール大会があり日々スポーツを楽しんでいます。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）　r-takebe@yubari-sports.org
（電話番号）　0123-56-6046

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

# 北海道岩見沢市　瀬尾　洋裕

**スポーツ**

## 基本情報

【年　齢】
26歳
【出身地】
茨城県ひたちなか市
【転出元】
北海道札幌市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R2.5～(3年目)

## 協力隊に応募したきっかけ

北海道教育大学岩見沢校の大学院に進学することが決まり、サイクルスポーツがどのように地域の役に立てるのか研究をしようと考えており、その矢先に岩見沢市地域おこし推進員の募集を知り、自分の研究を地域の役に立てたいと考え、応募することにした。

## 今後の抱負・任期後の目標

BMXコースの改良、自転車イベントの開催を進めていくとともに、地域の文化としてサイクルスポーツを定着させていきたい。

最終的には岩見沢市に定住し、施設運営・イベント企画・自転車教室の開講を行っていきたい。

## 活動内容

**●地域に自転車の遊び場をつくる**

岩見沢市毛陽地区において、ＢＭＸ用遊戯コース「ルコチパーク」の造成を行った。

近隣の農家から重機を貸してもらったり、工事現場から残土を提供してもらったりと、多くの方の協力によって完成した。

**●習い事として自転車を**

造成したコースにおいて、会員制自転車教室を開講し、地域の子ども達を中心に指導を行った。

子どもの練度に応じた受講プログラムの作成や、月に1回程度のプロライダーによるレッスン等を実施している。

**●自転車競技の普及へ**

自転車教室のスクール生だけでなく、地域外からも参加者を募り、レースイベントを開催した。

他にも、地域の飲食店と連携したイベントの企画や小学校の体育の授業において児童に自転車競技を指導するなど、自転車競技の普及に取組んでいる。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
岩見沢市企画財政部企画室　TEL:0126-35-4834
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】
■Instagram（@iwamizawa_life）
■Instagram（@iwamizawa_grashi）
■Facebook（ルコチパーク）
https://m.facebook.com/profile.php?id=100043321041824

# 北海道北見市　上地　雄大

**スポーツ**

## 基本情報

【年　齢】
26歳
【出身地】
沖縄県那覇市
【転出元】
東京都大田区
【前　職】
会社員
【活動時期】
R3.8～
(2年目)

## 協力隊に応募したきっかけ

北海道北見市は、日本で唯一カーリングホールが2つある自治体であり、多くのオリンピック選手を輩出してきました。そんなカーリングという競技は、年齢・性別関係なく誰でもできるスポーツです。カーリングを地域資源として活用するために、もっとカーリングというスポーツを北見市や全国の皆さんに知ってもらいたいと思い応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

北見市民の一人でも多くの方々にカーリングをプレーしてもらえるように、教室・体験会の企画とSNSを使った情報発信をしていきたいです。
任期後もカーリングの普及活動をし、「北見市と言えばカーリング」と言われるように頑張りたいです。

## 活動内容

### ●教室・体験会の企画、運営

小学生や親子などを対象としたカーリング教室・体験会の企画や運営、指導補助をしています。
様々な人にカーリングを体験してもらうため、幅広い年代に向けた教室・体験会を開催しています。

### ●SNSでの普及活動

カーリングサポート隊のインスタグラムやFacebook、webサイトの「北見市カーリングナビ」で北見市のカーリングチームや北見市で行われた大会の様子などを発信しています。

### ●『めんそ～れ～』の発行

「北見市にはカーリングがある」と市民ひとりひとりに思っていただけるよう、北見市のカーリング情報を掲載した、フリーペーパー『めんそ～れ～』を発行しています。カーリングのことがあまりわからない方でも読みやすいように作成しています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）yudai.uechi@city.kitami.lg.jp
（電話番号）0157-33-1842
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
インスタグラム Facebook 北見市カーリングナビ

# 北海道喜茂別町　金野　健司

スポーツ

## 基本情報

【年　齢】
４７歳
【出身地】
北海道北見市
【転出元】
北海道札幌市
【前　職】
会社員
【活動時期】
Ｒ３.３～
（２年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

所属している野球チーム(女子硬式野球:ホーネッツレディース)の監督から協力隊を募集しているという情報を聞き、自分の持っている技術と経験が生かせると思い、応募することにしました。

## 今後の抱負・任期後の目標

喜茂別産の木材を使った野球用バットを作成すること。
任期後は喜茂別町内にバット工房を作りたいと考えています。

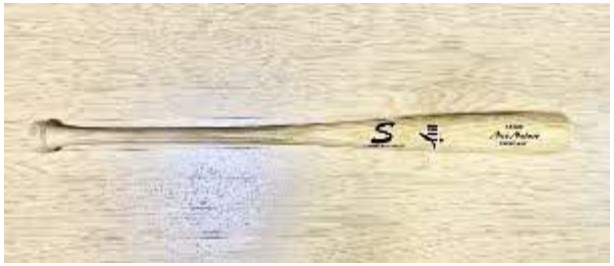
## 活動内容

**●スポーツ（主に女子野球）による交流活動**

全日本女子野球連盟と協定を結び、「女子野球タウン」に認定された喜茂別町で女子野球チーム「ホーネッツ・レディース」の監督を務めながら女子野球と町のPRや交流活動を行っています。

**●町の特産品の企画開発および製作**

前職の経験を活かし、本格的な木製バットをはじめとした、町の特産品開発に取り組んでいます。
バットはふるさと納税の返礼品としても取り扱われ、注目を集めています。



## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（電話番号）0136-33-2211

# 北海道比布町　藤本　隆靖

**スポーツ**

## 基本情報

【年　齢】
42歳
【出身地】
北海道札幌市
【転出元】
北海道札幌市
【前　職】
会社役員
【活動時期】
Ｒ２.８～
（３年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

比布町と包括連携協定を結んでいる（株）ヴォレアスより、現在町から委託を受けている業務について募集しているとの情報があり、それに賛同して応募。

## 今後の抱負・任期後の目標

「運動と食による脳の活性化事業」（通称：ピピカツ）を町のプロジェクトとしてテーマを掲げ、リーダーとして今後活動していきます。幼児、小学生、中学生、大人、高齢者の全領域に対して、運動の良さを感じてもらいながら、脳の活性化、そして身体をつくる食に興味をもってもらい、生涯健康で暮らせる町づくりの中心事業になれるよう、組み立てたいと思います。また、これから活躍できる協力隊の組織、役割を明確にし、より活発な活動ができるよう、仕組みを作りたいと考えています。脳の活性化の検証もできるように、高齢者の認知症予防にも役立てていけるよう、研究もしていきたいと考えています。

## 活動内容

**●健康講演会**

『「食う」「寝る」「遊ぶ」をグレードアップさせるセミナー』と題して、フリーアナウンサーの佐藤麻美さんと一緒に講演。
食事や睡眠、遊び（運動）を通して、健康になるために専門的な見地から町民の皆さんに向けてお話しました。

**●運動教室**

幼児から義務教育課程の９年生まで、さまざまな動きを通して、身体・運動機能の向上を目指し、楽しく体を動かして運動の良さを感じてもらう教室です。保護者向けのヨガ教室なども実施したほか、高齢者向けの体操教室での講話も行っています。各年代別で運動を行っています。

**●ビジョントレーニングシステムの導入**

「運動と食による脳の活性化事業」（通称：ピピカツ）の一環として、脳の活性化にも着目。働き世代の運動プログラム構築のため、町職員を対象としたメディカルフィットネスのモデル事業を開始した中で、ビジョントレーニングシステムを導入し、運動前後の脳の働き方もチェックしています。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

# 山形県大石田町　大橋　武司

スポーツ

## 基本情報

【年　齢】
32歳
【出身地】
愛知県武豊町
【転出元】
東京都世田谷区
【前　職】
フリーランスアーティスト
【活動時期】
R4.6～
（2年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

新型コロナウィルスの影響で東京での活動が、期待していたものと変わったため。

## 今後の抱負・任期後の目標

ダンスを軸にしたパフォーミングアーツを活用した、関係人口増加による町の活性化と、新たなアーティストの育成。アートを楽しめる土壌作り。大石田AIRを日本を代表するパフォーミングアーツのレジデンスとして認知されるようにする。任期後は一つの拠点として大石田と関わりながら、世界中で活動を続ける。

## 活動内容

**●大石田AIR**

アーティストを町に招聘し滞在制作をともにし、大石田にまつわる新たな作品を制作し、発表していく取り組み。各シーズンで2組ほどのアーティストが滞在している。

**●スポーツクラブ**

町の運営するスポーツクラブのイベントや、会員数増加のためのアップデートなどを行っている。テコ入れの結果、1年で49名の会員数が102名に増えた。

**●廃校や町施設の活用**

廃校になった施設をパフォーマンスに使えるように掃除したり、展示室にしたりしている。人が交流する場を増やし、建物を活用することで、町を守っていく。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（電話番号）0237-35-2094

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（instagram）　oishidaair

# 茨城県笠間市　大島　実

スポーツ

## 基本情報

【年　齢】
44歳
【出身地】
東京都練馬区
【転出元】
東京都東大和市
【前　職】
自転車店／病院勤務
【活動時期】
R３.６～

## 協力隊に応募したきっかけ

自宅を利用し、スポーツ自転車業（カスタム、トレーニング指導、スクールなど）を行っていました。

前々から郊外に拠点を持ちたいと思っていたところ、コロナ禍でイベントなどを開催できなくなったタイミングで知人から笠間市でアーバンスポーツに係る地域おこし協力隊の募集をしていると聞き応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

私が協力隊活動中に施工したBMXトレイルコースでの体験会、スクール、地域クラブの設立、自然教室などを事業化し、笠間市でアーバンスポーツが根付くように、市と連携した活動を行っていきます。

## 活動内容

**●BMXトレイル（HILLS OF ART TRAILS）**

・笠間芸術の森公園の未利用地で、BMXトレイルコースの施工、管理、運営をしています。
・BMXトレイルライディングを通じて、利用者に楽しみながらスキルを磨いてもらい、有志の方と林の管理、自然観察などを行い、荒れた林の有効利用の１モデルとして展開しています。

**●田舎暮らしを体験し、発信する。**

高校生までのボーイスカウトでの野営経験に加え、４年前から野菜づくりなどを勉強してきました。
現在は庭を畑にし野菜づくりを実践したり、笠間で知り合いになった方の田んぼを手伝ったりしており、田舎暮らしを楽しみながら発信しています。

**●スケートパークでの活動**

・笠間芸術の森公園内のスケートパーク「ムラサキパークかさま」でBMXスクール講師とパーク運営補助を行っています。
・市内施設での体験会などで「ムラサキパークかさま」でBMXを始めたライダーたちと共にデモンストレーションなどを行っています。
・パーク外で行なう催し物に使うためのセクションも制作し活用しています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）lehighdistro@hotmail.com
（電話番号）050-5471-3825

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（instagram）
https://www.instagram.com/hillsofarttrailskasama/?r=nametag

# 茨城県稲敷市　土井畑　幸一郎

**スポーツ**

## 基本情報

【年　齢】
33歳
【出身地】
大阪府河内長野市
【転出元】
大阪府河内長野市
【前　職】
特別支援学校常勤講師
【活動時期】
Ｒ２.４～
（３年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

トランポリンというスポーツに子どもの頃から親しんでおり、トランポリンを仕事にしたいという思いがあった。2019年いきいき茨城ゆめ国体では、初めてトランポリン競技が正式種目として採用され、市内にトランポリン環境が揃った。そして、その国体終了後も、レガシーとしてトランポリン活動の普及・発展を担う地域おこし協力隊が募集されていると知り応募した。

## 今後の抱負・任期後の目標

地域おこし協力隊活動中に、トランポリンを主軸にした総合型地域スポーツクラブの設立をしようと腹を括った。令和４年に一般社団法人を設立し、５月に総合型地域スポーツクラブの認定を受けた。今後は、稲敷市を中心に、Sport for Allを掲げ、生涯スポーツ実施率の向上を目指し、設立したクラブの事業を行っていきたいと考えている。

## 活動内容

**●にぎやか公園作戦**

新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中、スポーツ庁は家族単位で、屋外スポーツを楽しむことを推奨していた。そこで、毎週日曜日の午後に、地域の公園にてスポーツグッズを貸し出し、家族の余暇とスポーツ実施を支援する活動を行った。

**●一般社団法人スポーツプロモーションいばらき**

令和４年４月１日に、トランポリン教室や生涯スポーツ教室を主催するスポーツクラブの法人化を行った。現在は、総合型地域スポーツクラブとしてスポーツ教室や健康運動教室、スポーツイベントの実施などを行っている。地域おこし協力隊としては主にバックオフィス業務を行っている。

**●稲敷市民のスポーツ実施に関する調査**

大学時代に学んだ統計分析やアンケート調査の知識・技術を使い、稲敷市内のスポーツに関するアンケート調査を２回実施した。これらの結果について集計・分析し、市のスポーツ実施の実態を把握するとともに、スポーツ振興課長や教育長に結果を説明し、市のスポーツに関する現状と課題を共有した。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）クラブ：sport.promo.ibaraki@gmail.com
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）https://www.instagram.com/doihata_inashiki_tr
（クラブHP） https://sites.google.com/view/sport-promotion-il

# 新潟県三条市　石田　太志

スポーツ

## 基本情報

【年　齢】
38歳
【出身地】
神奈川県横浜市
【転出元】
神奈川県横浜市
【前　職】
自営業
【活動時期】
Ｒ２．４～
（３年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

三条市に来る前は、プロフットバッグプレイヤーとして、大会に出場するほか、全国各地のイベント出演や講演会を行ってきました。
フットバッグは、リハビリトレーニングとして発祥したものなので、子ども達の運動機能向上、高齢者の方々へのリハビリ、また健康予防としても効果的です。
三条市下田地域における少子高齢化の現状をお聞きし、自分の技能を住人の方々のために活かせるのではないかと考えたからです。

## 今後の抱負・任期後の目標

任期も残り半年を切り、新潟県内でも多くの活動を行うことができています。それでも新潟県内でまだまだフットバッグをご存知でない方は多いですし、まだ行けていない学校も多くありますので今後も地道にフットバッグを伝える活動を行いながら、子ども達の運動機能向上に寄与したり、自分が行ってきた事をキャリア教育などの講演を通して多くの方々に挑戦する事と継続する事の大切さをお伝えしていきたいと考えています。

## 活動内容

**●学校での巡回指導**

三条市下田地域の小学校を中心に体育の授業を受け持っています。小学校の体育の種目となっているサッカーと、学校側からのご依頼でフットバッグを並行して教えています。学校だけでなく、高齢者の方へリハビリとしての指導を行わせていただく事もあります。

**●イベント出演**

下田地域で行われるイベントを中心にフットバッグのパフォーマンス出演を行っています。
多くの場合、体験型イベントとしてパフォーマンス後に観覧いただいた方々にフットバッグの体験をしていただいています。

**●大会出場**

選手としての成績向上を目指すことに加え、結果を残す事で、三条市のPRにも繋がると考えておりますので、全国大会、世界大会に毎年出場を続けています。
全国大会は任期中に3連覇、世界大会は最高位4位を記録し、新潟県庁にてギネス世界記録を達成しました。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Facebook https://www.facebook.com/taishifootbag

# 新潟県加茂市　松本 悠雅

**スポーツ**

## 基本情報

【年　齢】
23歳
【出身地】
大阪府大阪市
【転出元】
東京都墨田区
【前　職】
営業職
【活動時期】
R4.1～
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

大学時代に加茂市に住んでおり、加茂市の自然豊かなところや、当時関わってくださった方々の人柄に惹かれ、加茂市のそのような環境で暮らしたいと考えたため。

## 今後の抱負・任期後の目標

運動教室を増やしていき、定期開催できるようにしていきたい。
また、メディアに出て、自分の活動や加茂市の魅力を発信したい。

任期後は、スポーツクラブ、スポーツ施設などを立ち上げたい。

## 活動内容

**●健康運動教室**

30代～50代向けに行った運動教室。
会場が体操トレーニングセンターのため、ストレッチやトレーニングだけでなく、トランポリンや平均台など体操競技の器具も使用したプログラムで行った。

**●短期体操教室**

夏休み期間に年長～小学6年生を対象に行った。
ゆかの前回りや鉄棒の逆上がりといった基本コースと、ゆかのバク転や鉄棒の後ろ回りといった応用コースの2つを用意した。
子どもも保護者の方からもまた次も期待していただけた教室だった。

**●イベント・祭り・指導**

4月～5月に雪椿祭りのアンバサダーや、出身大学の取材、テレビ取材も受けさせていただいた。
地域へ派遣依頼を受けたり、市の健康事業にも携わっている。
また体操トレーニングセンターの施設も管理しているため、利用団体である加茂体操クラブの選手に指導もしている。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）y.matsumoto@city.kamo.niigata.jp
（電話番号）0256-53-2206

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）yuuga.gym_kamo
（Facebook）https://www.facebook.com/yuuga.gymnastics

YUUGA.GYM_KAMO

# 静岡県藤枝市　三野　玄太（さんの　げんた）

**スポーツ**

## 基本情報

【年　齢】
３４歳
【出身地】
京都府　京都市
【転出元】
静岡県　静岡市
【前　職】
内装業
【活動時期】
R1.10～R4.9

## 協力隊に応募したきっかけ

サッカーを始めたきっかけが静岡県出身の親戚の影響でした。ゆかりのある地域でのまちづくりにこれまでの京都でのサッカー指導経験や人材訓練等で学んだ観光分野での知識を活かせると思い応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

サッカーのまち藤枝を更に盛り上げ、魅力を発信し、藤枝市のファンを全国に留まらず、世界に増やしていきたいです。

## 活動内容

**●藤枝独自の女子サッカーの環境づくりに関すること**

・誰もが気軽にサッカーを楽しめる機会の創出
・世界で活躍できるトップアスリートの育成
・女子サッカー選手等の雇用先確保に関すること

**●藤枝ＭＹＦＣとの協働による地域活性化に関すること**

SNS、市役所庁舎内における試合開催告知、試合結果等の情報発信

**●その他、サッカーを核としたまちづくりに関すること**

藤枝市内のサッカーに関する名所や施設、お土産等をまとめた「蹴球都市ふじえだサッカーマップ」を作成、活用

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Twitterアカウント　@ShukyuFujieda11

# 静岡県藤枝市　山田 聖乃（やまだ まさの）

スポーツ

## 基本情報

【年　齢】
23歳
【出身地】
静岡県藤枝市
【転出元】
愛知県名古屋市
【前　職】
学生
【活動時期】
R3.3～
（３年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

・生まれ育った藤枝で、サッカーに関わる仕事に就き、女子サッカーだけでなく藤枝のサッカーを盛り上げていきたいと思い応募しました。

・藤枝で生まれ育ってきましたが、藤枝のことをよく知らないことに気づきました。サッカーだけではなく、地域の方々と関わり楽しいイベントとしたいと思いました。

## 今後の抱負・任期後の目標

・多くの方にサッカーの楽しさや、女子サッカーの良さを伝えていけるように、楽しい練習や地域の方々と関われるイベントを考えていきたいです。

・任期後はサッカーに限らず、地域おこしで学んだことを活かした仕事に就きたいです。

## 活動内容

**●巡回広場**

市内保育園、幼稚園、こども園、放課後デイサービスを対象にサッカーの楽しさを知ってもらいたいという思いから、訪問サッカー教室をしています。
単発の開催から定期的な開催まで多くの園で開催させていただいています。

**●藤枝なでしこアカデミー**

競技志向の小学4年生から高校3年生までの女子を対象としたサッカー教室です。2年前から食事トレーニングも取り入れています。
プレーヤーとしても、人間としても成長できる環境を作っています。

**●イベントの参加**

市内地域おこし協力隊員や地域の方々のイベントに参加しています。
サッカー教室や楽しいサッカーゲームを用意しています。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
・Instagram①藤枝なでしこシャインプロジェクト ①　②
②山田　まさの

# 静岡県藤枝市　杉山 祐香（すぎやま ゆか）

**スポーツ**

## 基本情報

【年　齢】
34歳
【出身地】
静岡県静岡市
【転出元】
静岡県静岡市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R4.5～
（２年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

・２０年以上現役選手としてサッカーを続けてきて、その経験を活かせる仕事がないか探していたところ、知人から地域おこし協力隊の話をもらい、この仕事なら今までの経験を活かして働けると思い、志願しました。

・高校時代にお世話になった地である藤枝で、今以上にサッカーを盛り上げて、恩返しがしたいと思いました。

## 今後の抱負・任期後の目標

・サッカーボールを触る機会、サッカーに興味を持つきっかけを作っていくことが、サッカーを核としたまちづくりに繋がると思っているので、そういったイベントの企画や、地域のイベントへの参加を通して、市民の方々との交流を増やしていきたいです。

・任期後も、それまでの経験や繋がりを活かして働きたいと考えているので、任期中からサッカーの枠にとどまらず、様々なジャンルの方と関わっていきたいです。

## 活動内容

**●藤枝なでしこ広場**

毎月第１・第３土曜日に、３歳の女の子から大人の女性を対象にしたサッカー教室を実施しています。また、なでしこ広場に参加できない子供たちのために、市内の保育園や幼稚園などでも、巡回広場という形で、サッカーボールに触れる機会を作る活動をしています。

**●大人なでしこプラス**

競技サッカーを引退した選手や、ライフステージが変わり、サッカーをする機会が減ってしまった女性のために、毎週水曜日に大人なでしこプラスという形で、サッカー経験者のためのサッカー広場を開催しています。何歳になっても、女性が楽しくボールを蹴れる環境づくりを目的に活動しています。

**●地域イベントへの参加**

多くの方がサッカーに触れる機会を作るため、市内で開催されるイベントに参加し、ボールを使った簡単なゲームなどで、地域の方々との交流の場を設けています。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
・Instagram①藤枝なでしこシャインプロジェクト ①
②杉山祐香 ②

FUJIEDA_NADESHIKO

YUCCA20220501

# 静岡県下田市　山口　智史

**スポーツ**

## 基本情報

【年　齢】
39歳
【出身地】
東京都世田谷区
【転出元】
神奈川県鎌倉市
【前　職】
東京消防庁消防吏員
【活動時期】
Ｒ３．７．１～
（２年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

2002年から下田でライフセービングを行っており、サーフィン、シーカヤック目的としても下田の海に通っていた。市内の知人から地域おこし協力隊の募集を聞き、マッチすると考え応募した。水泳、サーフィン、シーカヤック、登山等、様々なアクティビティを経験しており、経験が役に立てると考えた。

## 今後の抱負・任期後の目標

下田のアウトドアフィールドの価値の向上
誰もが安心して楽しめる海づくり
山林部、利用されていない施設の利用促進
ライフガードの年間運用による移住促進

## 活動内容

**●イベント誘致、企画、協力**

パラスポーツを含む、愛好家レベルから競技者レベルまでのスポーツイベントや合宿の誘致。地域スポーツイベントの企画。全日本選手権、世界選手権選考会等の誘致活動。

**●海岸利用の促進**

海水浴場の認定取得等による利用価値の向上。海の利用を通じたSDGsの達成に向けての活動。静岡県過疎地域等政策支援員として海岸利用促進についての実証実験も行なっている。

**●地域教育との連携**

地域の小中高生への、海岸利用の安全教育や環境教育。下田中学校サーフィン部での部活動指導員として、トレーニングと安全管理指導を行なっている。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
Instagram:
@satc.skyfall（個人）
@shimoda_sportspromotion（スポーツ振興隊員と共用）

# 静岡県下田市　蒔田　俊史

**スポーツ**

## 基本情報

【年　齢】
47歳
【出身地】
埼玉県さいたま市
【転出元】
埼玉県さいたま市
【前　職】
トライアスロン専門店店長
【活動時期】
R3.7.1～

## 協力隊に応募したきっかけ

下田市へ移住し、自分のお店を起業したいと自治体や地元商工会議所に相談していたところ、自治体からの案内を受け応募

## 今後の抱負・任期後の目標

下田市ならではのスポーツイベントの開催。スポーツを文化として定着させるべく、地元の皆さんへ幅広くスポーツに接する機会を設け、できることからコツコツと。
任期後は下田市でサイクルカフェを起業予定。

## 活動内容

**●スポーツ合宿誘致**

下田の自然環境を活かしたスポーツの合宿誘致活動。また合宿時の指導も担当。
特に自身の強みであるトライアスロン合宿を積極的に実施。首都圏のトライアスロンスクールやチームを中心に下田に宿泊してのトレーニングプランを要望にあわせて作成し、指導。

**●地域の小学校 総合学習授業**

地元地域の小学生を対象に、総合学習授業の一環として『下田の魅力を考えよう！』を実施。
“人に興味をもってもらうには？”をテーマに実際にトライアスロンを体験。

**●スポーツイベント企画・運営**

下田の自然を活かしたスポーツイベントの企画・運営。市民向け（在住者）トレーニング教室やイベントの実施。また市外からの誘客を見込んだ継続性のあるイベントの企画・運営。
（写真は、地元外国籍居住者とのウクライナチャリティーイベントの模様。寄付金総額110万円）

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（職場 ・ 敷根公園屋内プール　0558-23-6333）
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】
Instagram：shimoda_sportspromotion

# 岡山県瀬戸内市　土井畑　優（どいはた　ゆう）

**スポーツ**

## 基本情報

【年　齢】
26歳
【出身地】
大阪府　堺市
【転出元】
岡山県　岡山市
【前　職】
会社員（スポーツ部門）
【活動時期】
R4.6～
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

幼少期の頃から様々なスポーツに携わってきました。前職では民間企業にて幼児向けの運動教室、児童向けのティーボール教室運営やスポーツ指導を行って参りました。
幼児期や児童期の運動活動は、心身の発育にとって非常に大切な経験であると考えます。年齢を問わず地域の皆様とスポーツや運動を通して関わり合うことで、瀬戸内市の更なる発展や活性化に貢献したいと考え応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

令和4年度に女子硬式野球チーム「瀬戸内ブルーシャインズ」が発足しました。このチームは、地域社会に支えられ、応援され、愛していただいた上で成り立つチームです。
“野球ができること”に感謝の気持ちを忘れず、地域社会への貢献活動を通じて少しでも皆様に“恩返し”ができるような、そんな取り組みを行って参ります。
ブルーシャインズが単なる野球チームではなく、人と人を繋ぐ架け橋になれるよう、地域社会に元気とパワーを与えられる存在になれるよう、活動していきます。

## 活動内容

### ●瀬戸内ブルーシャインズのチーム運営

岡山県の学芸館高校や環太平洋大学の女子硬式野球部は、全国大会で好成績を収めているものの、卒業後に野球を続ける場が少ない状況です。こうした選手の受け皿となるチームを運営し、瀬戸内市への移住・定住・就業支援を行います。また、元気な若手選手の力で、地域の様々なイベントに協力します。

### ●スポーツを通じた学校教育活動の支援

地域の子どもたちが体を動かすことの楽しさを実感するとともに、正しい運動方法が身に付くよう、小学校への訪問を行い、ウォーミングアップの運動、ソフトボール投げ、ハードルについて指導を交えた交流をしています。最近では、美和小学校の5・6年生を対象とした指導を行いました。

### ●スポーツ施設の有効活用

瀬戸内市は、平成16年に牛窓町・邑久町・長船町が合併し、スポーツ施設も旧町規模のものが点在しています。瀬戸内市邑久スポーツ公園野球場をはじめとした各スポーツ施設を活発に利用し、得意の野球を生かしたスポーツイベントを実施していきます。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

ブルーシャインズSNS関連

https://lit.link/setouchsports
→地域おこし協力隊関連SNSリンク

# 高知県香南市　岡田　暁

**スポーツ**

## 基本情報

【年　齢】
26歳
【出身地】
大阪府　吹田市
【転出元】
兵庫県　尼崎市
【前　職】
教員
【活動時期】
R４.6～
(1年目)

## 協力隊に応募したきっかけ

大学生活を高知県で過ごし、自然が身近にある生活や、高知県民のおおらかな人柄に魅力を感じていたから。
特に太平洋の景色が好きで、海の近くで生活し、海の魅力を伝える香南市の取り組みに携わりたいと感じたから。

## 今後の抱負・任期後の目標

地域起こし協力隊として、海やマリンスポーツに関する知識や技能を深めて、海の魅力をよりたくさんの人に感じてもらう。そのために、地域の方と関わりながら、多くの方に応援してもらえるような企画をしていく。
任期後の仕事は、具体的には決まっていないが、今までのノウハウを活かして、楽しく、人のためになる仕事をしたい。

## 活動内容

**●マリンスポーツ体験**

一般の方を対象にSUP・カヤック・ヨットのマリンスポーツ体験をしている。初めての方でも安心して楽しめるように心がけている。また、学校や障がいのある方など団体での体験もサポートしている。

**●SUP　CAFE体験**

SUPの上で机と椅子とパラソルを設置し、海の上でCAFÉのようなゆっくりできる場所を提供。非日常的な体験で、たくさんの方が満足されている。

**●SUP＆フライングディスク体験**

SUPとフライングディスクがコラボした企画。小さな子どもから高齢の方、ハンデのあるなし関係なく幅広く体験できる。SUPに乗ってフライングディスクゴルフをする海上フライングディスクも実施。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）shougai@city.kochi-konan.lg.jp
（電話番号）0887-50-3022
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://www.instagram.com/konan_city_kyouryokutai/
https://www.city.kochi-konan.lg.jp/

# 佐賀県武雄市　頓所　裕一

スポーツ

## 基本情報

【年　齢】
33歳
【出身地】
新潟県新潟市
【転出元】
神奈川県川崎市
【前　職】
個人事業主
【活動時期】
R4.4～
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

私が武雄市の協力隊に応募したきっかけというよりかは、動機になりますが、動機はスポーツを起爆剤とした地方創生・地域活性化を実現したかったからです。スポーツには『メディア』としての価値、『エンターテイメント』性があります。試合をする選手がいて、試合を観に来るファンがいて、それぞれを支持・支援する関係者がいて、宿泊、食事、移動手段というのはついて回るものです。それらの地方が抱える課題をスポーツを通して解決し、経済が回る仕組み作りをし活性化へと繋げたかったためです。

## 今後の抱負・任期後の目標

スポーツコミッション事業での活動において、地域が抱える課題（宿泊・二次交通・デジタルの活用等）を少しでも改善向上していけたらと考えています。また、人口減少も地方が抱える大きな課題と思いますが、大学進学等で武雄市を出た子供たちがまた武雄に戻ってきたいと思える、戻ってこられる場所を作りたいと思っています。それは面白い取り組みかもしれないし、仕事なのかもしれませんが魅力的な場所を創出することが必要です。それをスポーツで作り上げたいと考えています。

## 活動内容

### ●合宿対応

プロテニスコーチの渡部健介氏の運営するテニススクール「CLUE Academy of Tennis」に所属する小中学生の選手のテニス合宿、九州ラクロスフレッシュマンズキャンプ（九州の大学の1年生が対象）をアテンド。

### ●インナーツーリズム事業

インナーツーリズム事業の一つとして地元小学生のバス旅行での体験会を担当。今後もインナーツーリズムの一つとして様々な体験会や計測会を開催するに向けて良い機会でした。

### ●インバウンドツーリズム

11月に開催される日韓交流親善試合をコーディネート。日程調整や参加チームの選定を行い、開催に向け関係各所と調整を実施中。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）sports@city.takeo.lg.jp　（電話番号）0954-27-7091

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Facebook）SAGA武雄温泉スポーツコミッション

# 熊本県水上村　白川　明日香

スポーツ

## 基本情報

【年　齢】
３０歳
【出身地】
熊本県　山都町
【転出元】
熊本県　熊本市
【前　職】
介護老人保健施設事務職
【活動時期】
Ｈ３１.４～
（４年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

知人の紹介で地域おこし協力隊という存在を知りました。元々、ランニングやトレイルランニングなど体を動かす事と自然が好きなので水上村の募集に興味を持ち応募をしました。

## 今後の抱負・任期後の目標

地域のスポーツ活動をはじめ、多くの住民の方の力になれるような活動を行っていきたいです。
任期後については、昨年村民の方と結婚したので水上村に永住する形になります。今まで培ってきたものを活かせて尚且つ地域に貢献できるような仕事をできればと考えております。

## 活動内容

**●地元の子どもをメインとした陸上教室**

水上村総合型地域スポーツクラブで小学生をメインに陸上競技（短距離・長距離）の指導を行っております。
陸上競技の楽しさを知り、興味を持ってもらえればと思いながら週2回の教室を開いております。

**●スポーツイベント運営**

水上村では多くのスポーツイベントを行っており、運営と準備を行っています。
トレイルランニングでは今年５月に地域おこし協力隊が1から作り上げた大会を開催しました。多くの経験をできることはとても貴重で、楽しいです。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）a-shirakawa@vill.mizukami.lg.jp
（電話番号）０９６６-４４-０３３３

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）　QRコード

# 熊本県水上村　河野 太志朗

**スポーツ**

## 基本情報

【年　齢】
22歳
【出身地】
宮崎県　日南市
【転出元】
宮崎県　宮崎市
【前　職】
なし
【活動時期】
R2.6～
（3年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

高校時代、夏合宿で水上村を利用させて頂き、 陸上合宿や大会などでお世話になりました。
ランニングに携わる仕事をしていきたいと考えていたところ、水上村地域おこし協力隊の仕事を紹介していただきました。合宿等で利用していた時にとても雰囲気の良い場所だと感じていたこと、また仕事内容も私自身が考えていたものとマッチする魅力的なものだったので、私自身の経験を生かして水上村の活動に貢献していきたいと思い、応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

今後も水上村に在住して、ランニングに携わる活動ができればと考えています。
水上村はもちろん、周辺地域のランニング指導も行っていきたいと思い、ランニングクラブを立ち上げたので、その活動を充実させていくこと、そして合宿環境をさらにより良くしていくためにスポーツ合宿をメインとした施設を作ることが今後の目標です。

## 活動内容

**●ランニングイベント運営サポート**

水上村で行われる駅伝、ロードレース、トレイルレースなどのイベント開催・準備に関わる活動を行っています。事務業務に加えて、山道の現場調査や選手目線からの意見など、私自身の特性も生かせる有意義なものになっています。

**●合宿サポート**

水上村で合宿をされているチームのサポート（送迎、給水など）や、合宿中に使用されるコース整備などを行っています。全国大会でも活躍するような選手やチームに利用して頂いているので、さらに合宿環境を良くできる活動をしていければと思います。

**●ランニング指導**

中学校の陸上部やランニングクラブのコーチとして、活動しています。私自身、一番取り組んでいきたい活動だったので、とても楽しめています。選手の成長や、保護者から「陸上を見るのが楽しみになった」との嬉しいお言葉を頂くので、とてもやりがいのある活動になっています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）t-kawano@kumamoto.co.jp　（電話番号）0966-44-0333

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Instagram：https://Instagram.com/taishirou_kawano
Twitter：https://twitter.com/taishiroukawano

# 熊本県水上村　中川　拓

スポーツ

## 基本情報

【年　齢】
38歳
【出身地】
熊本県　熊本市
【転出元】
熊本県　熊本市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R3.４月～
（2年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

初めて水上村を訪れたのは８年前のマラソン大会、それ以降、水上で開催されるスポーツイベントやアウトドアアクティビティに参加し自然豊かな村の魅力を感じていました。令和２年熊本豪雨により被災をし職を失ってしまい次の職を考えていた時に水上村でスポーツやアウトドアを活かした地域おこし協力隊を募集しているとの話を聞き応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

現在、今年３月に開館した水上村生涯スポーツ施設サクラヴィレッジの管理兼トレーナー業務や村内開催のトレイルランニングイベントの運営を行っています。抱負は沢山ありますがまずは施設を利用してくださった方やイベントで村に来てくださった方々を笑顔にしてまた来たいと思ってくださるような関りを築いていけたらと思います。

## 活動内容

**●球磨川リバイバルトレイル**

西日本初の１００マイルトレイルランニングレース球磨川リバイバルトレイルの運営・準備を行いました。このレースは単なるスポーツイベントではなく豪雨災害により大きなダメージを受けた球磨川を舞台に災害の状況、そして自然と人との関わり方を全国の方々へ伝え、被災地の復興を後押しする想いがあります。

**●江代山GOGOトレイル**

標高1607mの江代山へ水上村から登るルートを開拓し整備し新登山道を作りました。登山道には古の炭窯や自然豊かな原生林があり素晴らしいコースとなっています。そこで登山道の良さを村外の方々にも知ってもらうためのトレイルランニングイベントを開催しました。またレース後は会場にて水上村で採れた食材を使ったふるまいが出され食のPRもできました。

**●水上村生涯スポーツ施設「サクラヴィレッジ」**

2022年3月よりオープンした「サクラヴィレッジ」は住民の体力向上、地域コミュニティの形成及びスポーツの振興を目的として作られました。我々は日頃のスポーツやアウトドアアクティビティの経験を活かしトレーニング指導や施設の管理を行っています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（電話番号）0966-46-0077

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Instagram　水上サクラヴィレッジ

# 熊本県水上村　田川　慎

スポーツ

## 基本情報

【年　齢】
35歳
【出身地】
熊本県　宇城市
【転出元】
熊本県　熊本市
【前　職】
ジムトレーナー
【活動時期】
R3.4～
（2年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

水上村にて開催されていた、トレイルランニングの大会を通じて、村のことを知り、村民の人の温かさや豊かな自然に魅了されました。自分もいつかは水上村に移住したいなと考えるようになっていました。そんな中、イベントや陸上合宿の誘致、トレーニングジムの運営を行うための人材を地域おこしで募集されていること知り、自分のやりたいこととマッチしていて、こんなチャンスはないと思い、応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

現在は、トレーニングジムの運営をメインに活動しておりますが、利用者の増加と、村民の健康寿命の増加が目標です。陸上合宿の利用者に対してもパフォーマンス向上してもらえるような指導をしていきたいです。
また、イベントや大会を通して自分のように水上村を好きになってもらい、移住者や来村してくれる人を増やすための仕掛けを作っていきたいです。

## 活動内容

**●生涯スポーツ施設サクラヴィレッジ**

現在、私は2022年3月にオープンした生涯スポーツ施設サクラヴィレッジの運営とトレーニング指導を行っております。利用者は幅広く中学生から高齢者まで様々な目的、目標をもって利用いただいています。今後も、一人一人に向き合って共に成長できる施設にしていきたいと思っております。

**●トレイルランニングの大会（水上マウンテンパーティー）**

年に一度、水上村にて開催されるトレイルランニングの大会において、今年からはスタッフとして参加しております。水上村に移住するきっかけにもなった大会で思い入れも人一倍です。参加してくれる人に楽しんでもらえるよう工夫して大会づくりをしています。写真はワーケーションできてくれていた大学生と！新たな出会いに感謝です。

**●トレイルランニングの大会（球磨川リバイバルトレイル）**

2022年3月に第1回大会として1から大会づくりをしました。この大会は豪雨災害の復興と現地の状況を知ってもらうために立ち上がりました。この大会を通して、人と人とのつながり、自然の大切さを学びました。次回大会は実行委員長として、自分の幅を広げ活動していきます。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（電話番号）0966-46-0077

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
インスタグラム：(mako091220),(Sakura.village2021)

# 熊本県水上村　小野　恭子

**スポーツ**

## 基本情報

【年　齢】
44歳
【出身地】
長崎県　長崎市
【転出元】
長崎県　長崎市
【前　職】
医療事務
【活動時期】
R4.4月～
1年目

## 協力隊に応募したきっかけ

知人の紹介で応募しました。トレイルランニングの大会やイベントで何度か村を訪れており、村の雰囲気がわかっていましたし、大会やイベントの時に食べたおにぎり（お米）やお水がとても美味しかったことが印象に残っていたことも水上村に決めた一つの理由です。事業的にもスポーツ振興ということで自分の特性を活かせると判断し、応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

いま行っている活動を通し、村に還元・貢献できる活動を行っていきたいです。任期満了後は定住し、スポーツ・イベント・アウトドア等自分の特性を生かせる仕事に就業することできればと思います。

## 活動内容

**●大会・イベントの企画運営**

村で行われるトレイルランニングの大会やロードレース、駅伝大会の準備や運営に関わる活動を行います。事務業務や登山道・コースの整備・大会スタッフなど幅広く業務を行います。

**●生涯スポーツ施設の企画運営**

村営のスポーツ施設で村民の健康促進の向上に努めます。村外からの利用者もおり、地域コミュニティの活性を担っております。スポーツや運動の楽しさを伝えております。

**●現地調査**

球磨川水源や市房山等村の観光資源の調査、自然災害等での現状調査など、足を運んで現場の確認を行います。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）ono@vill.mizukami.lg.jp
（電話番号）0966-44-0312

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）　　ＱＲコードも可

MIZUKAMI_KYORYOKUTAI5

# 熊本県水上村　川満　武徳

スポーツ

## 基本情報

【年　齢】
３１歳
【出身地】
沖縄県宮古島市
【転出元】
熊本県錦町
【前　職】
法務教官
【活動時期】
Ｒ４．４～
（１年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

トレイルランニングというスポーツにもっと深くかかわってみたかったことや、いつかは田舎での生活をしたいと考えていたときに、水上村で魅力的な活動と暮らしを実践している先輩隊員のSNSを拝見し、自分もここで暮らしたいと強く思うようになり、応募を決めました。

## 今後の抱負・任期後の目標

現在、ランニングイベントの企画運営に携わる傍ら、狩猟免許の取得や、ログハウスづくりに取り組んでいます。今後はそれらの技術習得に励みながら、キャンプ事業にも関わってみたいと考えております。任期後の目標はまだ具体的には定まっておりませんが、いま取り組んでいることをうまく組み合わせた活動ができたらなというふうに考えています。

## 活動内容

**●トレイルランニングコース、登山道の整備**

トレイルランニング大会等に使用するコース調査や整備、一般登山道の整備。

**●生涯スポーツ施設の運営**

熊本県球磨郡水上村生涯スポーツ施設（水上サクラヴィレッジ）の管理運営。高校駅伝部、大学駅伝部、実業団チームの合宿対応。

**●ランニングイベントの企画運営**

球磨川リバイバルトレイル，MIZUKAMI MOUNTAIN PARTY，江代山GOGOトレイル，奥隅駅伝競走大会，奥球磨ロードレース大会等のイベント企画運営。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）kawamitsu@mizukami.kumamoto.jp
（電話番号）090-6857-3613

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
水上村地域おこし協力隊、水上サクラヴィレッジ（インスタグラム）

# 宮崎県都城市　西村　健

**スポーツ**

## 基本情報

【年　齢】
26歳
【出身地】
宮崎県三股町
【転出元】
東京都墨田区
【前　職】
不動産管理業
【活動時期】
R3.1～
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

高校卒業後に上京した当時から、東京である程度経験を積んだら「その経験を都城の為に還元出来たら良い」と考えていました。今回は結婚を機に帰省しようと思っていたところ市のホームページにて地域おこし協力隊（スポーツによる地域振興）の募集がありました。私にとって運命的なタイミングであり、私のスキルを活かし「都城のスポーツ業界をもっと盛り上げたい」と思い、応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

これから様々な出会いがあるので、出会った一人一人に対して真心こめて全力で向き合いたいと思います。スポーツで学んだ様々な経験や地域おこし協力隊での経験を活かし、スポーツに関わりながら、都城に定住し、還元していきたいと考えています。常にスピード感を意識して、自分と向き合い行動していきたいです。

## 活動内容

**●研修会**

スポーツコミッションやスポーツツーリズムについての研修会を講師の先生をお呼びして、関連団体の皆さんと今後のビジョンなどを考える研修会を実施しました。

**●広報活動**

今年の4月に立ち上がった都城市スポーツコミッションですので、市民の皆様に法人を周知してもらうため様々な方法で広報活動を実施しております。

**●大会運営**

プロ野球秋季教育リーグ「みやざきフェニックス・リーグ」の大会運営にも携わっており、スポーツイベント支援業務にも力を入れております。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）t.nishimura@msc2022.com
（電話番号）0986-36-8420

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
都城市スポーツコミッションホームページ
https://www.msc2022.com/

# 宮崎県新富町　福永 淳史

**スポーツ**

## 基本情報

【年　齢】
32歳
【出身地】
宮崎県宮崎市
【転出元】
埼玉県さいたま市
【前　職】
JACリクルートメント
【活動時期】
R2.2～（2年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

前職時代に地方へ営業活動を行うことが多かったため、その時に地方創生の魅力に気づきました。同時に、自分の故郷である宮崎のために何かできないかという思いが強くなり、生まれ育ったこの土地で新たに起業にチャレンジしようと決めました。新富町の地域おこし協力隊に応募した理由は、新富町の今後スポーツまちづくりに力を入れていくという方針が私のやりたいことと合致していたからです。

## 今後の抱負・任期後の目標

任期後も新富町に定住し、私が好きなスポーツを軸に起業して新富町を盛り上げていきたいと考えています。私は自然の中でからだを動かすスポーツや非日常の中でリフレッシュできるアウトドアが大好きです。このまちには活用できる遊休資源が沢山存在すると感じているので、今後もそのような環境を有効活用したスポーツ合宿・大会の誘致活動やイベントの企画開催を手掛けていきたいです。

## 活動内容

### ●Rebackプロジェクトの誘致開催

本プロジェクトは2020年にスタートし、所属チームが決まらない元Jリーガーがもう一度Jリーグにチャレンジするためにトライアウトを兼ねたトレーニングキャンプです。宮崎県の春季キャンプの時期に合わせて、新富町のスポーツ関係者が一丸となり全面協力のもとクラウドファンディングで400万円の資金調達を達成し、初の誘致開催に成功しました。

### ●富田浜SUPレースの自主開催

遊休資産の活用を目的としたイベントとして、SUP（スタンドアップパドル）を使ったレース大会を自主開催しました。県内唯一となる漕艇場を生かし、初開催にもかかわらず九州各県から総勢30名のレース競技者にエントリーいただき盛り上がりを見せました。SUPという新たな活用方法を見出すことができ、今後も継続して開催していく予定です。

### ●ヨガ、焚き火、サウナを活用したアウトドアイベント

緑があふれ、空と海に包まれた魅力的なスポットである富田浜公園エリアで日頃溜まったストレスや疲れを一度リセットできるリトリートプログラムが完成しました。一緒に汗をかき、火を囲んで談笑することで参加者同士の交流や新たなつながりが生まれるきっかけにもなっています。季節に応じてコンテンツを変えながら開催しています。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（インタビュー記事）https://koyu.miyazaki.jp/7216/
（フェイスブック）https://www.facebook.com/atsushi.fukunaga.98
（インスタグラム）https://www.instagram.com/f.atsushee/

# 鹿児島県鹿屋市　髙田 奈生

**スポーツ**

## 基本情報

【年　齢】
29歳
【出身地】
奈良県生駒市
【転出元】
福岡県福岡市
【前　職】
会社員
(イベントマネジメント)
【活動時期】
R4.1～
(1年目)

## 協力隊に応募したきっかけ

鹿屋市にある鹿屋体育大学に進学し、大学から自転車競技をはじめて、大学日本一になることができた。鹿屋という最高の環境で育ててもらったからこそ成し遂げることができたという感謝の思いがあった。
大学卒業後、自転車は趣味で乗っていたくらいだったが、恩師から鹿屋市で自転車を活用したまちづくりの仕事をしないか。と話があり、またとないチャンスと思い応募に至った。

## 今後の抱負・任期後の目標

今後、１人でも多くの市民に自転車に興味を持ってもらうような定期的なサイクリングイベントや自転車に触れ合う機会をつくりたいと考えている。
また、全国のサイクリストに大隅半島や鹿屋に来たいと思ってもらえるようなサイクリングコースを掲載したサイクリングマップなどを作成し、全国からのサイクリストが訪れるような「自転車のまちかのや」にしたい。
任期後は、市民が集えるような場所をつくりたい。

## 活動内容

**●サイクリストサポート施設の設置**

現在、鹿屋市内の事業所や施設29ヶ所にサイクリストが立ち寄りやすいポイントとして、サイクルラック、空気入れ、自転車工具を設置しサイクリストにとって安心して走れる環境整備を行っている。

**●各種自転車関連イベントの実施**

市民向けのサイクリングイベントを行っています。
初心者の人でも参加できるようなポタリングをメインに実施。
また、市民のサイクリストを招き「自転車のまちかのや」を広めていくための意見交換会を行う。

**●自転車ジュニアスクールの指導補助**

プロサイクリングチームCIEL BLEU KANOYAの選手が、毎週ユクサおおすみ海の学校の施設を使用して小学生から中学生の自転車教室のサポートを行う。
自転車の乗り方や走行技術、体の使い方の指導を行う。

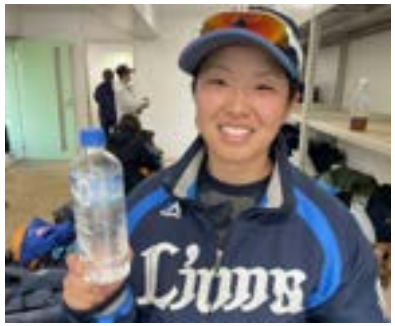
## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）chiikiokoshi01@city.kanoya.lg.jp
（電話番号）0994-31-1172(市民スポーツ課)
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（インスタグラム）https://www.instagram.com/kanoya_chiikiokoshi/
ID:kanoya_chiikiokoshi

# 鹿児島県枕崎市　今　愛沙

**スポーツ**

## 基本情報



【年　齢】
24歳
【出身地】
大阪府門真市
【転出元】
埼玉県川越市
【前　職】
アルバイト
【活動時期】
R４.４～
（１年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

母校である神村学園の恩師から、枕崎市で地域おこし協力隊員の募集があることを知り、「野球によるまちづくり」の構想を知った。
九州には関東・関西に比べ女子硬式野球チームが少なく、女子野球に対する熱量（勢い）にも差があるように感じていたため、自分がチームを作ることで九州の女子硬式野球に勢いをつけたいと考えたから。

## 今後の抱負・任期後の目標

・女子硬式野球クラブチームの創設に向けた女子野球大会への参加及び視察
・選手を集めるための環境整備
　スポンサー企業の獲得や就職斡旋のできる環境の確保
・他地域の地域おこし協力隊員との連携
　（淡路ブレイブオーシャンズ/備前サンラッキーズ/東近江バイオレッツ（地域密着型チーム)
・枕崎市内で開催される野球教室等への参加
・枕崎市の協力隊員での共同企画
　YouTubeやFacebookを利用した広報活動

## 活動内容

**●女子硬式野球の普及・啓発活動**

枕崎市内の高校（２校）による交流戦において始球式を務めるとともに、スコアラーとして試合を取り仕切った。
また、九州女子硬式野球のリーグ戦を枕崎市に誘致し、九州内にある４つの女子硬式野球チームの参加を実現した。

**●市内小中学校でのスポーツ教室**

市内の２つの小学校・中学校において、体育の授業にアドバイザーとして参加し、投げる動作の基本や実践、打つ動作をするための体の使い方などを、体育の教師とともに生徒へ教えた。

**●協力隊員の連携によるまちづくり**

現在、枕崎市には３名の地域おこし協力隊員がおり、それぞれ観光振興や移住・定住のミッションを持っている。この３者の強みを活かし、地域活性化に資することができないかということで、３者合同での活動報告会を行うとともに、今後はSNS等での情報発信を予定している。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）sports-s@city.makurazaki.lg.jp
（電話番号）0993-76-1348

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）aiaisa._4

# 鹿児島県錦江町　藤崎　花鈴

**スポーツ**

## 基本情報

【年　齢】
２４歳
【出身地】
鹿児島県　鹿児島市
【転出元】
鹿児島県　鹿児島市
【前　職】
アルバイト
【活動時期】
R4.4～
（１年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

これまで、チアダンスをしていた経験もあり、スポーツで町づくりをしたいと考えるようになった。そこでスポーツ×町づくりで探していたところ、錦江町でスポーツ関係の地域おこし協力隊を募集していることを知り、応募に至った。

## 今後の抱負・任期後の目標

任期の中で、錦江町の町民の方々の健康づくりをしていきたい。また、チアダンスの普及や総合型スポーツクラブの設立を目指す。任期後は、町でチアダンス教室を開きたい。

## 活動内容

**●チアダンス教室**

夏休みに、これまで錦江町にはなかったチアダンス教室を開催した。

**●町民運動会の開催**

町民運動会の担当課と協力しながら、錦江町での新しい町民運動会の企画に携わった。また、運動をしていた経験を活かしながら準備運動や整理運動を楽しめるものに変えた。

**●新たなスポーツイベントの企画**

木材加工をミッションとする地域おこし協力隊と協力しながら、これまで錦江町ではやったことのなかった「モルック」と呼ばれるスポーツの大会を開催した。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（電話番号）0994-22-3032

# 13 おためし地域おこし協力隊

# 北海道　石狩市

おためし

## 実施概要

【実施時期】Ｒ４.10
【実施期間】２泊３日
【参加人数】１人
【実施場所】石狩市役所厚田支所　ほか地域一円
【主な活動内容】
・自治体職員から制度や活動内容のレクチャー
・地域おこし協力隊（OB含）や地域住民との懇談
・居住環境や活動内容に関連する施設、地域等の見学

## 実施に至った経緯･事務の流れなど

地域住民で組織している「地域おこし協力隊制度検討委員会」において、応募が年々減っている状況を解消するための一手法として、実施することとしたもの。
イベントではなく、お互いが事前に諸々を確認する機会とするため、居住環境等の見学や参加者の希望に合わせて、２泊３日以内で、一人ひとりのプログラムを組んでいる。

## 実施による効果･メリット

・活動開始後における「ミスマッチ」の解消
→　面接一発で判断する危険性の提言

・希望者が応募を判断するための材料としての事前「現地」視察
→　特に冬季間の厳しさがあるため、地域の方々から事前に生活のアドバイスも受けられる。

## 問合せ先

【担当課の連絡先】
（所属）石狩市厚田支所地域振興課
（メールアドレス）a-chiikis@city.ishikari.Hokkaido.jp
（電話番号）0133-78-2012

【プログラムの案内など】
特になし

## プログラムの内容

**●１日目：例**

・市職員との顔合わせ、あいさつ
・担当職員から制度と活動内容の説明
・地域おこし協力隊との懇談

**●２日目：例**

・居住環境等の確認
・地域住民と懇談
・活動内容に関連する場所等の見学
・地域おこし協力隊の活動体験

**●３日目：例**

・地域おこし協力隊（OB）との懇談
・活動内容に関連する場所等の見学
・地域資源（観光地等）の見学

・
・
・

# 北海道　ニセコ町

おためし

## 実施概要

【実施時期】7月、12月（募集時期に合わせて）
【実施期間】2泊3日
【参加人数】3人（うちオンライン1名）
【実施場所】ニセコ中央倉庫群
【主な活動内容】
　ニセコ町の地域おこし協力隊の活動やニセコ町での生活を体験できる機会を提供する。

## 実施に至った経緯・事務の流れなど

ニセコ町では、年度当初に赴任する前期と、年度途中に赴任する後期の二回に分けて協力隊を募集している。この募集時期と募集期間に合わせて、おためし協力隊を実施しており、応募PRに繋げている。

## 実施による効果・メリット

ニセコ町の地域おこし協力隊は、役場や観光協会、道の駅など町内の様々な配属先で活動しているという特徴があり、各隊員によってその活動内容は異なります。そこで、現役隊員や協力隊OB/OG、役場担当者から事前に説明を受けることや、実際の活動を体験してもらうことで、ミスマッチを防ぐ効果があった。また、協力隊を受入れる配属先との理解・体制づくりやPRにも取り組むことができた。

## 問合せ先

【担当課の連絡先】
（所属）企画環境課
（メールアドレス）jichi@town.niseko.lg.jp
（電話番号）0136-44-2121

【プログラムの案内など】
https://niseko-iju.com/otameshi-kyoryokutai

## プログラムの内容

**● 1日目：ニセコ中央倉庫群**

13:00～　制度の説明（相談員）
13:30～　卒業後の話（OB隊員）
14:00～　ニセコの観光or農業について（講師）
15:30～　町内見学（相談員・現役隊員）
　　生活体験
17:00～　解散

**● 2日目：各希望配属先　活動体験**

09:00～　希望配属先訪問・説明
10:00～　仕事見学・体験（配属先からPR）
12:00～　昼食（町内飲食店）
13:30～　第2希望配属先訪問・説明
14:30～　仕事見学・体験（配属先からPR）
16:30～　体験終了、反省会
17:30～　解散、関係者とお食事会（町内飲食店）

**● 3日目：ニセコ中央倉庫群**

09:00～　地域おこし協力隊に求めるもの（役場）
10:00～　フリートーク（現役隊員・役場）
12:00～　解散

# 北海道　鷹栖町

おためし

## 実施概要

【実施時期】Ｒ４.８
【実施期間】２泊３日
【参加人数】３人
【実施場所】鷹栖町内
【主な活動内容】
自然公園「パレットヒルズ」の運営業務
公園全体のマネジメント、利用促進に向けた企画運営
体験プログラム開発、管理運営

## 実施に至った経緯･事務の流れなど

数年前までは、書類審査（１次審査）と面接審査（２次）で採用を決定していたが、町と隊員とのミスマッチが生じ、３年任期満了となることなく早期退職した事案があった。少しでも応募者と地域がともに理解し合う機会を設けることでミスマッチを防ぐ狙いがある。
事業を委託し、行政目線ではない幅広い周知を行っている。

## 実施による効果･メリット

応募者側は、地域の課題を自身で感じることが出来ることと自身の活動イメージを現実に落とし込むことができた。
受入れ側も応募者の人柄や立ち振る舞いなど、書類や短時間の面接では、測れない部分を事前に把握することができた。

## 問合せ先

【担当課の連絡先】
（所属）総務企画課地域振興係
（メールアドレス）kikaku@town.takasu.lg.jp
（電話番号）0166-87-2111

【プログラムの案内など】
（HP）https://next-takasu.com

## プログラムの内容

**● １日目：町内案内**

行政関係者と顔合わせ後、町内を案内。
夜は担当部署職員及び現役隊員との交流会。

**● ２日目：活動のフィールド紹介と受入団体との意見交換**

ミッション型で活動するうえで関りのできる関係者や、指定管理団体と意見交換を実施。

**● ３日目：町職員や現役協力隊との意見交換**

現役隊員との面談・質疑を実施、解散。

# 北海道　剣淵町

おためし

## 実施概要

【実施時期】Ｒ４．９．６～Ｒ４．９．８
【実施期間】２泊３日
【参加人数】１人
【実施場所】剣淵町内
【主な活動内容】
採用後の勤務先をメインに、元・現地域おこし協力隊や住民との意見交換、基幹産業である農業体験といった、積極的に地域と関わるプログラム内容とし実施。

## 実施に至った経緯･事務の流れなど

元地域おこし協力隊からの「おためし地域おこし協力隊」制度の導入について強く要望があったことを契機として、協力隊募集にあたりミスマッチを未然に防ぐためにも実施にいたった。

## 実施による効果･メリット

採用後のイメージを応募者、採用者側のどちらも持つことができる。事前に人となりを知ることで、応募者の求めていることや、やりたいことを聞き出すことができ、ミスマッチを防ぐためのプロセスを踏めたと感じる。履歴書上ではわからない資格の活かし方や、今後の活動展開が早い段階で見えたこともメリットと感じる。

## 問合せ先

【担当課の連絡先】
（所属）総務課企画財務広報グループ
（メールアドレス）kikaku@town.kembuchi.lg.jp
（電話番号）0165-26-9021

【プログラムの案内など】
http://www.town.kembuchi.Hokkaido.jp/

## プログラムの内容

**●１日目：ミーティング等**

庁舎内でオリエンテーション後、町内案内。現地域おこし協力隊の空き店舗を利用したレストランにて懇談と昼食。午後からはトマトの収穫、芋掘りなどの農業体験を１時間半ほど行い、夜は農業体験受入先、商工会女性部、地域おこし協力隊担当との交流会を行う。

**●２日目：勤務体験**

実際の勤務先となる空き店舗を利用したカフェ「ノアール」で勤務体験。仕込みから片付けまで一通りの作業を１日行う。夜はカフェの母体となるＮＰＯ法人、元・現地域おこし協力隊との意見交換会及び懇談会を実施。

**●３日目：面接**

最終日は庁舎内で町長、副町長、総務課長、地域おこし協力隊担当職員で面接を行う。その後解散。

・
・
・

# 北海道　佐呂間町

おためし

## 実施概要

【実施時期】R4.10.8～ R4.10.10
【実施期間】2泊3日
【参加人数】7人
【実施場所】農業関連施設、地元酪農家畜舎など
【主な活動内容】
・農業関連施設の作業現場や、農作業現場を見学
・佐呂間町に移住し、就農した地元酪農家との意見交換　など

## 実施に至った経緯・事務の流れなど

本町の基幹産業である農業は、人口減少に伴う担い手・働き手不足が深刻な状況にあり、新規就農に対する様々な施策はあるものの、就農する方がいない状況となっている。

このような中、新たな取組として、就農に意欲のある地域おこし協力隊員を募集し、働きながら農業を学んでいただき、その就農をサポートすることを目的とし、本事業を実施することとした。

## 実施による効果・メリット

本町の農業やその支援策の認知度を深化させることができるとともに、参加者の横のつながりによる情報の拡散にも期待できる。

また、本町に初めて来る方も多く参加しており、実際に見聞きする情報が重要だと再認識している方もいた。

## 問合せ先

【担当課の連絡先】
（所属）企画財政課企画係
（メールアドレス）kikaku@town.saroma.hokkaido.jp
（電話番号）01587-2-1214

## プログラムの内容

**● １日目：オリエンテーション、交流会**

・事業行程などの確認と自己紹介
・町長、農協参事から歓迎の挨拶
・佐呂間町の概要、農業概要を説明
・市街地を徒歩にて見学
・関係者との交流会を実施

**● ２日目：地域体験**

・町、農協が運営している農業施設見学
・佐呂間町に移住し、就農した酪農家との意見交換会
・ワークショップ（今日の気付き）

**● ３日目：地域体験、ワークショップ**

・かぼちゃ工場を見学
・シソ釜での蒸留作業を見学
・ワークショップ（まとめ）

# 千葉県 香取市

おためし

## 実施概要

【実施時期】R4.8.20～ R4.8.22
【実施期間】2泊3日
【参加人数】6人
【実施場所】佐原町並み交流館等
【主な活動内容】
地域おこし協力隊に関心がある大学生および大学院生を対象として、農業と観光という2軸から香取市の魅力を体感することができるツアーとワークショップを実施。

## 実施に至った経緯・事務の流れなど

・地域おこし協力隊募集におけるミスマッチや応募人数の不足、および行政としての若年層の就業人口の減少という課題を解決すべく、学生を対象としたおためし地域おこし協力隊ツアーを行った。
・地域おこし協力隊の隊員が企画書を作成し、香取市企画政策課と調整。企画が固まり次第関係各者と調整。

## 実施による効果・メリット

・次世代の地域おこし協力隊の発掘。
→地域おこしの募集では出会うことができなかった若年層の候補者の囲い込みを行うことができた。
・ミスマッチの解消
→数日のプログラムを通して応募者の人となりや能力等を見ることで、地域おこしを受け入れる側とのミスマッチを削減することにつなげた。

## 問合せ先

【担当課の連絡先】
（所属）香取市企画政策課
（メールアドレス）seisaku@city.katori.lg.jp
（電話番号）0478-50-1206
【プログラムの案内など】
https://www.city.katori.lg.jp/government/plan_policy/tiikiokosi/otameshi_chiiki.html

## プログラムの内容

### ● 1日目：オリエンテーションと農家ツアー

本ツアーの目的と3日間の流れを伝達。共通認識を持ってもらったうえで農家ツアーを実施。
家族経営や農業生産法人といった様々な規模の生産者を見てもらい意見交換をすることで、それぞれの課題や強みを理解してもらうことを目指した。

### ● 2日目：佐原の町並み散策

香取市のもう一つの魅力である観光という視点から、佐原の町並みの形成に関する歴史や周辺の観光資源を散策。
東京から好立地に位置するが観光地としての特徴を伝達。

### ● 3日目：基調講演およびプレゼンテーション

香取市を代表する経営者を招致し講演。市内におけるビジネスの成功事例をインプット。
その後「あなたが地域おこし協力隊になったら何をしたいか。」というテーマで参加者によるプレゼンテーションを実施。

# 山梨県　市川三郷町

おためし

## 実施概要

【実施時期】R4.10.2～ R4.10.4
【実施期間】2泊3日
【参加人数】1人
【実施場所】市川三郷町内（農泊ちかはぎ空の家）
【主な活動内容】
今回体験した隊員希望者は、農泊ちかはぎ空の家を希望する千葉県在住の方。ご家族と共に移住するにあたり、田舎暮らしでの子育ての不安の解消や市川三郷町を実際に滞在し体験してもらいたく実施しました。

## 実施に至った経緯・事務の流れなど

かねてより隊員の採用前にお試し移住体験を実施したかったが、町内に宿泊できるところが少なく実現できなかった。
今年度、農泊施設から隊員受け入れ希望があり、おためし地域おこし協力隊事業の相談をしたところ快諾いただき実現できた。
体験プログラムは、隊員希望者、受入機関の活動に沿った内容で毎回組んで実施している。

## 実施による効果・メリット

採用過程で実施することで、採用後のアンマッチの解消。実際に来町してもらい、事業の内容や関係者の様子、町の様子など、採用後の活動を具体的にイメージしてもらう事ができた。

## 問合せ先

【担当課の連絡先】
（所属）政策推進課政策推進係
（メールアドレス） seisaku@town.ichikawamisato.lg.jp
（電話番号）055-272-1103

## プログラムの内容

**● 1日目**

3日間の体験プログラムのレクチャー。活動予定エリアの散策。夜は地元の方々との交流会。

参加者

交流会

**● 2日目**

入居予定の住宅の見学。子供が入園予定の幼稚園の見学。地場産業の和紙工場、印章資料館の見学。夜は活動拠点の農泊施設での夕食。

住宅見学

夕食

**● 3日目**

行政関係者と顔合わせ。地元で農産物を加工している所の見学。意見交換。

地場産業見学

# 熊本県　八代市

おためし

## 実施概要

【実施時期】R4.6.21(火)～23(木)
【実施期間】２泊３日
【参加人数】１人
【実施場所】坂本コミュニティセンター　ほか
【主な活動内容】
町内の被災状況や名勝の視察、特産品作り作業工程の体験など

## 実施に至った経緯・事務の流れなど

八代市坂本町は、令和２年７月豪雨により甚大な被害を受けた。
災害からの復興に関し、住民から地域おこし協力隊制度の導入要請があり、隊員の募集を行った。
隊員を採用する前に、あらかじめ坂本町がどんな地域であるのか知る必要があるため、「おためし地域おこし協力隊」事業として２泊３日の日程で実施した。

## 実施による効果・メリット

隊員として受入る前に、実際に接することによって応募者の人となりを知ることができた。

## 問合せ先

【担当課の連絡先】
（所属）総務企画部坂本支所地域振興課
（メールアドレス）sa-chiiki@city.yatsushiro.lg.jp
（電話番号）0965-45-2211

## プログラムの内容

● **１日目：町内被災地現状視察**

中谷橋→くま川ワイワイパーク→坂本支所→藤本発電所→荒瀬ダム跡地→鶴之湯旅館→三坂公民館→中津道阿蘇神社→食処「さかもと鮎やな」にて交流会

● **２日目：町内の名勝視察及び体験**

生活研究グループ鮎帰会→日光の棚田→油谷ダム→走水の滝→温泉センタークレオン→鶴喰なの花村→桜の雫→坂本コミセン（ミーティング）

● **３日目：視察希望地訪問・面接**

CATVセンター→中谷青少年センター→坂本コミセン→面接（坂本コミセン）

# 14 地域おこし協力隊インターン

# 北海道　知内町

インターン

## 実施概要

【実施時期】R4.10～ R4.12
【実施期間】3ケ月
【参加人数】1人
【実施場所】農家
【主な活動内容】
　農業振興に関すること

## 実施に至った経緯･事務の流れなど

これまで町では、短期就農体験などは取り組んできたものの、地域おこし協力隊の設置を行ってきていない状況であった。
R3.4より地域おこしのインターン制度の設けられたことから、これまでの取り組みと同様な形で取り入れることができたため、円滑に導入することができた。また、各課役割分担により対応を行っている。
（募集：政策部局　対応：産業部局）

## 実施による効果･メリット

短期間の地域活動を行うことで、本格的な地域おこし協力隊への移行がスムーズになっている。受入する事業者（農家側）も“インターン“としての位置づけを意識してくれている。
しかし、明確なゴールや本人の目指すものがないと受入側としても対応に苦慮することもあるため、定期的な面談などにより双方合意の上、活動を継続している。

## 問合せ先

【担当課の連絡先】
（所属）政策調整課政策広報係
（メールアドレス）mono@town.shiriuchi.hokkaido.jp
（電話番号)01392-5-6161

## プログラムの内容

**●1日目：オリエンテーション**

・辞令交付式
・オリエンテーション
・関係機関などに挨拶

**●2日目～1ケ月目：農業振興活動①**

・農業座学
・農業研修

**●2ケ月～3ケ月：農業振興活動②**

・農業座学
・農業研修

# 北海道　森町

インターン

## 実施概要

【実施時期】R4.6 ～ R4.9
【実施期間】26日
【参加人数】3人
【実施場所】
【主な活動内容】
ワークショップのファシリテーター、大学連携業務サポート、各種イベントへの参加

## 実施に至った経緯・事務の流れなど

・令和３年度に武蔵野美術大学と人材育成及び雇用の創出に関する協定を締結し、産学官連携プロジェクト実習において、大学生が当町に１ヵ月間滞在したことにより、町の課題と魅力発見に大いに繋がった。これを踏まえ、大学生が実践実習できる環境を整えることで、若年層の関係・定住人口の創出につながることから協力隊インターンの取組を実施した。

## 実施による効果・メリット

・自治体の今の現状を知ってもらうことで、地域おこし協力隊員になった時の業務などをイメージしやすい。
・地域おこし協力隊インターンを実施することで、採用前に人柄などを知ることができる。

## 問合せ先

【担当課の連絡先】
（所属）農林課
（メールアドレス）lgwan-rinmu@town.hokkaido-mori.lg.jp
（電話番号）01374-7-1086

## プログラムの内容

R4.6.17～R4.9.16

・森町で実施した「木から始まる森づくりワークショップ」でのファシリテーター
・武蔵野美術大学の学生や森高校の生徒との連携業務サポート
・植樹イベントや町の祭りなどへの参加

# 北海道 上川町

インターン

## 実施概要

【実施時期】R4.4～ R5.3
【実施期間】随時
【参加人数】4人(R4.10.1時点)
【実施場所】大雪かみかわヌクモ、層雲峡オートキャンプ場等
【主な活動内容】
・施設運営、商品開発、教育支援等

## 実施に至った経緯・事務の流れなど

地域おこし協力隊の業務内容を任用前に体験することで、移住後の活動を具体的にイメージしていただくため。
通年の随時募集としており、履歴書を提出していただいたのち、オンライン等で面接をし、採用を決定する。

## 実施による効果・メリット

地域おこし協力隊の業務内容を任用前に体験することで、移住後の活動を具体的にイメージできる。

## 問合せ先

【担当課の連絡先】
（所属）地域魅力創造課地域魅力創造グループ
（メールアドレス）teiju@town.hokkaido-kamikawa.lg.jp
（電話番号）01658-2-4063

【プログラムの案内など】
（webサイト）https://www.kamikawork.jp/joinus/tryit/

## プログラムの内容

**●１日目：オリエンテーション**

地域の生活関連施設や観光施設などを案内することで、まちの様子を知っていただくことや、町で暮らす人と交流していただき、インターン中の活動イメージを掴んでもらう。

**●２日目以降：就業体験**

興味・関心のある業種の就業先で勤務を行う。また、町内のイベントや町民と交流できる際は積極的に参加していただき、町のことはもちろんのこと地元住民の方との交流を通じて、まちについてより理解を深めていただく。

**●最終週：活動報告会**

インターン期間においての感想や、協力隊に就任した際にはどのような活動をしたいかなどを発表していただく。

# 北海道　東川町

インターン

## 実施概要

【実施時期】R４.7～ R４.８
【実施期間】13泊14日
【参加人数】15人
【実施場所】東川町
【主な活動内容】
「写真の町」関係イベント運営、町民ワークショップ開催

## 実施に至った経緯･事務の流れなど

東川町は、写真の町として文化によるまちづくりを進めている。
まちづくりを進めるうえで、写真文化を軸とした文化発信や、町民に対する文化体験機会の創出は重要であることから、それら取り組みを行う人材をインターンとして受入し、都市部人材のノウハウを活かした活動を行うことで、地域おこし協力隊に結びつけ、地域に根差した人材を創出するため実施。

## 実施による効果･メリット

東川町のまちづくりに関わる活動を通じて、まちへの理解や町民との交流により、未来の地域おこし協力隊結びつく関係人口化が図られる等

## 問合せ先

【担当課の連絡先】

（所属）企画総務課

（メールアドレス）sousei@town.higashikawa.lg.jp

（電話番号）0166-82-2111

## プログラムの内容

**R4.7.22～R4.8.4**

「写真の町」のメインイベントである写真甲子園やフォトフェスタの実施期間に合わせて、文化発信のための写真関連の展示や町民などを対象とした写真展示等を実施。

町民ボランティア等との連携により、フォトフェスティバル町民参加企画での運営補助や東川賞受賞作家作品展内の作品展示ワークショップ等を実施し、展覧構成から作品展示、フォーラム等の実施までを行う。
その他、東川町内での町民交流や町内観光資源について視察調査を実施。（大雪旭岳源水や忠別ダム、町内飲食店等）

【インターン概要】
7月22日～8月4日
現地調査・ボランティアとの連携
交流会の実施

7月22日～7月29日
フォトフェスティバル受賞作家作品展
展示ワークショップ

7月30日～7月31日
展示案内・受賞作家フォーラム参加
町民連携企画「ふらっとPHOTOテラス」参加
町内祭事参加

8月１日～8月4日
事後研修・町内、
近隣市町村観光資源視察

# 北海道　広尾町

インターン

## 実施概要

【実施時期】R4.8.17～ R4.9.30
【実施期間】21泊22日～29泊30日（計４５日）
【参加人数】4人
【実施場所】北海道広尾郡広尾町（商店街）
【主な活動内容】
・地域高校生と協力し商店街を明るくするプロジェクト。
・複合学級の小学生に放課後レクリエーション
・地域産業などの体験活動をSNSなどに情報発信（当人アカウント）

## 実施に至った経緯･事務の流れなど

広尾町の商店街は現在、閉店した店が多く、町内の人も利用率が低下し、町外からの人々においては素通りしてしまうことが問題となっている。その中で商店街を再び明るくするため、町外からアーティストの方々を呼び、商店街で地域の方々を巻き込んだイベント活動などを行うことにより町の商店街を再び明るくしたいということからこの活動の実施に至った。

## 実施による効果･メリット

商店街のアートにおいては考案当時1～2箇所を想定していたが、参加人数が上限の4名集まった事により合計4箇所のシャッターにアート活動を行うことができた。初見の方々が暗いイメージを持つことが多かった商店街のイメージ向上につながったという意見が多数見られた。また、地方にはあまりいないアーティスト・美大生の方を呼ぶことにより、地域学生達の刺激・学習意欲の向上につながったと考えている。

## 問合せ先

【担当課の連絡先】
（所属）水産商工観光課　商工観光係
（メールアドレス）shoko_job@town.hiroo.lg.jp
（電話番号）01558-2-0177

【プログラムの案内など】
https://www.town.hiroo.lg.jp/boshuu/sonotaboshuu/tiikiokosi-intern/

## プログラムの内容

**●初日～１０日目：ミーティング**

高校生たちへのアート指導並びに作業手順などの指導（描きやすさやペイントの色の方法など）

**●１１日～２０日目：下地作成･指導**

アート活動での下地処理と、今後のイラスト活動のための練習活動。その他地域小学校レクリエーションなどを行う。

**●２１日～３０日目：地域ペイント体験、他**

・アーティスト考案の地域小中高校生を対象としたアートペイント体験会活動の準備・体験会を行う。
・その他、酪農体験や資料館見学、昆布体験など、広尾町がどの様な町かを知るための体験活動などを行う。

**●３１日～４５日目：放課後レクリエーション**

・ペイント体験で描いた作品の仕上げ作業。

・地域小学校の放課後レクリエーションで１０月のハロウィンに向けたイラスト活動を行う。

# 宮城県 石巻市

インターン

## 実施概要

【実施時期】R4.4 ～ R.4. 6
【実施期間】 ３ヶ月
【参加人数】 １人
【実施場所】雄勝地区
【主な活動内容】
「雄勝薬草園」のガーデンデザインに参加し、西洋ハーブの植栽技術を習得するほか、ガーデンで栽培可能でニーズのある花苗やエディブルフラワーを検討し、年間の栽培サイクルの企画と実現性を検証する。

## 実施に至った経緯･事務の流れなど

一般社団法人雄勝花物語は、令和３年度「復興庁土地活用ハンズオン支援事業」を受託し、令和３年６月から「雄勝薬草園」の造成に着手している。令和４年度も薬草園は”癒しの空間づくり”と新たな収益事業の構築を目的として活動しているが、担い手となる人物が不足しているため、本プログラムを実施し、インターン生の受入を行った。

## 実施による効果･メリット

・インターン期間中に、新しい職場環境へ適応することができ、事業内容と自己の適性が一致することを確認できた。さらに今後３年間の活動目標とその目標の実現に向けた見通しを持つことができたので、正式に地域おこし協力隊員になってからも、プロジェクトをスムーズに進めることが出来た。

## 問合せ先

【担当課の連絡先】
（所属）復興企画部ＳＤＧｓ移住定住推進課
（メールアドレス）issdgs@city.ishinomaki.lg.jp
（電話番号）0225-95-1111

## プログラムの内容

### ● ４月：薬草園のガーデンデザインの参加及びエディブルフラワーとハーブの栽培技術の習得

・薬草園内のハーブの種類選択と栽培技術の向上を目指すとともにハーブの年間栽培計画を立案した。
①ガとーデン内の空きスペースを活用しエディブルフラワーハーブを植栽。
②薬草園内のハーブガーデンに教育旅行ボランティア中学生に植栽指導と自身の技術向上を試みる。
③エディブルフラワーとハーブの年間栽培スケジュールを作成。

### ● ５月：選択プロジェクトの検証（売上に繋がる花苗の検証）

・毎年繁忙期（6月）はガーデン内に咲いている花をお買い求める傾向があり、開花時期に合わせ花苗を栽培し準備すれば売上アップに繋がると想定。繁忙期迎える前に準備作業を行った。
①一年草、多年草20種類以上100点栽培準備
②新たにハーブコーナー設置。ハーブ苗100点以上栽培準備
③統一したプライスカードの設置

### ●6月：選択プロジェクトの検証（売上に繋がる花苗とエディブルフラワーとハーブの検証）

①繋忙期に入り、5月に栽培準備していた花苗を来客者に対して積極的に対話・接客して販売するとともに、顧客のニーズを探った。
・その結果、前年比2倍の売り上げがあり、今後の事業展開に希望と自信を持つことができた。
②石巻市内のレストランやカフェのエディブルフラワーとハーブの需要の市場調査を4店舗視察。
・お店や料理の雰囲気、シェフの要望や情報交換等を行い、今後の栽培に活かす情報を得ることができた。

# 岡山県 笠岡市

インターン

## 実施概要

【実施時期】Ｒ４.４～Ｒ５.３
【実施期間】３週間～３か月
【参加人数】７人
【実施場所】市内就労支援施設，笠岡市観光協会，道の駅笠岡ベイファーム，海の校舎，井笠鉄道記念館，フリースクール育海，エブリハート，笠岡市教育委員会　等
【主な活動内容】
精神障害者のグループホーム設立に向けた予備調査，道の駅でのアンケートと観光協会公式ＬＩＮＥ立ち上げ，廃線の活用調査，不登校支援に関する情報発信，婚活に関するイベント，耕作放棄地の利活用の検討　等

## 実施に至った経緯･事務の流れなど

現役の協力隊から，都市部の若者で地方での起業を考えている人とつながりができていて，フィールドの提供ができないか相談があった。協力隊本体でいきなり３年間は抵抗感があるので，インターンで地域の状況などを把握してもらうこととした。
応募があれば，一次選考（書類審査）を行い通過者に対して二次選考（面談）を行う。二次選考通過者と期間の相談をしながら任期を決め委嘱する。任期中は活動報告を提出してもらい，それによって報酬額を計算する。インターンへの参加は協力隊応募の条件にはしていない。

## 実施による効果･メリット

協力隊になる前に，この地域で何がどこまでできるかイメージがつかみやすい。地域にとっても，事業や応募者の人となりなどをみながら受入可能かどうか考えることができる。本体の協力隊ほど構えた課題ではなく，ちょっとした課題を相談できる。

## 問合せ先

【担当課の連絡先】
（所属）政策部定住促進センター
（メールアドレス）teijyuu@city.kasaoka.lg.jp
（電話番号）0865-69-2377
【プログラムの案内など】
（笠岡市ＨＰ）
https://www.city.kasaoka.okayama.jp/site/teijyuu/42353.html

## プログラムの内容

**●４月１８日～７月１７日：高村颯さん**
新しい地域での精神障害者福祉の形を作り出すことをめざし、協力隊応募の前に現地で実現できるか関係者への聞き取りなどを行った。

**●５月１日～７月３１日：木嶋裕太さん**
笠岡市内で最も観光のお客さんの集まる道の駅笠岡ベイファームからの市内への周遊拡大の可能性を探るためのアンケート調査や観光協会のLINEアプリのローンチ。東大生（本人も）と地域を結ぶプログラムの笠岡での実現を目指した。

**●７月４日～１０月３日：虫明真魚さん**
婚活イベントに代わる結婚推進事業の実施を計画。コロナの感染拡大に伴いいくつかイベント中止となったが、新しいコンセプトのニーズもつかめ、協力隊本体への応募につながった。

**●８月１３日～９月２日：小川春樹さん**
市内の廃線となった鉄道の記念館を中心に全国の鉄道ファンが集まることに目をつけ、廃線跡の遺構を調査し知識のない観光客でも楽しめるものを考えた。来年度協力隊本体への応募も考えている。

**●８月８日～１１月７日：森下至子さん**
全国的に増加傾向にある不登校について、当事者やその保護者などに向けた県内の不登校支援の情報をまとめたサイトなどを作成することで、個別にその児童・生徒にあった支援につなげる。

# 長崎県 雲仙市

インターン

## 実施概要

【実施時期】Ｒ４．９．１５～Ｒ４．１０．１４
【実施期間】１カ月
【参加人数】１人
【実施場所】雲仙市内の農作地
【主な活動内容】
種採り農家に従事し、種採り農業を実践することにより、種採り農業に関する知識やスキルを習得する

## 実施に至った経緯・事務の流れなど

種採り農業は雲仙市の特色の一つで、種採り農業を目的に雲仙市を訪れる都市部の人達が増えており、種採り農業を関係人口創出事業のコンテンツの一つとしている。
種採り農家の担い手不足と、雲仙市の関係人口を増やすために、種採り農業に関する地域おこし協力隊の応募につなげるため、地域おこし協力隊インターンを実施することになった。

## 実施による効果・メリット

・協力隊の場合、住民票の異動と１年以上の期間という高いハードルのため応募につながりにくかったが、インターンであれば気軽に体験できるので、応募者数が増加したり、雲仙市に関わりを持つ人が増加した。

## 問合せ先

【担当課の連絡先】
（所属）総務部政策企画課
（メールアドレス） kikaku@city.unzen.lg.jp
（電話番号） 0957-47-7709
【プログラムの案内など】
市ホームページに募集要項を掲載
（募集期間の終了にともない、掲載も終了している）

## プログラムの内容

**●１日～１９日目：種採り農業の実践**

種採り農家に従事し、種採り農業を実践することにより、種採り農業に関する知識やスキルの一部を習得することができた

# 熊本県 熊本市

インターン

## 実施概要

【実施時期】R4.8～ R4.9
【実施期間】60泊61日
【参加人数】3人（8/1～9/30、8/18～9/30、9/16～9/30）
【実施場所】熊本市西区役所河内まちづくりセンター
【主な活動内容】
４つの地域課題（空き家の増加、地域の魅力の発信力強化、地域住民の意識の希薄化、耕作放棄地の増加）より1つ以上を選択。

## 実施に至った経緯・事務の流れなど

人口減少、少子高齢化が著しい熊本市西区河内校区、芳野校区において、様々な地域課題が発生していることから、当該制度を活用し、地域外から隊員を迎え活動することによって、地域課題解決に向けた住民の意識の醸成を図り、その一助とすることを目的としている。募集にあたっては、住民代表によるWGを結成。地域課題の設定から活動プログラムの作成、選考に伴うオンライン面接についても参加してもらい、住民の当事者意識を醸成した。

## 実施による効果・メリット

・まずは地域おこし協力隊インターンを受け入れ、一緒になって活動することで、地域住民の中に本格的な地域おこし協力隊を受け入れる機運が醸成された。
・地域外から隊員を迎えたことにより、住民では気付かない、地域の魅力等を発掘できた。
・地域課題解決のために、住民がすべきことがある程度明確化した。

## 問合せ先

【担当課の連絡先】
（所属）熊本市西区役所区民部河内まちづくりセンター
（メールアドレス）
kawachimachizukuricenter@city.kumamoto.lg.jp
（電話番号）096-276-1111
【プログラムの案内など】
（PROJECT INDEX）https://www.project-index.jp/intern/24810

## プログラムの内容

**●1日～20日目：住民ヒアリング、情報収集**

取組む地域課題（空き家の増加、地域の魅力の発信力強化、地域住民の意識の希薄化）について、実際に住民がどのように思い考えているのか等のヒアリングを実施。

**●21日～48日目：各課題への取組み**

**（空き家の増加）**
地域を回り、空き家を調査。状態のよい空き家について、利活用を含め所有者へ説明し、空き家バンクへの登録等を促す。その他、登録へ向けての片付け、申請書類の作成を補助。

**（地域の魅力の発信力強化）**
Facebook等各種SNSを活用し地域の情報を発信。また、移住促進のYouTubeライブへ出演するなど、地域のPRを実施。

**（地域住民の意識の希薄化）**
地域のキーパーソンへのヒアリングや地域住民及び地域外の住民に対しアンケートを実施。移住者に対する考え方や当該校区が周りからどのように思われているのかを数値化。調査から浮かび上がった課題を整理。

**●59日目：活動報告会**

これまで取組んできた内容について、地域住民に向けた活動報告会を実施。2か月間の活動から見えた地域の状況、課題について報告。

**●60日～61日目：挨拶回り**

これまでの活動について、地域住民へ挨拶回り。